高齢者保健福祉に関するアンケート調査
居宅介護サービスの利用に関するアンケート調査
居宅介護支援事業者・地域包括支援センター調査
結 果 報 告 書

令和２年９月

東大阪市

目　次

Ⅰ．調査の概要 1

１　調査目的 1
２　実施要領 1
３　報告書の見方 2

Ⅱ．調査結果 3

Ⅱ－１　一般高齢者アンケート 3

１．回答者の属性 3
２．家族や生活状況について 5
３．からだを動かすことについて 8
４．食べることについて 14
５．毎日の生活について 18
６．地域での活動について 25
７．たすけあいについて 29
８．健康・仕事・生きがいについて 33
９．認知症対策について 42
10．必要となる支援や介護保険サービスについて 45
11．情報・相談について 54
12．お住まいについて 57
13．高齢者が暮らしやすいまちづくりについて 60

Ⅱ－２－①　要介護者（居宅介護サービス）アンケート 63

１．回答者の属性 63
２．必要となる支援や介護保険サービスについて 74
３．からだを動かすことについて 82
４．食べることについて 86
５．毎日の生活について 90
６．あなたとまわりの人の「たすけあい」について 95
７．健康について 99

Ⅱ－２－②　介護者アンケート 101

１．介護者の属性 101
２．行っている介護等について 103

３．介護者の就業状況について..... 104
４．サービス利用について..... 106
５．介護者への支援について..... 109

Ⅱ－３　生活機能評価等に関する分析 110

１　生活機能評価..... 110
２　日常生活評価..... 114
３　社会参加評価..... 115

Ⅱ－４　経年比較 117

１　一般高齢者..... 117
２　居宅サービス利用者..... 141

Ⅱ－５　居宅介護支援事業所アンケート 145

１　事業所の概要..... 145
２　事業所立地地域の特色や介護・介護予防サービスについて ... 153
３　地域の関係機関等との連携について..... 159
４　介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）について 162
５　認知症、高齢者虐待・権利擁護等の対応ケースについて ... 165
６　家族介護者への支援..... 170
７　自由意見..... 171

Ⅱ－６　地域包括支援センターアンケート 173

１　地域包括支援センターの概要..... 173
２　担当地域の特色や、介護･介護予防サービスについて 175
３　地域の関係機関等との連携、地域包括ケアシステム構築について.. 181
４　認知症、高齢者虐待・権利擁護等の対応ケースについて ... 189
５　介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）について 197
６　自由意見..... 199

Ⅱ－７　圏域別分析 201

資料編（調査票） 255

Ⅰ．調査の概要

1　調査目的

本調査は、東大阪市第８次高齢者保健福祉計画・東大阪市第７期介護保険事業計画の見直しにあたり、高齢者や介護保険の要介護認定者の現状、サービス等に対する意向、高齢者施策に対する意見・要望などを把握し、東大阪市第９次高齢者保健福祉計画・東大阪市第８期介護保険事業計画策定のための基礎資料として活用するものです。

2　実施要領

調査種別	調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
一般高齢者調査	要介護認定を受けていない又は要支援の65歳以上の市内居住者	5,000人 (層化無作為抽出)	2,692件	53.8%	令和２年 １月７日～ １月24日	郵送配布・ 郵送回収
要介護認定者調査	要介護認定を受けている65歳以上の市内居住者	3,000人 (層化無作為抽出)	1,006件	33.5%	令和２年 １月７日～ １月24日	郵送配布・ 郵送回収
介護者調査	上記「要介護認定者調査」の該当者の介護者	3,000人 (層化無作為抽出) 上記調査に同梱にて配布	738件	24.6%	令和２年 １月７日～ １月24日	郵送配布・ 郵送回収
居宅介護支援事業所調査	市内にあるすべての居宅介護支援事業所	244か所	155件	63.5%	令和２年 １月７日～ １月24日	郵送配布・ 郵送回収
地域包括支援センター調査	市内にあるすべての地域包括支援センター	22か所	22件	100.0%	令和２年 １月７日～ １月24日	郵送配布・ 郵送回収

３　報告書の見方

（１）図表中の「N（number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

（２）回答結果の割合「％」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が 100.0％にならない場合があります。

（３）複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0％を超える場合があります。

（４）図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。

・ ＭＡ ％（ Multiple　Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

・３ＬＡ％（3 Limited Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものを３つ以内で選択する場合

・２ＬＡ％（2 Limited Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものを２つ以内で選択する場合

これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを１つだけ選択する）形式の設問です。

（５）図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

Ⅱ．調査結果

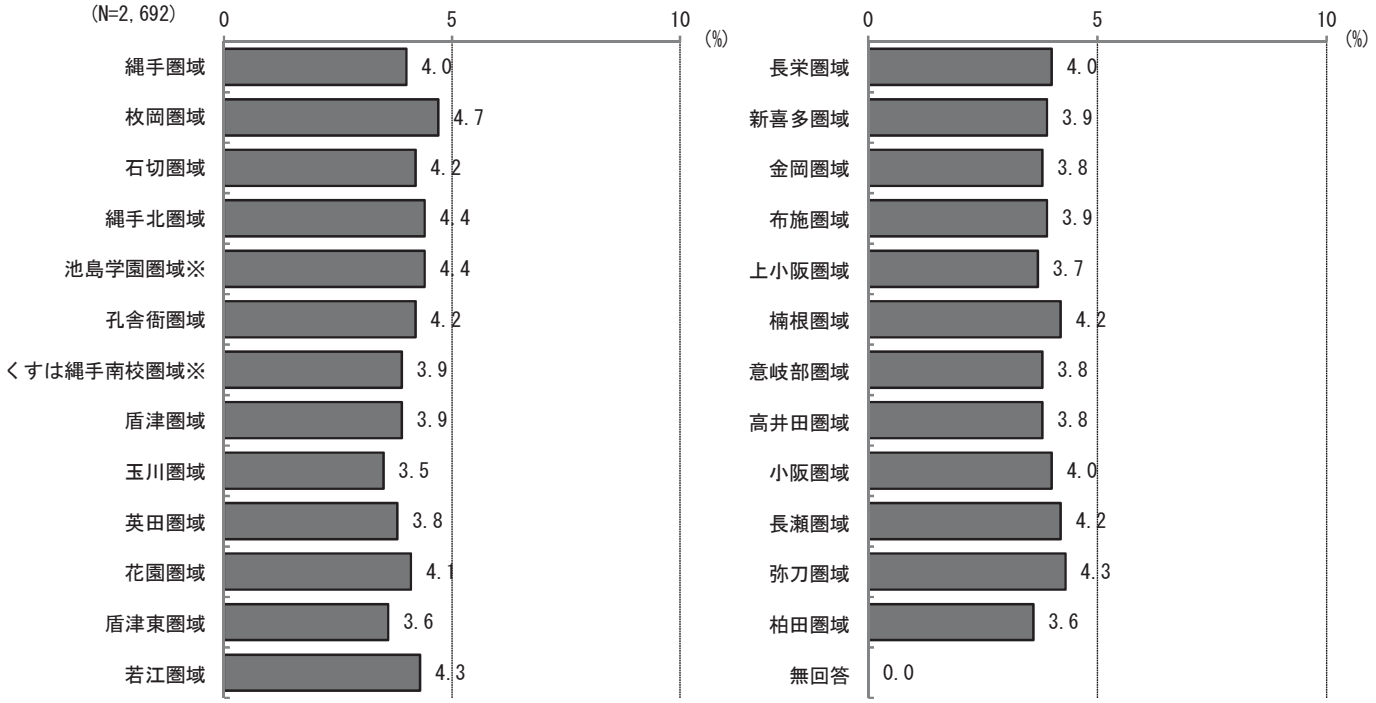
Ⅱ－１　一般高齢者アンケート

１．回答者の属性

※一般高齢者アンケートでは、全体と一般高齢者、要支援認定者の比較をしていますが、認定状況については無回答者がいるため、「一般高齢者」と「要支援１、２」の合計は全体の数値とは一致していません。

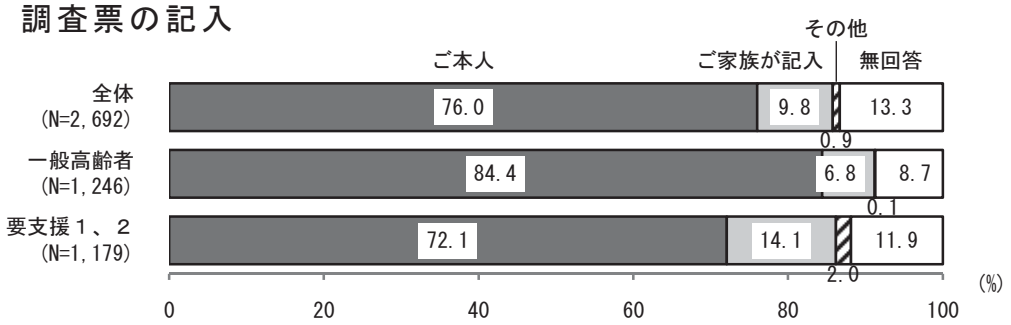
〔１〕居住圏域

回答者の居住圏域は、以下のようになっています。



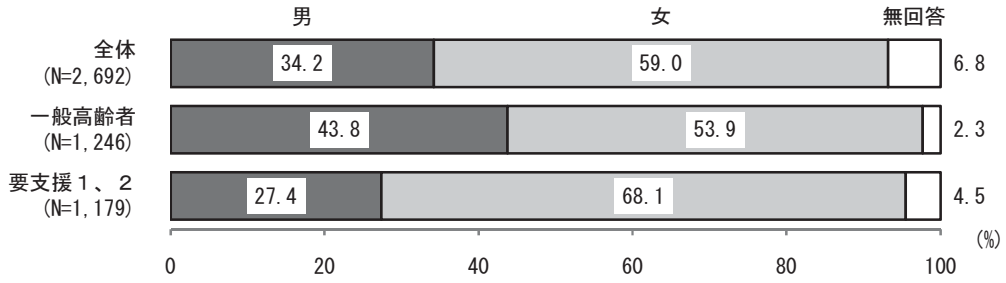
※「くすは縄手南校」と「池島学園」は義務教育学校

〔２〕調査票の記入



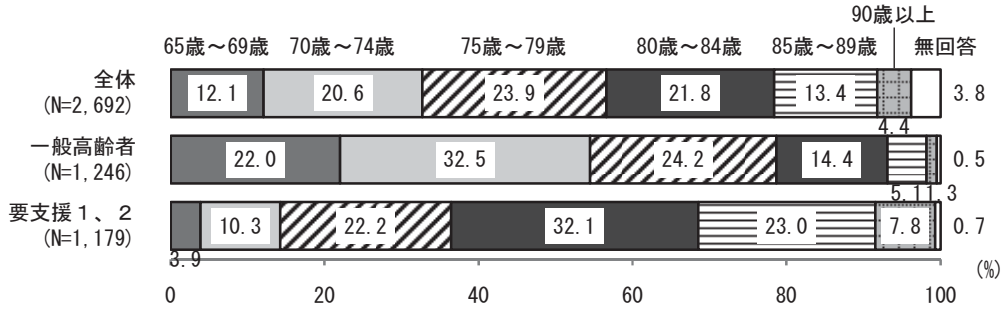
調査票の記入は、「ご本人」が 76.0%、「ご家族が記入」が 9.8%となっています。

〔３〕性別



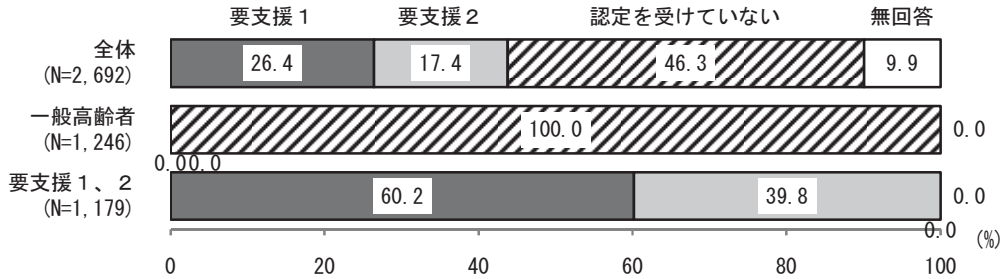
回答者の性別は、「男性」が 34.2%、「女性」が 59.0%となっています。

〔４〕年齢



回答者の年齢は、「75 歳～79 歳」が 23.9%と最も多く、次いで、「80 歳～84 歳」が 21.8%、「70 歳～74 歳」が 20.6%となっています。一般高齢者では 74 歳以下が 54.5%と半数を占め、要支援１、２では 75 歳以上が 85.1%となっています。

〔５〕要介護認定の有無

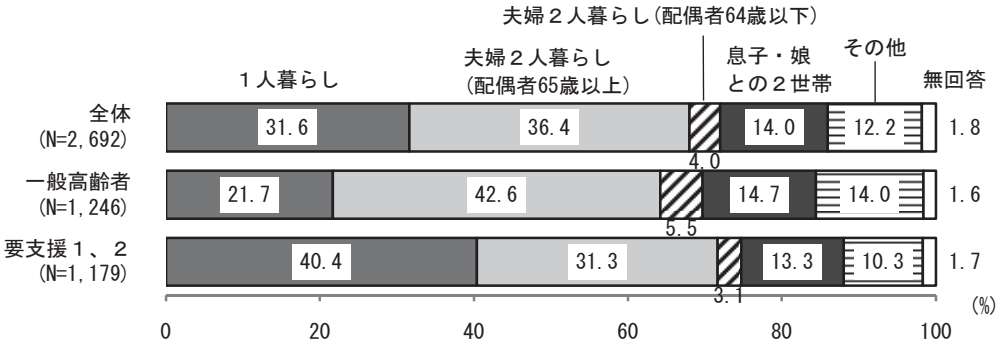


要介護認定の有無については、「要支援１」が 26.4%、「要支援２」が 17.4%、「認定を受けていない」が 46.3%となっています。

２．家族や生活状況について

〔１〕家族構成

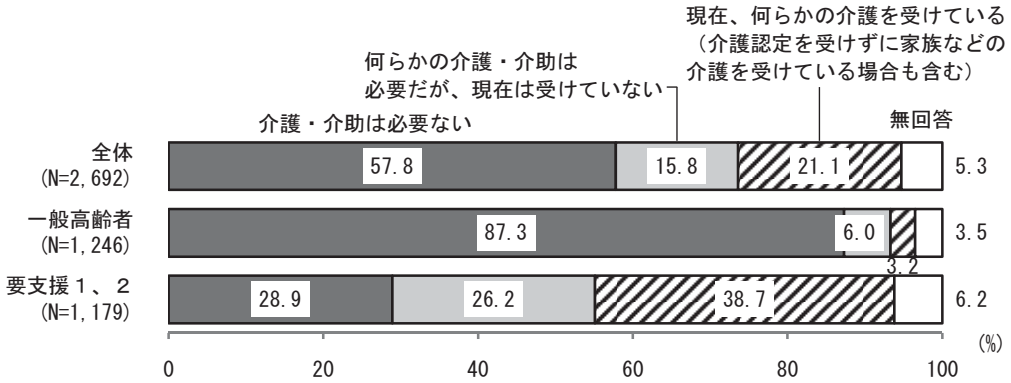
問１－（１）　家族構成をお教えください（１つに○）



家族構成は、一般高齢者では「夫婦２人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 42.6%と多く、要支援１、２では「１人暮らし」が 40.4%と多くなっています。

〔２〕介護・介助の必要性

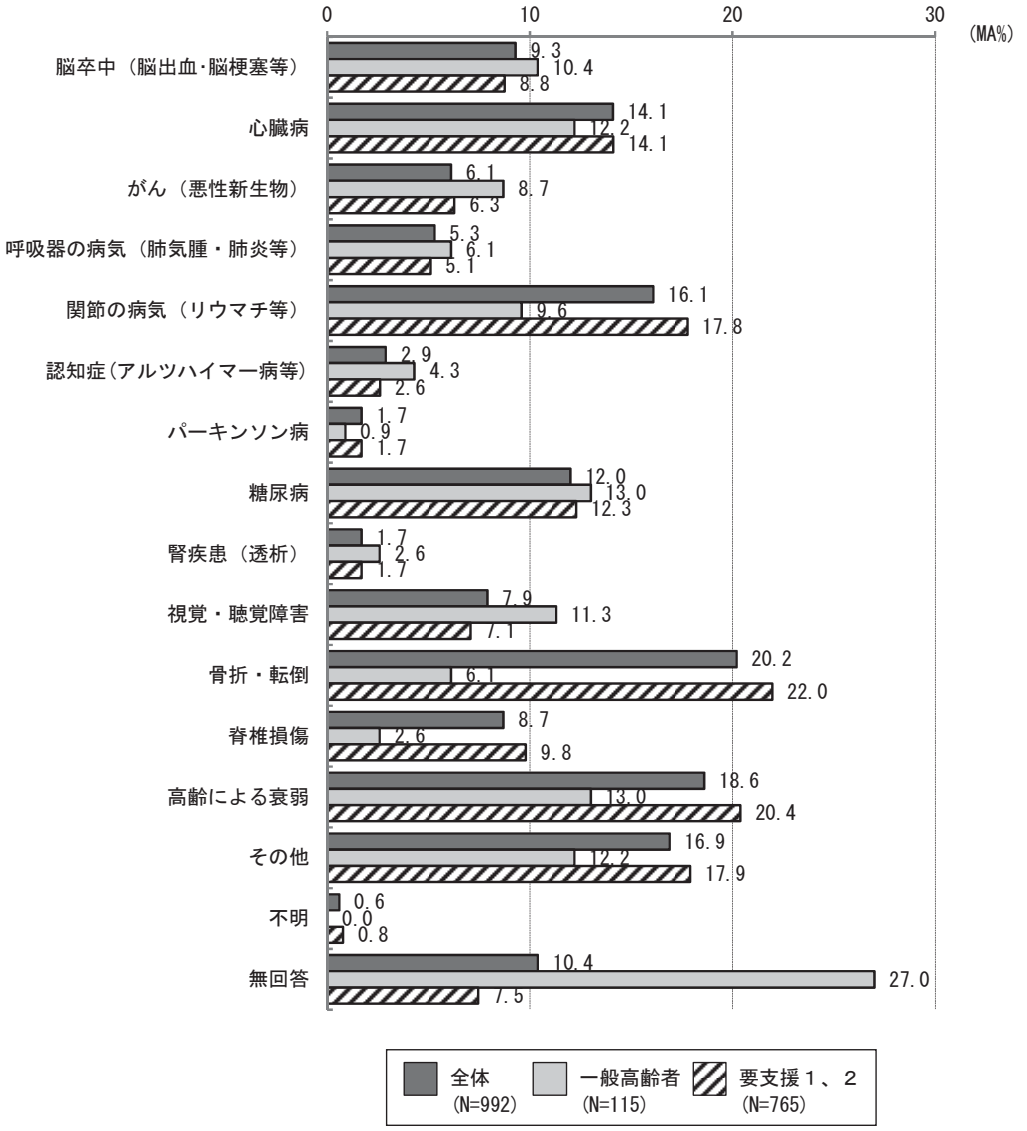
問１－（２）　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか
（１つに○）



普段の生活で誰かの介護・介助が必要かについては、一般高齢者では「介護・介助は必要ない」が 87.3%と多く、要支援１、２では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 26.2%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が 38.7%で、介護が必要な人は合計 64.9%となっています。

〔３〕介護・介助が必要になった主な原因

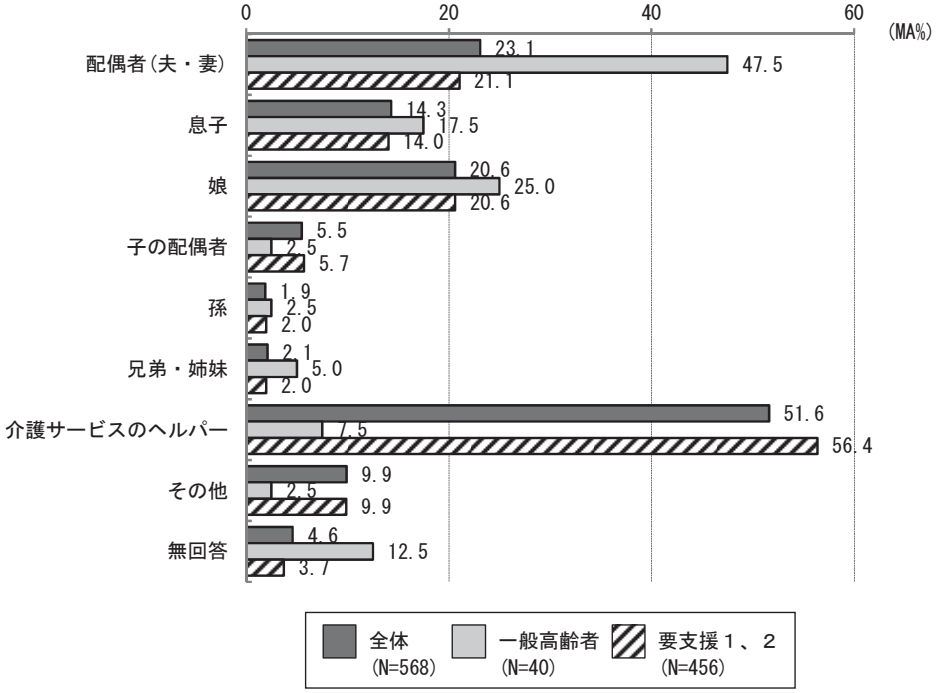
【問１－（２）において「２.」または「３.」（介護・介助が必要）と回答された方のみ】
問１－（２）－１　介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（○はいくつでも）



介護・介助が必要と回答された人に、介護・介助が必要になった主な原因についてたずねたところ、一般高齢者では「糖尿病」、「高齢による衰弱」、「心臓病」、「視覚・聴覚障害」、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」がそれぞれ１割程度となっています。要支援１、２では「骨折・転倒」が 22.0%と最も多く、次いで、「高齢による衰弱」が 20.4%となっています。

〔４〕主な介護・介助者

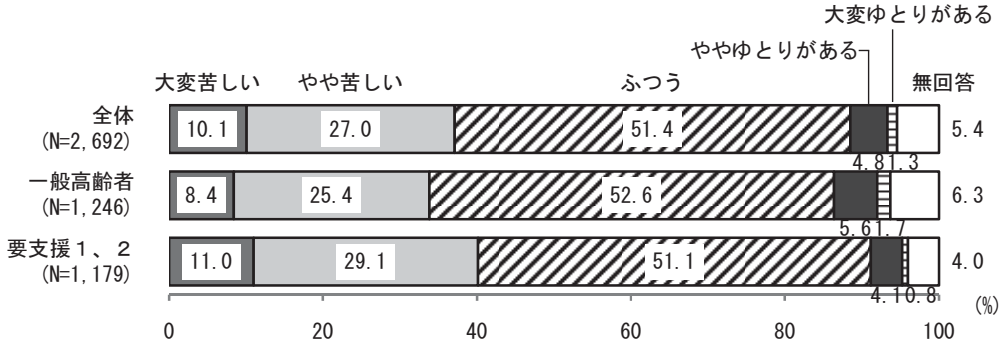
【問１－（２）において「３．現在、何らかの介護を受けている」と回答された方のみ】
問１－（２）－２　主にどなたの介護・介助を受けていますか（○はいくつでも）



現在、何らかの介護を受けている人に、主な介護・介助者についてたずねたところ、一般高齢者では「配偶者(夫・妻)」が 47.5%と最も多く、要支援１、２では「介護サービスのヘルパー」が 56.4%と最も多くなっています。

〔５〕現在の暮らしの状況

問１－（３）　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（１つに○）

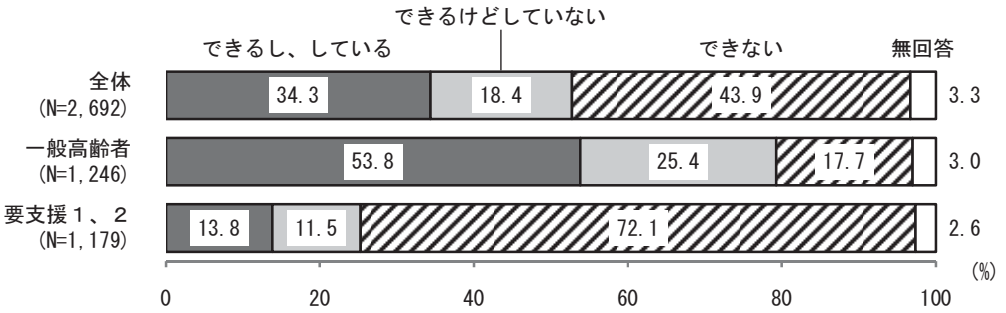


現在の暮らしの状況については、一般高齢者、要支援１、２ともに「ふつう」が５割強と半数を占め、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は一般高齢者で 33.8%、要支援１、２で 40.1%となっています。

３．からだを動かすことについて

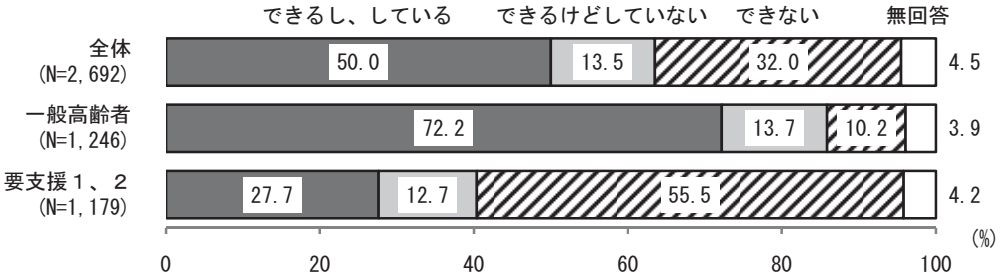
〔１〕運動の状況

問２－（１）　階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか（１つに○）



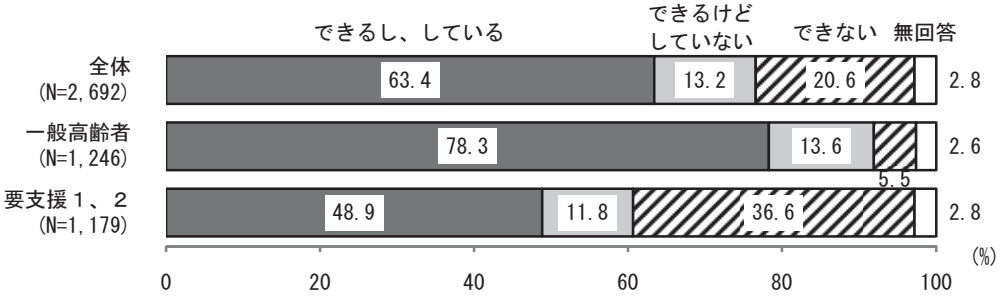
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますかについては、一般高齢者では「できるし、している」が 53.8%と多く、要支援１、２では「できない」が 72.1%と多くなっています。

問２－（２）　椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（１つに○）



椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますかについては、一般高齢者では「できるし、している」が 72.2%と多く、要支援１、２では「できない」が 55.5%と多くなっています。

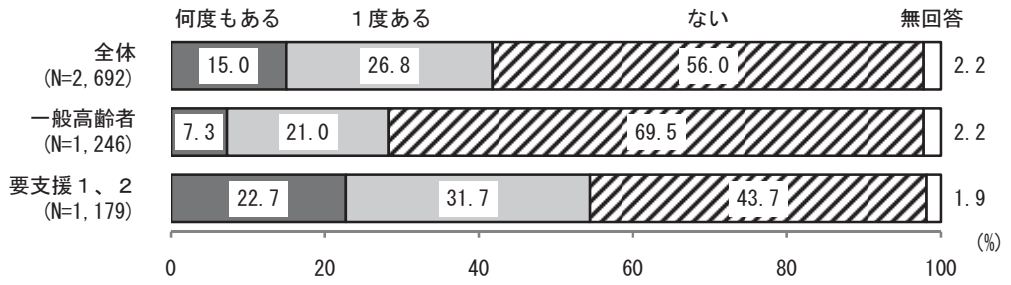
問２－（３）　15分位続けて歩いていますか（１つに○）



15 分位続けて歩いていますかについては、一般高齢者、要支援１、２ともに「できるし、している」が多く、一般高齢者で 78.3%、要支援１、２で 48.9%となっています。

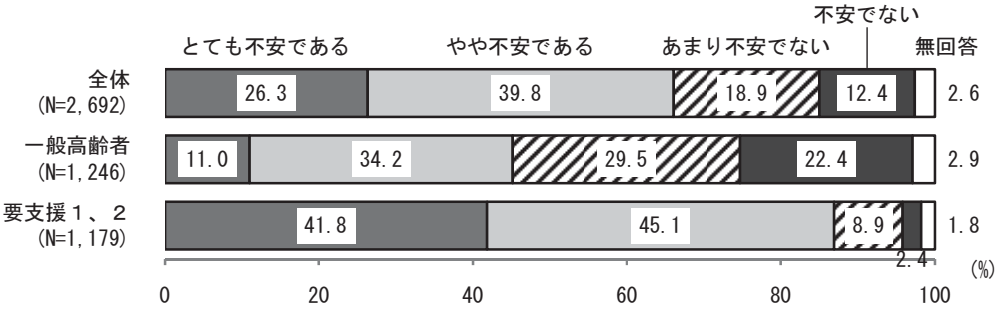
〔２〕転倒について

問２－（４）　過去１年間に転んだ経験がありますか（１つに○）



過去１年間の転んだ経験については、「何度もある」と「１度ある」を合わせた『ある』が、一般高齢者では 28.3%、要支援１、２では 54.4%となっています。

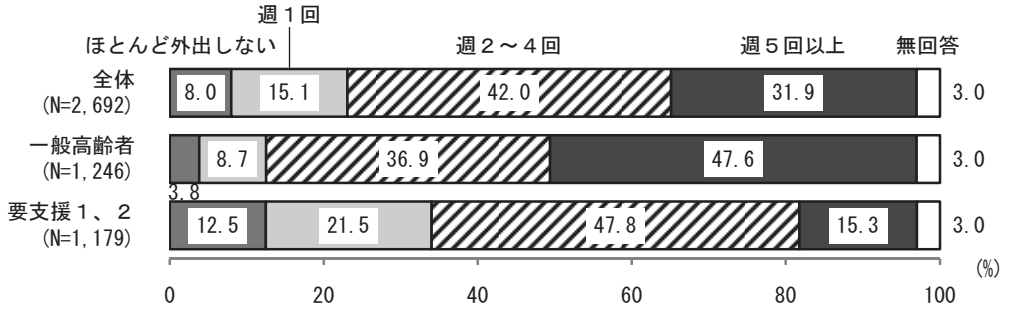
問２－（５）　転倒に対する不安は大きいですか（１つに○）



転倒に対する不安については、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が、一般高齢者では 45.2%、要支援１、２では 86.9%となっています。

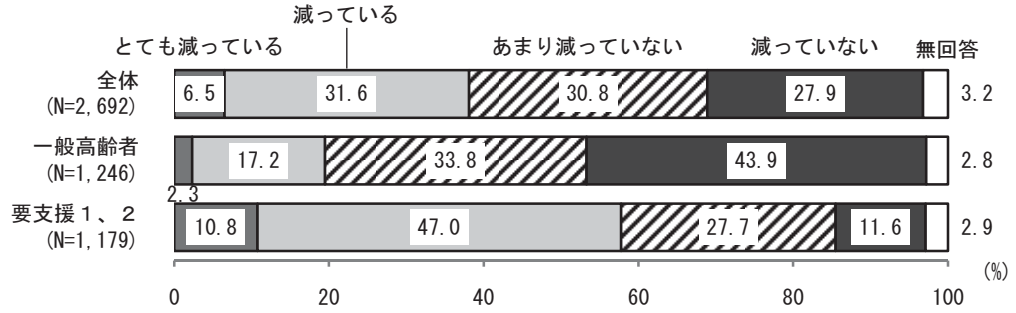
〔３〕外出の状況

問２－（６）　週に１回以上は外出していますか（１つに○）



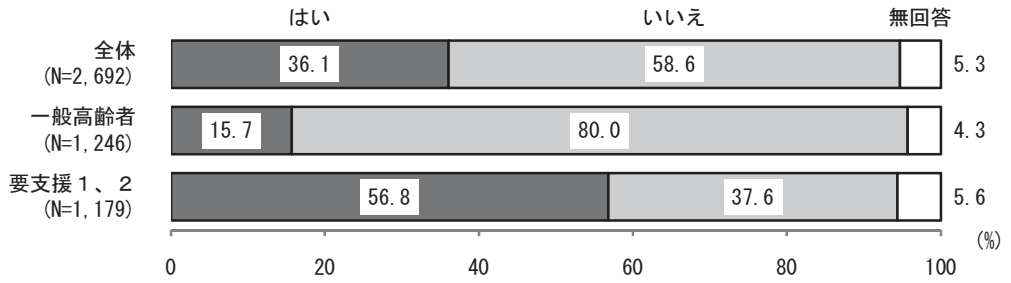
外出の頻度については、一般高齢者では「週５回以上」が 47.6%と多く、要支援１、２では「週２～４回」が 47.8%と多くなっています。要支援１、２では「ほとんど外出しない」が１割強（12.5%）みられます。

問２－（７）　昨年と比べて外出の回数が減っていますか（１つに○）



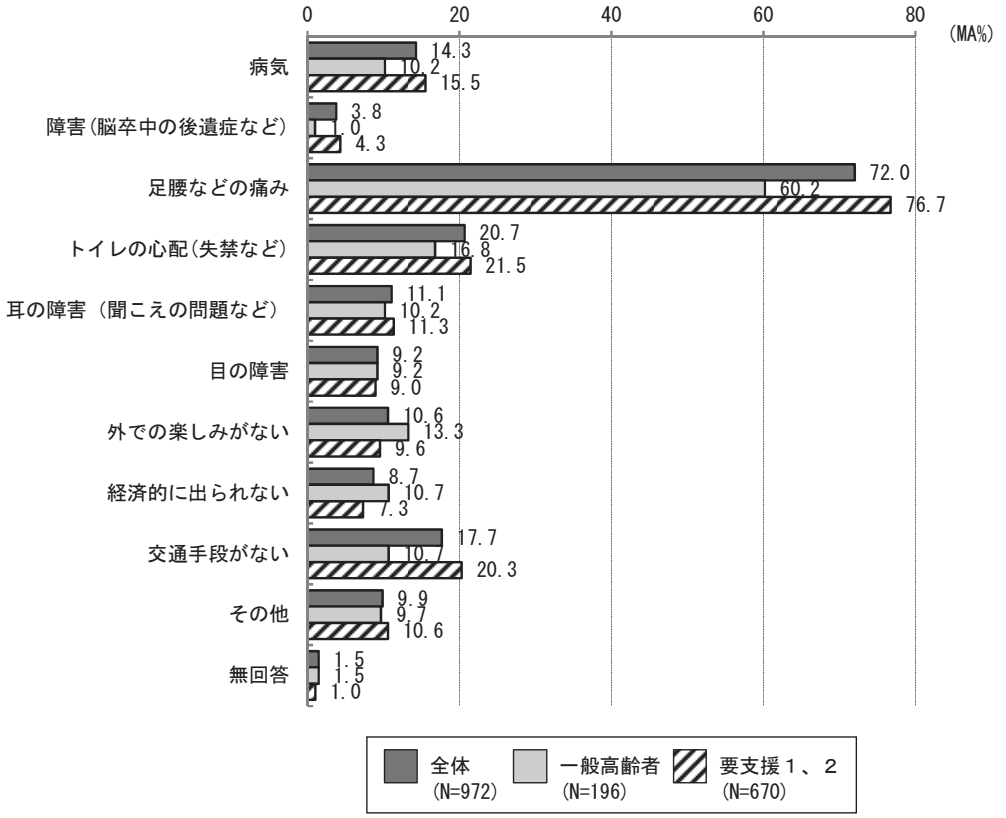
昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、一般高齢者では「減っていない」と「あまり減っていない」を合わせた『減っていない』が 77.7%、要支援１、２では「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』が 57.8%となっています。

問２－（８）　外出を控えていますか（１つに○）



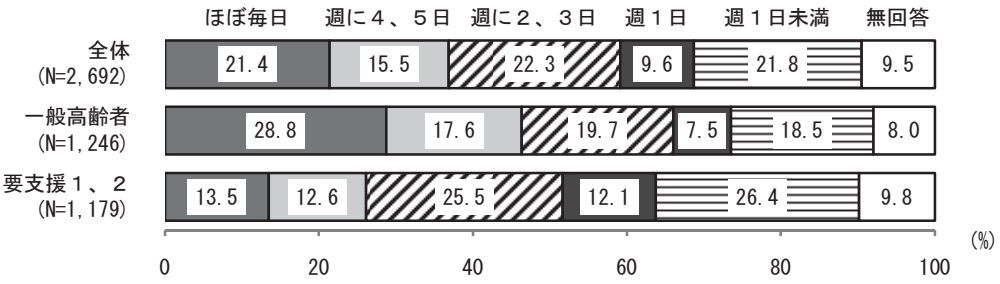
外出を控えているかについては、一般高齢者では「いいえ」が 80.0%、要支援１、２では「はい」が 56.8%となっています。

【問２－（８）で「１．はい」（外出を控えている）と回答された方のみ】
問２－（８）－１　外出を控えている理由は、次のどれですか（○はいくつでも）



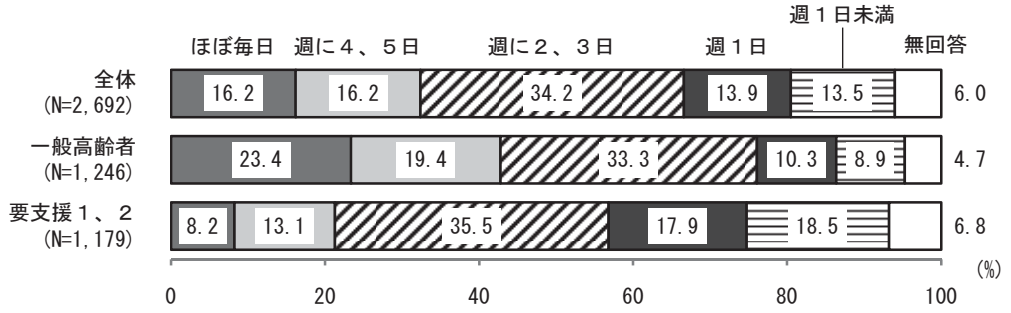
外出を控えている人に、その理由をたずねたところ、一般高齢者、要支援１、２ともに「足腰などの痛み」が最も多く、次いで「トイレの心配（失禁など)」となっています。

問２－（９）　散歩で外出する頻度はどのぐらいですか（１つに○）



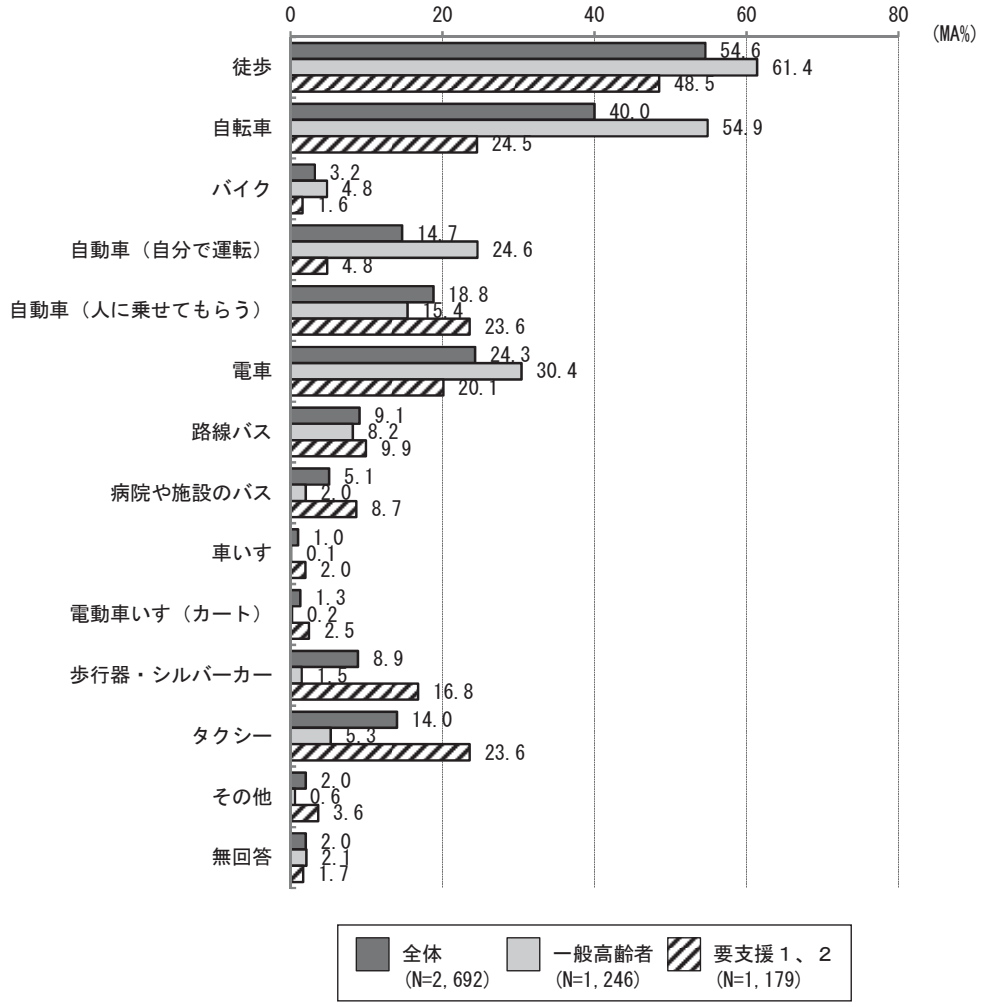
散歩で外出する頻度については、一般高齢者では「ほぼ毎日」が 28.8%と多く、要支援１、２では「週１日未満」が 26.4%、「週に２、３日」が 25.5%となっています。

問２－（10）　買い物で外出する頻度はどのぐらいですか（１つに○）



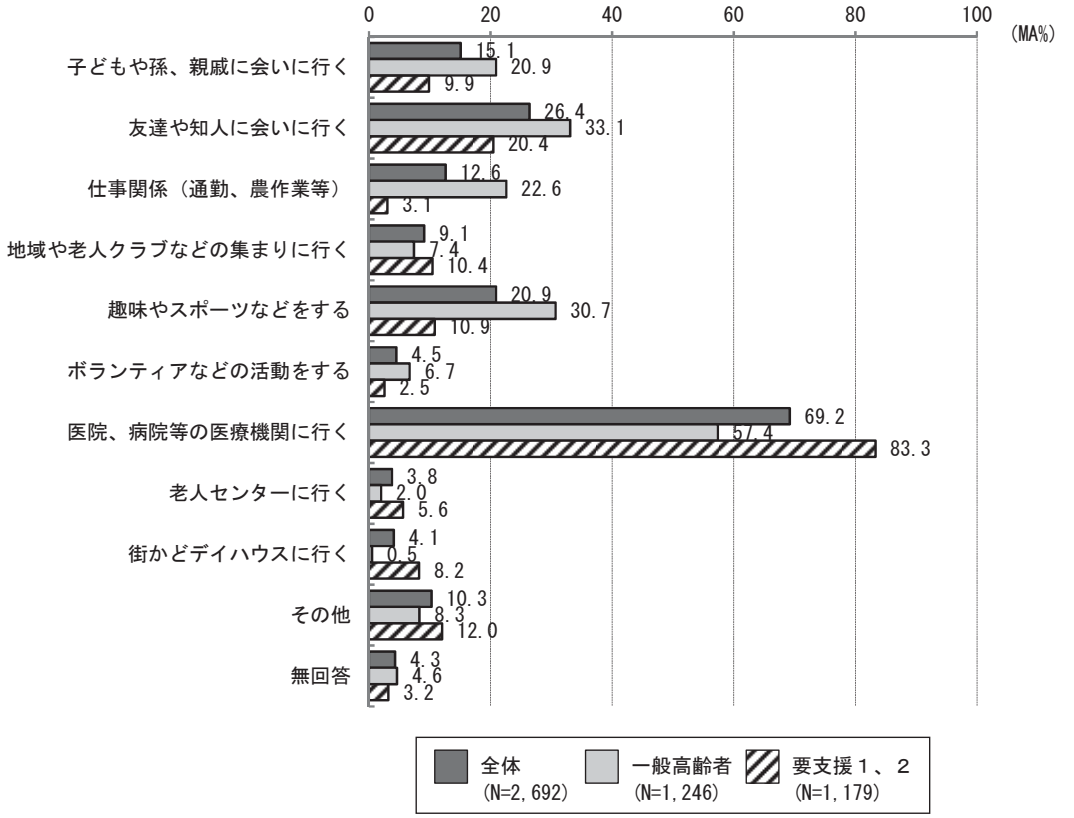
買い物で外出する頻度については、一般高齢者、要支援１、２ともに「週に２、３日」が最も多く、一般高齢者で 33.3%、要支援１、２で 35.5%となっています。

問２－（11）　外出する際の移動手段は何ですか（○はいくつでも）



外出する際の移動手段は、一般高齢者、要支援１、２ともに「徒歩」が最も多く、一般高齢者では 61.4%、要支援１、２では 48.5%となっています。

問２－(12)　買物や散歩以外でどのようなことでよく外出されますか（○はいくつでも）

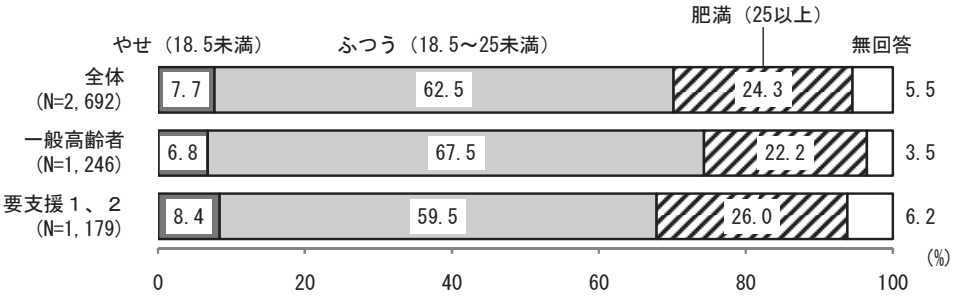


買物や散歩以外の外出の状況についてみると、一般高齢者、要支援１、２ともに「医院、病院等の医療機関に行く」が最も多くなっています。次いで、一般高齢者では「友達や知人に会いに行く」、「趣味やスポーツなどをする」、「仕事関係（通勤、農作業等）」、「子どもや孫、親戚に会いに行く」などが２～３割台となっています。

４．食べることについて

〔１〕身長・体重

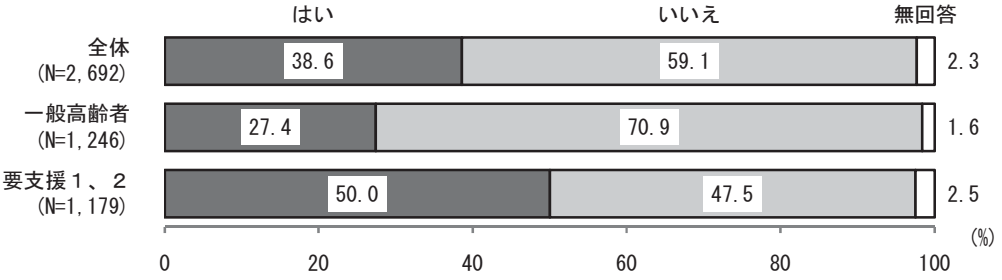
問３－（１）　身長・体重について、ご記入ください



身長・体重から算出したＢＭＩ値の分類について、「やせ（18.5 未満)」は一般高齢者では 6.8%、要支援１、２では 8.4%、「肥満（25 以上)」は一般高齢者では 22.2%、要支援１、２では 26.0%となっています。

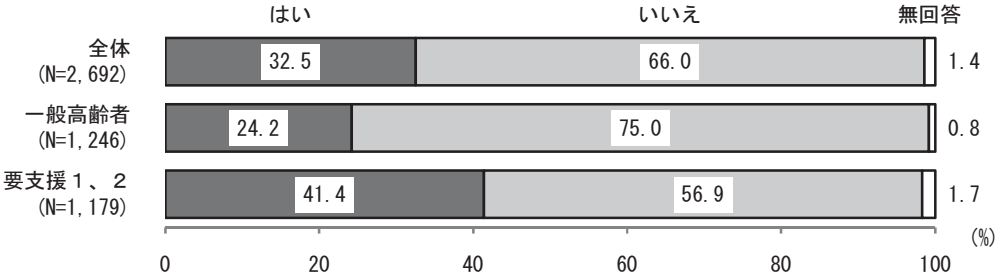
〔２〕口腔内の状態

問３－（２）　半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（１つに○）



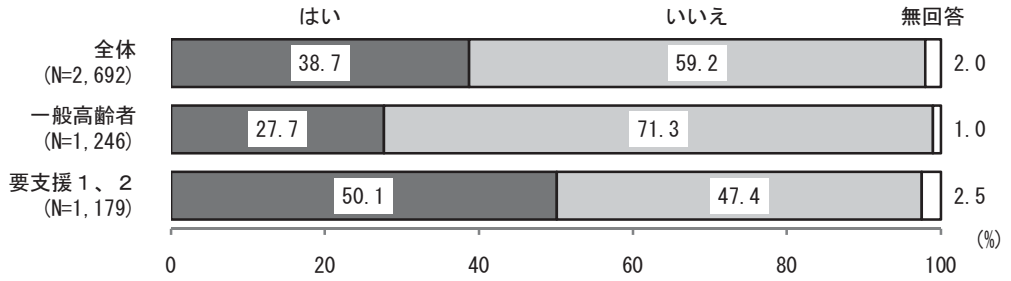
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 27.4%、要支援１、２で 50.0%となっています。

問３－（３）　お茶や汁物等でむせることがありますか（１つに○）



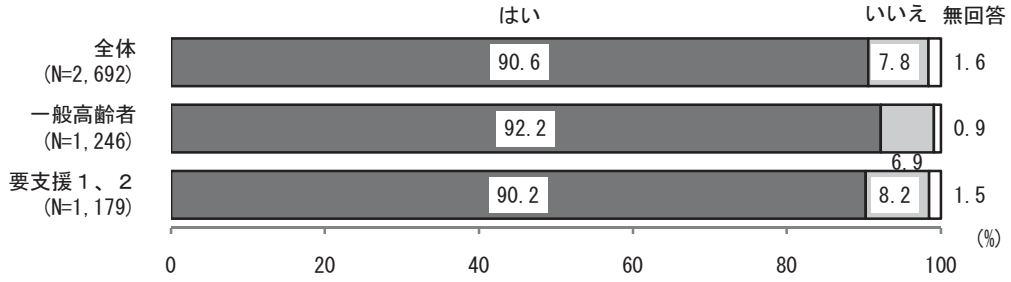
お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 24.2%、要支援１、２で 41.4%となっています。

問３－（４）　口の渇きが気になりますか（１つに○）



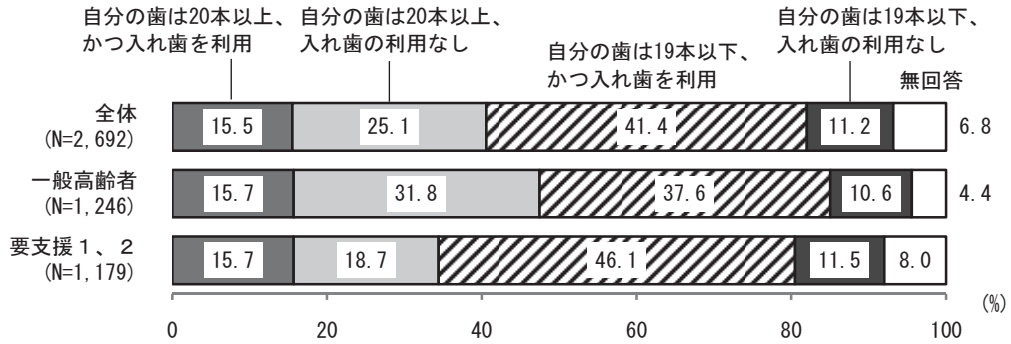
口の渇きが気になるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 27.7%、要支援１、２で 50.1%となっています。

問３－（５）　歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（１つに○）



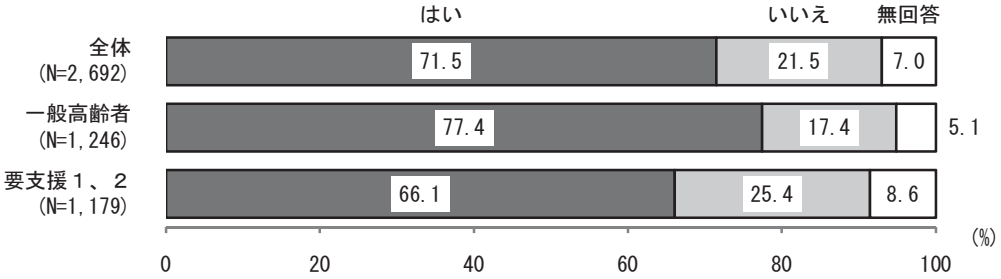
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 92.2%、要支援１、２で 90.2%となっています。

問３－（６）　歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（１つに○）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）



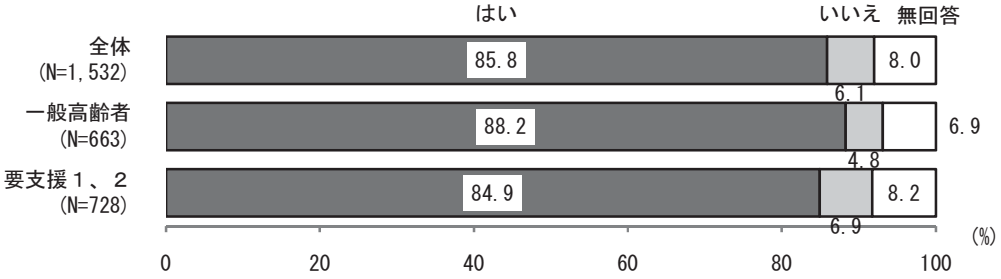
歯の数と入れ歯の利用状況については、一般高齢者、要支援１、２ともに「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなっています。自分の歯が 20 本以上残っている人は、一般高齢者では合計 47.5%、要支援１、２では合計 34.4%となっています。

問３－（６）－１　噛み合わせは良いですか（１つに○）



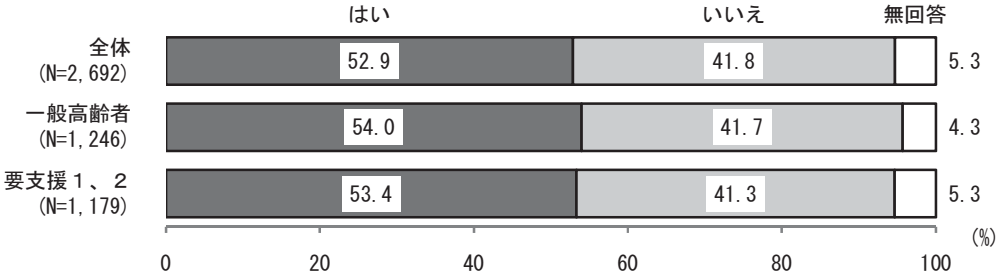
噛み合わせは良いですかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 77.4%、要支援１、２で 66.1%となっています。

【問３－（６）で「１.」「３.」（入れ歯を利用）と回答された方のみ】
問３－（６）－２　毎日入れ歯の手入れをしていますか（１つに○）



毎日入れ歯の手入れをしていますかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 88.2%、要支援１、２で 84.9%となっています。

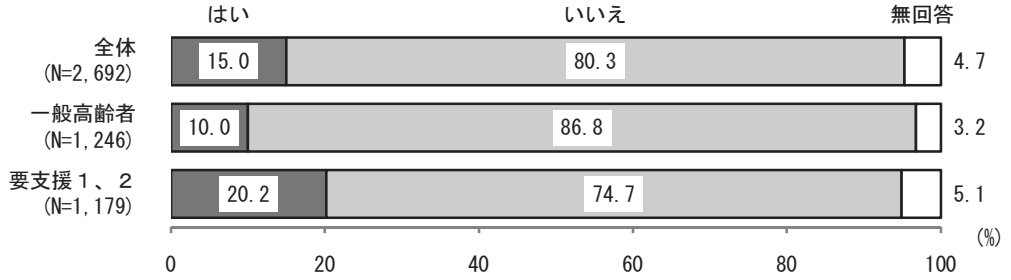
問３－（7）　定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか（１つに○）



定期的に歯科受診をしていますかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 54.0%、要支援１、２で 53.4%となっています。

〔３〕体重減少について

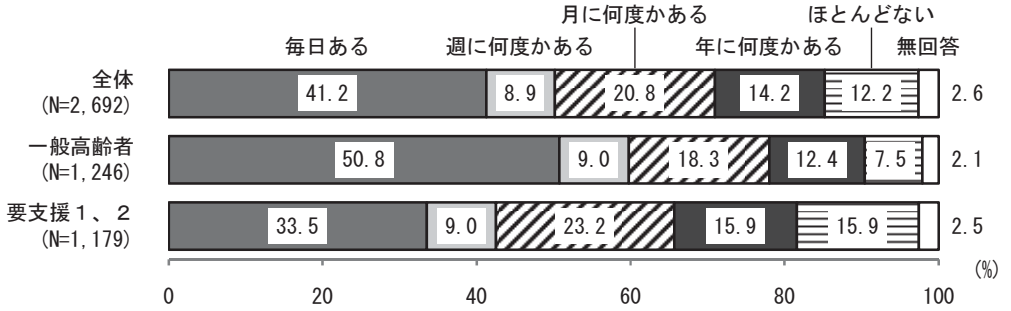
問３－（８）　６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか（１つに○）



６か月間で２～３kg以上の体重減少があったかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で10.0%、要支援１、２で20.2%となっています。

〔４〕共食の頻度

問３－（９）　どなたかと食事をともにする機会はありますか（１つに○）

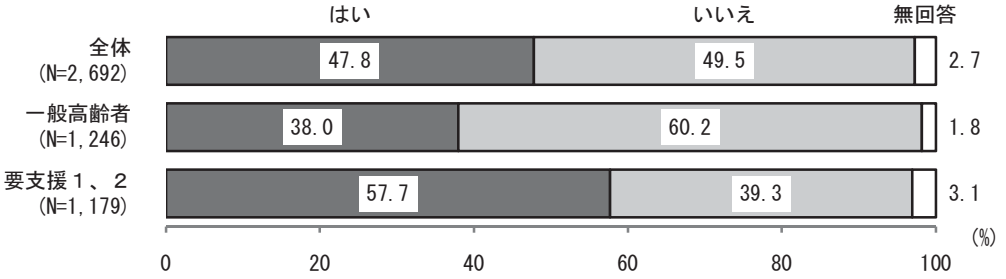


誰かと食事をともにする機会については、一般高齢者では「毎日ある」が50.8%と半数を占めています。要支援１、２では「毎日ある」が33.5%、「月に何度かある」が23.2%で、「ほとんどない」も15.9%みられます。

５．毎日の生活について

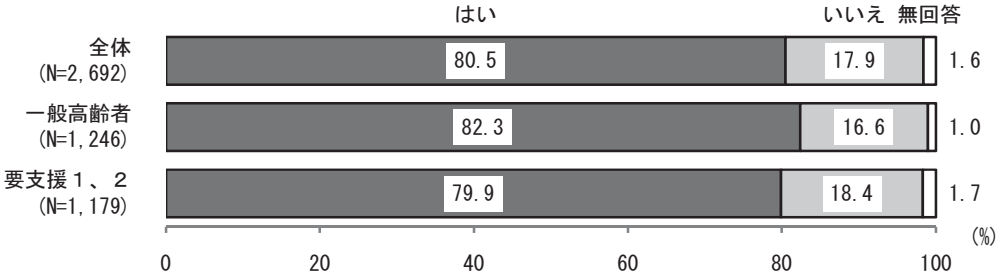
〔１〕物忘れの状況

問４－（１）　物忘れが多いと感じますか（１つに○）



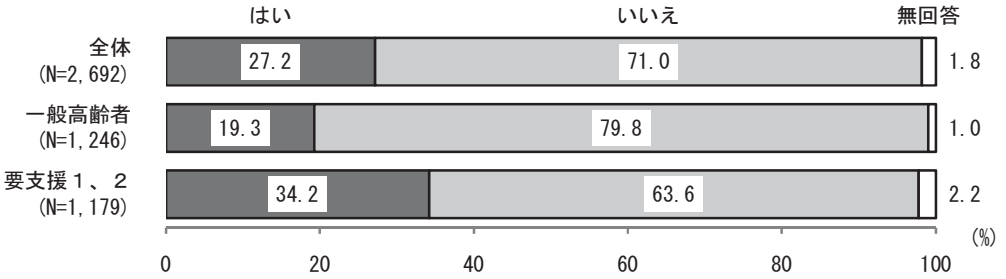
物忘れが多いと感じるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 38.0%、要支援１、２で 57.7%となっています。

問４－（２）　自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（１つに○）



自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかついて、「はい」と回答した人は一般高齢者でが 82.3%、要支援１、２で 79.9%となっています。

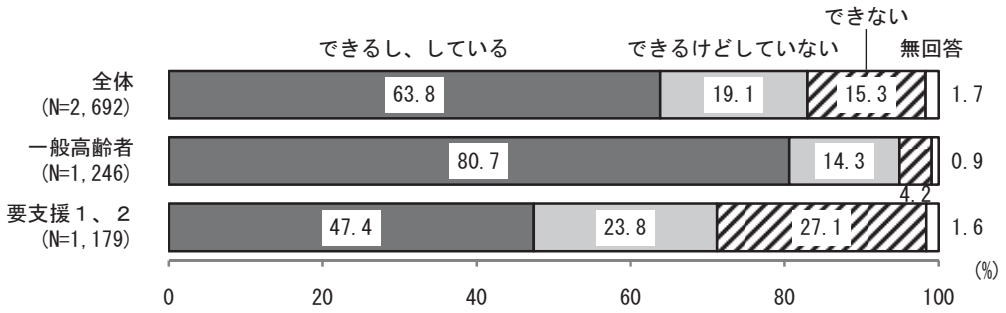
問４－（３）　今日が何月何日かわからない時がありますか（１つに○）



今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 19.3%、要支援１、２で 34.2%となっています。

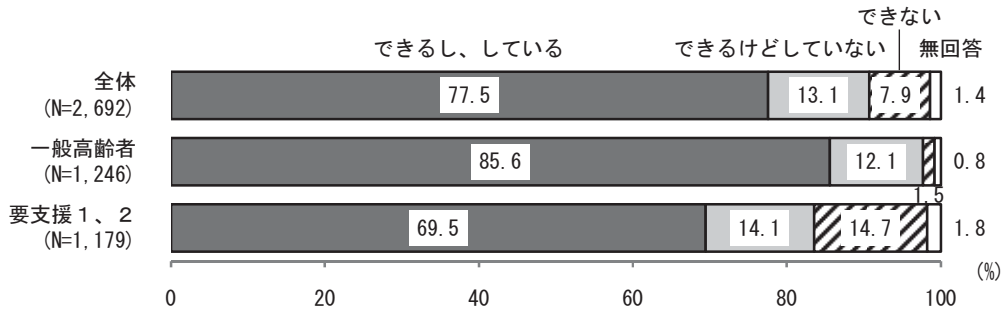
〔２〕日常生活の状況

問４－（４）　バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）（１つに○）



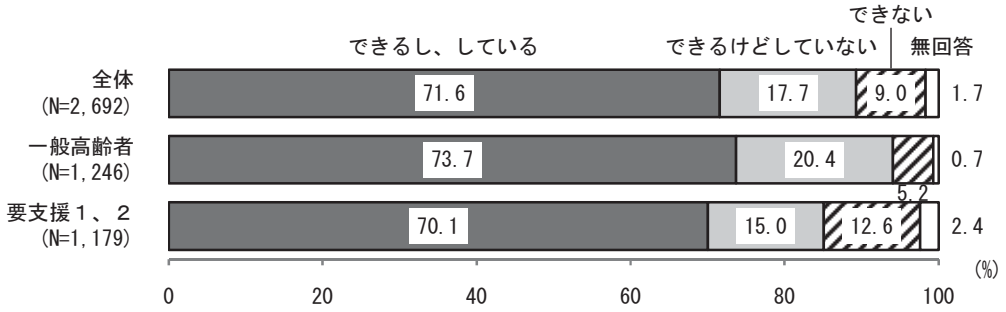
バスや電車を使って１人で外出しているか(自家用車でも可)について､「できるし、している」と回答した人は一般高齢者で 80.7%､要支援１､２で 47.4%となっています。

問４－（５）　自分で食品・日用品の買物をしていますか（１つに○）



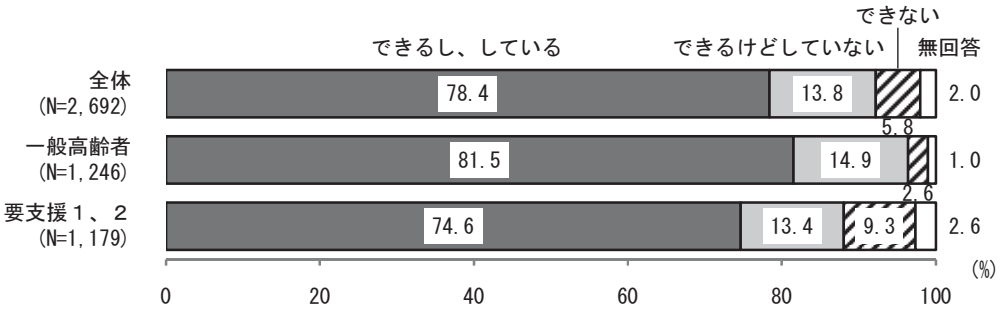
自分で食品・日用品の買物をしているかについて､「できるし、している」と回答した人は一般高齢者で 85.6%、要支援１、２で 69.5%となっています。

問４－（６）　自分で食事の用意をしていますか（１つに○）



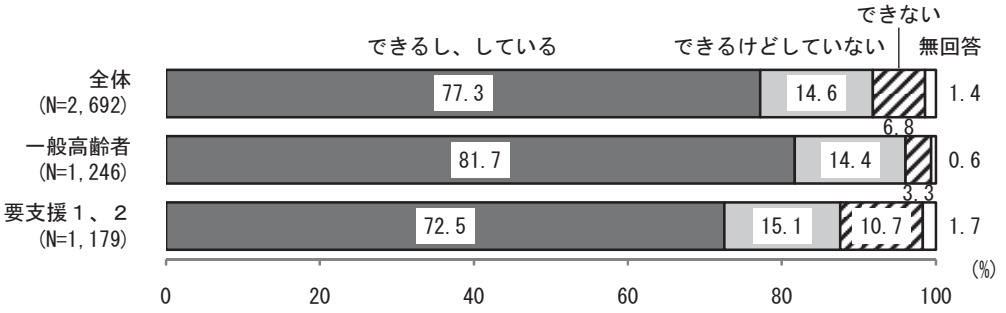
自分で食事の用意をしているかについて､「できるし、している」と回答した人は一般高齢者で 73.7%、要支援１、２で 70.1%となっています。

問４－（７）　自分で請求書の支払いをしていますか（１つに○）



自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」と回答した人は一般高齢者で 81.5%、要支援１、２で 74.6%となっています。

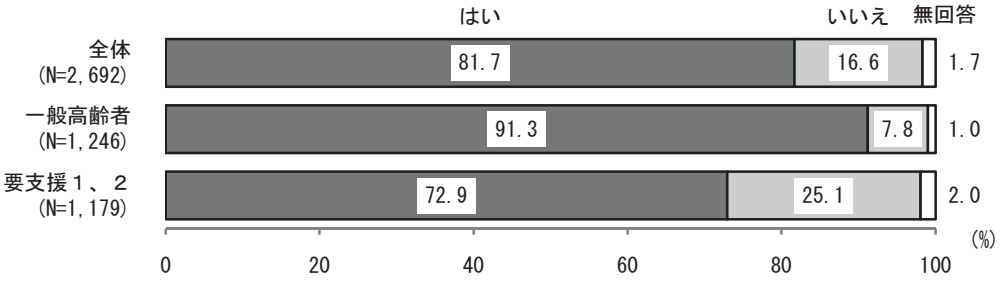
問４－（８）　自分で預貯金の出し入れをしていますか（１つに○）



自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」と回答した人は一般高齢者で 81.7%、要支援１、２で 72.5%となっています。

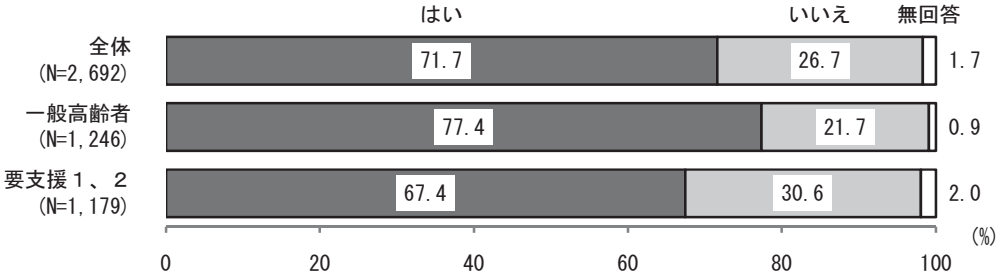
〔３〕社会参加の状況

問４－（９）　年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（１つに○）



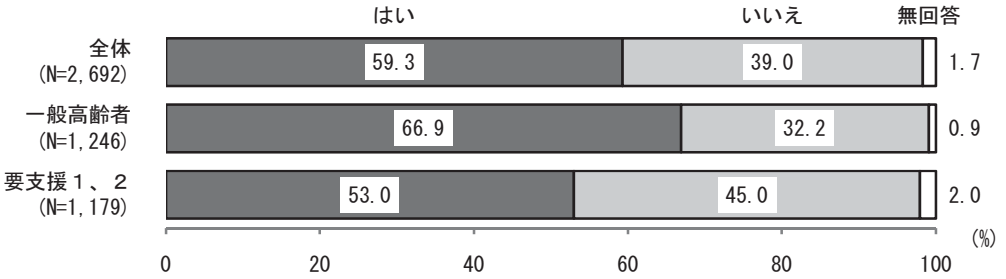
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 91.3%、要支援１、２で 72.9%となっています。

問４－（10）　新聞を読んでいますか（１つに○）



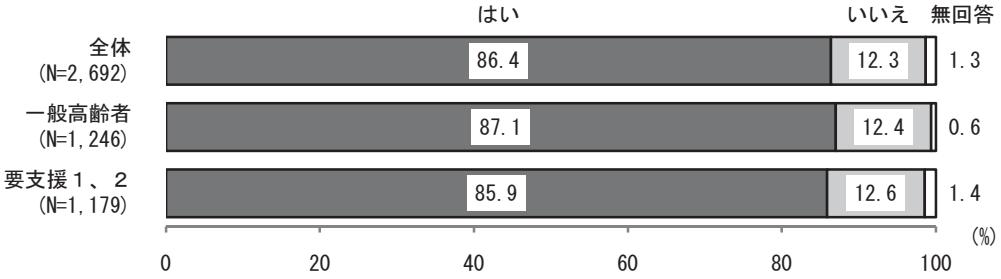
新聞を読んでいるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 77.4%、要支援１、２で 67.4%となっています。

問４－（11）　本や雑誌を読んでいますか（１つに○）



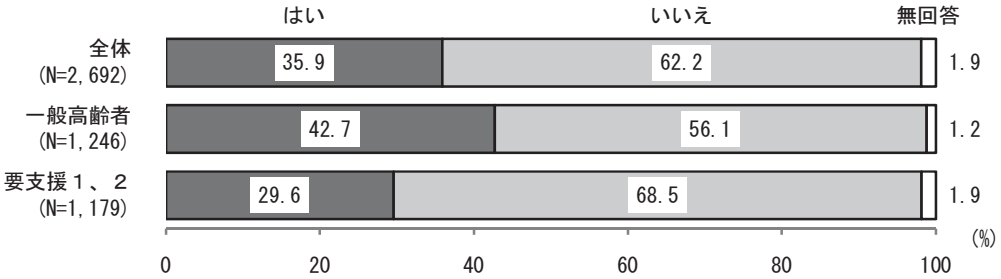
本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 66.9%、要支援１、２で 53.0%となっています。

問４－（12）　健康についての記事や番組に関心がありますか（１つに○）



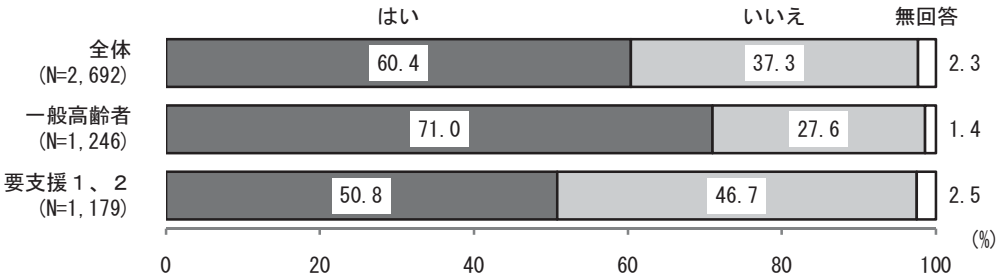
健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 87.1%、要支援１、２で 85.9%となっています。

問４－（13）　友人の家を訪ねていますか（１つに○）



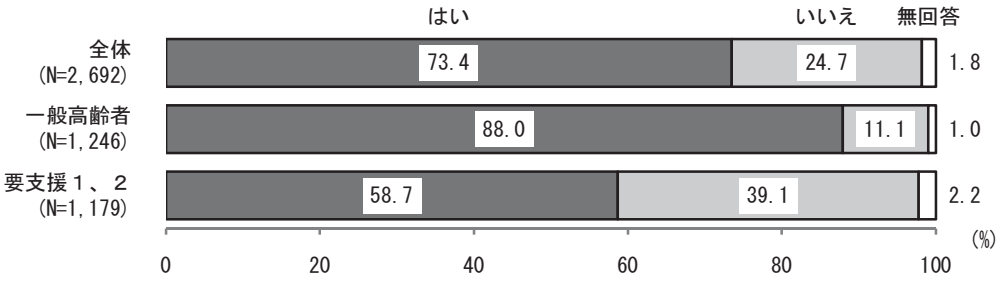
友人の家を訪ねているかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 42.7%、要支援１、２で 29.6%となっています。

問４－（14）　家族や友人の相談にのっていますか（１つに○）



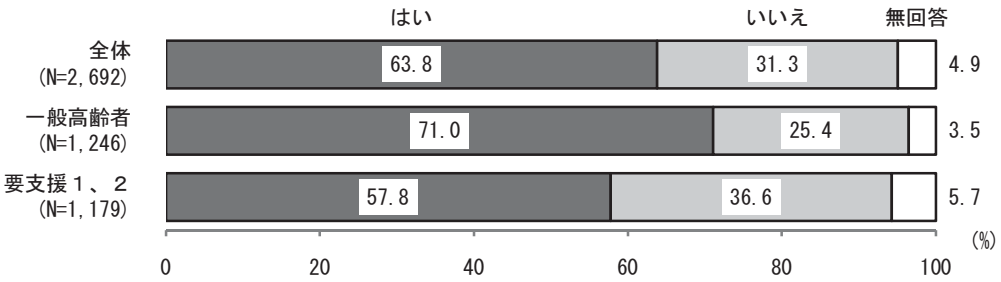
家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 71.0%、要支援１、２で 50.8%となっています。

問４－（15）　病人を見舞うことができますか（１つに○）



病人を見舞うことができるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 88.0%、要支援１、２で 58.7%となっています。

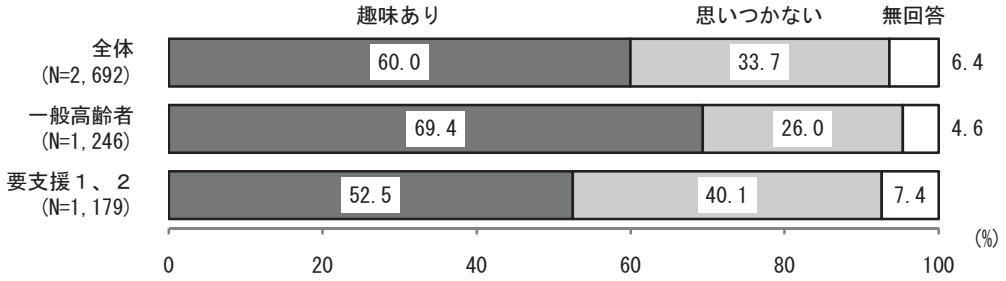
問４－（16）　若い人に自分から話しかけることがありますか（１つに○）



若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 71.0%、要支援１、２で 57.8%となっています。

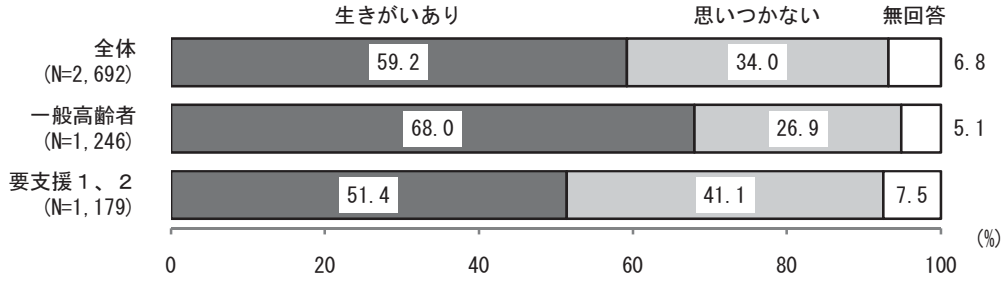
〔４〕趣味や生きがいについて

問４－（17）　趣味はありますか（１つに○）



趣味はあるかについては、「趣味あり」が一般高齢者で 69.4%、要支援１、２で 52.5%となっています。

問４－（18）　生きがいはありますか（１つに○）

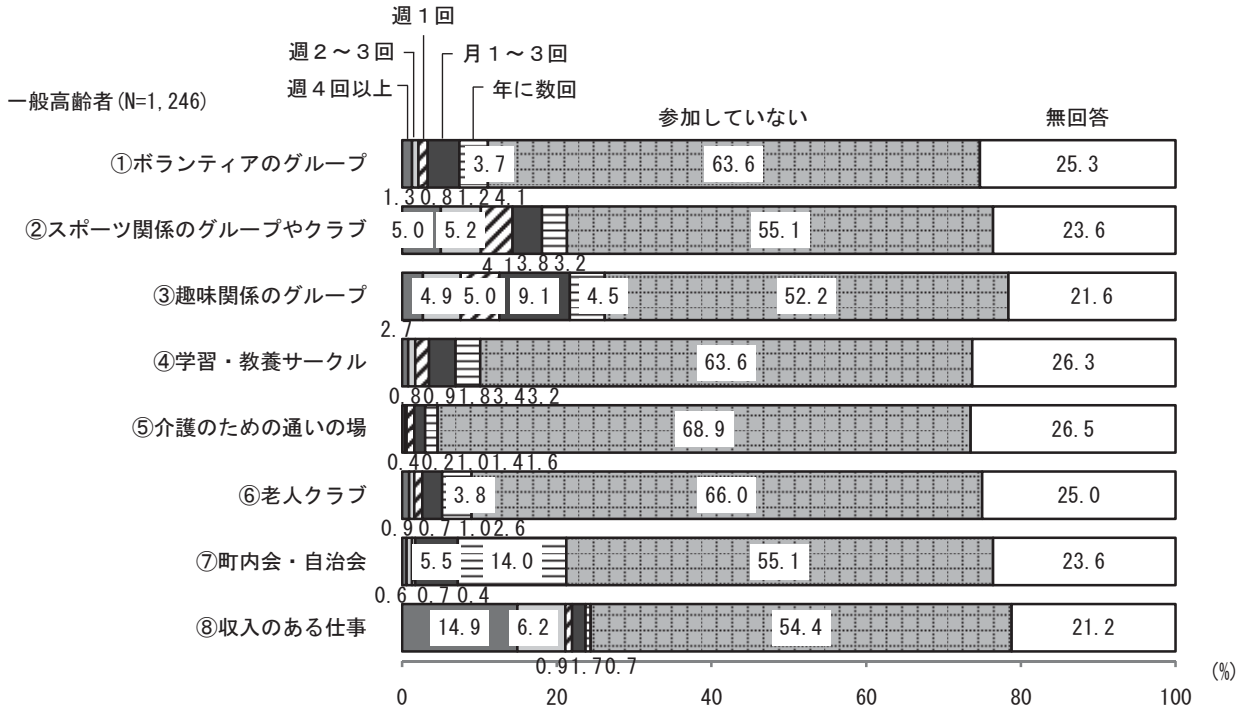


生きがいはあるかについては、「生きがいあり」が一般高齢者で 68.0%、要支援１、２で 51.4%となっています。

６．地域での活動について

〔１〕地域の会・グループ等への参加状況

問５－（１）　以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※①-⑧それぞれに回答してください（それぞれ１つに○）

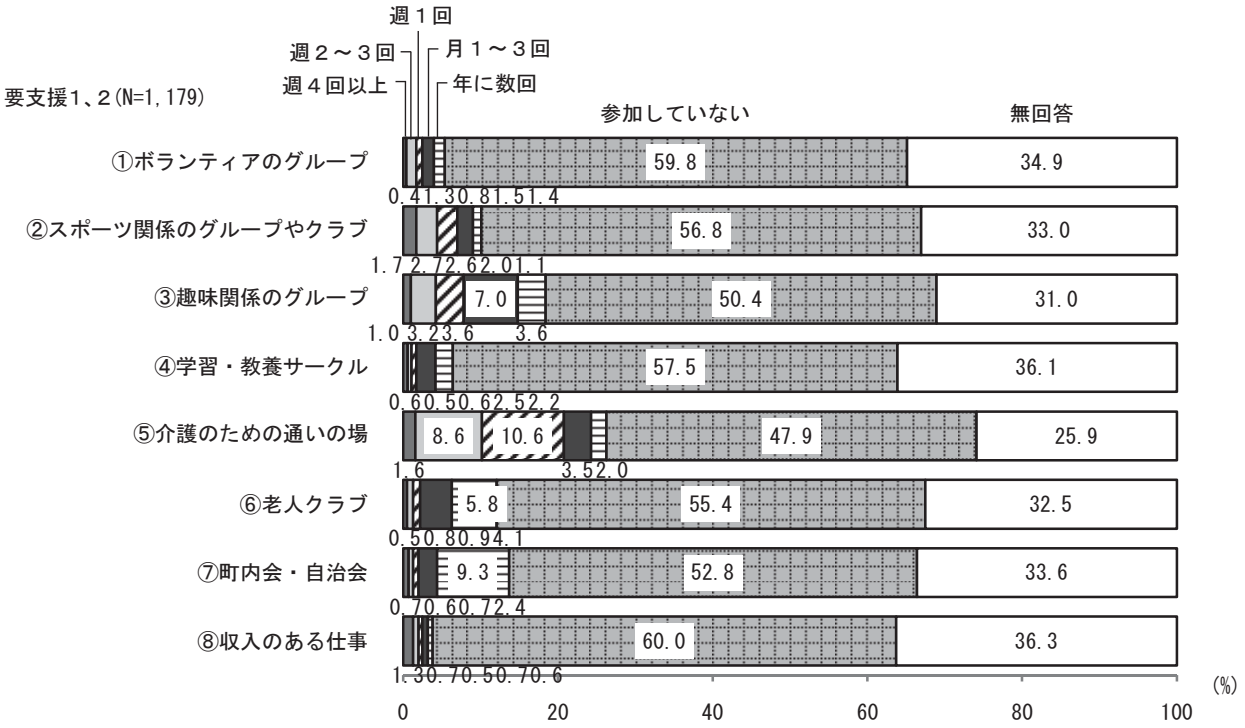


一般高齢者（N=1,246）　(%)

	参加している	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	11.1	1.3	0.8	1.2	4.1	3.7	63.6	25.3
②スポーツ関係のグループやクラブ	21.3	5.0	5.2	4.1	3.8	3.2	55.1	23.6
③趣味関係のグループ	26.2	2.7	4.9	5.0	9.1	4.5	52.2	21.6
④学習・教養サークル	10.1	0.8	0.9	1.8	3.4	3.2	63.6	26.3
⑤介護のための通いの場	4.6	0.4	0.2	1.0	1.4	1.6	68.9	26.5
⑥老人クラブ	9.0	0.9	0.7	1.0	2.6	3.8	66.0	25.0
⑦町内会・自治会	21.2	0.6	0.7	0.4	5.5	14.0	55.1	23.6
⑧収入のある仕事	24.4	14.9	6.2	0.9	1.7	0.7	54.4	21.2

地域の会・グループ等への参加状況について、一般高齢者では、③趣味関係のグループへの参加が 26.2%で最も多く、次いで、⑧収入のある仕事が 24.4%、②スポーツ関係のグループやクラブが 21.3%、⑦町内会・自治会が 21.2%となっています。

参加の頻度については、③趣味関係のグループでは「月１～３回」、⑧収入のある仕事では「週４回以上」、②スポーツ関係のグループやクラブでは「週２～３回」、「週４回以上」、⑦町内会・自治会では「年に数回」が多くなっています。



要支援１、２（N=1,179）　(%)

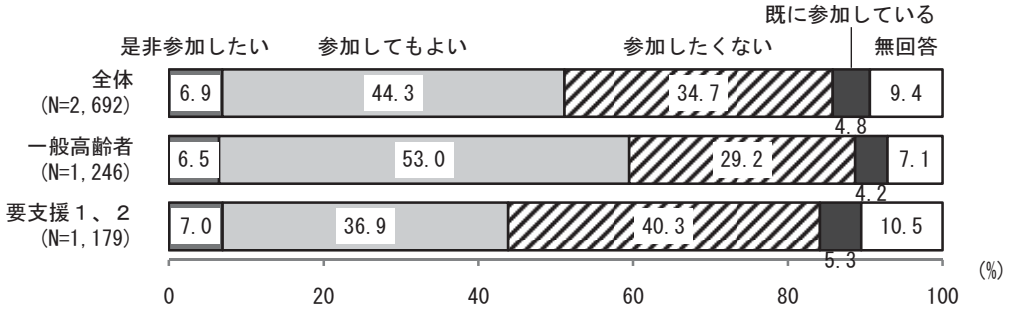
	参加している	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	5.4	0.4	1.3	0.8	1.5	1.4	59.8	34.9
②スポーツ関係のグループやクラブ	10.1	1.7	2.7	2.6	2.0	1.1	56.8	33.0
③趣味関係のグループ	18.4	1.0	3.2	3.6	7.0	3.6	50.4	31.0
④学習・教養サークル	6.4	0.6	0.5	0.6	2.5	2.2	57.5	36.1
⑤介護のための通いの場	26.3	1.6	8.6	10.6	3.5	2.0	47.9	25.9
⑥老人クラブ	12.1	0.5	0.8	0.9	4.1	5.8	55.4	32.5
⑦町内会・自治会	13.7	0.7	0.6	0.7	2.4	9.3	52.8	33.6
⑧収入のある仕事	3.8	1.3	0.7	0.5	0.7	0.6	60.0	36.3

要支援１、２では、⑤介護のための通いの場への参加が 26.3%で最も多く、次いで、③趣味関係のグループが 18.4%、⑦町内会・自治会が 13.7%、⑥老人クラブが 12.1%となっています。

参加の頻度については、⑤介護のための通いの場では「週１回」、「週２～３回」、③趣味関係のグループでは「月１～３回」、⑦町内会・自治会や⑤老人クラブでは「年に数回」が多くなっています。

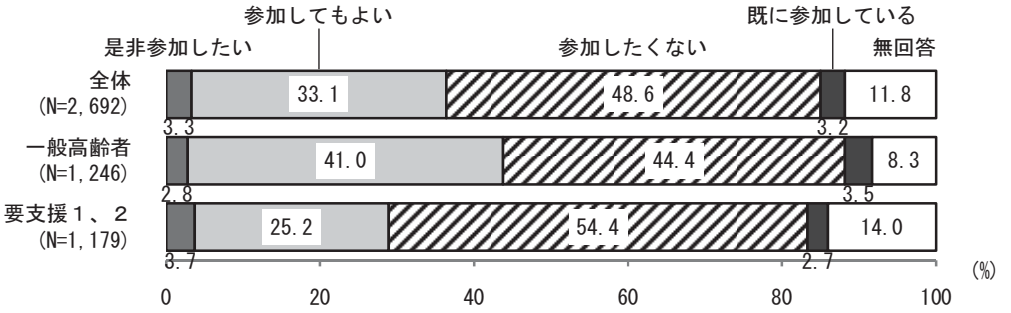
〔２〕地域の会・グループ等への参加意向

問５－（２）　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（１つに○）



健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向あり』が、一般高齢者で 59.5%、要支援１、２で 43.9%となっています。

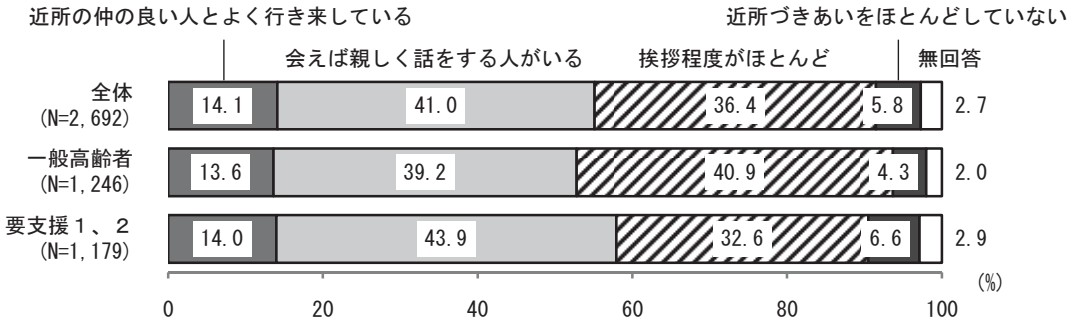
問５－（３）　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（１つに○）



企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向あり』が一般高齢者で 43.8%、要支援１、２で 28.9%となっています。

〔３〕近所づきあいについて

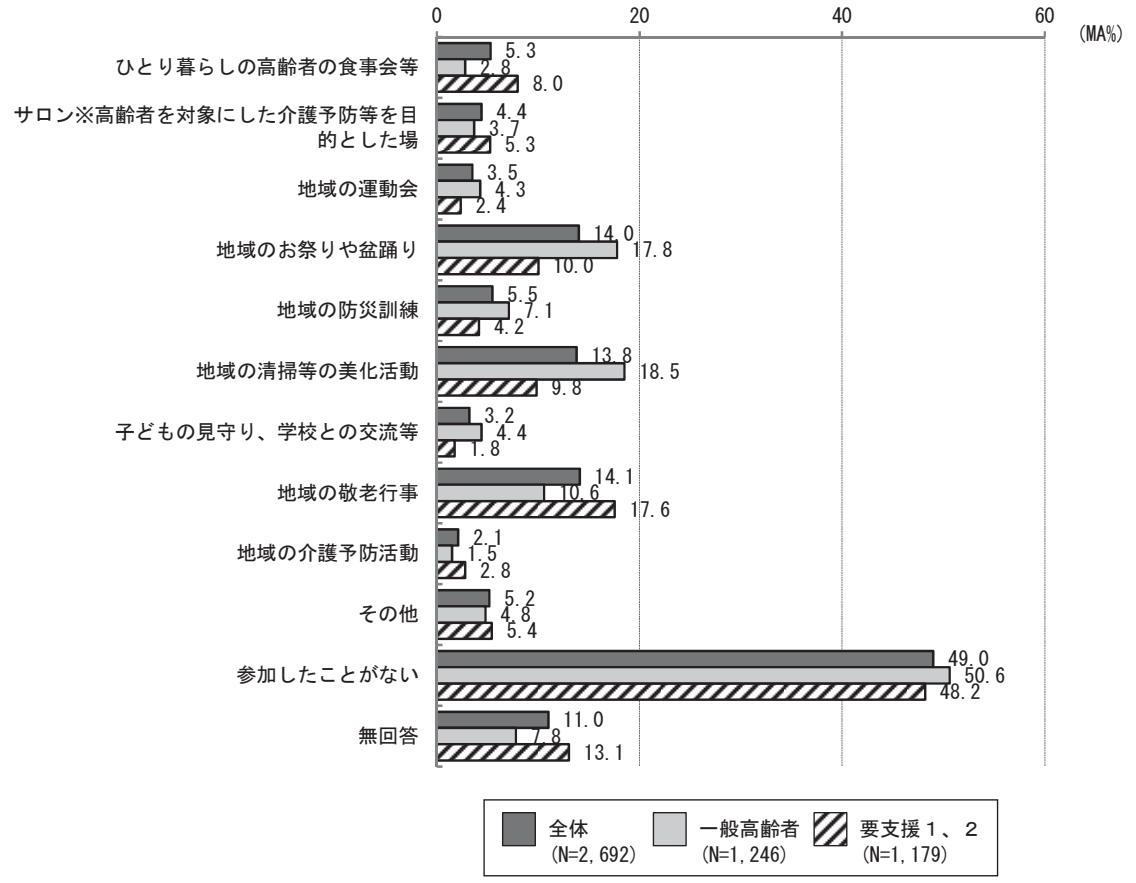
問５－（４）　あなたは、近所づきあいをどの程度されていますか（１つに○）



近所づきあいの程度については、一般高齢者では「挨拶程度がほとんど」が 40.9%、「会えば親しく話をする人がいる」が 39.2%となっています。要支援１、２では「会えば親しく話をする人がいる」が 43.9%と最も多くなっています。

〔４〕地域の行事等への参加状況

問５－（５）　あなたは、地域の行事等に参加されていますか（○はいくつでも）

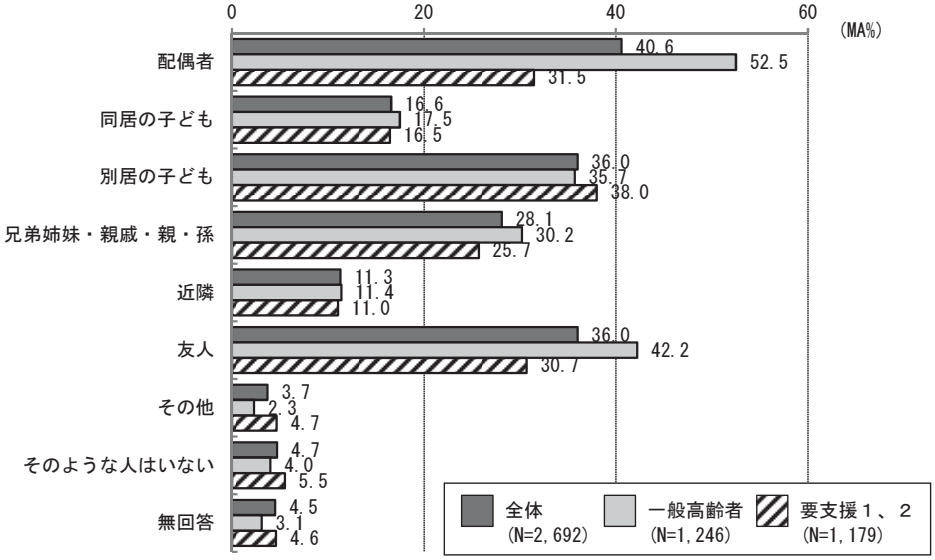


地域の行事等への参加状況については、「参加したことがない」が約半数となっていますが、一般高齢者では「地域のお祭りや盆踊り」、「地域の清掃等の美化活動」、要支援１、２では「地域の敬老行事」に２割弱の参加がみられます。

７．たすけあいについて

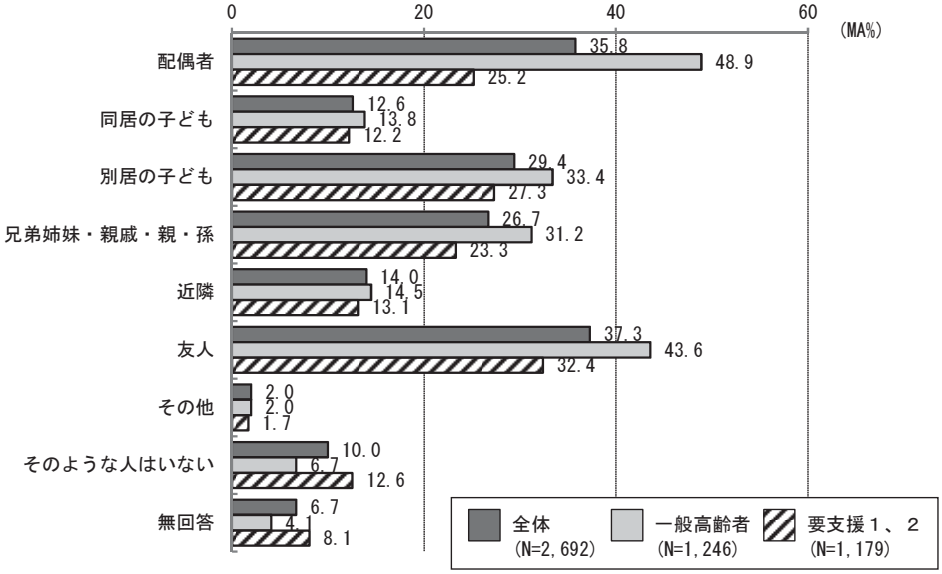
〔１〕まわりの人とのたすけあいの状況

問６－（１）　あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）



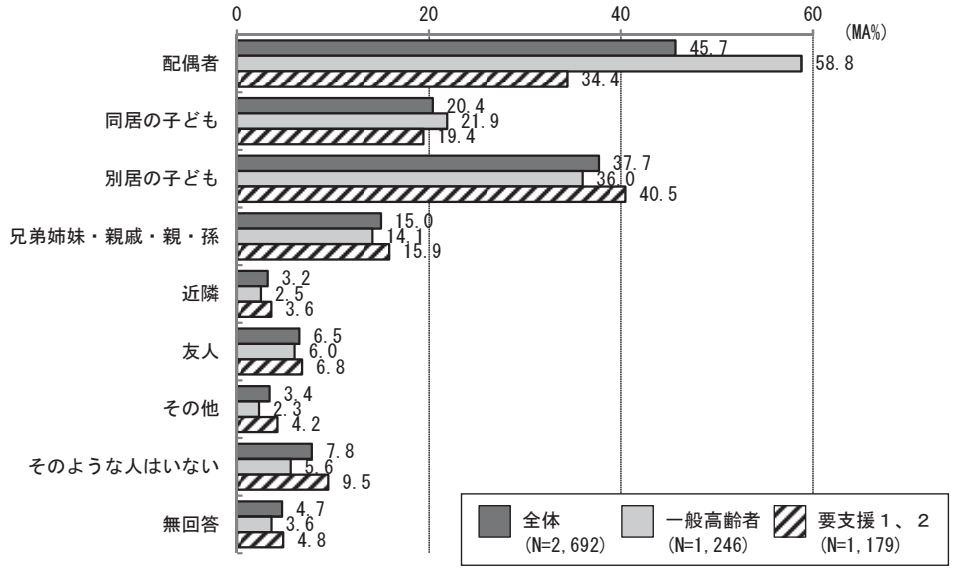
心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、一般高齢者では「配偶者」が 52.5%と最も多く、要支援１、２では「別居の子ども」が 38.0%と最も多くなっています。

問６－（２）　反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）



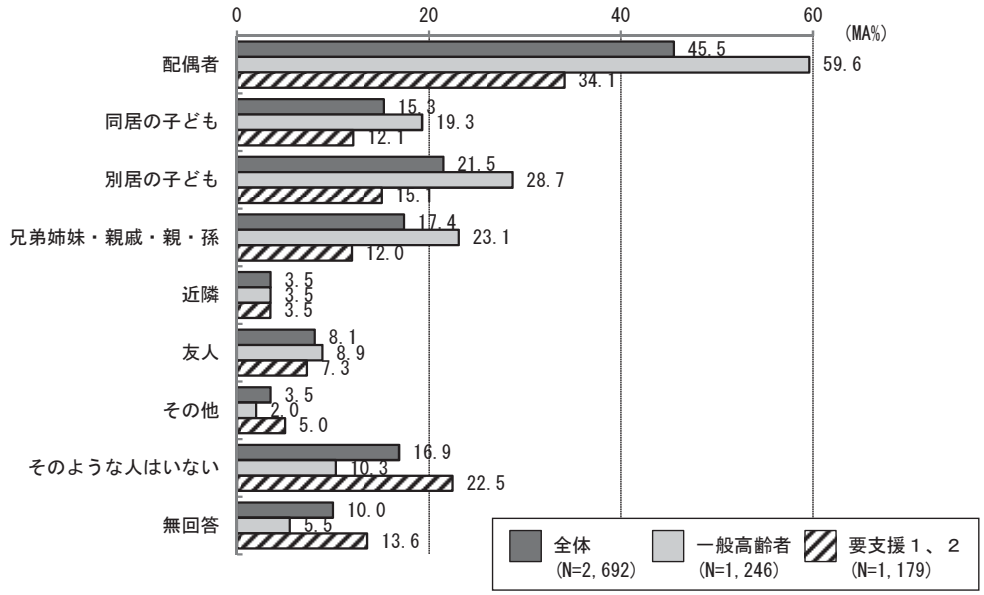
心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、一般高齢者では「配偶者」が 48.9%と最も多く、要支援１、２では「友人」が 32.4%と最も多くなっています。要支援１、２では「そのような人はいない」も１割（12.6%）ほどみられます。

問６－（３）　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（○はいくつでも）



看病や世話をしてくれる人は、一般高齢者では「配偶者」が 58.8%と最も多く、要支援１、２では「別居の子ども」が 40.5%と最も多くなっています。

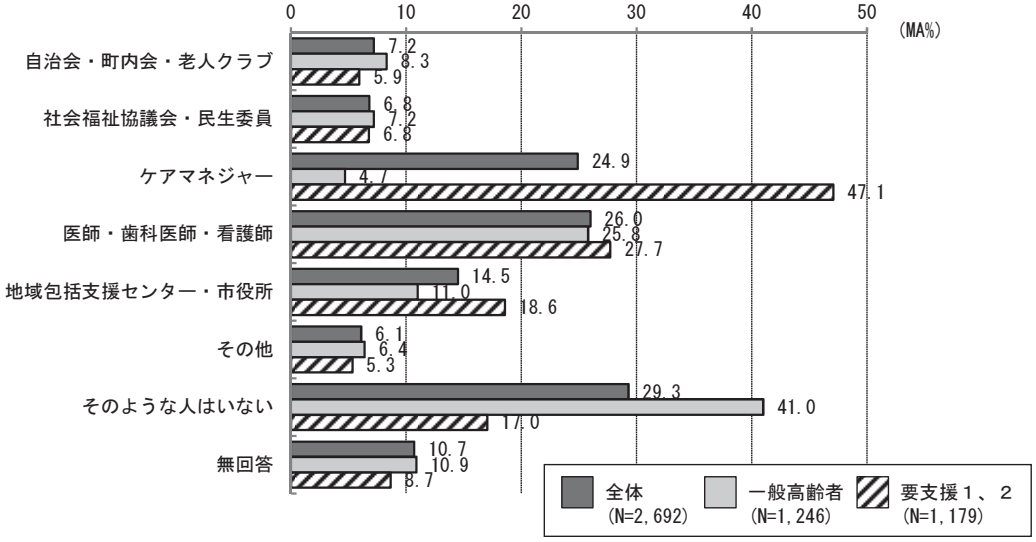
問６－（４）　反対に、看病や世話をしてあげる人（○はいくつでも）



看病や世話をしてあげる人は、一般高齢者、要支援１、２ともに「配偶者」が最も多く、一般高齢者で 59.6%、要支援１、２で 34.1%となっています。また、要支援１、２では「そのような人はいない」が 22.5%と多くなっています。

〔２〕家族や友人・知人以外の相談先

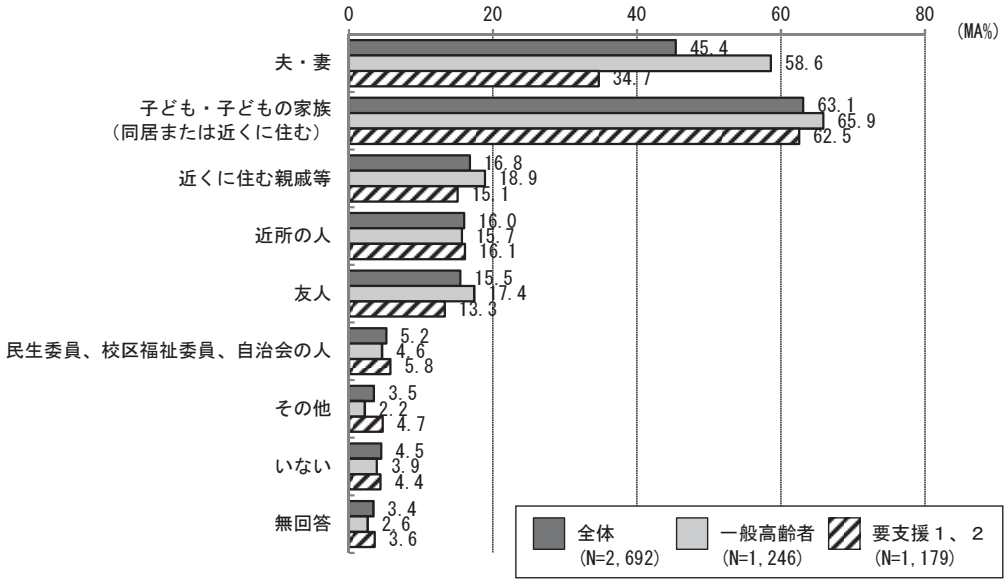
問６－（５）　家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（○はいくつでも）



家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手については、一般高齢者では「そのような人はいない」が 41.0%と多く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が 25.8%となっています。要支援１、２では「ケアマネジャー」が 47.1%と最も多く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が 27.7%となっています。

〔３〕緊急時に身近に頼ることのできる人がいるか

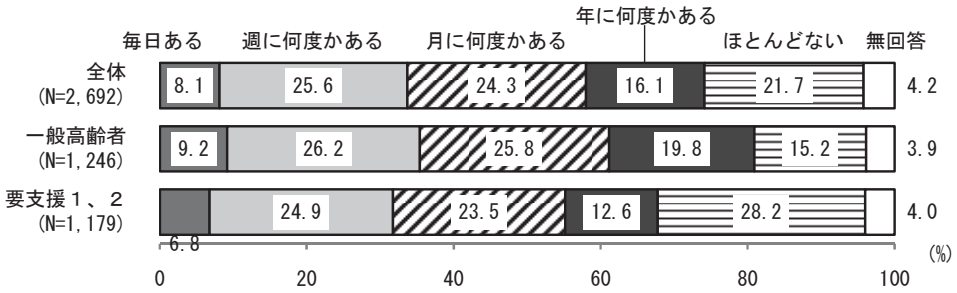
問６－（６）　あなたは、緊急時等何かあったときに、身近に頼ることのできる人がいますか（いくつでも）



緊急時等何かあったときに、身近に頼ることのできる人がいるかについては、一般高齢者、要支援１、２ともに「子ども・子どもの家族（同居または近くに住む）」が６割台で最も多くなっています。

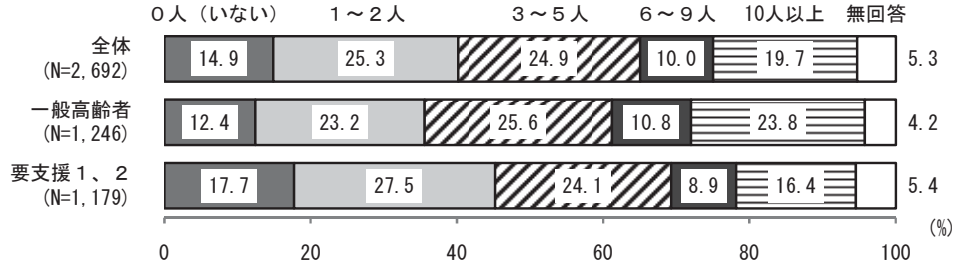
〔４〕交友関係

問６－（７）　友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（１つに○）



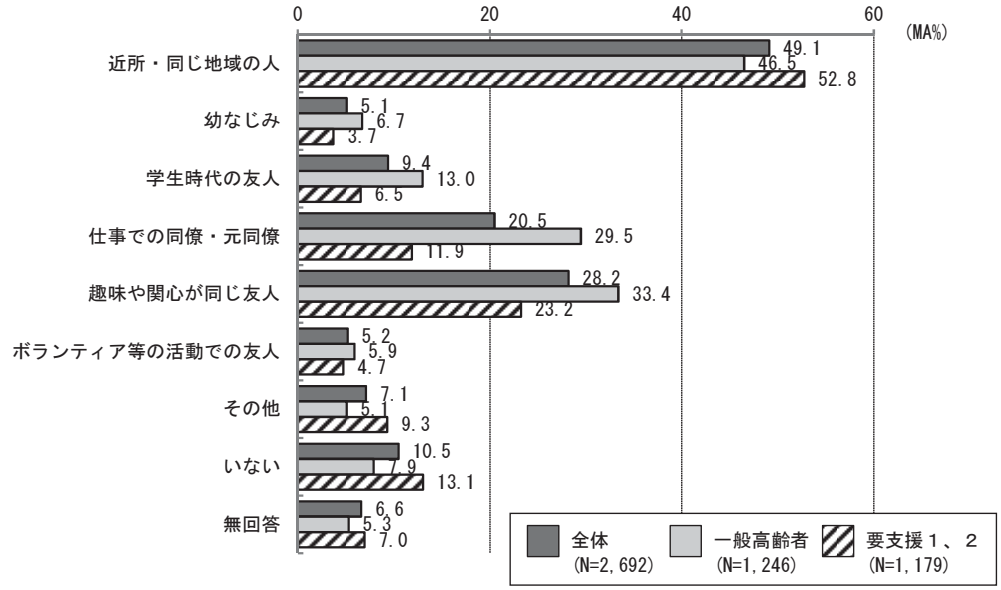
友人・知人と会う頻度については、一般高齢者では「週に何度かある」が 26.2%、「月に何度かある」が 25.8%と多くなっています。要支援１、２では「ほとんどない」が 28.2%と多くなっています。

問６－（８）　この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても１人と数えることとします（１つに○）



この１か月間に会った友人・知人の数については、一般高齢者では「３～５人」が 25.6%、「10人以上」が 23.8%と多く、要支援１、２では「１～２人」が 27.5%と多くなっています。

問６－（９）　よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（○はいくつでも）

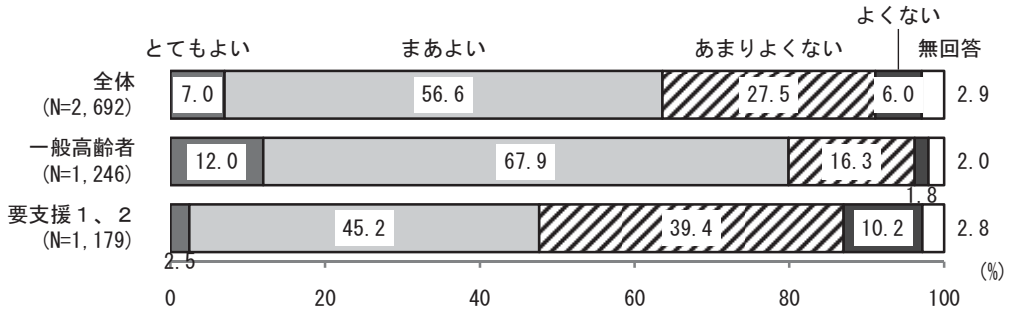


よく会う友人・知人との関係については、一般高齢者、要支援１、２ともに「近所・同じ地域の人」が５割前後で最も多くなっています。

８．健康・仕事・生きがいについて

〔１〕現在の健康状態

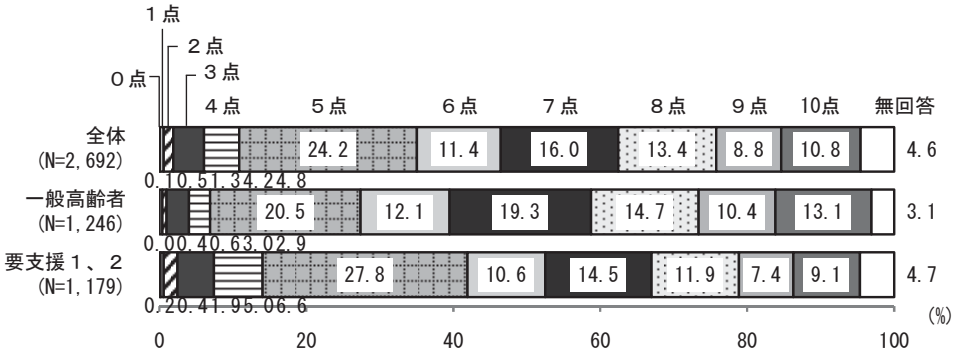
問７－（１）　現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つに○）



現在の健康状態についてたずねたところ、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』は、一般高齢者で 79.9%、要支援１、２で 47.7%となっています。

〔２〕現在の幸せ度

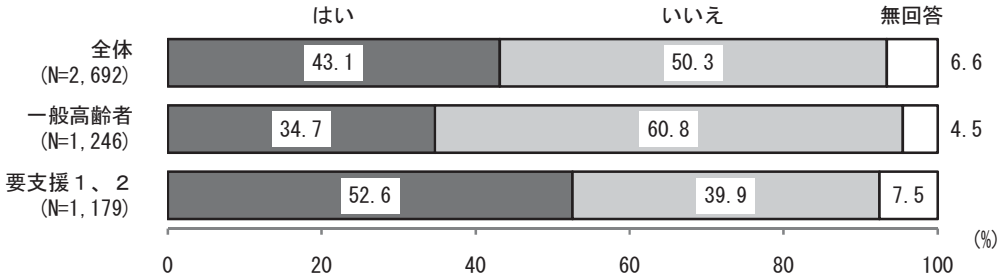
問７－（２）　あなたは、現在どの程度幸せですか
（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください）



現在の幸せ度を10点満点で評価してもらったところ、一般高齢者では「５点」が 20.5%、「７点」が 19.3%と多く、平均 7.0 点、要支援１、２では「５点」が 27.8%と多く、平均 6.3 点となっています。

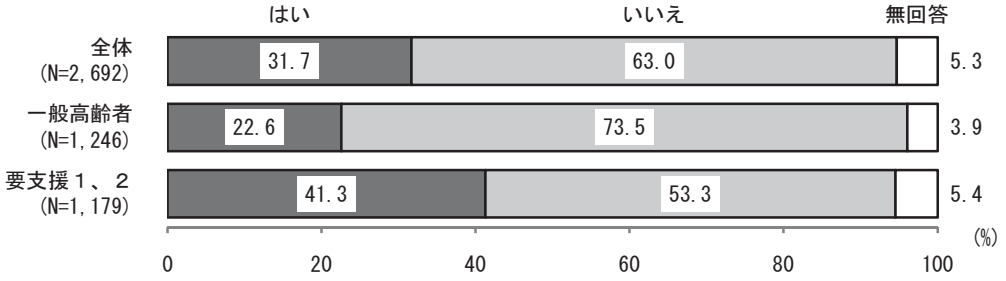
〔３〕この１か月間の心の状況

問７－（３）　この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（１つに○）



この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 34.7%、要支援１、２で 52.6%となっています。

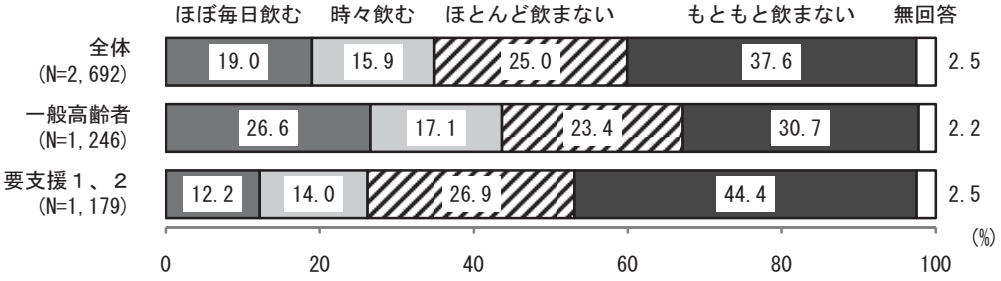
問７－（４）　この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（１つに○）



この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で 22.6%、要支援１、２で 41.3%となっています。

〔４〕飲酒状況

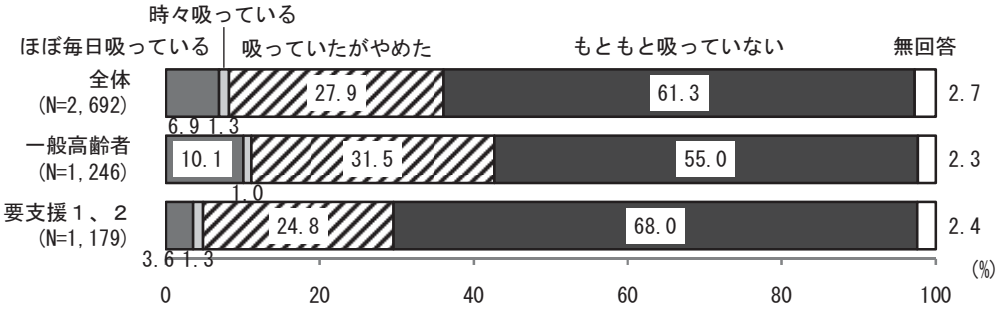
問７－（５）　お酒は飲みますか（１つに○）



飲酒については、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲む』は一般高齢者で 43.7%、要支援１、２で 26.2%となっています。

〔５〕喫煙状況

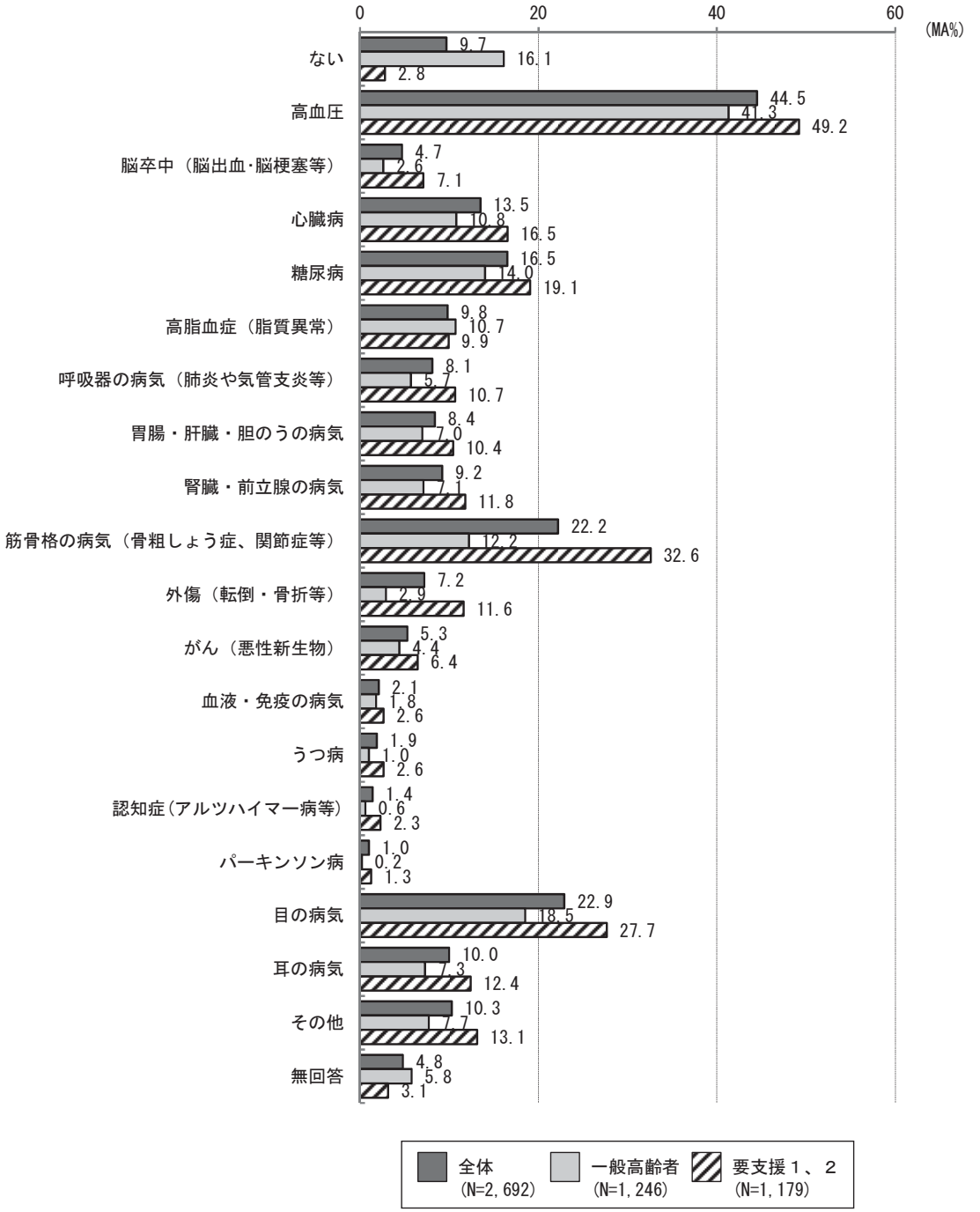
問７－（６）　タバコは吸っていますか（１つに○）



喫煙については、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』は一般高齢者で 11.1%、要支援１、２で 4.9%となっています。

〔６〕現在治療中の病気等

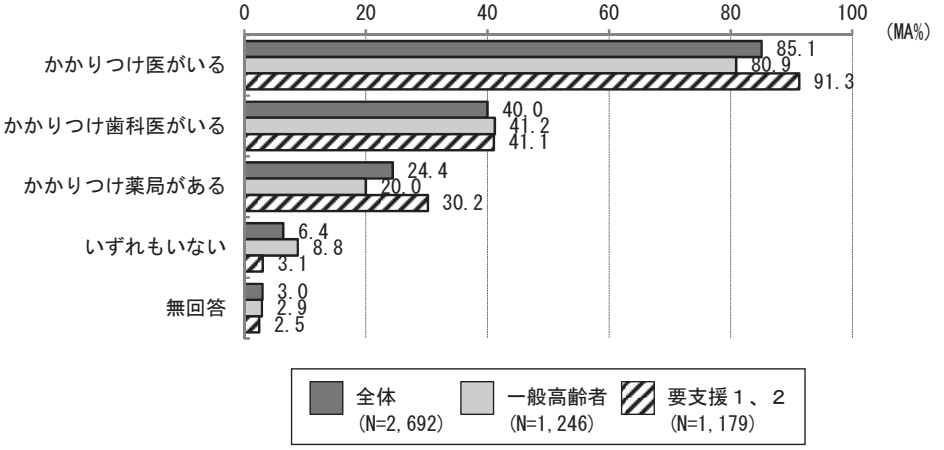
問７－（７）　現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（○はいくつでも）



現在治療中、または後遺症のある病気については、一般高齢者、要支援１、２ともに「高血圧」が４割台で最も多く、次いで、一般高齢者では「目の病気」、要支援１、２では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等)」となっています。

〔７〕かかりつけ医の有無

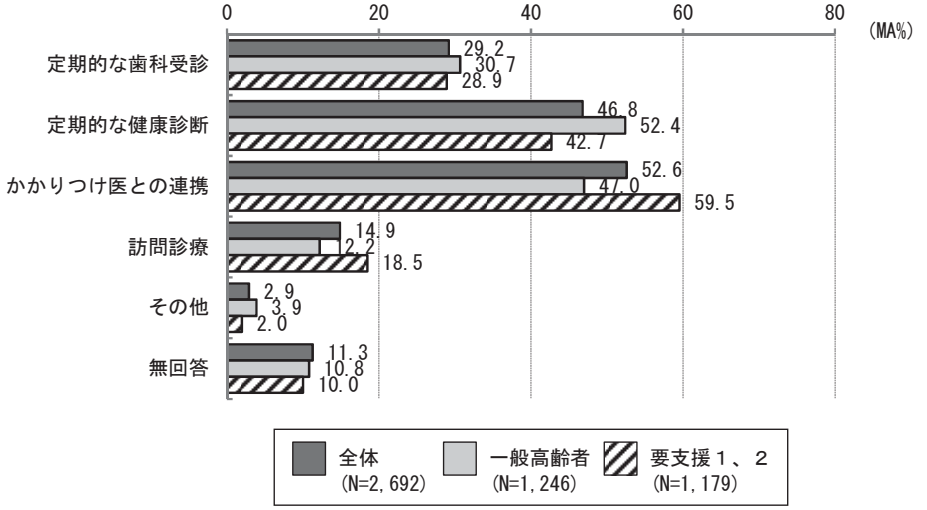
問７－（８）　健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」等がいますか。（○はいくつでも）



「かかりつけ医」等の有無については、一般高齢者、要支援１、２ともに「かかりつけ医がいる」が８～９割と多く、「かかりつけ歯科医がいる」は４割、「かかりつけ薬局がある」は一般高齢者で２割、要支援１、２で３割となっています。

〔８〕在宅生活を続けるために必要な医療支援

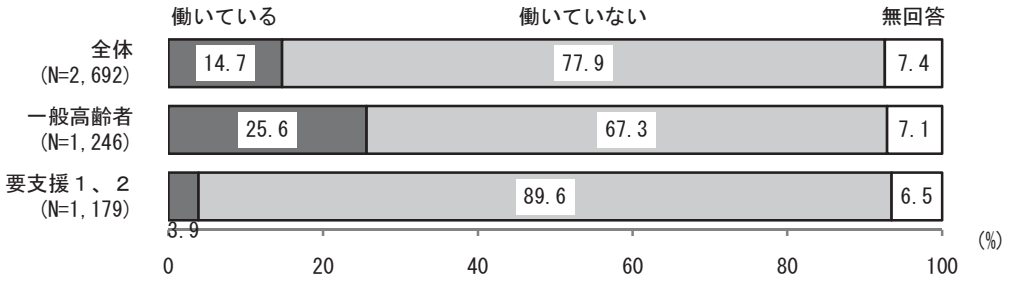
問７－（９）　自宅で暮らし続けるためには、医療においてどのような支援が必要ですか（○はいくつでも）



自宅で暮らし続けるために必要な医療における支援については、一般高齢者では「定期的な健康診断」が 52.4%と最も多く、要支援１、２では「かかりつけ医との連携」が 59.5%と最も多くなっています。

〔９〕現在の就労状況

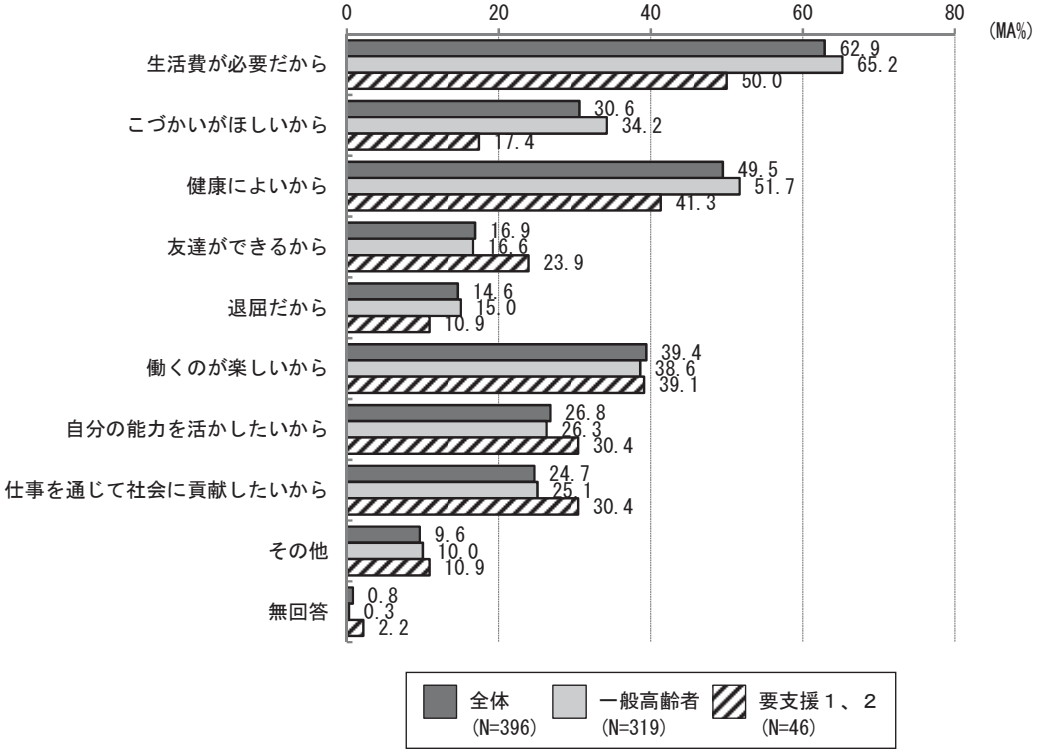
問７－（10）　あなたは現在、働いていますか（１つに○）



現在「働いている」と回答した人は一般高齢者で 25.6%、要支援１、２では 3.9%となっています。

〔10〕働いている理由

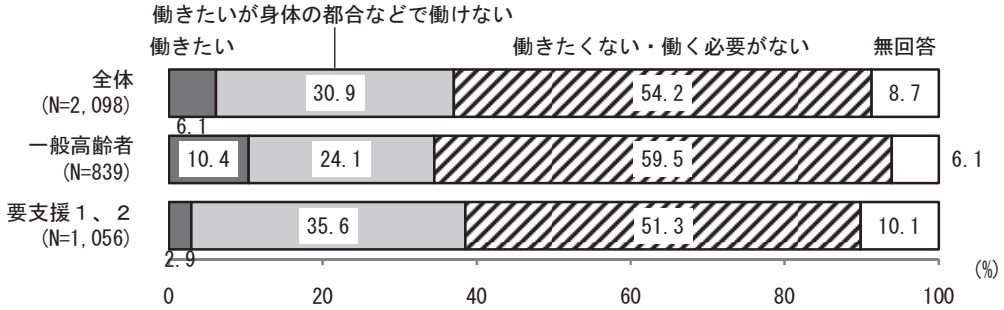
【問７－（10）で「１．働いている」と回答された方のみ】
問７－（10）－１　働いている理由は何ですか（○はいくつでも）



現在働いている人にその理由をたずねたところ、一般高齢者、要支援１、２ともに「生活費が必要だから」が５～６割で最も多く、次いで、「健康によいから」が４～５割となっています。

〔11〕就労に対する希望

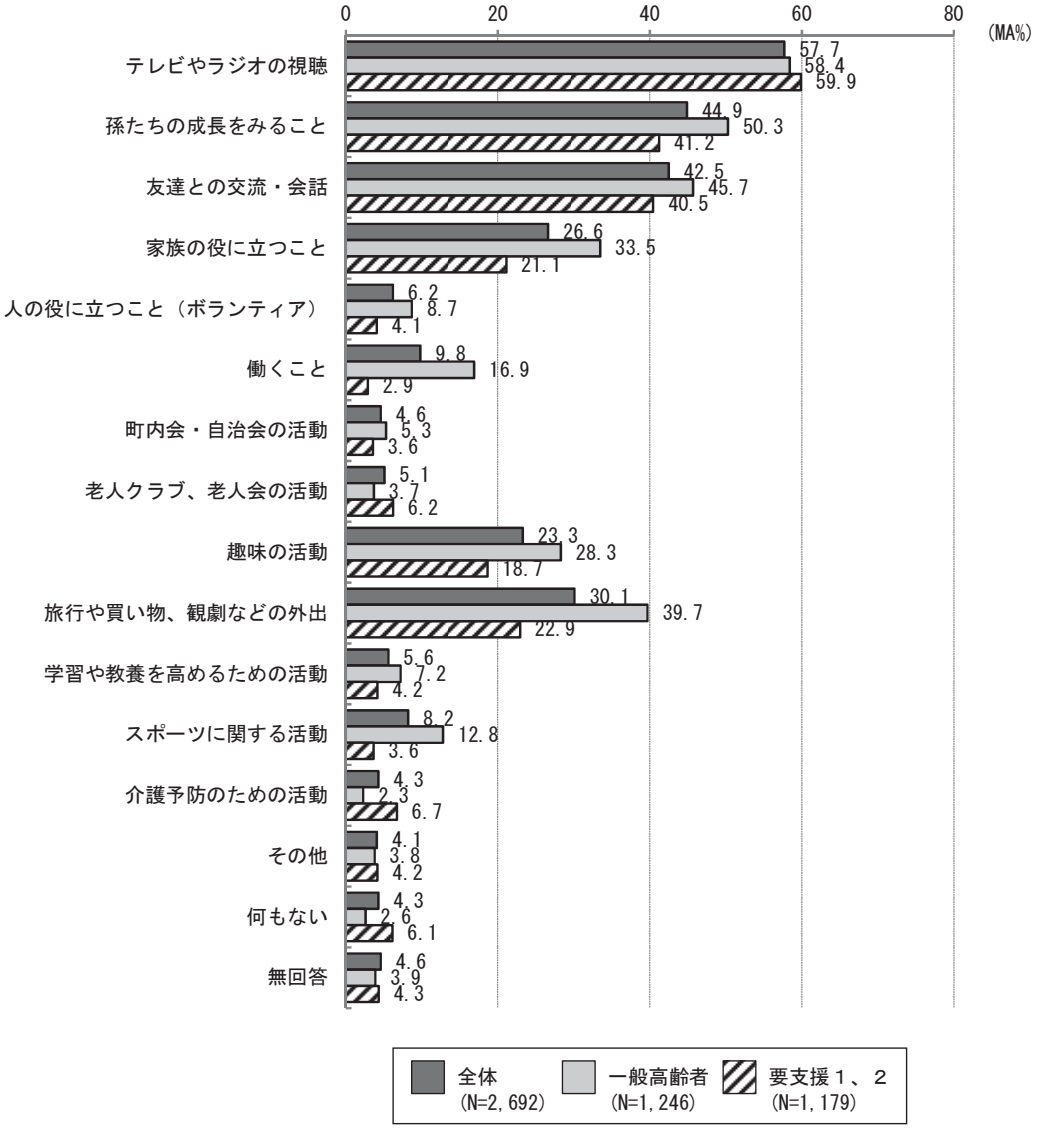
【問７－（10）で「２．働いていない」と回答された方のみ】
問７－（10）－２　今後、働きたいと思いますか（１つに○）



現在働いていない人に就労に対する希望をたずねたところ、一般高齢者、要支援１、２ともに「働きたくない・働く必要がない」が５割台で最も多く、「働きたい」は一般高齢者で１割（10.4%）ほどみられます。

〔12〕生きがいや楽しみを感じること

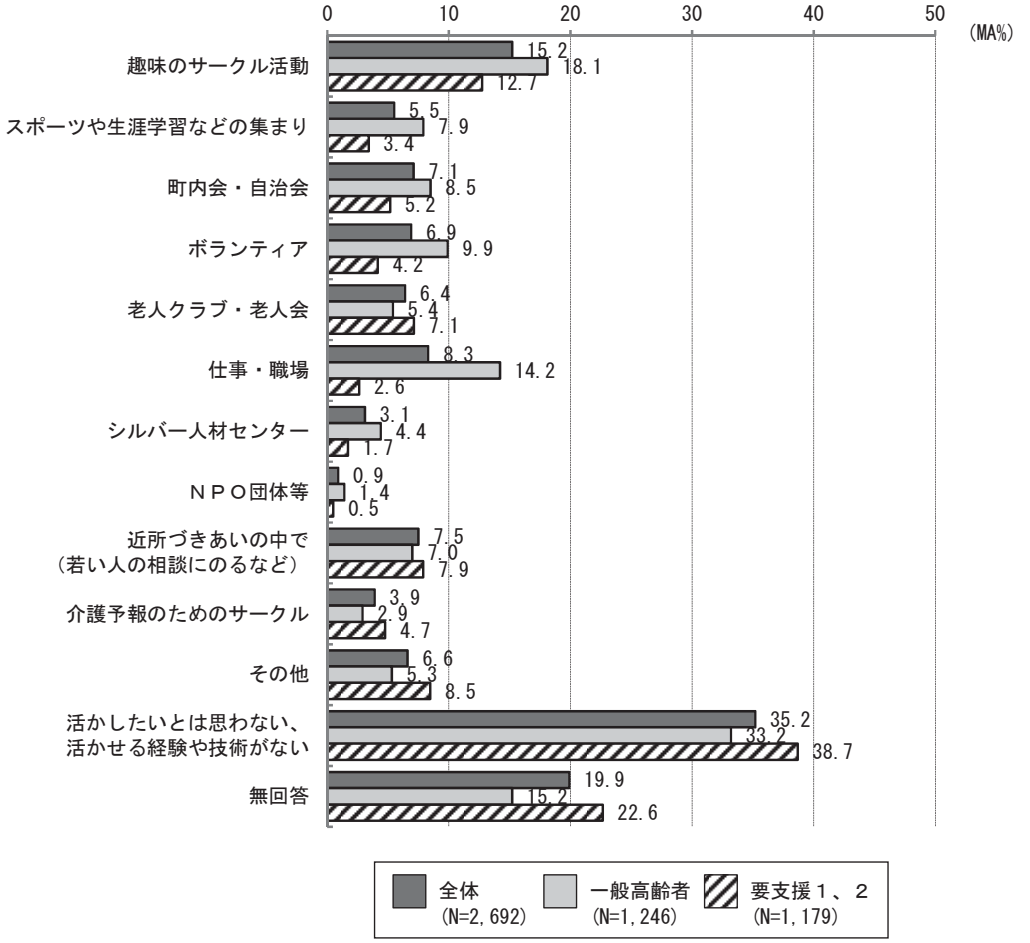
問７－（11）　あなたが現在やっていることで、生きがいや楽しみを感じるのはどんなことですか（○はいくつでも）



現在やっていることで、生きがいや楽しみを感じることについては、一般高齢者、要支援１、２ともに「テレビやラジオの視聴」が６割弱と最も多く、次いで、「孫たちの成長をみること」、「友達との交流・会話」となっています。

〔13〕経験や技術を活かせる場

問７－（12）　あなたは、これまでの生活（仕事、地域活動、家事・育児等）の中で身につけた経験や技術を、これから活かしていきたいと思いますか。どのような場で活かすことができると思いますか（○はいくつでも）

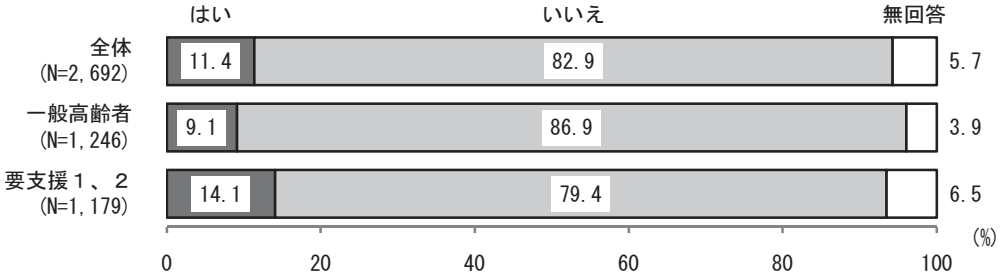


これまでの生活の中で身につけた経験や技術をどのような場で活かすことができるかについては、一般高齢者では「趣味のサークル活動」が 18.1%と最も多く、次いで、「仕事・職場」が 14.2%となっています。要支援１、２では「趣味のサークル活動」が 12.7%で最も多く、他は１割未満となっています。一方で、「活かしたいとは思わない、活かせる経験や技術がない」は一般高齢者、要支援１、２ともに３割台みられます。

９．認知症対策について

〔１〕自身や家族の認知症の症状の有無

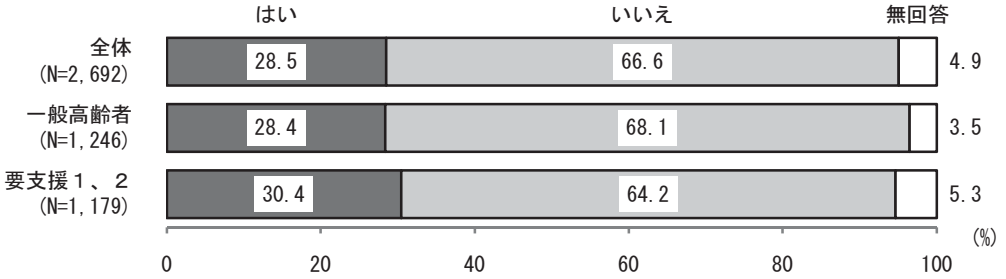
問８－（１）　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（１つに○）



自身や家族に認知症の症状があるかについて、「はい」と回答した人は一般高齢者で9.1%、要支援１、２で14.1%となっています。

〔２〕認知症に関する相談窓口の認知度

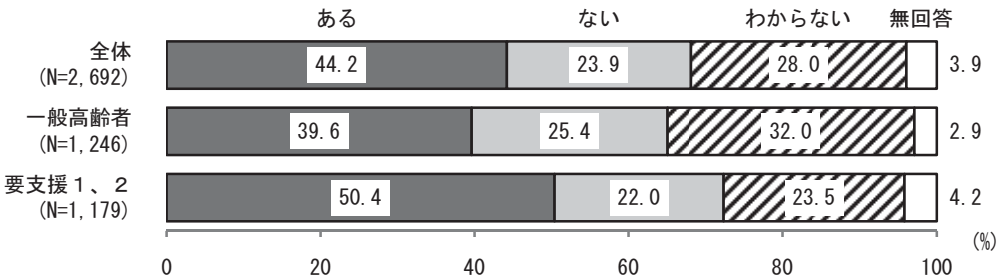
問８－（２）　認知症に関する相談窓口を知っていますか（１つに○）



認知症に関する相談窓口の認知について、「はい」（知っている）と回答した人は一般高齢者で28.4%、要支援１、２で30.4%となっています。

〔３〕認知症に対する不安

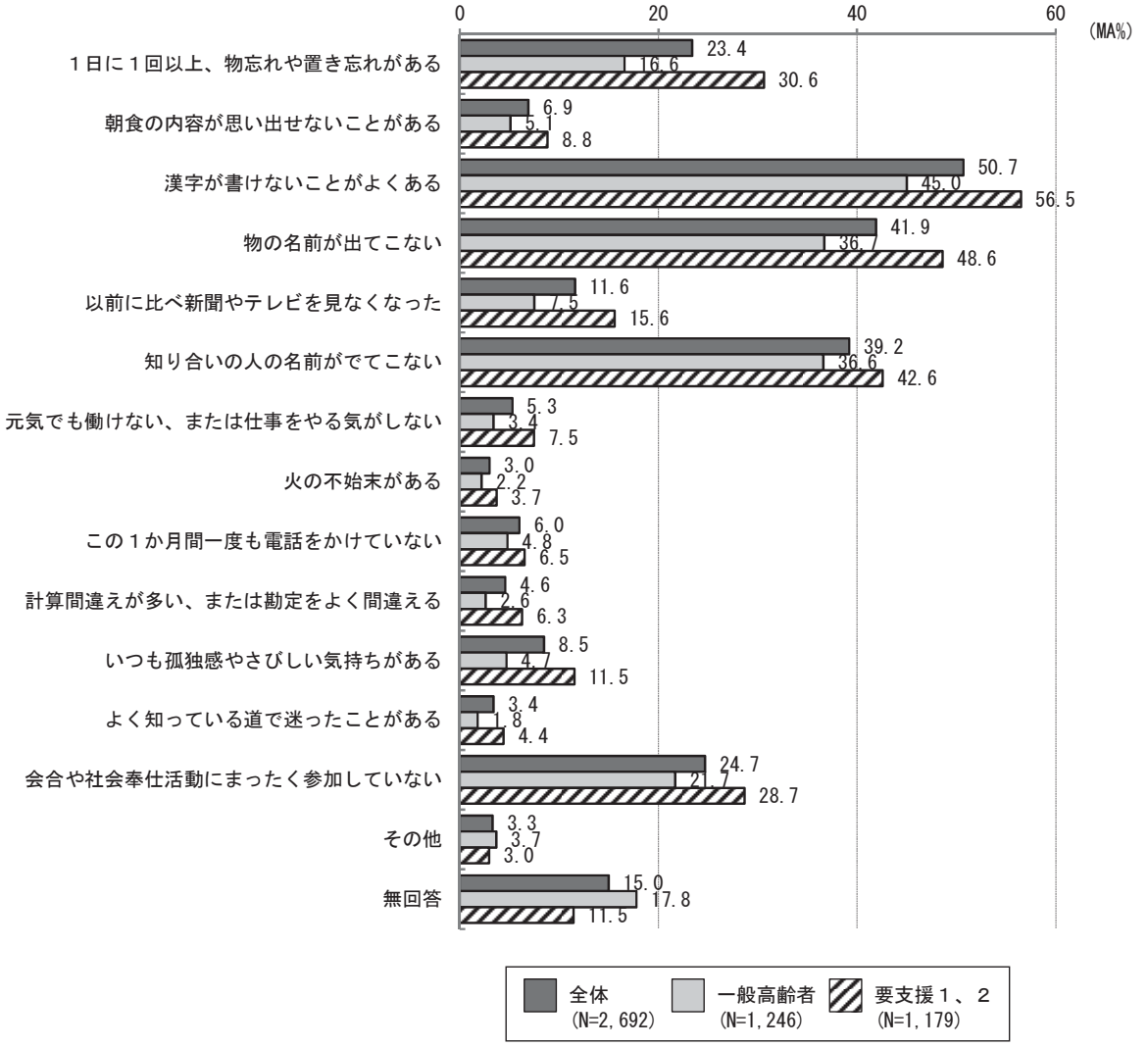
問８－（３）　あなたは認知症に対する不安がありますか（１つに○）



認知症に対する不安があるかについて、「ある」と回答した人は一般高齢者で39.6%、要支援１、２で50.4%となっています。

〔４〕認知機能の低下についての自覚症状

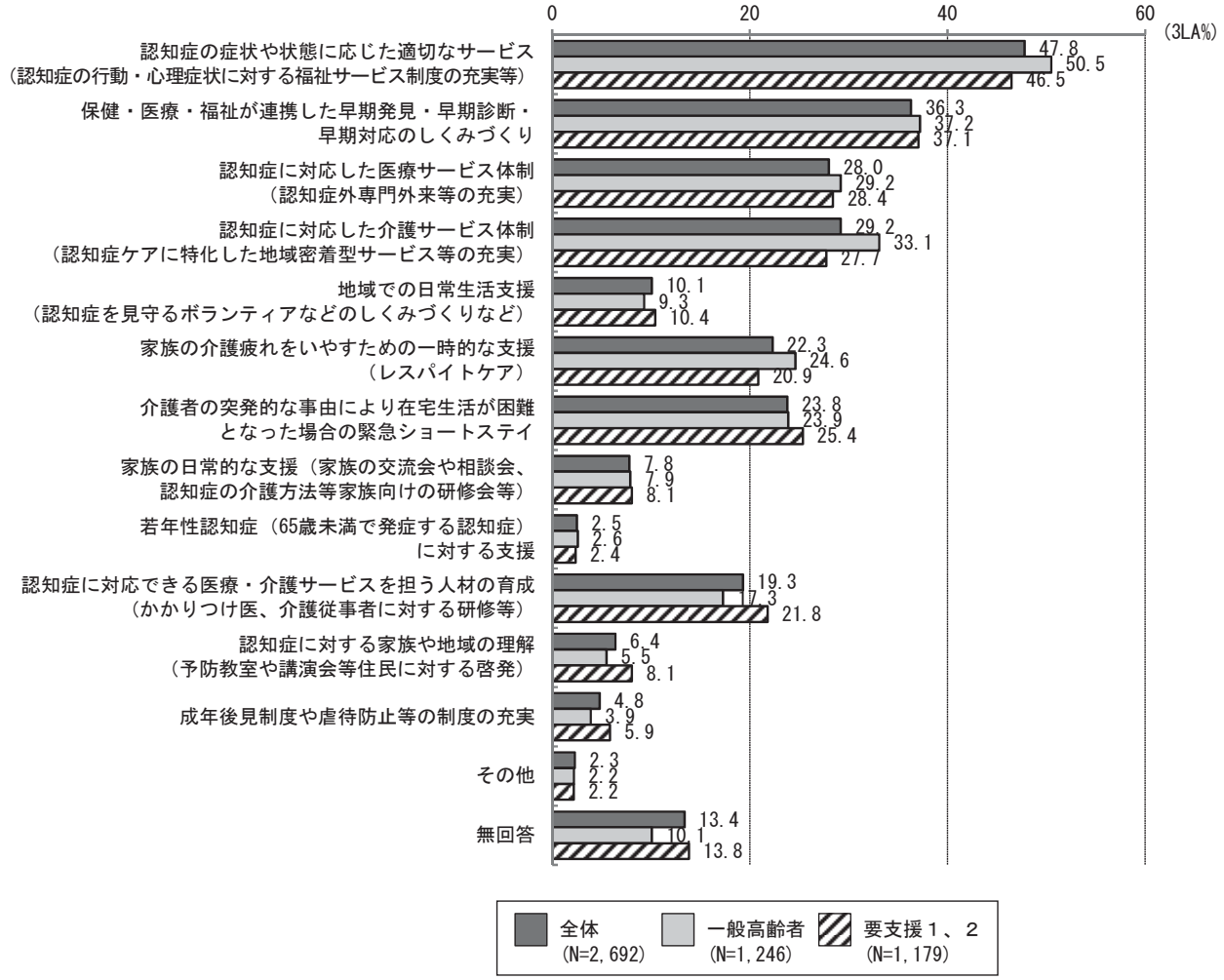
問８－（４）　最近、以下のような症状や状態を感じることがありますか
（○はいくつでも）



認知機能の低下について最近感じる症状は、一般高齢者、要支援１、２ともに「漢字が書けないことがよくある」が４～５割台と最も多く、次いで、「物の名前が出てこない」、「知り合いの人の名前がでてこない」となっており、いずれも要支援１、２で多くなっています。

〔５〕認知症になった場合、安心して生活するために重点をおくべきこと

問８－（５）　あなたご自身や家族が認知症になった場合、安心して生活していくためにはどのようなことに重点をおくべきだと思いますか（３つまでに○）

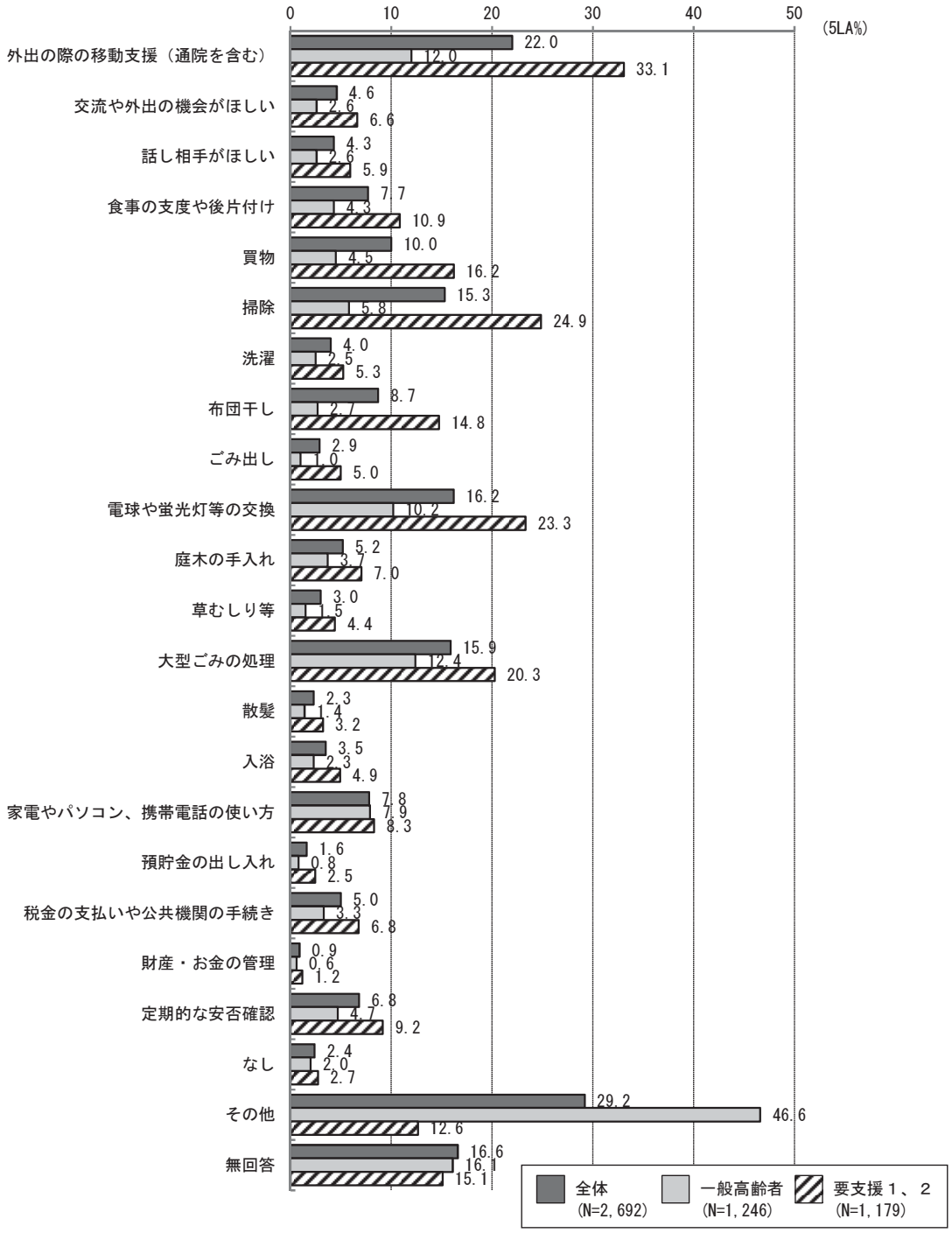


認知症になった場合、安心して生活していくために重点をおくべきことについては、一般高齢者、要支援１、２ともに「認知症の症状や状態に応じた適切なサービス（認知症の行動・心理症状(外出中道に迷う等)に対する福祉サービス制度の充実等)」が４～５割で最も多く、次いで、「保健・医療・福祉が連携した早期発見・早期診断・早期対応のしくみづくり」となっています。

10. 必要となる支援や介護保険サービスについて

〔１〕日常生活の中で、手助けしてほしいこと

問９－（１）　現在、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか
（５つまでに○）

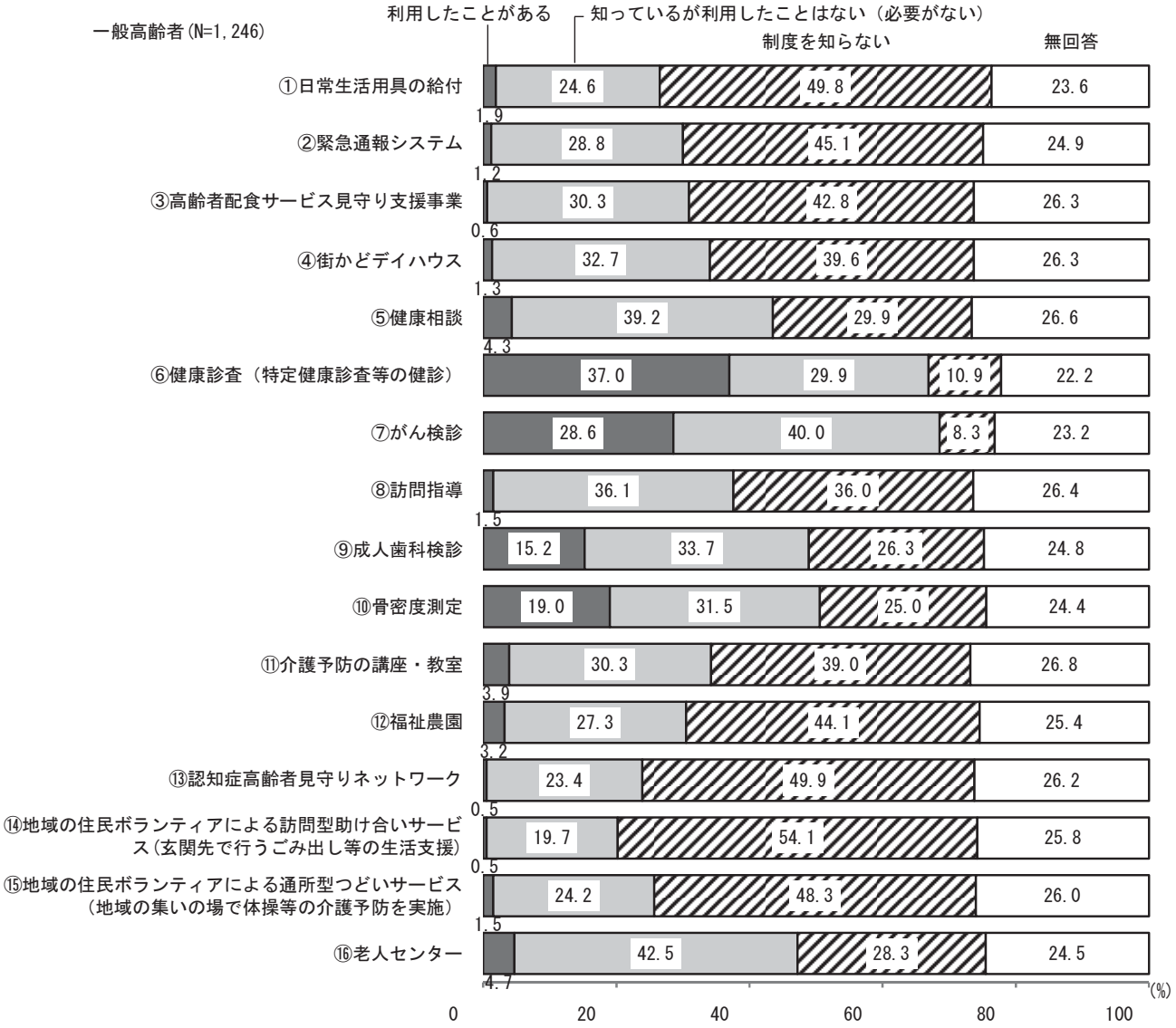


日常生活の中で手助けしてほしいことは、一般高齢者では「大型ごみの処理」(12.4%)、「外出の際の移動支援（通院を含む)」(12.0%) などが多く、要支援１、２では「外出の際の移動支援(通院を含む)」(33.1%)、「掃除」(24.9%)、「電球や蛍光灯の交換」(23.3%)、「大型ごみの処理」(20.3%) などが多くなっています。

〔２〕サービスの利用状況と今後の利用意向

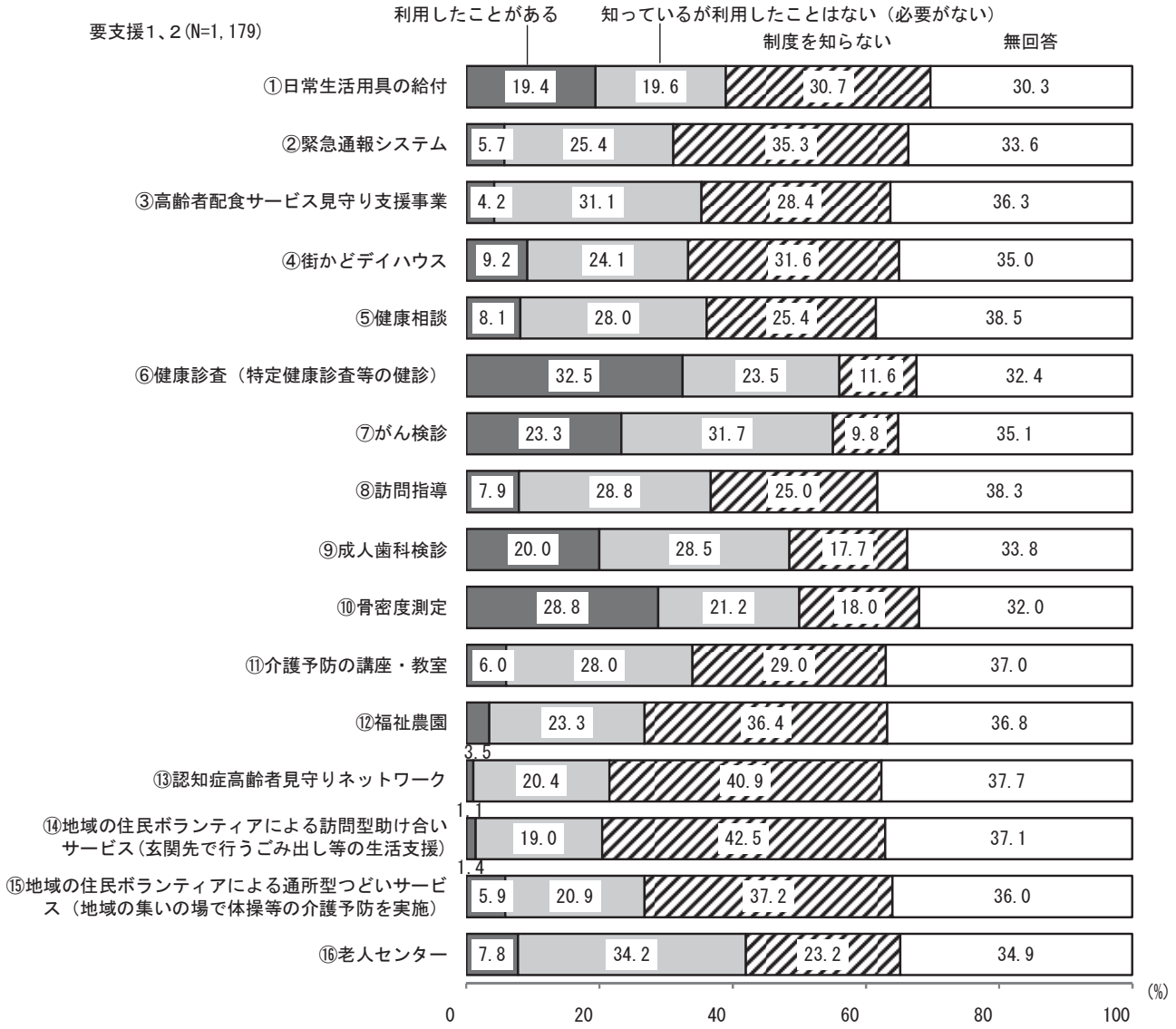
問９－（２）　以下のサービスのそれぞれについて、現在の状況や今後の利用意向をおたずねします。各項目について、１．２．３．及びＡ．Ｂ．Ｃ．のそれぞれ１つに○をつけてください

【サービス利用状況　一般高齢者】



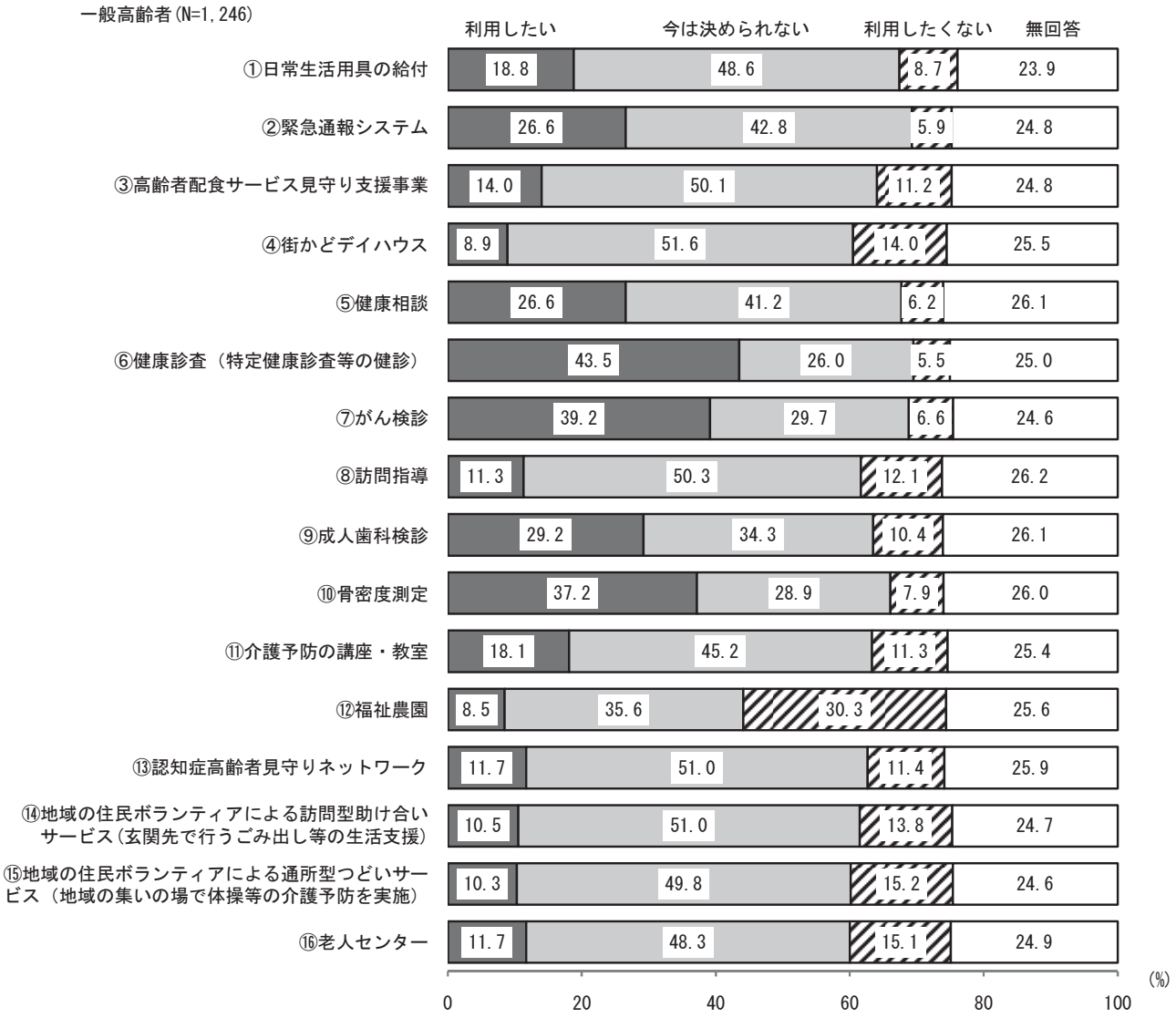
サービスの利用状況についてみると、一般高齢者で「利用したことがある」は、「⑥健康診査（特定健康診査等の健診)」が 37.0%と最も多く、次いで、「⑦がん検診」が28.6%となっています。一方で、「①日常生活用具の給付」、「⑬認知症高齢者見守りネットワーク」、「⑭地域の住民ボランティアによる訪問型助け合いサービス(玄関先で行うごみ出し等の生活支援)」、「⑮地域の住民ボランティアによる通所型つどいサービス（地域の集いの場で体操等の介護予防を実施)」では「制度を知らない」が５割前後と多くなっています。

【サービス利用状況　要支援１、２】



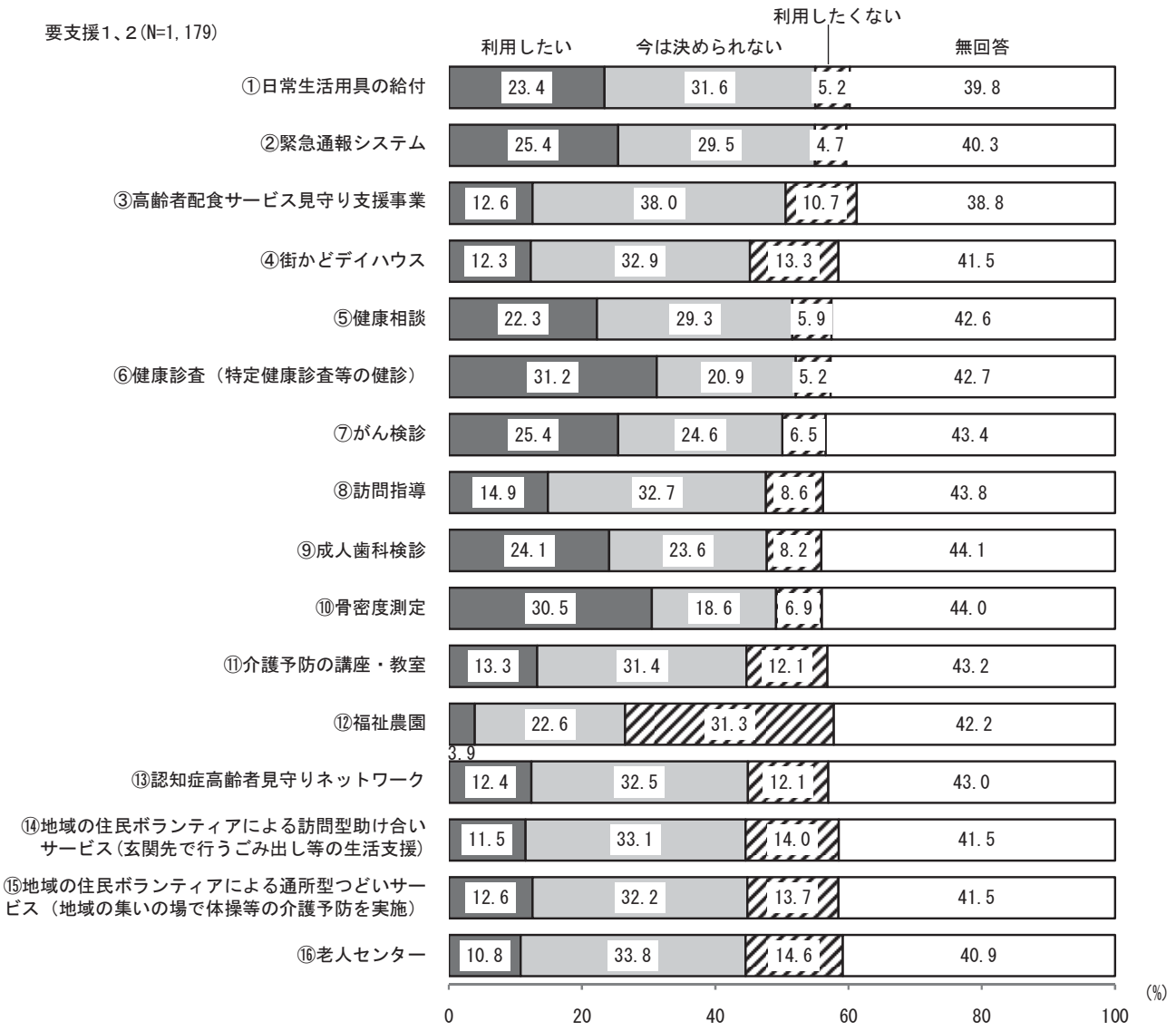
要支援１、２で「利用したことがある」は、「⑥健康診査（特定健康診査等の健診)」が 32.5%と最も多く、次いで、「⑩骨密度測定」が 28.8%、「⑦がん検診」が 23.3%となっています。一方で、「⑬認知症高齢者見守りネットワーク」、「⑭地域の住民ボランティアによる訪問型助け合いサービス(玄関先で行うごみ出し等の生活支援)」、「⑮地域の住民ボランティアによる通所型つどいサービス（地域の集いの場で体操等の介護予防を実施)」では「制度を知らない」が４割前後と多くなっています。

【今後の利用意向　一般高齢者】



今後の利用意向についてみると、一般高齢者で「利用したい」は、「⑥健康診査（特定健康診査等の健診)」が 43.5%と最も多く、次いで、「⑦がん検診」が 39.2%、「⑩骨密度測定」が 37.2%となっています。一方で、「⑫福祉農園」では「利用したくない」が 30.3%と、他のサービスに比べ多くなっています。

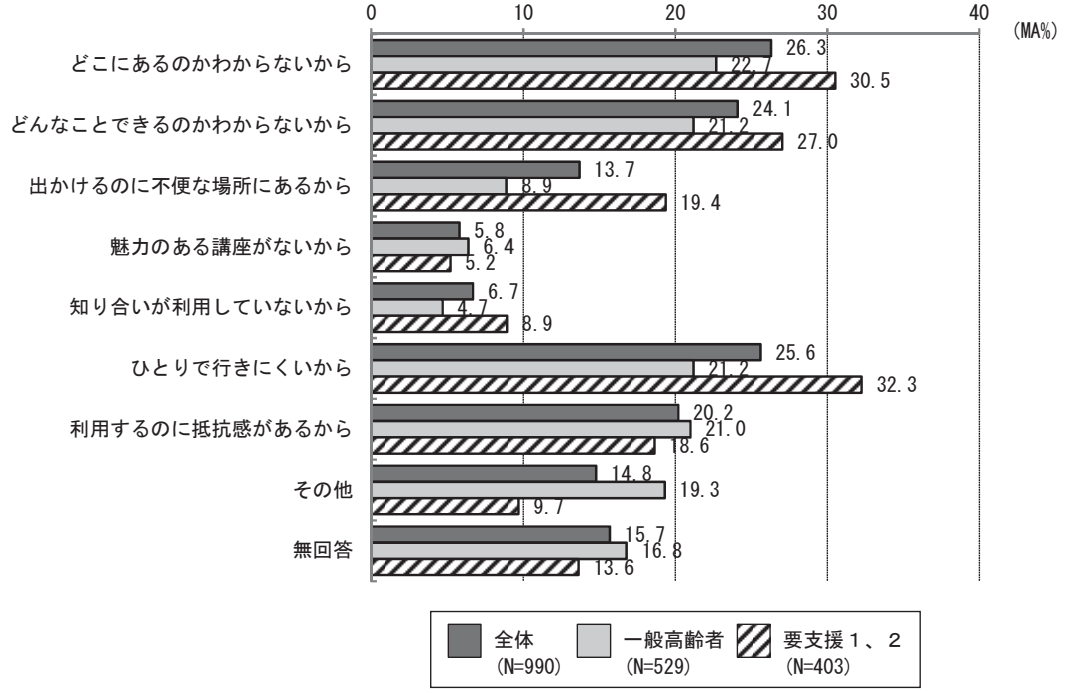
【今後の利用意向　要支援１、２】



要支援１、２で「利用したい」は、「⑥健康診査（特定健康診査等の健診)」が 31.2%と最も多く、次いで、「⑩骨密度測定」が 30.5%となっています。一方で、「⑫福祉農園」では「利用したくない」が 31.3%と、他のサービスに比べ多くなっています。

『⑯老人センター』のこれまでの利用状況で「２.知っているが利用したことはない」と回答された方のみ

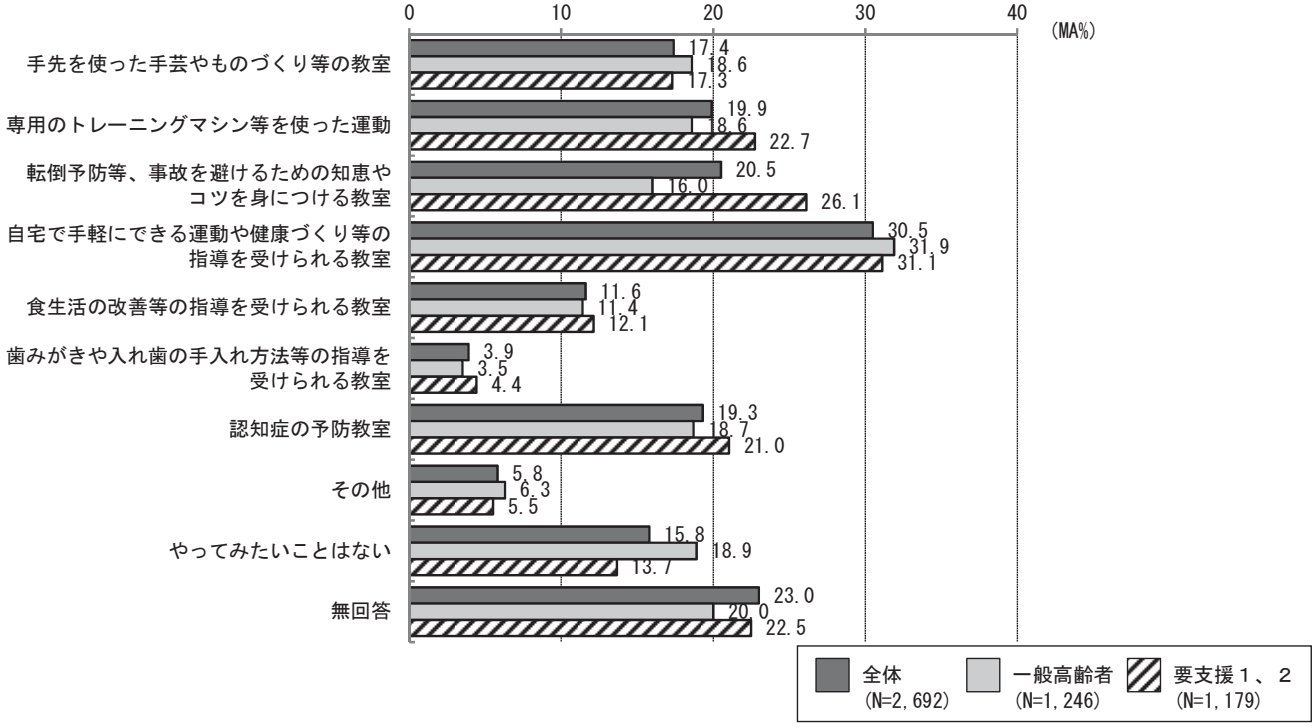
問９－（２）－１　老人センターを利用したことがない理由は何ですか
（○はいくつでも）



『⑯老人センター』を「知っているが利用したことはない」人に、その理由をたずねたところ、一般高齢者では「どこにあるのかわからないから」が 22.7%と最も多く、次いで、「どんなことできるのかわからないから」、「ひとりで行きにくいから」がそれぞれ 21.2%となっています。要支援１、２では「ひとりで行きにくいから」が 32.3%と最も多く、次いで、「どこにあるのかわからないから」が 30.5%となっています。

〔３〕介護予防の取り組みへの参加意向

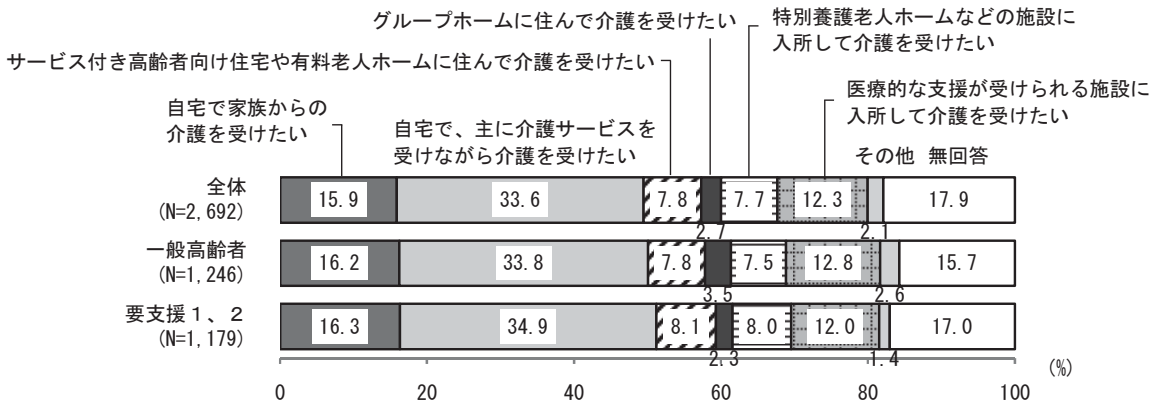
問９－（３）　あなたは、要介護にならないための運動や健康づくりの取り組みを、やってみたいと思いますか（現在やっており、続けるつもりのものも含めてお答えください）（○はいくつでも）



要介護にならないための運動や健康づくりの取り組みへの参加意向は、一般高齢者、要支援１、２ともに「自宅で手軽にできる運動や健康づくり等の指導を受けられる教室」が３割で最も多く、次いで、要支援１、２では「転倒予防等、事故を避けるための知恵やコツを身につける教室」、「専用のトレーニングマシン等を使った運動」も多くなっています。

〔４〕介護が必要になった場合の対処

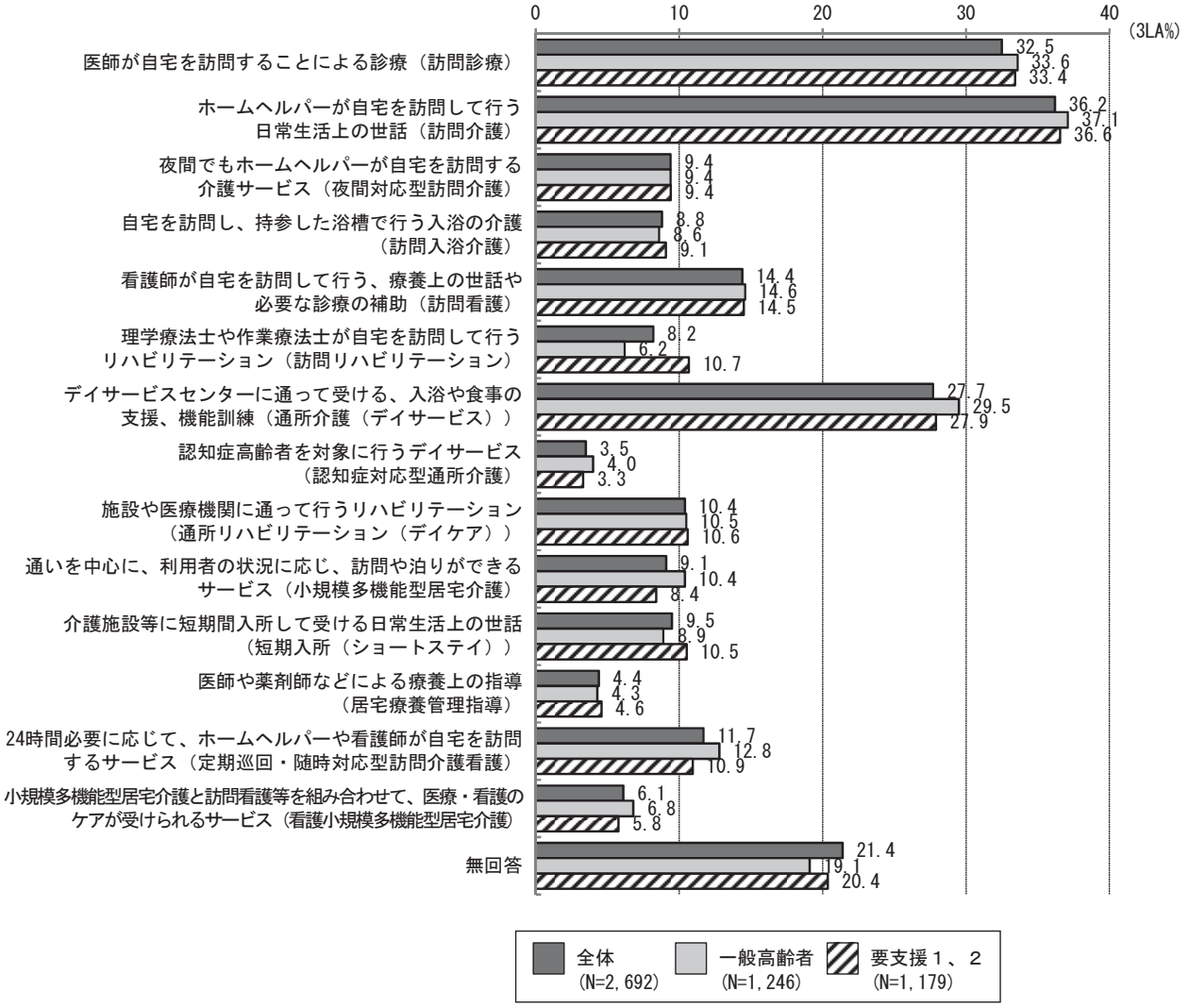
問９－（４）　あなたご自身に介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか（１つに○）



介護が必要になった場合、どのようにしたいかについては、一般高齢者、要支援１、２ともに「自宅で、主に介護サービスを受けながら介護を受けたい」が３割台で最も多く、次いで、「自宅で家族からの介護を受けたい」となっています。

〔５〕要介護状態になった場合に利用したい在宅サービス

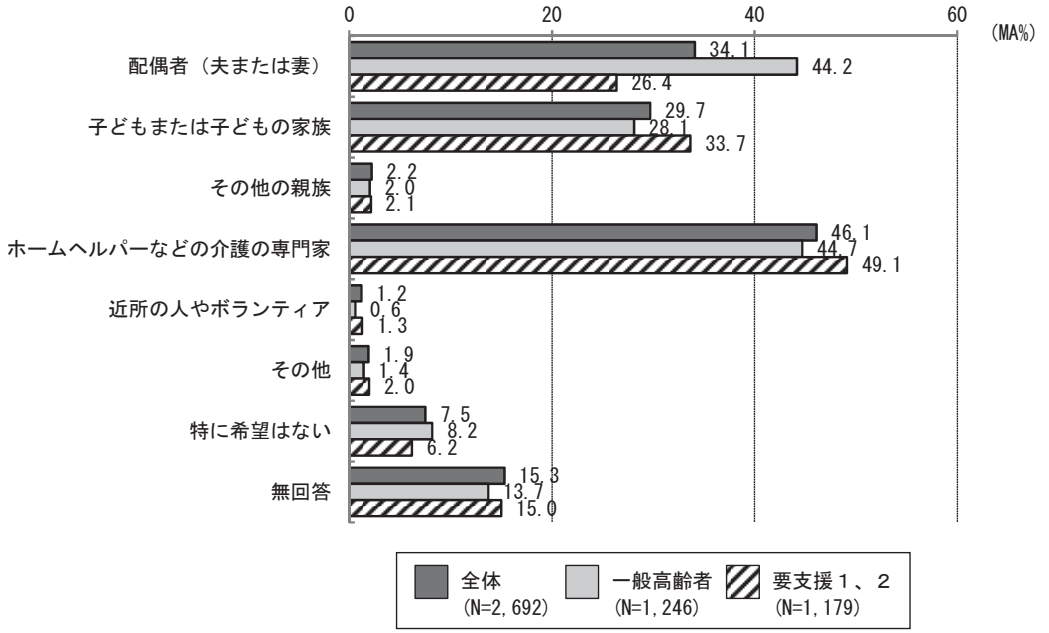
問９－（５）　要介護状態になった場合に利用したい在宅サービスは何ですか（３つまでに○）



要介護状態になった場合に利用したい在宅サービスについては、一般高齢者、要支援１、２ともに「ホームヘルパーが自宅を訪問して行う日常生活上の世話（訪問介護）」が３割台で最も多く、次いで、「医師が自宅を訪問することによる診療（訪問診療）」、「デイサービスセンターに通って受ける、入浴や食事の支援、機能訓練（通所介護（デイサービス））」となっています。

〔６〕誰の介護を受けたいか

問９－（６）　自宅で介護を受けられる場合、誰に介護されることを希望しますか（○はいくつでも）

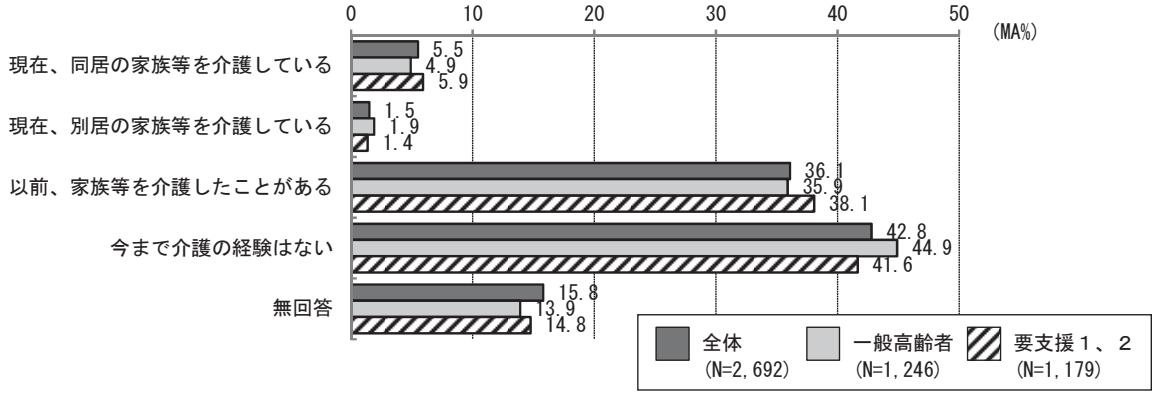


自宅で介護を受ける場合、誰に介護されることを希望するかについては、一般高齢者では「ホームヘルパーなどの介護の専門家」と「配偶者（夫または妻)」がともに４割台で多く、要支援１、２では「ホームヘルパーなどの介護の専門家」が 49.1%と最も多く、次いで、「子どもまたは子どもの家族」が 33.7%となっています。

11. 情報・相談について

〔１〕介護をした経験

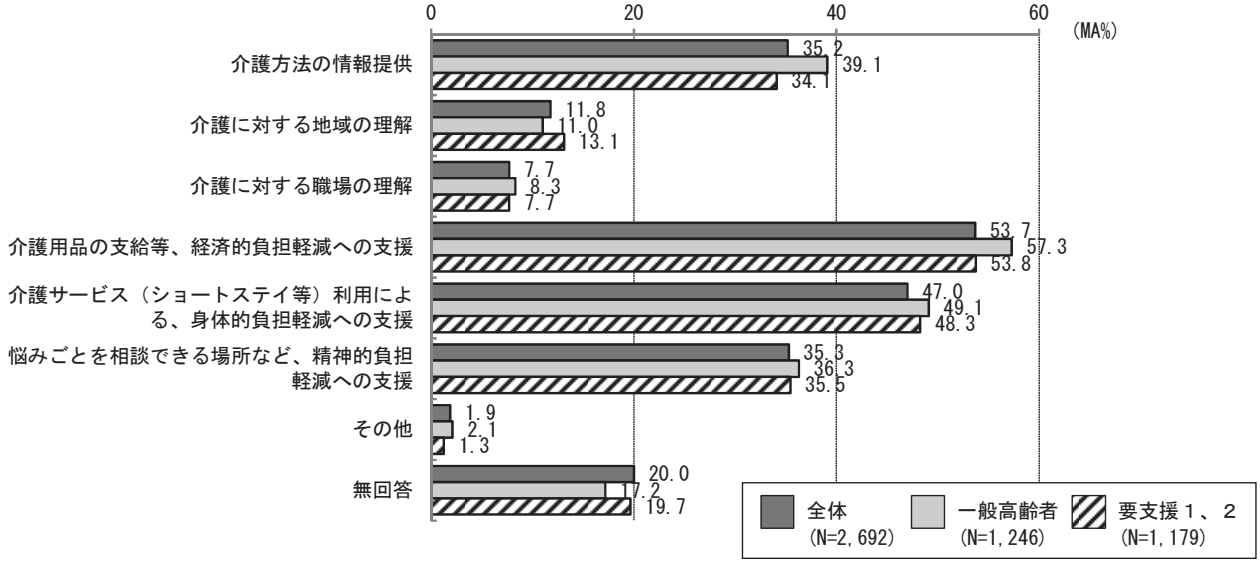
問10－（１）　あなたは、家族等の介護をした経験がありますか（○はいくつでも）



家族等の介護をした経験については、一般高齢者、要支援１、２ともに、「今まで介護の経験はない」が４割台で最も多く、次いで、「以前、家族等を介護したことがある」が４割弱となっています。

〔２〕在宅で介護をする家族に必要な支援や理解

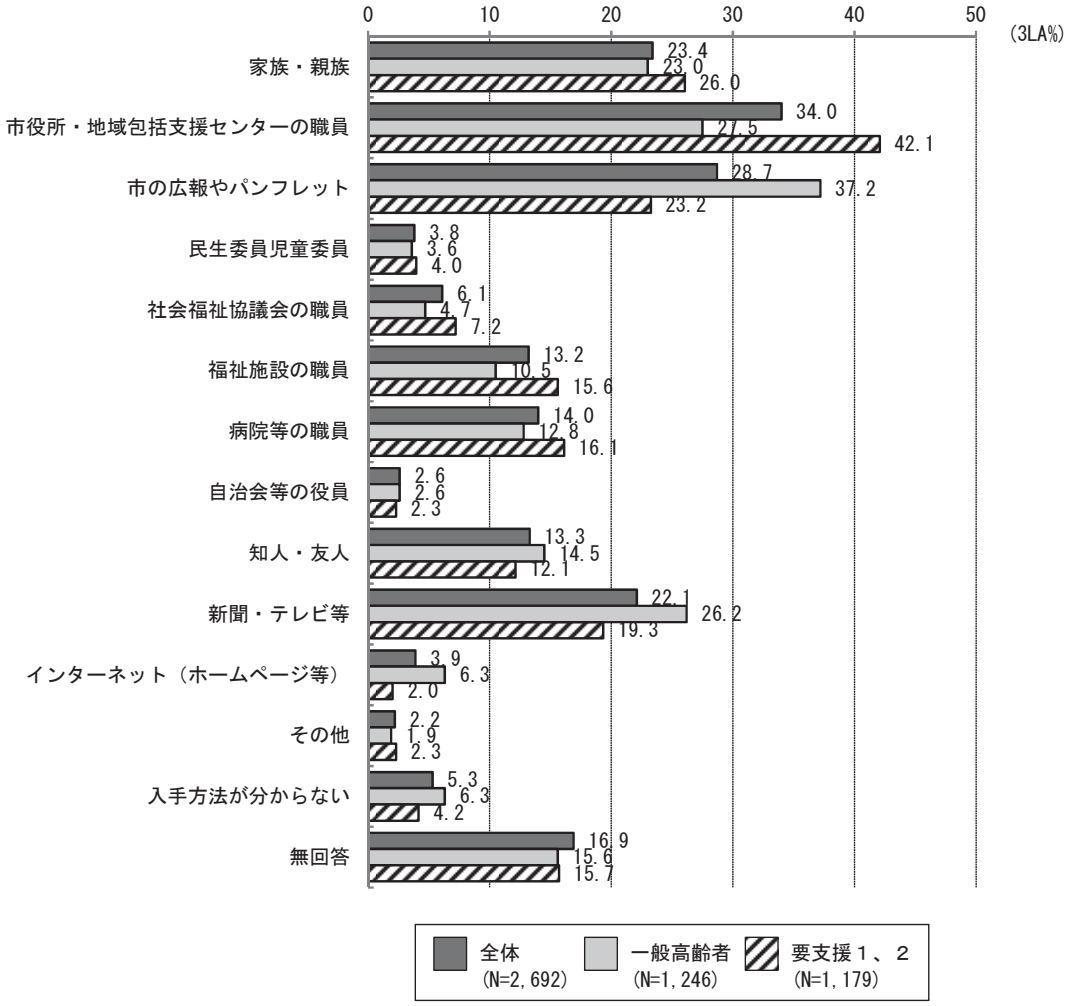
問10－（２）　在宅で介護をする家族には、どのような支援や理解が必要だと思いますか（○はいくつでも）
（これまで介護の経験がない方は、想像で構いません）



在宅で介護をする家族に必要な支援や理解については、一般高齢者、要支援１、２ともに、「介護用品の支給等、経済的負担軽減への支援」が５割台で最も多く、次いで、「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が５割弱となっています。

〔３〕健康に関する情報をどこから入手したいか

問10-（３）　介護保険や高齢者福祉サービス、健康に関する情報をどこから入手していますか。または、入手したいと思いますか。（３つまでに○）

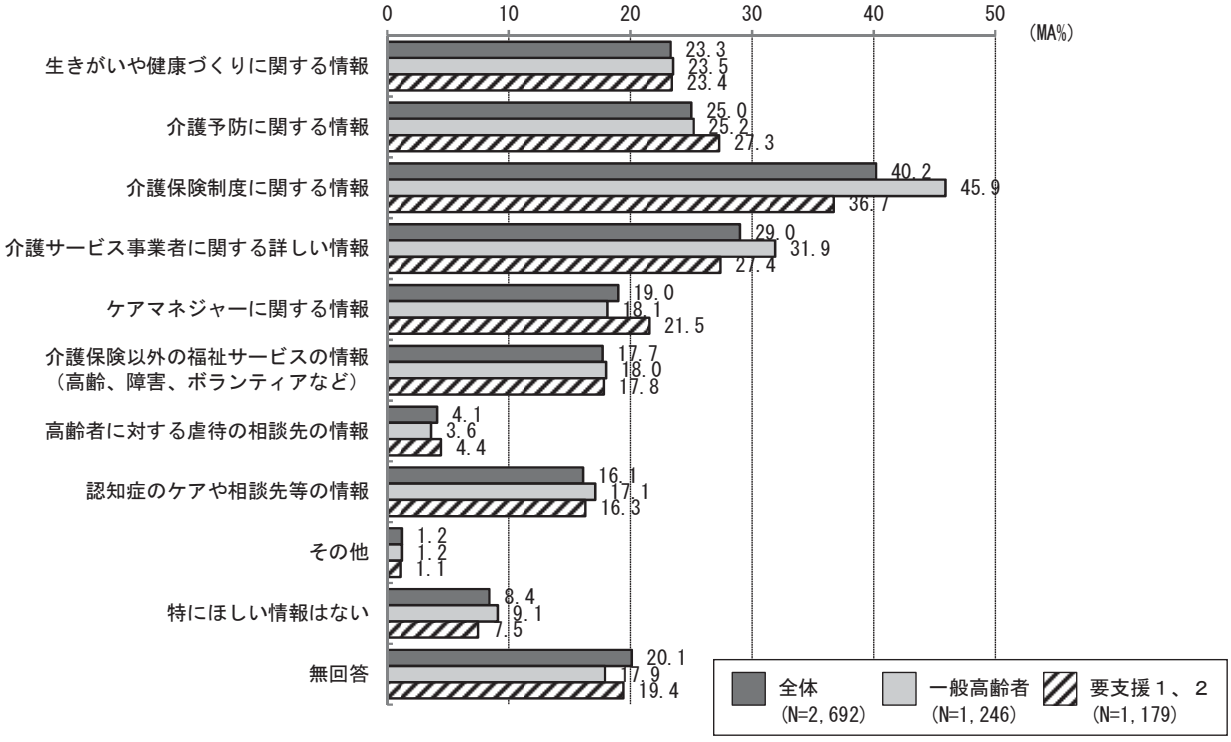


※「入手方法がわからない」については、他の項目との重複はない

介護保険や高齢者福祉サービス、健康に関する情報をどこから入手したいかについては、一般高齢者では「市の広報やパンフレット」が 37.2%と最も多く、要支援１、２では「市役所・地域包括支援センターの職員」が 42.1%と最も多くなっています。

〔４〕介護や福祉サービス等についてほしい情報

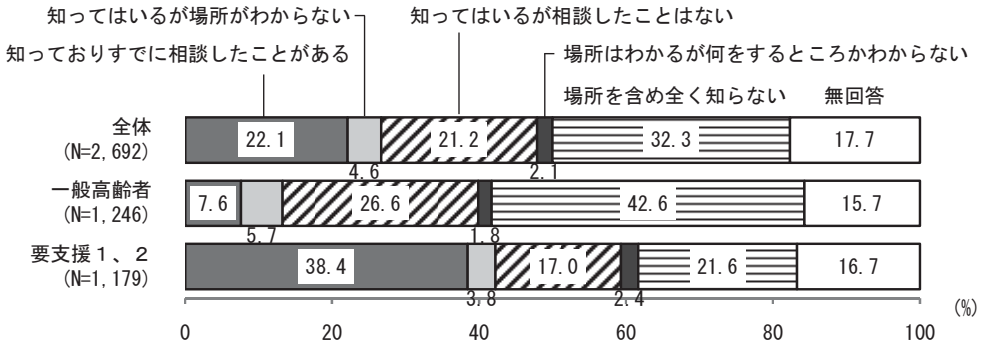
問10－（４）　あなたは、介護や福祉サービス等について、どのような情報がほしいと思いますか（○はいくつでも）



介護や福祉サービス等について、どのような情報がほしいと思うかについては、一般高齢者、要支援１、２ともに、「介護保険制度に関する情報」が最も多く、一般高齢者で 45.9%、要支援１、２で 36.7%となっています。

〔５〕「地域包括支援センター」の認知

問10－（５）　あなたは高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか（１つに○ ）

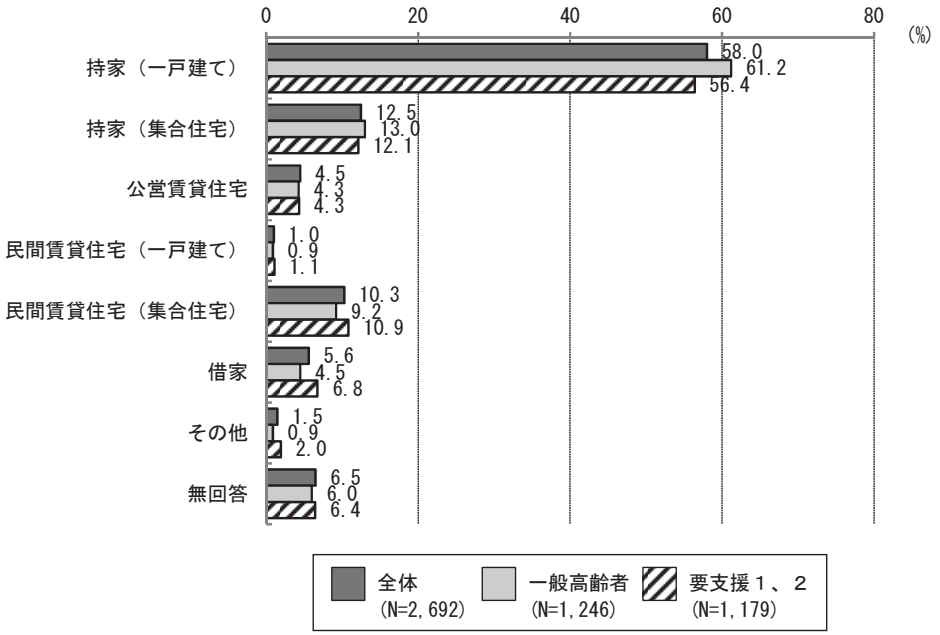


「地域包括支援センター」の認知については、一般高齢者では「場所を含め全く知らない」が 42.6%と最も多くなっています。要支援１、２では「知っておりすでに相談したことがある」が 38.4%と最も多くなっています。『知っている』と回答した人は、一般高齢者で合計 39.9%、要支援１、２では 59.2%となっています。

12. お住まいについて

〔１〕現在の住まい

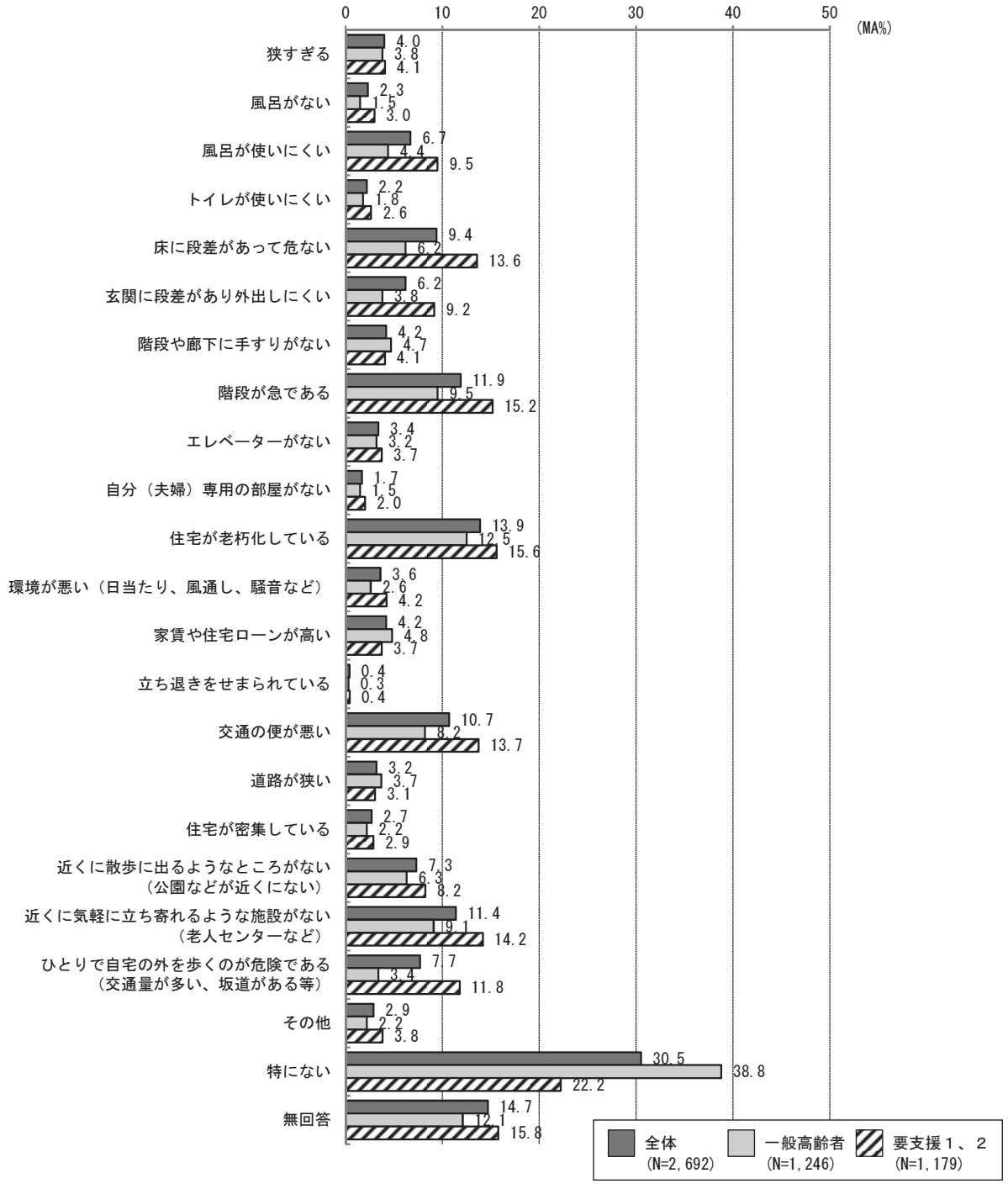
問11-（１）　お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（１つに○ ）



現在の住まいについては、一般高齢者、要支援１、２ともに、「持家（一戸建て）」が５～６割と最も多く、次いで、「持家（集合住宅）」が１割強となっています。

〔２〕周りの環境のことで、不便な事や困っていること

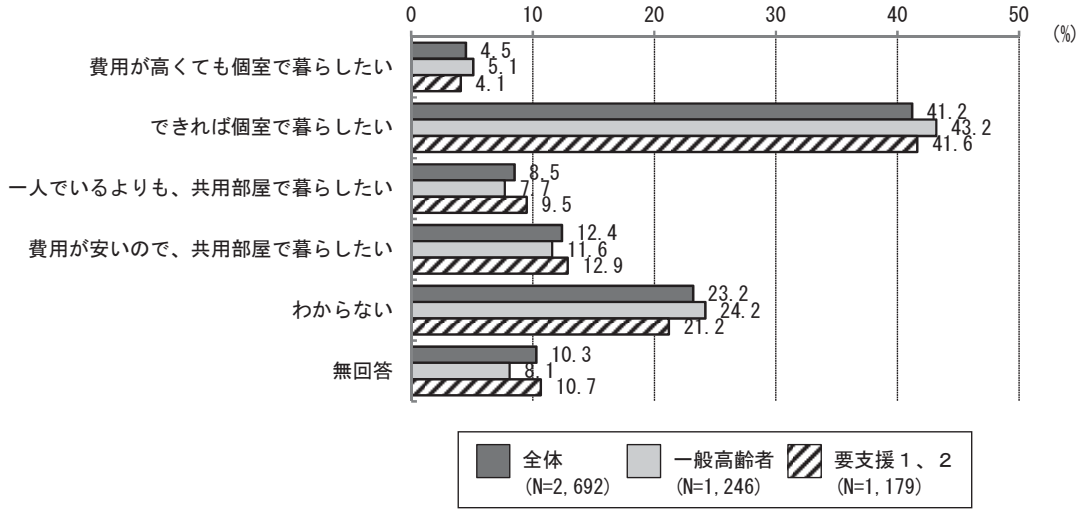
問11-（２）　お住まいやその周りの環境のことで、不便を感じたり、困っていることがありますか（○はいくつでも）



住まいや周りの環境のことで、不便を感じたり、困っていることについては、一般高齢者、要支援１、２ともに「住宅が老朽化している」が最も多く、次いで、「階段が急である」となっています。要支援１、２ではほかにも、「床に段差があって危ない」、「交通の便が悪い」、「近くに気軽に立ち寄れるような施設がない（老人センターなど）」、「ひとりで自宅の外を歩くのが危険である（交通量が多い、坂道がある等）」なども 10%以上となっています。

〔３〕介護保険施設に入所することになった場合の希望の暮らし方

問11-（３）　あなたは、今後、介護保険施設に入所することになれば、どのように暮らしたいですか（１つに○）
※一般的には共用部屋（２名～６名）のほうが費用は安いです。

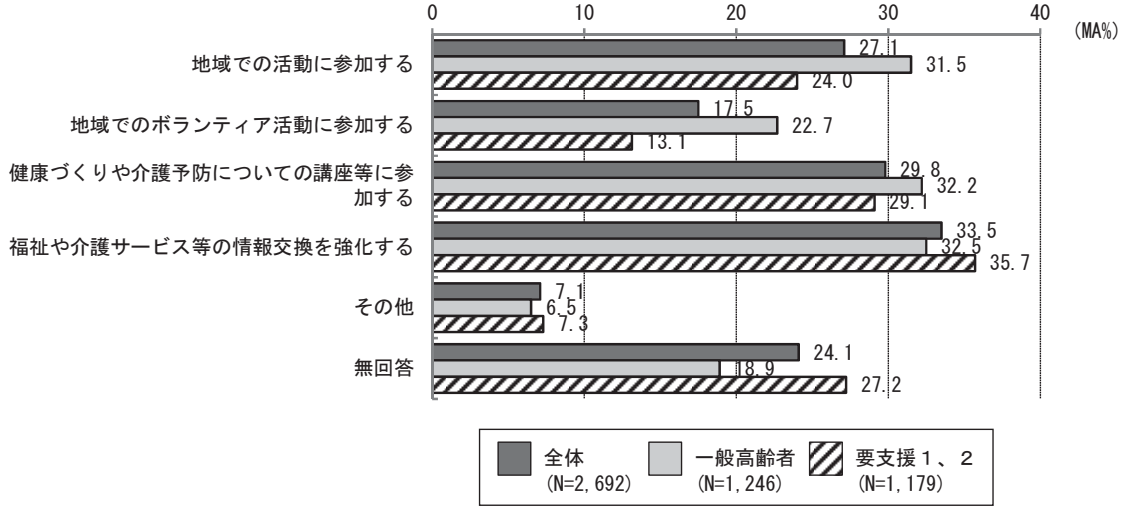


今後、介護保険施設に入所することになれば、どのように暮らしたいかについては、一般高齢者、要支援１、２ともに「できれば個室で暮らしたい」が４割台で最も多くなっています。個室を希望する人は一般高齢者で合計 48.3%、要支援１、２で 45.7%、共用部屋を希望する人は一般高齢者で合計 19.3%、要支援１、２で 22.4%となっています。

13. 高齢者が暮らしやすいまちづくりについて

〔１〕生きがいづくりや地域貢献のため、高齢者自身が取り組んだら良いと思うこと

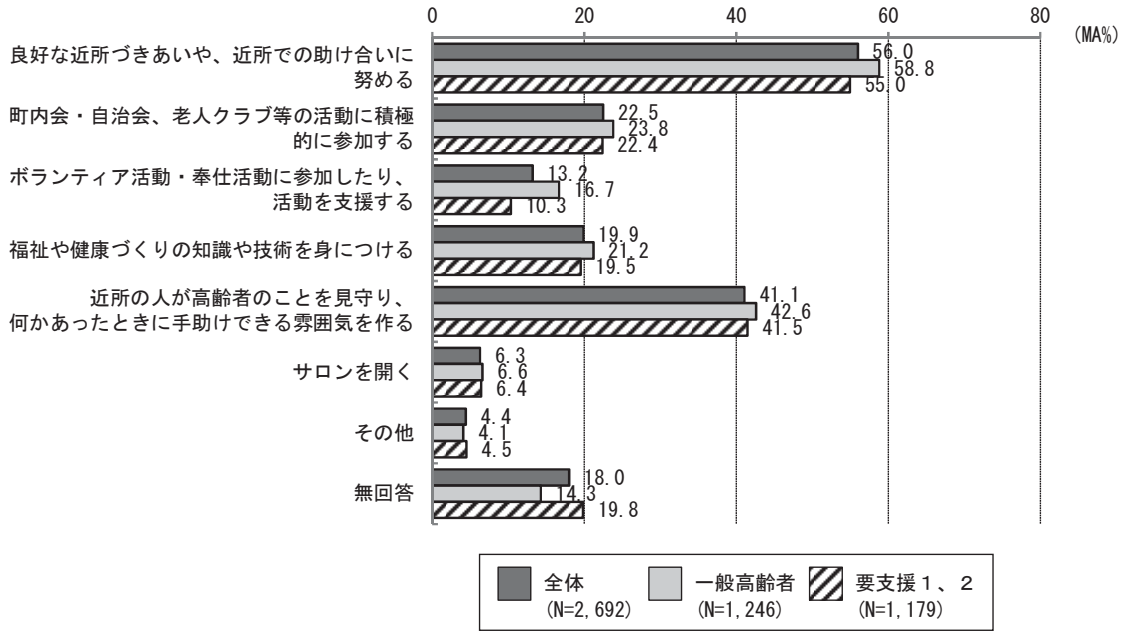
問12-（１）　あなたは、高齢者の生きがいづくりや地域に貢献できるようなことで、高齢者自身が取り組んだら良いと思うことはどのようなこととお考えですか（○はいくつでも）



高齢者の生きがいづくりや地域に貢献できるようなことで、高齢者自身が取り組んだら良いと思われることは、一般高齢者、要支援１、２ともに「福祉や介護サービス等の情報交換を強化する」が３割台で最も多く、次いで、「健康づくりや介護予防についての講座等に参加する」が３割前後となっています。「地域での活動に参加する」、「地域でのボランティア活動に参加する」については、一般高齢者と要支援１、２で 10 ポイント近い差がみられます。

〔２〕高齢者が暮らしやすいまちをつくるため、地域の人がすべきこと

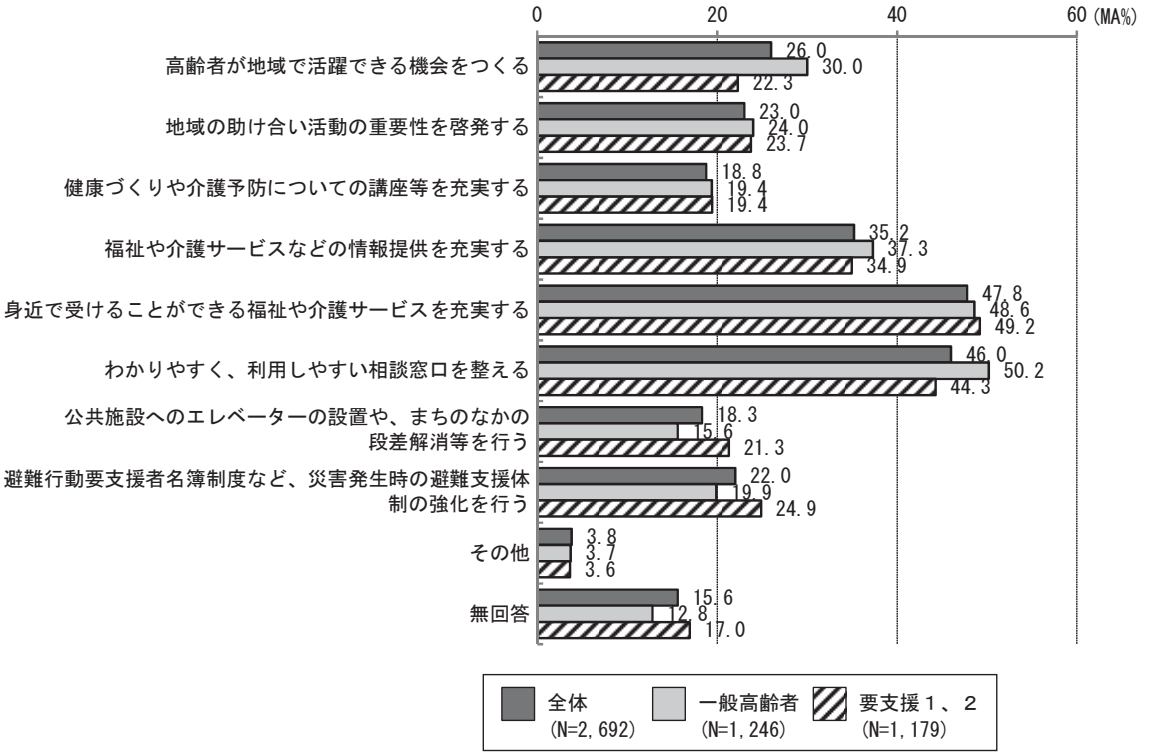
問12-（２）　高齢者が暮らしやすいまちをつくるため、あなた自身を含め、地域の人がどのようなことをすべきと思いますか（○はいくつでも）



高齢者が暮らしやすいまちをつくるため、地域の人がすべきことについては、一般高齢者、要支援１、２ともに「良好な近所づきあいや、近所での助け合いに努める」が５割台で最も多く、次いで、「近所の人が高齢者のことを見守り、何かあったときに手助けできる雰囲気を作る」が４割台となっています。

〔３〕高齢者が暮らしやすいまちづくりのため、市が重点的に取り組むべきこと

問12-（３）　高齢者が暮らしやすいまちをつくるため、市は特にどのようなことに重点的に取り組むべきとお考えですか（○はいくつでも）



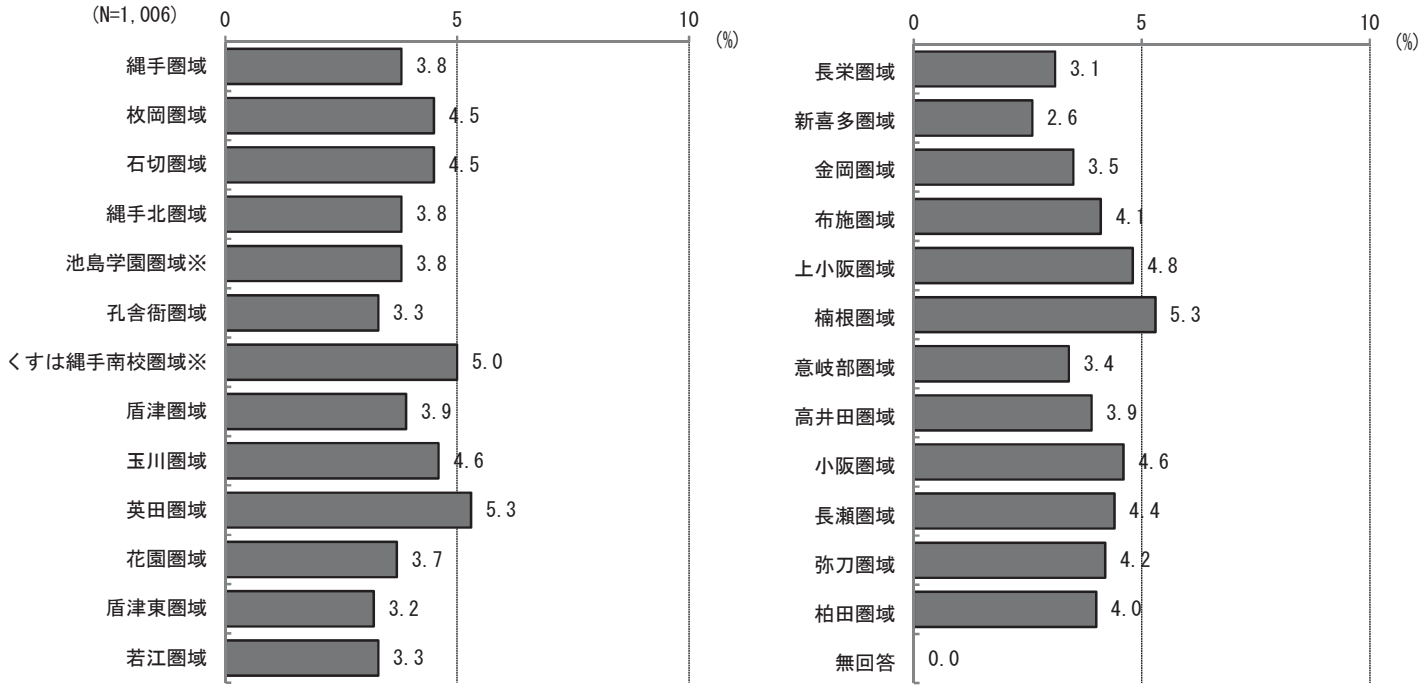
高齢者が暮らしやすいまちをつくるため、市が重点的に取り組むべきことについては、一般高齢者では「わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整える」が 50.2%と最も多く、要支援１、２では「身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実する」が 49.2%と最も多くなっています。

Ⅱ－２－①　要介護者（居宅介護サービス）アンケート

１．回答者の属性

〔１〕居住圏域

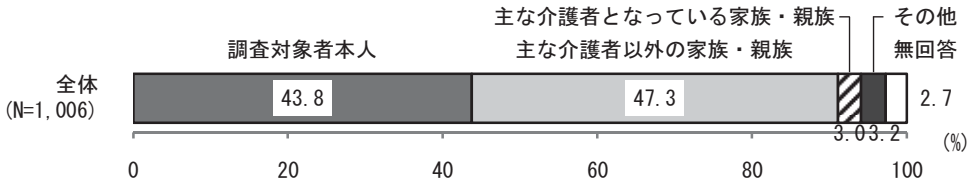
回答者の居住圏域は、以下のようになっています。



※「くすは縄手南校」と「池島学園」は義務教育学校

〔２〕調査票の記入者

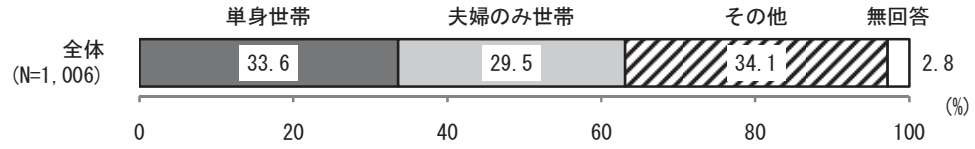
問１　現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（１つに○）



調査票の記入者は、「主な介護者以外の家族・親族」が 47.3%と最も多く、次いで、「調査対象者本人」が 43.8%となっています。

〔３〕世帯類型

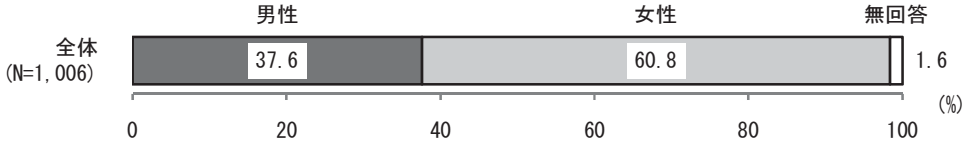
問２　世帯類型について、ご回答ください（１つに○）



回答者の世帯類型は、「単身世帯」が 33.6%、「夫婦のみ世帯」が 29.5%となっています。

〔４〕性別

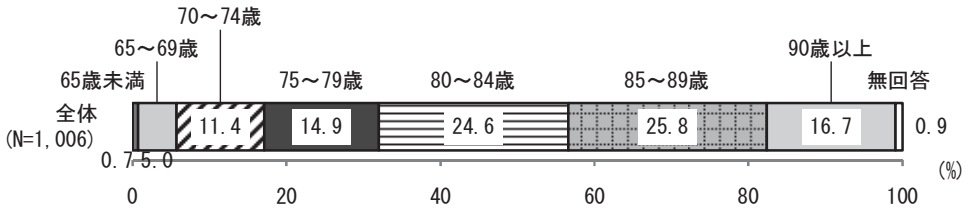
問３　ご本人の性別について、ご回答ください（１つに○）



回答者の性別は、「男性」が 37.6%、「女性」が 60.8%となっています。

〔５〕年齢

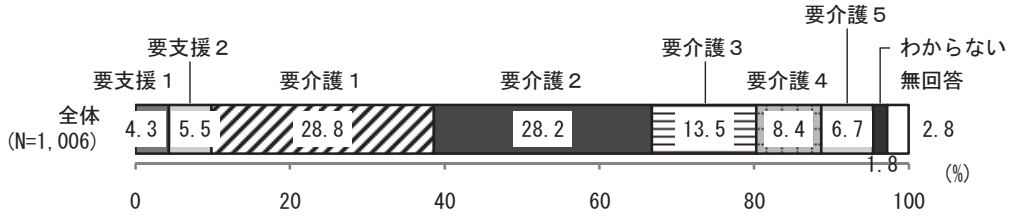
問４　ご本人の年齢について、ご回答ください（１つに○）



回答者の年齢は、「85～89 歳」が 25.8%と最も多く、次いで、「80～84 歳」が 24.6%となっています。

〔６〕要介護度

問５　ご本人の要介護度について、ご回答ください（１つに○）



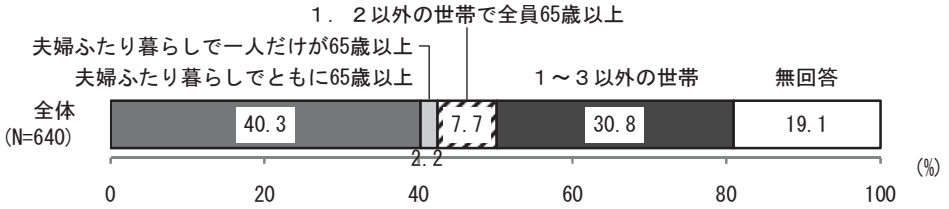
回答者本人の要介護度は、「要介護１」が 28.8%と最も多く、次いで、「要介護２」が 28.2%、「要介護３」が 13.5%、「要介護４」が 8.4%、「要介護５」が 6.7%となっています。

〔７〕同居家族

【問２で「２．夫婦のみ世帯」「３．その他」とご回答された方のみ】

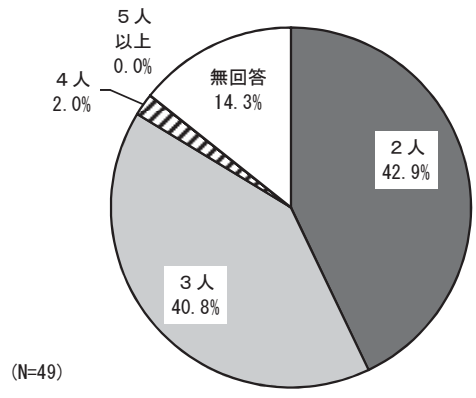
問６　同居の家族について、ご回答ください（１つに○）
　　また〔　　〕内にご記入ください

【同居の家族】

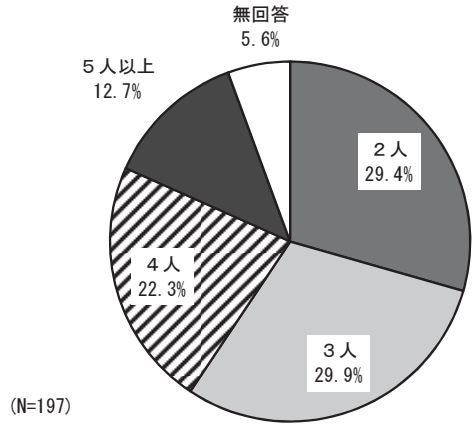


【同居人数】

「１、２以外の世帯で全員 65 歳以上」の人数



「１～３以外の世帯」の人数

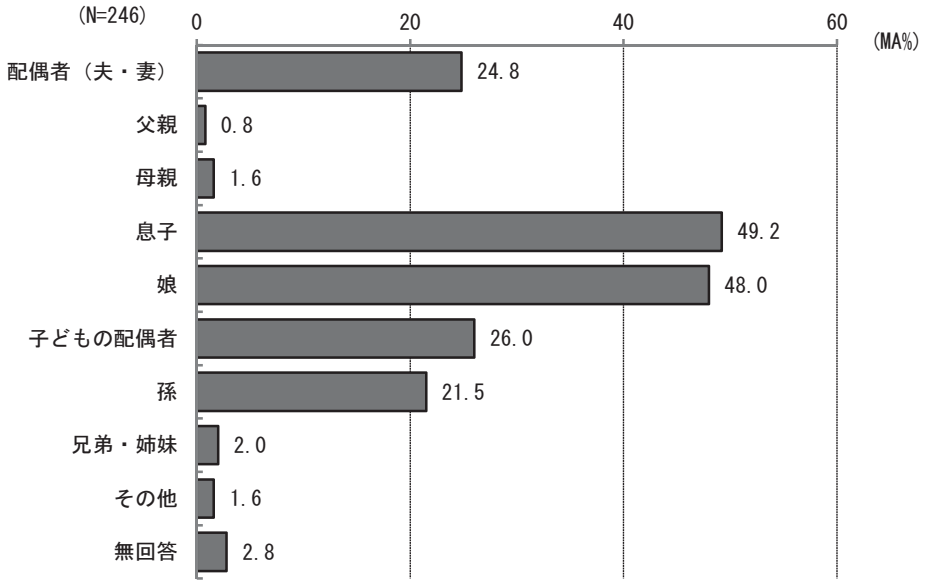


単身世帯以外の方の同居の家族については、「夫婦ふたり暮らしでともに 65 歳以上」が 40.3%、「１～３以外の世帯」が 30.8%、「１、２以外の世帯で全員 65 歳以上」が 7.7%となっています。

夫婦ふたり暮らし以外の世帯の同居人数は、「１、２以外の世帯で全員 65 歳以上」では回答者本人を含め「２人」が 42.9%、「３人」が 40.8%となっています。「１～３以外の世帯」では「３人」が 29.9%、「２人」が 29.4%となっています。

【問６で「３．１、２以外の世帯で全員65歳以上」「４．１～３以外の世帯」とご回答の方のみ】
問６－１　同居されている方について、ご回答ください。（○はいくつでも）

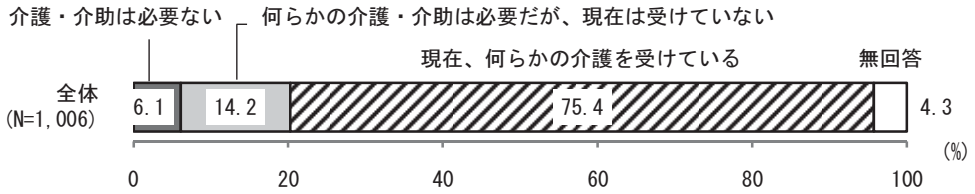
【夫婦ふたり暮らし以外の世帯の同居家族の内訳】



夫婦ふたり暮らし以外の世帯（「１、２以外の世帯で全員 65 歳以上」、「１～３以外の世帯」）の同居家族は、「息子」が 49.2%と最も多く、次いで、「娘」が 48.0%となっています。

〔８〕介護・介助の必要性

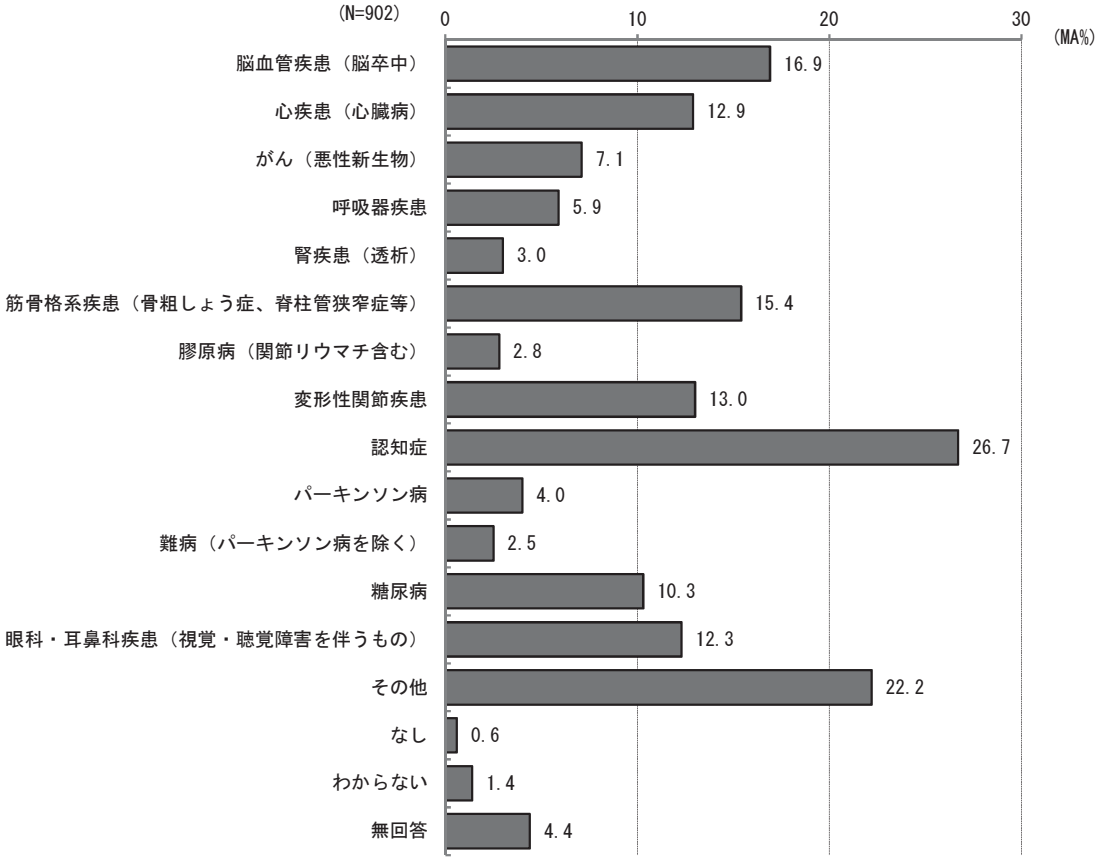
問７　介護・介助の必要性について、ご回答ください（１つに○）



介護・介助の必要性については、「現在、何らかの介護を受けている」が 75.4%と最も多く、次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 14.2%、「介護・介助は必要ない」が 6.1%で、何らかの介護・介助が必要な人が９割近くとなっています。

〔９〕介護･介助が必要になった主な原因

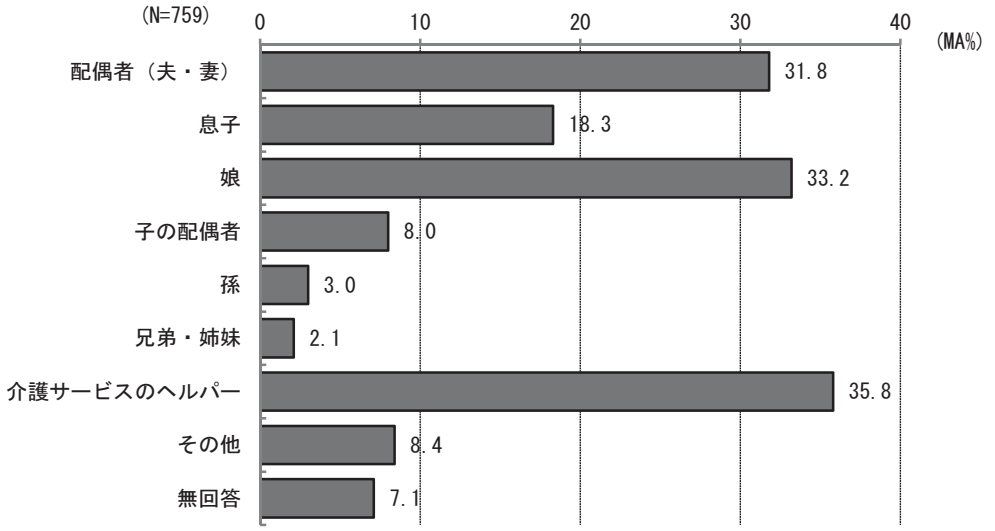
【介護・介助が必要な方のみ】
問８　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（○はいくつでも）



介護・介助が必要になった主な原因については、「認知症」が 26.7%と最も多く、次いで、「脳血管疾患（脳卒中)」が 16.9%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が 15.4%、「変形性関節疾患」が 13.0%となっています。

〔10〕主な介助者について

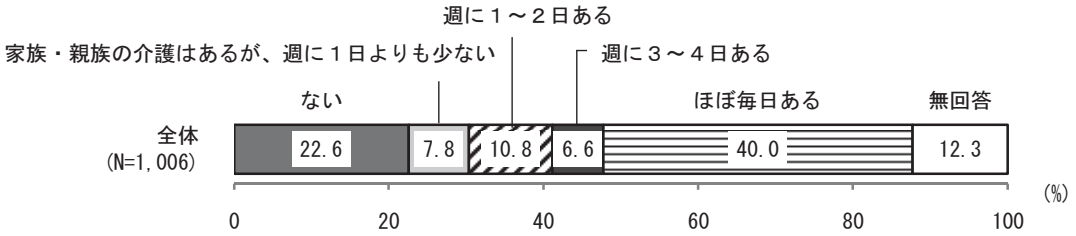
【介護・介助者がいる方のみ】
問９　主にどなたの介護・介助を受けていますか（○はいくつでも）



主な介護・介助者については、「介護サービスのヘルパー」が 35.8%と最も多く、次いで、「娘」が 33.2%、「配偶者（夫・妻)」が 31.8%となっています。

〔11〕家族や親族からの介護の頻度

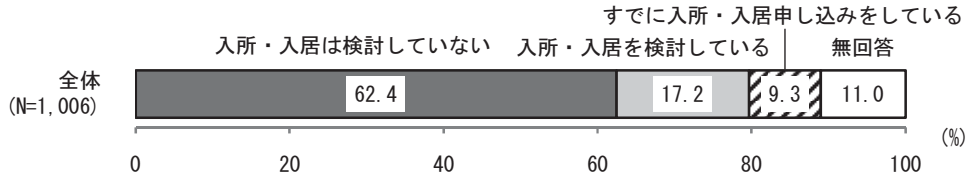
問10　ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（１つに○）



家族や親族からの介護が週にどのくらいあるかについては、「ほぼ毎日ある」が 40.0%と最も多く、次いで、「週に１～２日ある」が 10.8%、「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」が 7.8%、「週に３～４日ある」が 6.6%となっています。一方で、「ない」も２割ほどみられます。

〔12〕施設等への入所･入居の検討状況

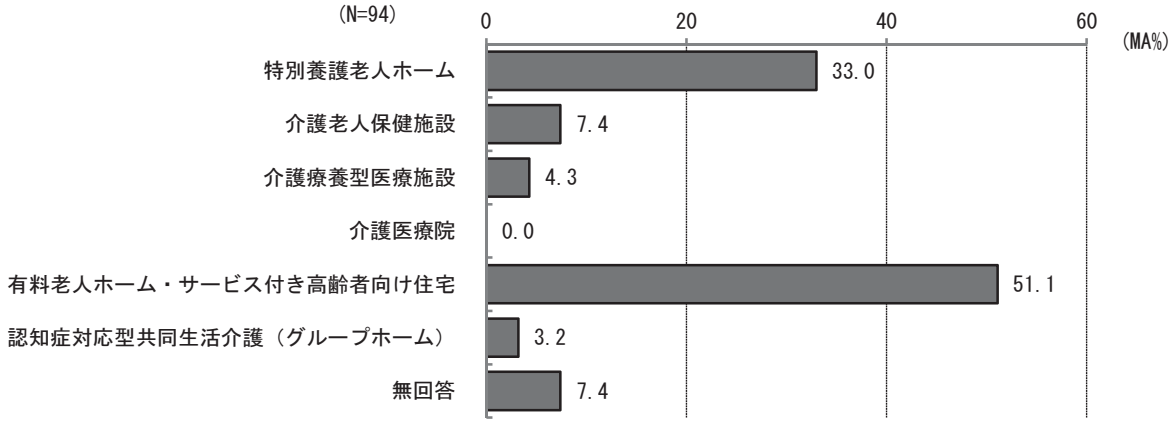
問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
（１つに○）



施設等への入所･入居の検討状況については､「入所･入居は検討していない」が 62.4%と最も多く、次いで、「入所・入居を検討している」が 17.2%､「すでに入所・入居申し込みをしている」が 9.3%となっています。

〔13〕申し込みをしている施設

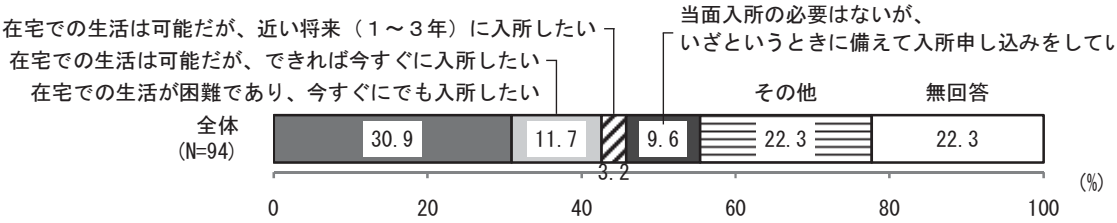
【問11で「３．すでに入所・入居申し込みをしている」を選んだ方のみ】
問12-1 申し込みをしている施設すべてに○をつけてください



「すでに入所・入居申し込みをしている」方に、申し込みをしている施設をたずねたところ､「有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」が 51.1%と最も多く、次いで､「特別養護老人ホーム」が 33.0%となっています。

〔14〕介護保険施設へ入所の緊急度

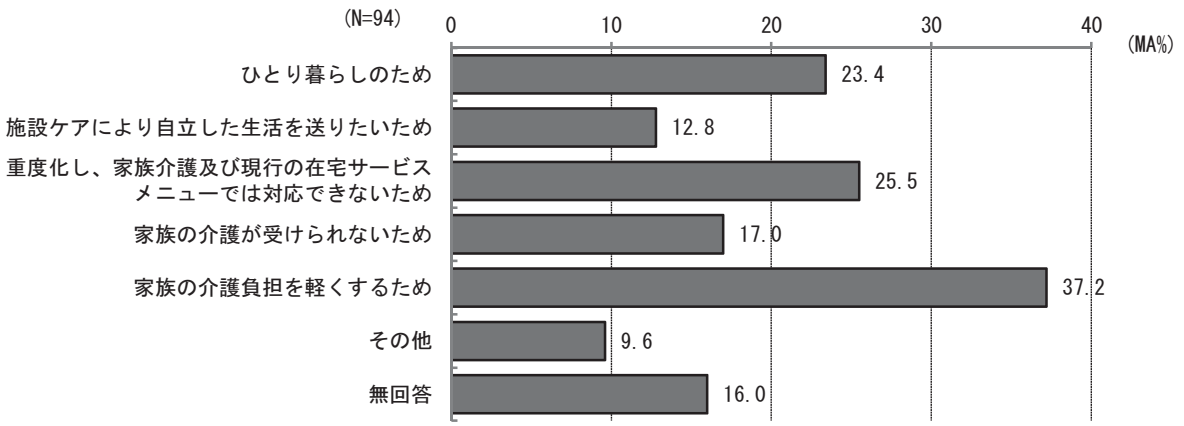
【問11で「３．すでに入所・入居申し込みをしている」を選んだ方のみ】
問12-2 介護保険施設へ入所の緊急度は次のうちどれですか（１つに○）



介護保険施設へ入所の緊急度については、「在宅での生活が困難であり、今すぐにでも入所したい」が 30.9%と最も多く、次いで、「在宅での生活は可能だが、できれば今すぐに入所したい」が 11.7%となっています。

〔15〕介護保険施設へ入所したい理由

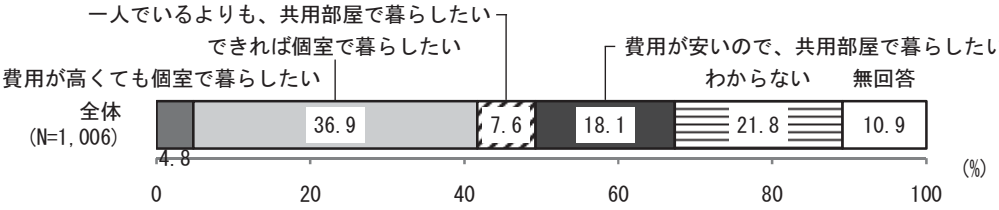
【問11で「３．すでに入所・入居申し込みをしている」を選んだ方のみ】
問12-3 介護保険施設へ入所したい理由としてあなたのお考えに近いものを選んでください（○はいくつでも）



介護保険施設へ入所したい理由については、「家族の介護負担を軽くするため」が 37.2%と最も多く、次いで、「重度化し、家族介護及び現行の在宅サービスメニューでは対応できないため」が 25.5%、「ひとり暮らしのため」が 23.4%となっています。

〔16〕介護保険施設入所時の部屋の希望

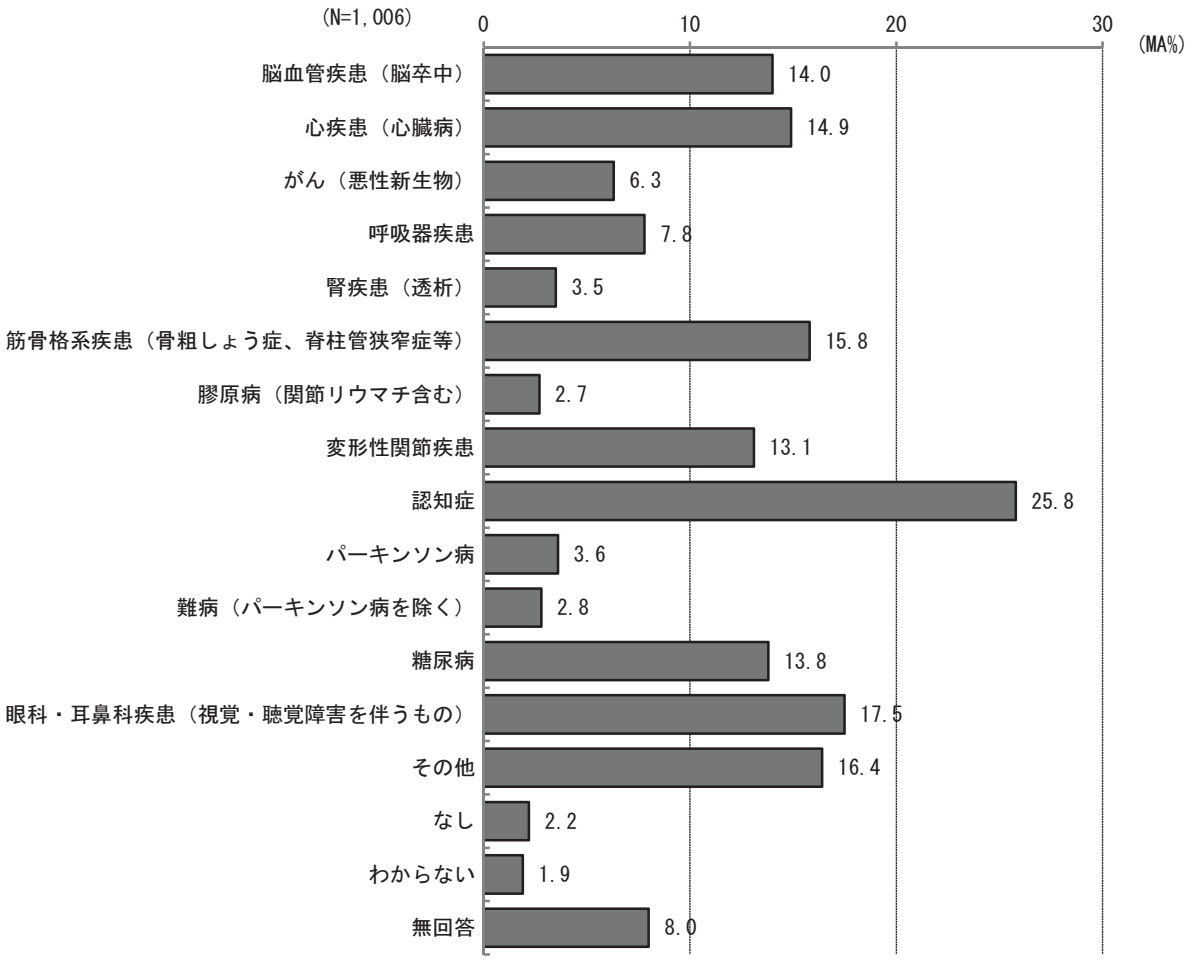
問13　あなたは、今後、介護保険施設に入所することになれば、どのように暮らしたいですか（１つに○）
※一般的には共用部屋（２名～６名）のほうが費用は安いです



今後、介護保険施設に入所することになれば、どのように暮らしたいかについては、「できれば個室で暮らしたい」が 36.9%と最も多く、「費用が高くても個室で暮らしたい」の 4.8%と合わせて、個室を希望する人は合計 41.7%となっています。また、共用部屋を希望する人は合わせて 25.7%で、「費用が安いので、共用部屋で暮らしたい」が 18.1%、「一人でいるよりも、共用部屋で暮らしたい」が 7.6%となっています。

〔17〕現在抱えている傷病について

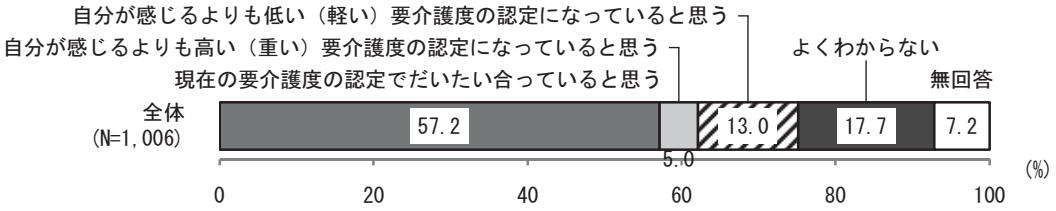
問14 あなたが、現在抱えている傷病について、ご回答ください（○はいくつでも）



現在抱えている傷病については、「認知症」が 25.8%と最も多く、次いで、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの」が 17.5%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が 15.8%、「心疾患（心臓病)」が 14.9%となっています。

〔18〕現在の要介護度認定について

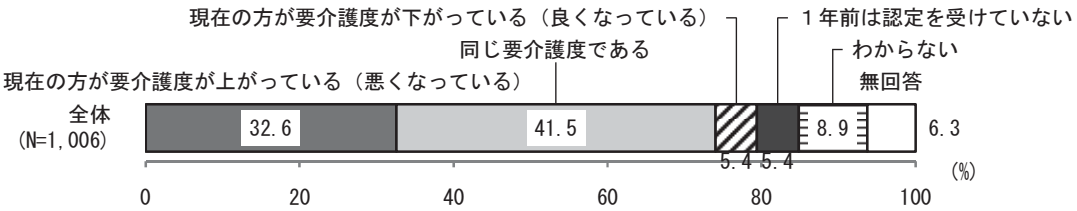
問15　あなたは、ご自身のからだの状態と比べて、現在の要介護度の認定についてどう思われますか（１つに○）



自身のからだの状態と比べて、現在の要介護度の認定をどう思うかについては、約６割の人が､「現在の要介護度の認定でだいたい合っていると思う」と回答しています。また、13.0%の人が､「自分が感じるよりも低い（軽い）要介護度の認定になっていると思う」と回答しています。

〔19〕要介護度の変化

問16　あなたの要介護度は、１年前と比べて、どのように変化していますか（１つに○）

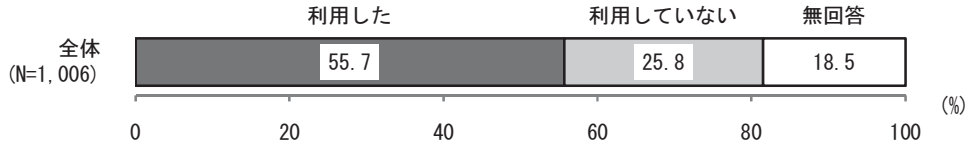


１年前と比べて要介護度がどのように変化しているかについては、４割の人が「同じ要介護度である」と回答しています。次いで､「現在の方が要介護度が上がっている（悪くなっている)」が 32.6%となっています。

2．必要となる支援や介護保険サービスについて

〔1〕介護保険サービスの利用状況

問17　令和元年12月の１か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（１つに○）



令和元年 12 月の１か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを「利用した」は 55.7%となっています。

〔2〕対象の介護保険サービスの利用状況

【問17で「１．利用した」と回答した方のみ】

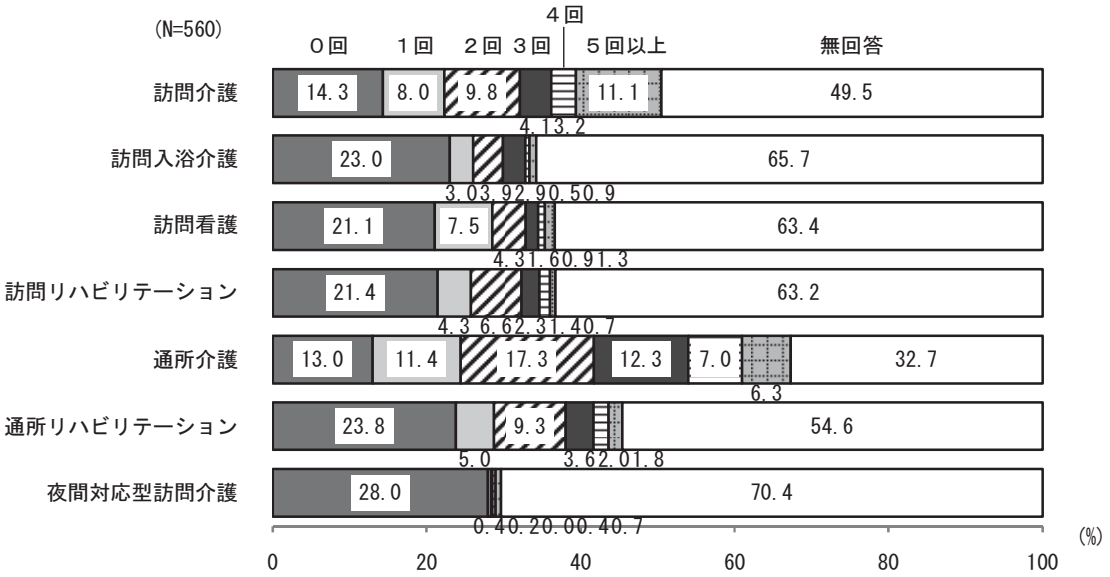
問18　以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の１か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（０回、１．利用していない)」を選択してください（それぞれ１つに○）

(N=560)　(%)

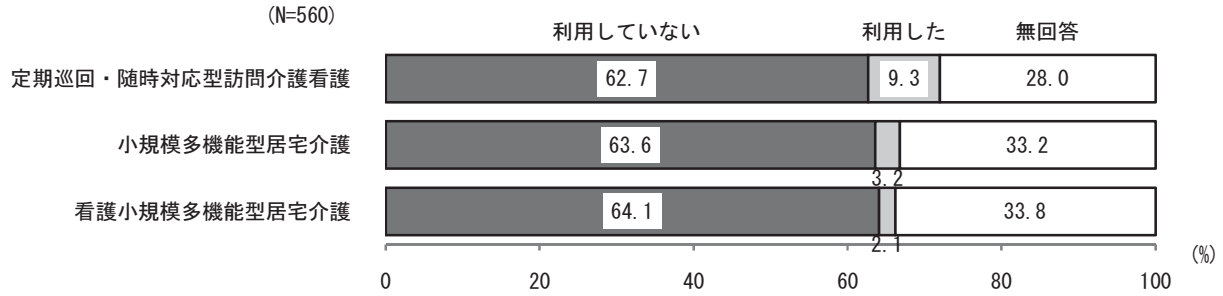
	利用した	利用していない
A．訪問介護	36.2	14.3
B．訪問入浴介護	11.2	23.0
C．訪問看護	15.6	21.1
D．訪問リハビリテーション	15.3	21.4
E．通所介護	54.3	13.0
F．通所リハビリテーション	21.7	23.8
G．夜間対応型訪問介護	1.7	28.0
H.定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9.3	62.7
I.小規模多機能型居宅介護	3.2	63.6
J.看護小規模多機能型居宅介護	2.1	64.1
K．ショートステイ（短期入所生活介護）	14.3	59.5
L．居宅療養管理指導	13.6	57.7

【対象の介護保険サービスの利用】

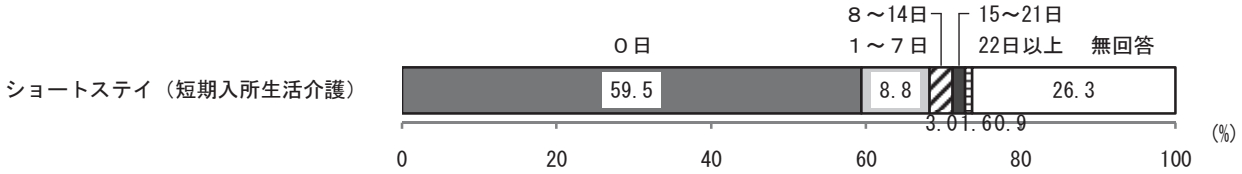
※１週間あたりの利用回数



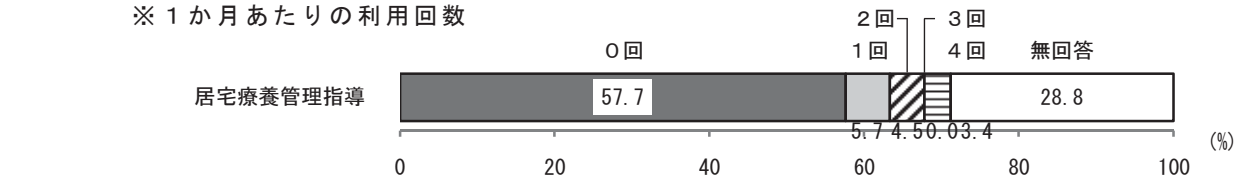
※利用の有無



※１か月あたりの利用日数



※１か月あたりの利用回数

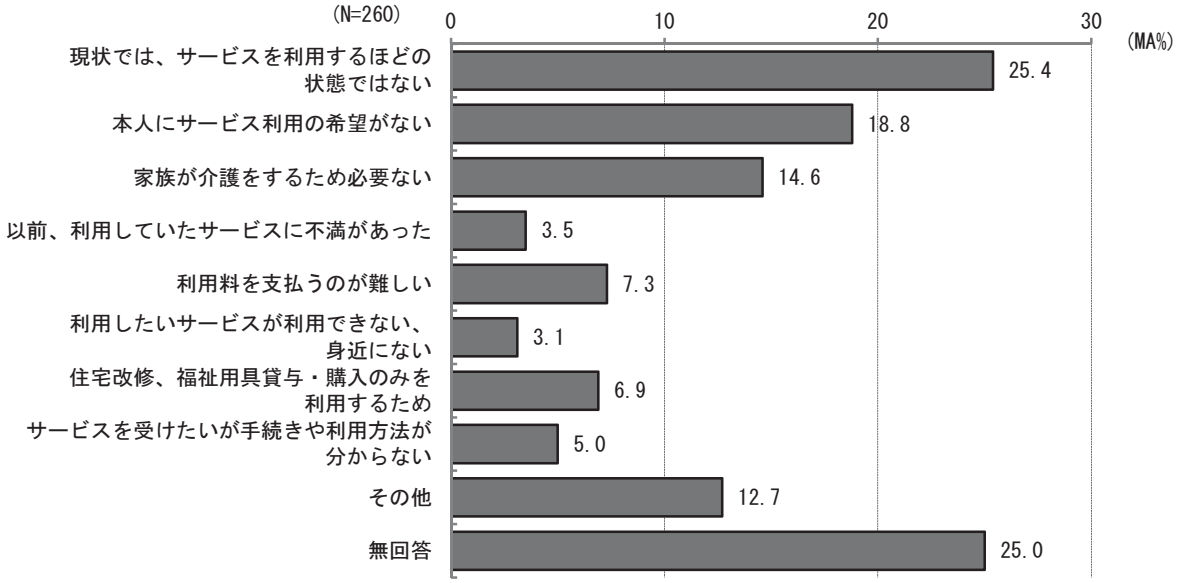


令和元年 12 月の１か月間に、対象の介護保険サービスの利用が最も多かったのは、「通所介護」で 54.3%、次いで、「訪問介護」が 36.2%、「通所リハビリテーション」が 21.7%となっています。

１週間あたりの利用回数については、「通所介護」で「２回」または「３回」、「訪問介護」で「５回以上」、「通所リハビリテーション」で「２回」の利用が多くなっています。

〔3〕介護保険サービスを利用していない理由

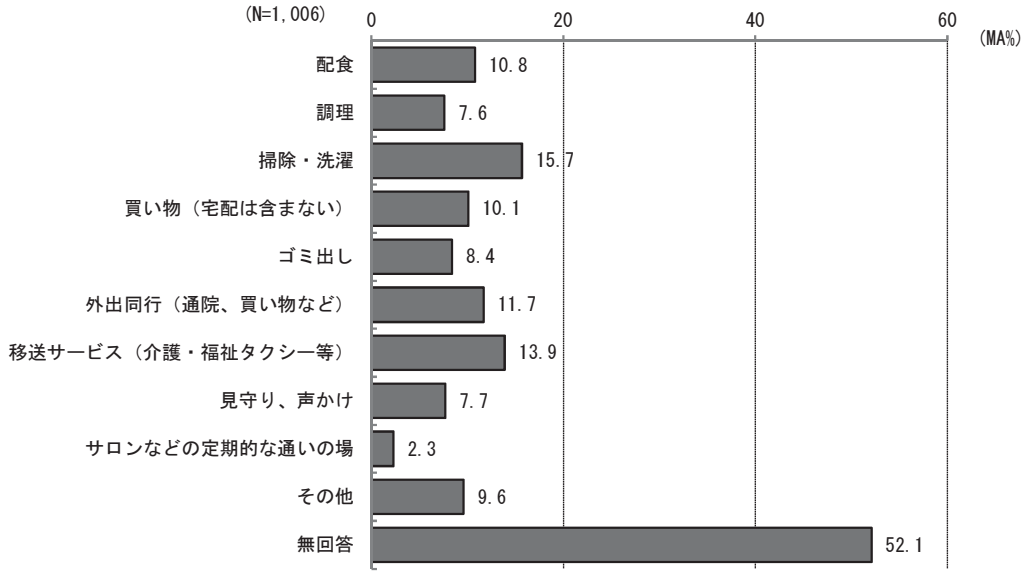
【問17で「2．利用していない」と回答した方のみ】
問19　介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（○はいくつでも）



介護保険サービスを利用していない方に、その理由をたずねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 25.4%と最も多く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が 18.8%「家族が介護をするため必要ない」が 14.6%となっています。

〔４〕「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用

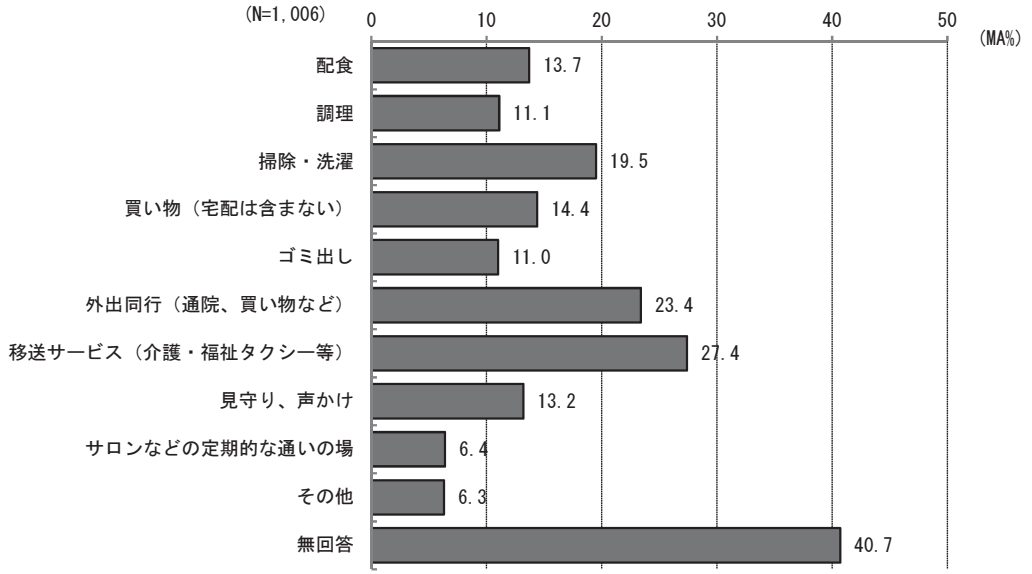
問20 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（○はいくつでも）



現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「掃除・洗濯」が 15.7%と最も多く、次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 13.9%となっています。

〔５〕今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

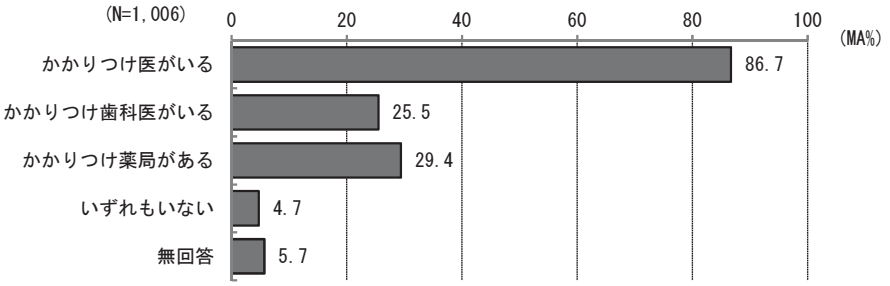
問21 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（○はいくつでも）



今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 27.4%と最も多く、次いで、「外出同行（通院、買い物など）」が 23.4%、「掃除・洗濯」が 19.5%となっています。

〔６〕「かかりつけ医」等の有無

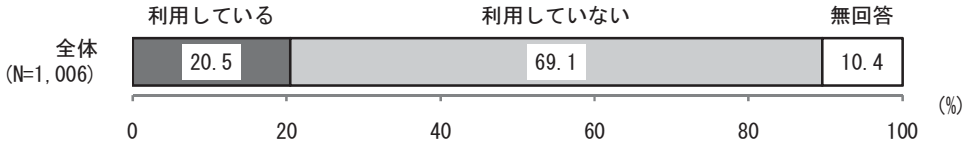
問22 健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」等がいますか（○はいくつでも）



「かかりつけ医」等がいるかについては、「かかりつけ医がいる」が 86.7%、「かかりつけ薬局がある」が 29.4%、「かかりつけ歯科医がいる」が 25.5%となっています。

〔７〕訪問診療の利用

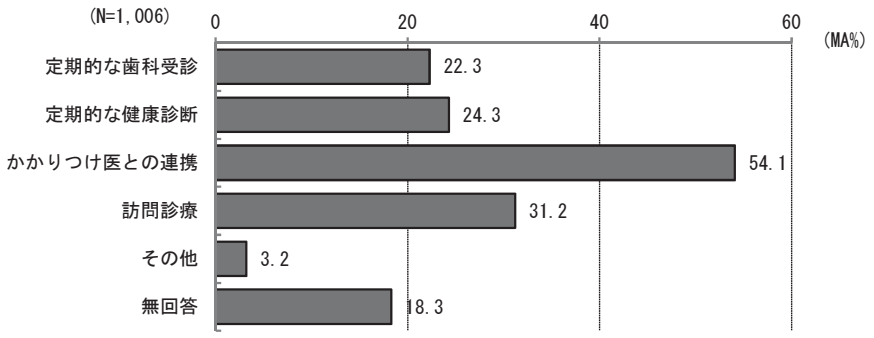
問23 現在、訪問診療を利用していますか（１つに○）



訪問診療の利用については、「利用している」は 20.5%となっています。

〔８〕在宅生活を続けるために必要な医療支援

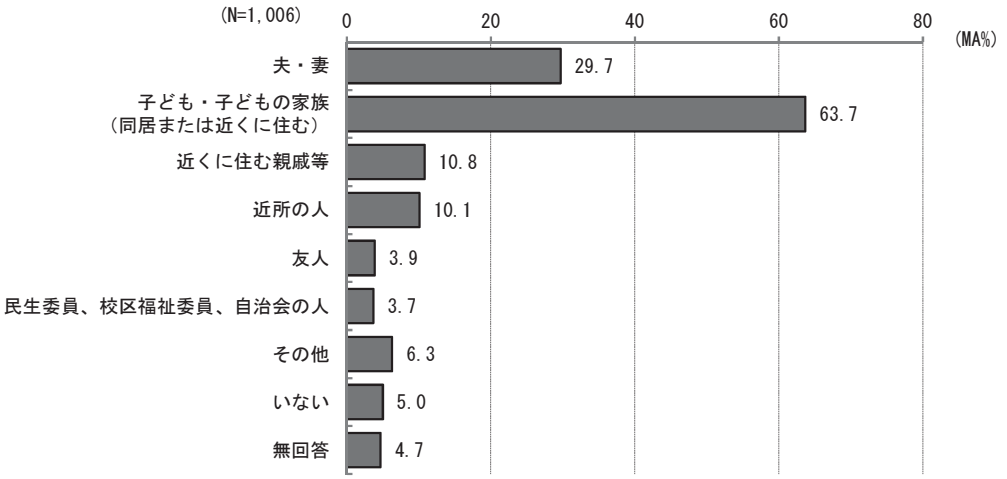
問24 自宅で暮らし続けるためには、医療においてどのような支援が必要ですか（○はいくつでも）



自宅で暮らし続けるために医療において必要な支援は、「かかりつけ医との連携」が 54.1%と最も多く、次いで、「訪問診療」が 31.2%となっています。

〔９〕緊急時に身近に頼ることのできる人

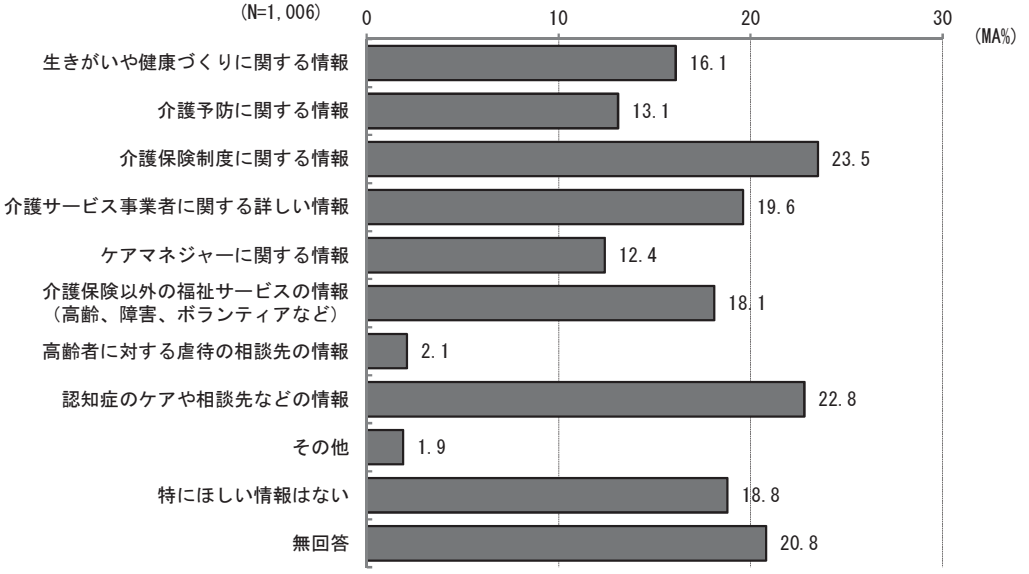
問25 緊急時など何かあったときに、身近に頼ることのできる人がいますか（○はいくつでも）



緊急時など何かあったときに、身近に頼ることのできる人がいるかについては、「子ども・子どもの家族（同居または近くに住む）」が 63.7%と最も多く、次いで、「夫・妻」が 29.7%となっています。

〔10〕介護や福祉サービス等についてほしい情報

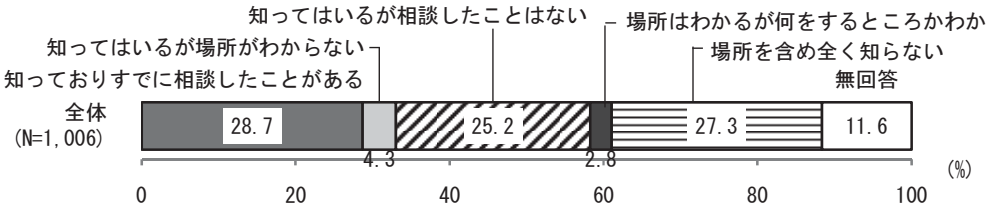
問26 介護や福祉サービスなどについて、どのような情報がほしいと思いますか（○はいくつでも）



介護や福祉サービスなどについて、どのような情報がほしいかについては、「介護保険制度に関する情報」が 23.5%と最も多く、次いで、「認知症のケアや相談先などの情報」が 22.8%、「介護サービス事業者に関する詳しい情報」が 19.6%となっています。

〔11〕「地域包括支援センター」の認知

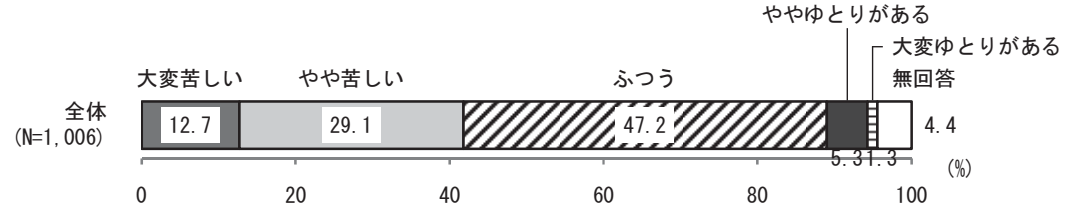
問27 高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか（１つに○）



「地域包括支援センター」について『知っている』と回答した人は合わせて 58.2%で、そのうち、「知っておりすでに相談したことがある」が 28.7%、「知ってはいるが相談したことはない」が 25.2%となっています。一方、「場所を含め全く知らない」は 27.3%となっています。

〔12〕現在の暮らしの経済状況について

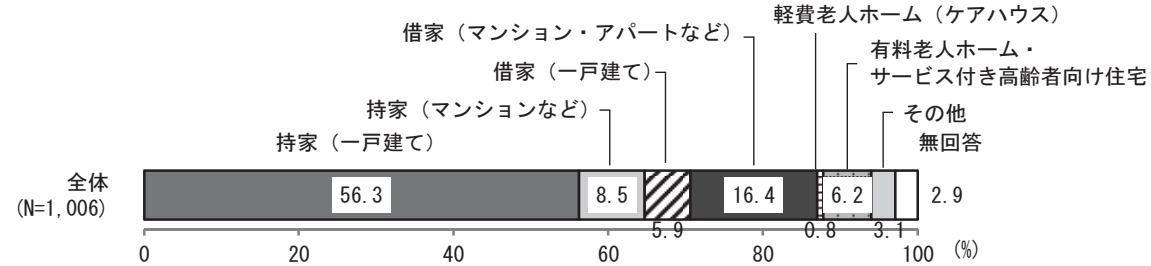
問28 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（１つに○）



現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じるかについては、「ふつう」が 47.2%と約半数を占め、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は 41.8%、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』は 6.6%となっています。

〔13〕現在の住まい

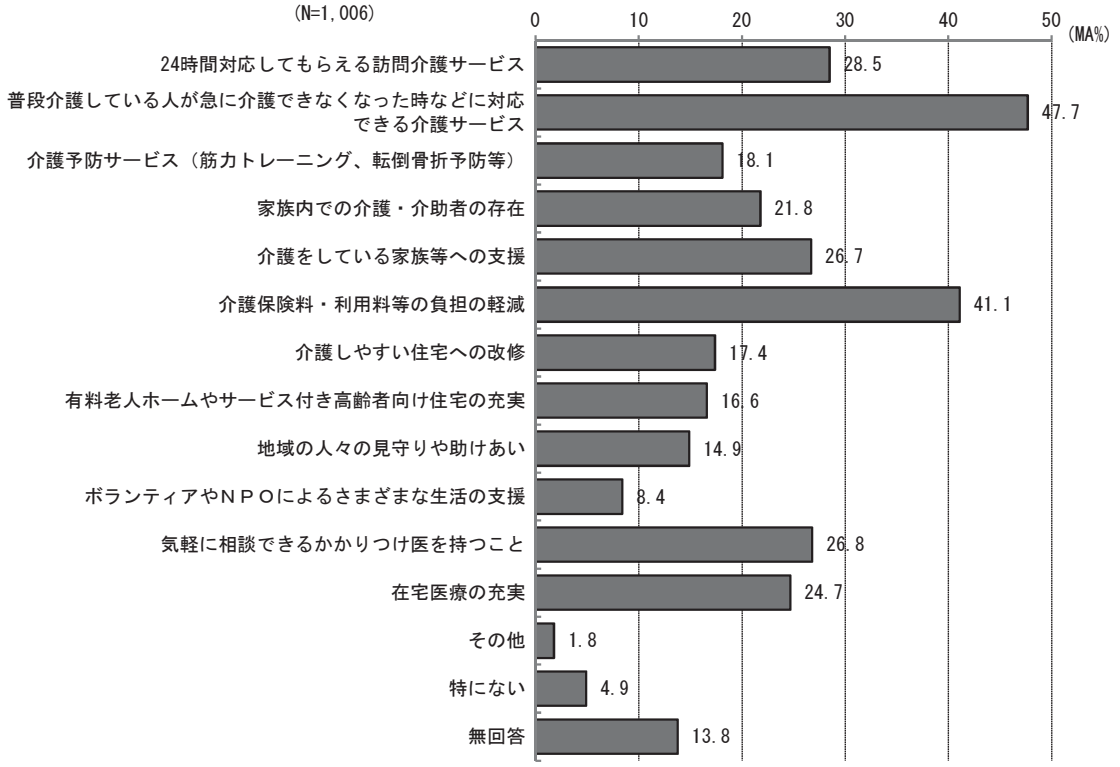
問29 現在のお住まいをお教えください（１つに○）



現在の住まいの状況については、「持家（一戸建て）」が 56.3%と最も多く、次いで、「借家（マンション・アパートなど）」が 16.4%となっています。

〔14〕高齢者が自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、必要だと思うこと

問30　高齢者ができる限りご自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、あなたは、特にどのようなことが必要だと思いますか（○はいくつでも）

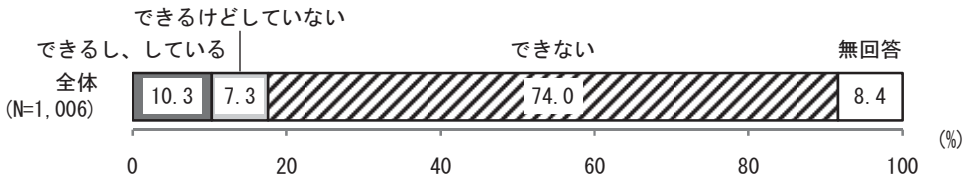


高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために必要だと思うことについては、「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」が 47.7%と最も多く、次いで、「介護保険料・利用料等の負担の軽減」が 41.1%となっています。

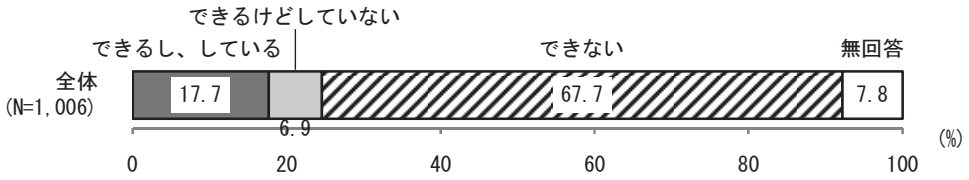
３．からだを動かすことについて

〔１〕運動の状況

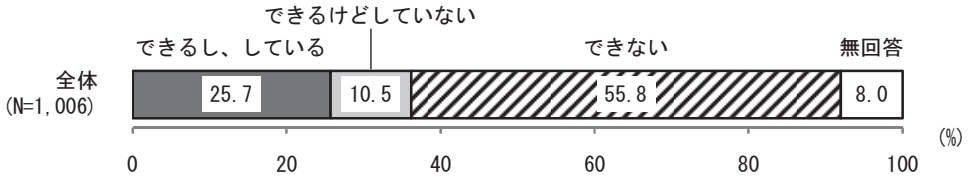
問31-1　階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか（１つに○）



問31-2　椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（１つに○）



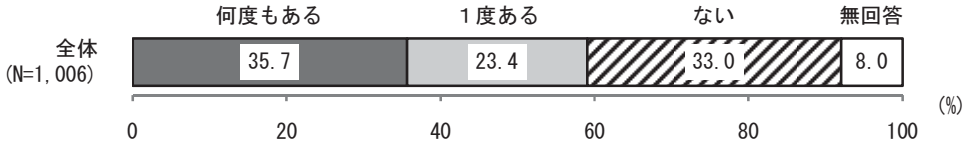
問31-3　15分位続けて歩いていますか（１つに○）



運動に関する状況についてみると、どの項目も「できない」が多く、とくに、「階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか」については、７割以上が「できない」と回答しています。

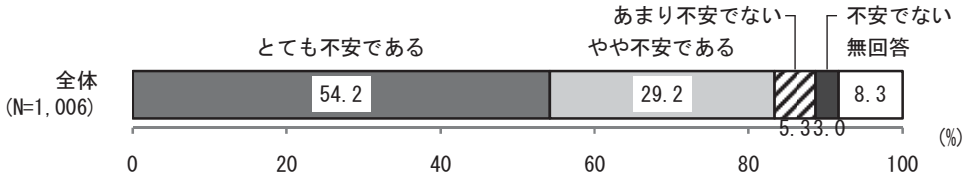
〔２〕転倒について

問31-4　過去1年間に転んだ経験がありますか（１つに○）



過去１年間の転んだ経験については、「何度もある」と「１度ある」を合わせた『ある』が 59.1%、「ない」が 33.0%となっています。

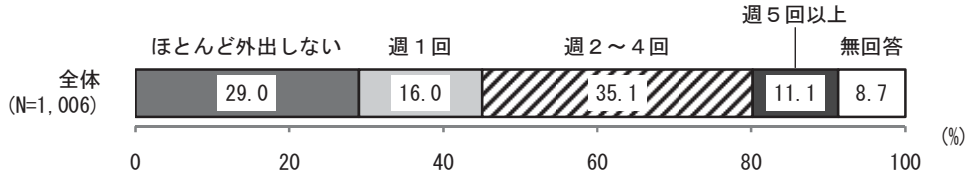
問31-5　転倒に対する不安は大きいですか（１つに○）



転倒に対する不安については、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が 83.4%と、８割以上の人が不安を持っています。

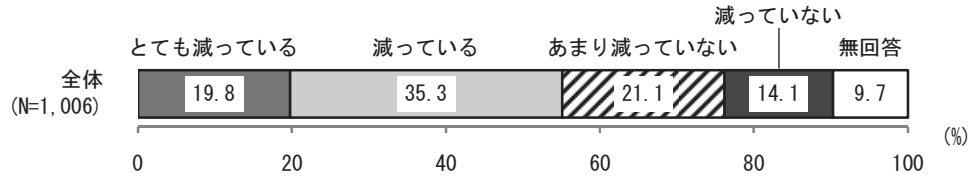
〔３〕外出の状況

問31-6　週に1回以上は外出していますか（１つに○）



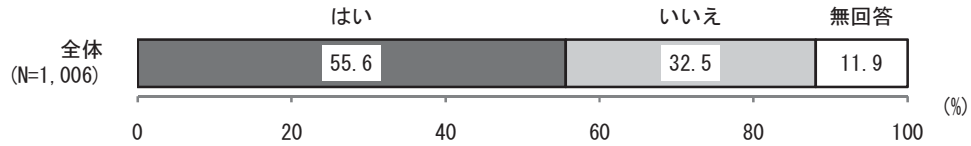
外出の頻度については、「週２～４回」が 35.1%と最も多く、次いで、「ほとんど外出しない」が 29.0%、「週１回」が 16.0%、「週５回以上」が 11.1%となっています。

問31-7　昨年と比べて外出の回数が減っていますか（１つに○）



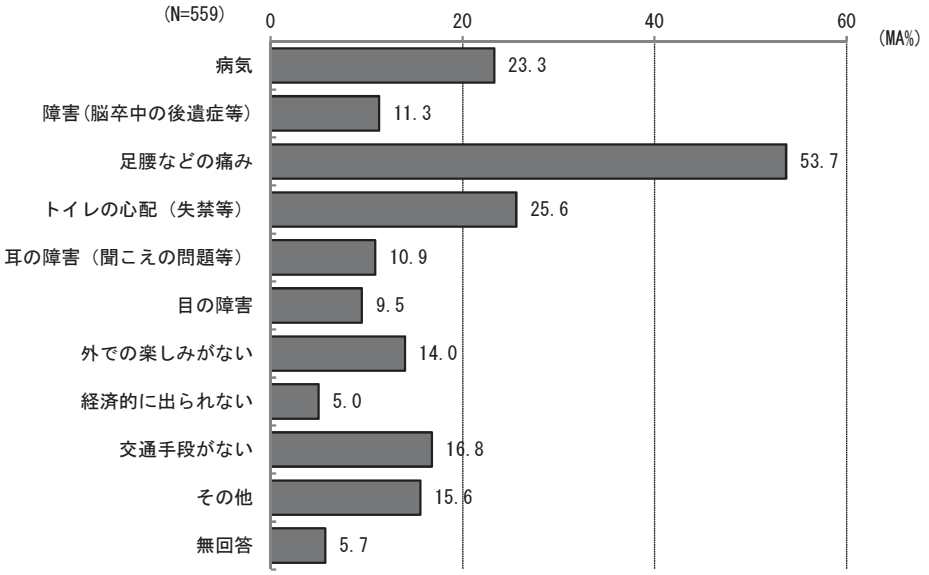
昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』が 55.1%、「減っていない」と「あまり減っていない」を合わせた『減っていない』が 35.2%となっています。

問31-8　外出を控えていますか（1つに○）



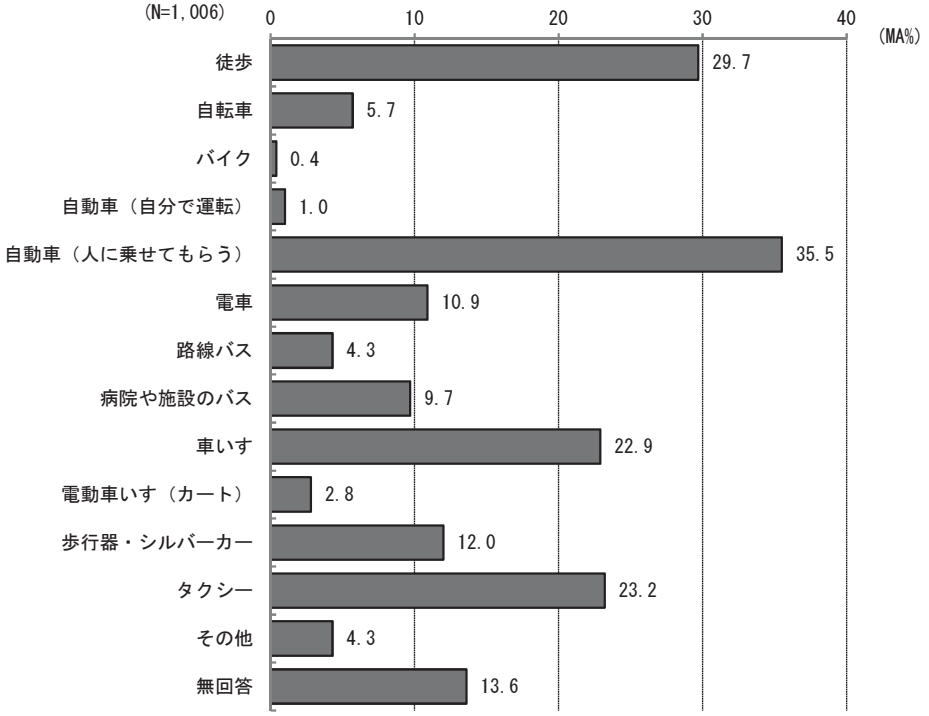
外出を控えているかについては、「はい」が 55.6%、「いいえ」が 32.5%となっています。

【問31-8で「１．はい」（外出を控えている）の方のみ】
問31-8-1　外出を控えている理由は、次のどれですか（○はいくつでも）



外出を控えている人に、その理由をたずねたところ、「足腰などの痛み」が 53.7%と最も多く、次いで、「トイレの心配（失禁等）」が 25.6%、「病気」が 23.3%となっています。

問31-9　外出する際の移動手段は何ですか（○はいくつでも）

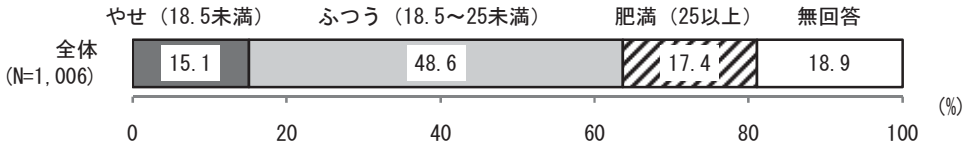


外出する際の移動手段は、「自動車（人に乗せてもらう）」が 35.5%と最も多く、次いで、「徒歩」が 29.7%、「タクシー」が 23.2%、「車いす」が 22.9%となっています。

４．食べることについて

〔１〕身長・体重

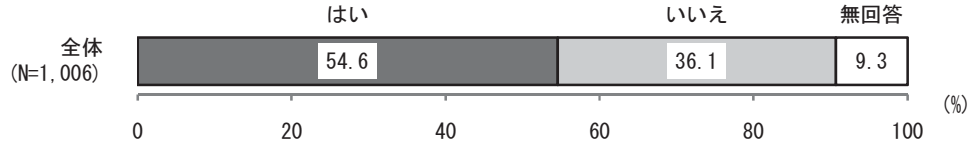
問32-1　身長・体重についてご記入下さい



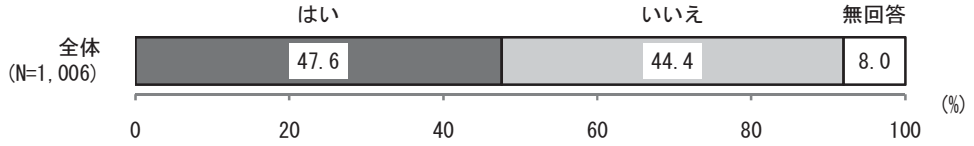
身長・体重から算出したＢＭＩ値の分類については、「ふつう（18.5～25 未満)」が 48.6%と最も多く、次いで、「肥満（25 以上)」が 17.4%、「やせ（18.5 未満)」が 15.1%となっています。

〔２〕口腔内の状況

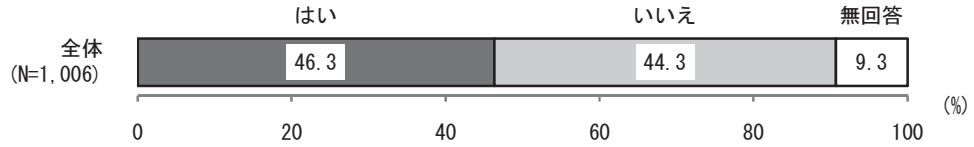
問32-2　半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（１つに○）



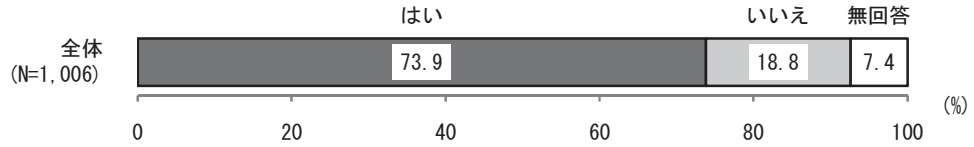
問32-3　お茶や汁物等でむせることがありますか（１つに○）



問32-4　口の渇きが気になりますか（１つに○）



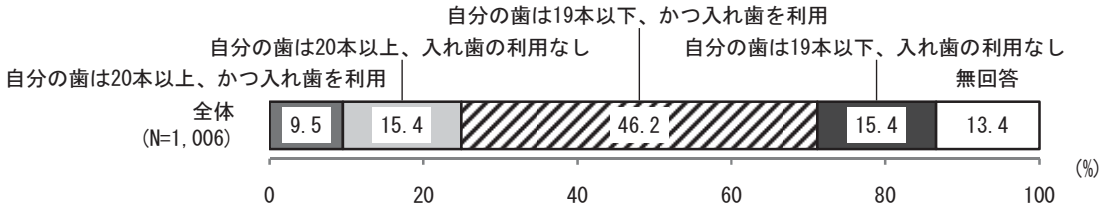
問32-5　歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日１回以上はしていますか（１つに○）



口腔内の状態についてみると、半年前に比べて固いものが食べにくくなったか、お茶や汁物等でむせることがあるか、口の渇きが気になるかのいずれも「はい」が５割前後となっています。

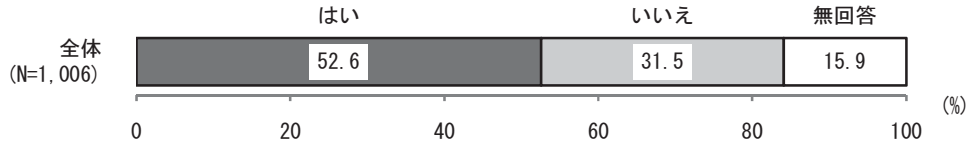
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日１回以上はしているかについては、「はい」が 73.9%と多くなっています。

問32-6　歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（１つに○ ）
※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です

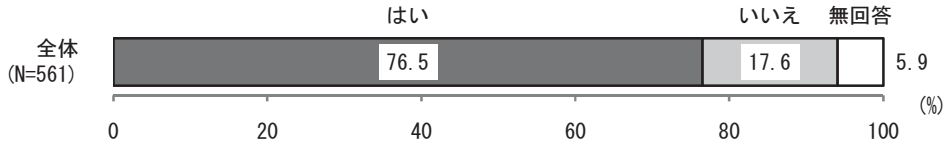


歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 46.2%と最も多く、次いで、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」がそれぞれ 15.4%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 9.5%で、入れ歯利用者は合計 55.7%となっています。

問32-6-①　噛み合わせは良いですか（１つに○ ）

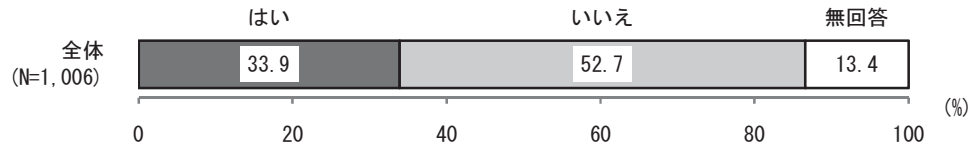


【問32-6で「１」「３」（入れ歯を利用）の方のみ】
問32-6-②　毎日入れ歯の手入れをしていますか（１つに○）



噛み合わせは良いかについては、「はい」が 52.6%、毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が 76.5%と多くなっています。

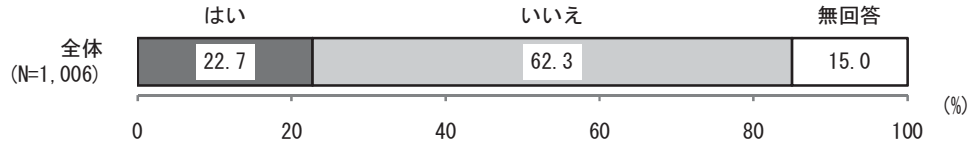
問32-7　定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか（１つに○）



定期的に歯科受診（健診を含む）しているかについては、「はい」が 33.9%となっています。

〔３〕体重減少について

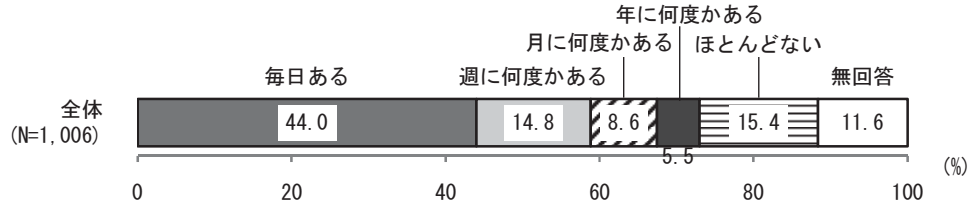
問32-8　６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか（１つに○）



６か月間で２～３kg 以上の体重減少があったかについては、「はい」が 22.7%、「いいえ」が 62.3%となっています。

〔４〕共食の頻度

問32-9　どなたかと食事をともにする機会はありますか（１つに○ ）

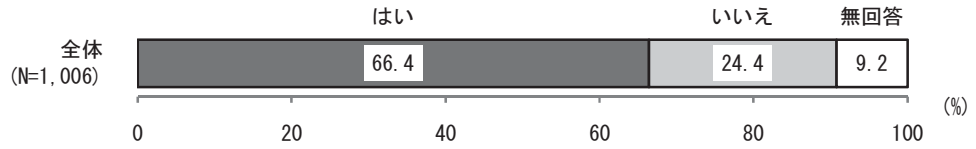


誰かと食事をともにする機会はあるかについては、「毎日ある」が 44.0%と最も多く、次いで、「ほとんどない」が 15.4%、「週に何度かある」が 14.8%となっています。

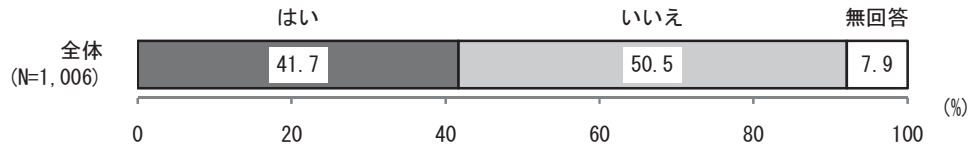
５．毎日の生活について

〔１〕物忘れの状況

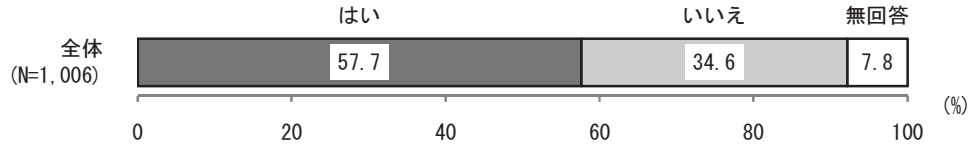
問33-1　物忘れが多いと感じますか（１つに○ ）



問33-2　自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（１つに○ ）



問33-3　今日が何月何日かわからない時がありますか（１つに○ ）



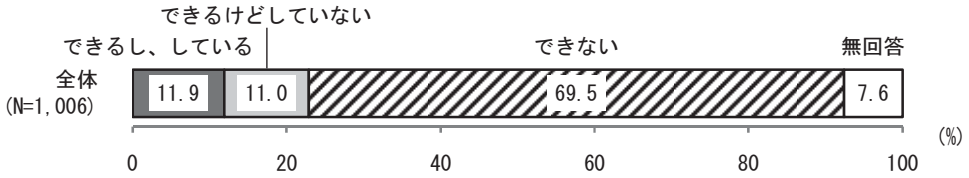
物忘れの状況についてみると、物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が 66.4%となっています。

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい」が 41.7%、「いいえ」が 50.5%となっています。

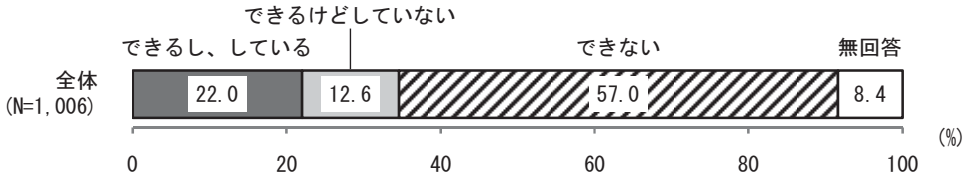
今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が 57.7%、「いいえ」が 34.6%となっています。

〔２〕日常生活の状況

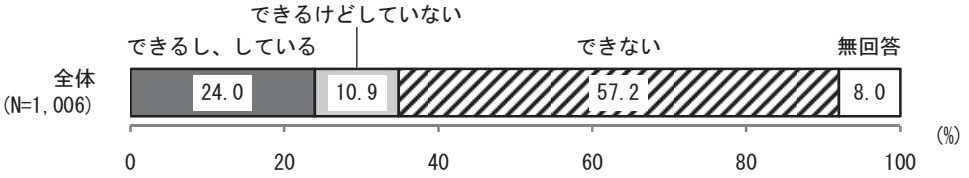
問33-4　バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（１つに○ ）



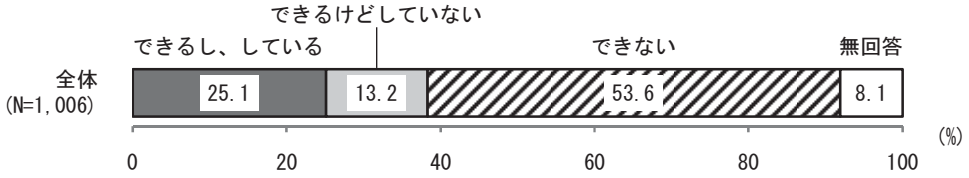
問33-5　自分で食品・日用品の買物をしていますか（１つに○ ）



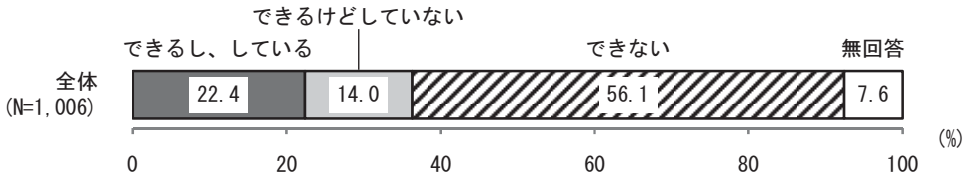
問33-6　自分で食事の用意をしていますか（１つに○ ）



問33-7　自分で請求書の支払いをしていますか（１つに○ ）



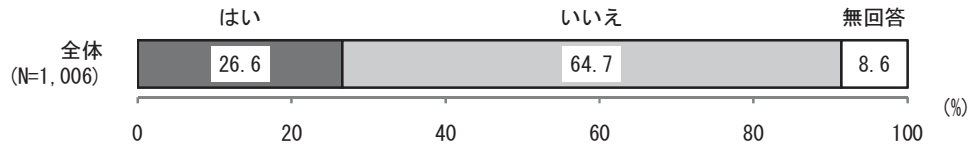
問33-8　自分で預貯金の出し入れをしていますか（１つに○ ）



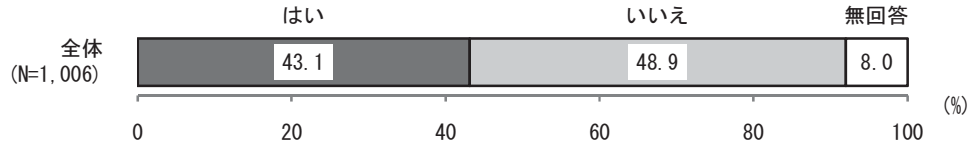
日常生活の状況についてみると、どの項目についても、半数以上の人が「できない」と回答しています。とくに、バスや電車を使って１人で外出しているかについては、「できない」が 69.5%と、他の項目に比べて多くなっています。

〔３〕社会参加の状況

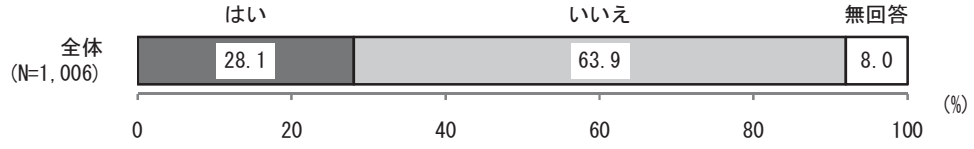
問33-9　年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（１つに○ ）



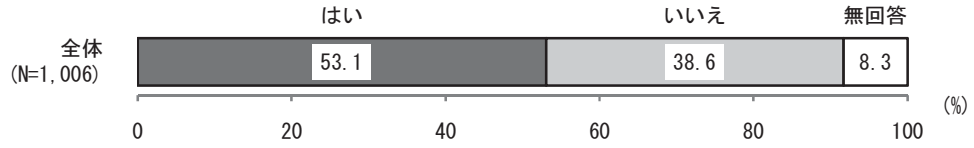
問33-10　新聞を読んでいますか（１つに○ ）



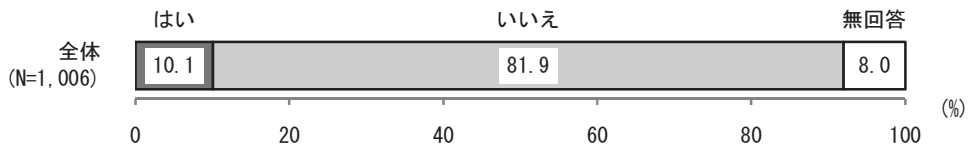
問33-11　本や雑誌を読んでいますか（１つに○ ）



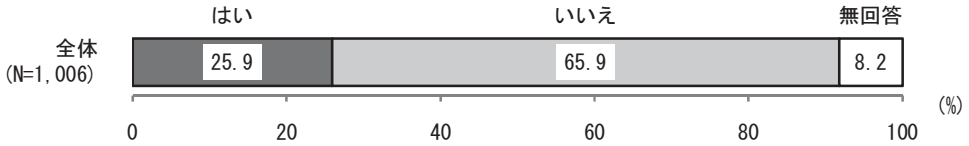
問33-12　健康についての記事や番組に関心がありますか（１つに○ ）



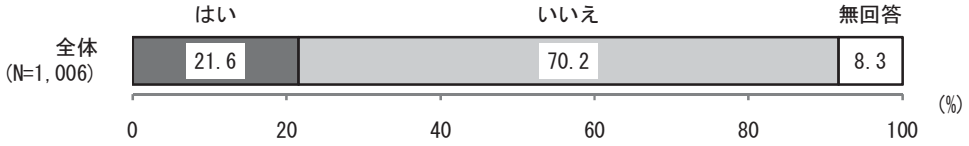
問33-13　友人の家を訪ねていますか（１つに○ ）



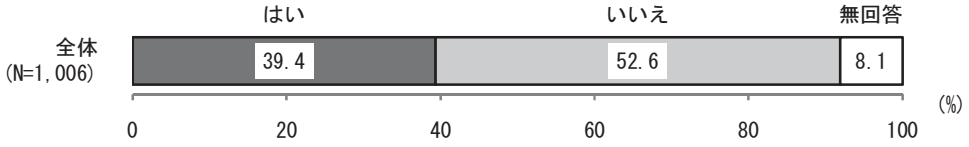
問33-14　家族や友人の相談にのっていますか（１つに○ ）



問33-15　病人を見舞うことができますか（１つに○ ）



問33-16　若い人に自分から話しかけることがありますか（１つに○ ）

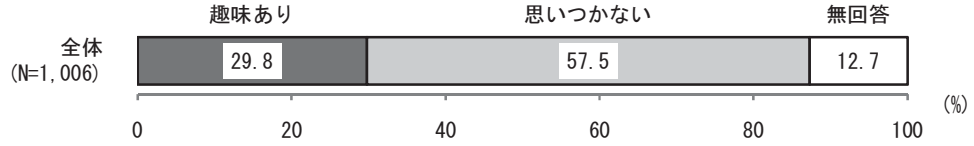


社会参加の状況についてみると、健康についての記事や番組に関心があるか、新聞を読んでいるか、若い人に自分から話しかけることがあるかで「はい」が４～５割と比較的多くなっています。

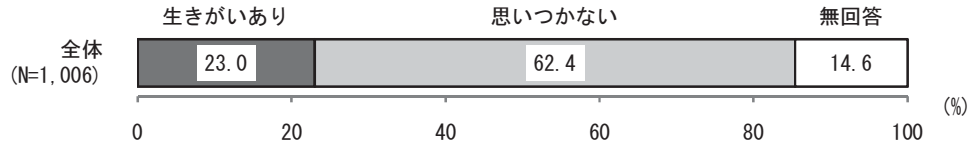
一方、友人の家を訪ねているかでは８割、病人を見舞うことができるかでは７割の人が「いいえ」と回答しています。

〔４〕趣味や生きがいについて

問33-17　趣味はありますか（１つに○）



問33-18　生きがいはありますか（１つに○）

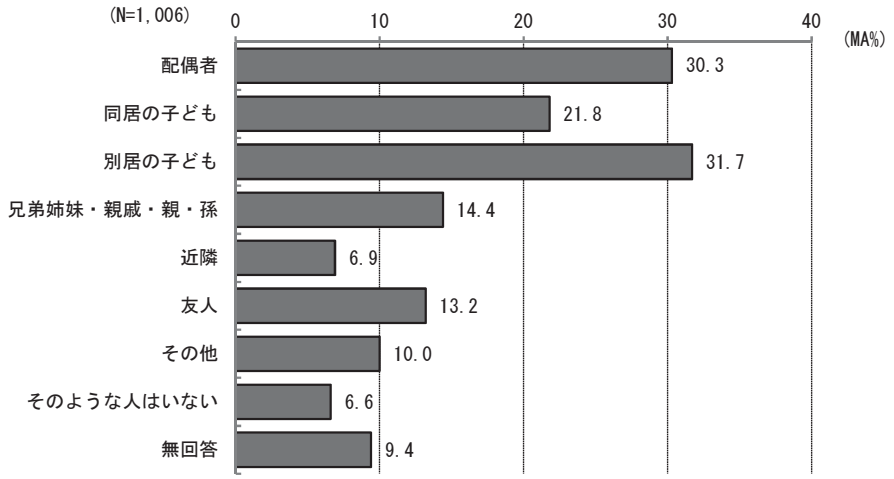


趣味や生きがいについてみると、「趣味あり」は 29.8%、「生きがいあり」は 23.0%となっています。

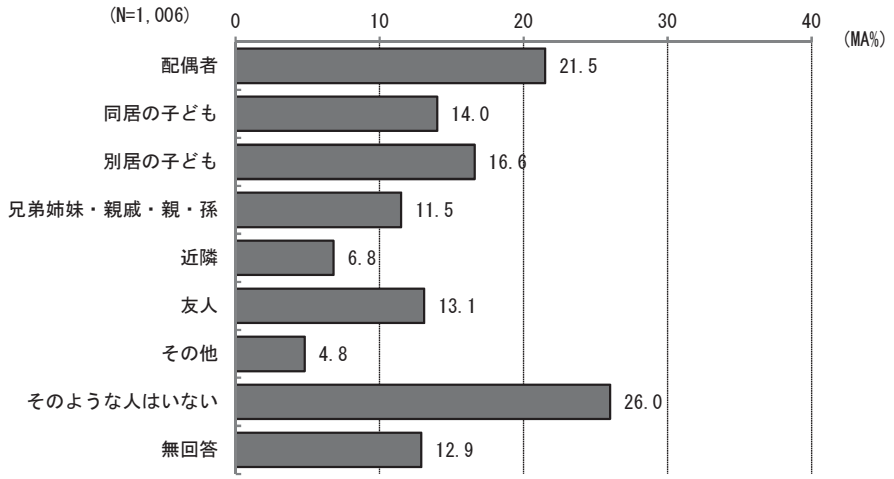
６．あなたとまわりの人の「たすけあい」について

〔１〕まわりの人とのたすけあいの状況

問34-1　あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



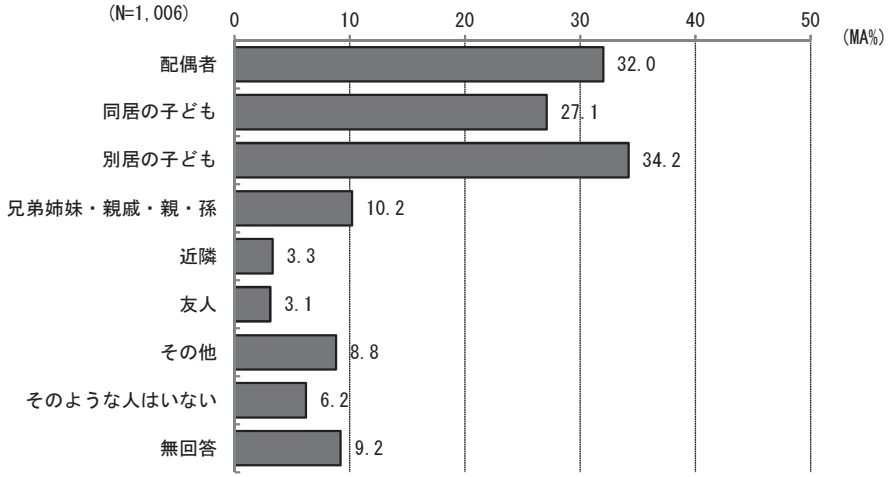
問34-2　反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）



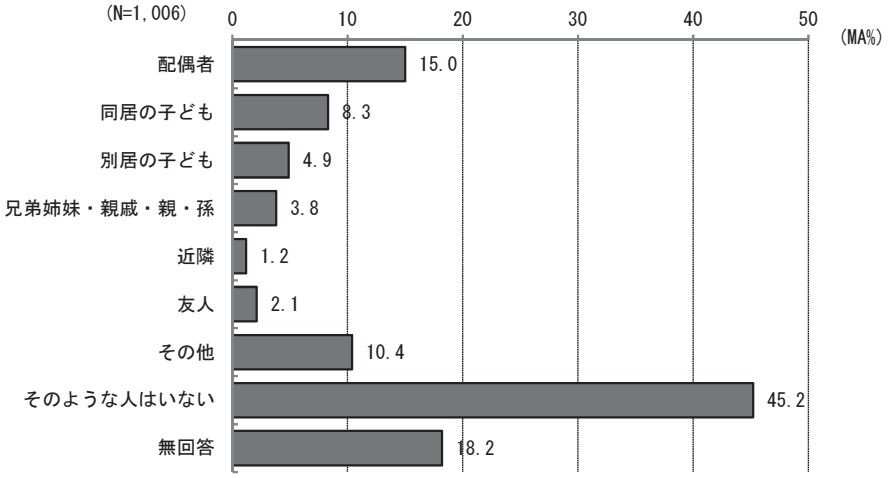
心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「別居の子ども」が 31.7%と最も多く、次いで、「配偶者」が 30.3%となっています。

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「そのような人はいない」が 26.0%と最も多く、次いで、「配偶者」が 21.5%、「別居の子ども」が 16.6%となっています。

問34-3　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



問34-4　反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

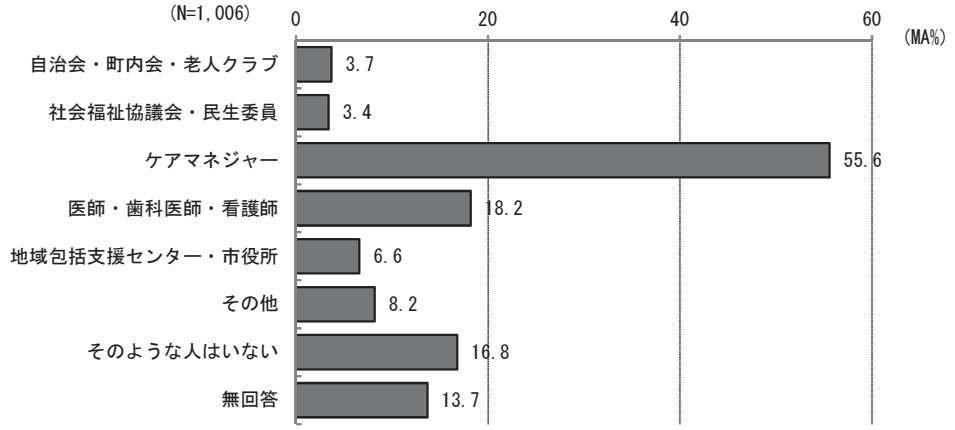


病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「別居の子ども」が34.2%と最も多く、次いで、「配偶者」が 32.0%、「同居の子ども」が 27.1%となっています。

看病や世話をしてあげる人は、「そのような人はいない」が 45.2%と最も多く、次いで、「配偶者」が 15.0%となっています。

〔２〕家族や友人・知人以外の相談先

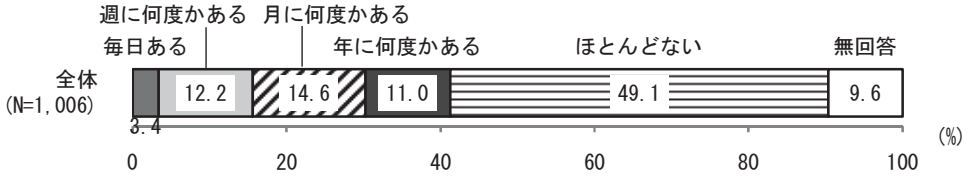
問34-5　家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）



家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「ケアマネジャー」が 55.6%と最も多く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が 18.2%となっています。一方で、「そのような人はいない」も 16.8%みられます。

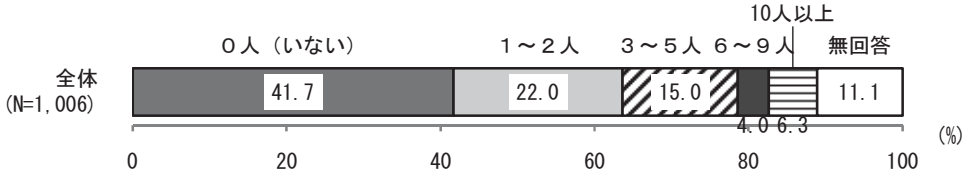
〔３〕交友関係

問34-6　友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（１つに○）



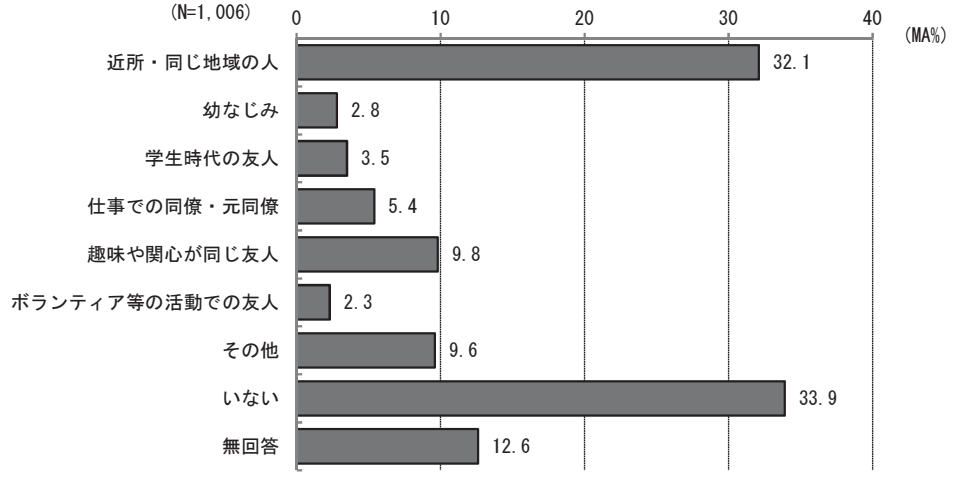
友人・知人と会う頻度については、「ほとんどない」が 49.1%と最も多く、次いで、「月に何度かある」が 14.6%、「週に何度かある」が 12.2%となっています。

問34-7　この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか（１つに○）
※同じ人には何度会っても一人と数えることとします



この１か月間に会った友人・知人の数については、「０人（いない)」が 41.7%と最も多く、次いで、「１～２人」が 22.0%、「３～５人」が 15.0%となっています。

問34-8　よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

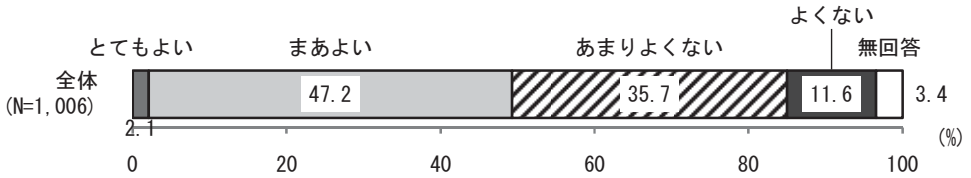


よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が 32.1%と最も多く、「いない」も 33.9%みられます。

７．健康について

〔１〕現在の健康状態

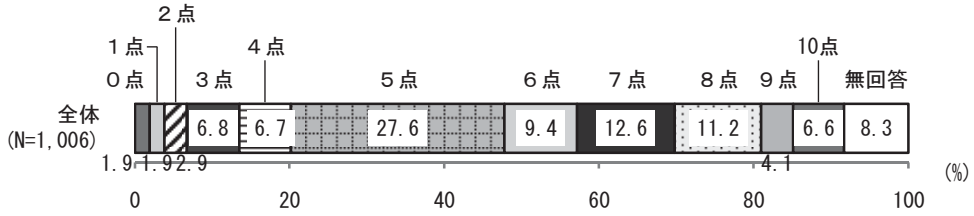
問35-1　現在のあなたの健康状態はいかがですか（１つに○）



現在の健康状態については、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が 49.3%、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた『よくない』が 47.3%となっています。

〔２〕現在の幸せ度

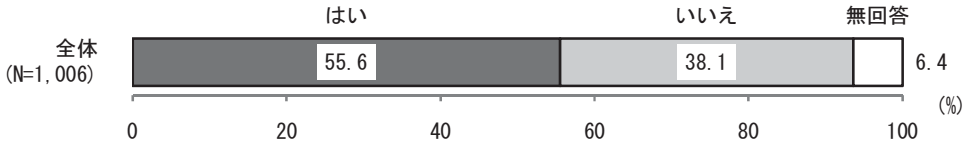
問35-2　あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください。



現在の幸せ度を 10 点満点で評価してもらったところ、「5 点」と回答した方が 27.6%と最も多く、次いで、「7 点」が 12.6%となっています。

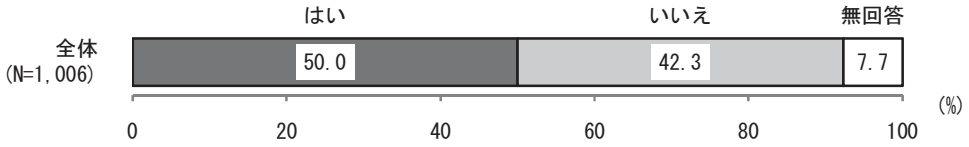
〔３〕この１か月間の心の状況

問35-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（１つに○）



この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたかについては、「はい」が 55.6%、「いいえ」が 38.1%となっています。

問35-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（１つに○）



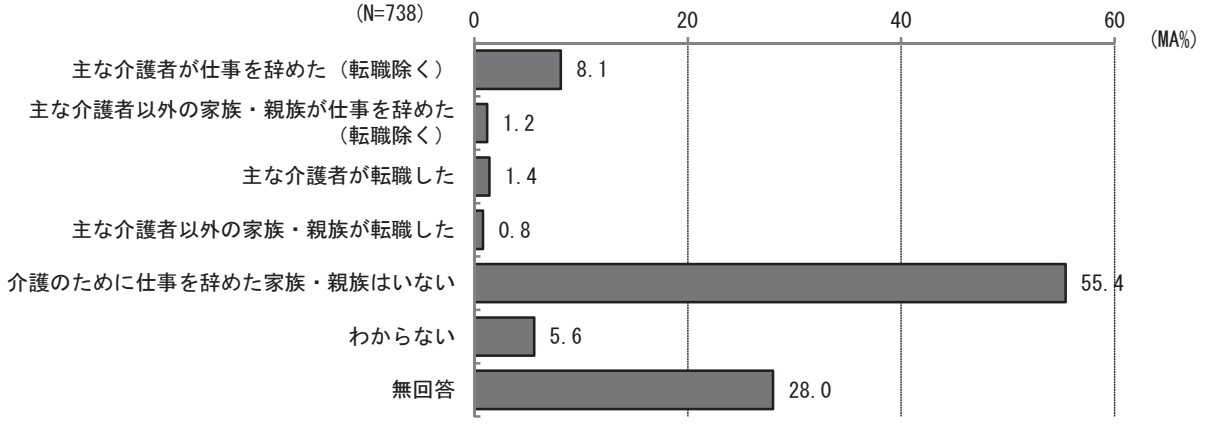
この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が 50.0%、「いいえ」が 42.3%となっています。

Ⅱ－２－②　介護者アンケート

１．介護者の属性

〔１〕介護を理由に仕事を辞めた家族・親族の有無

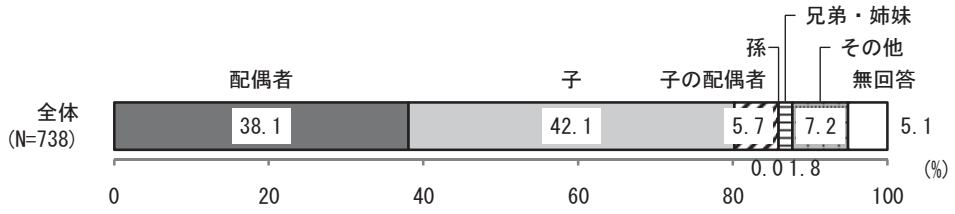
問１　ご家族やご親族の中で、宛名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）



家族や親族の中で、介護を主な理由として過去 1 年の間に仕事を辞めた方の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 55.4%と最も多く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 8.1%となっています。

〔２〕主な介護者

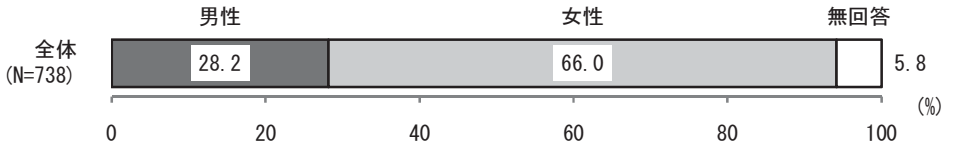
問２　主な介護者の方は、どなたですか（１つに○）



主な介護者は、「子」が 42.1%と最も多く、次いで、「配偶者」が 38.1%となっています。

〔３〕主な介護者の性別

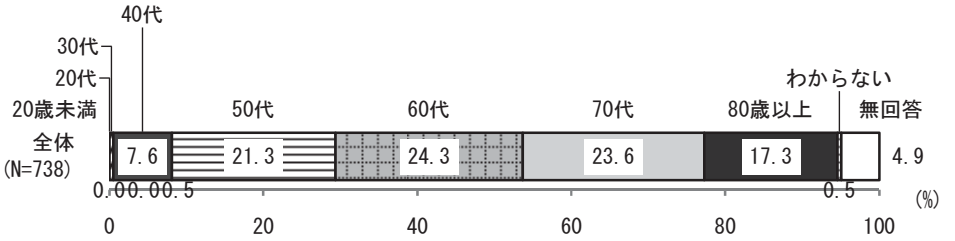
問３　主な介護者の方の性別について、ご回答ください（１つに○）



主な介護者の性別は、「男性」が 28.2%、「女性」が 66.0%となっています。

〔４〕主な介護者の年齢

問４　主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（１つに○）



主な介護者の年齢は、「60 代」が 24.3%と最も多く、次いで、「70 代」が 23.6%、「50 代」が 21.3%、「80 歳以上」が 17.3%、「40 代」が 7.6%となっています。

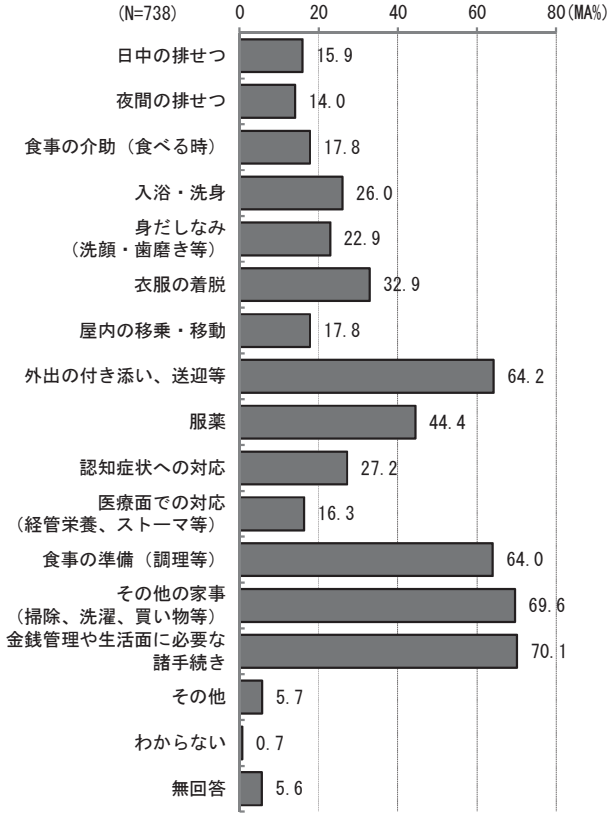
２．行っている介護等について

〔１〕現在行っている介護・不安に感じる介護

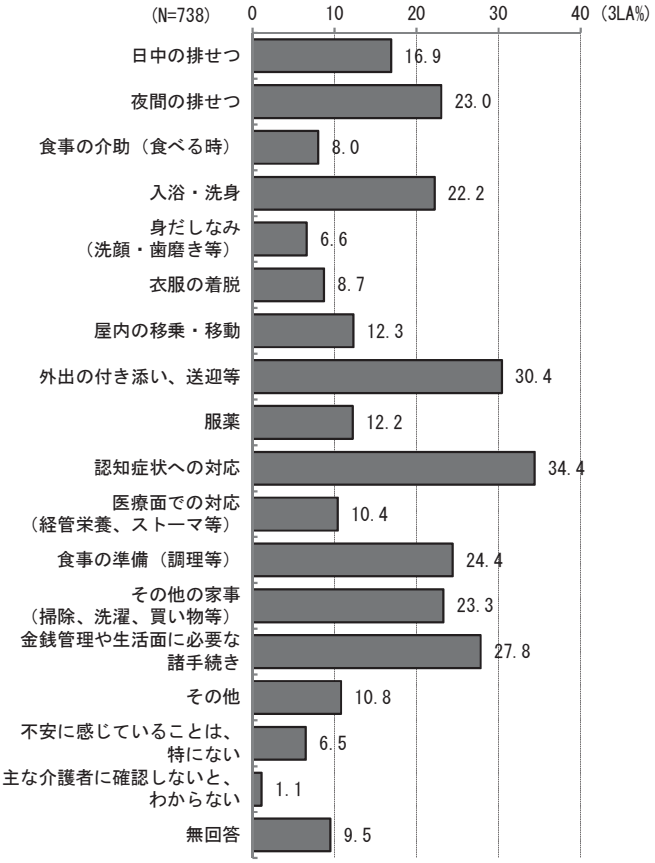
問５　現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（○はいくつでも）

問６　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は３つまで）

【現在行っている介護】



【不安に感じる介護】



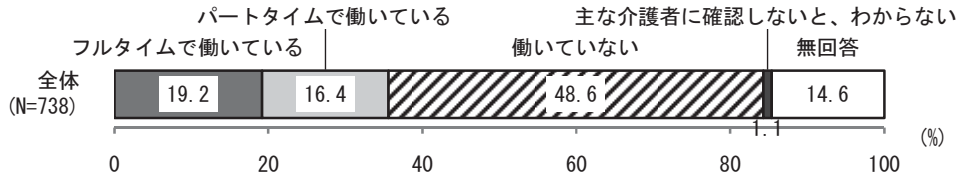
現在、主な介護者の方が行っている介護等は、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 70.1%と最も多く、次いで、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 69.6%、「外出の付き添い、送迎等」が 64.2%、「食事の準備（調理等）」が 64.0%となっています。

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が 34.4%と最も多く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」が 30.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 27.8%となっています。

3．介護者の就業状況について

〔1〕主な介護者の方の勤務形態

問7　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つに○）

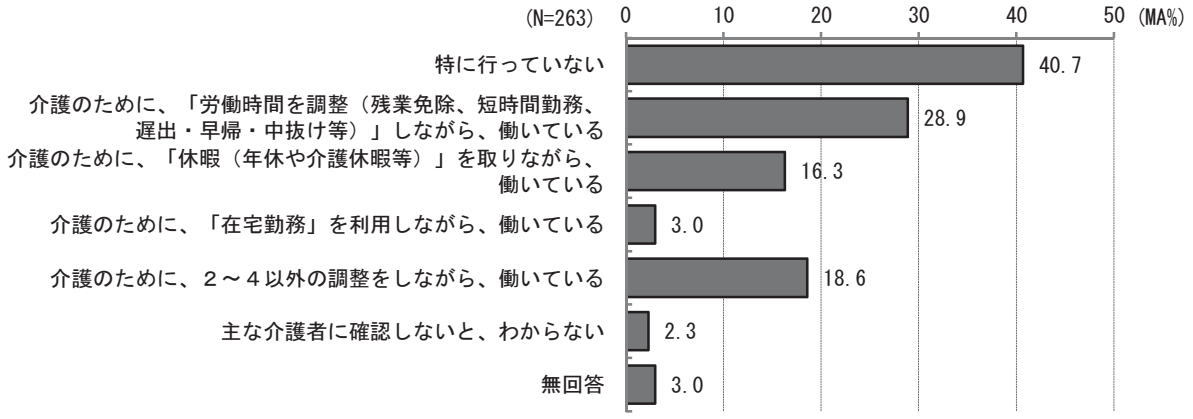


主な介護者の勤務形態については、「フルタイムで働いている」が 19.2%、「パートタイムで働いている」が 16.4%で、『働いている』の合計は 35.6%、「働いていない」が 48.6%となっています。

〔2〕働き方の調整等をしているか

【問7で「1．フルタイムで働いている」「2．パートタイムで働いている」と回答した方のみ】

問8　主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（○はいくつでも）

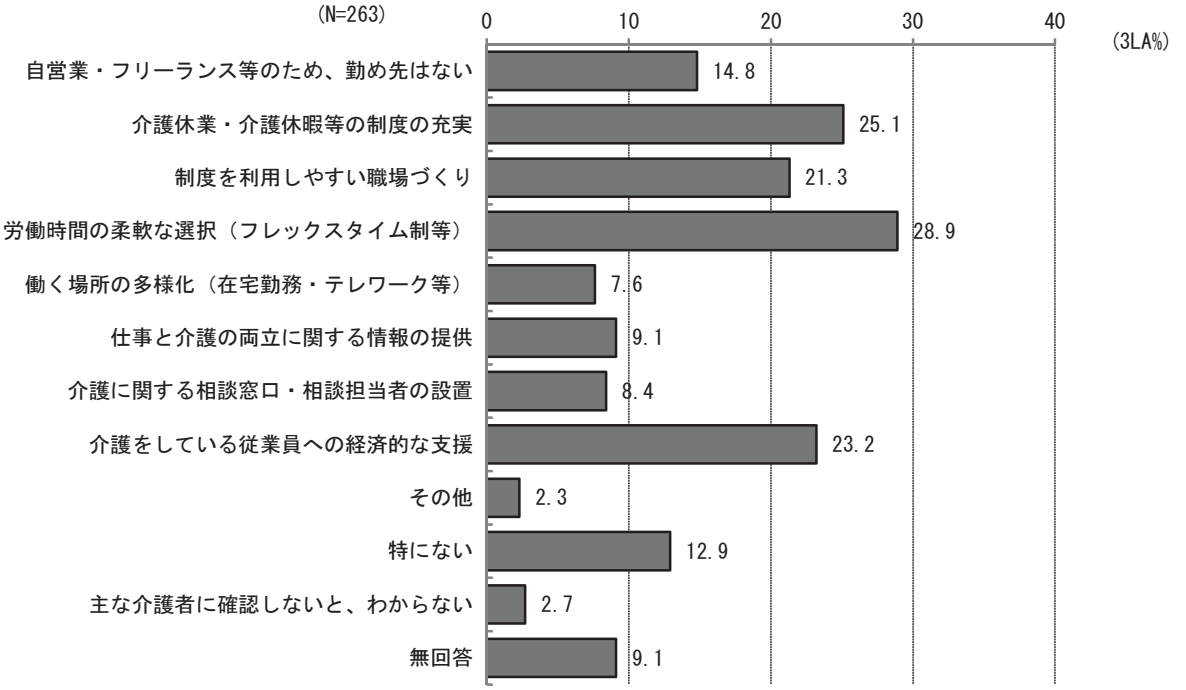


主な介護者が、介護をするにあたって、働き方の調整等をしているかについては、「特に行っていない」が 40.7%と最も多く、次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 28.9%となっています。

〔３〕仕事と介護の両立に効果的な支援

【問７で「１．フルタイムで働いている」「２．パートタイムで働いている」と回答した方のみ】

問９　主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は３つまで）

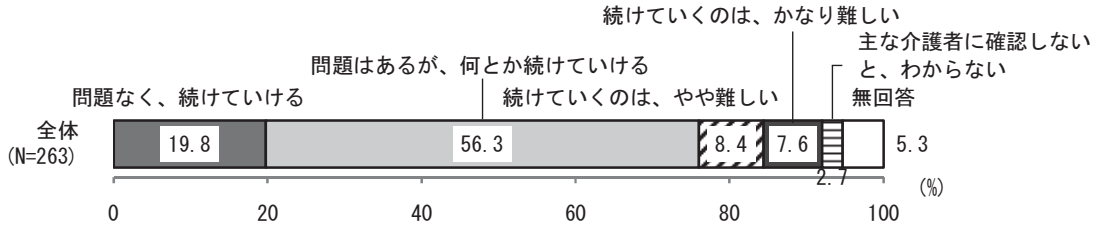


仕事と介護の両立に効果的な支援については、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）」が 28.9%と最も多く、次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 25.1%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 23.2%となっています。

〔４〕就業継続の可否

【問７で「１．フルタイムで働いている」「２．パートタイムで働いている」と回答した方のみ】

問10　主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（１つに○）



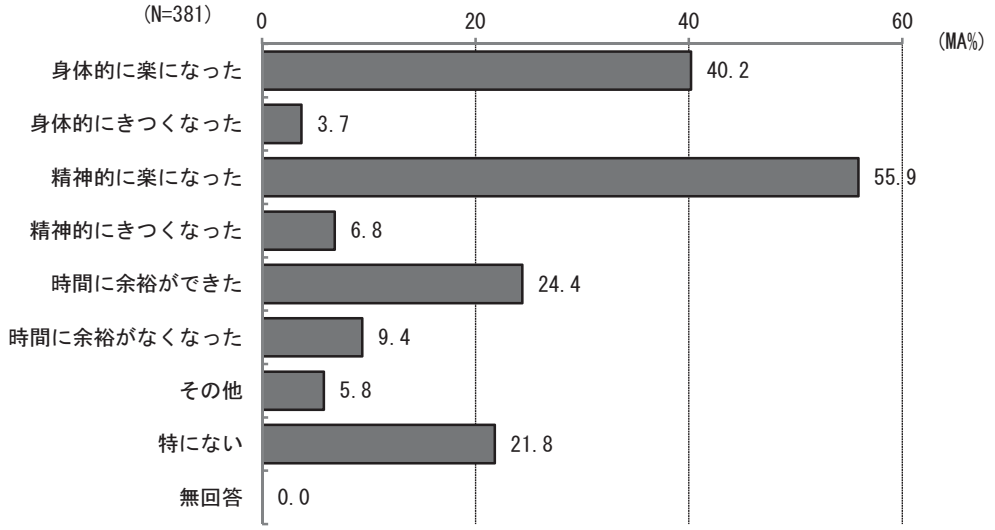
今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた『続けていける』が 76.1%、「続けていくのは、かなり難しい」と「続けていくのは、やや難しい」を合わせた『続けていくのは難しい』が 16.0%となっています。

4．サービス利用について

〔1〕居宅サービスの利用による介護者の生活の変化

【居宅サービスを利用している方のみ】

問11　居宅サービスを利用することで、主な介護者の生活にどのような変化がありましたか（○はいくつでも）

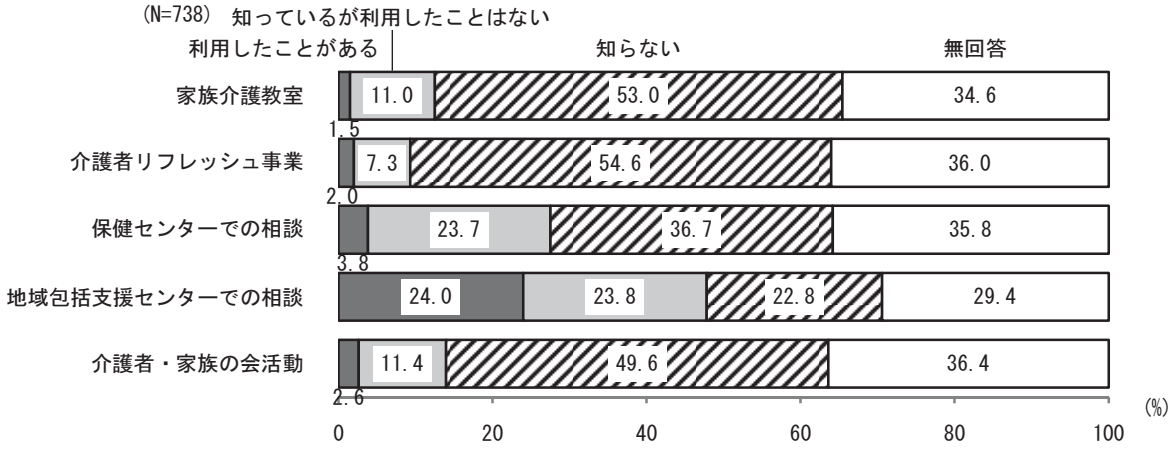


居宅サービスを利用することで、主な介護者の生活にどのような変化があったかについては、「精神的に楽になった」が 55.9%と最も多く、次いで、「身体的に楽になった」が 40.2%、「時間に余裕ができた」が 24.4%となっています。

〔２〕介護者向けのサービスや活動について

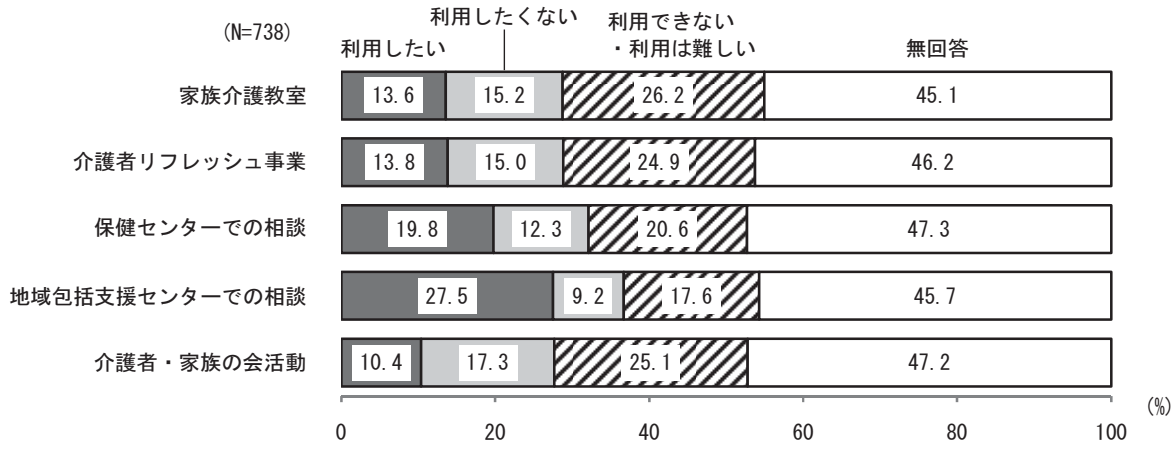
問12　下記の介護者向けサービスや活動についてご存知ですか。また、今後利用してみたいと思いますか（あてはまるものそれぞれ１つに○）

【現在の利用状況】



介護者向けのサービスや活動の現在の利用状況について、「利用したことがある」は「地域包括支援センターでの相談」で 24.0%みられますが、それ以外は 5%以下と少なくなっています。また、「家族介護教室」、「介護者リフレッシュ事業」については、半数以上の人が「知らない」と回答しています。

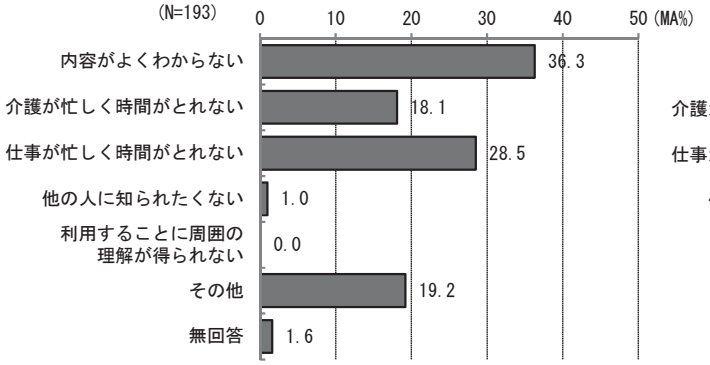
【今後の利用意向】



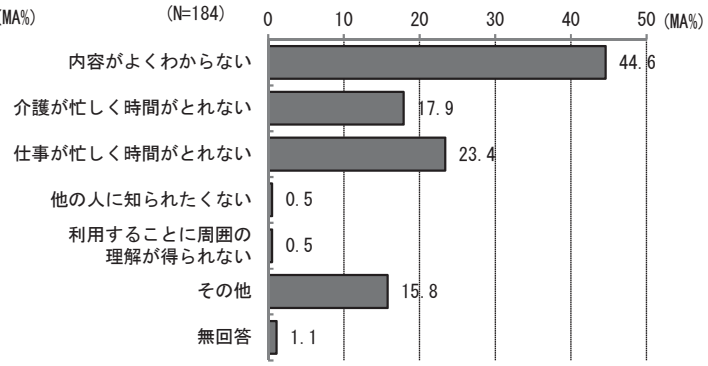
今後の利用意向について、「利用したい」は「地域包括支援センターでの相談」が 27.5%と最も多く、次いで、「保健センターでの相談」が 19.8%となっています。

【利用できない・利用は難しい理由】

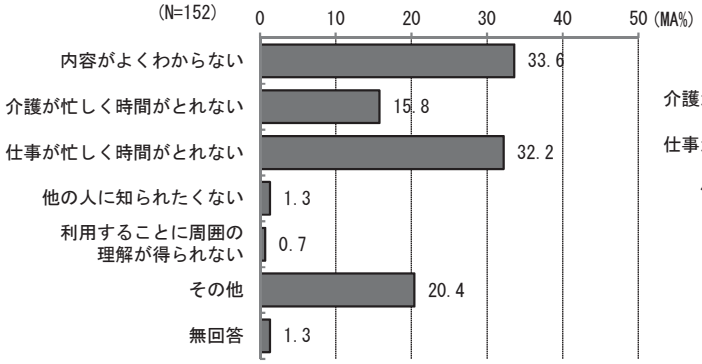
【家族介護教室】



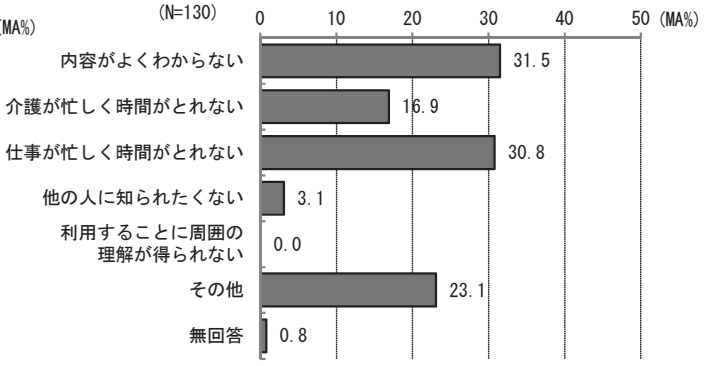
【介護者リフレッシュ事業】



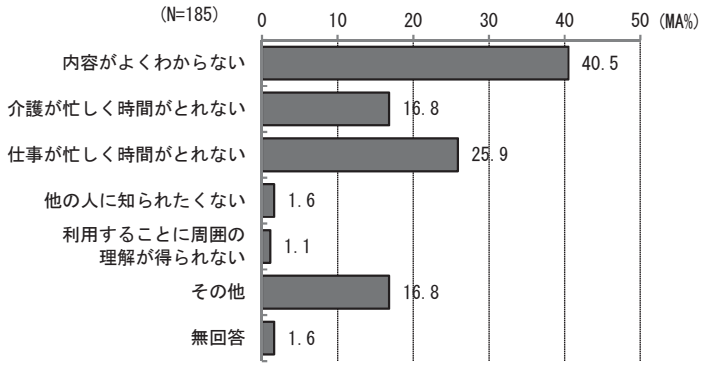
【保健センターでの相談】



【地域包括支援センターでの相談】



【介護者・家族の会活動】

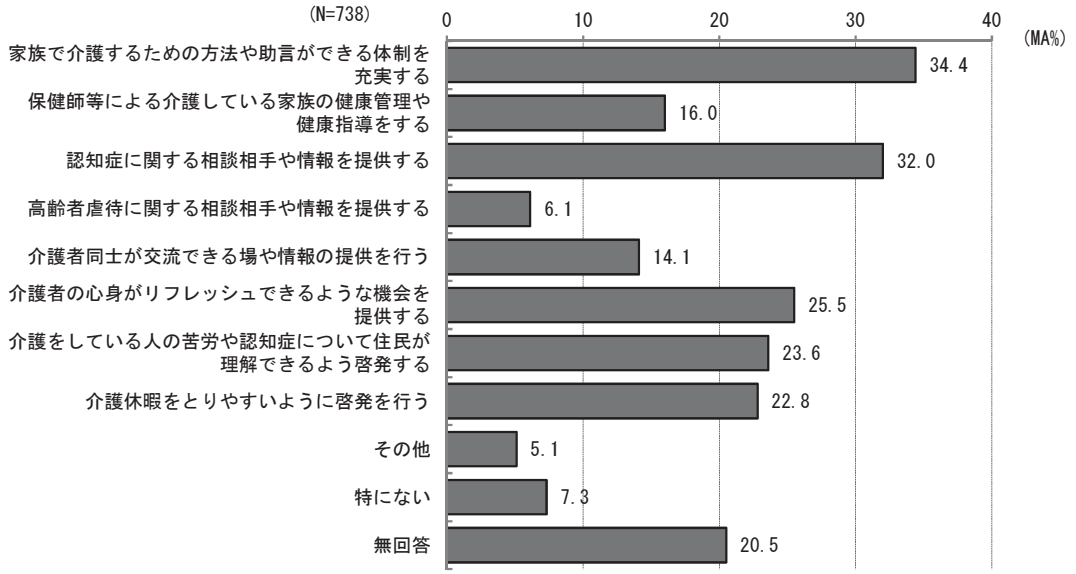


利用意向で「利用できない・利用は難しい」と回答した人の理由については、どのサービス・活動についても「内容がよくわからない」が３～４割を占め、最も多くなっています。また、地域包括支援センターでの相談では、「他の人に知られたくない」が 3.1%と他の項目に比べやや多くなっています。

５．介護者への支援について

〔１〕行政が介護者に行うべき支援

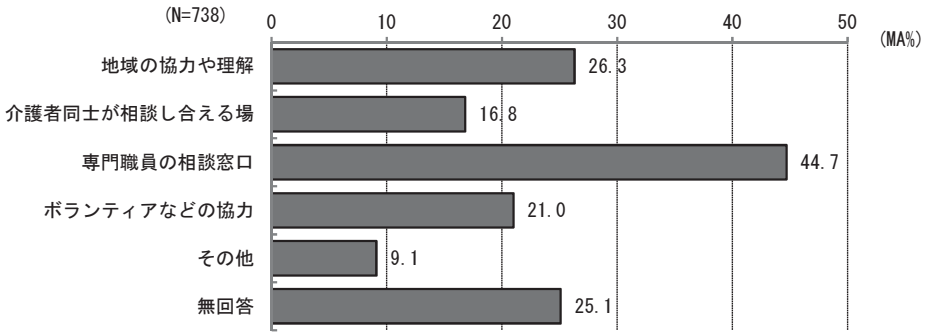
問13　今後、行政が介護者に関してどのような支援をすべきだとお考えですか（○はいくつでも）



今後、行政が介護者に関して行うべき支援については、「家族で介護するための方法や助言ができる体制を充実する」が 34.4%と最も多く、次いで、「認知症に関する相談相手や情報を提供する」が 32.0%となっています。

〔２〕介護疲れやストレス緩和のために必要なこと

問14　家族を介護する人の介護疲れやストレス緩和のためには、何が必要だと思いますか（○はいくつでも）



家族を介護する人の介護疲れやストレス緩和のために必要なことについては、「専門職員の相談窓口」が 44.7%と最も多く、次いで、「地域の協力や理解」が 26.3%となっています。

Ⅱ－３　生活機能評価等に関する分析

本調査は、地域における高齢者の課題や必要な支援・サービス等をより的確に把握するため、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れており、介護予防事業の「基本チェックリスト」や「手段的自立度（ＩＡＤＬ）」などの指標の判定に関する調査項目が設定されています。

本報告書の『生活機能評価等に関する分析』では、これらの調査項目を使用し、各指標の判定（リスク評価等）を行っています。

１　生活機能評価

（１）運動器の機能低下

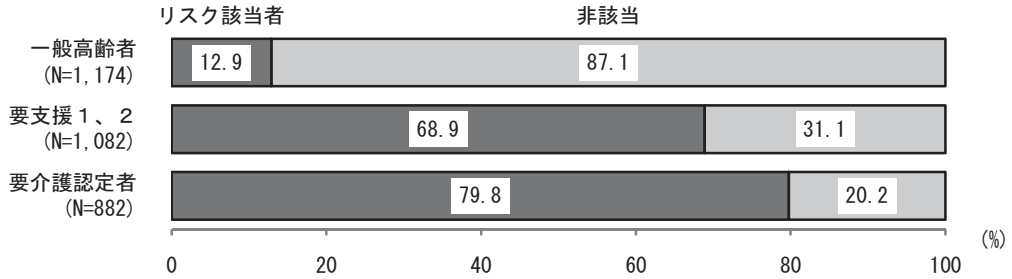
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、５項目のうち３項目以上に該当する人を『運動器の機能低下』のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問２（1）	問 31-1	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	３．できない
問２（2）	問 31-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	３．できない
問２（3）	問 31-3	１５分位続けて歩いていますか	３．できない
問２（4）	問 31-4	過去１年間に転んだ経験がありますか	１．何度もある ２．１度ある
問２（5）	問 31-5	転倒に対する不安は大きいですか	１．とても不安である ２．やや不安である

【リスク該当状況】 ※無回答により判定・評価困難な場合は、調査数（ｎ数）から除外して集計しています。（以下、同様）

『運動器の機能低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で１割強（12.9%）、要支援認定者で７割（68.9%）、要介護認定者では８割（79.8%）となっています。



（２）転倒リスク

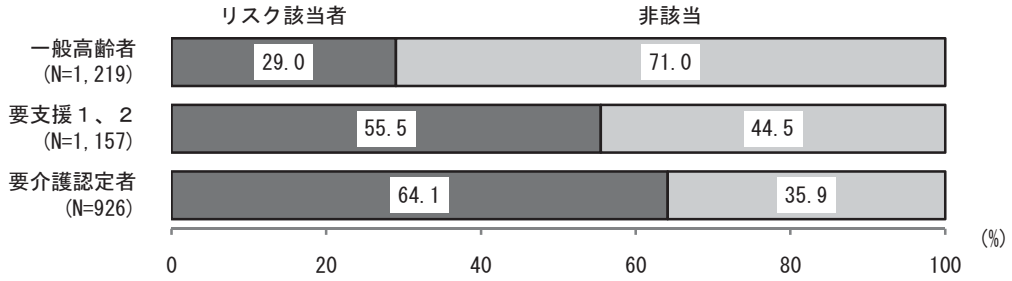
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『転倒』のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問２（4）	問 31-4	過去１年間に転んだ経験がありますか	１．何度もある ２．１度ある

【リスク該当状況】

『転倒リスク』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で３割（29.0%）、要支援認定者で５割台（55.5%）、要介護認定者で６割台（64.1%）となっています。



（３）閉じこもり傾向

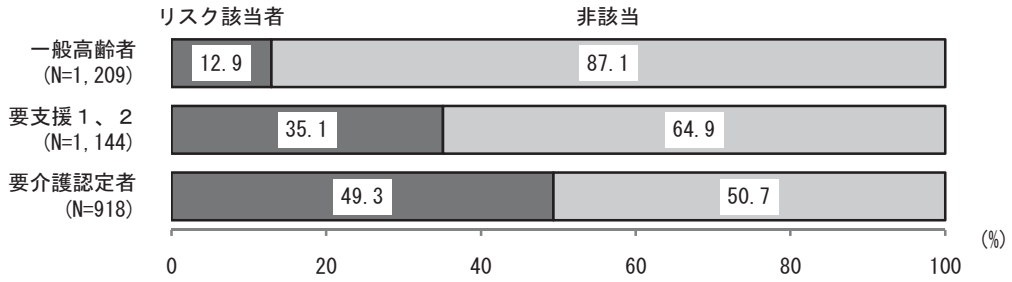
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『閉じこもり傾向』のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問２（6）	問 31-6	週に１回以上は外出していますか	１．ほとんど外出しない ２．週１回

【リスク該当状況】

『閉じこもり傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で１割強（12.9%）、要支援認定者で３割台（35.1%）、要介護認定者で５割（49.3%）となっています。



（４）低栄養の傾向

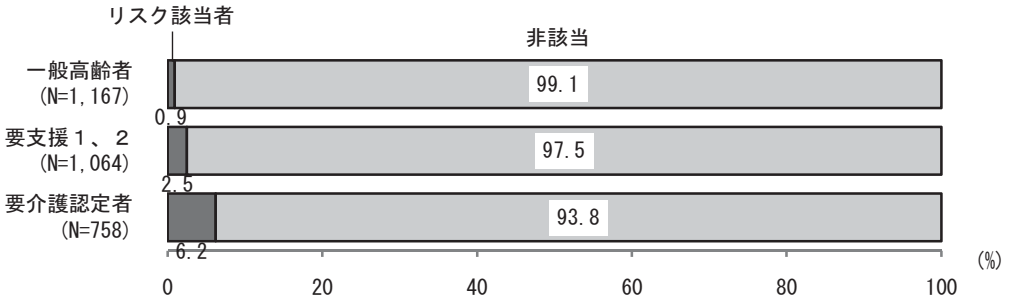
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、２項目ともに該当する人を『低栄養の傾向』のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問３（1）	問 32-1	身長・体重を記入ください	ＢＭＩ18.5未満
問３（8）	問 32-8	６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか	１．はい

【リスク該当状況】

『低栄養の傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で 0.9%、要支援認定者で 2.5%、要介護認定者でも 6.2%となっています。



（５）口腔機能の低下

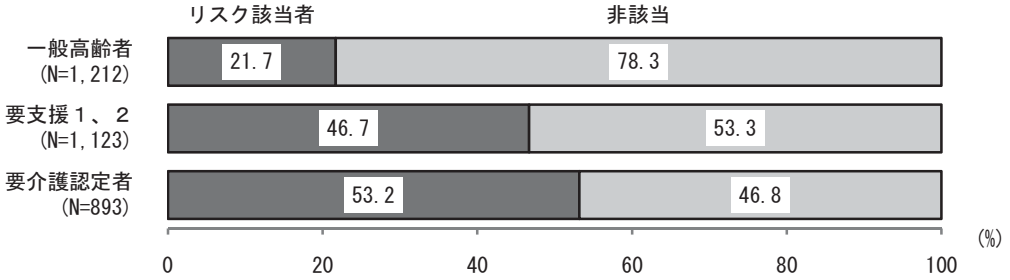
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、３項目のうち２項目以上に該当する人を『口腔機能の低下』のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問３（2）	問 32-2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	１．はい
問３（3）	問 32-3	お茶や汁物等でむせることがありますか	１．はい
問３（4）	問 32-4	口の渇きが気になりますか	１．はい

【リスク該当状況】

『口腔機能の低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で２割（21.7%）、要支援認定者で５割弱（46.7%）、要介護認定者で５割強（53.2%）となっています。



（６）認知機能の低下

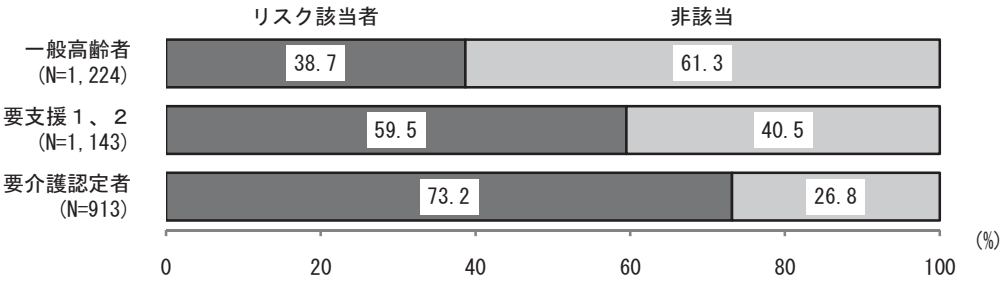
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『認知機能の低下』のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問４（1）	問 33-1	物忘れが多いと感じますか	１．はい

【リスク該当状況】

『認知機能の低下』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で４割弱（38.7%）、要支援認定者で６割（59.5%）、要介護認定者で７割（73.2%）となっています。



（７）うつ傾向

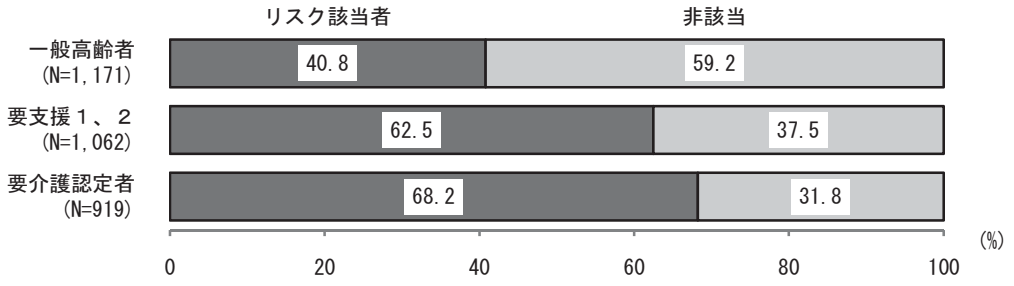
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、２項目のうち１項目以上に該当する人を『うつ傾向』のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問７（3）	問 35-3	この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	１．はい
問７（4）	問 35-4	この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	１．はい

【リスク該当状況】

『うつ傾向』の判定結果をみると、該当者（リスクあり）は一般高齢者で４割（40.8%）、要支援認定者で６割強（62.5%）、要介護認定者で７割弱（68.2%）となっています。



２　日常生活評価

（１）手段的自立度（ＩＡＤＬ）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問（５項目）に基づき、活動的な日常生活をおくるための能力（手段的自立度：ＩＡＤＬ）が低下している人の状況を把握します。

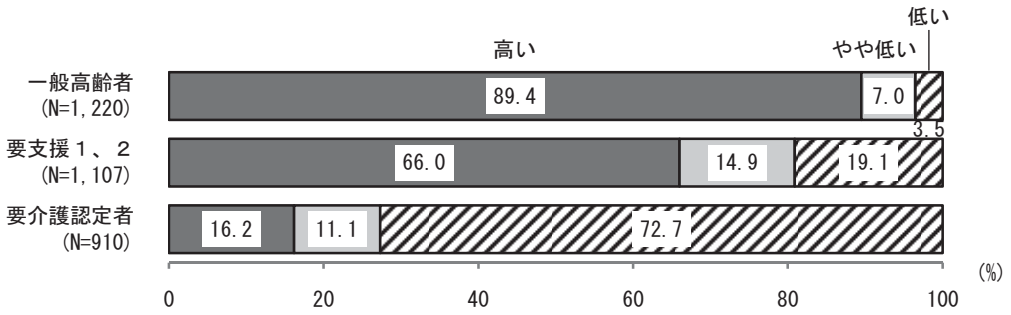
評価は、調査票の以下の設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を“１点”として、５点満点で評価し、５点を「高い」、４点を「やや低い」、３点以下を「低い」（※４点以下を低下者）と評価しました。

【評価設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問４（4）	問 33-4	バスや電車を使って１人で外出していますか	１．できるし、している（1点） ２．できるけどしていない（1点）
問４（5）	問 33-5	自分で食品・日用品の買物をしていますか	１．できるし、している（1点） ２．できるけどしていない（1点）
問４（6）	問 33-6	自分で食事の用意をしていますか	１．できるし、している（1点） ２．できるけどしていない（1点）
問４（7）	問 33-7	自分で請求書の支払いをしていますか	１．できるし、している（1点） ２．できるけどしていない（1点）
問４（8）	問 33-8	自分で預貯金の出し入れをしていますか	１．できるし、している（1点） ２．できるけどしていない（1点）

【該当状況】

『手段的自立度（ＩＡＤＬ）』の評価結果をみると、低下者（「やや低い」「低い」の計）は一般高齢者で１割（10.5%）、要支援認定者で３割台（34.0%）、要介護認定者で８割台（83.8%）となっています。



3　社会参加評価

（1）知的能動性

老研式活動能力には、高齢者の余暇や創作など生活を楽しむ能力に関する設問が４問あり、『知的能動性』として尺度化されており、これが低下している人の状況を把握します。

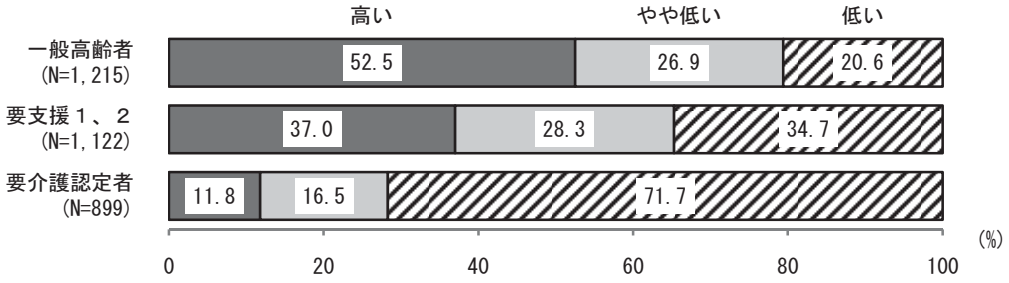
評価は、調査票の以下の設問に「はい」と回答した場合を“１点”として、４点満点で評価し、４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」（※３点以下を低下者）と評価しています。

【評価設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問４（9）	問 33-9	年金などの書類が書けますか	１．はい（１点）
問４（10）	問 33-10	新聞を読んでいますか	１．はい（１点）
問４（11）	問 33-11	本や雑誌を読んでいますか	１．はい（１点）
問４（12）	問 33-12	健康についての記事や番組に関心がありますか	１．はい（１点）

【該当状況】

『知的能動性』の評価結果をみると、低下者（「やや低い」「低い」の計）は一般高齢者で５割弱（47.5%）、要支援認定者で６割台（63.0%）、要介護認定者で９割弱（88.2%）となっています。



（２）社会的役割

老研式活動能力には、地域で社会的な役割を果たす能力に関する設問が４問あり、『社会的役割』として尺度化されており、これが低下している人の状況を把握します。

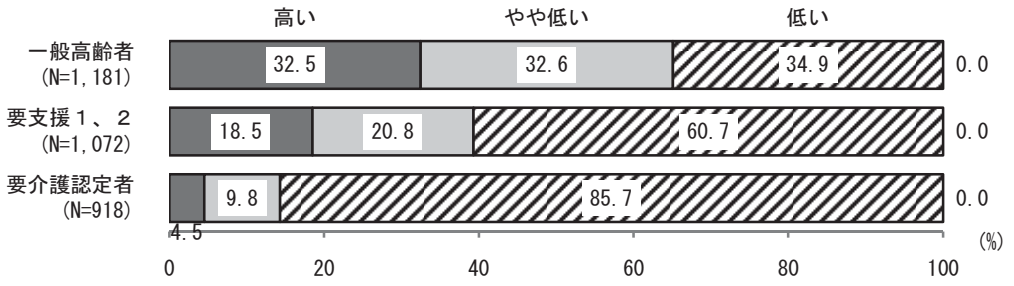
評価は、調査票の以下の設問に「はい」と回答した場合を“１点”として、４点満点で評価し、４点を「高い」、３点を「やや低い」、２点以下を「低い」（※３点以下を低下者）と評価しています。

【評価設問】

問番号		設問	該当する選択肢
一般・要支援	要介護		
問４（13）	問 33-13	友人の家を訪ねていますか	１．はい（１点）
問４（14）	問 33-14	家族や友人の相談にのっていますか	１．はい（１点））
問４（15）	問 33-15	病人を見舞うことができますか	１．はい（１点）
問４（16）	問 33-16	若い人に自分から話しかけることがありますか	１．はい（１点）

【該当状況】

『社会的役割』の評価結果をみると、低下者（「やや低い」「低い」の計）は一般高齢者で７割弱（67.5%）、要支援認定者で８割（81.5%）、要介護認定者で９割台（95.5%）となっています。

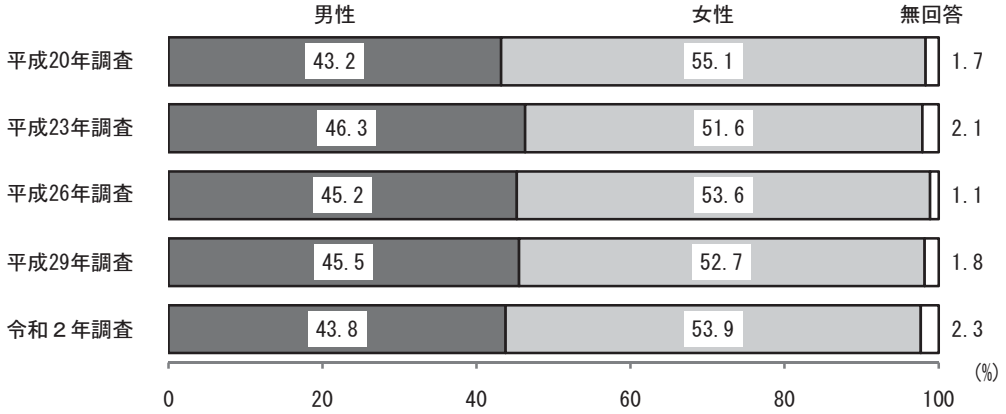


Ⅱ－4　経年比較

経年比較は、「1　一般高齢者」については一般高齢者調査における調査対象者から要介護認定を受けていない方のみを抽出、集計し、「2　居宅サービス利用者」については要介護認定者調査における調査対象者に一般高齢者調査における要支援の方を加えて集計し、比較しました。

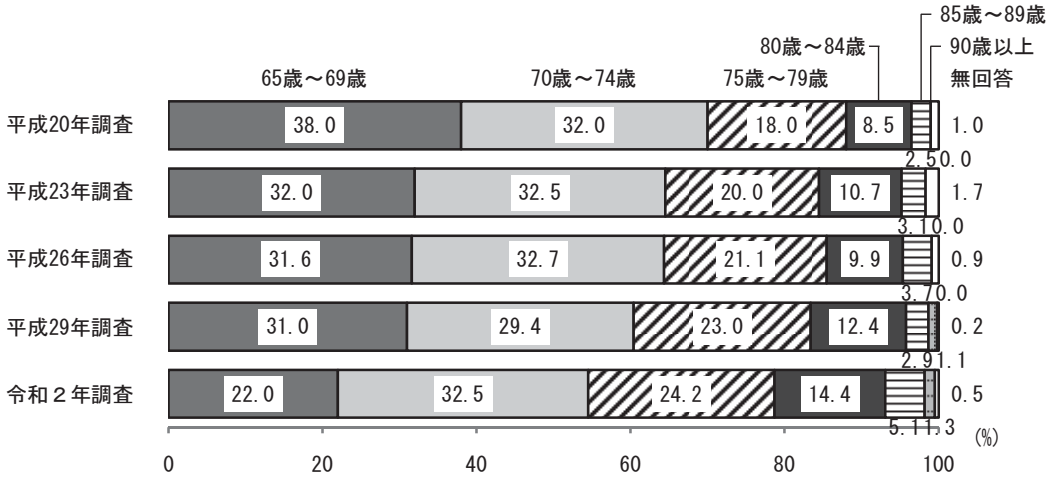
1　一般高齢者

〔1〕性別



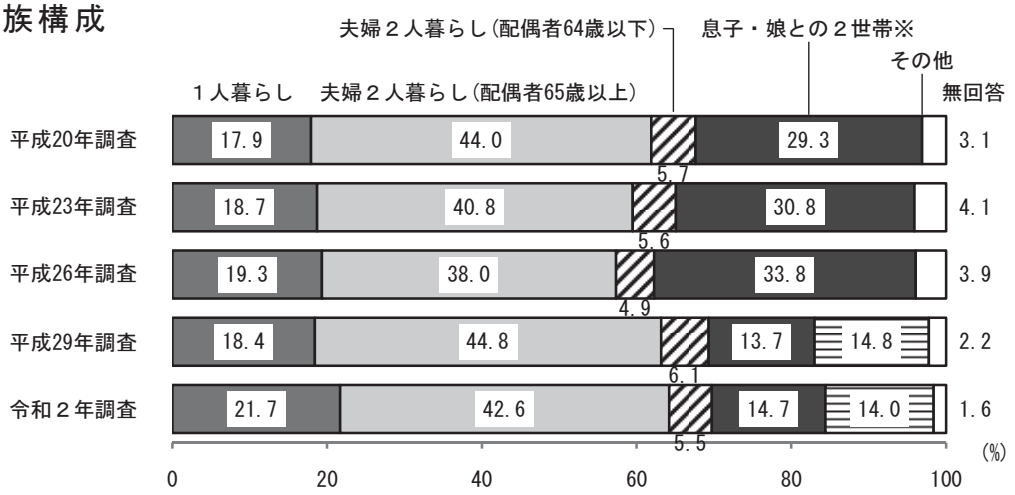
男女比については、前回までとほぼ同割合となっています。

〔2〕年齢



年齢については、前回までに比べて、70歳以上の割合が増加しています。

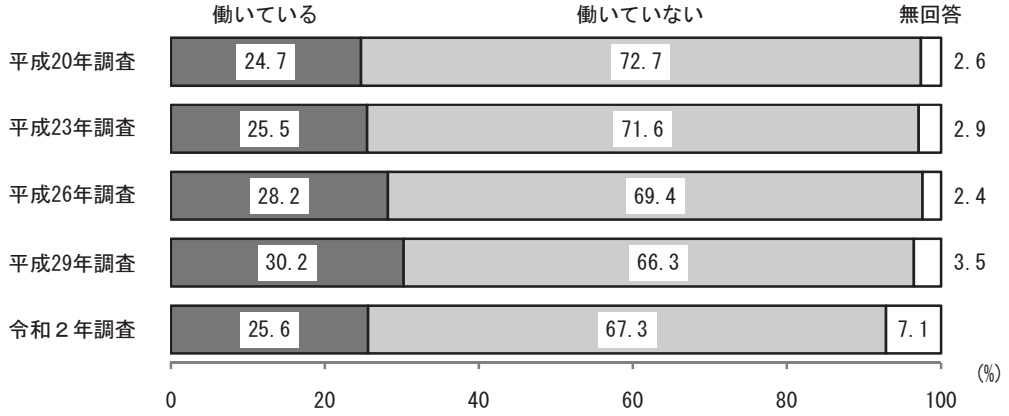
〔３〕家族構成



※平成 26 年調査までは、「同居世帯（全員 65 歳以上）」、「同居世帯」。

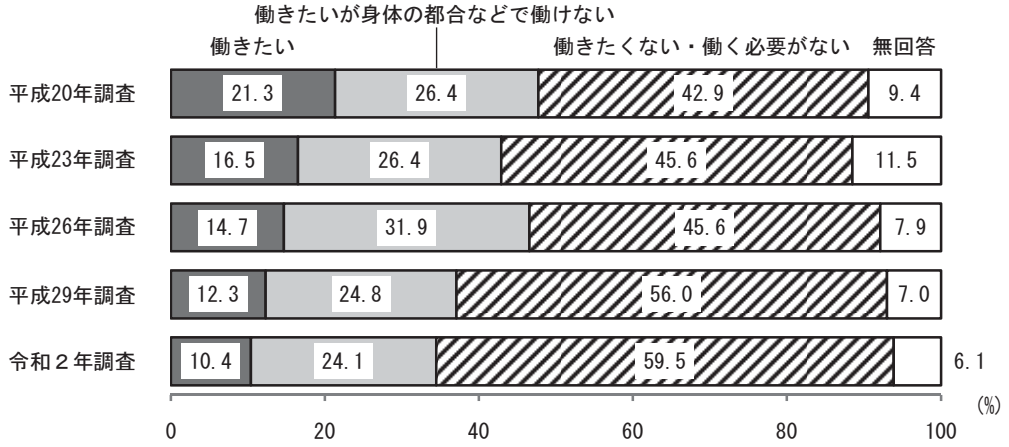
家族構成については、「１人暮らし」がやや増加し、２割を超えています。

〔４〕現在の就労状況



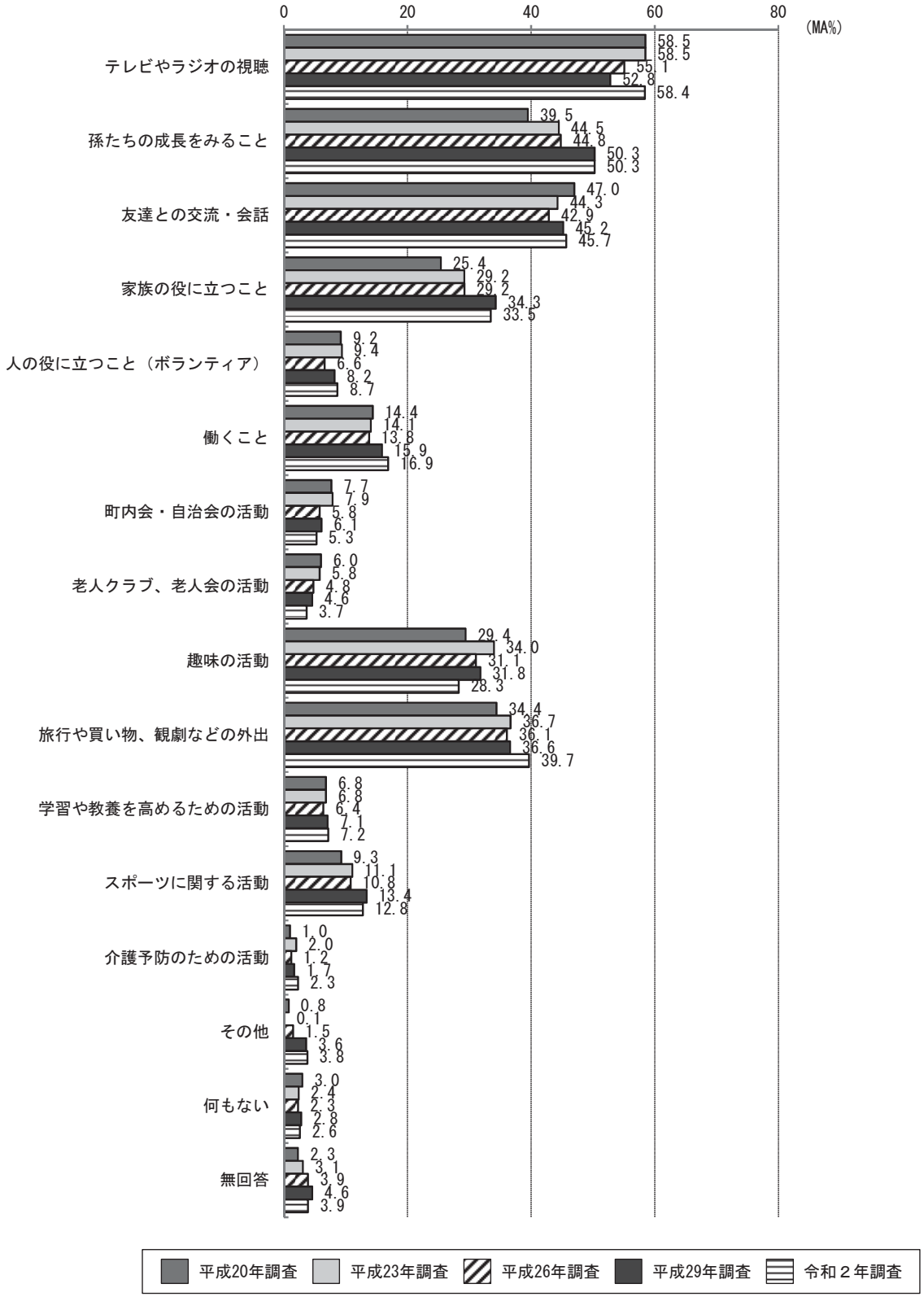
就労状況については、前回調査に比べて「働いている」がやや減少しています。

〔５〕今後の就労意向



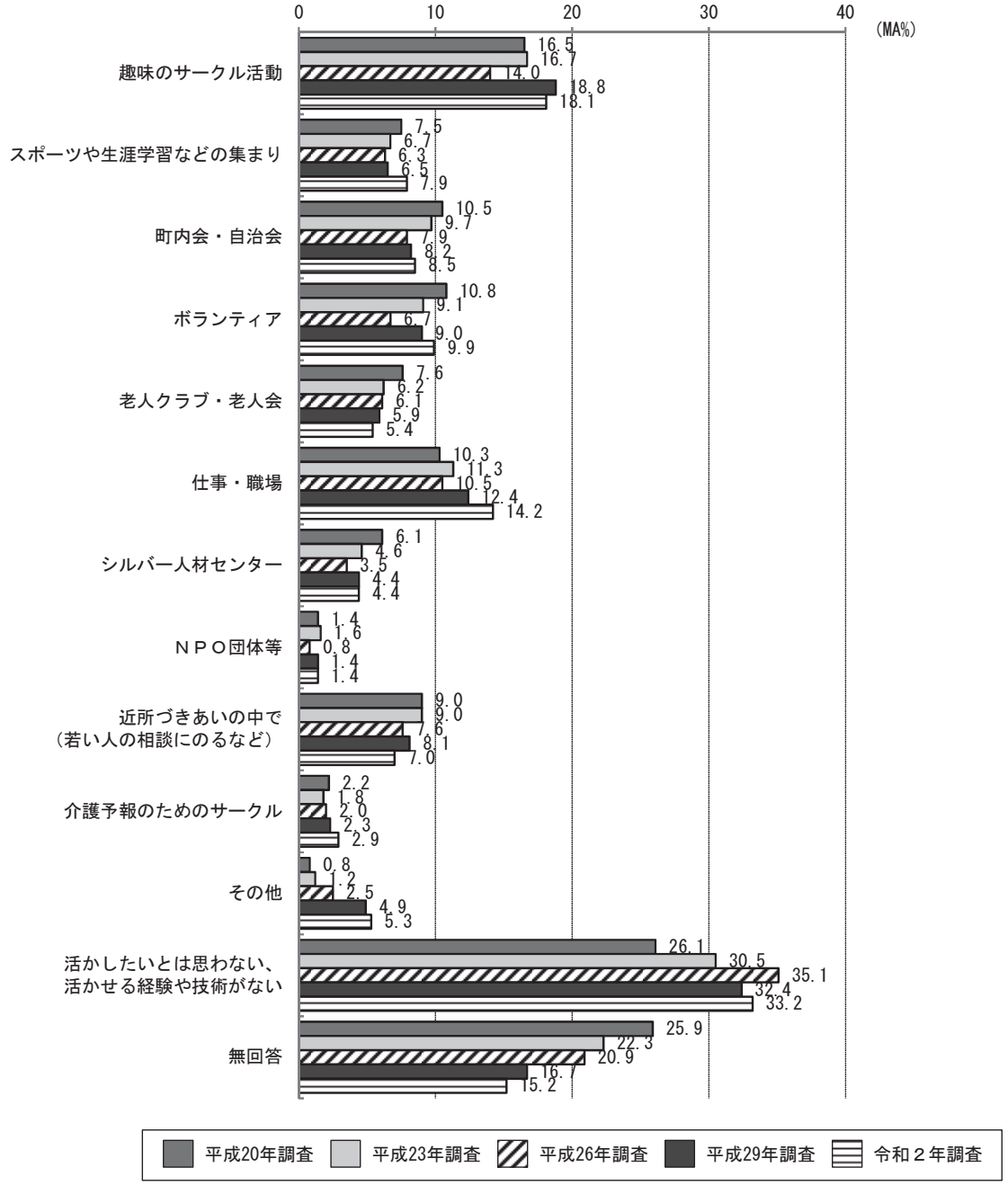
今後の就労意向については、「働きたい」の割合が減少傾向にあり、「働きたくない・働く必要がない」は前回調査よりさらに増え、約６割となっています。

〔６〕生きがいや楽しみ



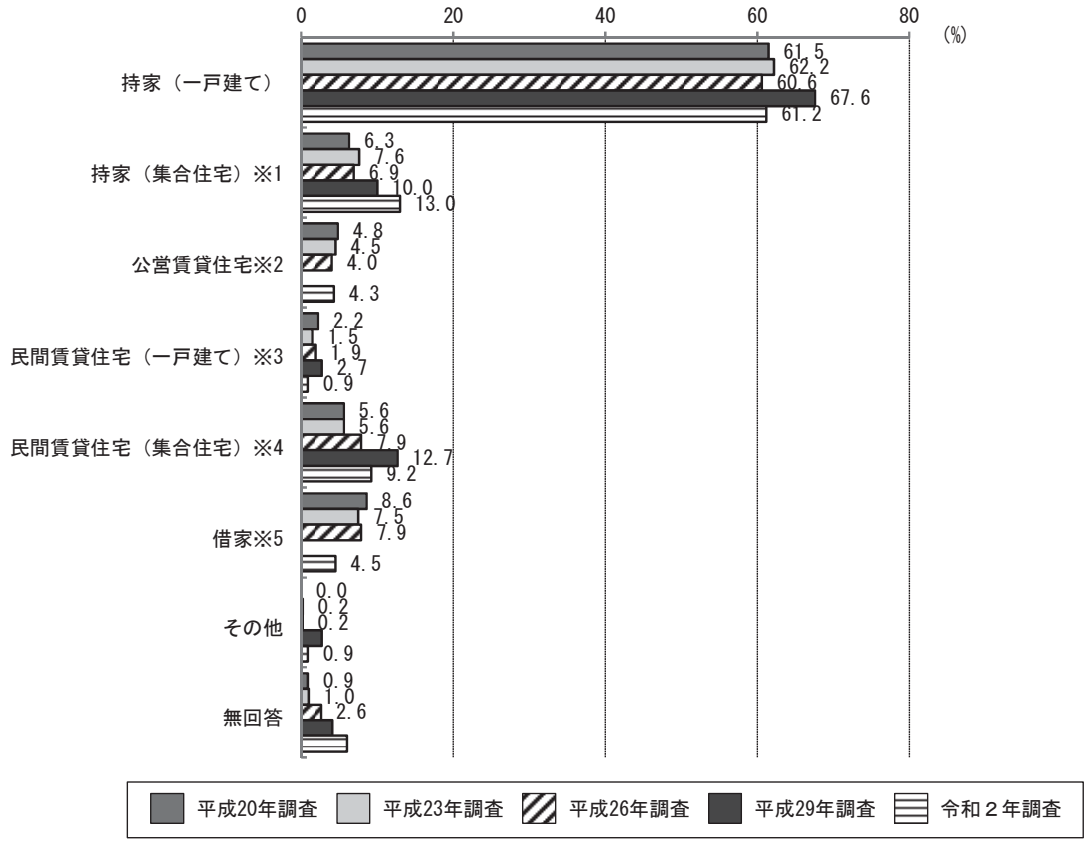
生きがいや楽しみについて、上位にあがっているものは、前回までと同様となっていますが、「テレビやラジオの視聴」、「旅行や買い物、観劇などの外出」が、前回調査に比べて多くなっています。

〔７〕身に付けた経験や技術を活かしたい場



身に付けた経験や技術を活かしたい場について、上位にあがっているものは、前回までと同様になっており、「ボランティア」、「仕事・職場」が、前回調査に比べて多くなっています。

〔８〕現在の住まいの種類



※今回調査（令和２年調査）の選択肢にあるもののみ掲載

※1　前回調査までは、「持家（マンションなど）」

※2　平成 26 年調査までは、「公営住宅（府営・市営・公団など）、平成 29 年調査では選択肢なし

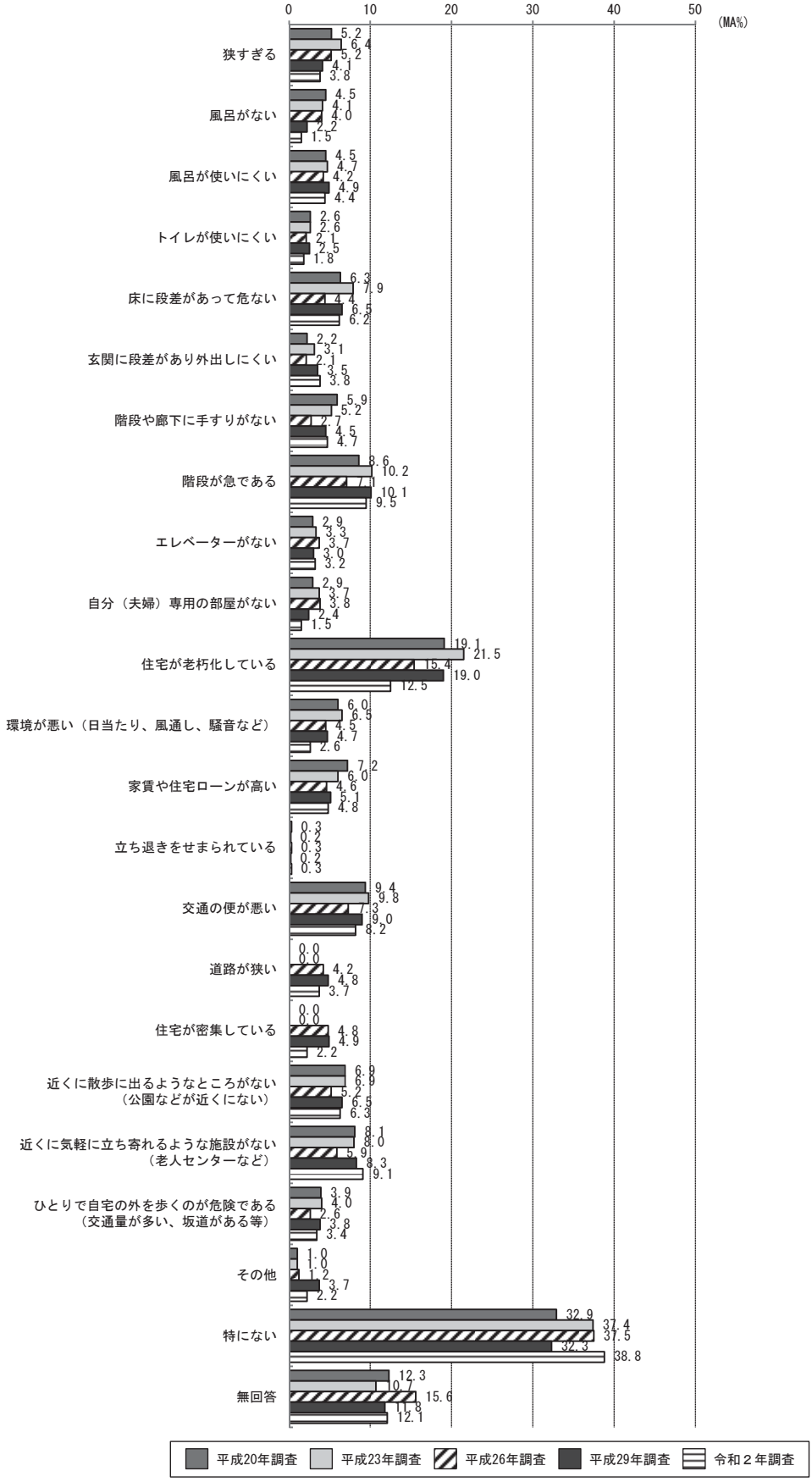
※3　前回調査までは、「借家（一戸建て）」

※4　前回調査までは、「借家（マンション・アパートなど）」

※5　平成 26 年調査までは、「借家（長屋建て）」、平成 29 年調査では選択肢なし

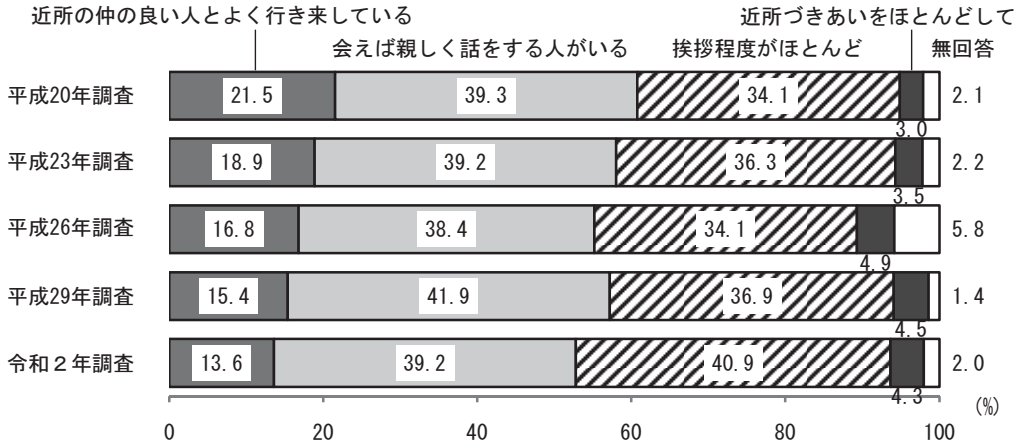
住居形態については、前回までと同様、「持家（一戸建て）」が最も多くなっています。また、「持家（集合住宅）」の割合が前回までに比べて増加しています。

〔９〕住まいの環境で不便に感じること



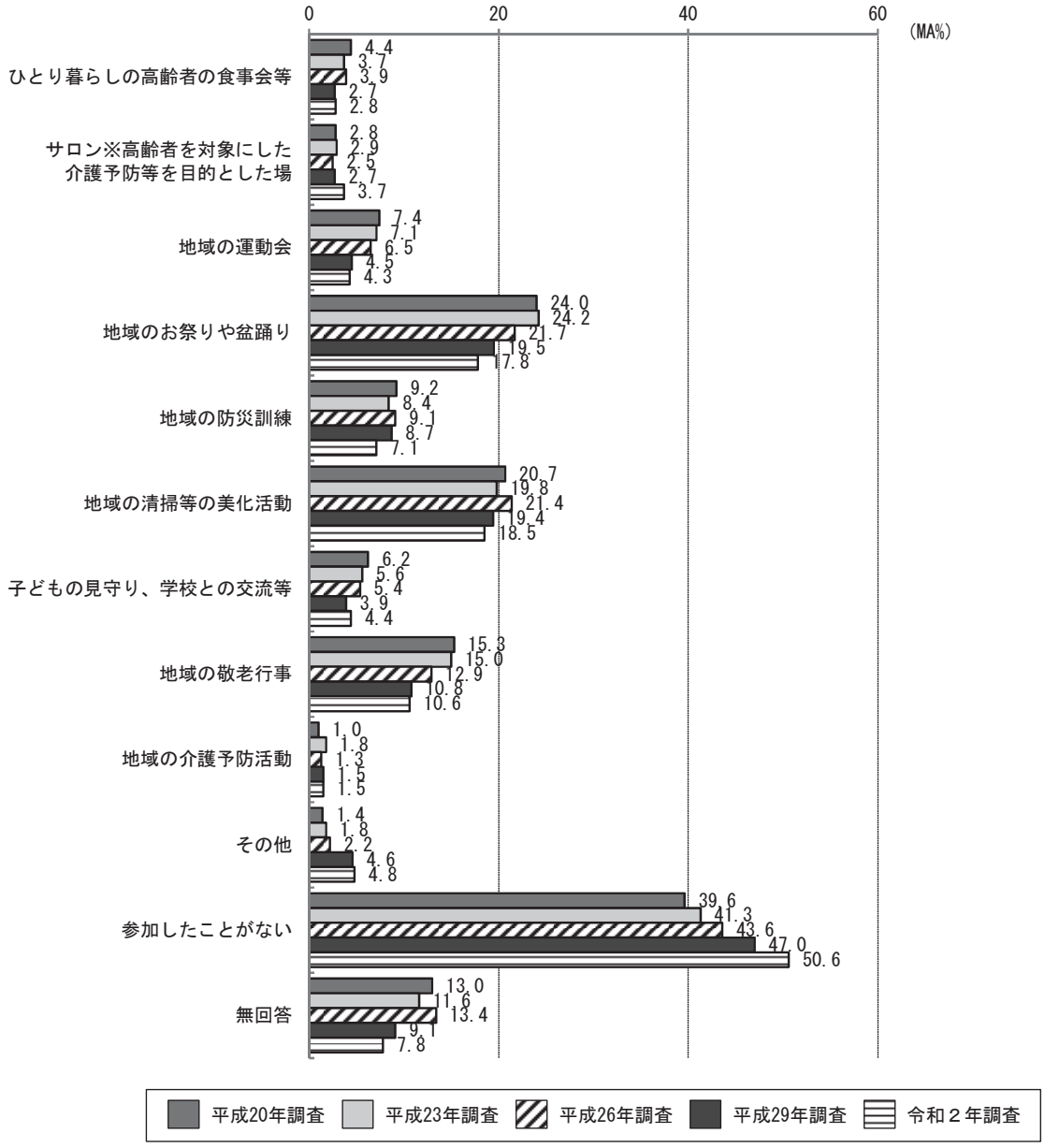
住まいの環境で不便に感じることについては、前回までと同様、「住宅が老朽化している」が最も多くなっていますが、その割合は前回までに比べて少なくなっています。

〔10〕近所づきあいの程度



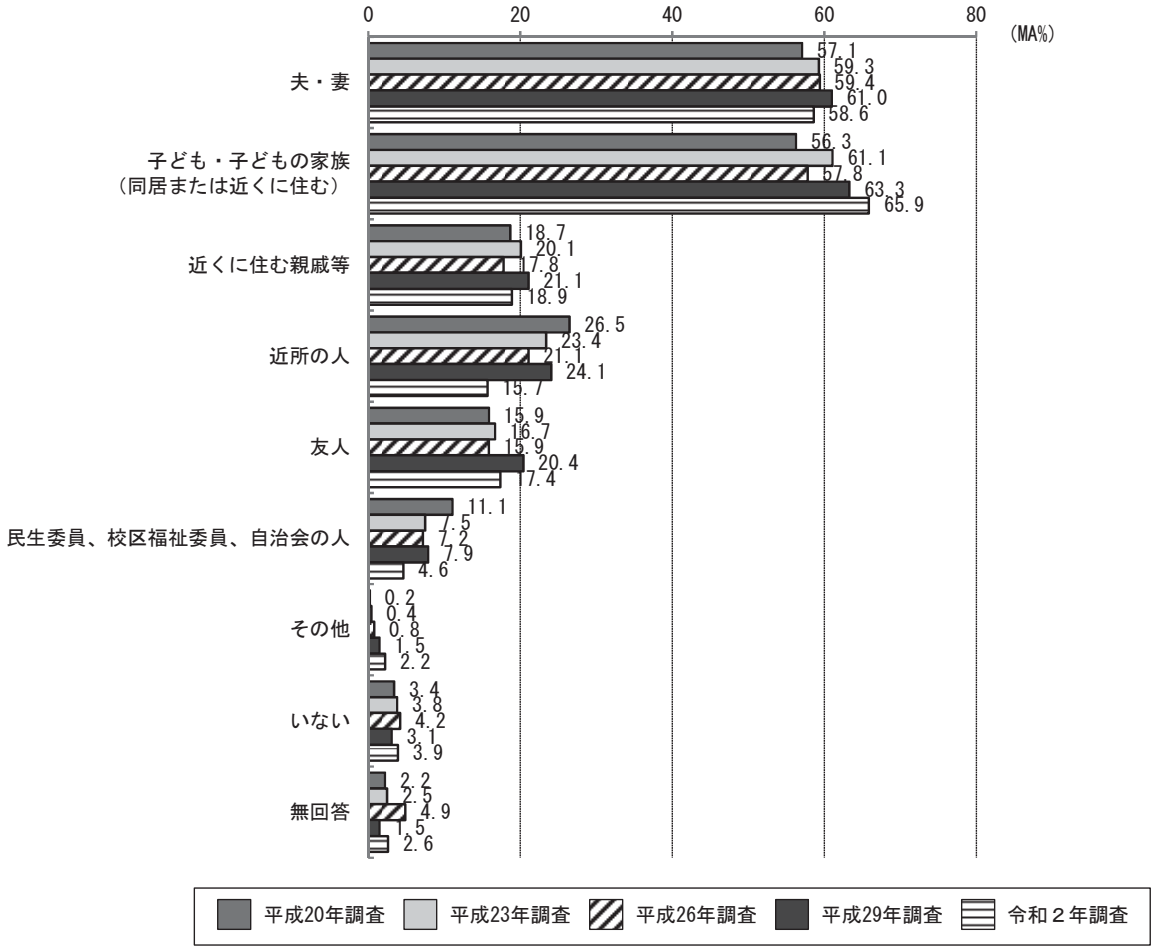
近所づきあいの程度については、前回までと同様、半数強が比較的親密な近所づきあいをしていますが、「近所の仲の良い人とよく行き来している」の割合は、年々少なくなってきています。

〔11〕地域の行事等への参加状況



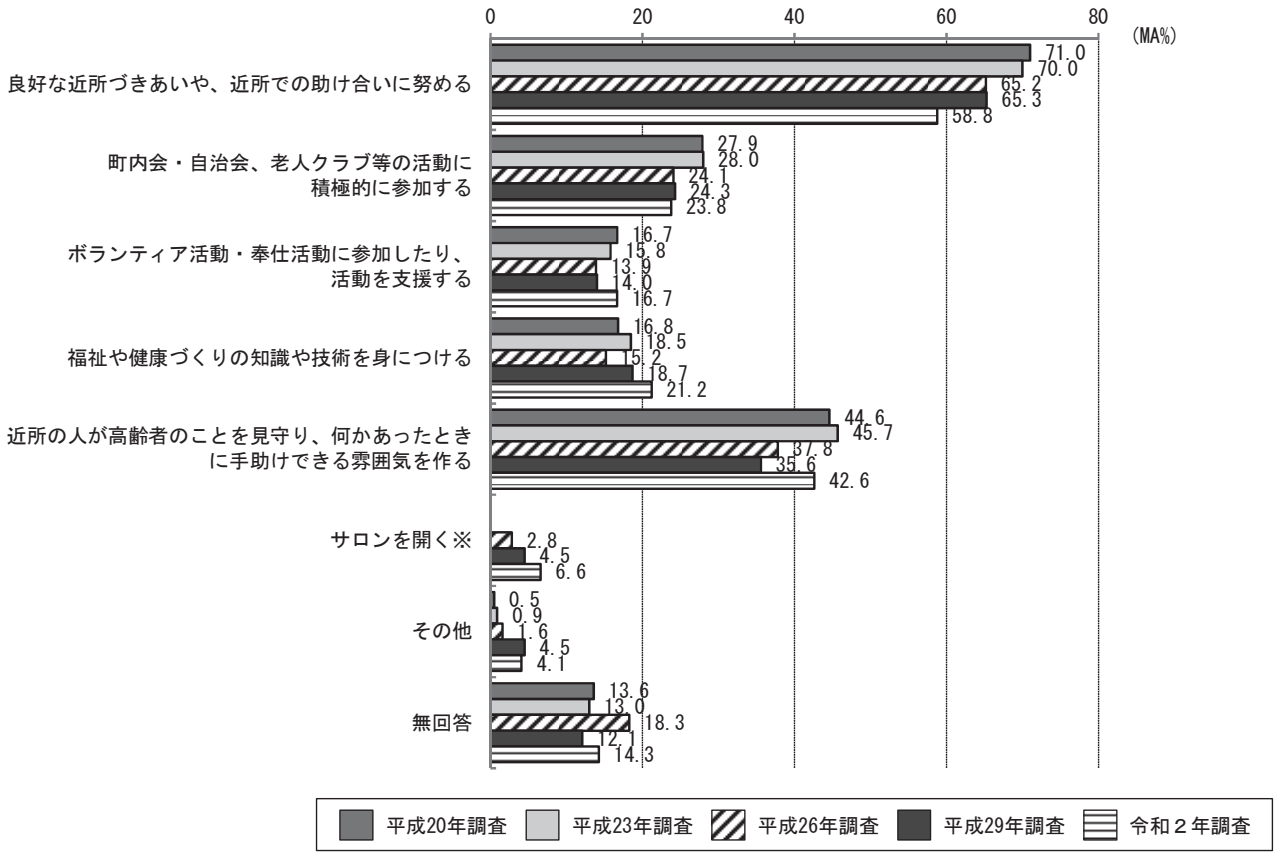
地域の行事等への参加状況については、上位にあがっているものは前回までと同様、「地域のお祭りや盆踊り」、「地域の清掃等の美化活動」、「地域の敬老行事」となっていますが、その割合は年々減少しています。また、「参加したことがない」人の割合は年々増加しており、半数を占めています。

〔12〕身近に頼ることのできる人



身近に頼ることのできる人について、上位にあがっているものは、前回までと同様、「夫・妻」、「子ども・子どもの家族（同居または近くに住む）」が多く、前回調査に比べて、「子ども・子どもの家族（同居または近くに住む）」がやや増加しています。

〔13〕高齢者が暮らしやすいまちづくりのためにすべきこと

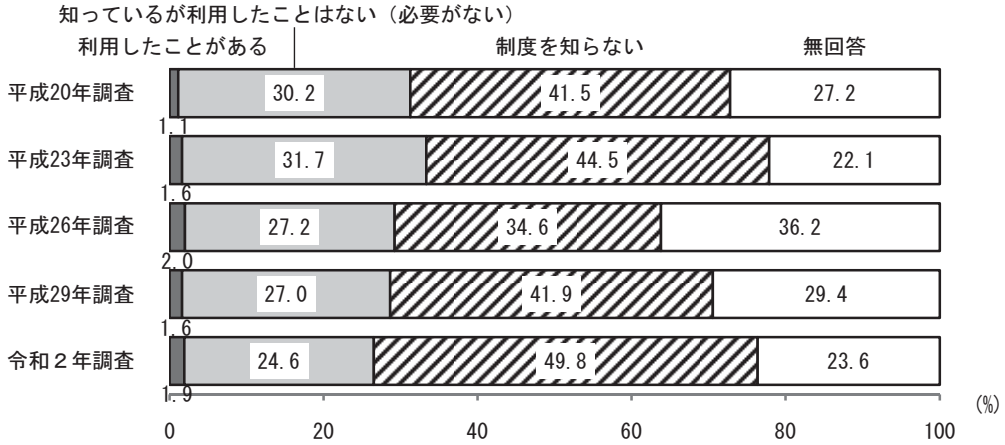


※平成 23 年調査までは選択肢なし

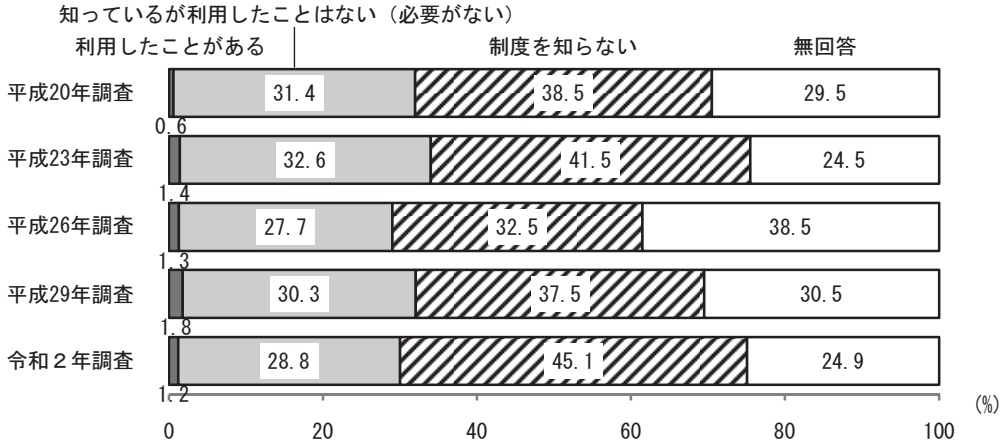
高齢者が暮らしやすいまちづくりのためにすべきことについて、上位にあがっているものは前回までと同様になっていますが、「近所の人が高齢者のことを見守り、何かあったときに手助けできる雰囲気を作る」が再び増加しています。

〔14〕サービス利用の状況

①日常生活用具の給付

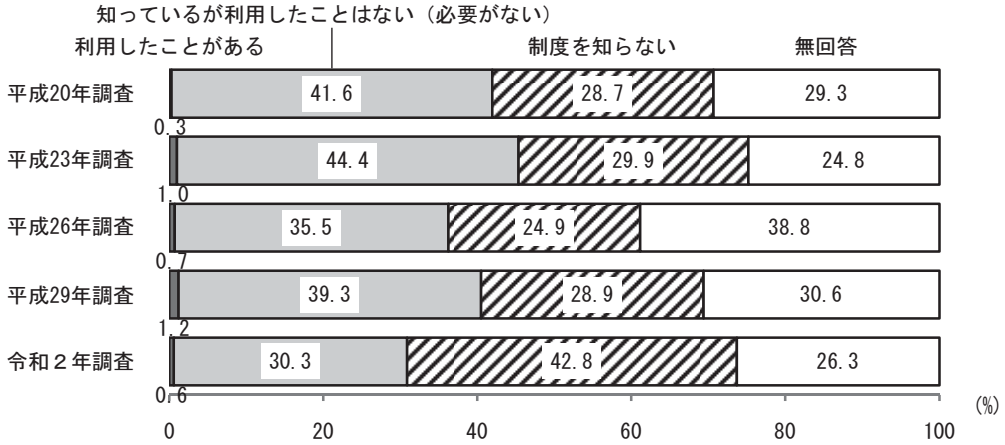


②緊急通報システム

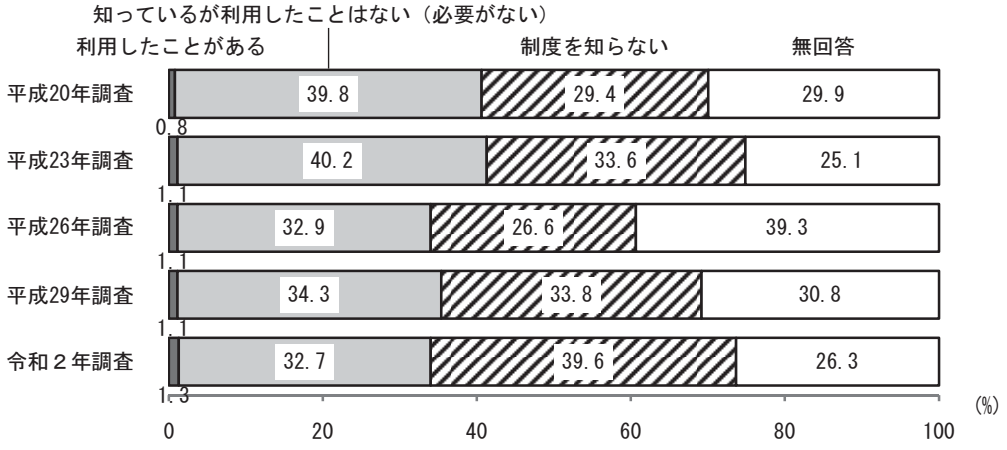


③高齢者配食サービス見守り支援事業

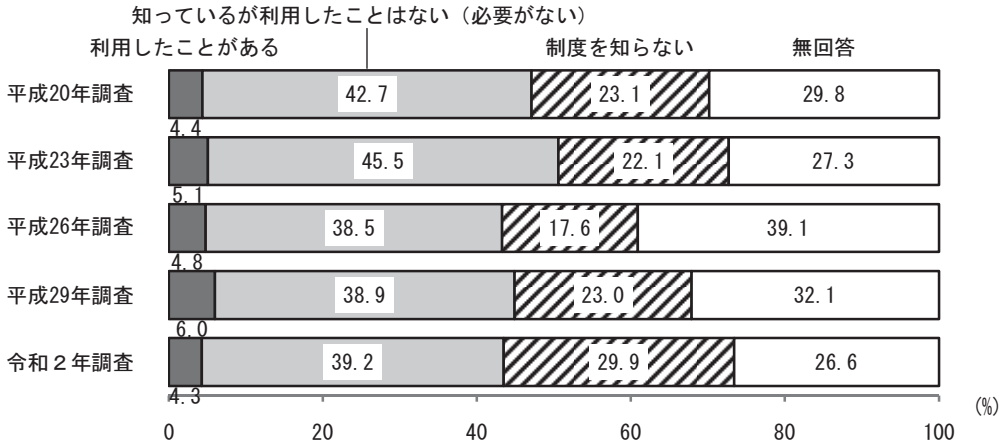
※平成 29 年度までは「配食サービス（食の自立支援事業）」



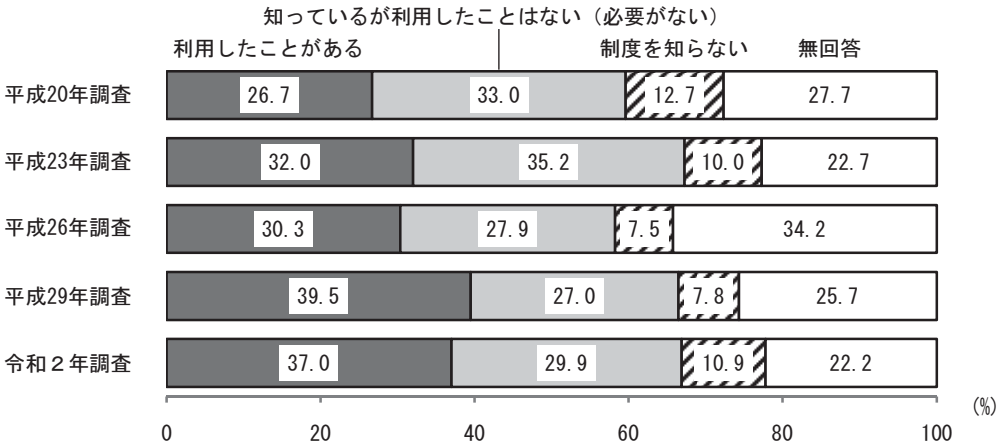
④街かどデイハウス



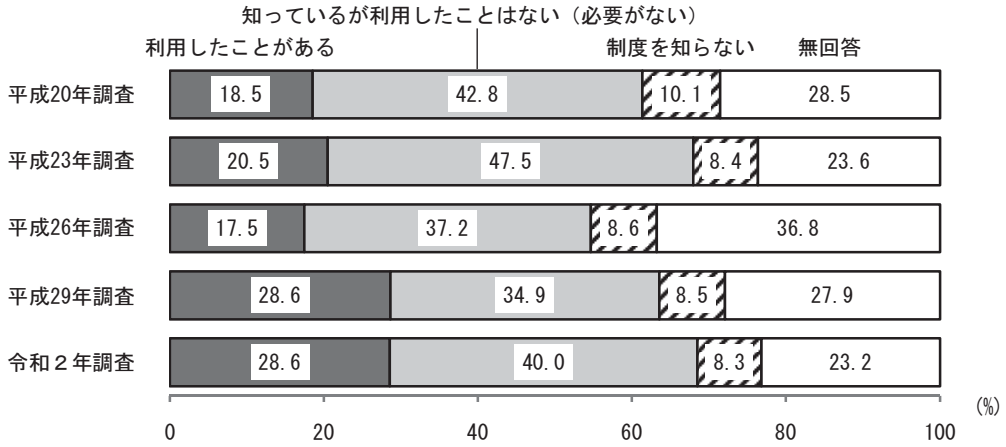
⑤健康相談



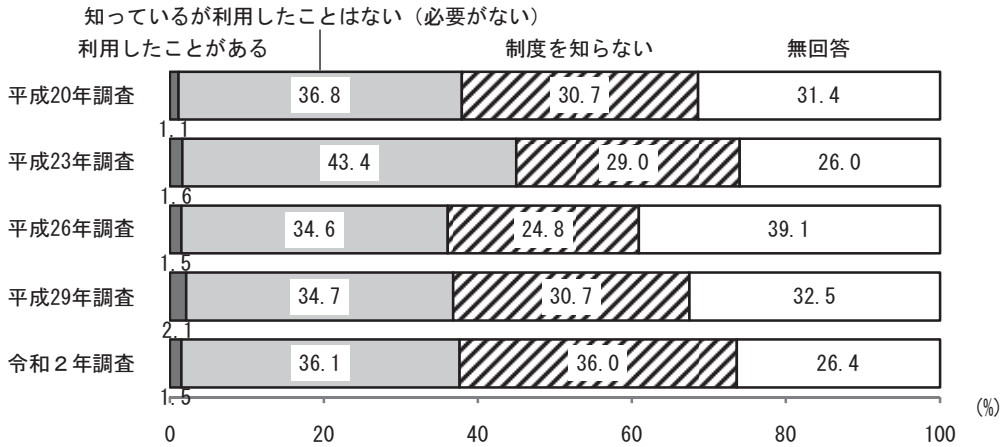
⑥健康診査（特定健康診査等の健診）



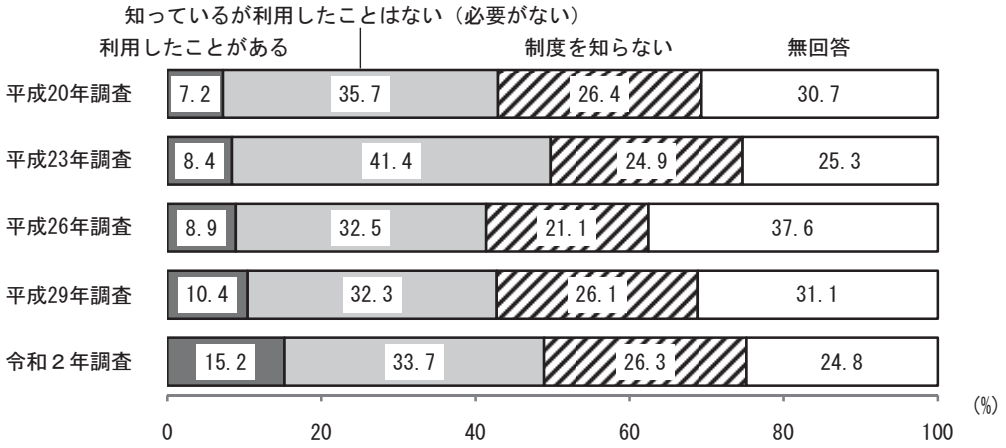
⑦がん検診



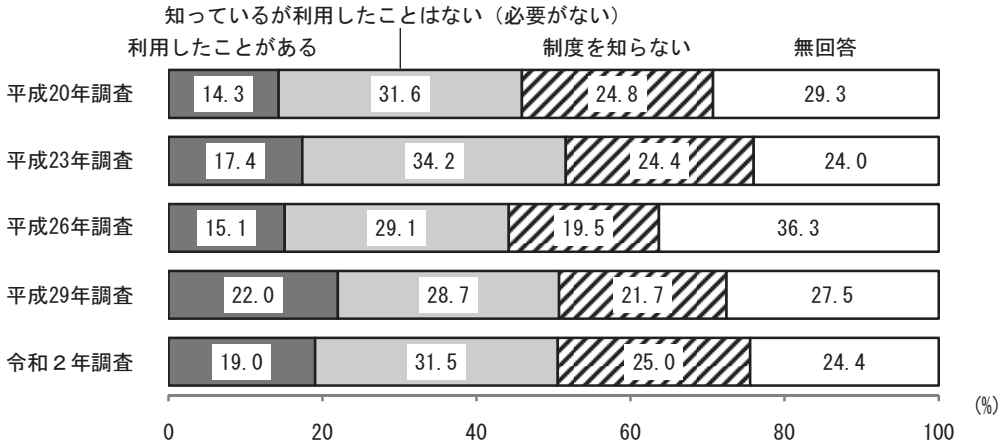
⑧訪問指導



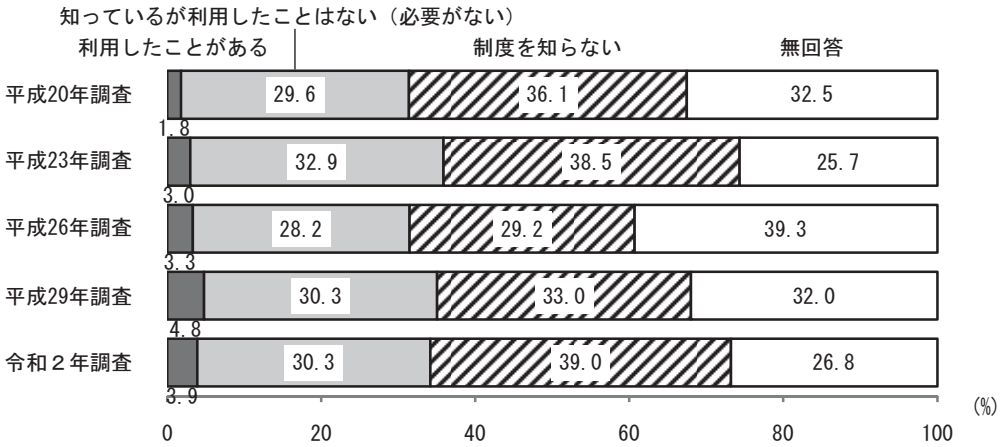
⑨成人歯科検診



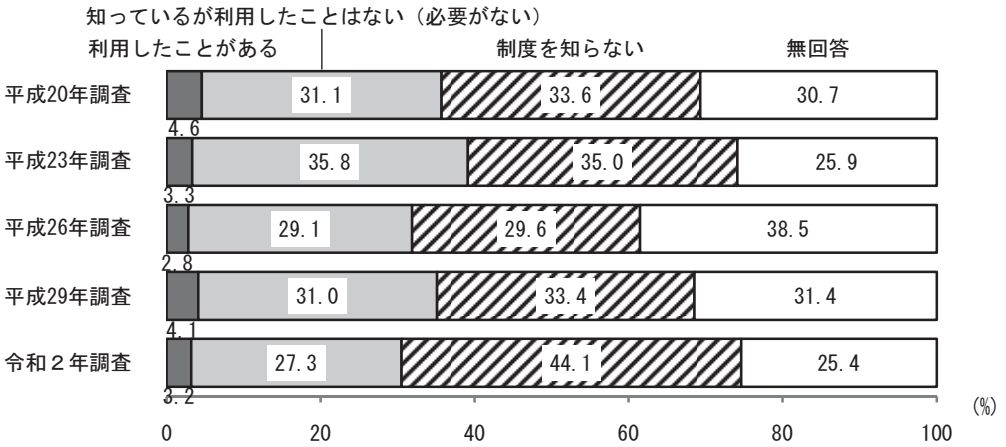
⑩骨密度測定



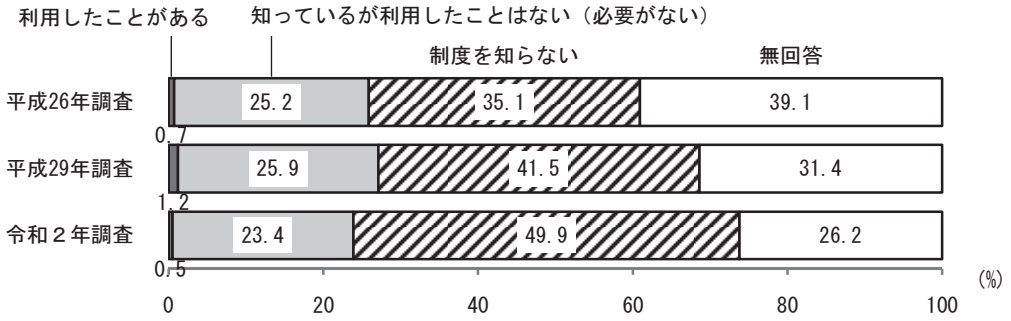
⑪介護予防の講座・教室



⑫福祉農園

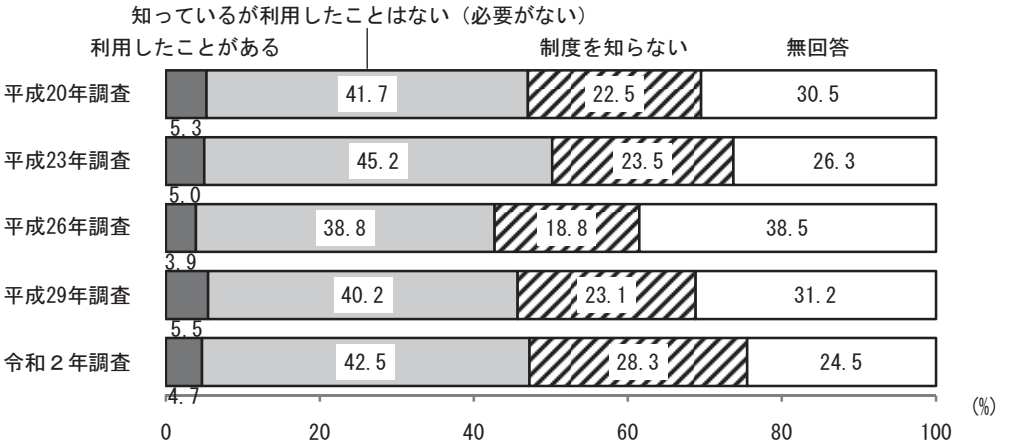


⑬認知症高齢者見守りネットワーク



※平成 23 年調査までは項目なし

⑯老人センター



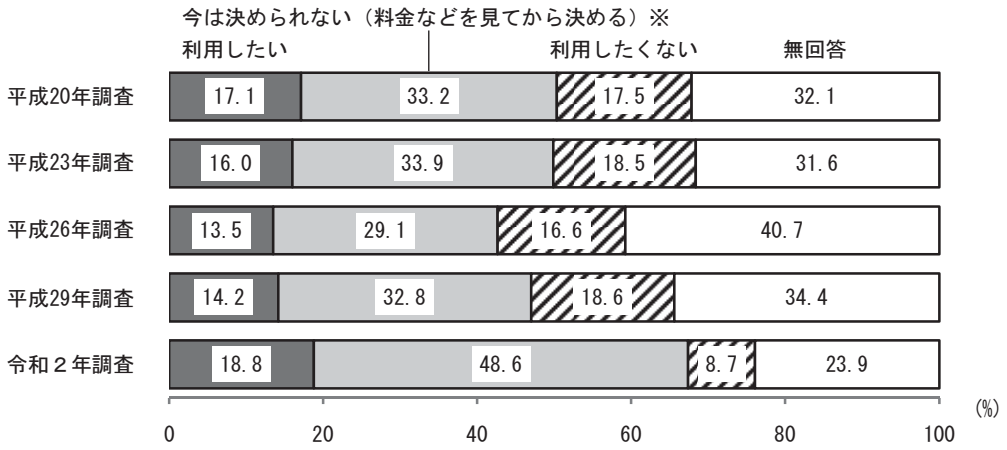
※「⑭地域の住民ボランティアによる訪問型助け合いサービス（玄関先で行うごみ出し等の生活支援）」「⑮地域の住民ボランティアによる通所型つどいサービス（地域の集いの場で体操等の介護予防を実施）」については、令和２年度よりの新規設問のため、比較なし。

サービス利用の状況については、前回までと同様の傾向となっていますが、「成人歯科検診」の利用が、年々増加傾向となっています。

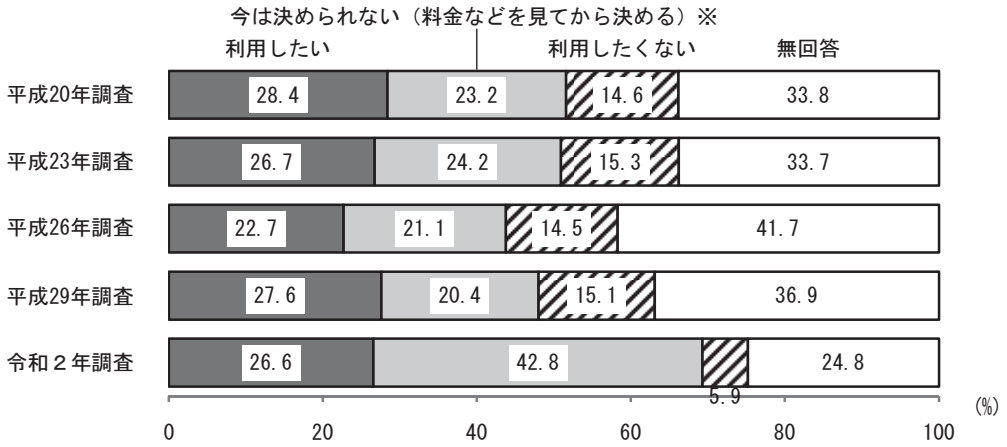
〔15〕サービス利用意向

①日常生活用具の給付

※「今は決められない」は、平成 29 年度調査までは「料金などを見てから決める」（以下同様）

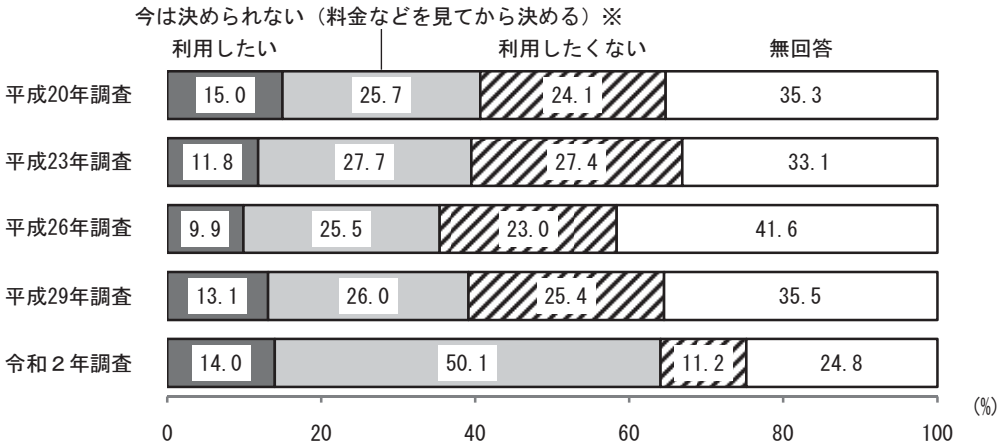


②緊急通報システム

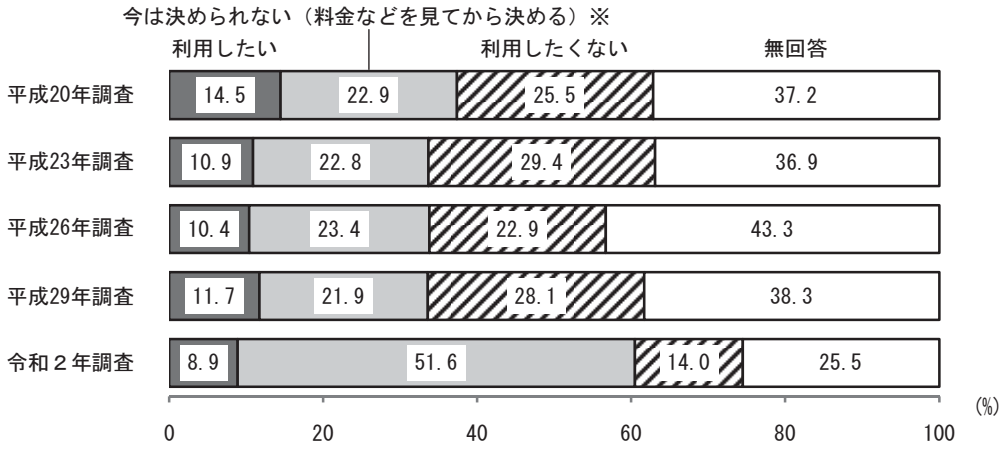


③高齢者配食サービス見守り支援事業

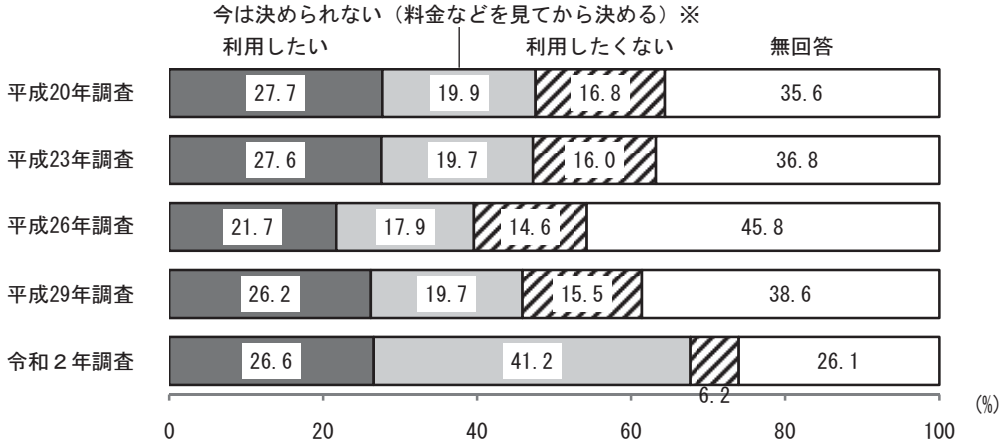
※平成 29 年度までは「配食サービス（食の自立支援事業）」



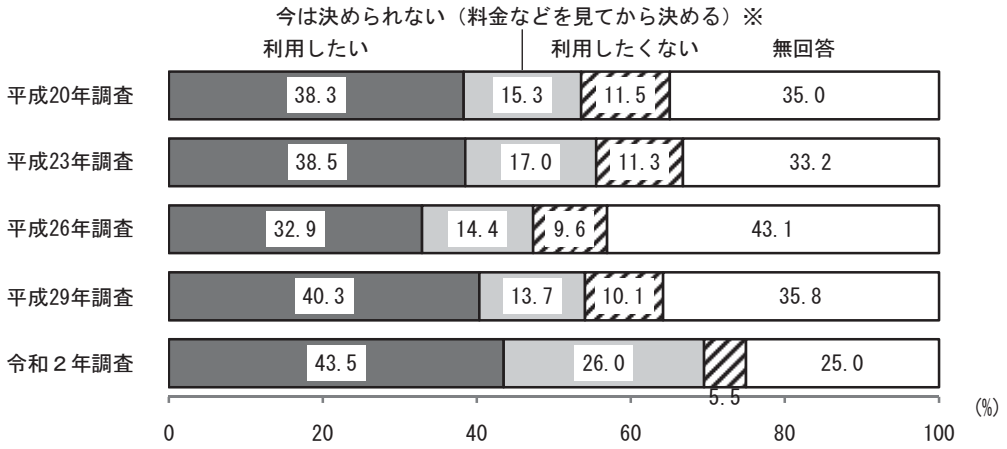
④街かどデイハウス



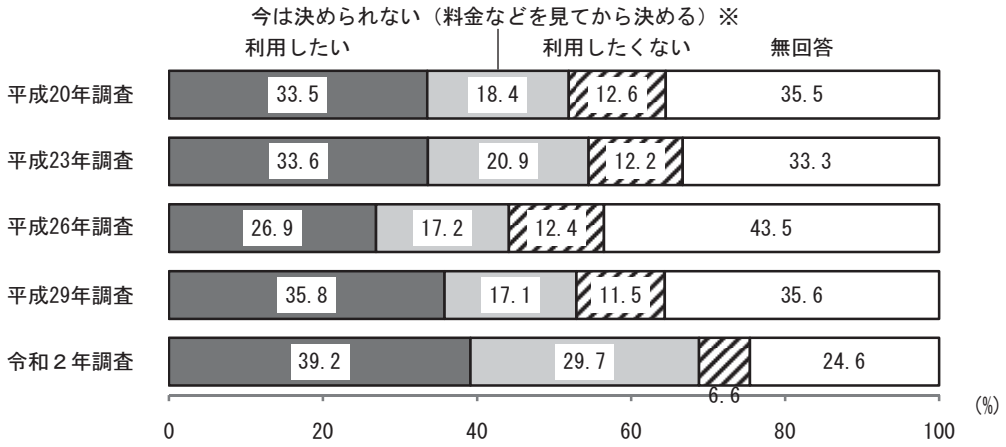
⑤健康相談



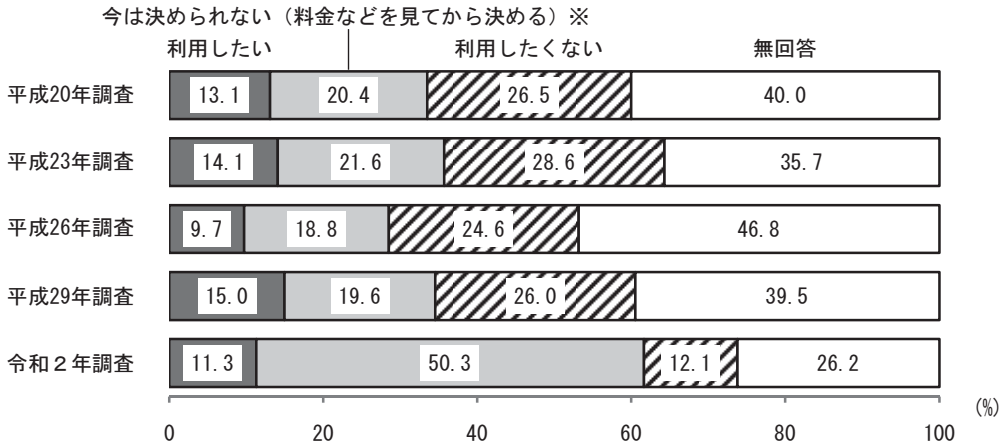
⑥健康診査（特定健康診査等の健診）



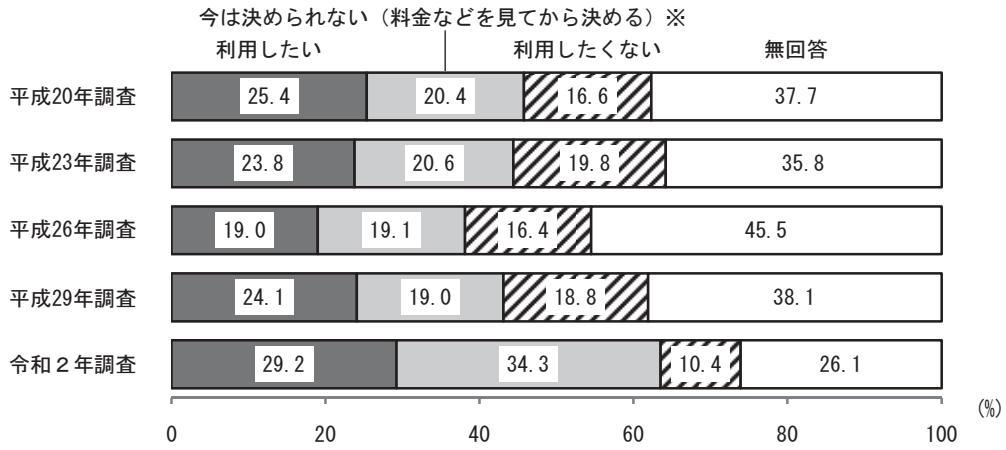
⑦がん検診



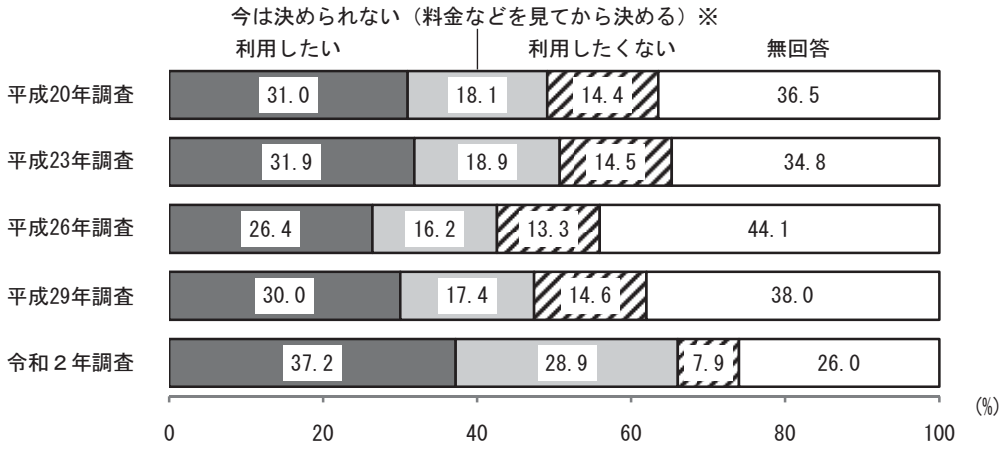
⑧訪問指導



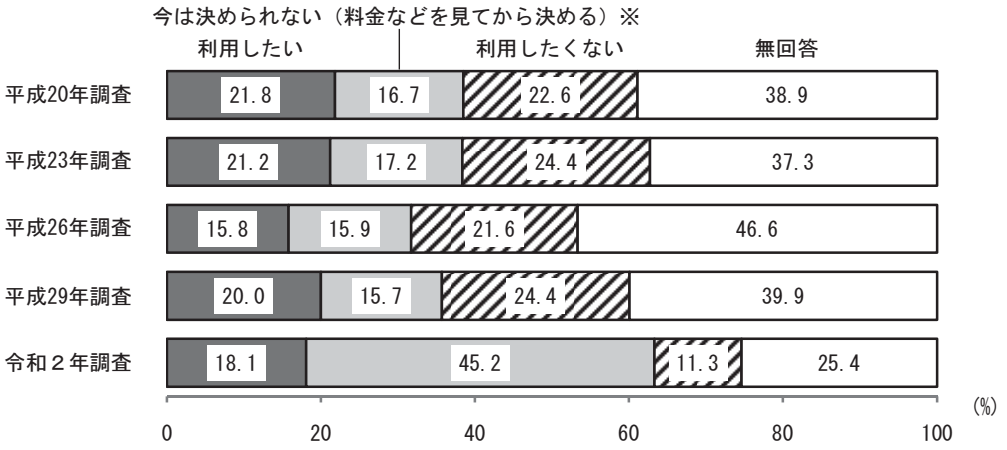
⑨成人歯科検診



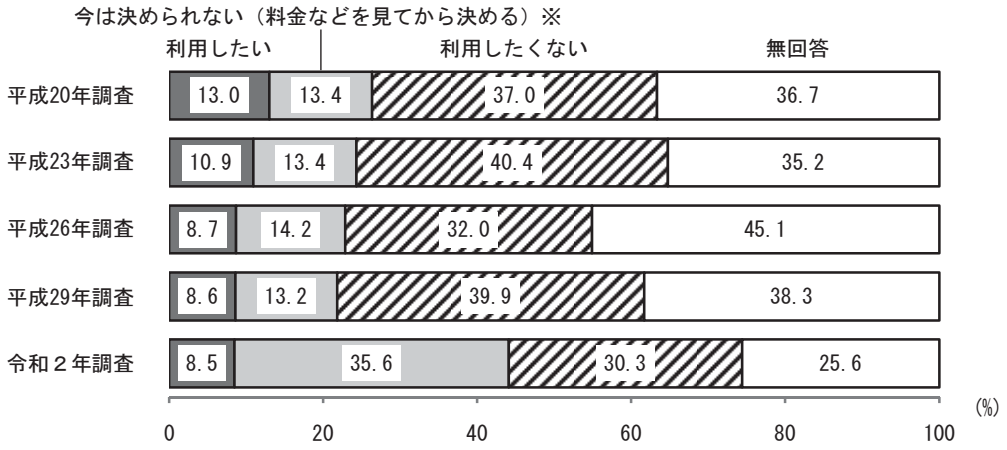
⑩骨密度測定



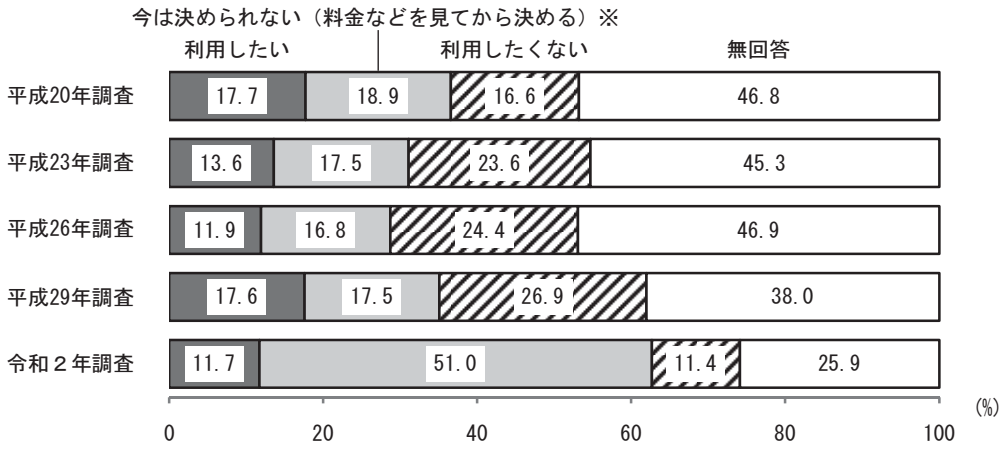
⑪介護予防の講座・教室



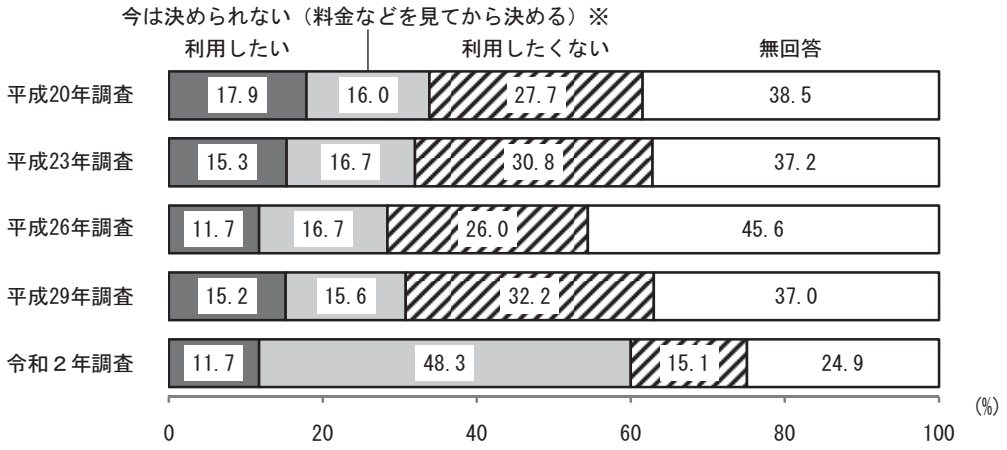
⑫福祉農園



⑬認知症高齢者見守りネットワーク



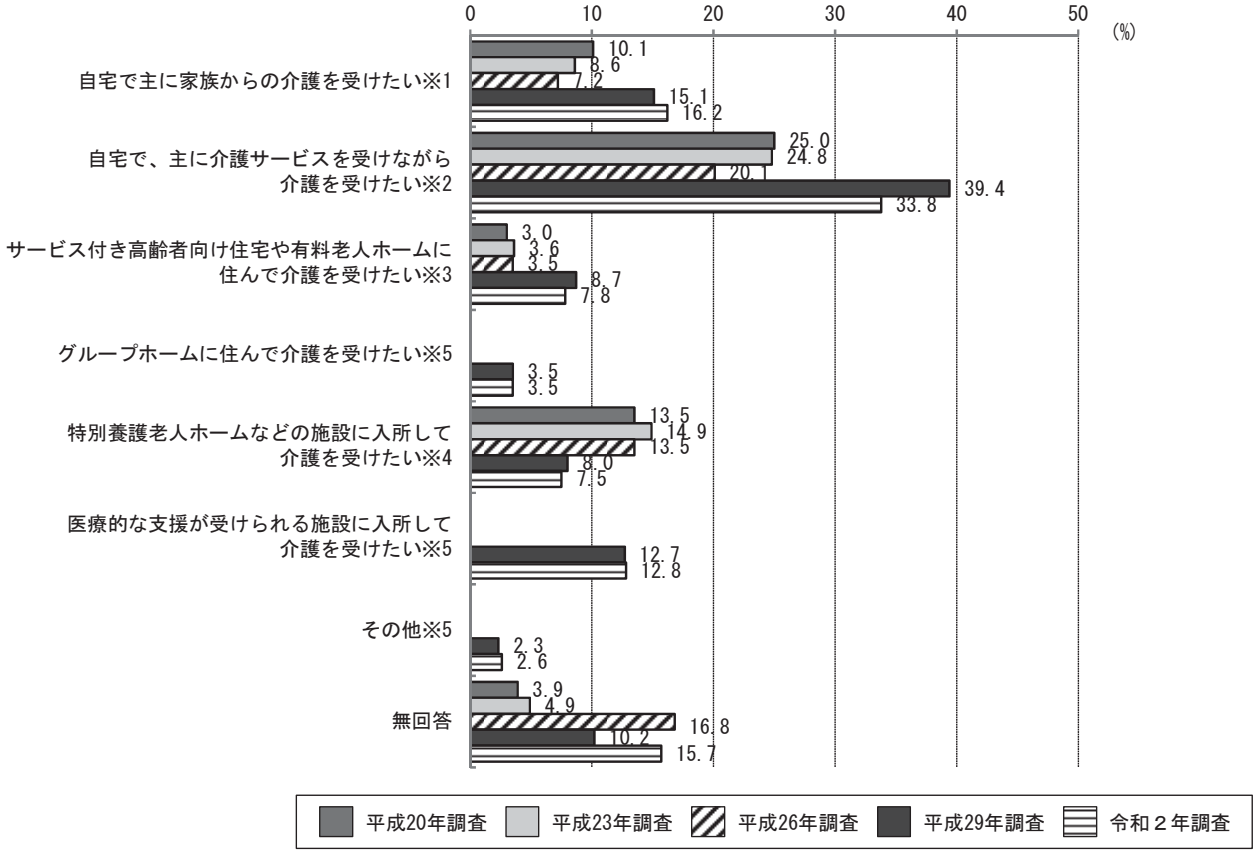
⑯老人センター



※「⑭地域の住民ボランティアによる訪問型助け合いサービス（玄関先で行うごみ出し等の生活支援）」「⑮地域の住民ボランティアによる通所型つどいサービス（地域の集いの場で体操等の介護予防を実施）」については、令和２年度よりの新規設問のため、比較なし。

サービスの利用意向については、前回までと同様の傾向になっていますが、「日常生活用具の給付」、「健康診査（特定健康診査等の健診）」、「がん検診」、「成人歯科検診」、「骨密度測定」で、前回までに比べて利用意向が増加しています。

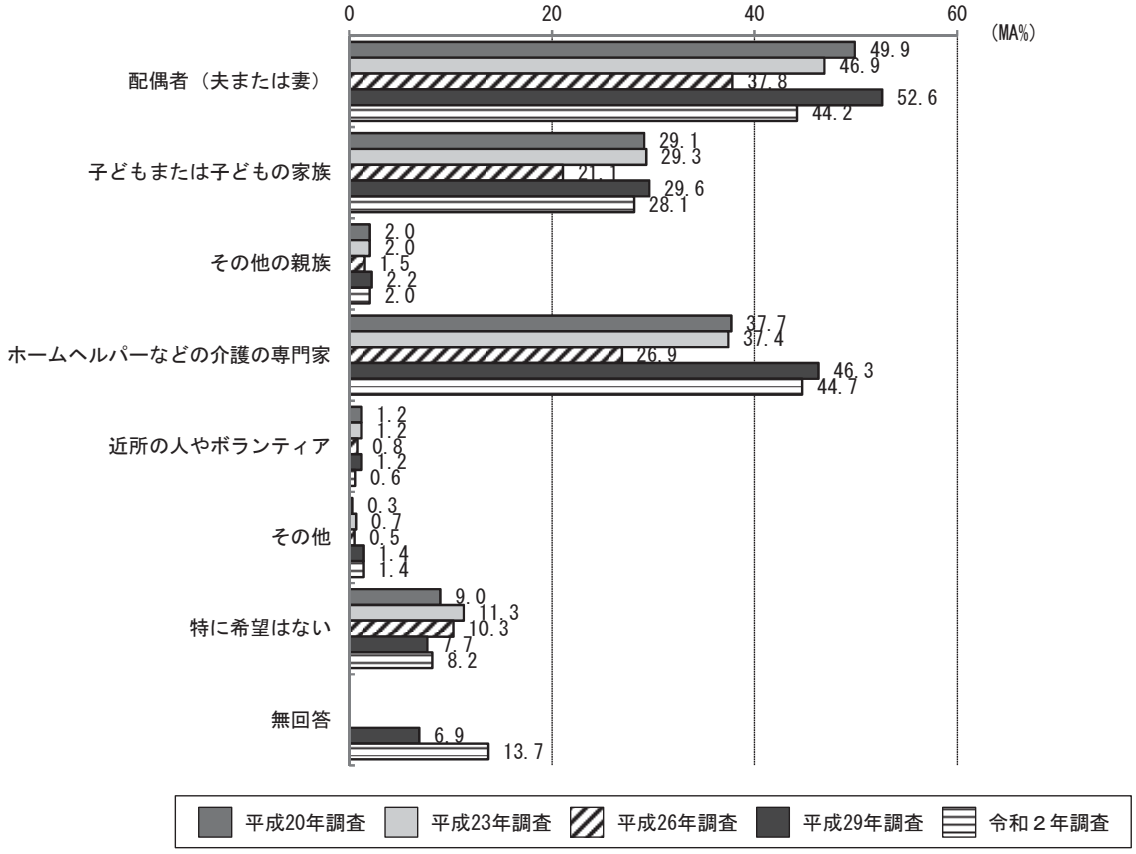
〔16〕介護が必要となったときに希望する対応



※今回調査（令和２年調査）の選択肢にあるもののみ掲載、平成 29 年調査から「今はわからない」の選択肢がなくなったため、各項目の割合が多くなっている
※1　「自宅で主に家族からの介護を受けたい」は、平成 26 年調査では「自宅で家族などを中心に介護してほしい」と表記。
※2　「自宅で、主に介護サービスを受けながら介護を受けたい」は、平成 26 年調査では「自宅で介護保険などのサービスを受けたい」と表記。
※3　「サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームに住んで介護を受けたい」は、平成 26 年調査では「サービス付高齢者向け住宅、有料老人ホームなどに移りたい」と表記。
※4　「特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護を受けたい」は、平成 26 年調査では「いずれは特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい」と表記。
※5　「グループホームに住んで介護を受けたい」、「医療的な支援が受けられる施設に入所して介護を受けたい」、「その他」については平成 29 年調査からの新規設問。

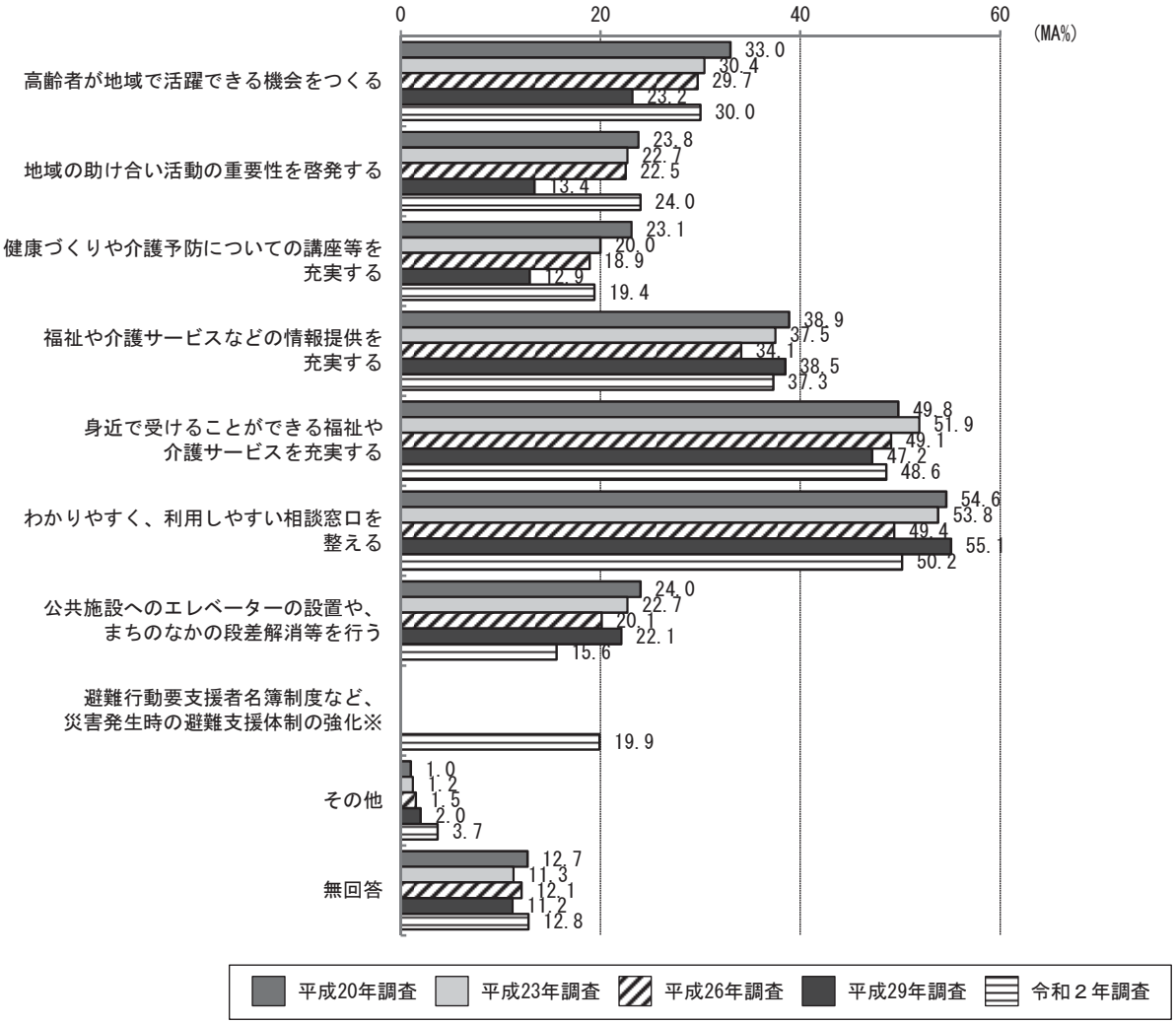
介護が必要となったときに希望する対応については、前回同様、自宅での介護を希望する人が半数を占めていますが、「自宅で、主に介護サービスを受けながら介護を受けたい」の割合はやや減少しています。

〔17〕介護されたい人



介護されたい人については、上位にあがっているものは前回までと同様になっていますが、「配偶者（夫または妻）」は前回調査に比べて 8.4 ポイント減少しています。

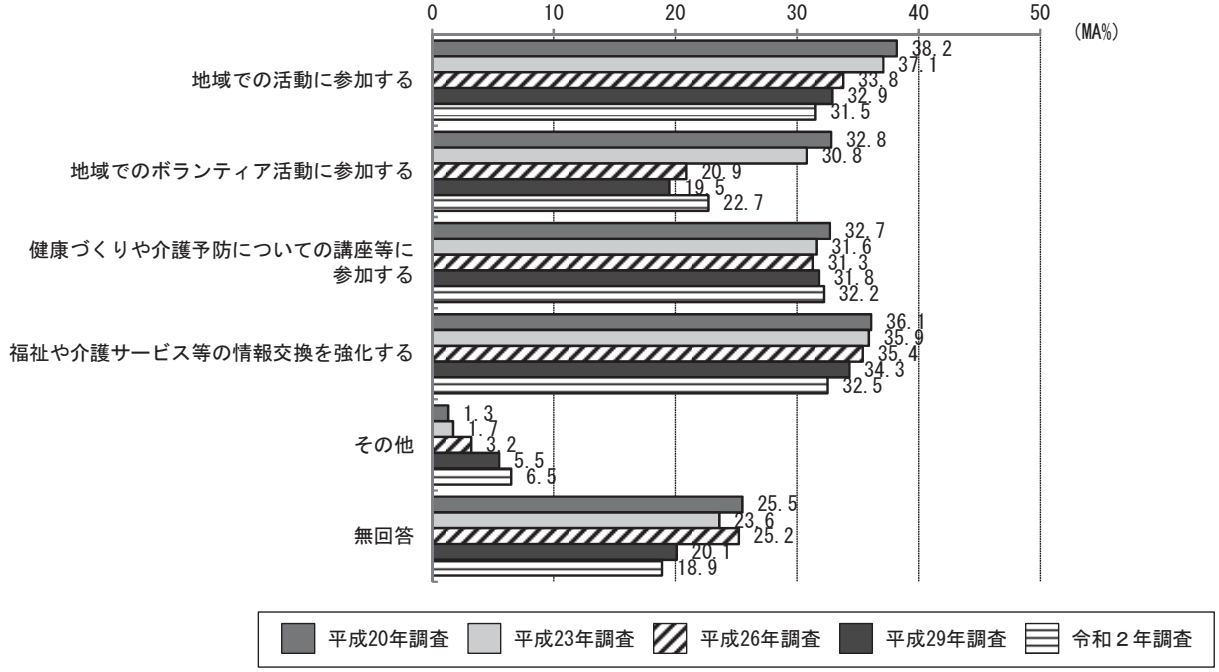
〔18〕高齢者が暮らしやすいまちづくりのために市が重点的に取り組むべきこと



※「避難行動要支援者名簿制度など、災害発生時の避難支援体制の強化」は、今回からの新規項目

高齢者が暮らしやすいまちづくりのために市が重点的に取り組むべきことについて、上位にあがっているものは前回までと同様になっていますが、「高齢者が地域で活躍できる機会をつくる」、「地域の助け合い活動の重要性を啓発する」、「健康づくりや介護予防についての講座等を充実する」が前回調査に比べて増加しています。

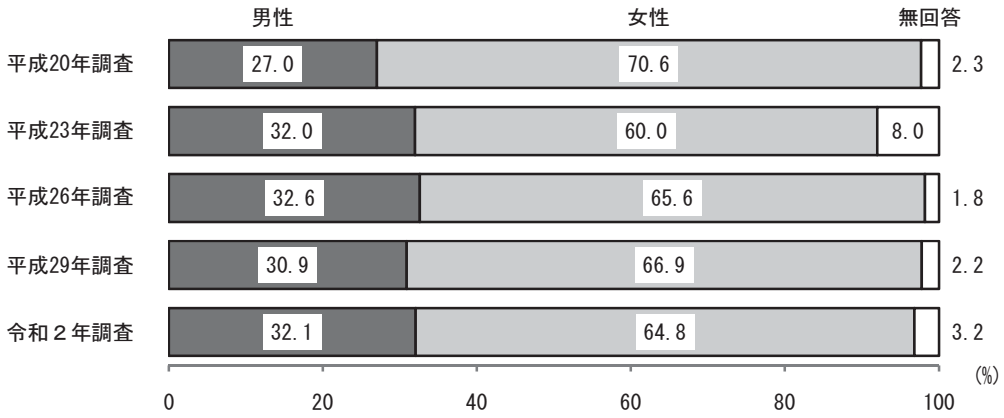
〔19〕高齢者自身が取り組むとよいこと



高齢者自身が取り組むとよいことについては、「地域での活動に参加する」が年々減少傾向となっています。「地域でのボランティア活動に参加する」は、前回調査に比べるとやや増加していますが、他の項目に比べて少なくなっています。

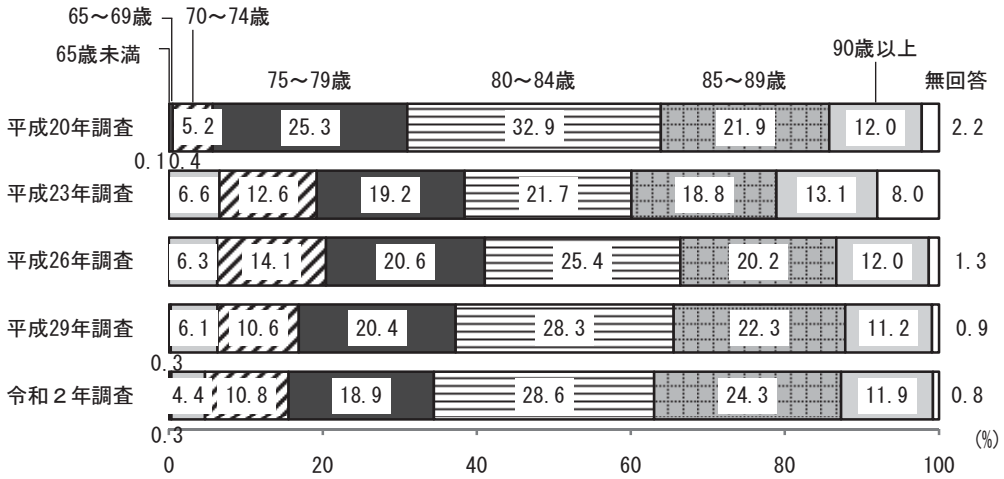
2　居宅サービス利用者

〔１〕性別



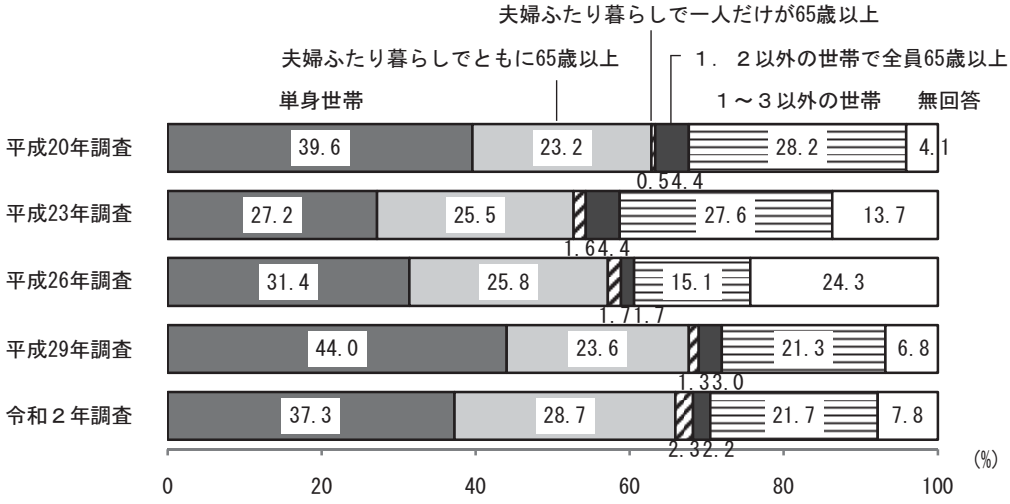
性別については、前回までとほぼ同割合となっています。

〔２〕年齢



年齢については、平成 26 年調査以降、「80～84 歳」、「85～89 歳」の割合が増え、「70～74 歳」が減っています。

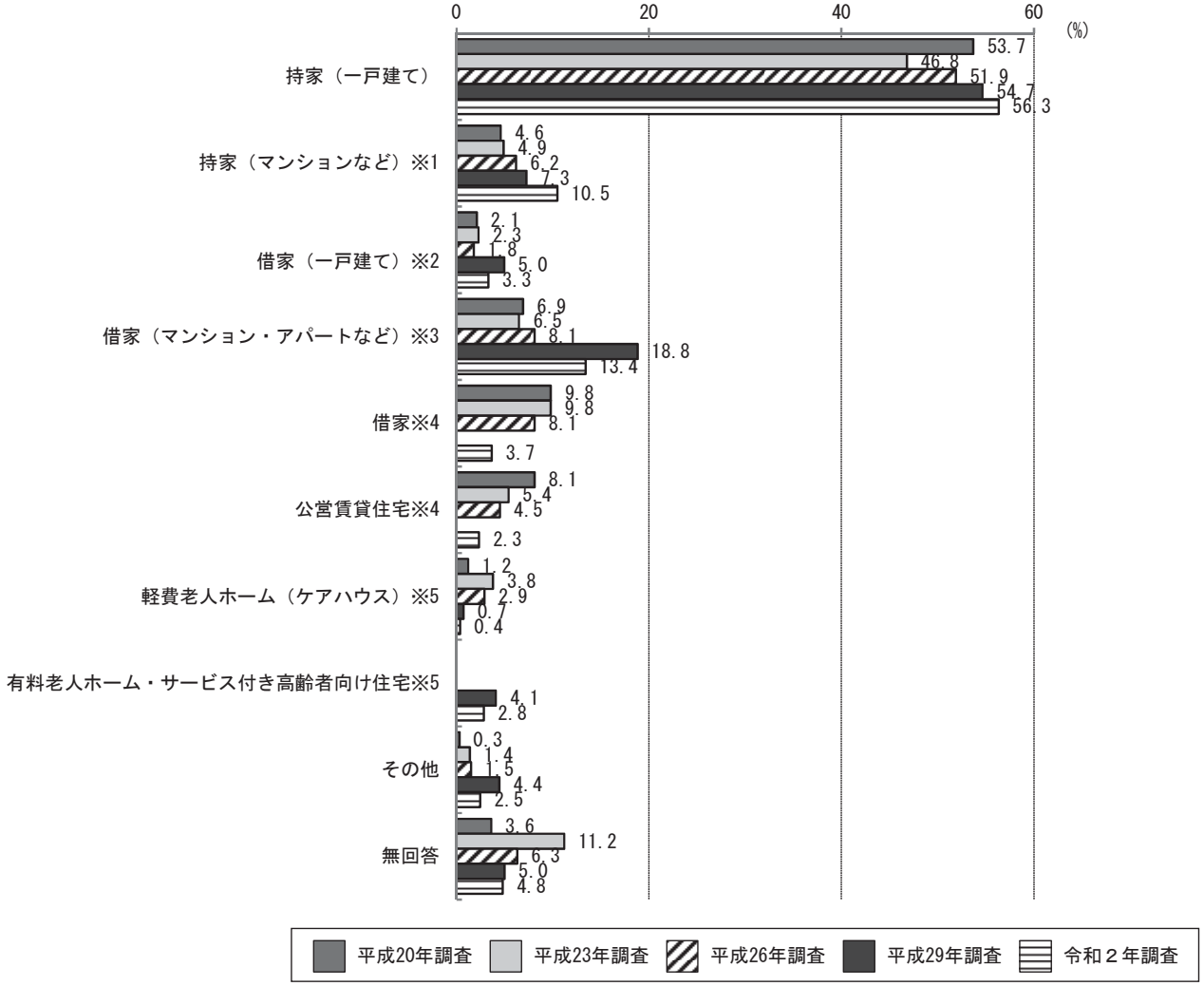
〔３〕家族構成



※平成 29 年調査、令和２年調査の要支援認定者は、「息子・娘との２世帯」、「その他」を合算して「１～３以外の世帯」とした。

家族構成については、前回に比べて「単身世帯」がやや減り、「夫婦ふたり暮らしでともに 65 歳以上」の割合が増えています。

〔４〕現在の住まいの種類



※今回調査（令和２年調査）の選択肢にあるもののみ掲載

※1　要支援認定者では、「持家（集合住宅）」

※2　要支援認定者では、「民間賃貸住宅（一戸建て）」

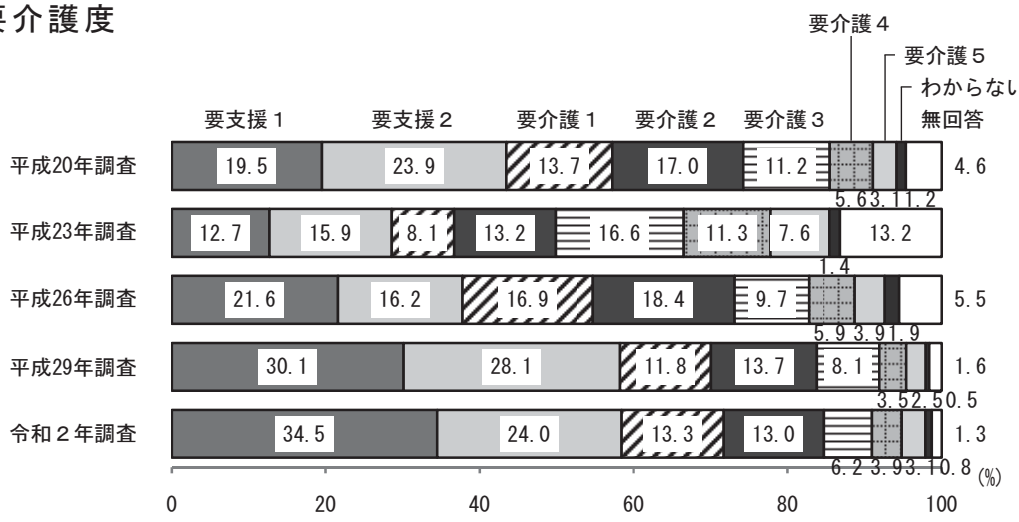
※3　要支援認定者では、「民間賃貸住宅（集合住宅）」

※4　要支援認定者のみの選択肢（要介護認定者では選択肢なし）、平成 29 年調査では選択肢なし
「借家」は平成 26 年調査までは「借家（長屋建て）」

※5　要介護認定者のみの選択肢（要支援認定者では選択肢なし）
「有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」は平成 26 年調査までは選択肢なし

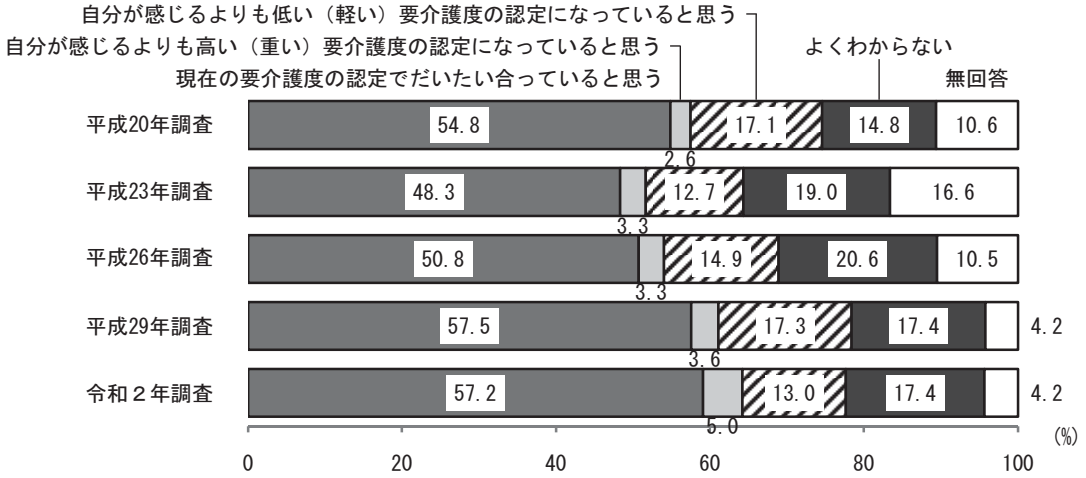
住居形態については、前回までと同様、「持家（一戸建て）」が多くなっていますが、「持家（マンションなど）」、「借家（マンション・アパートなど）」など、集合住宅の割合が増加傾向にあります。

〔５〕要介護度



要介護度については、前回調査と同様、要支援認定者の割合が多くなっています。

〔６〕現在の要介護度をどう思うか



※平成 29 年調査、令和２年調査は、要介護認定者調査における調査対象者のみを集計

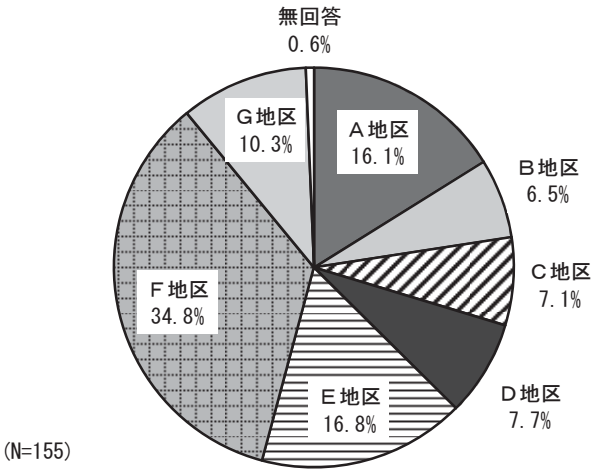
現在の要介護度をどう思うかについては、前回調査とほぼ同様の結果で、「現在の要介護度の認定でだいたい合っていると思う」が６割近くとなっています。

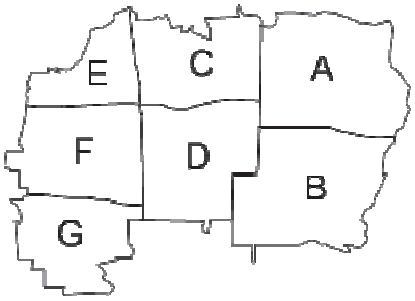
Ⅱ－５　居宅介護支援事業所アンケート

１　事業所の概要

〔１〕事業所の所在地

問１　貴事業所の中学校区をご回答ください。（１つに○）

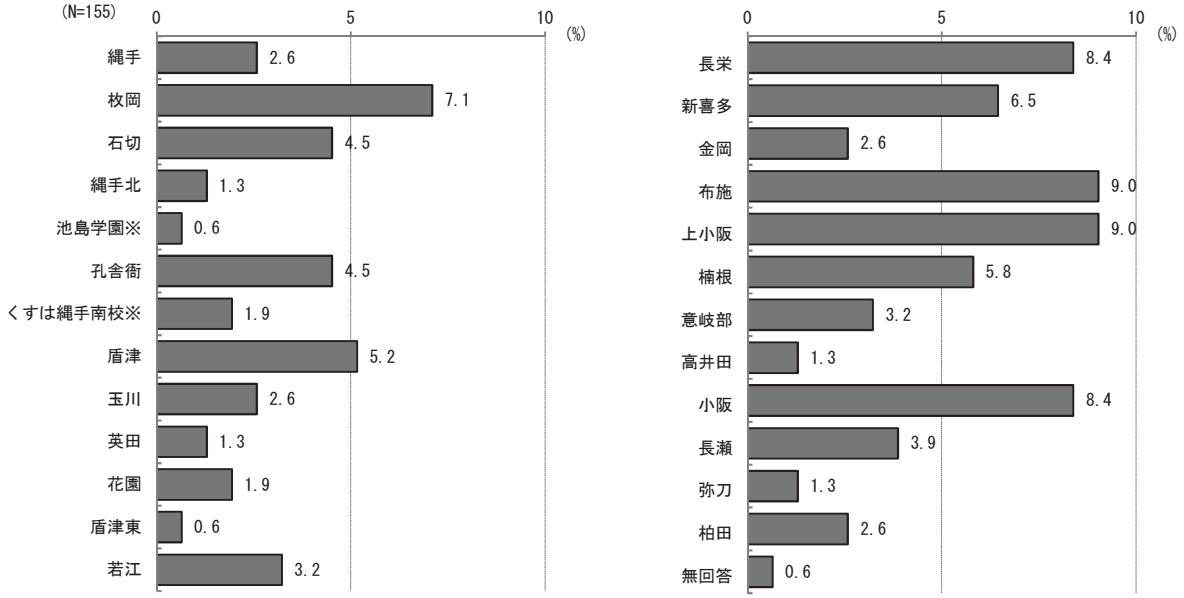




Ａ地区：孔舎衙、石切、枚岡
Ｂ地区：縄手北、縄手、くすは縄手南校、池島学園
Ｃ地区：盾津、盾津東、英田
Ｄ地区：玉川、花園、若江
Ｅ地区：新喜多、楠根、意岐部、高井田
Ｆ地区：長栄、布施、上小阪、小阪
Ｇ地区：金岡、長瀬、弥刀、柏田

居宅介護支援事業所の所在地は、「Ｆ地区」が 34.8%と最も多く、次いで「Ｅ地区」が 16.8%、「Ａ地区」が 16.1%となっています。

【中学校区別】

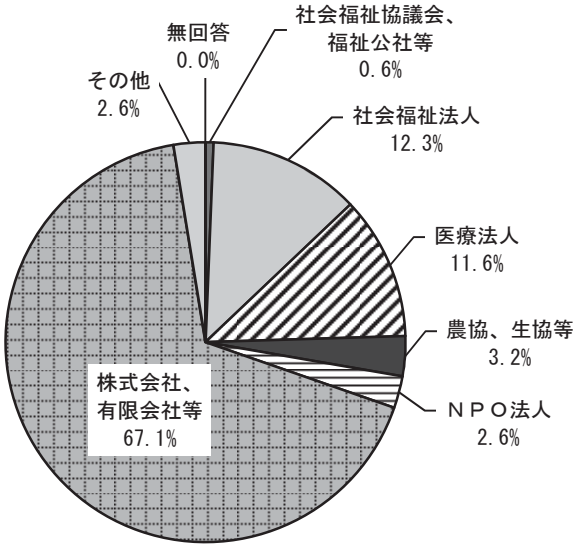


※「くすは縄手南校」と「池島学園」は義務教育学校

中学校区別にみると、「布施中学校区」、「上小阪中学校区」、「長栄中学校区」、「小阪中学校区」などで多くなっています。

〔２〕運営形態

問２　貴事業所の運営形態をご回答ください。（１つに○）



(N=155)

【その他内訳】

（回答４件中）
・一般社団法人（２件）
・合資会社（１件）
・介護支援専門員１名、事務１名の合同会社（１件）

運営形態は、「株式会社、有限会社等」が 67.1%と最も多く、次いで、「社会福祉法人（社会福祉協議会、福祉公社等以外）」が 12.3%、「医療法人」が 11.6%となっています。

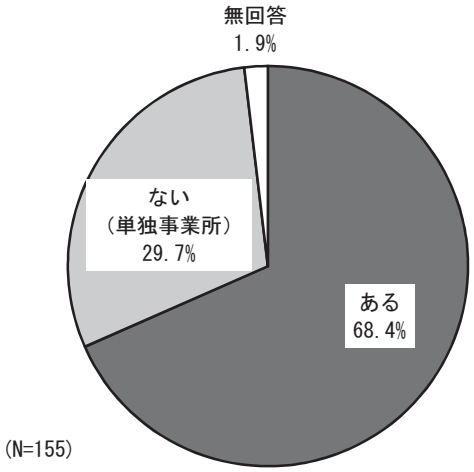
〔３〕併設事業所の有無と実施しているサービス

問３　貴事業所の併設事業所はありますか。（１つに○）

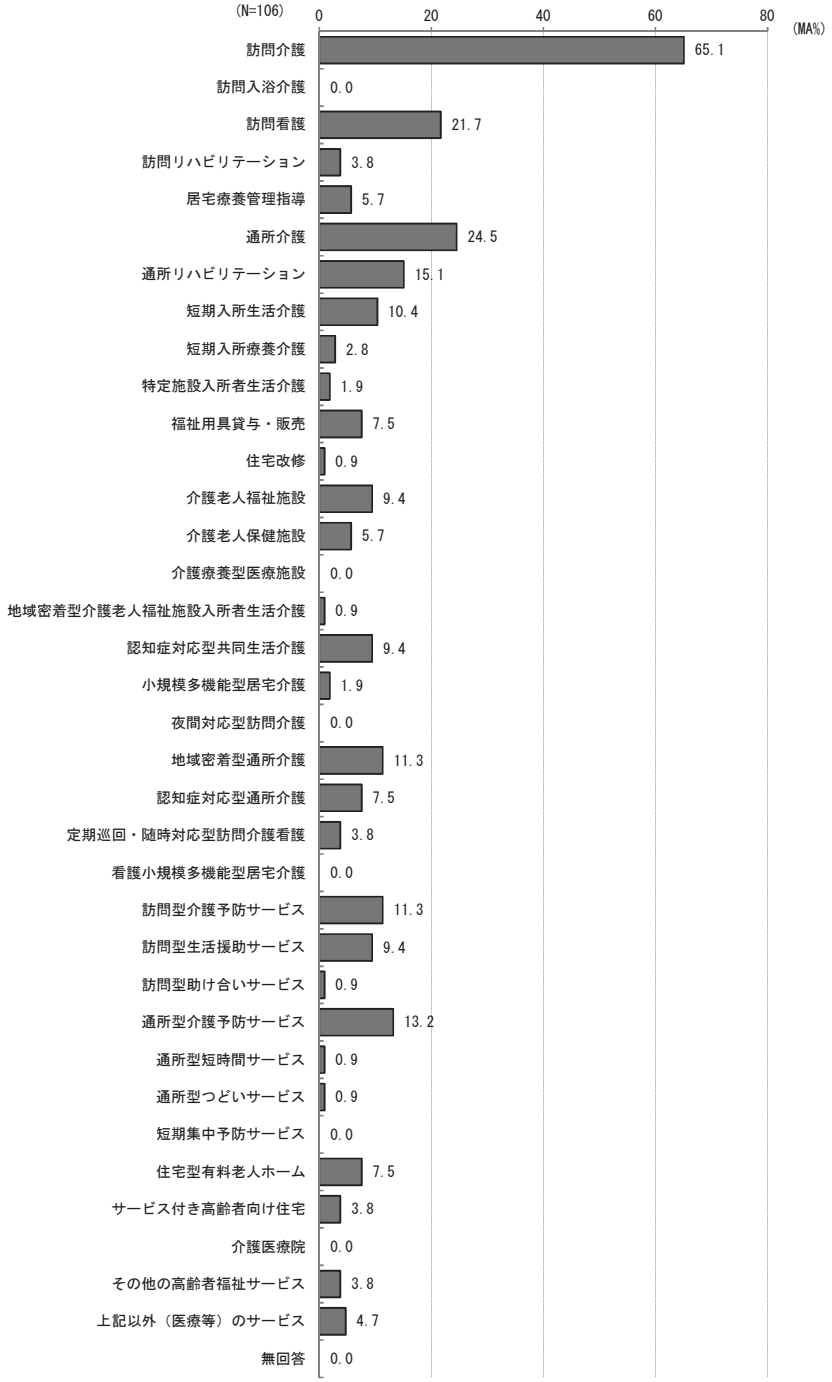
【問３で「１．ある」を回答された事業所のみ】

問3-1　併設事業所（おおむね同一敷地内）で実施しているサービスをご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

【併設事業所の有無】



【併設事業所で実施しているサービス】



【その他の高齢者福祉サービス】

（回答４件中）
- ケアハウス（２件）
- 軽費老人ホーム（１件）
- 養護老人ホーム（１件）
- 特定相談支援事業所（１件）

【上記以外（医療等）のサービス】

（回答５件中）
- 医院、クリニック（２件）
- 整骨院（１件）
- 入院外来施設（１件）
- 特定相談支援事業所（１件）

※各サービスには介護予防サービスを含む
※「訪問型介護予防サービス」～「短期集中予防サービス」は介護予防・生活支援サービス事業

併設事業所の有無については「ある」が 68.4%で、実施しているサービスは、「訪問介護」が 65.1%と最も多く、次いで、「通所介護」が 24.5%、「訪問看護」が 21.7%となっています。

〔４〕事業所の職員構成

問４　貴事業所の職員構成について、人数をご回答ください。
（令和元年12月末日現在）

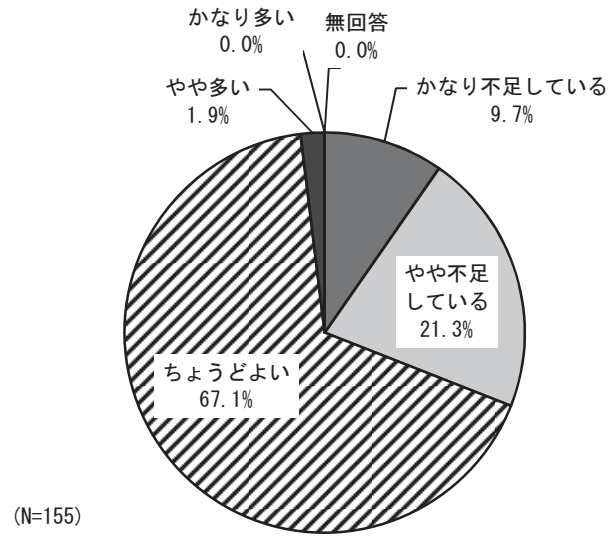
(N=155)

		【常勤】				【非常勤】			
		専従		兼務		専従		兼務	
		(件)	(%)	(件)	(%)	(件)	(%)	(件)	(%)
主任介護支援専門員	１人	**61**	**39.4**	40	25.8	6	3.9	－	－
	２人	20	12.9	1	0.6	－	－	－	－
	３人	8	5.2	－	－	－	－	－	－
	４人	－	－	－	－	－	－	－	－
	５人以上	－	－	－	－	－	－	－	－
	無回答	66	42.6	114	73.5	149	96.1	155	100.0
介護支援専門員	１人	**60**	**38.7**	26	16.8	20	12.9	7	4.5
	２人	22	14.2	2	1.3	4	2.6	－	－
	３人	9	5.8	－	－	2	1.3	1	0.6
	４人	11	7.1	－	－	－	－	－	－
	５人以上	2	1.3	－	－	－	－	－	－
	無回答	51	32.9	127	81.9	129	83.2	147	94.8
その他（事務職等）	１人	**13**	**8.4**	11	7.1	12	7.7	8	5.2
	２人	2	1.3	－	－	2	1.3	－	－
	３人	－	－	－	－	1	0.6	－	－
	４人	－	－	－	－	－	－	－	－
	５人以上	－	－	－	－	－	－	1	0.6
	無回答	140	90.3	144	92.9	140	90.3	146	94.2

事業所の職員構成について、主任介護支援専門員は、「常勤・専従・１人」が 39.4%と最も多く、次いで、「常勤・兼務・１人」が 25.8%となっています。介護支援専門員は、「常勤・専従・１人」が 38.7%と最も多く、次いで、「常勤・兼務・１人」が 16.8%となっています。

〔５〕職員の過不足状況

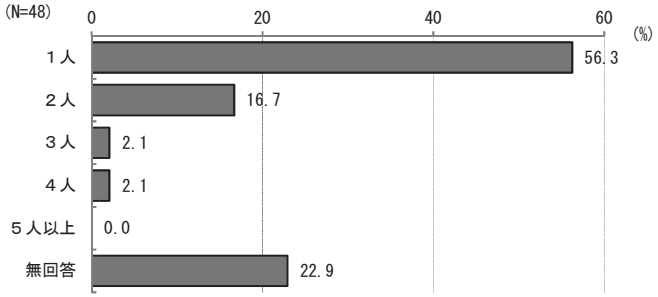
問５　貴事業所における職員の過不足状況をご回答ください。（１つに○）



【主に不足している職種】

（回答 32 件中）　※複数回答あり
- 介護支援専門員、ケアマネジャー（21 件）
- 主任介護支援専門員（5 件）
- ヘルパー、訪問介護員（5 件）
- 事務員（2 件）
- 介護職員（1 件）

【不足しているおおよその人数】

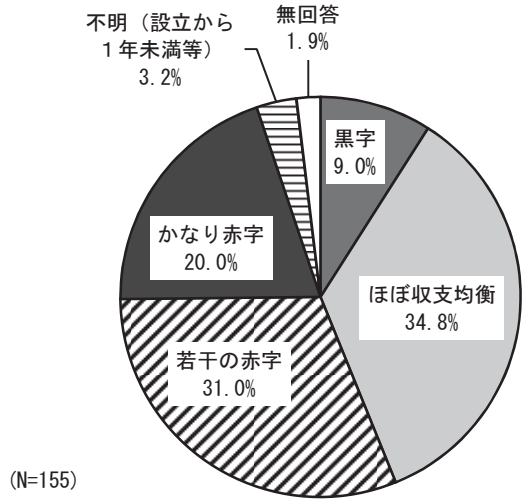


職員の過不足状況については、「ちょうどよい」が 67.1%と多く、「かなり不足している」（9.7%）と「やや不足している」（21.3%）を合わせた『不足している』が 31.0%となっています。

主に不足している職種は、「介護支援専門員」が最も多く、不足している人数は「１人」が 56.3%と最も多くなっています。

〔６〕昨年度１年間の収支状況

問６　貴事業所の昨年度１年間の収支状況についてご回答ください。（１つに○）



昨年度１年間の収支状況については、「ほぼ収支均衡」が 34.8%と最も多く、次いで、「若干の赤字」が 31.0%、「かなり赤字」が 20.0%で、『赤字』は合計 51.0%となっています。

〔7〕ケアプラン給付管理件数

問7　貴事業所におけるケアプラン給付管理件数（令和元年12月分）をご記入ください。

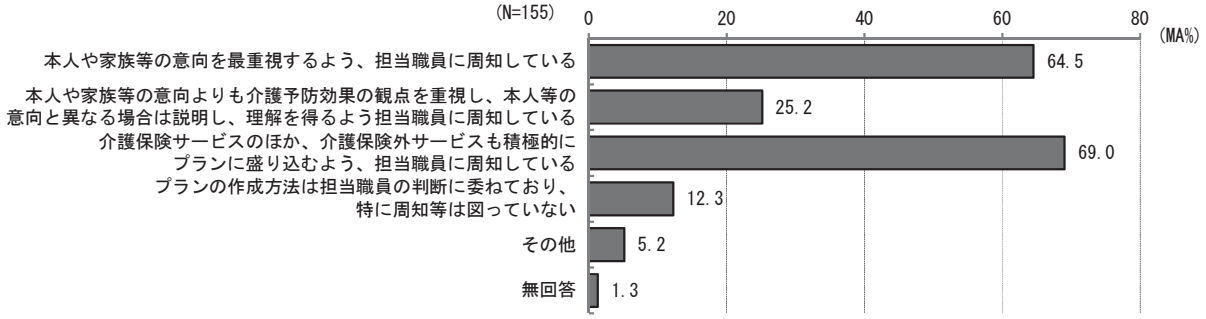
（上段：件、下段：%）

		N	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50～99人	100人以上	無回答	平均（人）
介護予防ケアマネジメント（地域包括支援センターからの委託分）	事業対象者	155	7	1	0	0	1	0	2	1	143	6.5
		100	4.5	0.6	0	0	0.6	0	1.3	0.6	92.3	
	要支援１	155	**70**	31	9	1	0	0	0	0	44	4.4
		100	**45.2**	20.0	5.8	0.6	0	0	0	0	28.4	
	要支援２	155	64	32	16	1	0	0	0	0	42	4.8
		100	41.3	20.6	10.3	0.6	0	0	0	0	27.1	
予防給付（地域包括支援センターからの委託分）	要支援１	155	**77**	35	7	0	0	0	0	0	36	4.0
		100	**49.7**	22.6	4.5	0	0	0	0	0	23.2	
	要支援２	155	54	43	24	3	0	0	0	0	31	6.2
		100	34.8	27.7	15.5	1.9	0	0	0	0	20.0	
介護給付	要介護１	155	16	32	34	29	16	6	10	1	11	20.5
		100	10.3	20.6	21.9	18.7	10.3	3.9	6.5	0.6	7.1	
	要介護２	155	17	29	44	23	12	9	12	0	9	20.6
		100	11.0	18.7	28.4	14.8	7.7	5.8	7.7	0	5.8	
	要介護３	155	40	44	36	15	4	1	3	0	12	11.2
		100	25.8	28.4	23.2	9.7	2.6	0.6	1.9	0	7.7	
	要介護４	155	43	49	28	4	8	0	0	0	23	8.1
		100	27.7	31.6	18.1	2.6	5.2	0	0	0	14.8	
	要介護５	155	**78**	32	14	8	1	3	0	0	19	6.6
		100	**50.3**	20.6	9.0	5.2	0.6	1.9	0	0	12.3	
暫定・申請中		155	55	2	1	0	0	0	2	1	94	4.4
		100	35.5	1.3	0.6	0	0	0	1.3	0.6	60.6	

令和元年12月分のケアプラン給付管理件数について、介護予防ケアマネジメントと予防給付では「要支援１」の「１～４人」が最も多く、次いで、「要支援２」の「１～４人」となっています。介護給付では「要介護５」の「１～４人」が最も多く、次いで、「要介護４」の「５～９人」となっています。平均管理件数は介護給付の「要介護１」、「要介護２」がそれぞれ20人ほどと多くなっています。

〔8〕ケアプランを作成する際に留意していること

問8　貴事業所では、ケアプランを作成する際に留意していることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）



【「本人や家族等の意向よりも介護予防効果の観点を重視し、本人等の意向と異なる場合は説明し、理解を得るよう担当職員に周知している」の具体的な事例】

（回答 11 件中）
- 介護保険制度、サービスの適正利用（2 件）
- 各サービス内容の周知（1 件）
- 多職種による評価を元に説明提案（1 件）
- 家事を一緒に行い、自立支援に繋げる（1 件）
- 本人が通院を拒否するが、定期的な通院が必要なため担当者会議をして説得（1 件）
- 予防ケアマネジメント、要支援１本人は２回デイに行きたいが１回で組む（1 件）
- 訪問介護での買い物、調理は配食利用と宅配サービスの利用など（1 件）
- 飲み込みが悪い利用者様の食事形態について（1 件）
- 運動器デイやリハビリ等（1 件）
- 通所系の利用を嫌がる、歩行器を直ぐ変える etc（1 件）

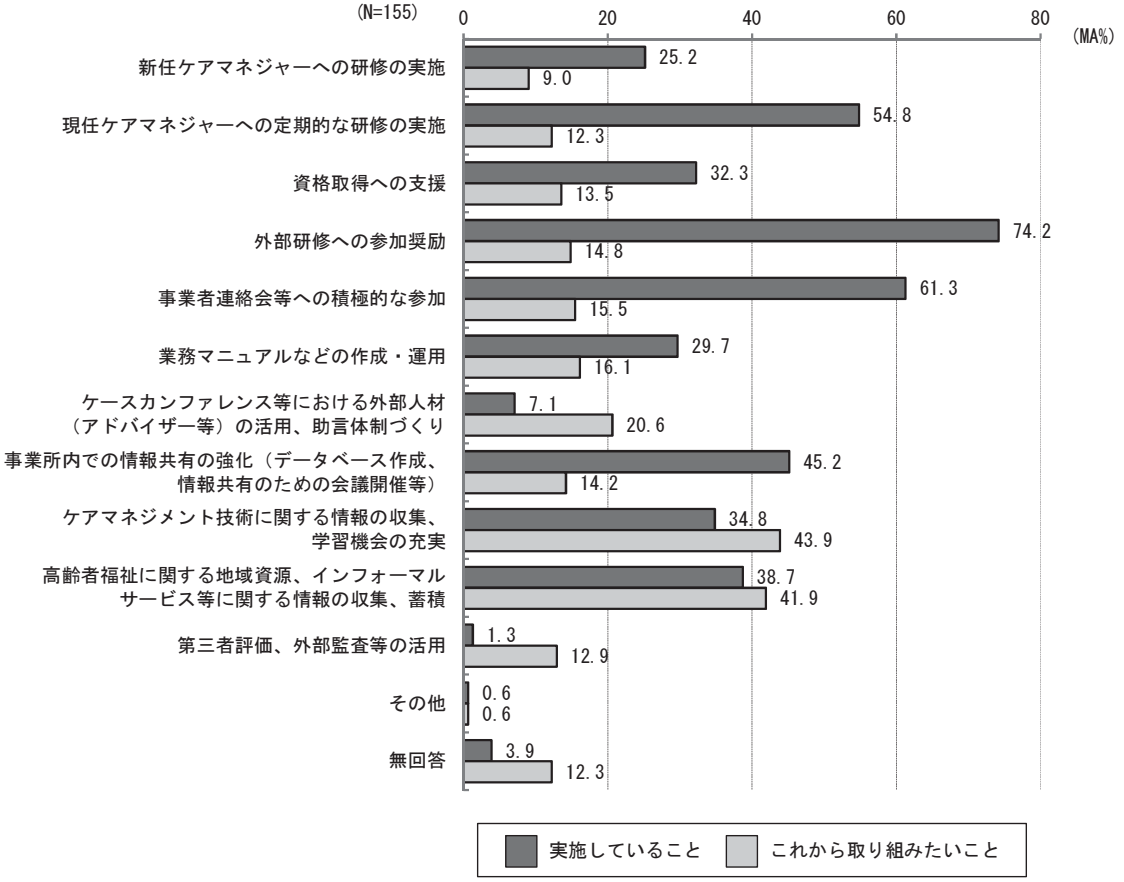
【その他内訳】

（回答 8 件中）
- 本人や家族の意向を尊重しながらケアプランを作成している（3 件）
- 信頼を得るまでは意向を尊重、信頼を得てからは徐々にケアマネとしての専門性を発揮（1 件）
- 自立支援を意識したプランづくり（1 件）
- ２名以上の担当者間で利用者の情報を共有している（1 件）
- 一人で行っているので、臨機応変に対応している（1 件）
- 家族の協力の確認（1 件）

ケアプランを作成する際に留意していることは、「介護保険サービスのほか、介護保険外サービスも積極的にプランに盛り込むよう、担当職員に周知している」が 69.0%と最も多く、次いで、「本人や家族等の意向を最重視するよう、担当職員に周知している」が 64.5%となっています。

〔９〕ケアマネジメント向上への取り組みとして実施していること、取り組みたいこと

問９　貴事業所では、ケアマネジメント向上への取り組みとして、どのようなことを実施していますか。また、今後どのようなことに取り組みたいと考えていますか。
『Ａ．実施していること』、『Ｂ.これから取り組みたいこと』それぞれについて、①～⑫の中から当てはまる番号を[　　]内にご記入ください。
（あてはまるものすべて）



【その他内訳】

Ａ.「実施していること」（回答１件）
・月１回は居宅療養の医師について往診の同行、利用者訪問を２名以上での訪問（１件）
Ｂ.「これから取り組みたいこと」（回答１件）
・スーパービジョン（１件）

ケアマネジメント向上への取り組みとして実施していることは、「外部研修への参加奨励」が 74.2%と最も多く、次いで、「事業者連絡会等への積極的な参加」が 61.3%、「現任ケアマネジャーへの定期的な研修の実施」が 54.8%となっています。

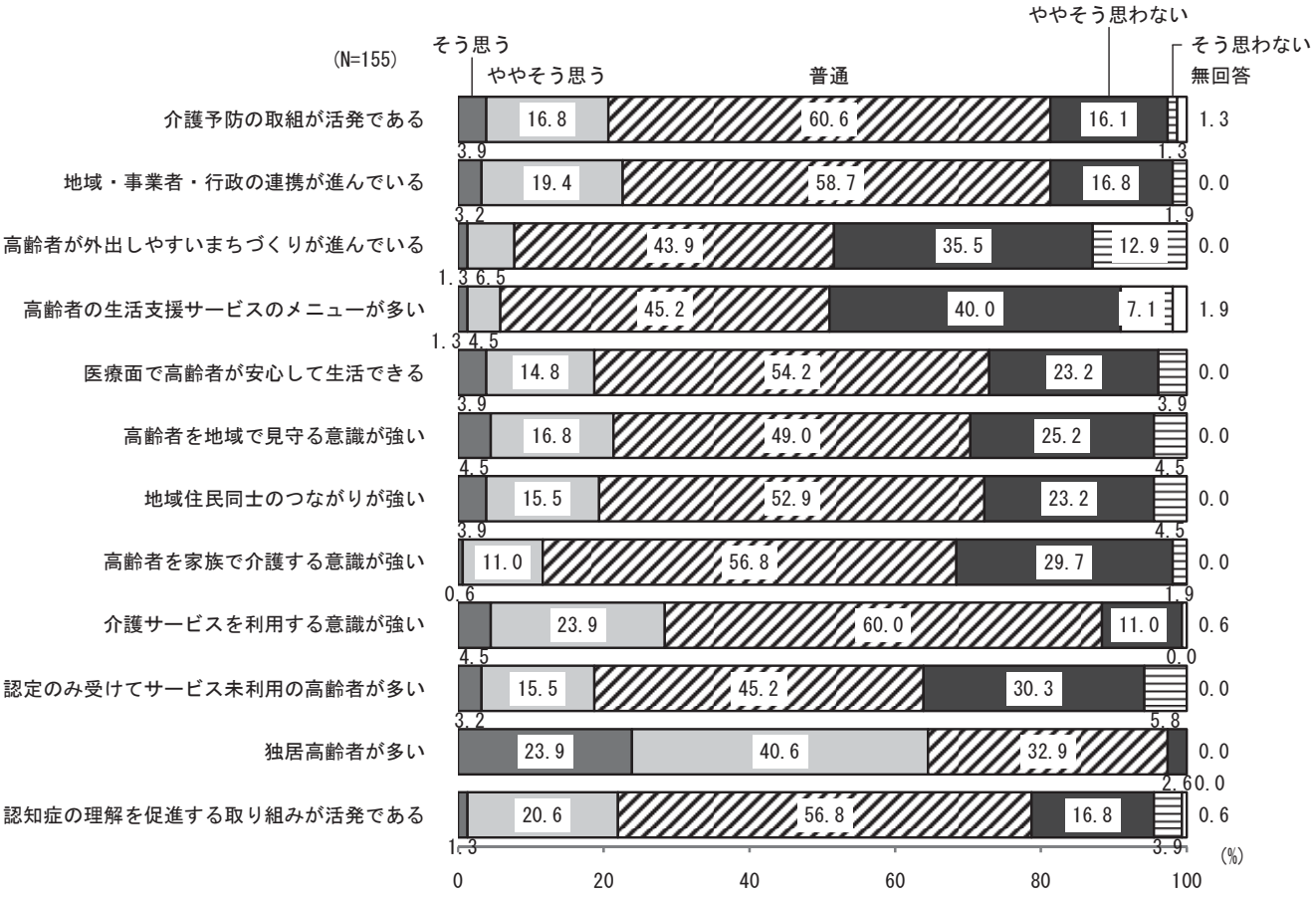
これから取り組みたいことは、「ケアマネジメント技術に関する情報の収集、学習機会の充実」が 43.9%と最も多く、次いで、「高齢者福祉に関する地域資源、インフォーマルサービス等に関する情報の収集、蓄積」が 41.9%となっています。

実施意向に比べて実施が少ないのは、「ケースカンファレンス等における外部人材（アドバイザー等）の活用、助言体制づくり」（13.5 ポイント）、「第三者評価、外部監査等の活用」（11.6 ポイント）、「ケアマネジメント技術に関する情報の収集、学習機会の充実」（9.1 ポイント）となっています。

２　事業所立地地域の特色や介護・介護予防サービスについて

〔１〕地域の特色

問10　高齢者の生活や介護・介護予防に関連して、地域の特色と感じるものはありますか。
①～⑫の各項目について、そう思う程度をご回答ください。（それぞれ１つに○）



高齢者の生活や介護・介護予防に関連して、地域の特色と感じるものについて、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、「独居高齢者が多い」で 64.5%と最も多く、次いで、「介護サービスを利用する意識が強い」で 28.4%となっています。一方、「そう思わない」と「ややそう思わない」を合わせた『そう思わない』は、「高齢者が外出しやすいまちづくりが進んでいる」で 48.4%、「高齢者の生活支援サービスのメニューが多い」で 47.1%と多くなっています。

【その他、地域の特色と思うこと】

（回答 23 件中）　※複数回答あり

＜移動に関すること＞
・東部の山手の傾斜地では、通院、買い物、サロン通い等が不便（5 件）
・一般病院が少なく通院が不便、タクシー費用の負担が大きい（1 件）

＜地域のつながりに関すること＞
・近所の繋がりが強い／人との関わりが薄い（3 件）
・地域住民との繋がりが強い（1 件）

＜まちや住居に関すること＞
・町工場が多くマンション等、集合住宅が少ない（1 件）
・高齢者世帯の多い地域は空き家が多い（1 件）
・長屋の文化住宅、旧家で独居高齢者が多く、若者が少ない（1 件）
・地域によって差が大きい（まちづくり、地域のつながり）（1 件）

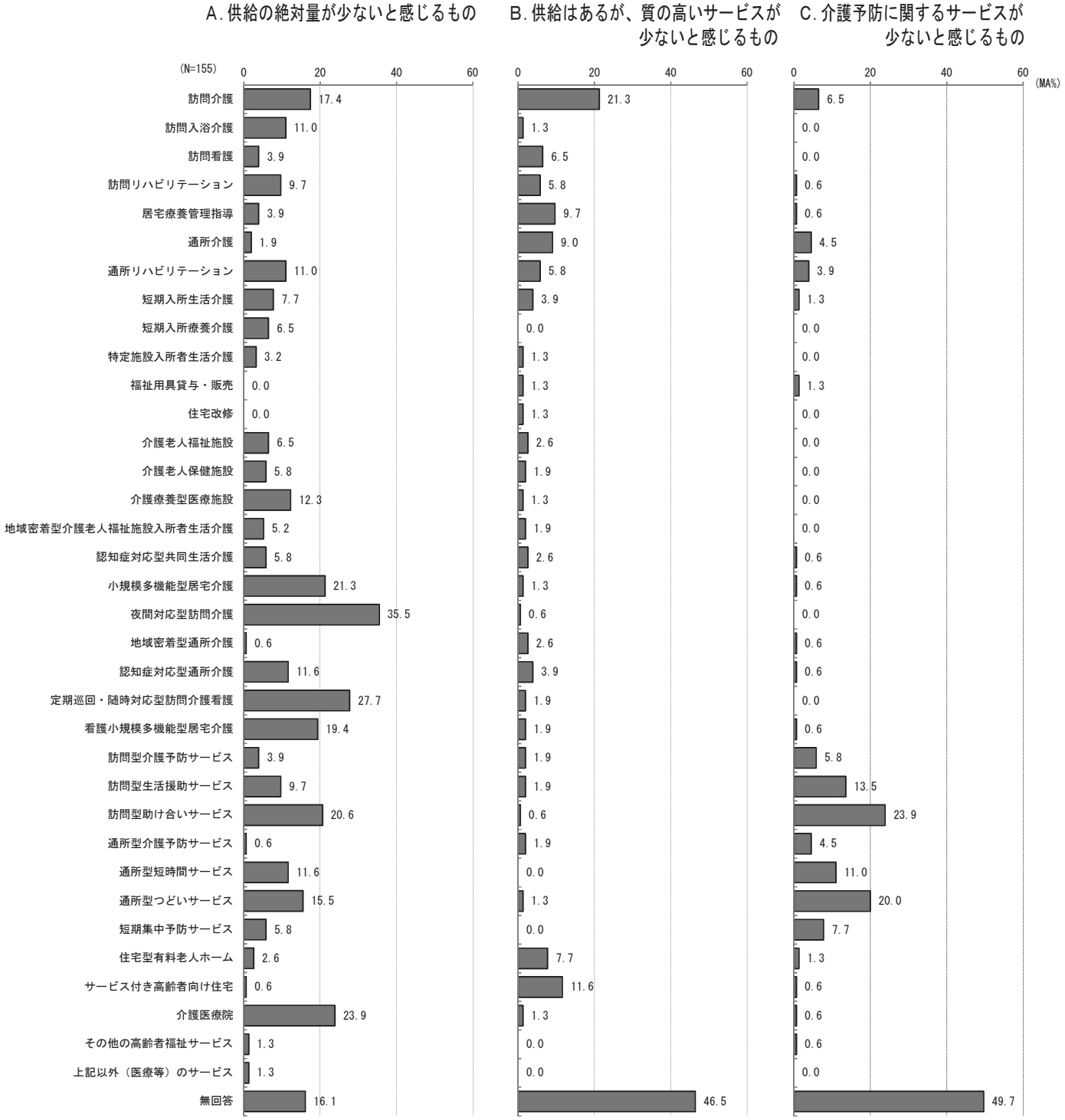
＜支援に関すること＞
・経済的に厳しく、サービス利用を制限している家庭が多い（2 件）
・生活保護の方が多い（1 件）
・年金が少なく、サービスが入っていない人へのサポートが充実していない（1 件）
・近くに精神科の病院が２件あり、精神障害の方の支援が困難（1 件）

＜介護や介護予防の取り組みに関すること＞
・介護予防の取り組みをされている／予防のための運動への取り組みがない（2 件）
・認知症の相談窓口が少ない（1 件）
・高齢者が気軽に通えるサークル、家族の支援の集いも少ない（1 件）
・自宅で看取りが行えるようにヘルパーサービスの充実、老健の看取りの対応をすすめてほしい（1 件）
・地域包括さんがよく動いて下さる（1 件）

＜その他＞
・まだ地域の実情がわからない（1 件）

〔２〕地域において供給の不足を感じるサービス

問11　地域において、供給の不足を感じるサービスはありますか。
Ａ・Ｂ・Ｃそれぞれについて、下の①～㉟の中から当てはまる番号を［　　］内にご記入ください。（あてはまるものすべて）



地域において、供給の絶対量が少ないと感じるサービスは、「夜間対応型訪問介護」（35.5%）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（27.7%）が多く、供給はあるが、質の高いサービスが少ないと感じるものは、「訪問介護」（21.3%）、介護予防に関するサービスが少ないと感じるものは、「訪問型助け合いサービス」（23.9%）、「通所型つどいサービス」（20.0%）となっています。

〔３〕介護予防・日常生活支援サービス事業のサービス等に関する意見（自由記述）

問12　介護予防・日常生活支援サービス事業のサービス等に関する意見等があればご自由にご記入ください。

A．訪問型介護予防サービス	計 18 件
ヘルパーの人手不足で、サービスの確保が難しい	5 件
受けてくれる事業所が少ない、サービス提供時間がまちまち	3 件
要支援者への対応が不十分（受け入れない、移送サービスがない等）	3 件
サービス時間が短い（45 分のサービスでは不満が出る、できることが限られる）	2 件
身体のみのサービスにして生活援助は行わないようにしていく	1 件
包括によって回数計算の取り扱いが違う	1 件
その他	3 件

B．訪問型生活援助サービス	計 21 件
実施している事業者が少ない、実施事業所をわかりやすくしてほしい	10 件
ヘルパー不足	5 件
利用者のニーズに合わない、45 分のサービスに不満を持つ利用者が多い	2 件
その他	4 件

C．訪問型助け合いサービス	計 22 件
実施している事業所が少ない、実施事業所をわかりやすくしてほしい	10 件
どんなサービスができるのか不明、どのように使っていいかわからない	3 件
ヘルパー不足、ヘルパーの質に不安	3 件
電球の取り替え、衣類の衣替え、カーペットの入れ替え等、介護予防サービスで対応できない部分を拡充してもらいたい。病院内の案内や付き添いなどのサービスがあれば助かる	1 件
サービスよりも会話の時間が長くなり思うほど件数を引き受けてもらえないのではないか	1 件
その他（利用なし等）	4 件

D．通所型介護予防サービス	計 12 件
実施している事業所が少ない、絶対数が不足しており選択肢が少ない	5 件
ＰＴ等が配属しているデイが少ないのでリハビリができない	2 件
認知面も考えて、学習療法を取り入れた事業所が少ない	1 件
交流の場として利用したい場合、利用の理由が認められにくい	1 件
要支援２の人が週１回の場合、金銭は減るのに対し、要支援１の人が週２回の場合、金銭が上がらない理由がわからない	1 件

D．通所型介護予防サービス	計 12 件
回数計算の取り扱いが、包括によって違うことがある	1 件
その他	1 件

E．通所型短時間サービス	計 17 件
実施している事業所が少ない、絶対数が不足しており選択肢が少ない	6 件
入浴のサービスがあればよい、入浴ができる短時間デイを増やしてほしい	3 件
リハビリデイの希望が多いが、どこもいっぱい	1 件
運動に特化しているため、閉じこもりを防ぎたい方へ勧めるのが難しい	1 件
利用者が選択できるだけの資源がない	1 件
要介護の方で利用者様が多く、なかなか空きが無い	1 件
短時間なので送迎に時間がかかる	1 件
周知不足	1 件
その他	2 件

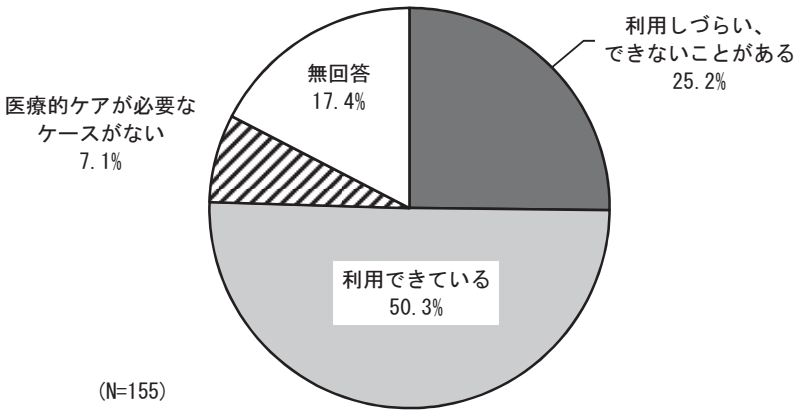
F．通所型つどいサービス	計 10 件
実施している事業所が少ない、供給の絶対量が少ない	4 件
情報が少ない	2 件
地域によって数多くされている地域とそうでない地域の差が大きい	1 件
送迎が無いと歩いて行けない	1 件
その他	2 件

G．短期集中予防サービス	計 5 件
全体に少ないので困っている	1 件
利用対象者の要件がわかりにくい	1 件
その他（利用なし等）	3 件

H．その他、全体に関すること	計 15 件
全体的にサービスが少ない、対応できる事業所も少ないと思う	4 件
理解しにくい上に手間がかかる、利用がしにくい	3 件
予防プラン料が低すぎる、事業所がやっていくメリットや人手も不足している	2 件
移動の付き添いサービスやタクシー利用の補助等考えてもらいたい	1 件
夜間対応してくれる事業所が少ない	1 件
要支援枠でのサービスはなくした方が自立心が高まる	1 件
緩和型のサービスの絶対量が少ない、情報を得たい	1 件
その他	2 件

〔４〕医療的ケアが必要なために利用できないサービスの有無

問13　貴事業所が担当しているケースで、医療的ケアが必要なために、利用できるサービスがない、利用しづらいといったことを感じることはありますか。（１つに○）



医療的ケアが必要なためにサービスを「利用しづらい、できないことがある」と回答した事業所は 25.2%となっています。

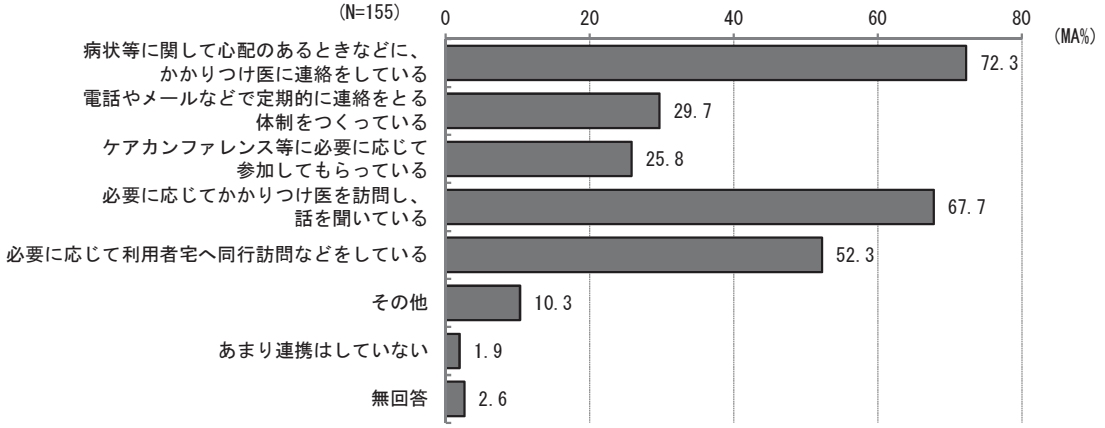
【利用しづらいと感じているサービス内訳】

（回答 42 件中）　※複数回答あり
- ショートステイ（8 件）
- デイサービス（4 件）
- 通院（3 件）
- 訪問看護（2 件）
- 看護機能小規模多機能型居宅介護、訪問リハビリテーション（1 件）
- 施設入所（1 件）
- サ高住（1 件）
- 医師の管理が厳しい、または非協力的で必要と思われるサービスが提供できない（5 件）
- 24 時間緊急時対応、夜間、早朝、深夜の対応できる事業所が少ない（5 件）
- インシュリンが必要な利用者への受け入れ拒否（ショートステイ、デイサービス）（3 件）
- ターミナルケアが必要な方の通所サービスやショートステイ（2 件）
- 導尿や経管栄養が必要な方の受け入れ拒否（デイサービス、デイケア、施設入所）（2 件）
- 難病の方（2 件）
- 透析患者のためのショートステイ、老健入所（1 件）
- 吸引が必要な方の対応（ショートステイ）（2 件）
- ヤケドのガーゼ交換、点数足らずナースを利用できずケアマネが行っている（1 件）
- その他（1 件）

３　地域の関係機関等との連携について

〔１〕かかりつけ医との連携

問14　貴事業所では、かかりつけ医とどのような連携をしていますか。
（あてはまるものすべてに○）



【その他内訳】

（回答 16 件中）　※複数回答あり
・受診に同行、往診に同席（8 件）
・ＴＥＬ、ＦＡＸ（3 件）
・手紙や文書、連絡票を作成する（3 件）
・訪問看護、病院の SW 通じて連携を取る、相談員さんを通して意見をいただく（2 件）
・家族を通して連携している（1 件）
・更新時に連絡、ケアプラン提示（1 件）
・主治医に意見書、初回時や状態変化時に情報提供（1 件）
・往診専門医は連携がスムーズだが、大きい病院が主治医の時は調査が困難なことがある（1 件）

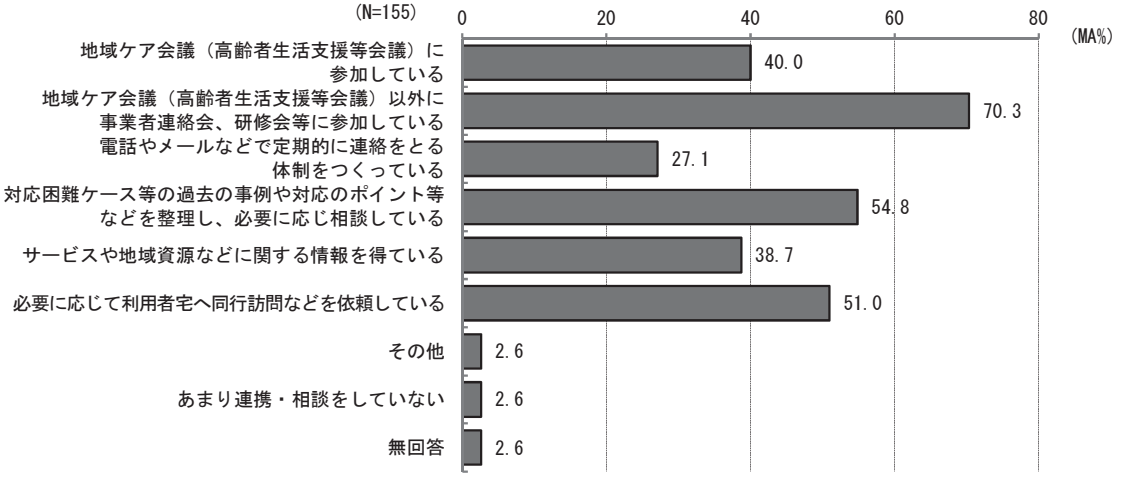
【連携していない理由】

（回答 5 件中）
・訪問看護を通じて情報を得ている
・多職種連携会議に参加している
・２か月おきの交流会開催
・サービスや地域資源などに関する情報を得たい
・大変なケースを相談しても予防以外は余りわかってない人もいる（各 1 件）

かかりつけ医との連携については、「病状等に関して心配のあるときなどに、かかりつけ医に連絡をしている」が 72.3%と最も多く、次いで、「必要に応じてかかりつけ医を訪問し、話を聞いている」が 67.7%となっています。

〔2〕地域包括支援センターとの連携

問15　貴事業所では、地域包括支援センターとどのような連携をしていますか。
（あてはまるものすべてに○）



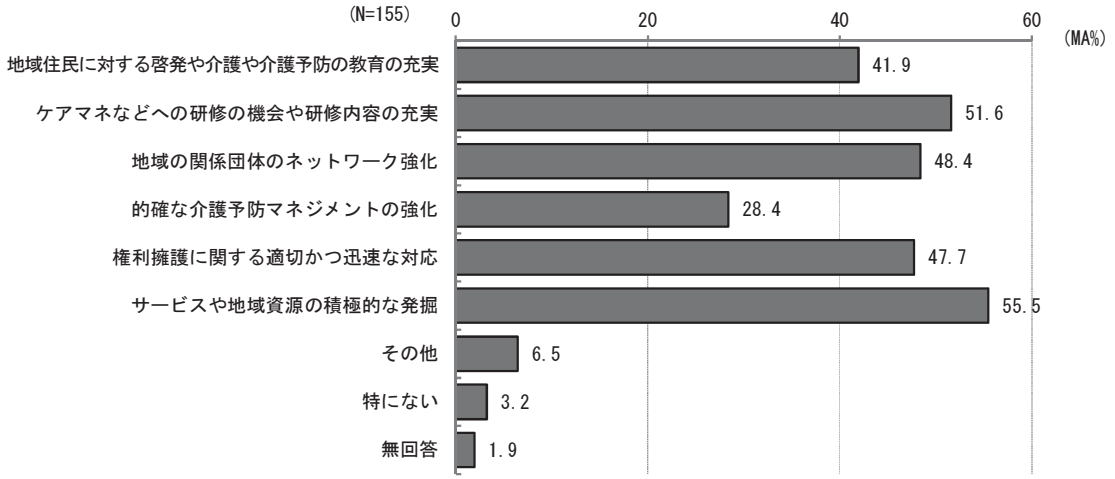
【連携していない理由】

（回答5件中）
・ケアマネが本人と対応し解決している
・一度相談して断られたため利用していない、難しいケースは対応してくれない時がある
・相談はしづらい
・人手不足がある
・包括によってレベルが違う、スキルが低い（各1件）

地域包括支援センターとの連携については、「地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）以外に事業者連絡会、研修会等に参加している」が 70.3%と最も多く、次いで、「対応困難ケース等の過去の事例や対応のポイント等などを整理し、必要に応じ相談している」が 54.8%、「必要に応じて利用者宅へ同行訪問などを依頼している」が 51.0%となっています。

〔３〕地域包括支援センターに期待すること

問16　貴事業所が、地域包括支援センターに期待することはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）



【その他内訳】

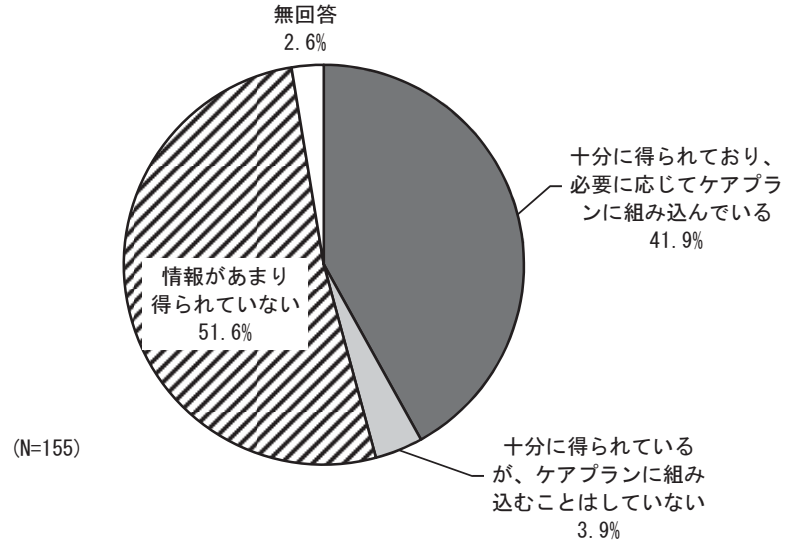
（回答 10 件中）
- 困難ケースに一緒に対応、ケアマネのサポートをしてほしい（5 件）
- サービス事業者やケアマネの横の繋がりを創る手助け（1 件）
- 予防プランをせず、本来の地域包括の果たすべき仕事をしてほしい（1 件）
- ケアプランの同意に印鑑を用いることの無い、対等な関係性（1 件）
- 支援計画書の返却が遅いので早く返却してほしい（1 件）
- 熱心に対応して下さりいつも助かっていますが、もう少しスタッフを増やす必要があるのではないかと思う（1 件）

地域包括支援センターに期待することは、「サービスや地域資源の積極的な発掘」が 55.5%と最も多く、次いで、「ケアマネなどへの研修の機会や研修内容の充実」が 51.6%となっています。

4　介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）について

〔１〕地域の介護保険外サービス情報の入手状況

問17　貴事業所では、地域の介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）の情報を十分に得られていますか。（１つに○）



地域の介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）の情報を十分に得られているかについては、「情報があまり得られていない」が半数強（51.6%）で、「十分に得られており、必要に応じてケアプランに組み込んでいる」が４割（41.9%）となっています。

【問17で「２．十分に得られているが、ケアプランに組み込むことはしていない」と回答した事業所のみ】

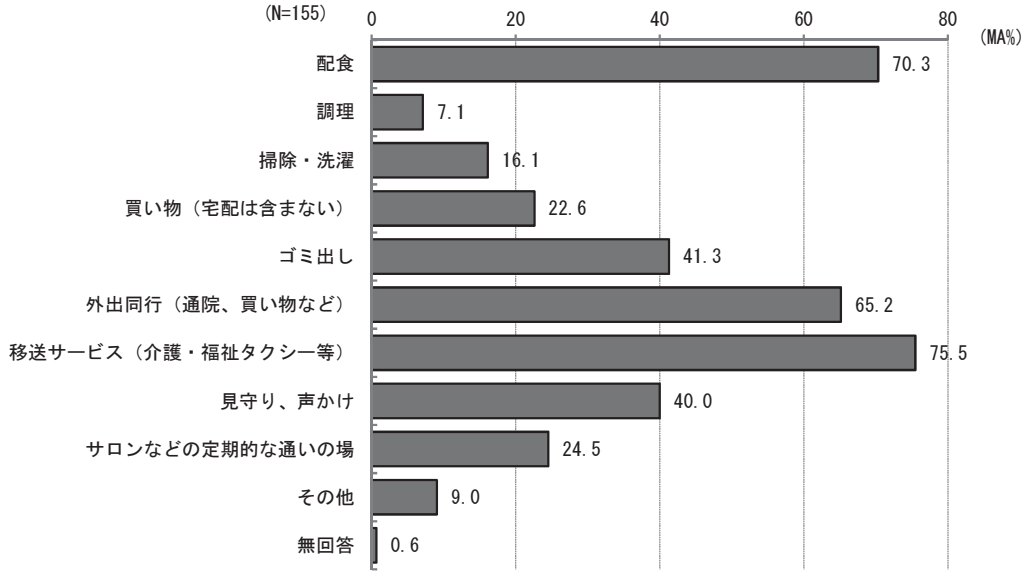
問17-1　ケアプランに組み込むことをしていない理由をご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

ケアプランに組み込むことをしていない理由	計 15 件
要介護者や要支援者に適したサービスが少ない	4 件
サービスの質などがまちまちであり、安心して勧められるサービスが少ない	3 件
実際の利用に至るまでの調整や手続きなどに手間がかかる	3 件
利用料金などが高いサービスが多い	2 件
既存の介護保険サービスで十分足りており、保険外サービスを利用する必要性があまりない	2 件
地域に利用できるサービスが少ない	1 件

地域の介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）の情報を「２．十分に得られているが、ケアプランに組み込むことはしていない」と回答した事業所は６件で、その理由は「要介護者や要支援者に適したサービスが少ない」が４件で最も多くなっています。

〔２〕ニーズが高いと思われる介護保険外サービス

問18　介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）について、ニーズが高いと思われるものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）



【その他内訳】

（回答 13 件中）
- 散髪、訪問利用（3 件）
- 服薬、点眼、服薬の促し・確認（2 件）
- 話し相手、傾聴ボランティア等の充実（2 件）
- 金銭管理（1 件）
- 独居老人の入浴サービス（1 件）
- 介護保険でできない家事支援（1 件）
- 院内介助（1 件）
- 小型の乗り合いバスや車（1 件）
- グリーフケアやターミナル支援相談（1 件）

ニーズが高いと思われる介護保険外サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 75.5%と最も多く、次いで、「配食」が 70.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が 65.2%となっています。

〔3〕地域で充実が必要だと思う介護保険外サービス（自由記述）

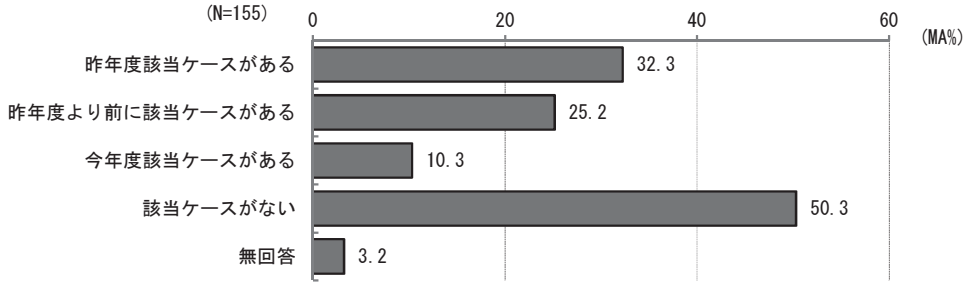
問19　今後、地域で充実が必要だと思う介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）の提供体制についてのお考えをご自由に記載ください（誰が、どこでやるのか、など）。

地域で充実が必要だと思う介護保険外サービス	計 46 件
高齢者が自ら外出できる手段、巡回バス、乗り合いバス等の移送サービス	10 件
通院、買い物等の同行サービス	10 件
見守り、声かけ、話し相手	5 件
サロン、老人会等の集いの場、悩みごとの相談ができる場所	4 件
サービスや手続きの簡素化、保険と保険外を組み合わせできるような仕組みづくり、事業所が参入しやすい体制づくり	3 件
介護保険を拒否されている方、他人との交流を苦手にしている方、ずっと家にいる方への支援	3 件
移動スーパー、買い物代行	2 件
緊急時、災害時における見守り助け合い	2 件
自治会への声かけ、地域の若い人にボランティア教室等、地域資源の活用	2 件
ゴミ出しなどの訪問型助け合いサービス	1 件
ボランティアさんなどによる地域のお元気ですか訪問	1 件
服薬、点眼	1 件
訪問理美容	1 件
入院した場合の同意や手続き、金銭管理	1 件

５　認知症、高齢者虐待・権利擁護等の対応ケースについて

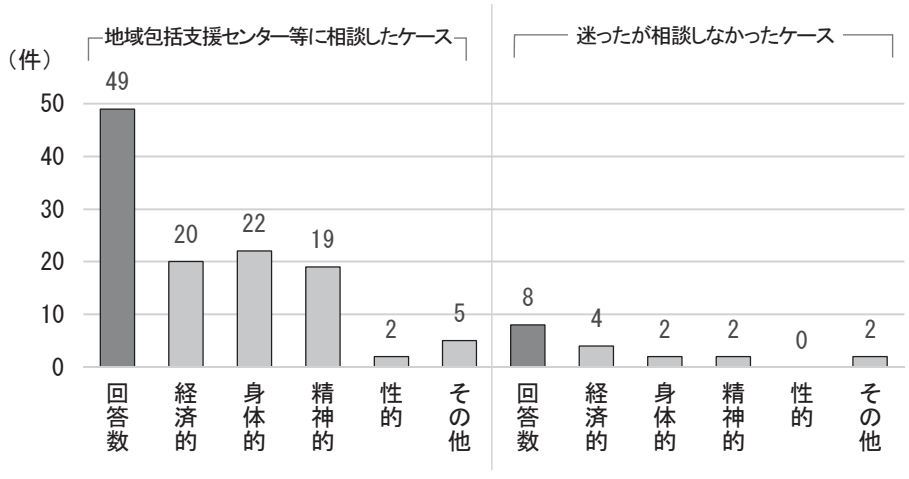
〔１〕高齢者虐待で地域包括支援センターに相談したこと

問20　昨年度、貴事業所では高齢者虐待と思われ、地域包括支援センター等に相談したケース（相談するかどうか迷うケースを含む。）がありますか。
（あてはまるものすべてに○）



高齢者虐待で地域包括支援センターに相談したケースについては、「昨年度該当ケースがある」が 32.3%、「昨年度より前に該当ケースがある」が 25.2%、「今年度該当ケースがある」が 10.3%となっています。

【問20で「１．昨年度該当ケースがある」と回答した事業所のみ】
問20-1　昨年度のおおよその件数をお答えください。



「昨年度該当ケースがある」と回答した 50 の事業所のうち、地域包括支援センターに相談したケースがあったと回答したのは 49 件で、その内訳は、「身体的」虐待が 22 件、「経済的」虐待が 20 件、「精神的」虐待が 19 件となっています。一方、迷ったが相談しなかったケースがあったと回答したのは 8 件となっています。また、おおよその件数については次頁の表のとおりとなっています。

【高齢者虐待で地域包括センター等に相談したおおよその件数】

（上段：件、下段：%）

		N	地域包括支援センターに相談したケース 1件	2件	3件	4件	5件	無回答	N	迷ったが相談しなかったケース 1件	2件	3件	4件	5件	無回答
全　体		50	30	10	7	1	1	1	50	6	1	1	0	0	42
		100	60.0	20.0	14.0	2.0	2.0	2.0	100	12.0	2.0	2.0	0.0	0.0	84.0
推測される虐待の類型	経済的	49	17	2	1	0	0	29	8	3	1	0	0	0	4
		100	34.7	4.1	2.0	0.0	0.0	59.2	100	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0
	身体的	49	**21**	1	0	0	0	27	8	2	0	0	0	0	6
		100	**42.9**	2.0	0.0	0.0	0.0	55.1	100	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	精神的	49	12	3	4	0	0	30	8	2	0	0	0	0	6
		100	24.5	6.1	8.2	0.0	0.0	61.2	100	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	性的	49	2	0	0	0	0	47	8	0	0	0	0	0	8
		100	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	95.9	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他	49	5	0	0	0	0	44	8	2	0	0	0	0	6
		100	10.2	0.0	0.0	0.0	0.0	89.8	100	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

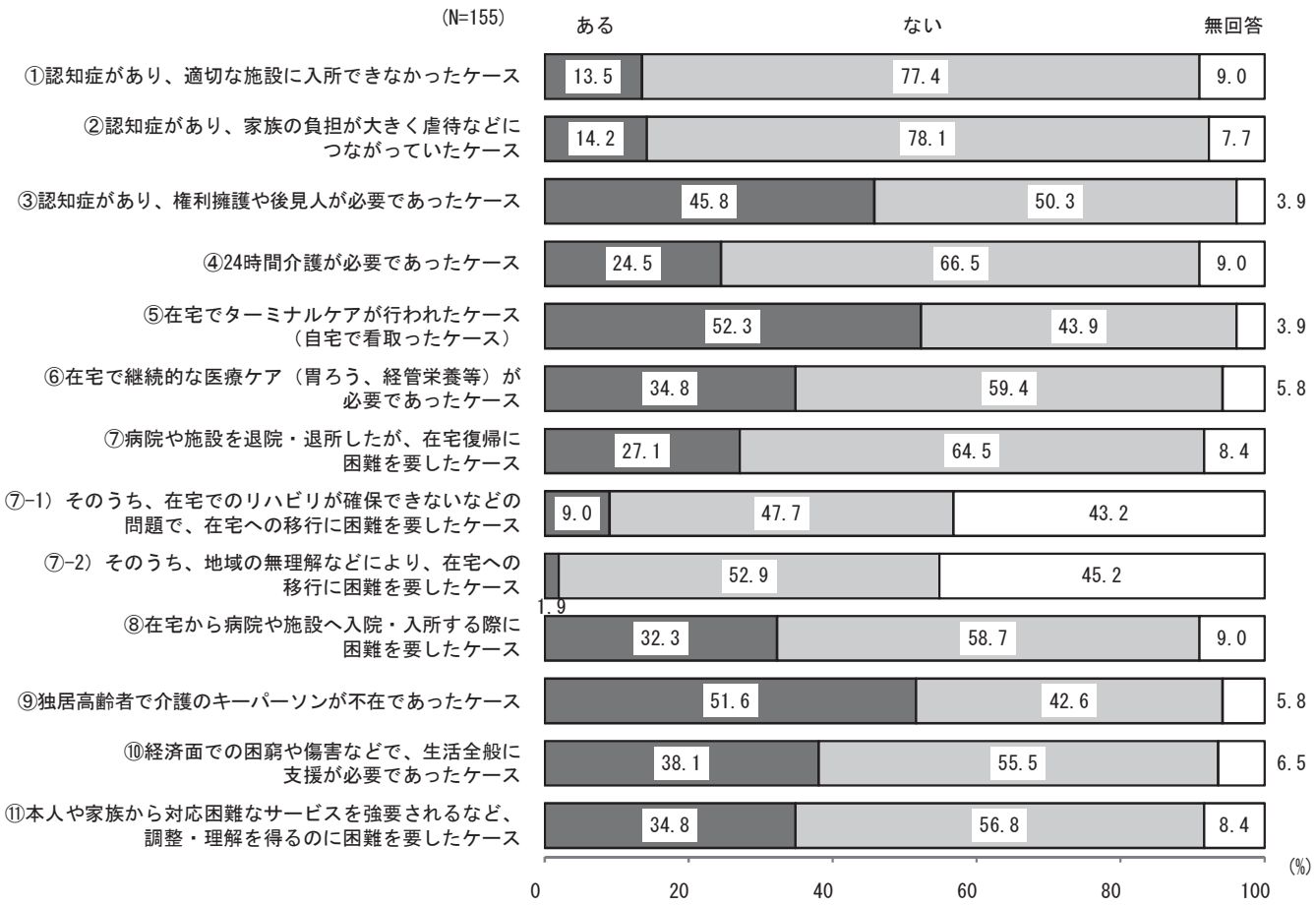
【相談しなかった理由】

（回答 8 件中）
- 家族と話し合い、改善が見られたため
- 短期間で正常化した
- 大事になる場合があり、慎重に様子を見た
- 他事業所より引き継いだ直後で、報告のみ行った
- 相手側が包括相談拒否、包括から相談があった事例
- 相談しても地域包括が取り合わない
- 一度相談したが関与できる内容ではないと言われた
- 包括職員も忙しそうで言えなかった（各 1 件）

〔２〕昨年度に支援、対応したケース

問21　昨年度、貴事業所では次のようなケースに対応したことがありますか。それぞれのケースについてご回答ください。対応したことがある場合は、その件数と対応の可否についてご回答ください。

【支援の有無】



昨年度に事業所で支援、対応したことが「ある」ケースは、「⑤在宅でターミナルケアが行われたケース（自宅で看取ったケース)」が 52.3%と最も多く、次いで、「⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であったケース」が 51.6%、「③認知症があり、権利擁護や後見人が必要であったケース」が 45.8%となっています。

また、支援したケースの件数、そのうち対応可能であったもの、対応不可であったものの件数の内訳は、次頁の表のとおりです。

【支援した件数】

（上段：件、下段：%）

	N	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10～19件	20件以上	無回答
①認知症があり、適切な施設に入所できなかったケース	21	13	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	100	61.9	14.3	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	9.5
②認知症があり、家族の負担が大きく虐待などにつながっていたケース	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
③認知症があり、権利擁護や後見人が必要であったケース	71	47	18	2	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	100	66.2	25.4	2.8	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	2.8
④24時間介護が必要であったケース	38	21	3	5	3	1	0	0	1	0	1	1	2
	100	55.3	7.9	13.2	7.9	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	2.6	5.3
⑤在宅でターミナルケアが行われたケース（自宅で看取ったケース）	81	33	14	13	2	4	2	0	1	0	5	1	6
	100	40.7	17.3	16.0	2.5	4.9	2.5	0.0	1.2	0.0	6.2	1.2	7.4
⑥在宅で継続的な医療ケア（胃ろう、経管栄養等）が必要であったケース	54	33	9	4	2	1	0	0	0	0	1	0	4
	100	61.1	16.7	7.4	3.7	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	7.4
⑦病院や施設を退院・退所したが、在宅復帰に困難を要したケース	42	25	12	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0
	100	59.5	28.6	4.8	2.4	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦-1）そのうち、在宅でのリハビリが確保できないなどの問題で、在宅への移行に困難を要したケース	14	8	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	100	57.1	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
⑦-2）そのうち、地域の無理解などにより、在宅への移行に困難を要したケース	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑧在宅から病院や施設へ入院・入所する際に困難を要したケース	50	31	6	4	1	1	2	0	0	0	0	1	4
	100	62.0	12.0	8.0	2.0	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	8.0
⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であったケース	80	37	11	11	4	3	2	0	0	2	2	1	7
	100	46.3	13.8	13.8	5.0	3.8	2.5	0.0	0.0	2.5	2.5	1.3	8.8
⑩経済面での困窮や傷害などで、生活全般に支援が必要であったケース	59	27	18	1	3	3	1	0	0	0	0	0	6
	100	45.8	30.5	1.7	5.1	5.1	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2
⑪本人や家族から対応困難なサービスを強要されるなど、調整・理解を得るのに困難を要したケース	54	32	9	5	0	2	0	0	0	0	2	0	4
	100	59.3	16.7	9.3	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	7.4

【支援したことがある場合の対応状況　対応可能件数】

（上段：件、下段：%）

	N	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10～19件	20件以上	無回答
①認知症があり、適切な施設に入所できなかったケース	21	13	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	100	61.9	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	23.8
②認知症があり、家族の負担が大きく虐待などにつながっていたケース	22	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	100	86.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6
③認知症があり、権利擁護や後見人が必要であったケース	71	42	13	2	1	1	0	0	0	0	0	0	12
	100	59.2	18.3	2.8	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9
④24時間介護が必要であったケース	38	17	3	5	3	1	0	0	1	0	1	1	6
	100	44.7	7.9	13.2	7.9	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	2.6	15.8
⑤在宅でターミナルケアが行われたケース（自宅で看取ったケース）	81	35	12	12	2	4	2	0	1	1	4	1	7
	100	43.2	14.8	14.8	2.5	4.9	2.5	0.0	1.2	1.2	4.9	1.2	8.6
⑥在宅で継続的な医療ケア（胃ろう、経管栄養等）が必要であったケース	54	35	7	4	2	1	0	0	0	0	1	0	4
	100	64.8	13.0	7.4	3.7	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	7.4
⑦病院や施設を退院・退所したが、在宅復帰に困難を要したケース	42	18	10	0	1	0	1	1	0	0	0	0	11
	100	42.9	23.8	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	26.2
⑦-1）そのうち、在宅でのリハビリが確保できないなどの問題で、在宅への移行に困難を要したケース	14	4	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	7
	100	28.6	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
⑦-2）そのうち、地域の無理解などにより、在宅への移行に困難を要したケース	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	100	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
⑧在宅から病院や施設へ入院・入所する際に困難を要したケース	50	30	5	4	1	1	2	0	0	0	0	1	6
	100	60.0	10.0	8.0	2.0	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	12.0
⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であったケース	80	32	10	10	2	4	2	0	0	1	2	1	16
	100	40.0	12.5	12.5	2.5	5.0	2.5	0.0	0.0	1.3	2.5	1.3	20.0
⑩経済面での困窮や傷害などで、生活全般に支援が必要であったケース	59	25	16	1	1	2	1	0	0	0	0	0	13
	100	42.4	27.1	1.7	1.7	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0
⑪本人や家族から対応困難なサービスを強要されるなど、調整・理解を得るのに困難を要したケース	54	24	8	5	0	2	0	0	0	0	1	0	14
	100	44.4	14.8	9.3	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	25.9

【支援したことがある場合の対応状況　対応不可件数】

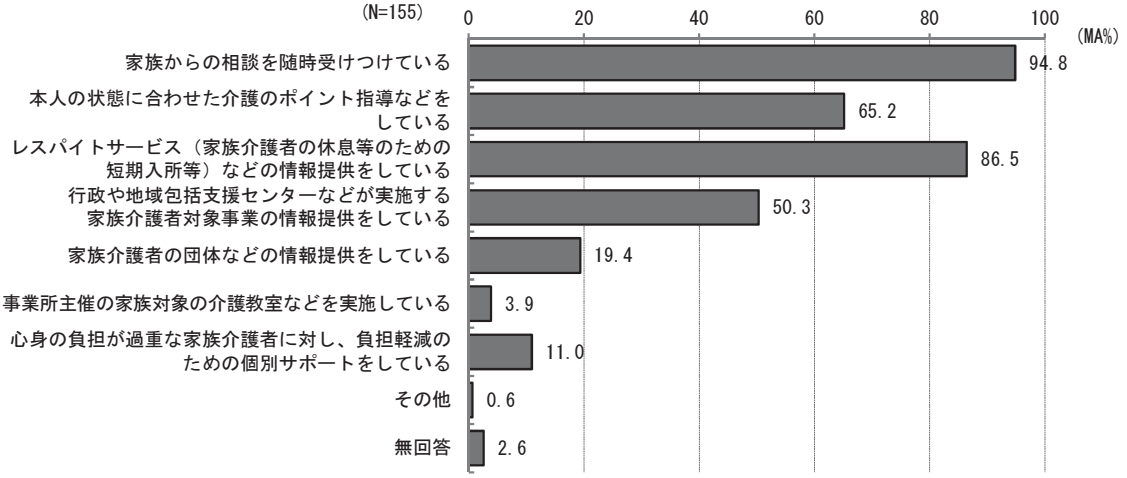
（上段：件、下段：%）

	N	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10～19件	20件以上	無回答
①認知症があり、適切な施設に入所できなかったケース	21	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	100	19.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4
②認知症があり、家族の負担が大きく虐待などにつながっていたケース	22	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	100	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9
③認知症があり、権利擁護や後見人が必要であったケース	71	7	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	62
	100	9.9	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.3
④24時間介護が必要であったケース	38	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
	100	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5
⑤在宅でターミナルケアが行われたケース（自宅で看取ったケース）	81	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
	100	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.8
⑥在宅で継続的な医療ケア（胃ろう、経管栄養等）が必要であったケース	54	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51
	100	3.7	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.4
⑦病院や施設を退院・退所したが、在宅復帰に困難を要したケース	42	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	33
	100	14.3	4.8	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6
⑦-1）そのうち、在宅でのリハビリが確保できないなどの問題で、在宅への移行に困難を要したケース	14	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	100	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4
⑦-2）そのうち、地域の無理解などにより、在宅への移行に困難を要したケース	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
⑧在宅から病院や施設へ入院・入所する際に困難を要したケース	50	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47
	100	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.0
⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であったケース	80	4	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	72
	100	5.0	1.3	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0
⑩経済面での困窮や傷害などで、生活全般に支援が必要であったケース	59	7	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	49
	100	11.9	3.4	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.1
⑪本人や家族から対応困難なサービスを強要されるなど、調整・理解を得るのに困難を要したケース	54	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
	100	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8

6　家族介護者への支援

〔1〕家族介護者への支援として実施していること

問22　貴事業所では、家族介護者への支援として、どのようなことを実施していますか。（あてはまるものすべてに○）



家族介護者への支援として実施していることは、「家族からの相談を随時受けつけている」が 94.8%と最も多く、次いで、「レスパイトサービス（家族介護者の休息等のための短期入所等）などの情報提供をしている」が 86.5%となっています。

【問22で「７．心身の負担が過重な家族介護者に対し、負担軽減のための個別サポートをしている」と回答の事業所のみ】
具体的なサポート内容、サポートにおける連携先などをご記入ください。

家族介護者の負担軽減のためのサポート内容、連携先	計 19 件
電話や訪問で家族の話をゆっくり聞く	5 件
保健センター、カウンセリング、認知症カフェ等、相談機関の紹介	4 件
ショートステイ、デイの延長、入院など、介護負担軽減のためのサービスの導入や施設入所等を検討	4 件
病院への付き添い、家事支援等、地域包括支援センター、ＣＳＷとも連携し介護者をサポート	3 件
レスパイトの提案	2 件
介護対象者が亡くなった後も、ＣＳＷにフォローを依頼	1 件

7　自由意見

〔１〕高齢者福祉、介護保険、府や市の取り組みへのご意見（自由記述）

問23　高齢者福祉、介護保険に関するご意見、府や市の取り組みに対するご意見などありましたら、自由にご記入ください。

自由意見	計 44 件
ケアマネジャー、事業所の負担が大きい ・業務が多忙 ・書類の業務が多い ・ケアマネが付くと何でもケアマネに丸投げする感がある ・制度で対応できない部分をケアマネや事業所が対応している ・行政からの指導は各サービス事業所に対して、年々事務的な仕事が増えている	6 件
軽度者向けサービスの充実 ・通院移送サービスの軽度者への助成 ・ゴミ出し等、福祉でされているサービスの枠をもっと広げてほしい ・要支援者の運動できる場所を増やしてほしい ・要支援の方のヘルパーサービスは地域でできることがあれば望ましい ・軽度者に関してはチェックリストの活用を勧めることも有効	5 件
山手や山間部に送迎・訪問サービスがほしい	2 件
ターミナルケアの充実 ・独居でも看取りできるシステム（モニターで Dr や訪看とやり取りできる） ・要支援でも意見書や指示書にターミナルと記載あれば、介護ベッド、マット、車椅子は借りられるようにしてほしい	2 件
情報発信 ・ボランティア活動や活用できるインフォーマルサービス（新しいサービス）等のわかりやすい情報発信 ・家族支援の会など、催しがある際はネット（市のホームページ）で見られると有難い	2 件
ヘルパーの人員不足 ・夜間訪問のできるヘルパーが不足している ・訪問介護が必要な方はたくさんいるが、ヘルパーが足りなくてどこの事業所も対応できていない	2 件
勉強会、会議の場の提供 ・ケアマネジメントの勉強会、匿名で質問を受け付け、書面で回答がほしい ・エビデンスを学習できる事例検討会を事業所や包括単位で進めて、ケアマネの事業所交流でインフォーマルなサービスも作れるような会議の場を提供、進めてほしい	2 件
支援費について ・質の良い支援サービスを提供するには担当利用者数の制限がかかり、一人当たりの支援費が今以上に必要、現在の支援費では割に合わない ・居宅介護支援費の利用者負担を始めるとサービス費は即破綻すると思う	2 件

Ⅱ-5　居宅介護支援事業所アンケート

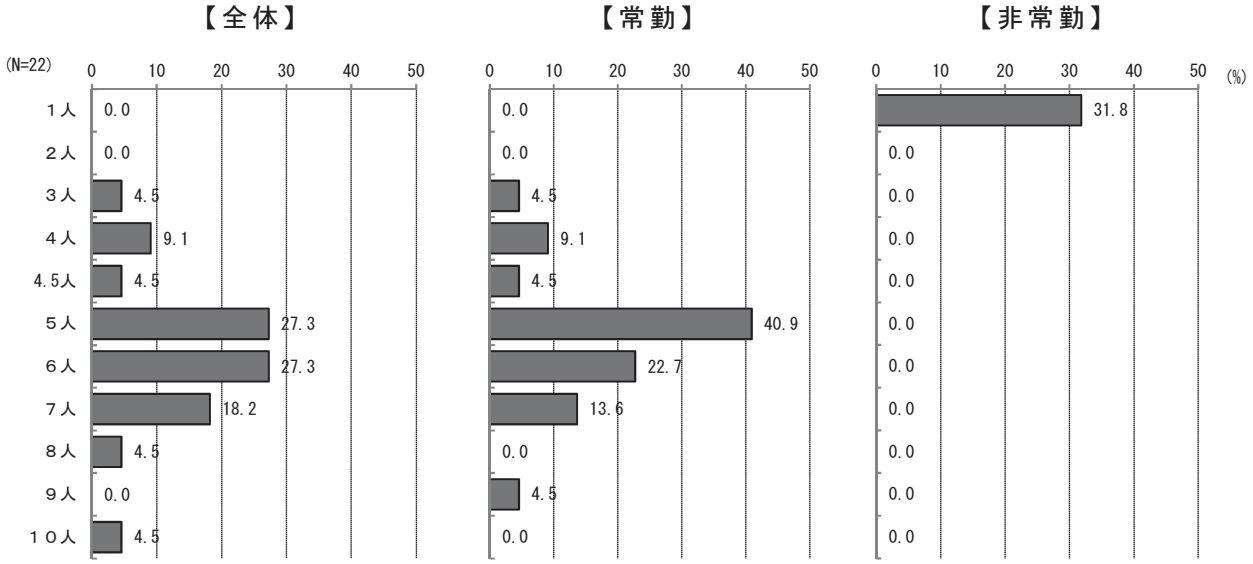
自由意見	計 44 件
弱い立場の人に対する支援を ・身寄りが無い人、経済的に困難な人、必要なサービスを受け入れない人の支援等 ・高齢者の年金は少なく困っていることも多い、生活保護の方以外でもおむつ代やタクシー代、見守り事業などが支援できるように対応してほしい	2 件
現場の状況を知ってほしい ・もっと現場に目を向けてほしい、利用者の声に添った対応ができるようになればと思う ・日祝、夜間を問わずスタッフは頑張っているため、現場を見に来てほしい	2 件
アンケートについて ・利用者宅に送られたアンケートは理解できないほど難しいと意見あり ・ヘルパーが利用者からアンケート記入の相談を受け、時間を延長したと報告を受けた、もう少し簡素化することは難しいのか	2 件
災害時における地域見守りの強化	1 件
訪問診療のドクターで、認知症の方の扱い方を上手くできない先生が多い	1 件
件数が減り事業所維持が難しい	1 件
8050 問題への対策、若いうちから「介護保険とは」の啓発をしてほしい	1 件
手厚いサービス提供、自由なサービス選択で自立に向けたサービス提供を	1 件
他市に自慢できるような福祉サービスの充実を図ってほしい	1 件
住み慣れた地域でいきいきと自立した生活ができる暮らしの実現に向けて、地域包括ケアシステムの充実を図ってほしい	1 件
社会環境の変化、生活志向や意識の多様化等の課題に対応すべく、それぞれの地域性など踏まえた制度の充実を積極的に検証、見直してほしい	1 件
地域ぐるみで支え合う体制づくり（疾病などの早期発見、予防への取り組み、趣味や娯楽、学習や就業、敬老活動やイベント活動など）	1 件
高齢者の社会参加の視点による生き甲斐づくりと介護予防の推進	1 件
医療介護が連携を図る仕組みの充実	1 件
その他 ・地域ケア会議の時、いつも高齢者福祉の担当の方に色々なアドバイスをいただき心強い ・これからも行政とはしっかりと連携を図っていきたい　など	4 件

Ⅱ－６　地域包括支援センターアンケート

１　地域包括支援センターの概要

〔１〕センターの職員構成

問１　貴センターの職員構成について、人数をご回答ください。（令和元年12月末日現在）



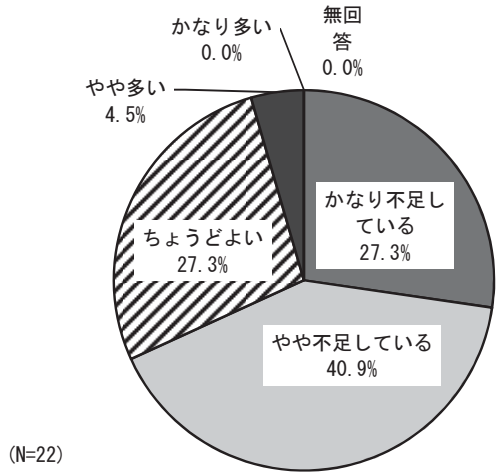
センターの職員数は、常勤職員は「５人」が４割、「６人」が２割となっています。非常勤職員は「１人」が３割となっています。全体では「５人」または「６人」のセンターが合わせて半数を占めています。職種別の内訳は下表のとおりです。

(N=22)

		【常勤】		【非常勤】	
		(件)	(%)	(件)	(%)
保健師	１人	8	36.4	－	－
	２人	3	13.6	－	－
	３人	－	－	－	－
	無回答	11	50.0	22	100.0
経験のある看護師	１人	8	36.4	－	－
	２人	1	4.5	－	－
	３人	1	4.5	－	－
	無回答	12	54.5	22	100.0
社会福祉士	１人	9	40.9	1	4.5
	２人	11	50.0	－	－
	３人	2	9.1	－	－
	無回答	－	－	21	95.5
３年以上の相談業務従事経験のある社会福祉主事	１人	－	－	－	－
	２人	－	－	－	－
	３人	－	－	－	－
	無回答	22	100.0	22	100.0
主任介護支援専門員	１人	11	50.0	3	13.6
	２人	9	40.9	－	－
	３人	2	9.1	－	－
	無回答	－	－	19	86.4
介護支援専門員	１人	14	63.6	1	4.5
	２人	2	9.1	－	－
	３人	1	4.5	－	－
	無回答	5	22.7	21	95.5
その他（事務職等）	１人	－	－	2	9.1
	２人	－	－	－	－
	３人	－	－	－	－
	無回答	22	100.0	20	90.9

〔２〕職員の過不足状況

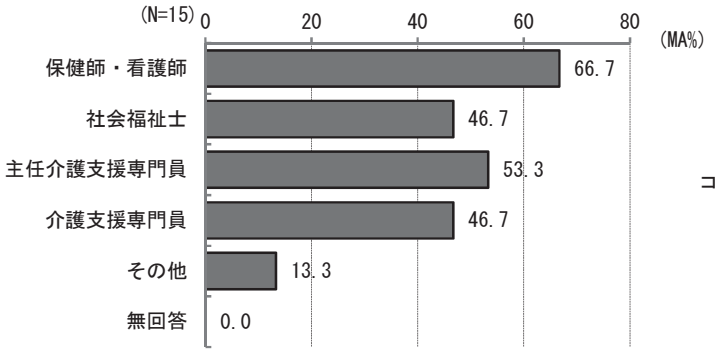
問２　貴センターにおける職員の過不足状況をご回答ください。（1つに○）



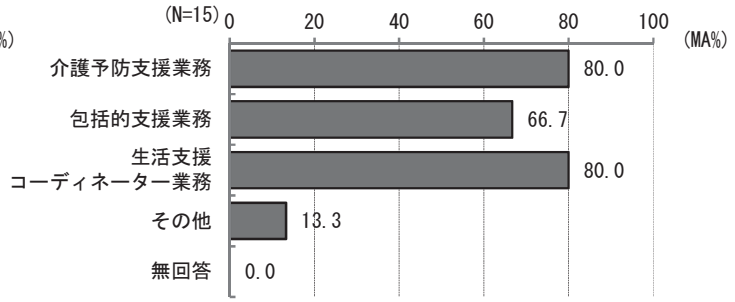
職員の過不足状況については、「かなり不足している」が 27.3%、「やや不足している」が 40.9%で、７割弱が『不足している』と回答しています。

【問２で「１．かなり不足している」または「２．やや不足している」を回答したセンターのみ】
問2-1　特に不足している職種は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
問2-2　職員が不足している業務は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【特に不足している職種】



【職員が不足している業務】



【その他内訳】

・事務員
・地域支援に取り組める（企画ができる）職員がもう少しいれば（職種問わず）（各１件）

【その他内訳】

・高齢者増加による相談
・事務、雑事（各１件）

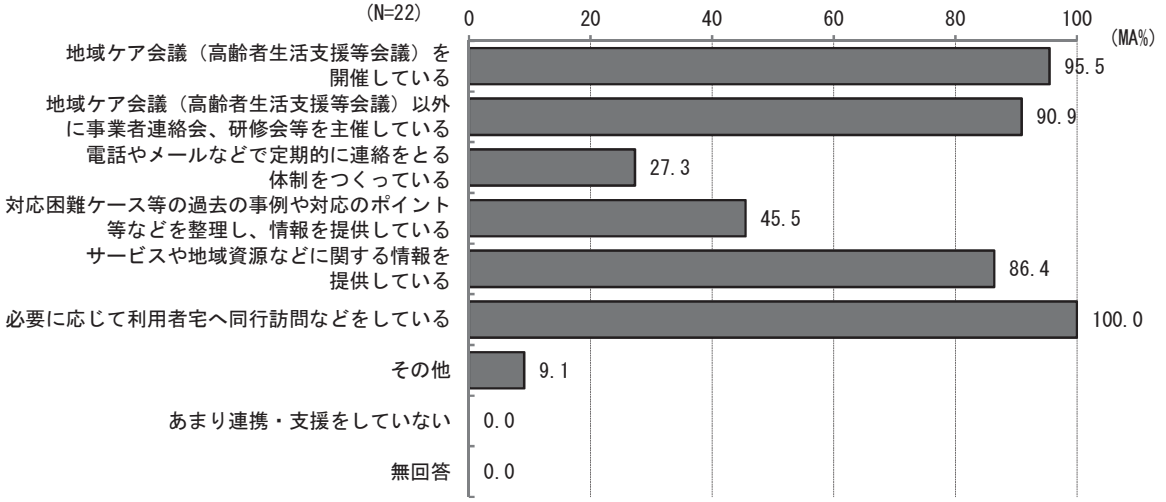
特に不足している職種は、「保健師・看護師」が 66.7%と最も多く、次いで、「主任介護支援専門員」が 53.3%となっています。

職員が不足している業務は、「介護予防支援業務」、「生活支援コーディネーター業務」がそれぞれ 80.0%、次いで「包括的支援業務」が 66.7%となっています。

２　担当地域の特色や、介護･介護予防サービスについて

〔１〕居宅介護支援事業者等に対しての連携･支援方法

問３　貴センターでは、地域の居宅介護支援事業者等に対し、どのような連携･支援をしていますか。（あてはまるものすべてに○）



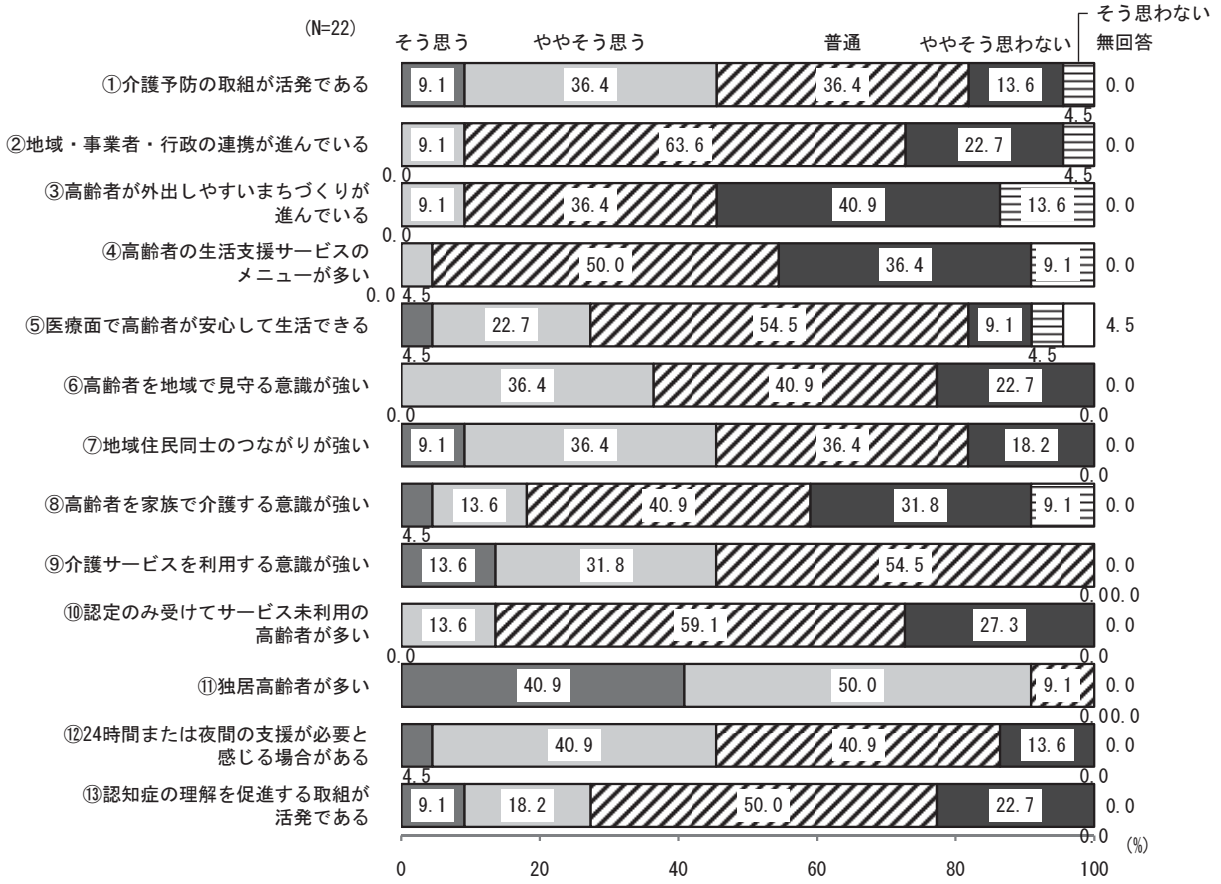
【その他内訳】

・交流会
・中学校区で多職種連携会議を２か月に１回開催（各１件）

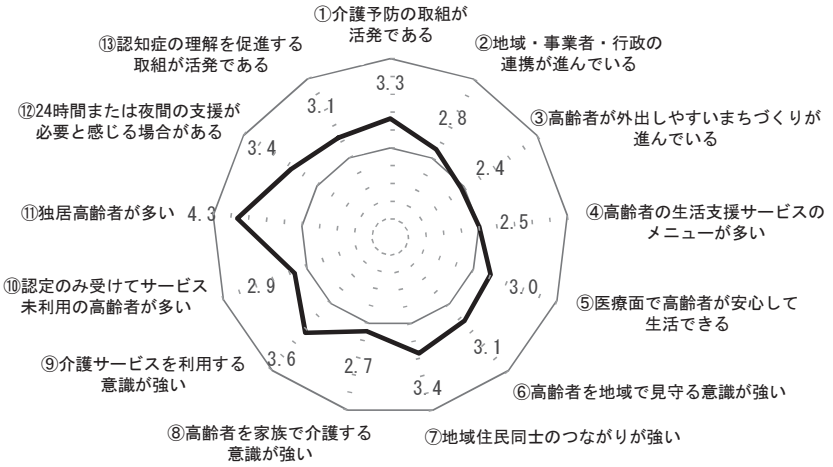
地域の居宅介護支援事業者等に対する連携・支援については、「必要に応じて利用者宅へ同行訪問などをしている」が 100.0%と最も多く、次いで、「地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）を開催している」が 95.5%、「地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）以外に事業者連絡会、研修会等を主催している」が 90.9%となっています。一方、「電話やメールなどで定期的に連絡をとる体制をつくっている」は 27.3%と少なくなっています。

〔２〕地域の特色

問４　高齢者の生活や介護･介護予防に関連して、地域の特色と感じるものはありますか。①～⑫の各項目について、そう思う程度をご回答ください。（それぞれ１つに○）



高齢者の生活や介護･介護予防に関連して、地域の特色と感じるものは、「独居高齢者が多い」で「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』が 90.9%と多くなっています。また、「高齢者が外出しやすいまちづくりが進んでいる」では、「そう思わない」と「ややそう思わない」を合わせた『そう思わない』が 54.5%、「高齢者の生活支援サービスのメニューが多い」でも 45.5%と多くなっています。



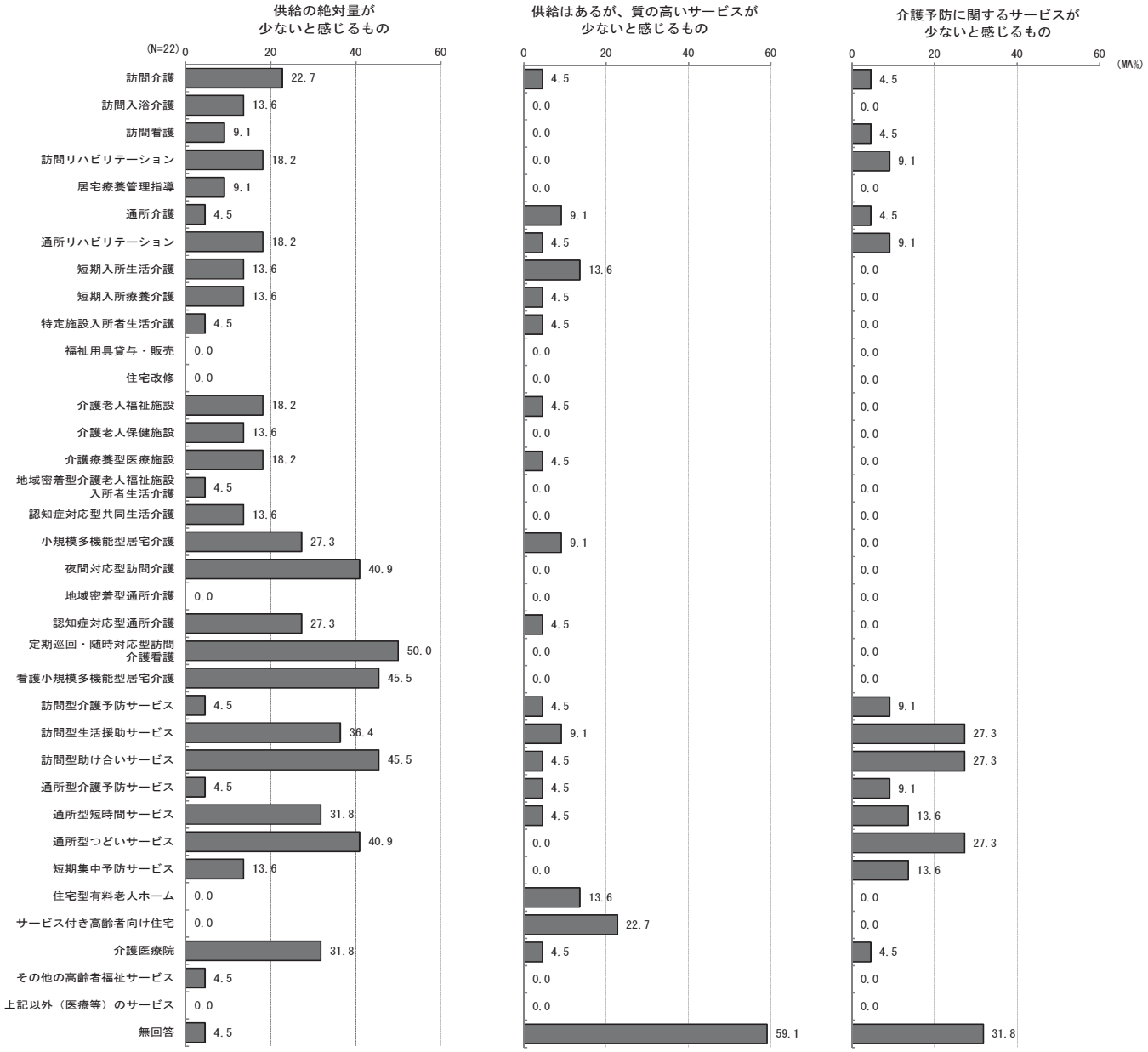
※「そう思う」を５点、「普通」を３点、「そう思わない」を１点として点数化

【その他、地域の特色と思うこと】

（回答９件）　※複数回答あり
・坂道が多く移動に困る、外出が困難（２件）
・小学校区によっても特色に違いがある
・世代間の交流が少ない
・村文化が強い
・夫婦や家族で介護を行うことが多い、重症化してから相談がある場合がある
・病院や要介護状態を他人に知られたくないという思いが強く、発見や介入（支援）が遅れる
・精神疾患の家族、高齢者が多い
・大きな団地群が数か所あり、そこで特に高齢者率、独居率が高いことに加えて、複合的な問題を抱えている割合が高い（経済的困窮、身寄りが無い、外国籍）
・地域の学校と連携を取っており、若いPTAの皆様も子供たちと一緒に認知症キッズサポーター養成講座も受講して下さっている

〔3〕地域において供給の不足を感じるサービス

問5　地域において、供給の不足を感じるサービスはありますか。
Ａ・Ｂ・Ｃそれぞれについて、下の①～㉟の中からあてはまる番号を[　　]内にご記入ください。（あてはまるものすべて）



地域において、供給の絶対量が少ないと感じるサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 50.0%と最も多く、次いで、「看護小規模多機能型居宅介護」、「訪問型助け合いサービス」がそれぞれ 45.5%となっています。

供給はあるが、質の高いサービスが少ないと感じるものは、「サービス付き高齢者向け住宅」が 22.7%みられますが、回答は全体的に少なくなっています。

介護予防に関するサービスが少ないと感じるものは、「訪問型生活援助サービス」、「訪問型助け合いサービス」、「通所型つどいサービス」で、それぞれ 27.3%となっています。

〔４〕介護予防・日常生活支援サービス事業のサービス等に関するご意見（自由記述）

問６　介護予防・生活支援サービス事業のサービス等に関する意見等があればご自由にご記入ください。

A．訪問型介護予防サービス	計 7 件
受け入れてくれる事業所が無い、担い手が少ない	2 件
要支援者の利用で断る事業所もあり	1 件
以前より利用している方は、慣れたヘルパーを好む傾向があり、生活援助サービスへの移行が難しいことが多い	1 件
訪問型生活援助サービスと違い、専門性の高い役割を求めているが、その役割を果たし切れていないと感じる	1 件
訪問型生活援助サービスとの線引きがよく理解できない	1 件
いつまで従前相当として、サービスが継続するのか不明	1 件

B．訪問型生活援助サービス	計 12 件
サービスを行っている事業所数が少ない、希望者がいても対応できない	5 件
時間や曜日を指定すると断られる、希望時間で事業所を探すのが難しい	2 件
利用依頼しても断られる（人員的な都合など）	1 件
事業所によっては、報告、連絡が全く無い所もあり連携しにくい	1 件
訪問型介護予防サービスは実施しているが、訪問型生活援助サービスをしていない事業所が多い	1 件
訪問型介護予防サービスとの違いが曖昧で、普及啓発が必要	1 件
報酬が低すぎて人件費が出ないため、積極的にやろうという事業所が出ないのでは	1 件

C．訪問型助け合いサービス	計 18 件
事業者数が少ない、担い手がいない、社会資源がない	5 件
利用のニーズが少ない、サービス内容が限定されており使いにくい、15 分、玄関先という制約がネック	4 件
担当エリアにない、地域に投げかけするが立ち上がりまでに至っていない	3 件
サービス利用にかかる手順が多くてハードルが高いのでは	2 件
支援依頼に結び付く相談（事例）が少ない、必要性を感じるケースが少ない	2 件
このサービスだけ対象の人は少ない	1 件
参画グループも少なく、ニーズが明確でない	1 件

D．通所型介護予防サービス	計 5 件
入浴希望者や個別の運動を行ってもらいたい方が利用、短時間サービスが１か所しか無く、ほぼこのサービス利用となっている	1 件
要支援認定の方への入浴サービスをやらない箇所が多くなり、困ることがある	1 件

D．通所型介護予防サービス	計 5 件
参加希望者が多い事業所があっても、供給数が少ないため利用できない	1 件
いつまで従前相当としてサービスが継続するのか不明	1 件
事業所によっては、報告、連絡が無い所もある	1 件

E．通所型短時間サービス	計 8 件
サービス事業所が少ない、社会資源がない	2 件
絶対的な供給量が少ない、希望者が利用できない状況が続いている	1 件
1 か所しか無く週 1 回しか行っていないため、利用に繋げるのが難しい	1 件
担当エリア内に事業所がない、リハビリ特化デイが多いので必要ないか	1 件
ほとんどの事業所が通常のデイと並設しているため、プログラムが組みにくく利用者も混乱するのでは	1 件
通所型介護予防サービスは実施しているが通所型短時間サービスをしていない事業所もままある	1 件
事業所によって、もっと独自性を出していくのも良いのではないか	1 件

F．通所型つどいサービス	計 5 件
書類や手続きが煩雑、地域のサロンでつどいサービスを行うと、プラン等包括の負担が大きすぎる	2 件
1 団体しかなくエリアも限定されている	1 件
担当エリアにない、地域に投げかけているが立ち上がりまでに至っていない	1 件
当センターの地域にはたくさんのつどいサービスがあり利用する方も多い	1 件

G．短期集中予防サービス	計 9 件
サービスはあるが送迎がなく、利用を促しても行けない利用者が多い	3 件
担当エリアに近い開催場所でないと参加者を集めることは難しい	1 件
行政主導で開催期間が決まっているので利用しにくい	1 件
終了後のステップアップが難しい（維持のためプログラムが少ない）	1 件
通所型より訪問型の方がニーズが多い	1 件
ニーズはない、お願いして行ってもらうような状態	1 件
訪問型については他市のように理学療法士が評価を行い、今後の生活に役立つ内容を希望する	1 件

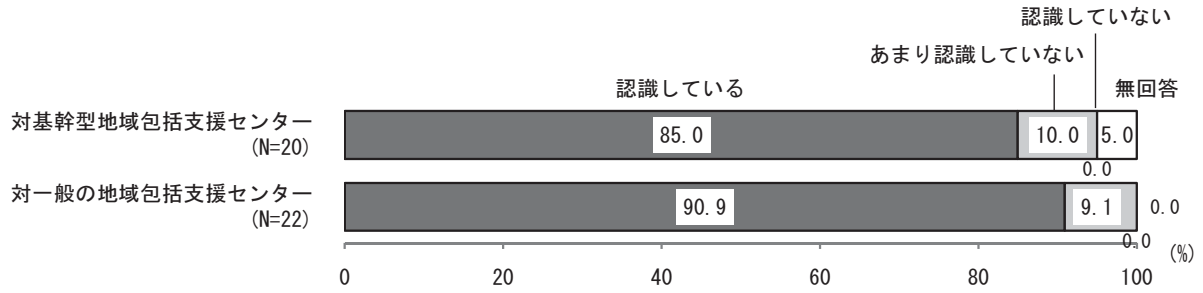
H．その他、全体に関すること	計 3 件
総合事業の周知啓発活動が足りない	1 件
総合事業の制度が複雑すぎる、報酬が少ないのに手間がかかりすぎる	1 件
地域事業のため単価を安く設定され、サービスを展開するのを渋っておられる事業所や、ボランティアをやりたいと思われる方を見つけるのが難しい	1 件

３　地域の関係機関等との連携、地域包括ケアシステム構築について

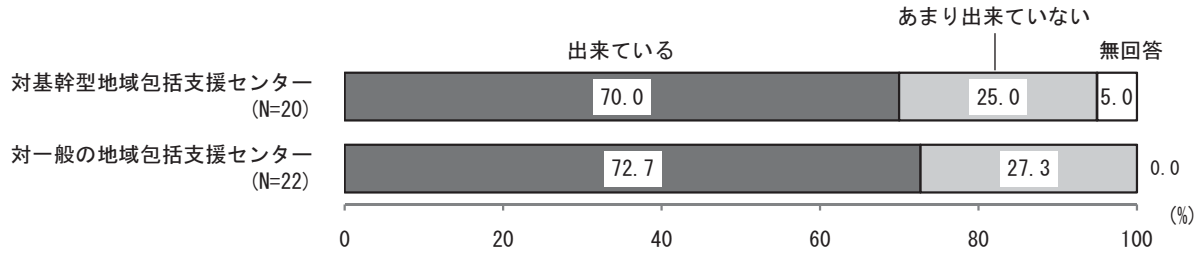
〔１〕ほかの地域包括支援センターとの連携

問７　貴センターでは、ほかの地域包括支援センターと連携していますか。

①情報共有や相互協力の必要性を認識していますか（１つに○）



②情報共有や相互協力が円滑に出来ていますか（１つに○）



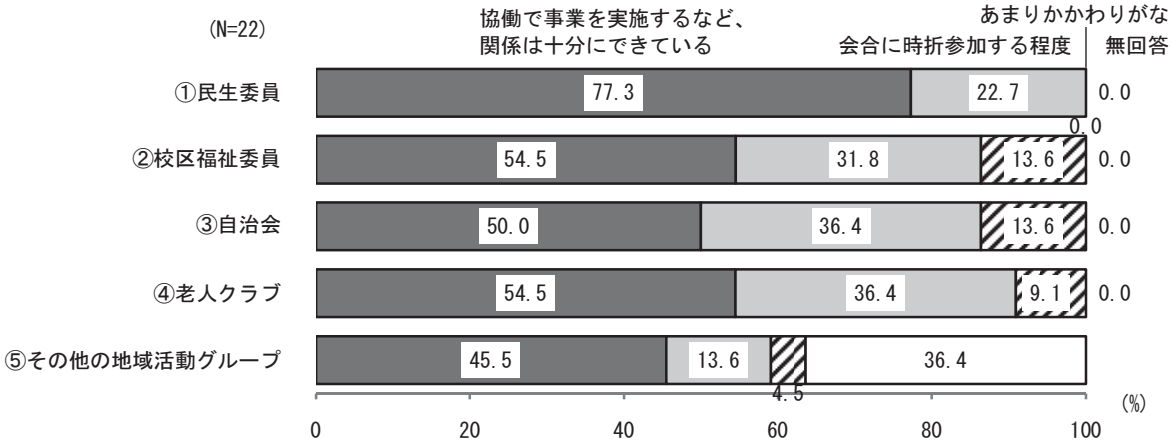
ほかの地域包括支援センターとの連携について、①情報共有や相互協力の必要性を認識しているかについては、基幹型地域包括支援センターに対しては 85.0%、一般の地域包括支援センターに対しては 90.9%が「認識している」と回答しています。

②情報共有や相互協力が円滑に出来ているかについては、基幹型地域包括支援センターに対しては 70.0%、一般の地域包括支援センターに対しては 72.7%が「出来ている」と回答しています。

※①、②の設問において、「対基幹型地域包括支援センター」との連携については、一般の地域包括支援センターにのみ回答を求めています。

〔２〕地域における団体等とのつながり

問８　貴センターでは下記の地域における団体等とのつながり、関係はつくれていますか。（①～⑤それぞれ、１つに○）



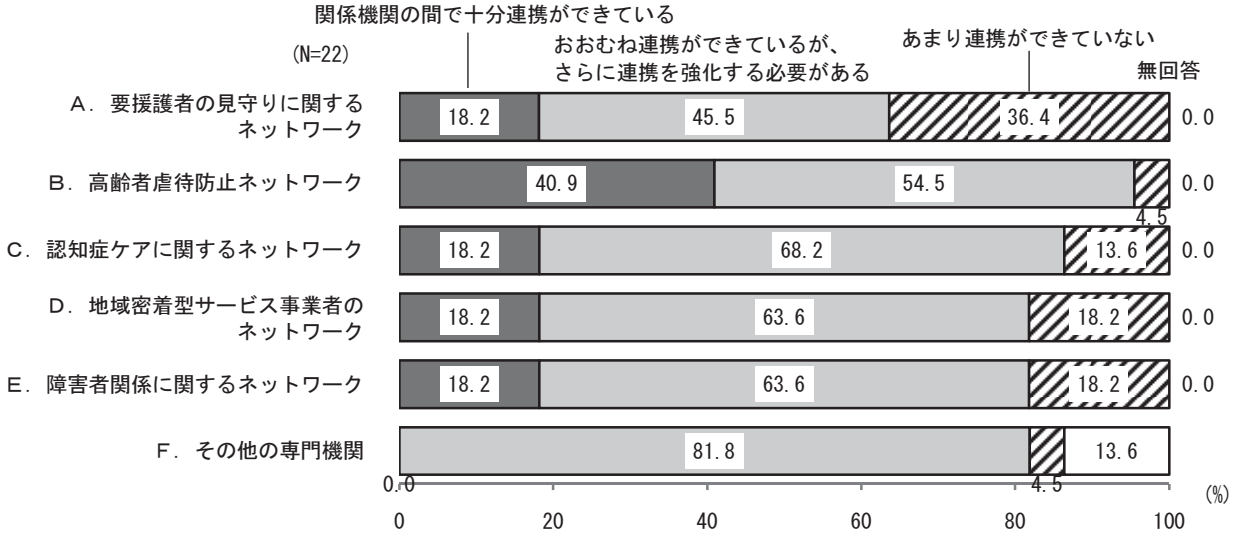
地域における団体等とのつながり、関係はつくれているかについて、「協働で事業を実施するなど、関係は充分にできている」は、民生委員が 77.3%と最も多く、次いで、校区福祉委員、老人クラブがそれぞれ 54.5%、自治会が 50.0%となっています。

【⑤その他の地域活動グループ内訳】

（回答 12 件中）　※複数回答あり
- 自主化したグループ（3 件）
- ボランティア団体、ボランティアグループ（3 件）
- つどいサービス、事業所（2 件）
- 地域サロン、サロン活動（2 件）
- 地域の自主的な介護予防グループ、介護予防体操（2 件）
- 健康麻雀（2 件）
- NPO（1 件）
- 効果測定や広報活動や認知症予防体操の紹介（1 件）
- その他（パソコン教室、盆踊り、カラオケ、地域のグランドゴルフ大会）

〔3〕ネットワークの状況について

問９　貴センター担当地域の、ネットワークの状況について、それぞれ右の選択肢の番号1つを記入してください。また、いずれかの項目で「②おおむね連携ができているが、さらに連携を強化する必要がある」、「③あまり連携ができていない」を回答したところは、続いて問9-1または問9-2についてもご回答ください。



担当地域のネットワークの状況について、「関係機関の間で十分連携ができている」は、高齢者虐待防止ネットワークで 40.9%と最も多くなっています。「おおむね連携ができているが、さらに連携を強化する必要がある」は、その他の専門機関で 81.8%と最も多く、要援護者の見守りに関するネットワークでは、「あまり連携ができていない」が 36.4%と多くなっています。

【上記Ａ～Ｆのいずれかで、「②おおむね連携ができているが、さらに連携を強化する必要がある」を回答したセンターのみ】

問9-1　連携強化が必要と思われる機関や社会資源、連携の内容をご回答ください。

連携強化が必要と思われる機関や社会資源、連携の内容	計 26 件
Ａ．要援護者の見守りに関するネットワーク ・民生委員、自治会、老人会などと、見守りが必要な方の情報提供など ・災害時の連携について情報が希薄 ・民生委員、自治会、特に要援護者の見守りについて民生委員からの相談がほぼ無い校区がある	3 件
Ｂ．高齢者虐待防止ネットワーク ・虐待防止ネットワークにおいて、行政との情報共有が困難 ・虐待については、居宅介護支援事業所や福祉事務所との連携 ・市担当課の担当者で高齢者虐待防止ネットワークに則った対応個別支援策（会議開催や通告等）を理解されていないと感じることが多い。「チーム」としての対応ができない	3 件

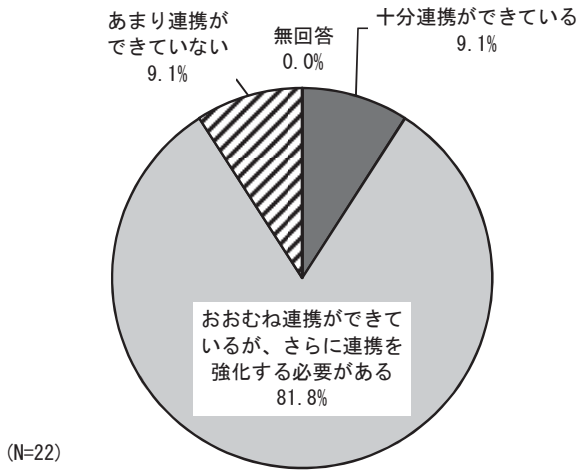
連携強化が必要と思われる機関や社会資源、連携の内容	計 26 件
C．認知症ケアに関するネットワーク ・オレンジチームとの連携 ・若年性認知症の専門機関 ・ケアマネ、サービス事業所、認知症カフェなどの周知を行っているが、なかなか問い合わせの声もない。認知症ケアに対する取り組みに更に連携が必要	3 件
E．障害者関係に関するネットワーク ・障がい者関係機関との協働ケース支援に於いて、デイサービス、訪問介護事業者間のネットワーク ・障がい分野の基幹型相談施設、行政機関、地域の障がい者施設とネットワークづくりを行う必要がある ・障害のサービス関係者が介護保険サービス（制度）への理解が乏しい ・65 歳問題。これまで自立支援で多くのサービスを受けていた場合、介護保険でまかないきれない点。障がい支援者が、その点を見込み利用の調整や当事者への説明、円滑な手続きをお願いしたい	4 件
医療機関、介護サービス事業所 ・医療、介護、行政機関と連携を図り支援を行っているが、相互の役割理解をすすめ連携強化していく ・医療機関、介護サービス事業所からの多職種連携研修会への参加が少ない ・多くの運営推進会議等に参加しているか、全く声がかからない事業所も複数ある ・医療機関によって連携しにくいことがある（退院時や患者情報について） ・薬剤師会、歯科医師会、ＰＯＳの会との連携（研修、情報共有の場づくり）	5 件
保健センター ・保健センターやＰＳＷとの連携が取りにくい	2 件
地域住民 ・地域の人同士が顔見知りになり支援できる体制を強化、繋がった住民と事業者を繋ぐことが必要	2 件
その他 ・行政は、他制度による各窓口への橋渡しを更に期待する ・何れもまだ連携推進が必要。独居の方が多く、自治会未入会の方など把握が難しい状況もある ・担当地域内のサービス付高齢者住宅、在宅型有料老人ホーム等の情報が乏しい ・民生委員、地域密着型事業所、ケアマネ、運営推進会議や意見交換会を通して連携や情報の共有、課題の抽出を行っている	4 件

【上記Ａ～Ｆのいずれかで、「③あまり連携ができていない」を回答したセンターのみ】
問9-2　連携できていない理由をご回答ください。

連携できていない理由	計 13 件
Ａ．要援護者の見守りに関するネットワーク ・要援護者についての民生委員の連携はある ・特化したネットワーク体制が作られていないため ・ご近所同士での見守りネットワークはあるが、町単位でのネットワークがなく連携はできていない ・配食がなくなった、これまでと比べると薄くなったと言わざるを得ない ・要援護者の見守りネットワークづくりに包括が関わる必要があると市が考えるのであれば、その基準となるものを市や社協等で提示してもらう必要がある。そうでないと対応がバラバラになりかねない	5 件
Ｃ．認知症ケアに関するネッワーク ・家族が周りの目を気にして、相談されない家庭も多いため実態把握ができていない	1 件
Ｄ．地域密着型サービス事業者のネットワーク ・地域内の地域密着型サービスの運営促進会議に出席はしているが、それだけの関係性 ・地域密着型については、関わりのあるサービス（処遇困難等）が少ない	2 件
Ｅ．障害者関係に関するネットワーク ・最近、相談支援センターと研修会を開催し、今後、関係の構築を考えている	1 件
保健センター ・担当者が変わり連携依頼するも断られることもある	1 件
その他 ・丸投げされることが増えてきたように感じる ・関係機関によって扱いの温度差や考え方が違い困る ・住民への周知不足と特化した専門機関がないため	3 件

〔４〕家族等の介護者とのつながり

問10　貴センターでは家族等の介護者とのつながりはどうですか。（１つに○）

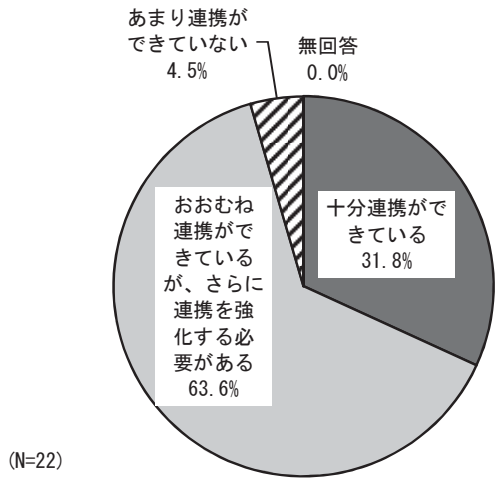


＜連携ができていない理由＞
・家族介護教室ができていない
・今年度から家族介護教室を開催した所であり、まだネットワークの構築はできていない

家族等の介護者とのつながりについては、「おおむね連携ができているが、さらに連携を強化する必要がある」が 81.8%、「十分連携ができている」、「あまり連携ができていない」がそれぞれ 9.1%となっています。

〔５〕担当地域内の医療機関との連携

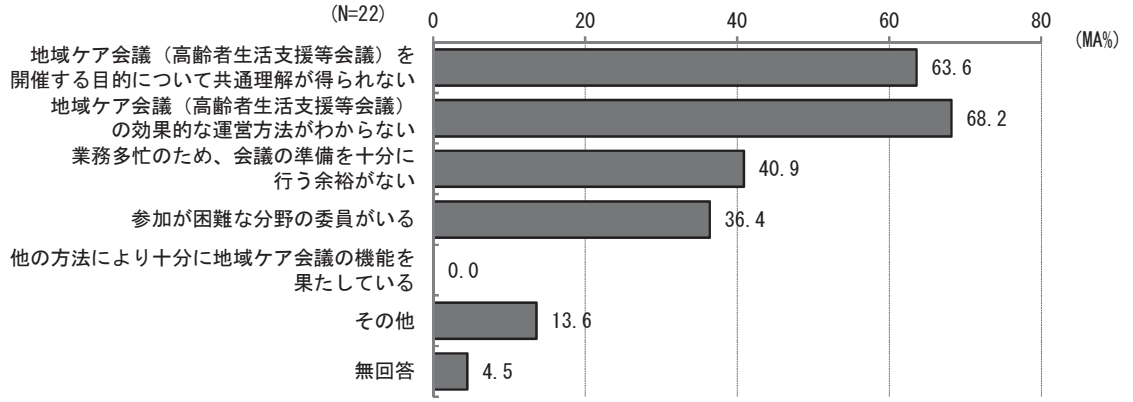
問11　貴センターでは、担当地域内の医療機関と連携をしていますか。（１つに○）



担当地域内の医療機関との連携については、「十分連携ができている」が 31.8%、「おおむね連携ができているが、さらに連携を強化する必要がある」が 63.6%、「あまり連携ができていない」が 4.5%となっています。

〔６〕地域ケア会議を開催する際の課題

問12　地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）を開催する際の課題はありますか。
（あてはまるものすべてに○）



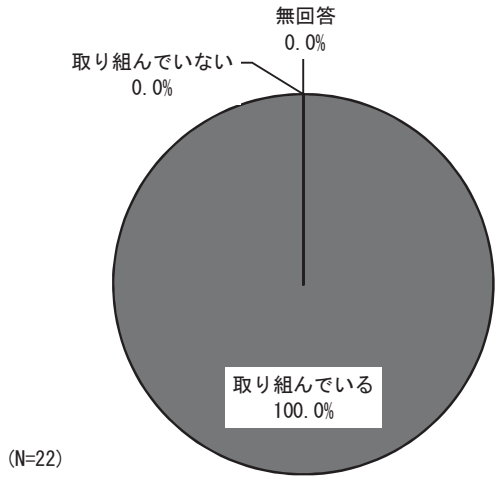
＜参加が困難な分野＞
・医療、Ｄｒ、日程においては医療系委員（3件）
・デイサービス、訪問介護etc人手が少ないのと来ていただけない（1件）
・自治会、民生委員、老人クラブ連合会（各1件）

＜その他内訳＞
・参加していただいているが、それ程協力的ではない
・参加に意欲的な人を募らず強制的に参加させている
・会議のメンバーが変更されると開催目的を最初から説明しなければならない

地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）を開催する際の課題については、「地域ケア会議(高齢者生活支援等会議)の効果的な運営方法がわからない」が68.2%と最も多く、次いで「地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）を開催する目的について共通理解が得られない」が63.6%となっています。

〔７〕多職種連携について

問13　貴センターでは、多職種連携について取り組んでいますか。（１つに○）



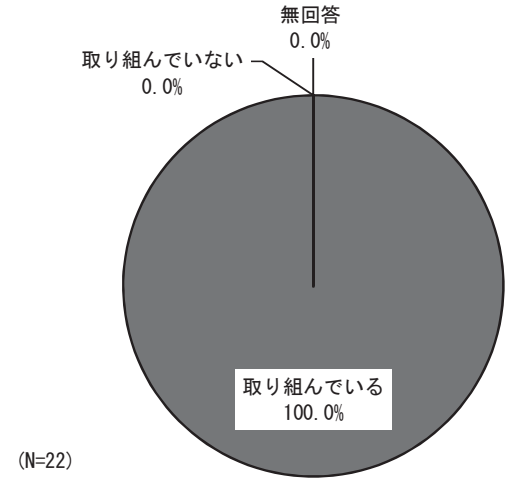
＜取り組み内容＞
- 多職種連携研修会（10 件）
- 多職種連携会議（5 件）
- 事例検討会（2 件）
- 交流会（2 件）
- 各職種についての理解を深める（2 件）
- 講座（2 件）
- グループワーク（1 件）
- 高齢者生活支援等会議（1 件）
- 各職種へのヒアリング（1 件）
- 同行訪問（１件）
- 医療介護福祉連携フェスタ（１件）
- 小学校単位でPTによる体操教室（１件）
- 地域住民に向けて防災勉強会（１件）
- 年間計画の作成（１件）
- 認知症支援についてできることを考える（１件）
- 連携ツールケアパスを利用した医療介護の連携（１件）
- 見守りネットワーク構築に向けて、専門職間で協議（１件）
- 日頃より連携できる体制づくりを実施できている（１件）

多職種連携については、「取り組んでいる」が 100.0%となっています。

４　認知症、高齢者虐待・権利擁護等の対応ケースについて

〔１〕認知症高齢者支援の取組みについて

問14　貴センターでは、認知症高齢者支援の取組を行っていますか。（１つに○）



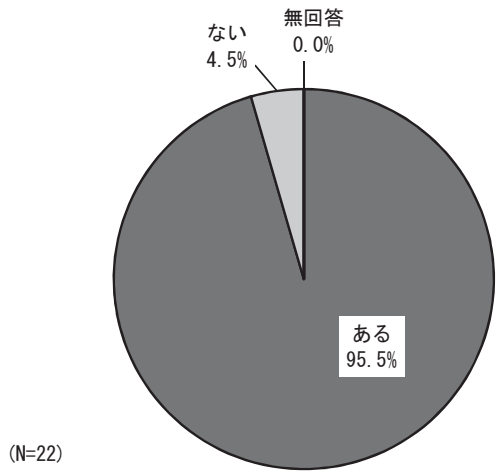
＜取り組み内容＞
- 認知症カフェ（11 件）
- 認知症サポーター養成講座（9 件）
- 安心、声掛け、つながり訓練（4 件）
- オレンジチームとの連携（3 件）
- 若年性認知症の方の支援（3 件）
- 家族会支援（3 件）
- 面談、相談、本人支援（2 件）
- 家族介護教室（1 件）
- SOS オレンジネットワーク受付（1 件）
- 警察との連携（1 件）
- 事例検討（1 件）
- 受診同行（1 件）

認知症高齢者支援の取組については、「取り組んでいる」が 100.0%となっています。

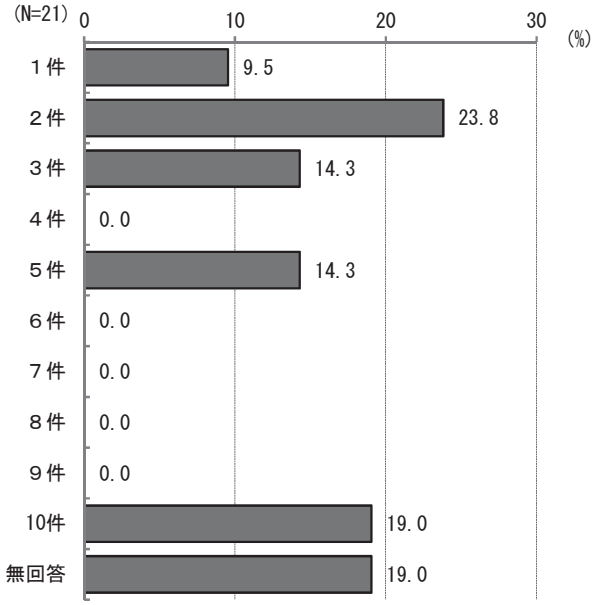
〔２〕認知症対応の困難ケースへの支援

問15　昨年度、貴センターでは認知症対応の困難ケースへの支援を行ったことがありますか。（１つに○）

【支援の有無】



【支援した件数】

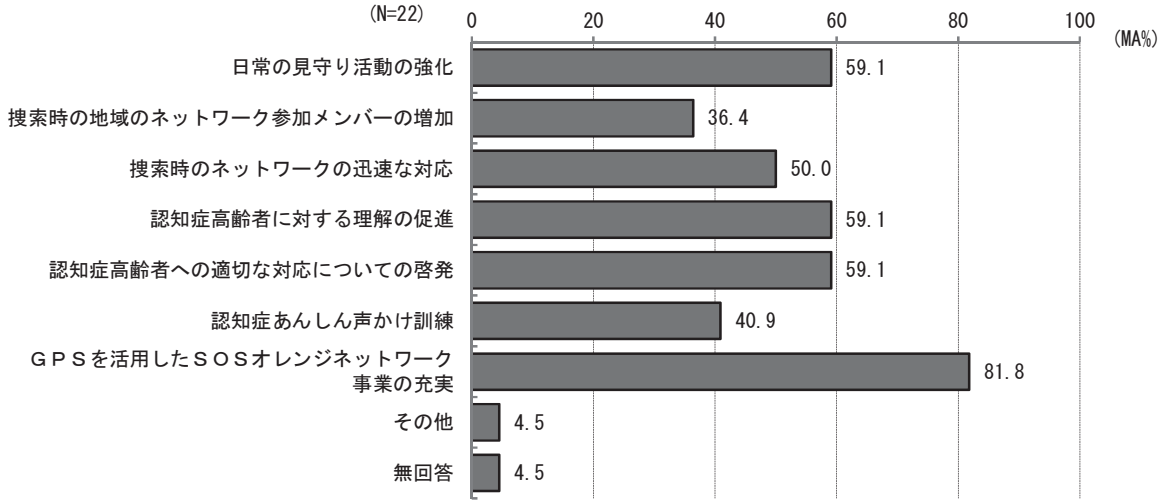


＜困難であった点＞
・身寄りがない、キーパーソンの不在（8件）
・サービス利用、受診、入院の拒否（5件）
・金銭管理ができないなどお金の問題（4件）
・認知症に対する家族の理解がない（4件）
・家族の問題、虐待（4件）
・経済的困難、お金がない（2件）
・ゴミ屋敷（2件）
・本人の暴力、暴言（2件）
・就労先が決まらない（1件）
・毎日の支援が必要（1件）

認知症対応の困難ケースへの支援を行ったことがあるかについては、「ある」が 95.5%となっており、支援した件数は「２件」が 23.8%と最も多く、次いで、「10 件以上」が 19.0%となっています。

〔３〕行方不明高齢者の早期発見に必要なこと

問16　行方不明高齢者の早期発見に向けて必要なこと、資源は何だと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

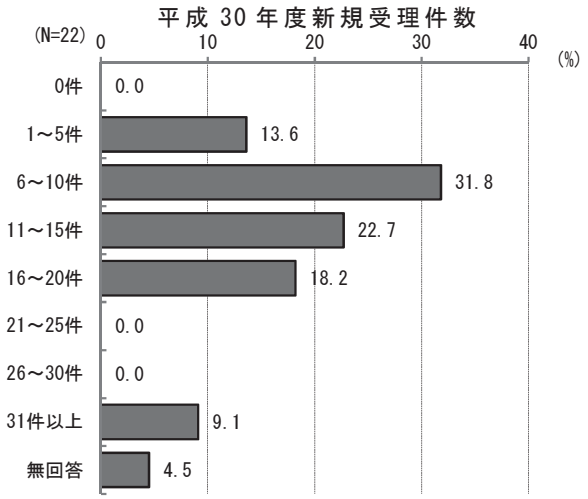


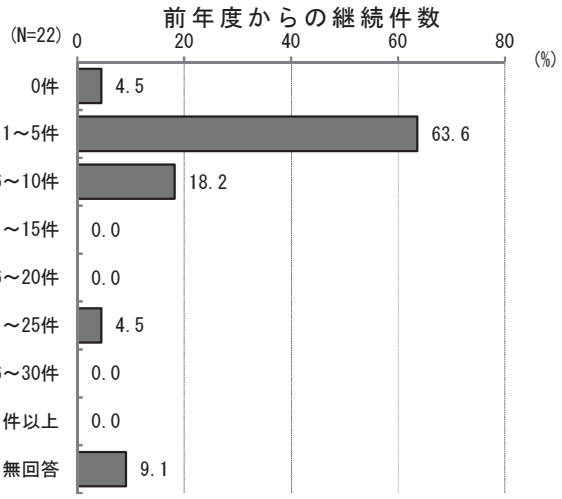
行方不明高齢者の早期発見に向けて必要なことについては、「ＧＰＳを活用したＳＯＳオレンジネットワーク事業の充実」が 81.8%と最も多く、次いで、「日常の見守り活動の強化」、「認知症高齢者に対する理解の促進」、「認知症高齢者への適切な対応についての啓発」がそれぞれ 59.1%となっています。

〔４〕高齢者虐待・権利擁護相談件数について

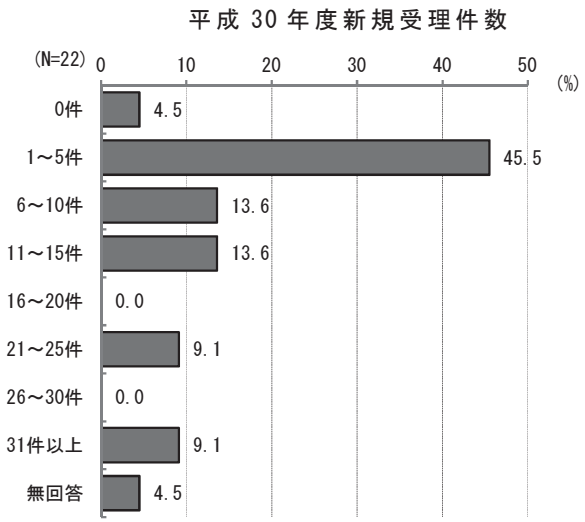
問17　貴センターにおける、平成30年度の高齢者虐待・権利擁護相談件数をご回答ください。（前年度からの継続分も含めます）

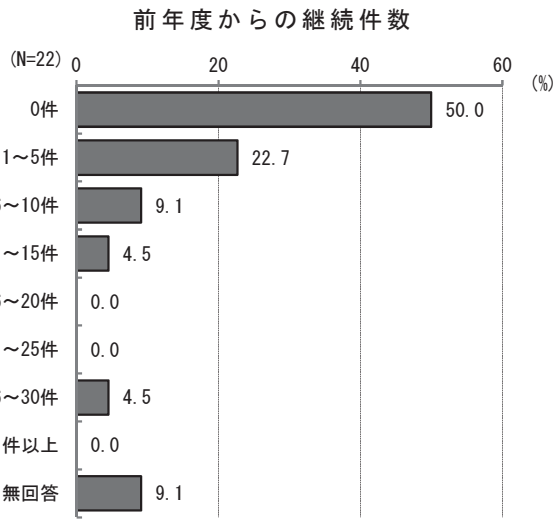
■高齢者虐待相談





■権利擁護相談





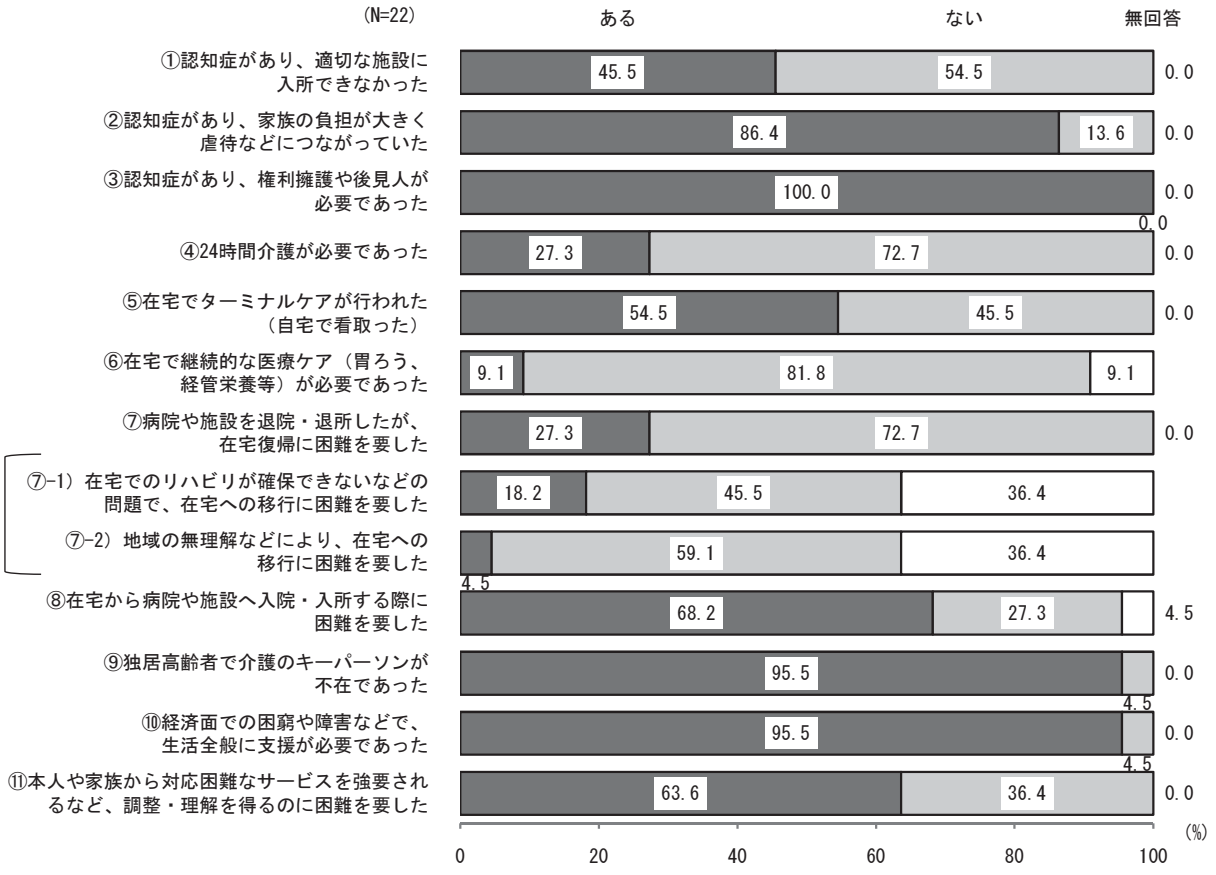
平成30年度の高齢者虐待相談については、新規受理件数は６～10件が最も多く、約７割が15件以下と回答しています。前年度からの継続件数は１～５件が最も多く、約７割が５件以下（0件含む）と回答しています。

権利擁護相談については、新規受理件数は１～５件が最も多く、５割が５件以下と回答しています。前年度からの継続件数は半数が０件となっています。

〔5〕昨年度に支援、対応したケース

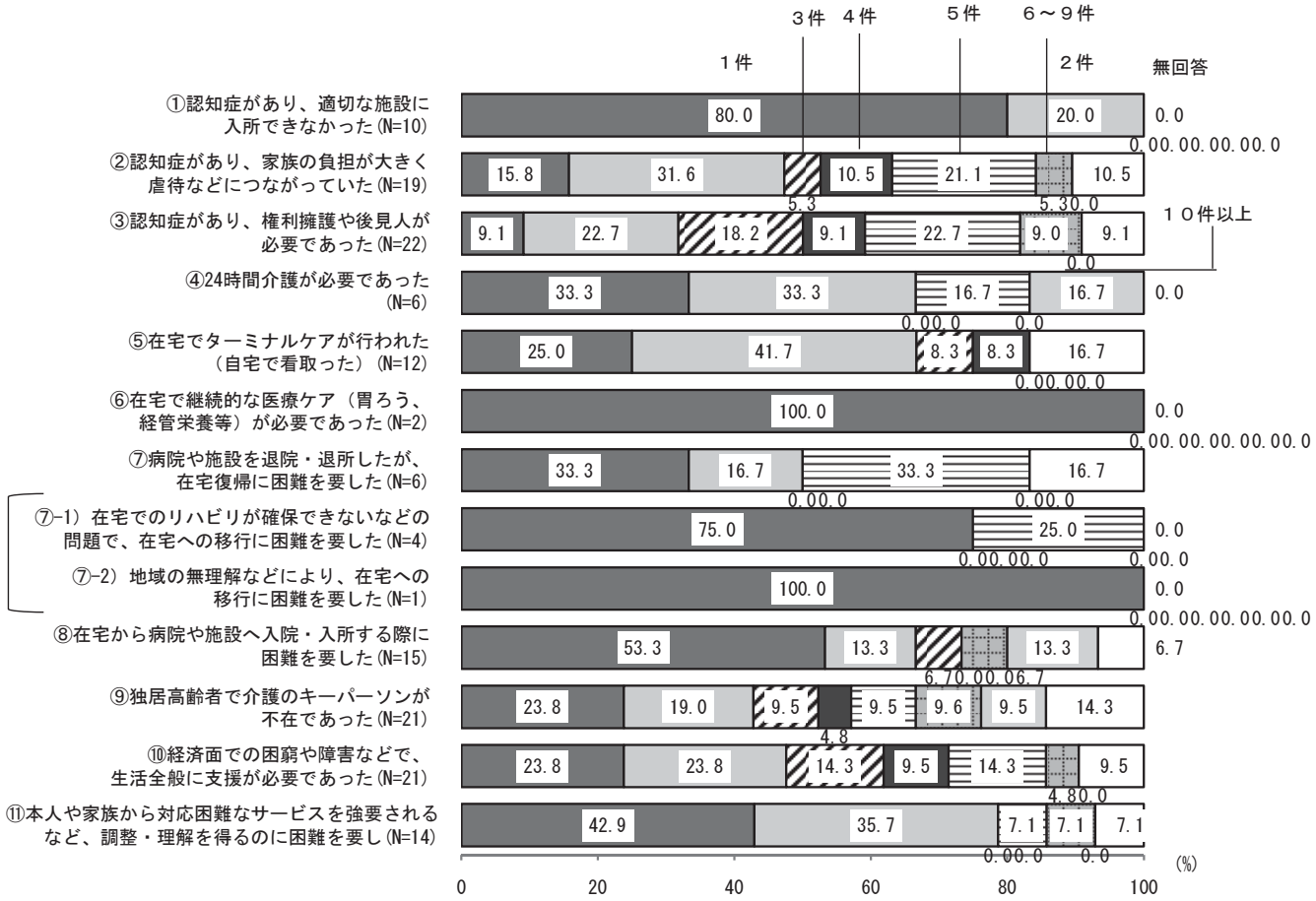
問18　貴センターでは、去年度から現在までに、次のようなケースへの支援を行ったことがありますか。それぞれのケースについてご回答ください。支援したことがある場合は、その件数と対応の可否についてご回答ください。

【支援の有無】



去年度から現在までに、支援を行ったことが「ある」ケースは、「③認知症があり、権利擁護や後見人が必要であった」が 100.0%と最も多く、次いで、「⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であった」、「⑩経済面での困窮や障害などで、生活全般に支援が必要であった」がそれぞれ 95.5%、「②認知症があり、家族の負担が大きく虐待などにつながっていたケース」が 86.4%となっています。

【支援した件数】



支援した件数は、多くのケースで『５件以下』との回答が多くなっていますが、「④24 時間介護が必要であった」、「⑧在宅から病院や施設へ入院・入所する際に困難を要した」、「⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であった」では「10 件以上」という回答もみられます。

また、支援したケースのうち、対応可能であったもの、対応不可であったものの件数の内訳は、次頁の表のとおりです。

【支援したことがある場合の対応状況　対応可能件数】

（上段：件、下段：%）

	N	1件	2件	3件	4件	5件	6～9件	10件以上	無回答
①認知症があり、適切な施設に入所できなかったケース	10	8	1	0	0	0	0	0	1
	100	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
②認知症があり、家族の負担が大きく虐待などにつながっていたケース	19	2	6	1	2	4	1	0	3
	100	10.5	31.6	5.3	10.5	21.1	5.3	0.0	15.8
③認知症があり、権利擁護や後見人が必要であったケース	22	4	3	5	2	4	1	0	3
	100	18.2	13.6	22.7	9.1	18.2	4.5	0.0	13.6
④24時間介護が必要であったケース	6	2	2	0	0	1	0	1	0
	100	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
⑤在宅でターミナルケアが行われたケース（自宅で看取ったケース）	12	3	5	1	1	0	0	0	2
	100	25.0	41.7	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7
⑥在宅で継続的な医療ケア（胃ろう、経管栄養等）が必要であったケース	2	2	0	0	0	0	0	0	0
	100	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦病院や施設を退院・退所したが、在宅復帰に困難を要したケース	6	2	1	0	0	2	0	0	1
	100	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7
⑦-1）そのうち、在宅でのリハビリが確保できないなどの問題で、在宅への移行に困難を要したケース	4	2	0	0	0	1	0	0	1
	100	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
⑦-2）そのうち、地域の無理解などにより、在宅への移行に困難を要したケース	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	100	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑧在宅から病院や施設へ入院・入所する際に困難を要したケース	15	7	2	1	0	0	1	2	2
	100	46.7	13.3	6.7	0.0	0.0	6.7	13.3	13.3
⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であったケース	21	4	4	2	0	2	2	2	5
	100	19.0	19.0	9.5	0.0	9.5	9.5	9.5	23.8
⑩経済面での困窮や傷害などで、生活全般に支援が必要であったケース	21	5	3	3	2	3	1	0	4
	100	23.8	14.3	14.3	9.5	14.3	4.8	0.0	19.0
⑪本人や家族から対応困難なサービスを強要されるなど、調整・理解を得るのに困難を要したケース	14	4	5	0	0	1	1	0	3
	100	28.6	35.7	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	21.4

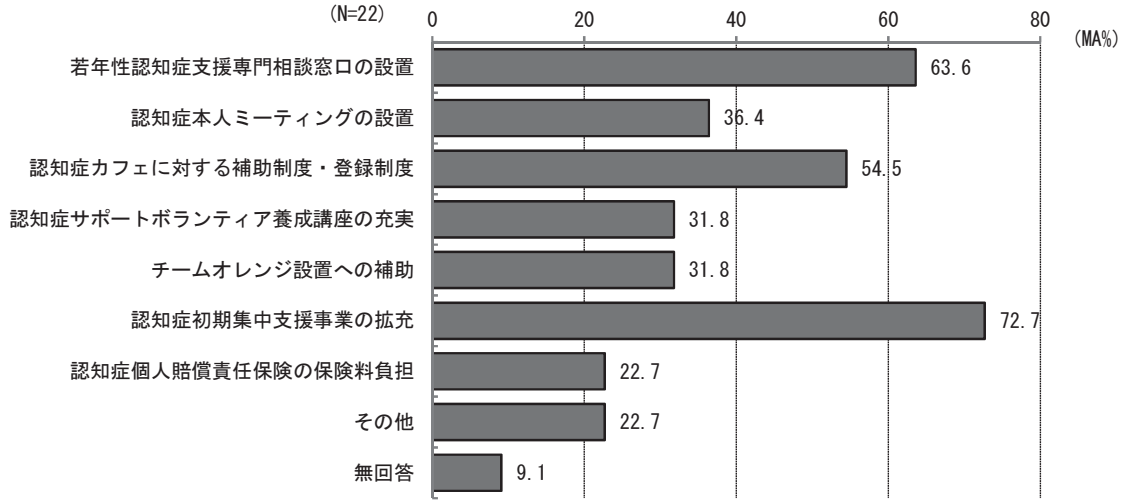
【支援したことがある場合の対応状況　対応不可件数】

（上段：件、下段：%）

	N	1件	2件	3件	4件	5件	6～9件	10件以上	無回答
①認知症があり、適切な施設に入所できなかったケース	10	2	0	0	0	0	0	0	8
	100	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
②認知症があり、家族の負担が大きく虐待などにつながっていたケース	19	0	0	0	0	0	0	0	19
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
③認知症があり、権利擁護や後見人が必要であったケース	22	1	0	0	0	0	1	0	20
	100	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	90.9
④24時間介護が必要であったケース	6	0	0	0	0	0	0	0	6
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑤在宅でターミナルケアが行われたケース（自宅で看取ったケース）	12	0	0	0	0	0	0	0	12
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑥在宅で継続的な医療ケア（胃ろう、経管栄養等）が必要であったケース	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑦病院や施設を退院・退所したが、在宅復帰に困難を要したケース	6	0	0	0	0	0	0	0	6
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑦-1）そのうち、在宅でのリハビリが確保できないなどの問題で、在宅への移行に困難を要したケース	4	1	0	0	0	0	0	0	3
	100	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
⑦-2）そのうち、地域の無理解などにより、在宅への移行に困難を要したケース	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑧在宅から病院や施設へ入院・入所する際に困難を要したケース	15	0	0	0	0	0	0	0	15
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であったケース	21	2	0	0	0	0	0	0	19
	100	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.5
⑩経済面での困窮や傷害などで、生活全般に支援が必要であったケース	21	0	0	0	0	0	0	0	21
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑪本人や家族から対応困難なサービスを強要されるなど、調整・理解を得るのに困難を要したケース	14	2	0	0	0	0	0	0	12
	100	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7

〔６〕認知症施策として必要なもの

問19　認知症施策として必要だと思うものは何だと思われますか。
（あてはまるものすべてに○）

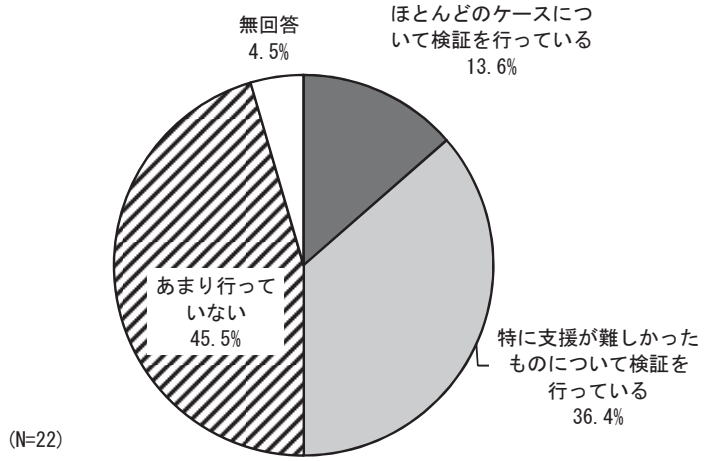


＜その他内訳＞
・認知症高齢者他、病院等への簡易的移送サービス
・認知症対応型（特化した）のデイサービスやショートステイ、居住系の施設
・複数の施設（医療機関）でのオレンジチームの実施
・現在ある施策をもっと市民の方に知ってもらう広報の仕方、郵便局、スーパー、病院、整骨院、駅、学校等への掲示やチラシの設置協力などの要請
・本人が活躍できる場所

認知症施策として必要だと思うものについては、「認知症初期集中支援事業の拡充」が 72.7%と最も多く、次いで、「若年性認知症支援専門相談窓口の設置」が 63.6%、「認知症カフェに対する補助制度・登録制度」が 54.5%となっています。

〔7〕ケース検証を行っているか

問20　貴センターでは、包括的･継続的支援における各ケースに対して、振り返りや評価などをするケース検証を行っていますか。（１つに○）



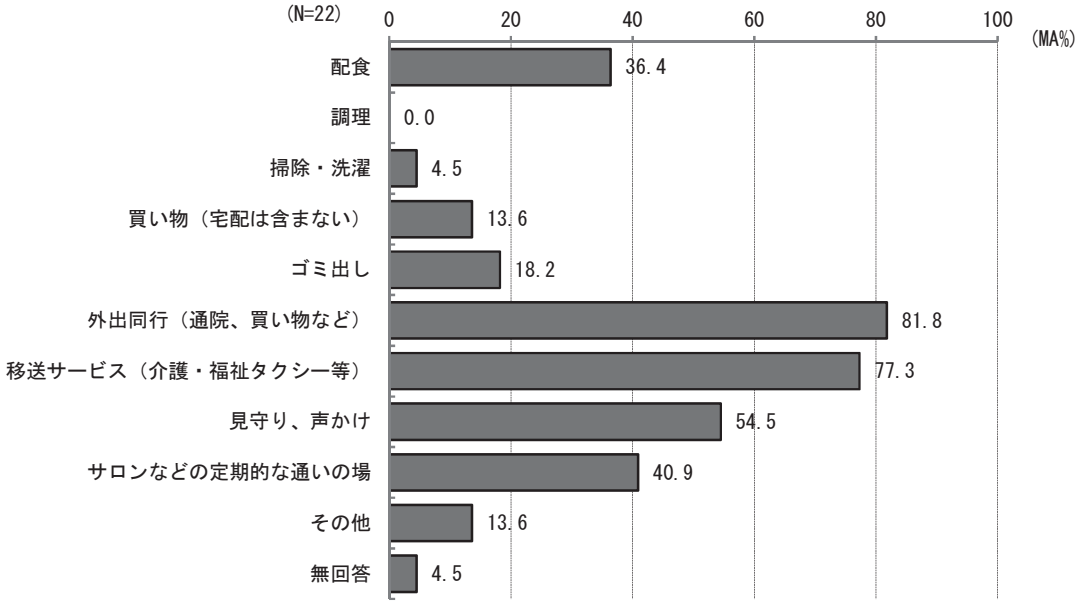
ケース検証を行っているかについては、「ほとんどのケースについて検証を行っている」が 13.6%、「特に支援が難しかったものについて検証を行っている」が 36.4%、「あまり行っていない」が 45.5%となっています。

＜検証の手法や他ケースへの活用方法＞
- 事例検討会や日頃の会議で情報共有（4 件）
- ミーティング（2 件）
- 虐待ケースは虐待防止専門会議にて検証し、いただいたアドバイスを同様のケースに活かしている
- インデント・プロセス法を参考に、できるだけ準備に負担がかからないようにしている

５　介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）について

〔１〕ニーズが高いと思われる介護保険外サービス

問21　「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ニーズが高いと思われるものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）



＜その他内訳＞
・金銭問題のある人の入所施設
・ゴミ屋敷の掃除
・庭の手入れ、大掃除、電球交換

「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ニーズが高いと思われるものは、「外出同行（通院、買い物など）」が 81.8%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 77.3%、「見守り、声かけ」が 54.5%となっています。

〔2〕充実が必要だと思う介護保険外サービス（自由記述）

問22　今後、地域で充実が必要だと思う介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）の提供体制についてのお考えをご自由に記載ください（誰が、どこでやるのか、など）。

充実が必要だと思う介護保険外サービス	計 27 件
移送サービス・送迎サービス・外出支援 ・相乗りタクシーのようなシステム、相乗りタクシー割引制度 ・病院送迎、スーパー送迎サービス ・ＯＳや介護保険施設等の車を活用して送迎サービス ・つどいサービスや短期集中（通所）の送迎 ・送迎サービスの創設の検討（コミュニティバス等の運行も含め） ・外出時のサービス提供が必要 ・コミュニティバス等の社会資源が無く、移動の手段が無い高齢者も多く、自費のタクシーを利用しないといけない、受診を控えることもある	11 件
通院支援 ・専門職による受診同行及び移送サービスがあれば助かる ・院内介助、退院介助 ・通院時、診察室まで入ってくれるサービス（自費ヘルパーは値段が高い、長時間になる時ヘルパーの確保が難しい） ・独居高齢者でご家族が近隣にいない、日中就労されていることもあり、通院の付き添いを仕方なくＣＭが行っている	4 件
集いの場、サロンなど ・集いの場（毎日通える場）の必要性 ・自治体主催のサロン等、定期的に参加できる場所は多数あるが、条件が伴うこともあり、様々な人々が自由に参加できる場づくりは継続して創出していく必要がある	2 件
スペースの提供 ・格安で貸してくれる場所 ・お店や医療、介護サービスの事業所で活用できるスペースがあれば、自治会や老人クラブを巻き込み介護予防の教室が開催できるのでは	2 件
ワンコインサービスの拡充 ・ワンコインサービス等、既存にある事業を充実させて欲しい	2 件
家の片づけ ・処分できず必要な物であふれている高齢者の家が多い、ヘルパーによる日常家事を提供するまでの「家の片付け」を要する	1 件
金銭管理	1 件
その他のご意見 ・担い手不足、定年の延長や老後資金不足で、高齢になっても働いている人が多い ・隣近所同士の声掛け、見守り、ちょっとした介助支援の枠組みづくりが必要だが、実施する気にさせるには公的な大きな意味づけ作業が無いと難しい、市に期待 ・8050 問題など、高齢者支援以外に障害や精神疾患、若年性認知症に対するサービス体制が必要	4 件

6　自由意見

〔1〕高齢者福祉、介護保険に関するご意見（自由記述）

問23　高齢者福祉、介護保険に関するご意見、府や市の取り組みに対するご意見などありましたら、自由にご記入ください。

高齢者福祉、介護保険に関するご意見	計 10 件
地域包括支援センターの業務量について ・高齢者の他に障害や精神疾患等の多問題を抱えた子供についての支援に時間を取られ重責に疲弊している ・包括支援センターは毎年仕事量が増大、スタッフを増やすこともできず（委託料などの関係で）過大な仕事量。人材確保、育成もままならない。委託法人によるところも大きく、板挟みな状況もあり得る。仕事量の見直しやセンターの予防プランの件数制限を設け委託金の配分ももっと細かに分けて設定して欲しい	2 件
生活支援コーディネーター、包括以外でも公募して、地域に密着しているやる気のある方がなればもっと事業展開できるのでは	1 件
介護予防の取り組みを考える際、どうしても開催場所の問題が出てくる。空き家の有効活用や学校の空き教室の利用が容易にできれば良い	1 件
独居や認知症高齢者が増加していく中、介護保険サービスでは対応できない支援が増えている、そういったところの支援体制の構築が必要	1 件
各地域でも様々な取り組みをしているが、一つの事業を行うための条件が厳しく地域住民が自ら実行するには課題が多い	1 件
独居高齢者が多く住んでいる公営住宅のごみ置き場、ヘルパー訪問時にゴミ出しできるよう（常にゴミ出す）にならないか	1 件
認知症の早期発見、特定健診に認知症検査を入れてほしい	1 件
市も移送サービスについて何らかの取り組みを考えてもらいたい	1 件
現場を知らなすぎる、基幹型が頼りない	1 件

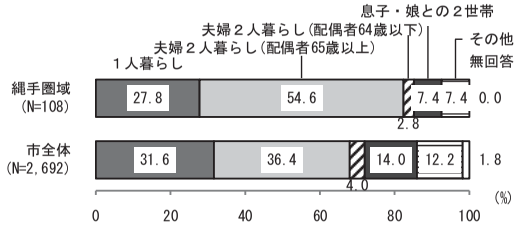
Ⅱ－7　圏域別分析

1．縄手圏域

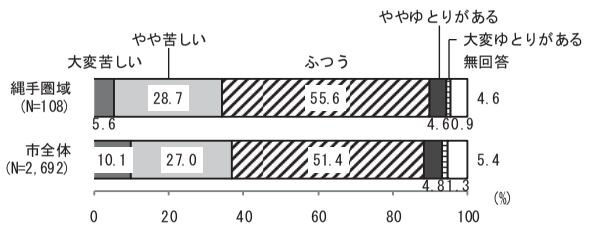
高齢者（65 歳以上）数　4,212 人	前期高齢者　1,816 人	後期高齢者　2,396 人	ひとり暮らし高齢者数　1,472 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,289 世帯	高齢化率 34.6%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,124 人	要支援1　194 人	要支援2　152 人	要介護1　203 人	要介護2　212 人	要介護3　131 人	要介護4　118 人	要介護5　114 人	認定率　26.2%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

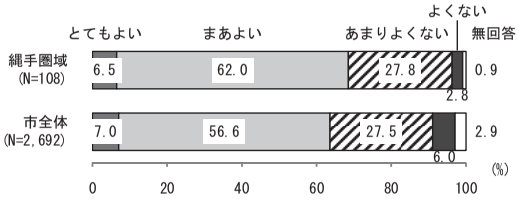
家族構成　1 人暮らしが3割弱、夫婦 2 人暮らしが6割弱 市全体に比べて1人暮らしが少ない



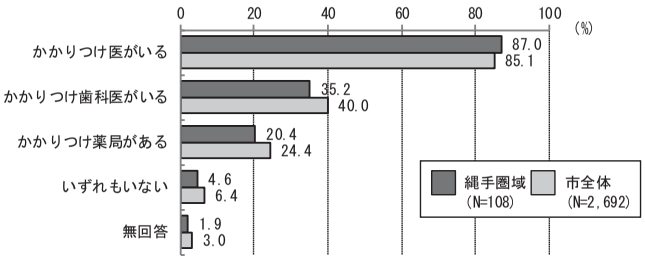
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は3割台半ば



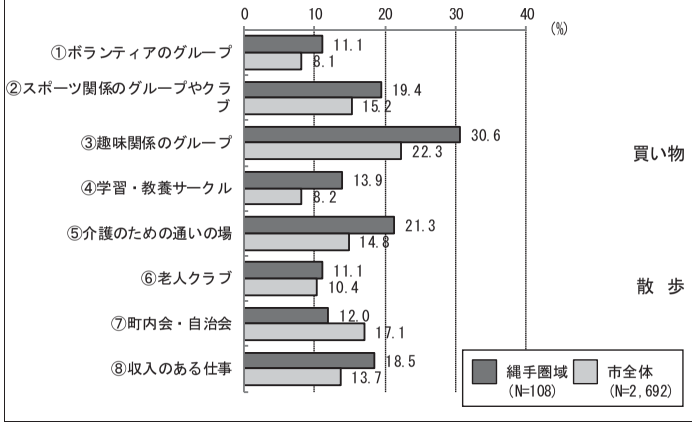
健康状態　おおむね健康な人は7割弱



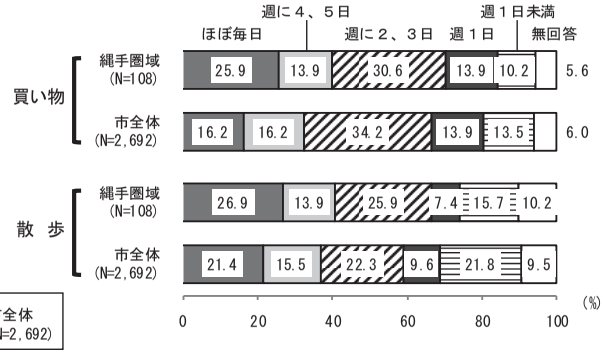
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は9割弱



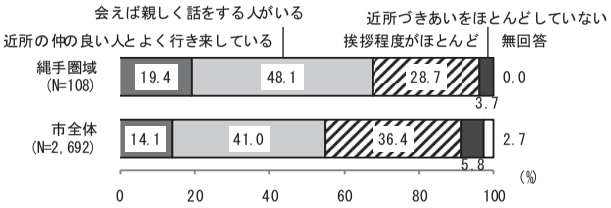
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く3割



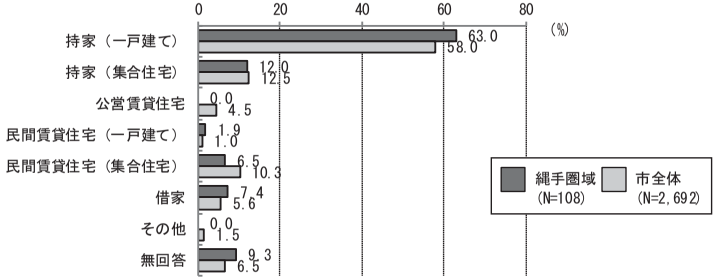
買い物や散歩の頻度　買い物、散歩とも週の半数以上外出している人は4割



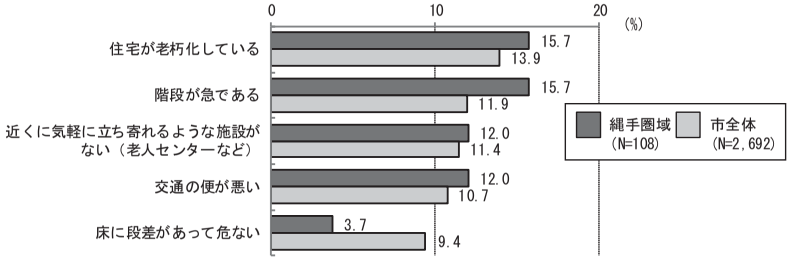
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは7割弱 なかでも親密な近所づきあいをしているのは2割弱



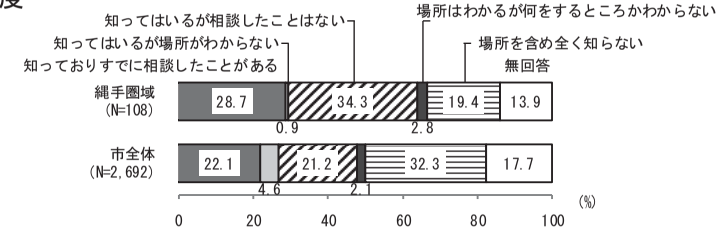
住まいの状況　持家が7割台半ば　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　住宅の老朽化、階段が急であるをあげる人が多い

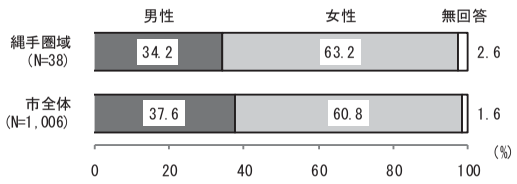


地域包括支援センターの認知度　6割強の人が知っている

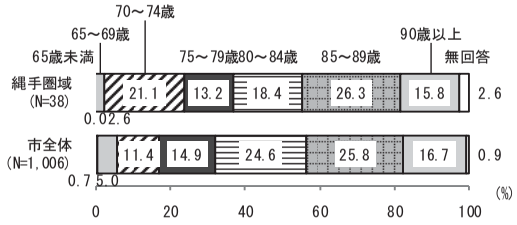


要介護高齢者

性別　女性が6割強、男性が3割台半ば

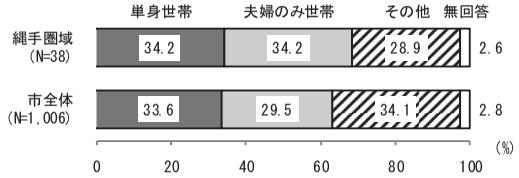


年齢　80 歳以上が6割



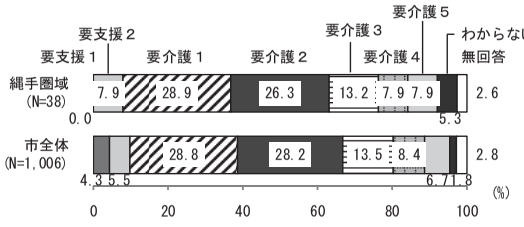
家族構成

単身世帯、夫婦のみ世帯
ともに3割台半ば



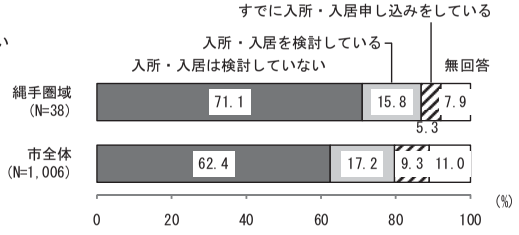
要介護度

要支援が1割弱、要介護1，2が5割台半ば、
要介護3～5が3割弱

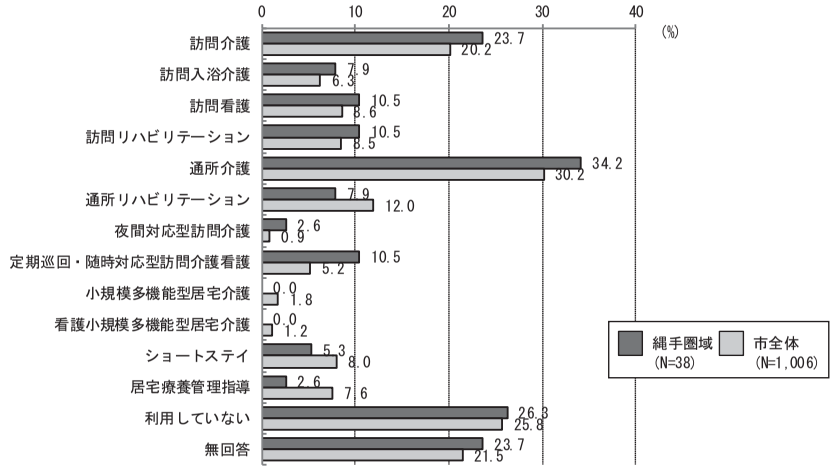


施設等への入所・入居の検討状況

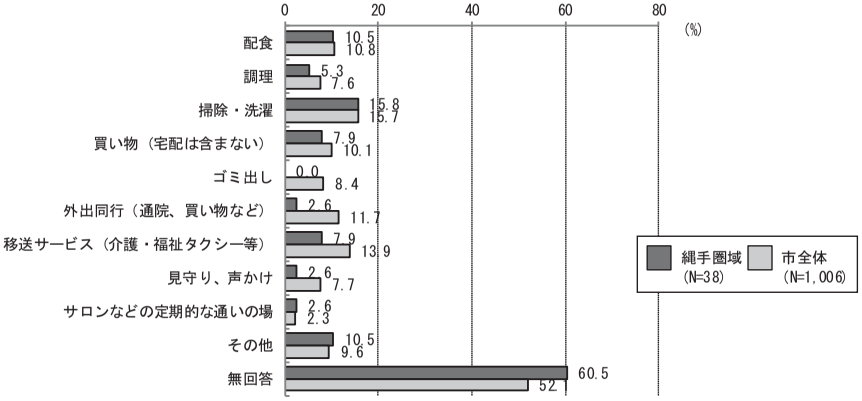
入所･入居は検討していない人が7割強
検討している人が1割台半ば



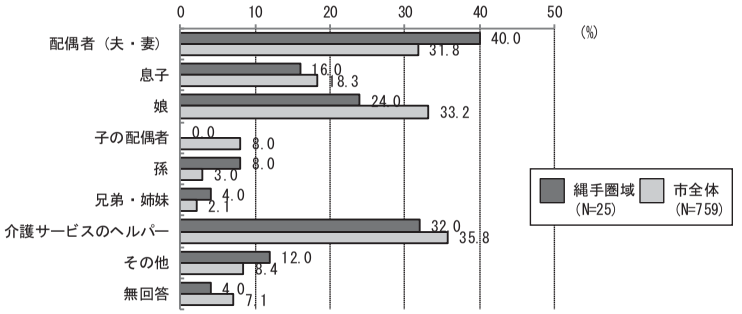
利用しているサービス　通所介護、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、配食を利用している人が多い



主な介護者　配偶者が最も多く、次いで介護サービスのヘルパーとなっている

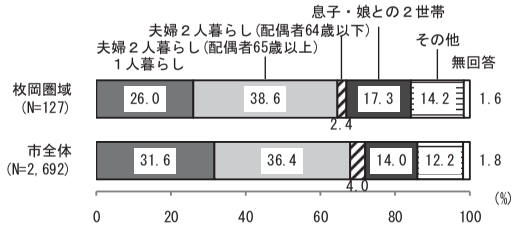


2．枚岡圏域

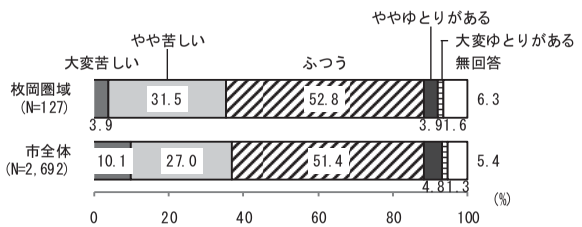
高齢者（65 歳以上）数　6,558 人	前期高齢者　3,190 人	後期高齢者　3,368 人	ひとり暮らし高齢者数　2,072 世帯	65 歳以上のみ世帯数　3,345 世帯	高齢化率 27.6%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,511 人	要支援1　240 人	要支援2　227 人	要介護1　332 人	要介護2　258 人	要介護3　161 人	要介護4　162 人	要介護5　131 人	認定率　22.6%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

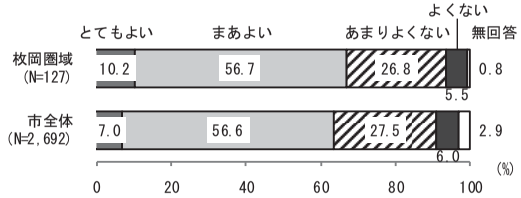
家族構成　1 人暮らしが2割台半ば、夫婦 2 人暮らしが4割強 市全体に比べて1人暮らしが少ない



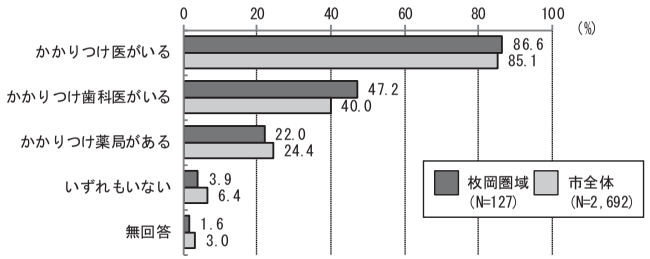
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は3割台半ば



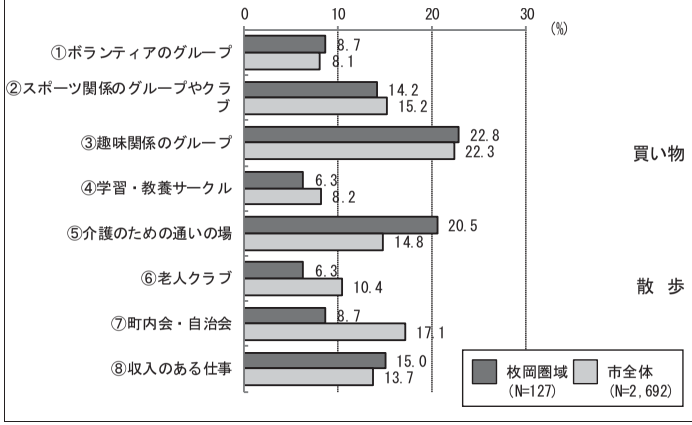
健康状態　おおむね健康な人が6割台半ば



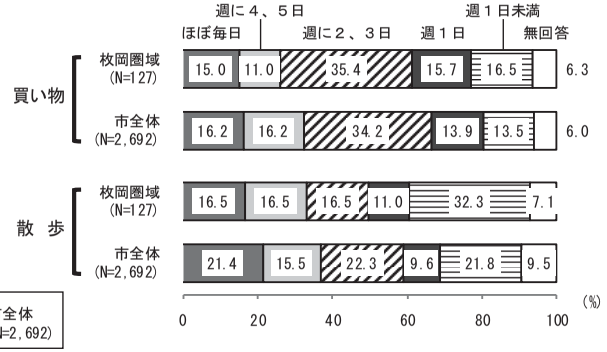
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は8割台半ば



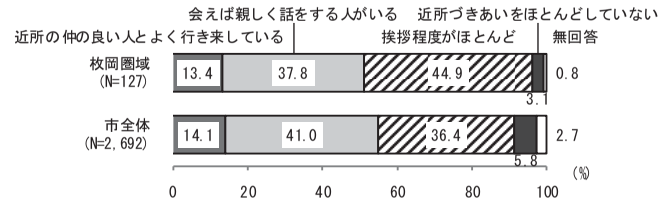
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く2割強



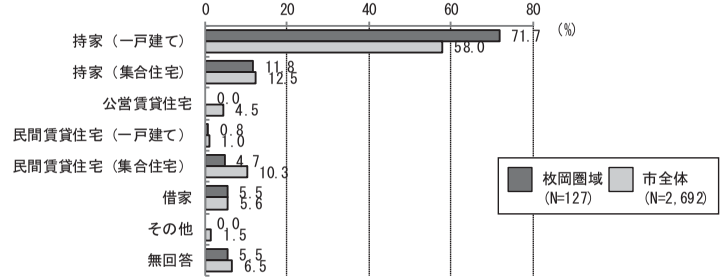
買い物や散歩の頻度　週の半数以上外出している人は買い物で2割台半ば、散歩で3割強



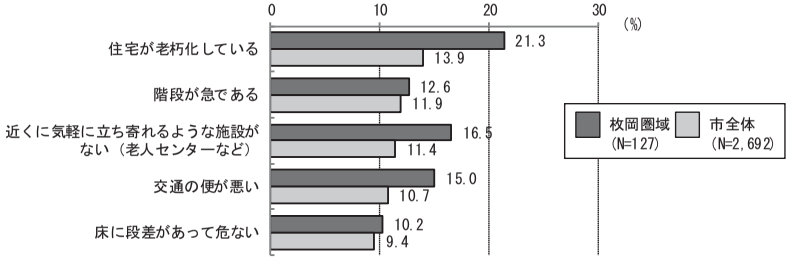
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは5割強 なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割強



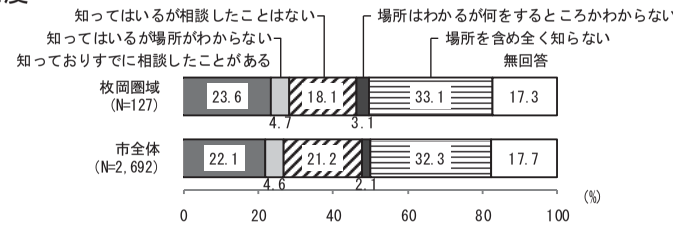
住まいの状況　持家が8割強　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　住宅の老朽化、気軽に立ち寄れるような施設がない、交通の便が悪いをあげる人が多い

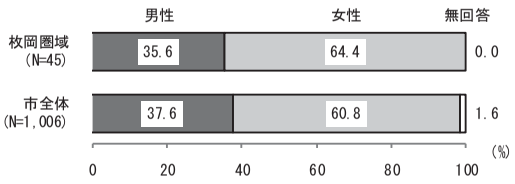


地域包括支援センターの認知度　4割台半ばの人が知っている

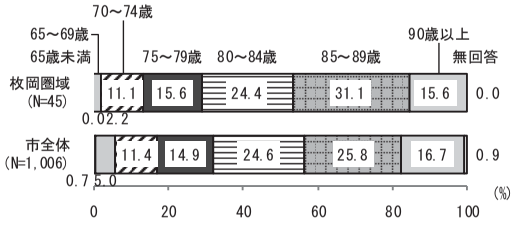


要介護高齢者

性別　女性が6割台半ば、男性が3割台半ば

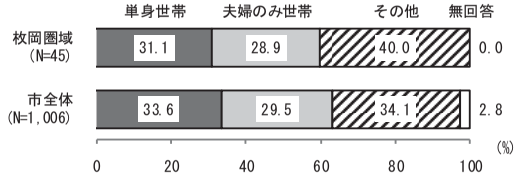


年齢　80 歳以上が7割強



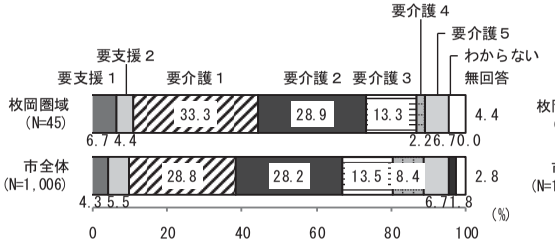
家族構成

単身世帯が3割強
夫婦のみ世帯が3割弱



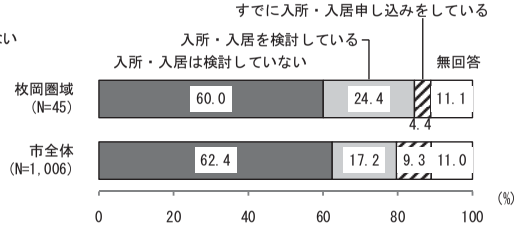
要介護度

要支援が1割強、要介護1，2が6割強、
要介護3～5が2割強

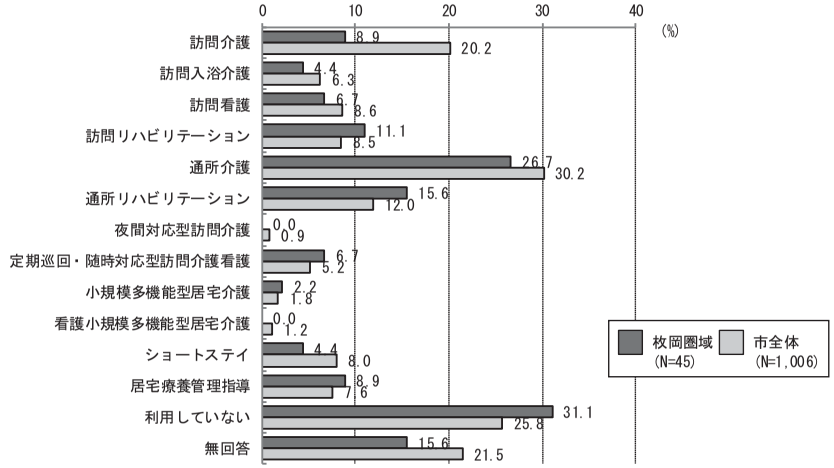


施設等への入所・入居の検討状況

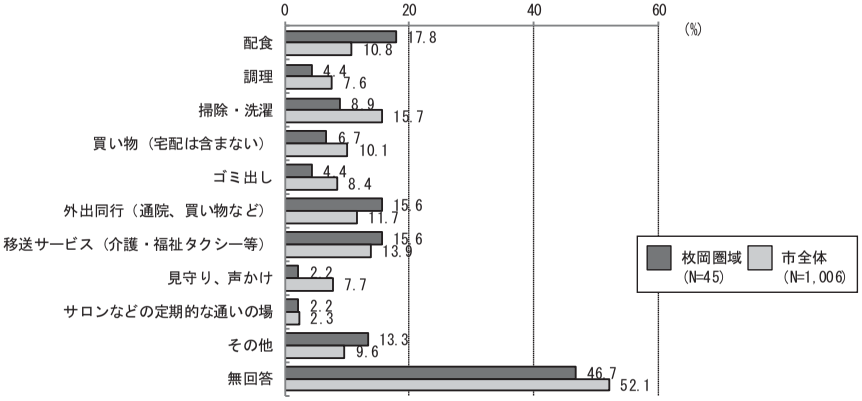
入所･入居は検討していない人が6割
検討している人が2割台半ば



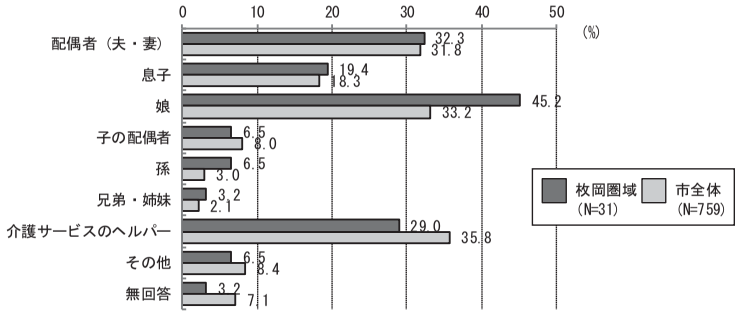
利用しているサービス　通所介護、通所リハビリテーションを利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　配食、外出同行、移送サービスを利用している人が多い



主な介護者　娘が最も多く、次いで配偶者となっている

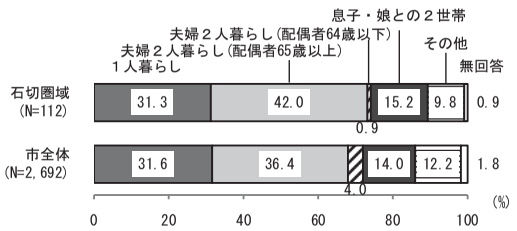


3．石切圏域

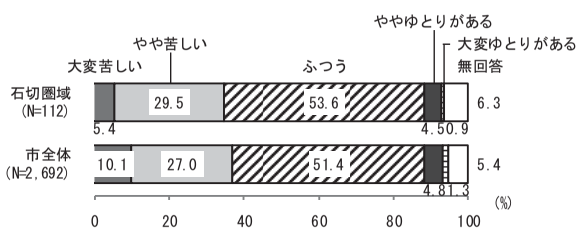
高齢者（65 歳以上）数　5,587 人	前期高齢者　2,788 人	後期高齢者　2,799 人	ひとり暮らし高齢者数　1,670 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,812 世帯	高齢化率 24.0%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,095 人	要支援1　213 人	要支援2　152 人	要介護1　218 人	要介護2　188 人	要介護3　124 人	要介護4　102 人	要介護 5　98 人	認定率　19.3%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

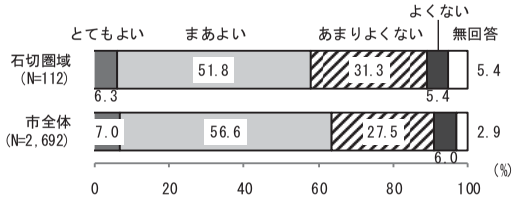
家族構成　1人暮らしが3割強、夫婦2人暮らしが4割強　1人暮らしは市全体とほぼ同率



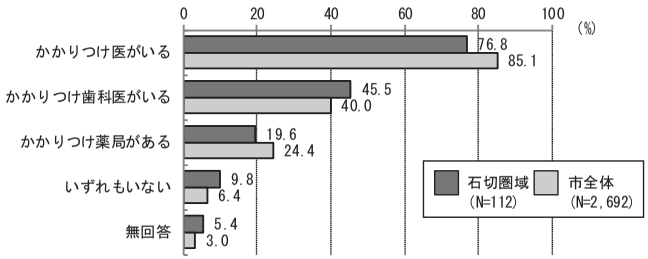
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は3割台半ば



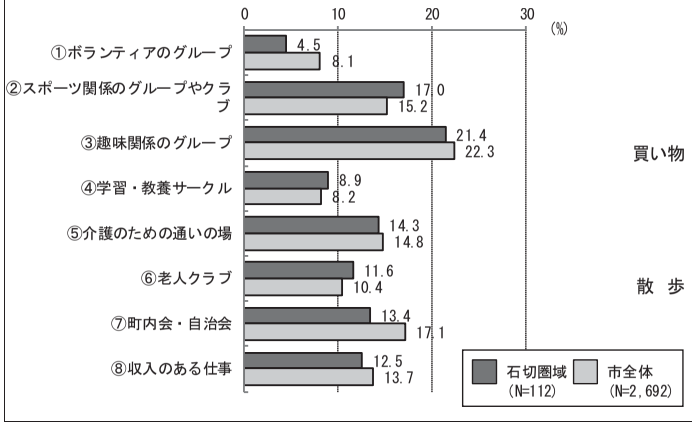
健康状態　おおむね健康な人は6割弱



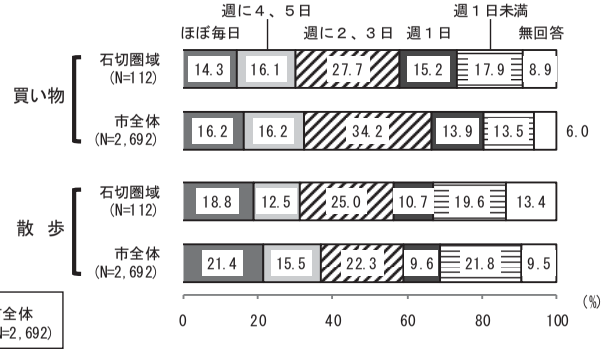
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は7割台半ば



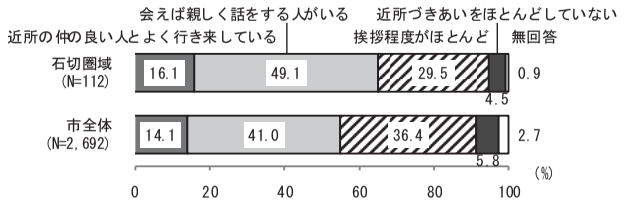
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く2割強



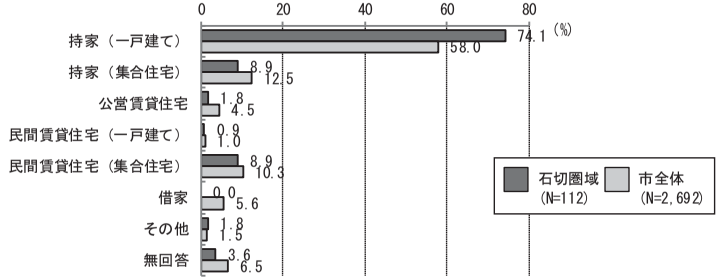
買い物や散歩の頻度　週の半数以上外出している人は買い物で３割、散歩で3割強



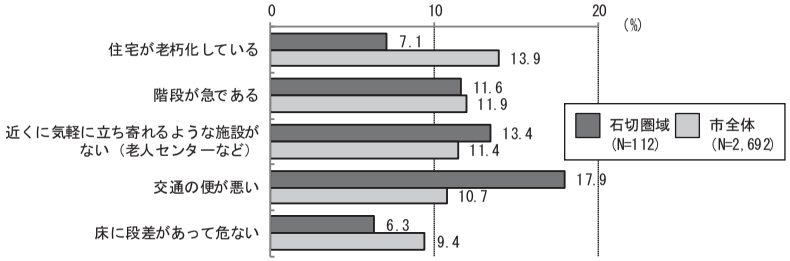
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは6割台半ば　なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割台半ば



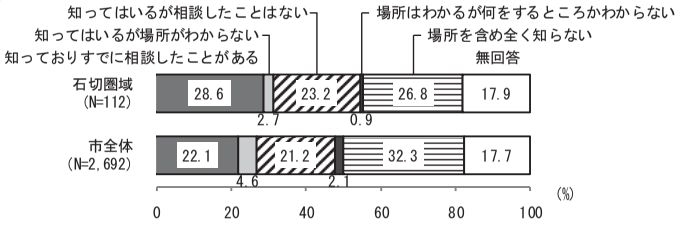
住まいの状況　持家が8割強　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　交通の便が悪い、気軽に立ち寄れるような施設がない、階段が急であるをあげる人が多い

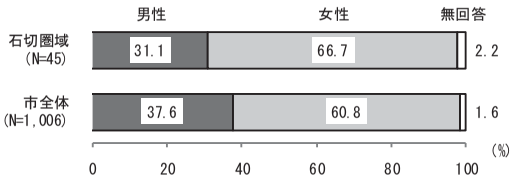


地域包括支援センターの認知度　5割台半ばの人が知っている

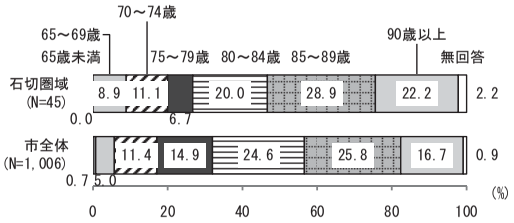


要介護高齢者

性別　女性が6割台半ば、男性が3割強

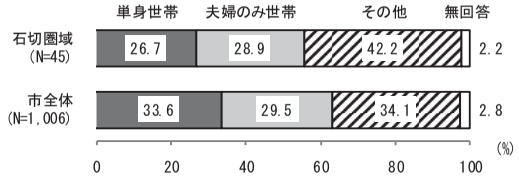


年齢　80歳以上が7割強



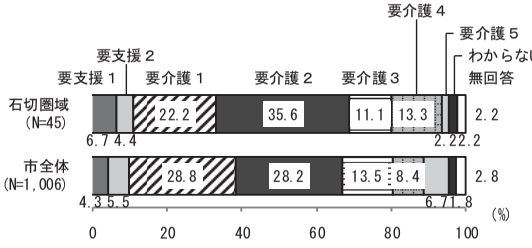
家族構成

単身世帯が2割台半ば
夫婦のみ世帯が3割弱



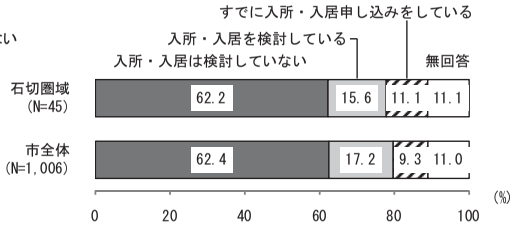
要介護度

要支援が1割強、要介護1，2が6割弱、
要介護3～5が2割台半ば

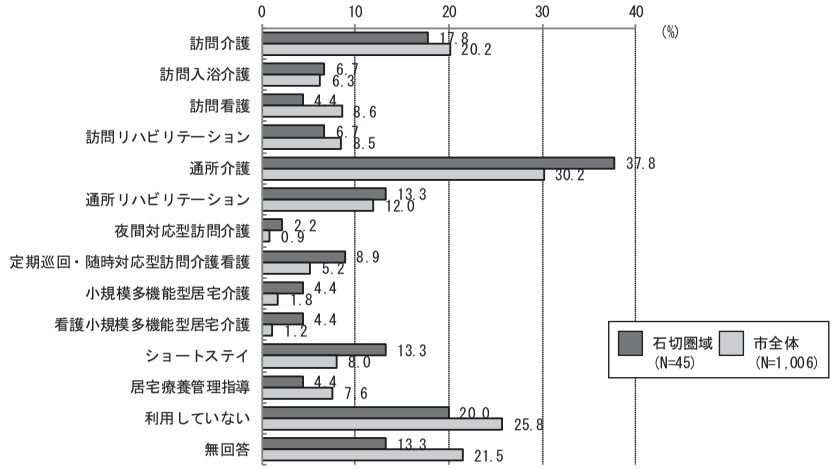


施設等への入所・入居の検討状況

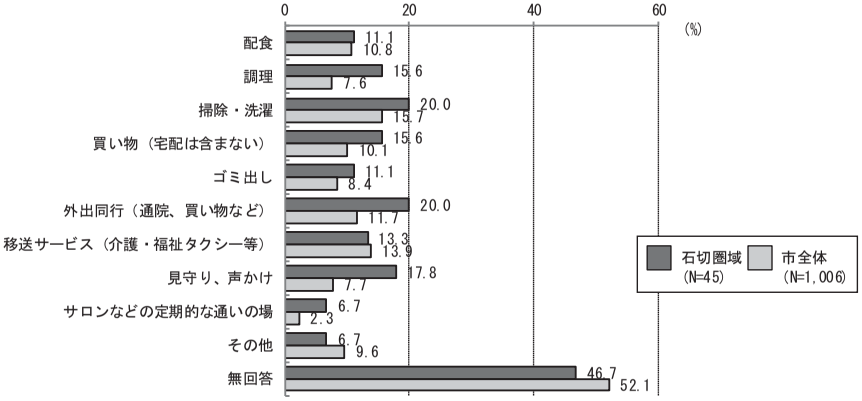
入所･入居は検討していない人が6割強
検討している人が1割台半ば



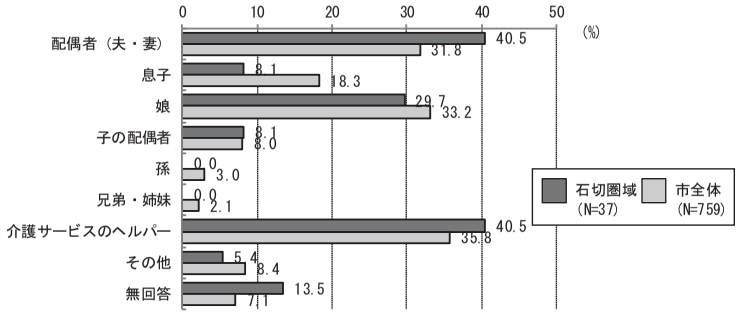
利用しているサービス　通所介護、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、外出同行、見守り、声かけを利用している人が多い



主な介護者　配偶者と介護サービスのヘルパーが最も多く、次いで娘となっている



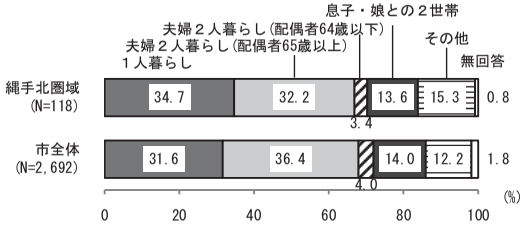
4．縄手北圏域

高齢者（65 歳以上）数　4,457 人	前期高齢者　1,986 人	後期高齢者　2,471 人	ひとり暮らし高齢者数　1,571 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,428 世帯	高齢化率 32.7%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,097 人	要支援1　176 人	要支援2　163 人	要介護1　267 人	要介護2　192 人	要介護3　116 人	要介護4　102 人	要介護 5　81 人	認定率　24.2%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

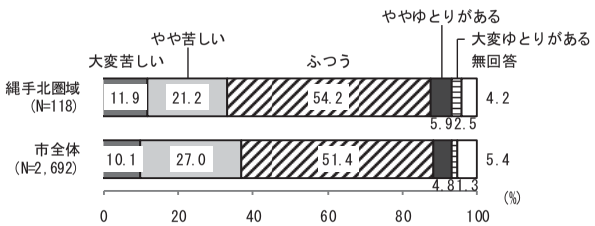
家族構成

1人暮らし、夫婦2人暮らしともに3割台半ば
市全体に比べて1人暮らしが多い



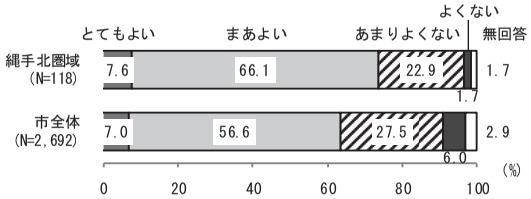
生活の状況

大変苦しい、やや苦しい人は3割強



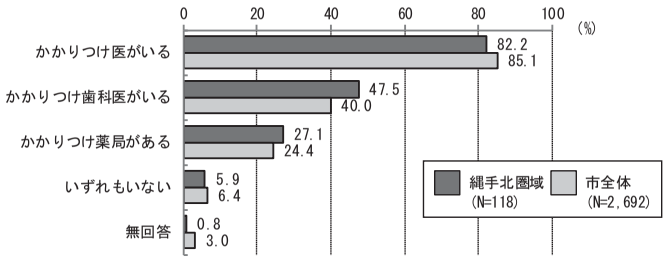
健康状態

おおむね健康な人は7割強



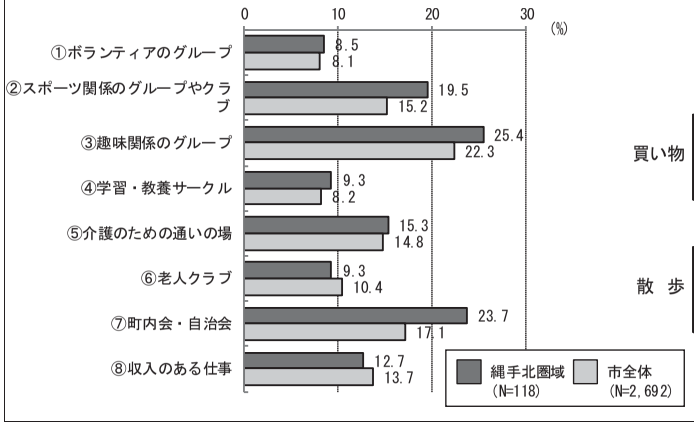
かかりつけ医の有無

かかりつけ医のいる人は8割強



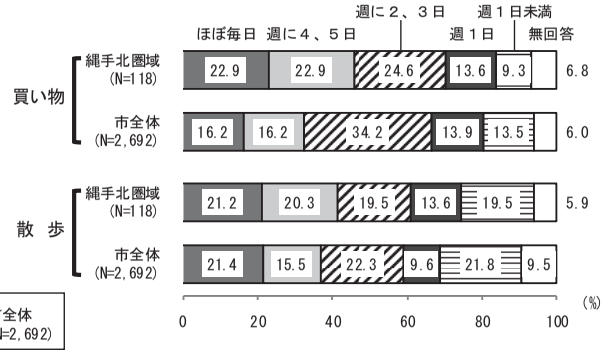
社会活動への参加状況

趣味のグループに参加している人が最も多く2割台半ば



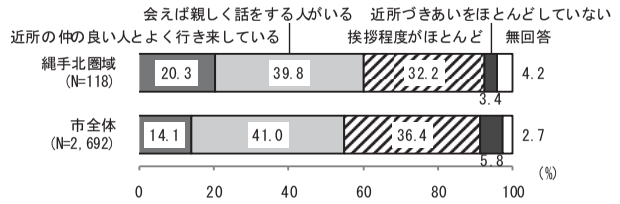
買い物や散歩の頻度

週の半数以上外出している人は
買い物で4割台半ば、散歩で4割強



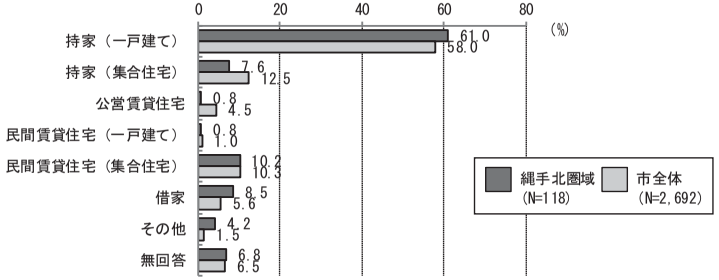
近所づきあい

比較的親密な近所づきあいをしているのは6割
なかでも親密な近所づきあいをしているのは2割



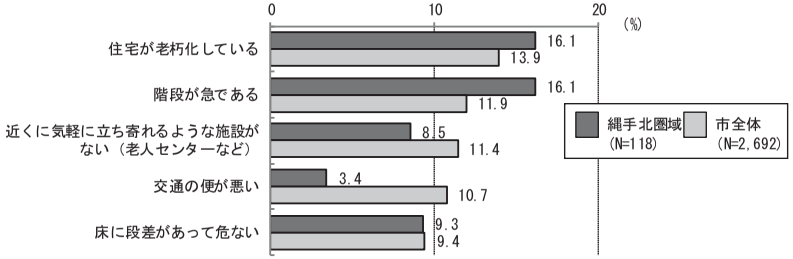
住まいの状況

持家が7割弱　なかでも一戸建てが多い



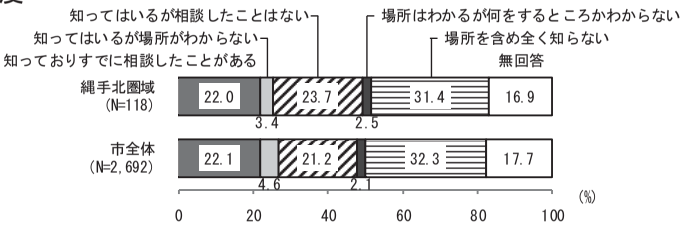
住まい等で不便なこと（上位5つ）

住宅の老朽化、階段が急であるをあげる人が多い



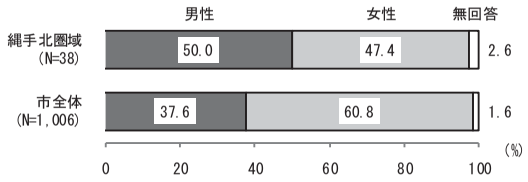
地域包括支援センターの認知度

5割弱の人が知っている

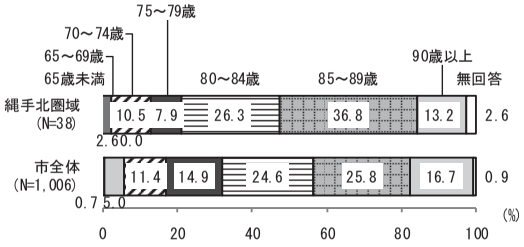


要介護高齢者

性別　女性が5割弱、男性が5割

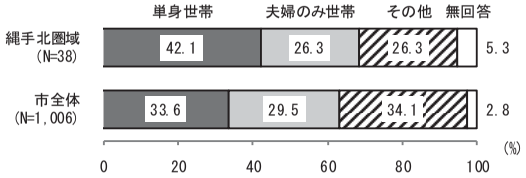


年齢　80歳以上が7割台半ば



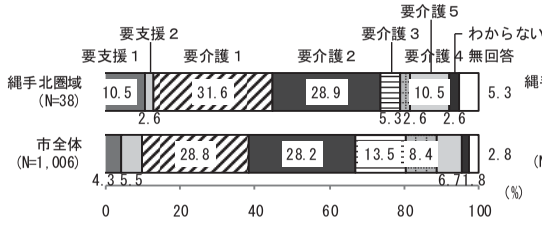
家族構成

単身世帯が4割強
夫婦のみ世帯が2割台半ば



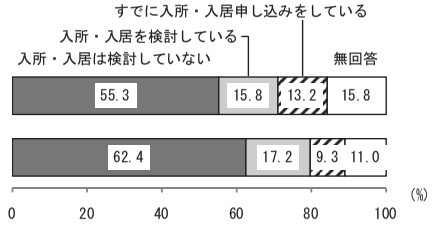
要介護度

要支援が1割強、要介護1，2が6割、
要介護3～5が2割弱

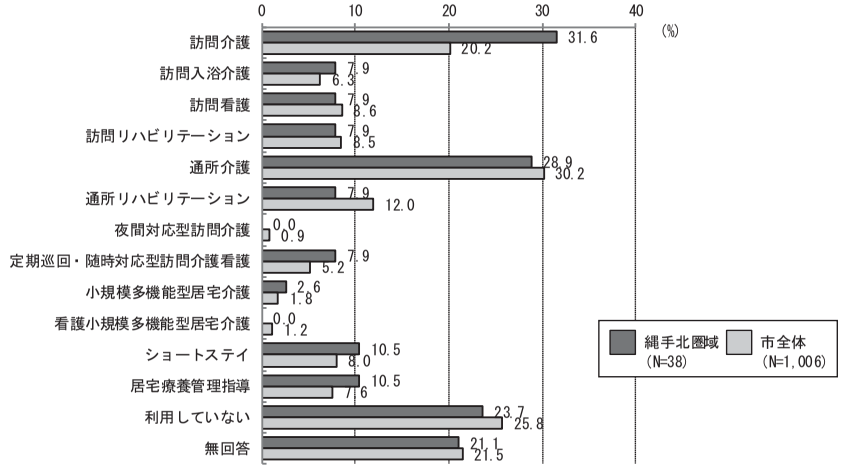


施設等への入所・入居の検討状況

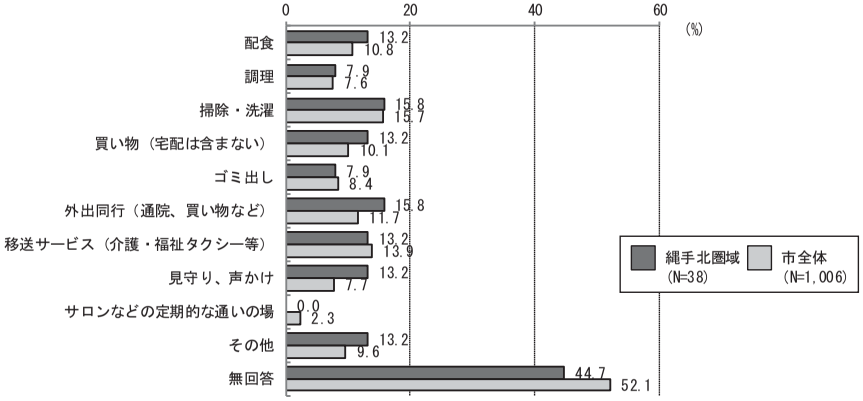
入所･入居は検討していない人が5割台半ば
検討している人が1割台半ば



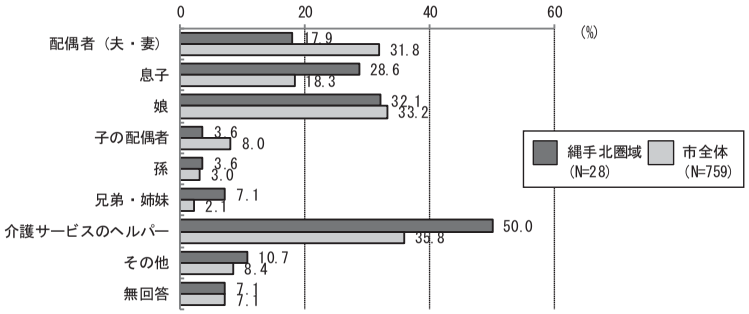
利用しているサービス　訪問介護、通所介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、外出同行を利用している人が多い



主な介護者　介護サービスのヘルパーが最も多く、次いで娘となっている

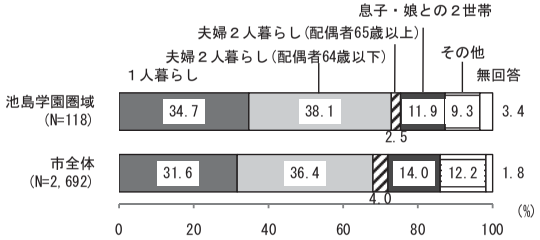


5．池島学園圏域

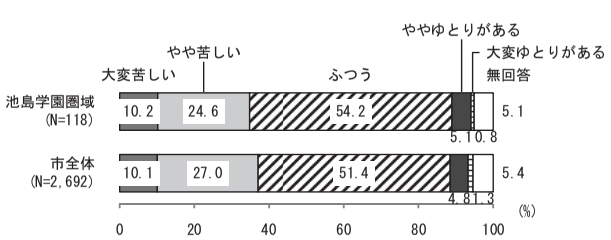
高齢者（65 歳以上）数　3,768 人	前期高齢者　1,765 人	後期高齢者　2,003 人	ひとり暮らし高齢者数　1,070 世帯	65 歳以上のみ世帯数　1,865 世帯	高齢化率 31.1%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　823 人	要支援1　152 人	要支援2　118 人	要介護1　144 人	要介護2　135 人	要介護 3　94 人	要介護 4　98 人	要介護 5　82 人	認定率　21.6%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

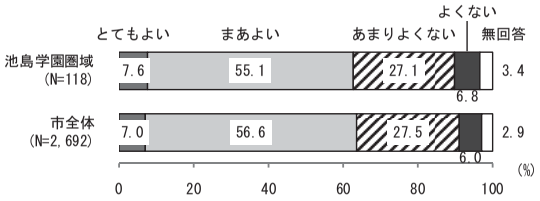
家族構成　1人暮らしが3割台半ば、夫婦2人暮らしが4割 市全体に比べて1人暮らしが多い



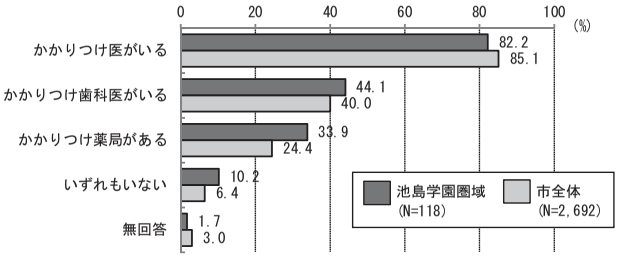
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は3割台半ば



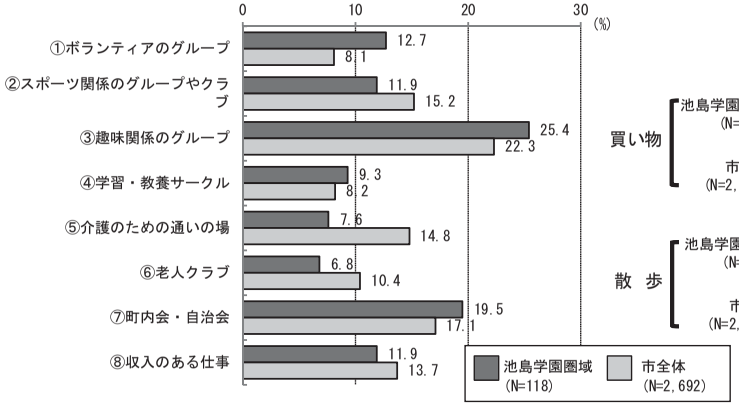
健康状態　おおむね健康な人は6割強



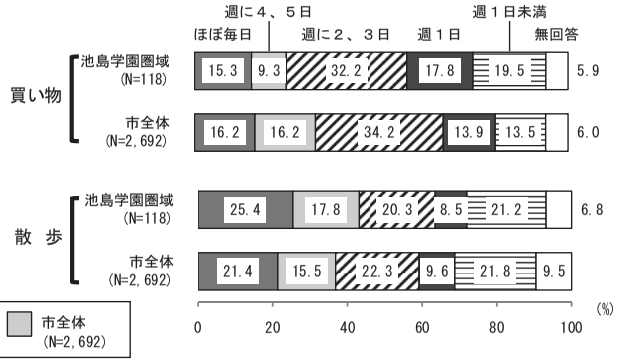
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は8割強



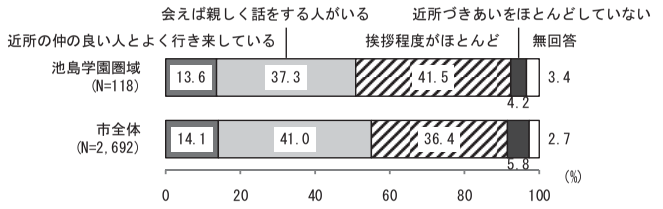
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く2割台半ば



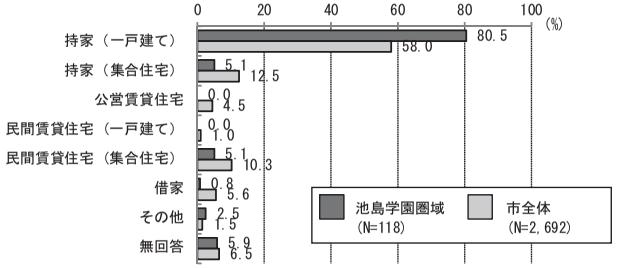
買い物や散歩の頻度　週の半数以上外出している人は買い物で2割台半ば、散歩で4割強



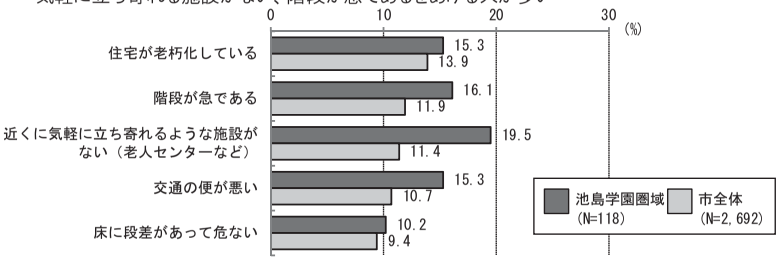
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは5割 なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割強



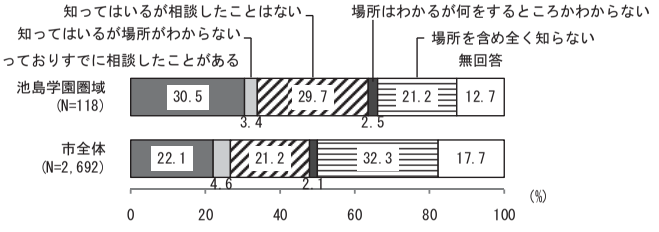
住まいの状況　持家が8割台半ば　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　気軽に立ち寄れる施設がない、階段が急であるをあげる人が多い

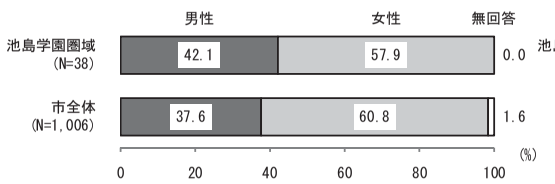


地域包括支援センターの認知度　6割強の人が知っている

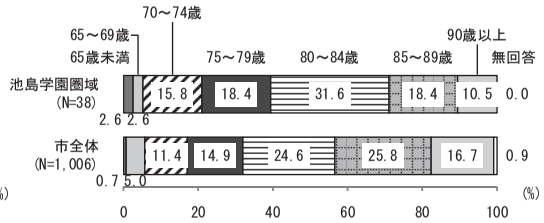


要介護高齢者

性別　女性が6割弱、男性が4割強

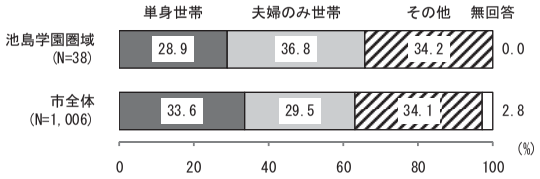


年齢　80 歳以上が6割



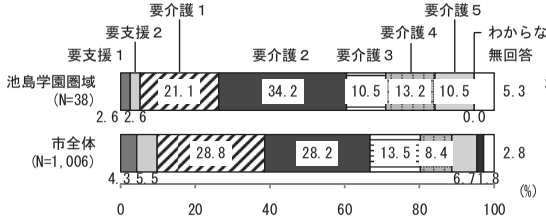
家族構成

単身世帯が3割弱
夫婦のみ世帯が3割台半ば



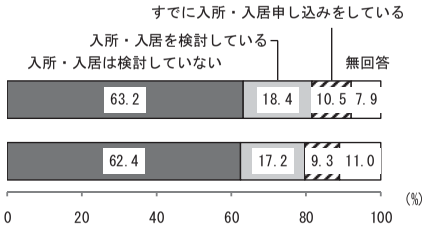
要介護度

要支援が1割未満、要介護1，2が5割台半ば、
要介護3～5が3割台半ば

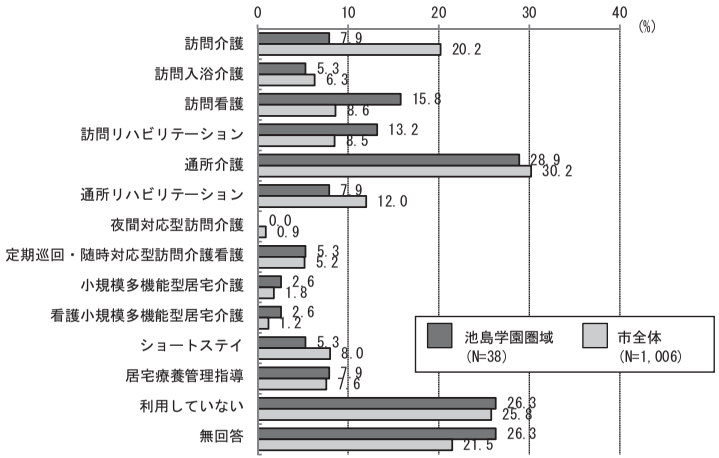


施設等への入所・入居の検討状況

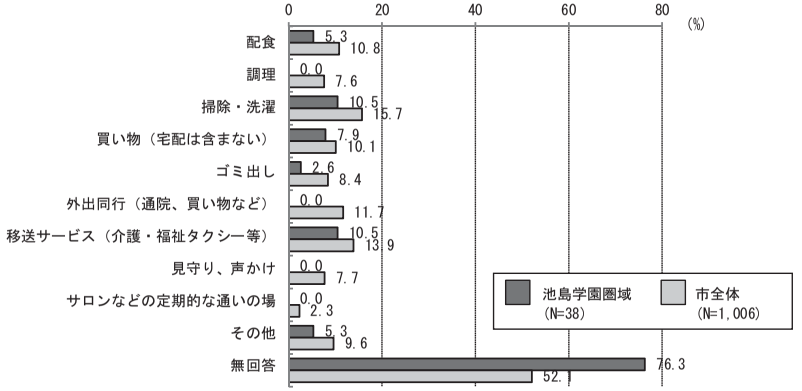
入所･入居は検討していない人が6割強
検討している人が2割弱



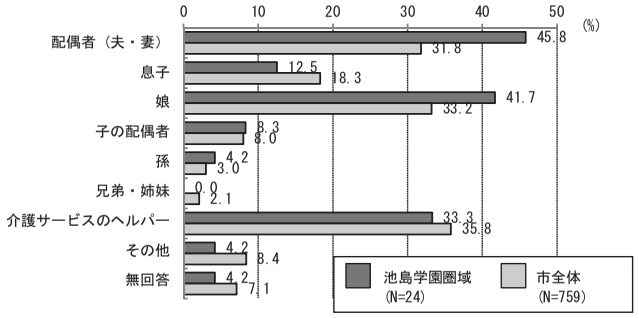
利用しているサービス　通所介護、訪問看護、訪問リハビリテーションを利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、移送サービス、買い物を利用している人が多い



主な介護者　配偶者が最も多く、次いで娘となっている



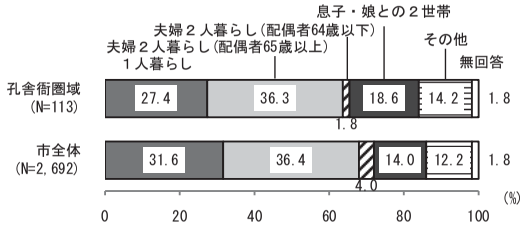
6．孔舎衙圏域

高齢者（65 歳以上）数　5,679 人	前期高齢者　2,997 人	後期高齢者　2,682 人	ひとり暮らし高齢者数　1,606 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,810 世帯	高齢化率 27.5%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,035 人	要支援1　173 人	要支援2　133 人	要介護1　182 人	要介護2　197 人	要介護3　132 人	要介護4　123 人	要介護 5　95 人	認定率　17.8%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

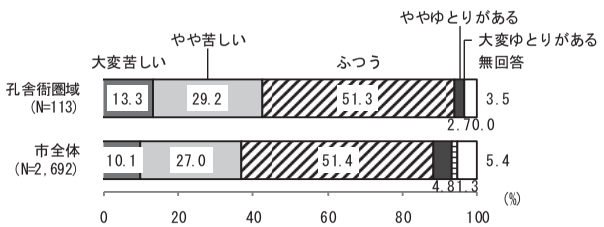
家族構成

1人暮らしが3割弱、夫婦 2 人暮らしが4割弱
市全体に比べて1人暮らしが少ない



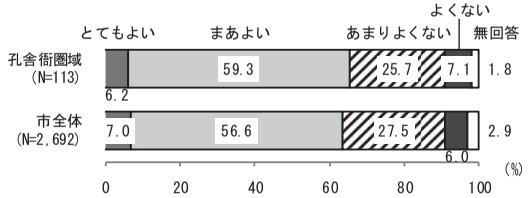
生活の状況

大変苦しい、やや苦しい人は4割強



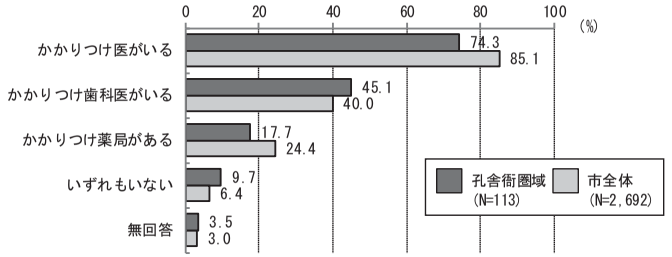
健康状態

おおむね健康な人は6割台半ば



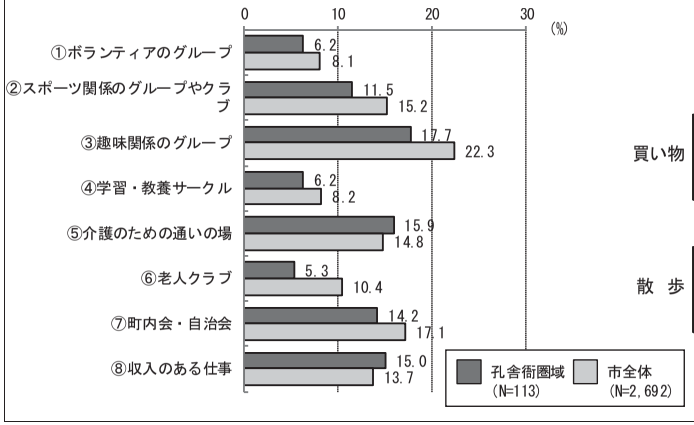
かかりつけ医の有無

かかりつけ医のいる人は7割台半ば



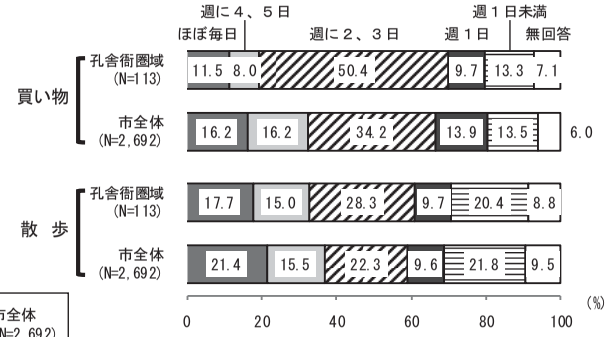
社会活動への参加状況

趣味のグループに参加している人が最も多く2割弱



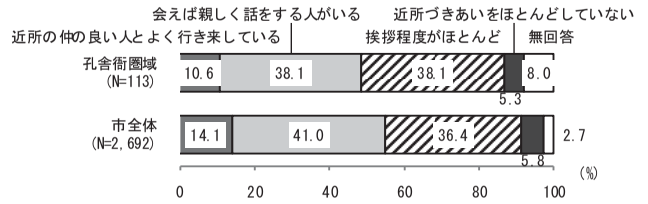
買い物や散歩の頻度

週の半数以上外出している人は
買い物では2割弱、散歩では3割強



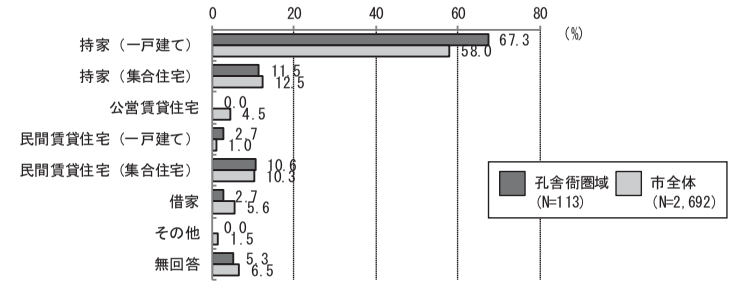
近所づきあい

比較的親密な近所づきあいをしているのは5割弱
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割



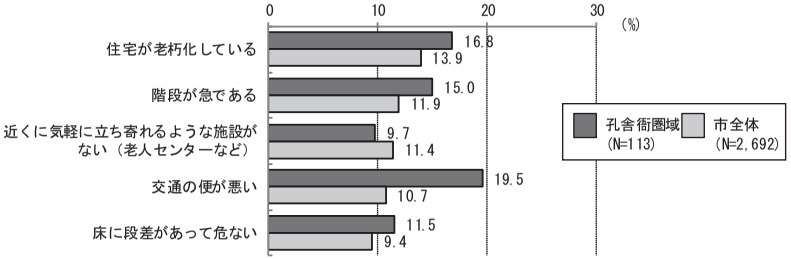
住まいの状況

持家が8割弱　なかでも一戸建てが多い



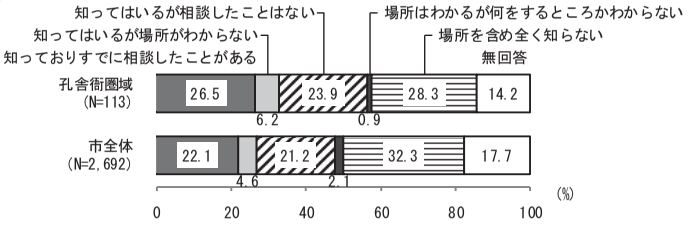
住まい等で不便なこと（上位5つ）

交通の便が悪い、住宅の老朽化、階段が急であるをあげる人が多い



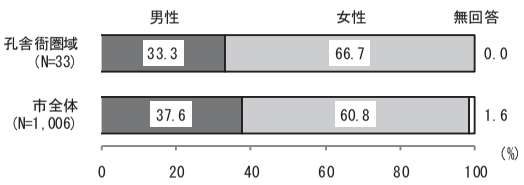
地域包括支援センターの認知度

5割台半ばの人が知っている

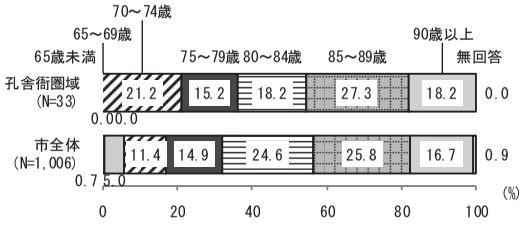


要介護高齢者

性別　女性が7割台半ば、男性が3割強

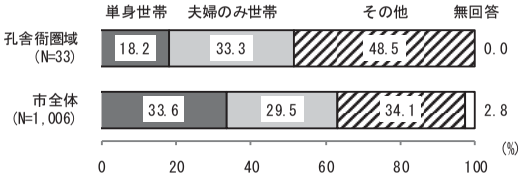


年齢　80 歳以上が6割強



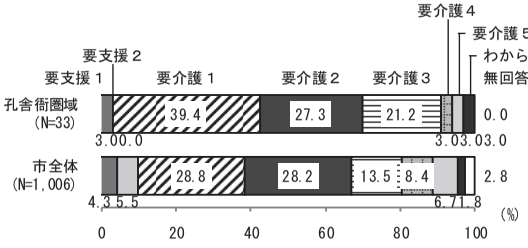
家族構成

単身世帯が2割弱
夫婦のみ世帯が3割強



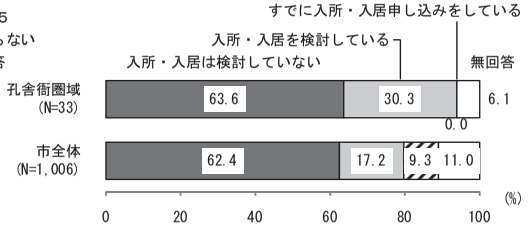
要介護度

要支援が1割未満、要介護1，2が6割台半ば、
要介護3～5が3割弱

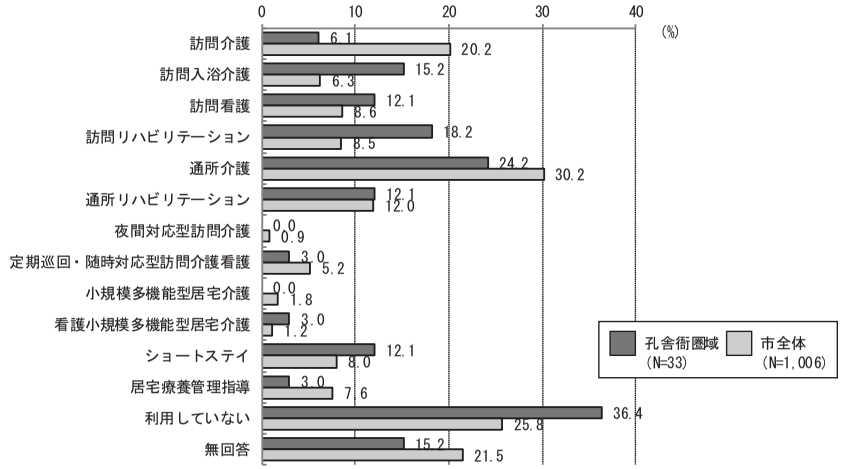


施設等への入所・入居の検討状況

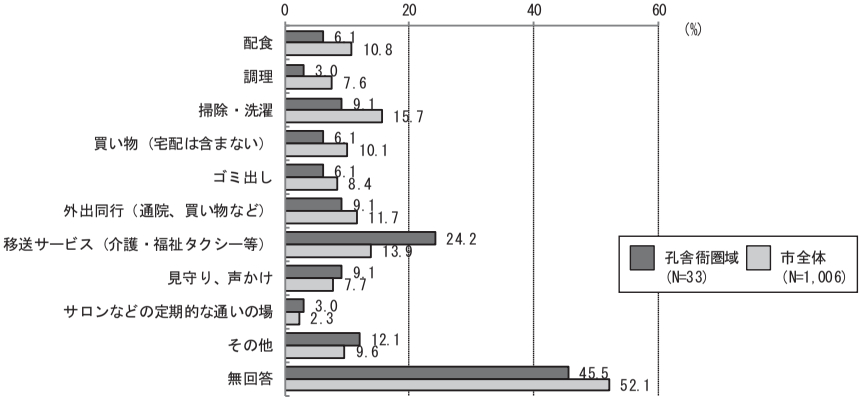
入所･入居は検討していない人が6割強
検討している人が3割



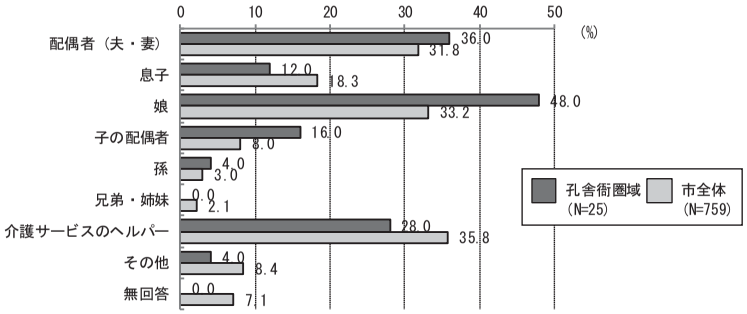
利用しているサービス　通所介護、訪問リハビリテーション訪問を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　移送サービスを利用している人が最も多い



主な介護者　娘が最も多く、次いで配偶者となっている



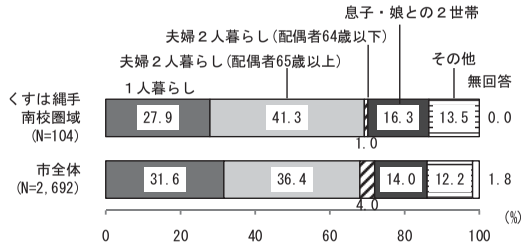
7．くすは縄手南校圏域

高齢者（65 歳以上）数　4,531 人	前期高齢者　2,218 人	後期高齢者　2,313 人	ひとり暮らし高齢者数　1,480 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,362 世帯	高齢化率 28.9%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,040 人	要支援1　176 人	要支援2　135 人	要介護1　187 人	要介護2　191 人	要介護3　137 人	要介護 4　99 人	要介護5　115 人	認定率　22.5%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

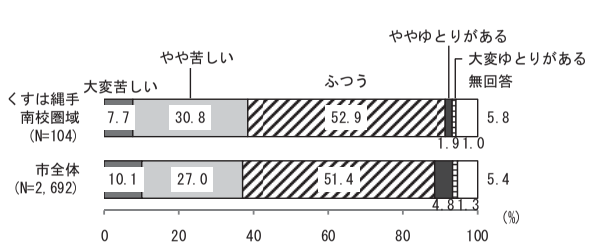
家族構成

1人暮らしが3割弱、夫婦 2 人暮らしが4割強
市全体に比べて1人暮らしが少ない



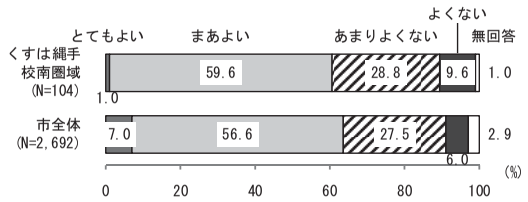
生活の状況

大変苦しい、やや苦しい人は4割弱



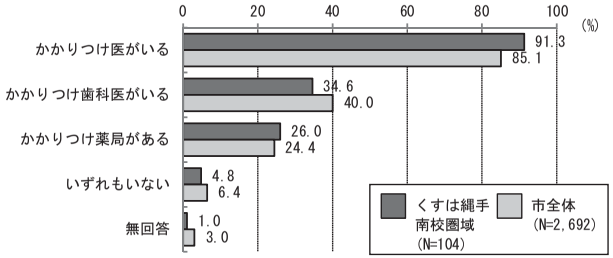
健康状態

おおむね健康な人は6割



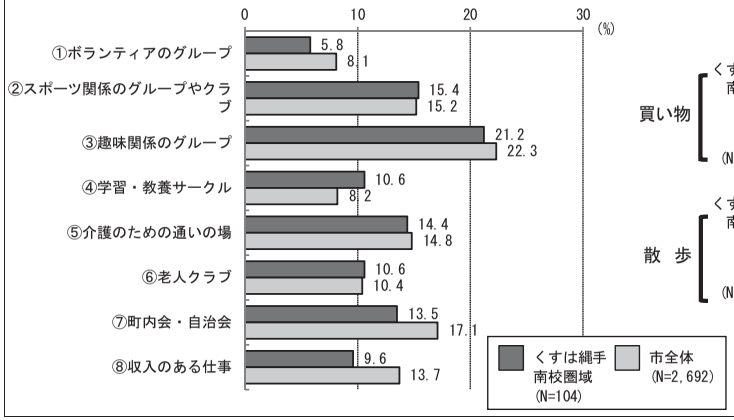
かかりつけ医の有無

かかりつけ医のいる人は9割強



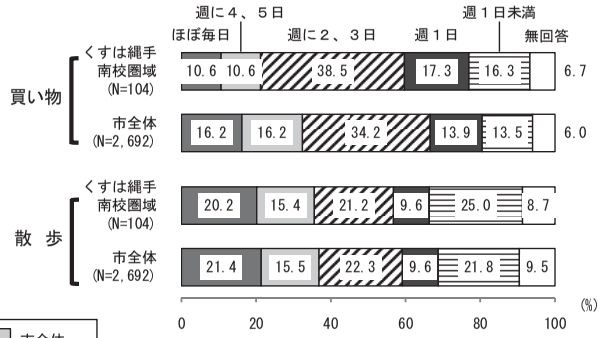
社会活動への参加状況

趣味のグループに参加している人が最も多く2割強



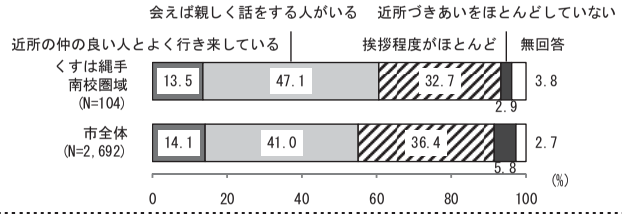
買い物や散歩の頻度

週の半数以上外出している人は
買い物で2割強、散歩で3割台半ば



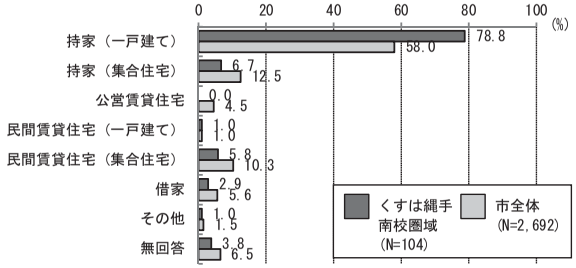
近所づきあい

比較的親密な近所づきあいをしているのは6割
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割強



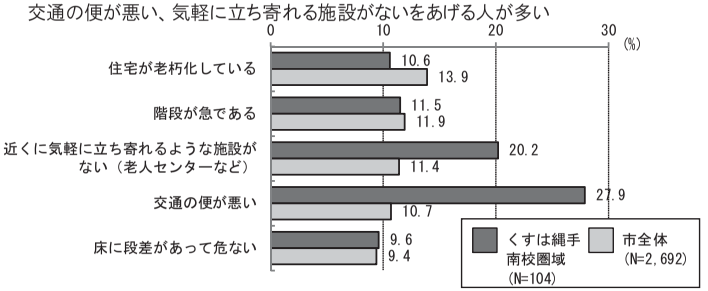
住まいの状況

持家が8割台半ば　なかでも一戸建てが多い



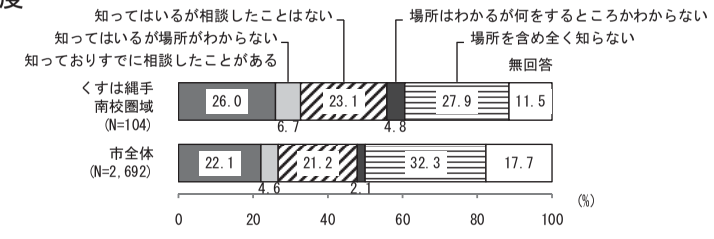
住まい等で不便なこと（上位5つ）

交通の便が悪い、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い



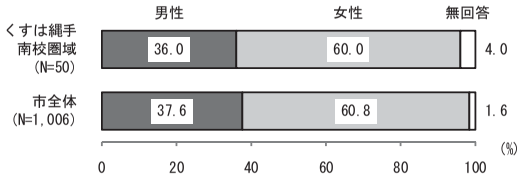
地域包括支援センターの認知度

5割台半ばの人が知っている

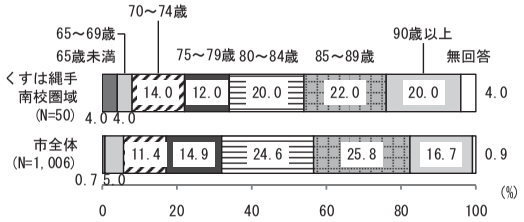


要介護高齢者

性別　女性が6割、男性が3割台半ば

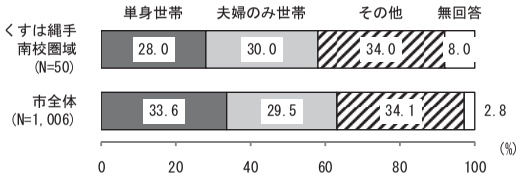


年齢　80歳以上が6割強



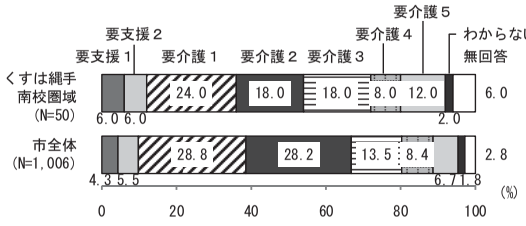
家族構成

単身世帯が3割弱
夫婦のみ世帯が3割



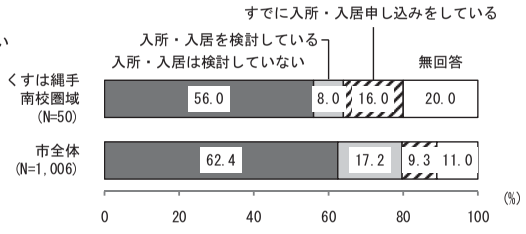
要介護度

要支援が1割強、要介護1，2が4割強、
要介護3～5が4割弱

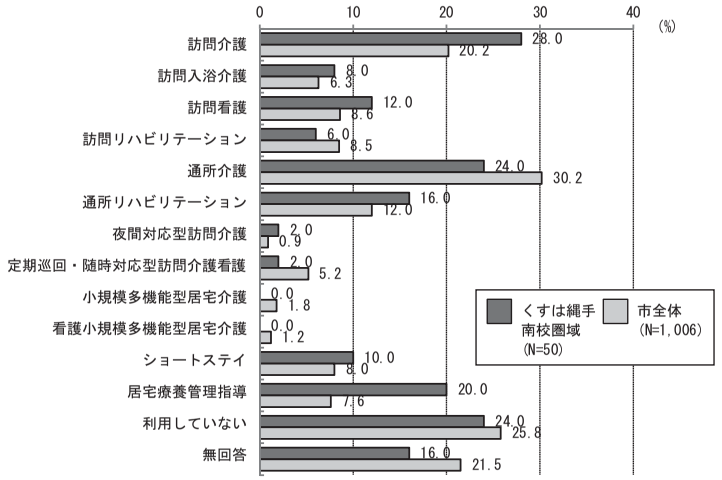


施設等への入所・入居の検討状況

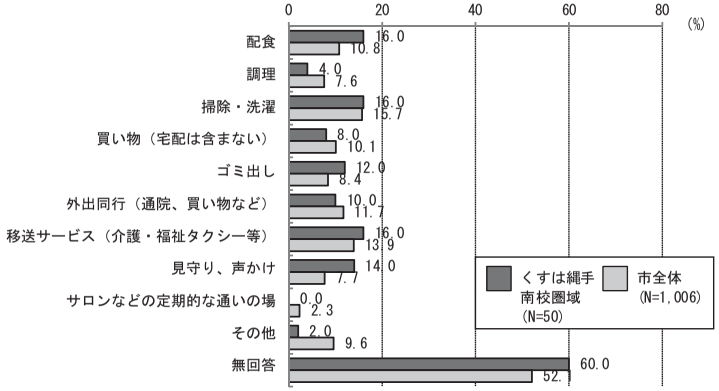
入所･入居は検討していない人が5割台半ば
検討している人が1割弱



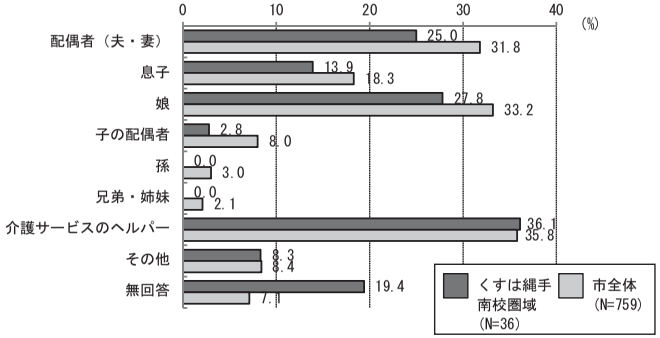
利用しているサービス　訪問介護、通所介護、居宅療養管理指導を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　配食、掃除･洗濯、移送サービスを利用している人が多い



主な介護者　介護サービスのヘルパーが最も多く、次いで娘、配偶者となっている

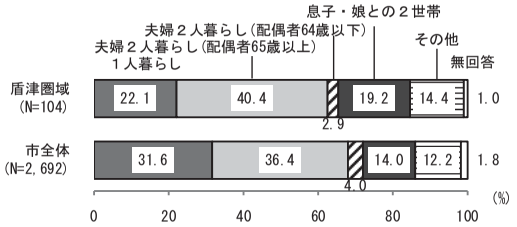


8．盾津圏域

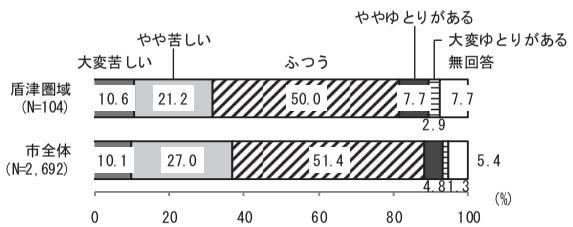
高齢者（65 歳以上）数　9,287 人	前期高齢者　4,547 人	後期高齢者　4,740 人	ひとり暮らし高齢者数　2,918 世帯	65 歳以上のみ世帯数　4,699 世帯	高齢化率 24.7%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,938 人	要支援1　306 人	要支援2　297 人	要介護1　340 人	要介護2　369 人	要介護3　231 人	要介護4　212 人	要介護5　183 人	認定率　20.3%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

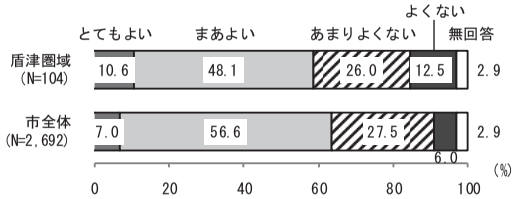
家族構成　1人暮らしが2割強、夫婦２人暮らしが4割 市全体に比べて1人暮らしが少ない



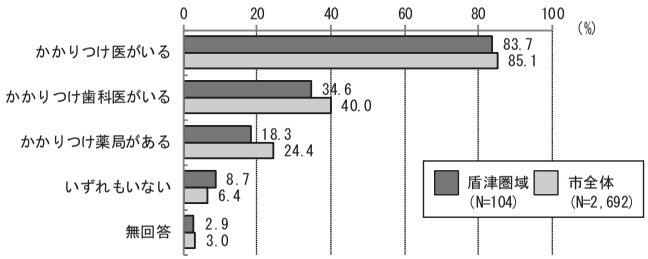
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は3割強



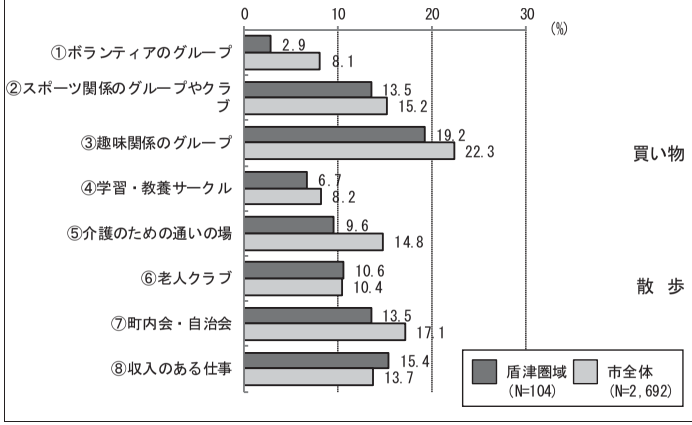
健康状態　おおむね健康な人は6割弱



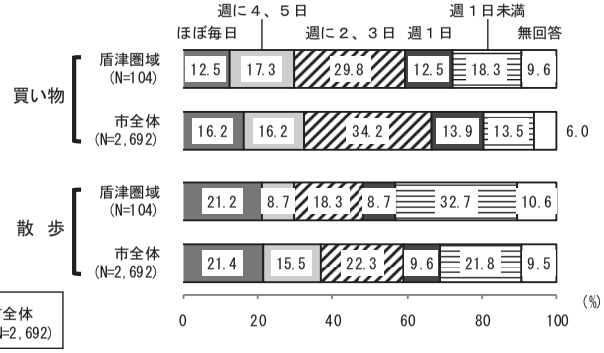
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は8割強



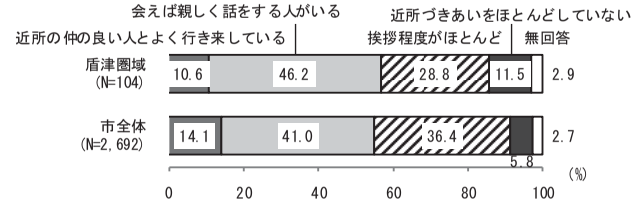
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く2割弱



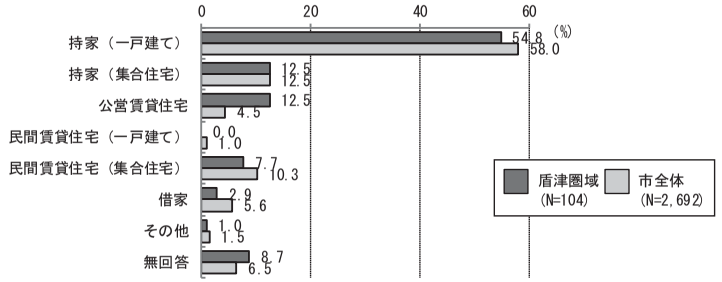
買い物や散歩の頻度　買い物、散歩とも週の半数以上外出している人は3割



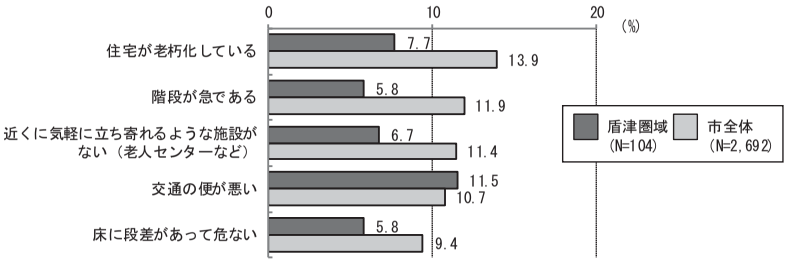
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは5割台半ば なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割



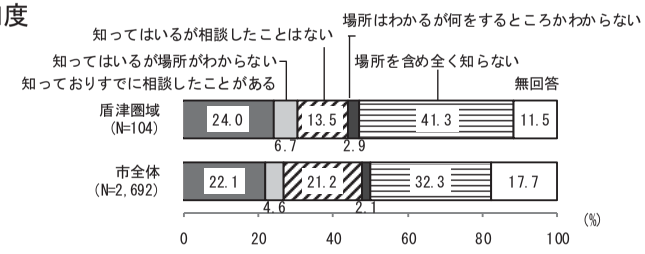
住まいの状況　持家が7割弱　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　交通の便が悪い、住宅の老朽化、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い

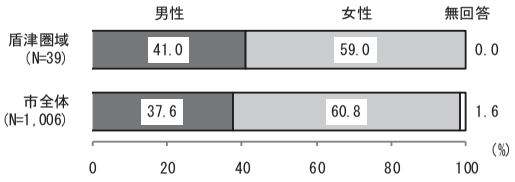


地域包括支援センターの認知度　4割台半ばの人が知っている

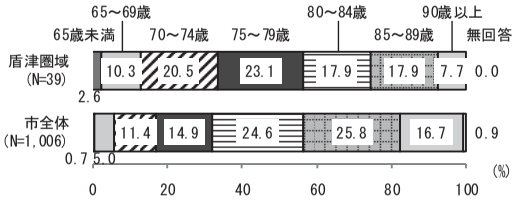


要介護高齢者

性別　女性が6割弱、男性が4割強

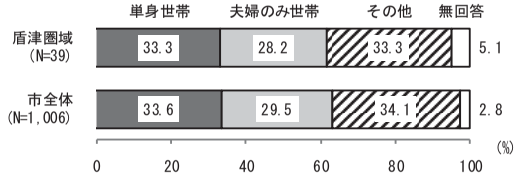


年齢　80 歳以上が4割強



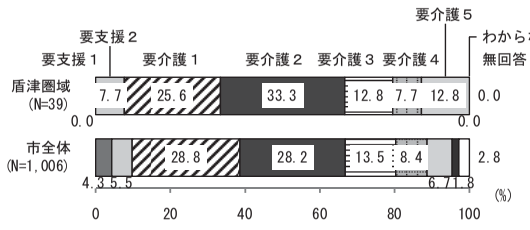
家族構成

単身世帯が3割強
夫婦のみ世帯が3割弱



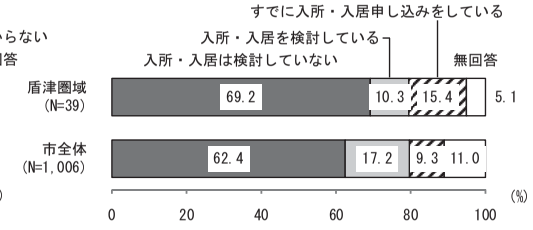
要介護度

要支援が1割弱、要介護1，2が6割弱、
要介護3～5が3割強

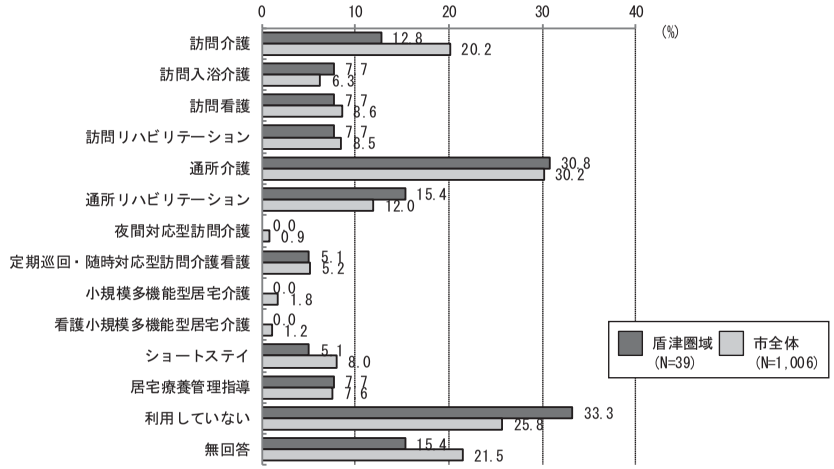


施設等への入所・入居の検討状況

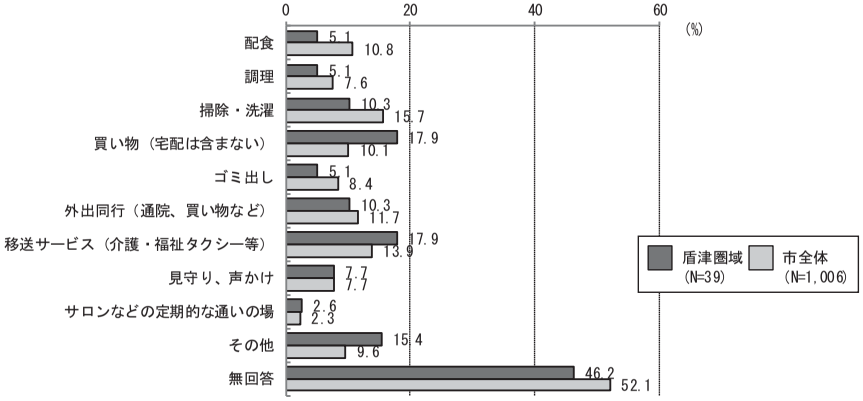
入所･入居は検討していない人が約7割弱
検討している人が1割



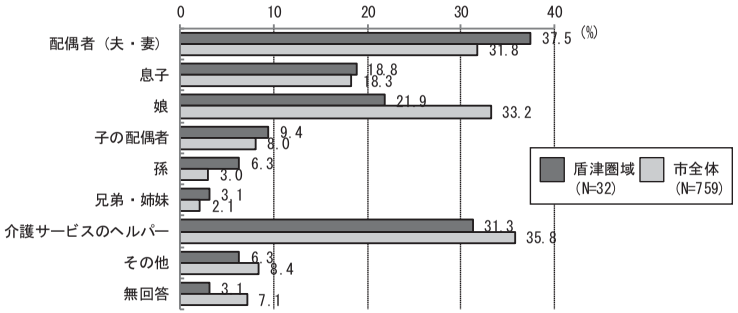
利用しているサービス　通所介護、通所リハビリテーション、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　買い物、移送サービスを利用している人が多い



主な介護者　配偶者が最も多く、次いで介護サービスのヘルパーとなっている

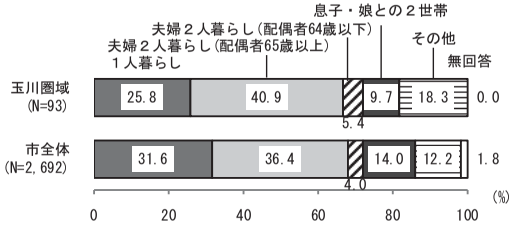


９．玉川圏域

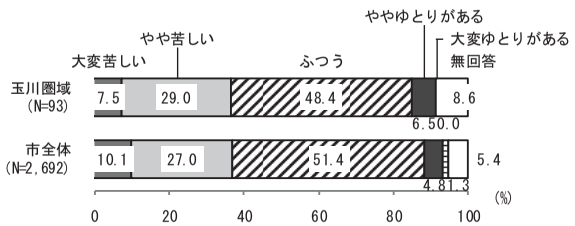
高齢者（65 歳以上）数　6,144 人	前期高齢者　3,121 人	後期高齢者　3,023 人	ひとり暮らし高齢者数　1,937 世帯	65 歳以上のみ世帯数　3,125 世帯	高齢化率 27.5%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,266 人	要支援１　199 人	要支援２　181 人	要介護１　260 人	要介護２　203 人	要介護３　162 人	要介護４　140 人	要介護５　121 人	認定率　20.1%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

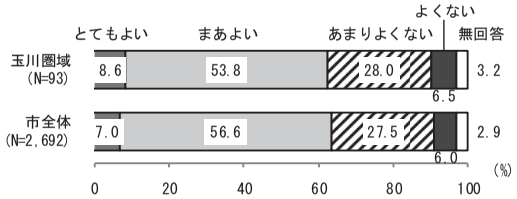
家族構成
1人暮らしが2割台半ば、夫婦２人暮らしが4割台半ば
市全体に比べて1人暮らしが少ない



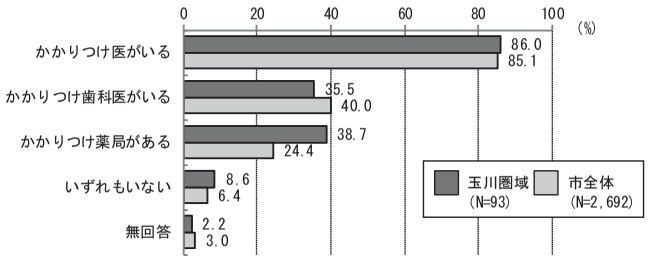
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は3割台半ば



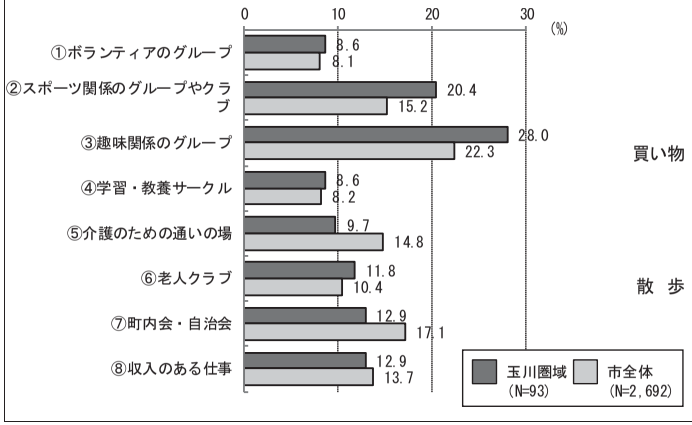
健康状態
おおむね健康な人は6割強



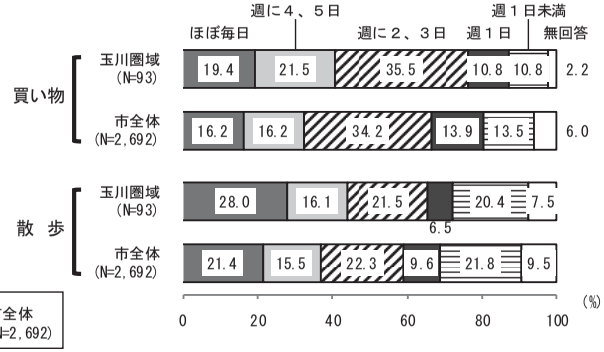
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は9割台半ば



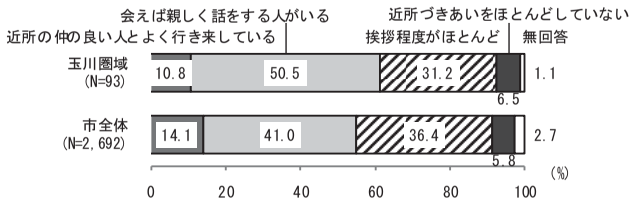
社会活動への参加状況
趣味のグループに参加している人が最も多く3割弱



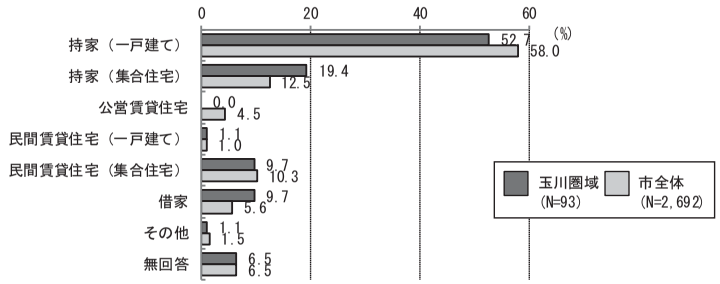
買い物や散歩の頻度
週の半数以上外出している人は買い物で4割、散歩で4割台半ば



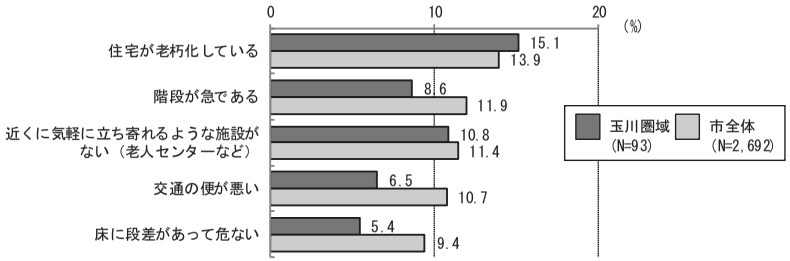
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは6割強
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割



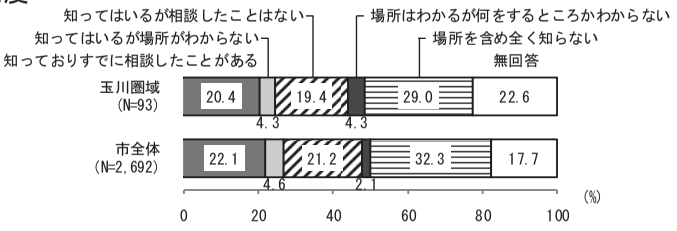
住まいの状況
持家が7割強　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
住宅の老朽化、気軽に立ち寄れる施設がない、階段が急であるをあげる人が多い

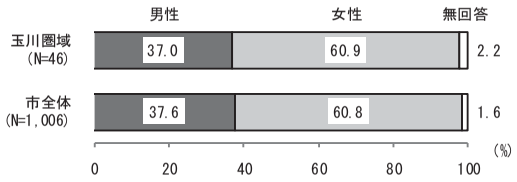


地域包括支援センターの認知度
4割台半ばの人が知っている

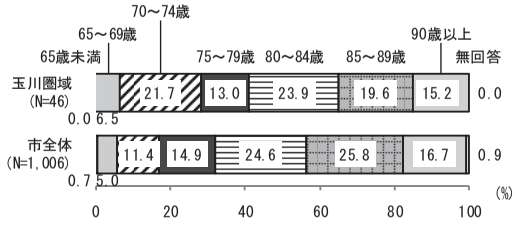


要介護高齢者

性別　女性が6割、男性が4割弱

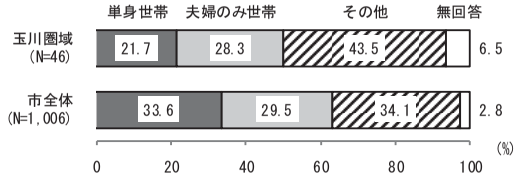


年齢　80歳以上が6割弱



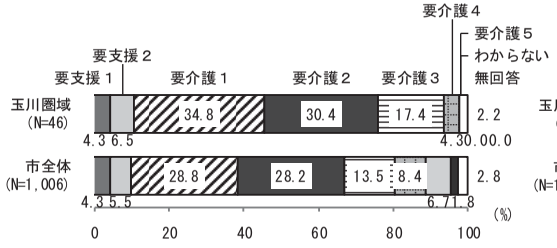
家族構成

単身世帯が2割強
夫婦のみ世帯が3割弱



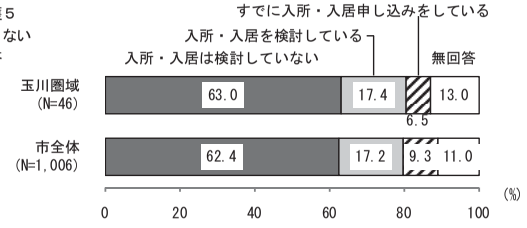
要介護度

要支援が1割、要介護1，2が6割台半ば、
要介護3～5が2割強

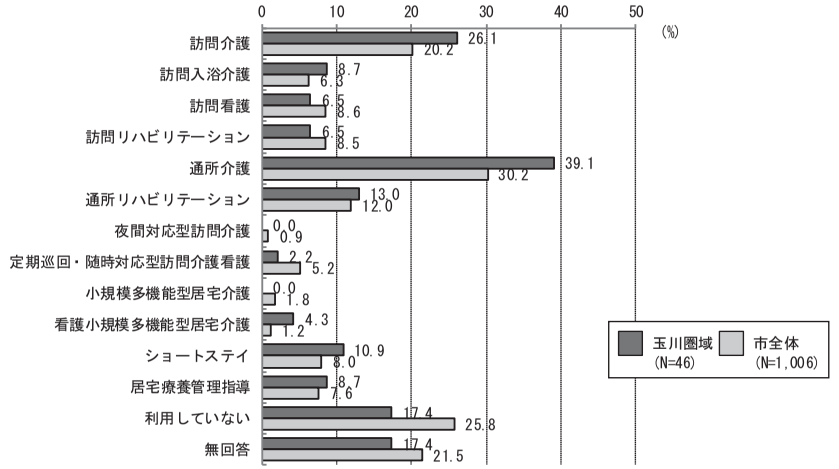


施設等への入所・入居の検討状況

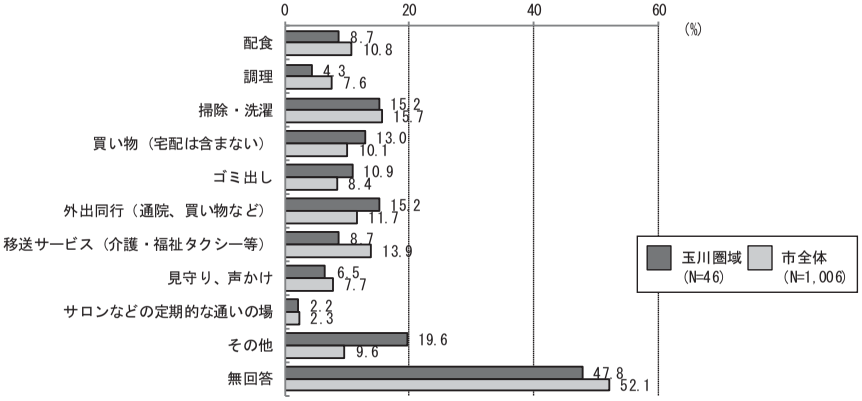
入所･入居は検討していない人が6割強
検討している人が2割弱



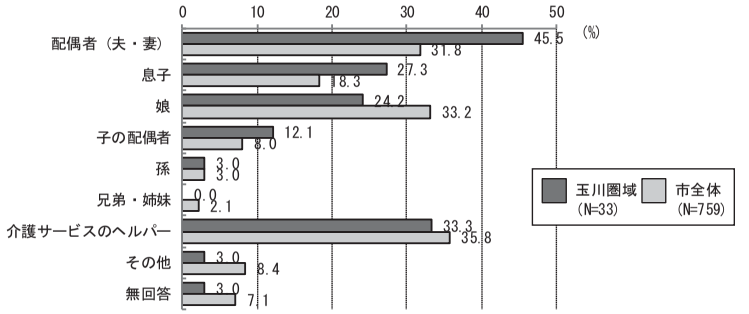
利用しているサービス　通所介護、訪問介護、通所リハビリテーションを利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、外出同行、買い物を利用している人が多い



主な介護者　配偶者が最も多く、次いで介護サービスのヘルパーとなっている

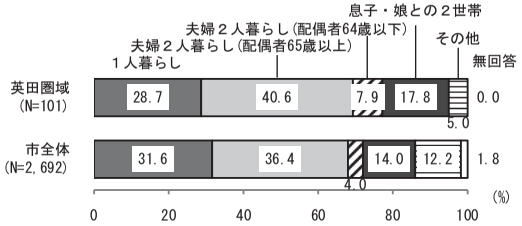


１０．英田圏域

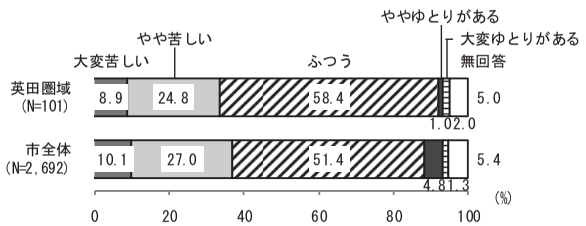
高齢者（65 歳以上）数　6,894 人	前期高齢者　3,402 人	後期高齢者　3,492 人	ひとり暮らし高齢者数　2,345 世帯	65 歳以上のみ世帯数　3,690 世帯	高齢化率 25.3%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,400 人	要支援１　263 人	要支援２　216 人	要介護１　256 人	要介護２　234 人	要介護３　152 人	要介護４　165 人	要介護５　114 人	認定率　20.0%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

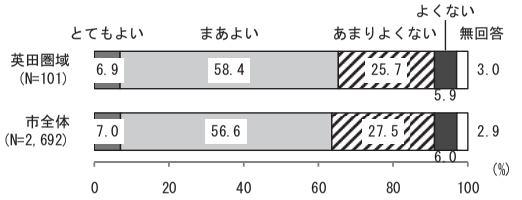
家族構成　1人暮らしが3割弱、夫婦２人暮らしが4割 市全体に比べて1人暮らしが少ない



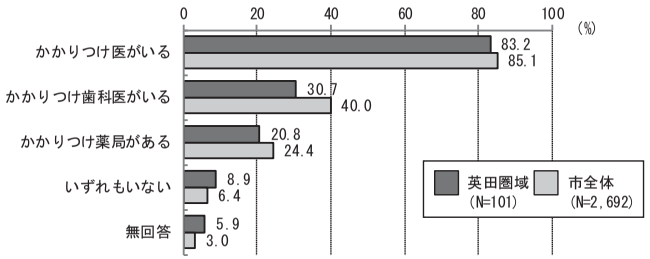
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は3割強



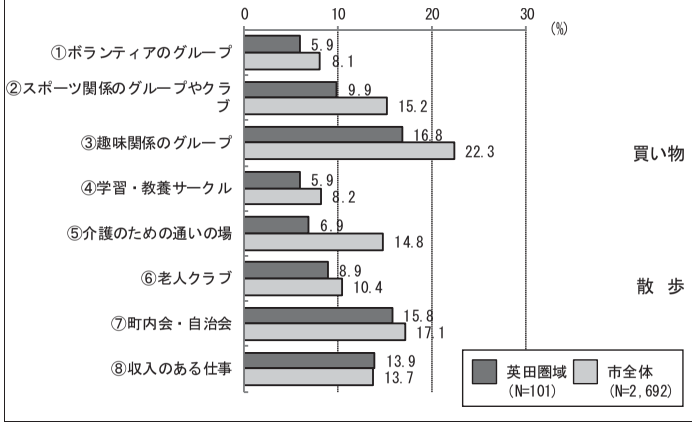
健康状態　おおむね健康な人は6割台半ば



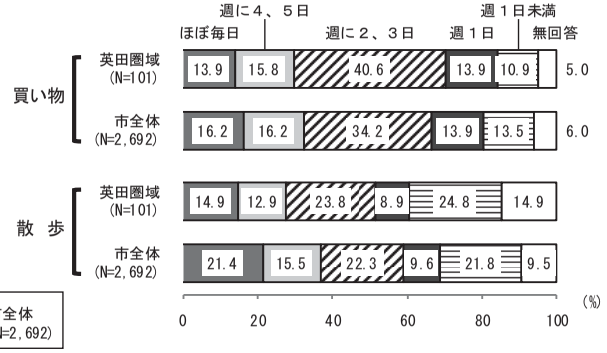
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は8割強



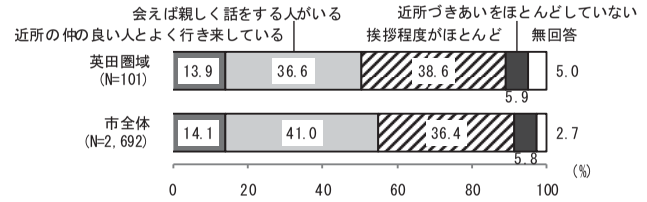
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く1割台半ば



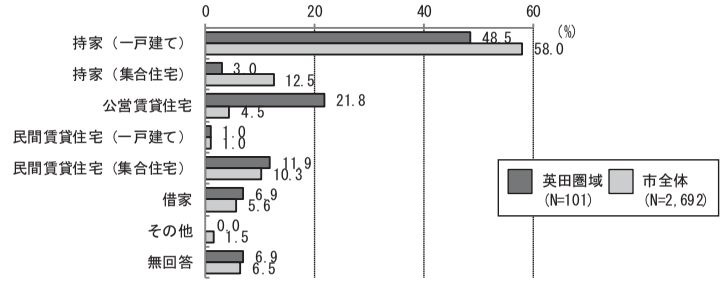
買い物や散歩の頻度　買い物、散歩とも週の半数以上外出している人は3割弱



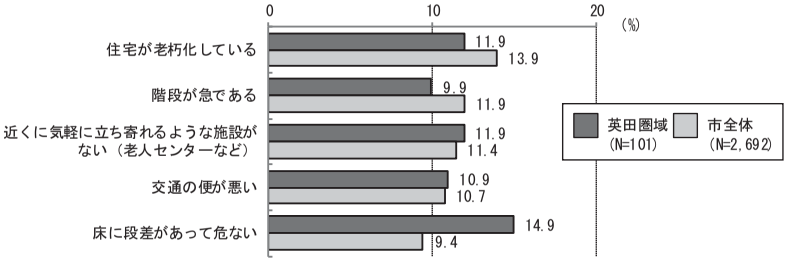
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは5割 なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割強



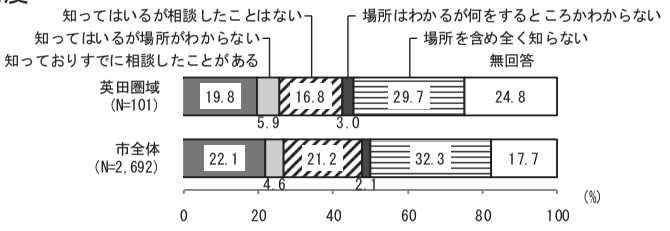
住まいの状況　持家が5割強　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　床に段差があって危ない、住宅の老朽化、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い

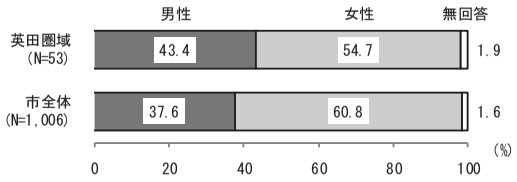


地域包括支援センターの認知度　4割強の人が知っている

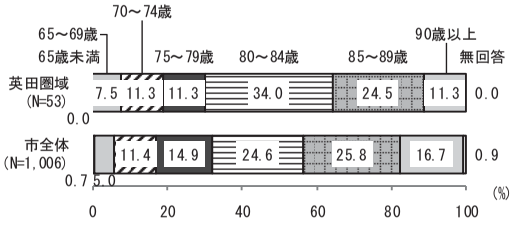


要介護高齢者

性別　女性が5割台半ば、男性が4割台半ば

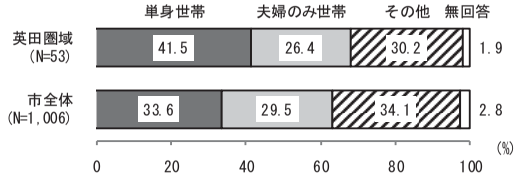


年齢　80歳以上が7割



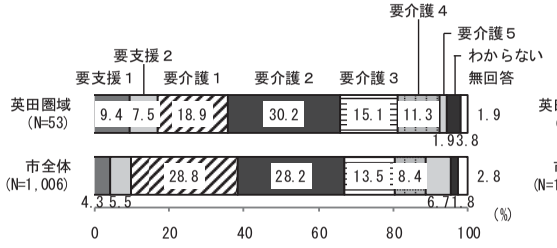
家族構成

単身世帯が4割強
夫婦のみ世帯が3割台半ば



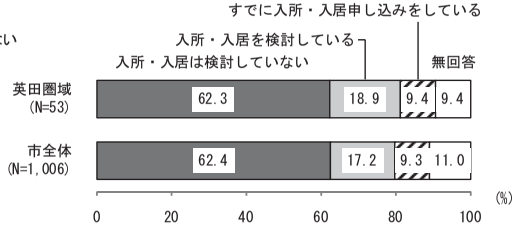
要介護度

要支援が1割台半ば、要介護1，2が5割弱、
要介護3～5が3割弱

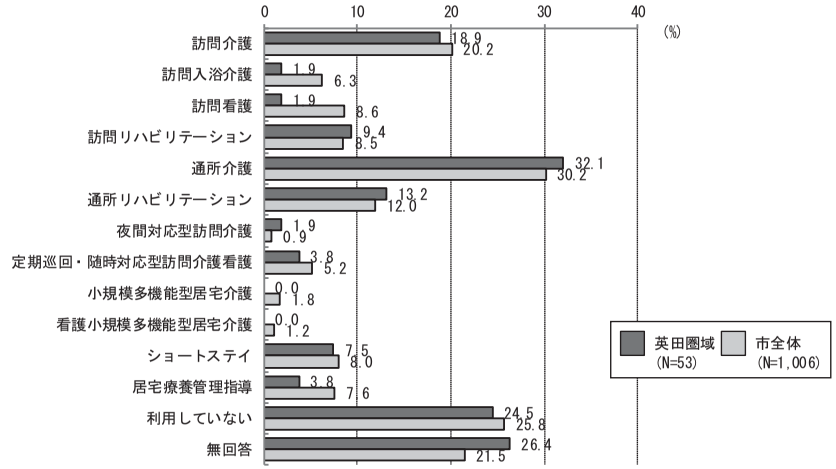


施設等への入所・入居の検討状況

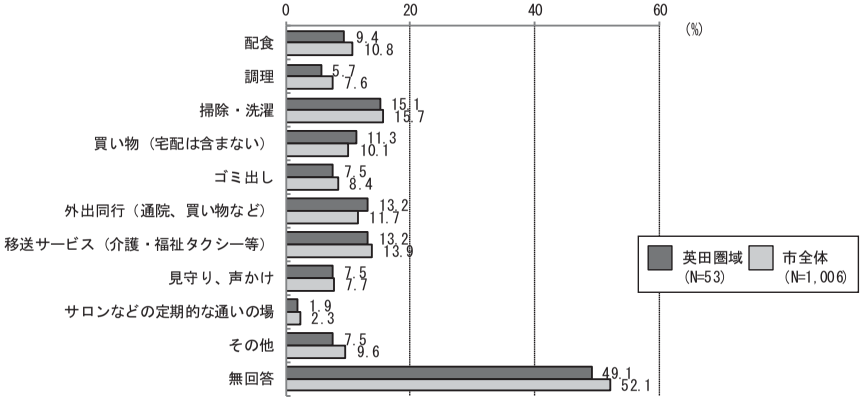
入所･入居は検討していない人が6割強
検討している人が2割弱



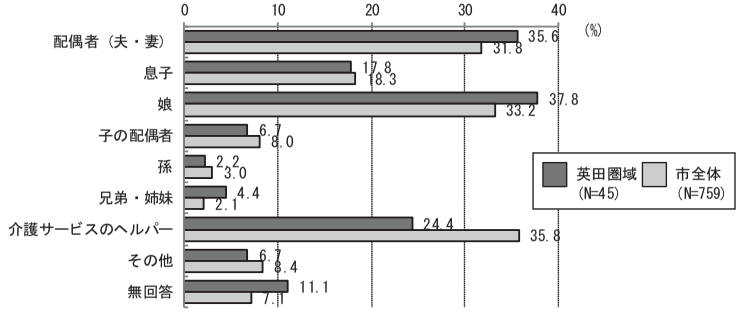
利用しているサービス　通所介護、訪問介護、通所リハビリテーションを利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、外出同行、移送サービスを利用している人が多い



主な介護者　娘が最も多く、次いで配偶者となっている

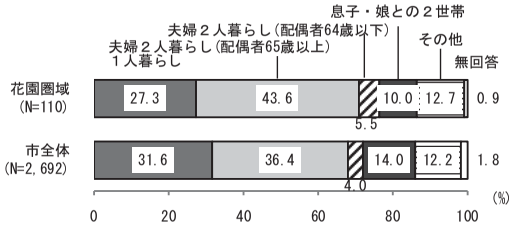


１１．花園圏域

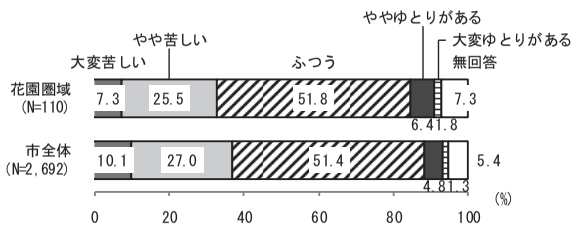
高齢者（65 歳以上）数　6,603 人	前期高齢者　3,159 人	後期高齢者　3,444 人	ひとり暮らし高齢者数　2,203 世帯	65 歳以上のみ世帯数　3,491 世帯	高齢化率 29.7%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,450 人	要支援１　302 人	要支援２　219 人	要介護１　320 人	要介護２　235 人	要介護３　140 人	要介護４　129 人	要介護５　105 人	認定率　21.7%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

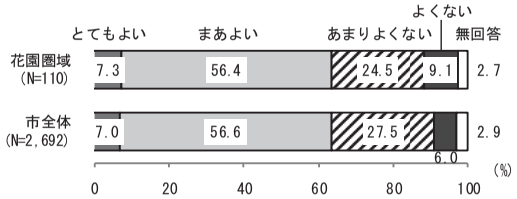
家族構成
1人暮らしが3割弱、夫婦２人暮らしが4割強
市全体に比べて1人暮らしが少ない



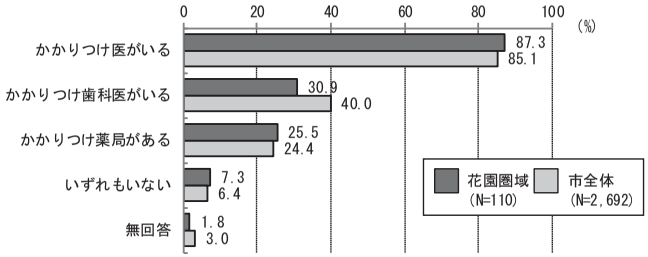
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は3割強



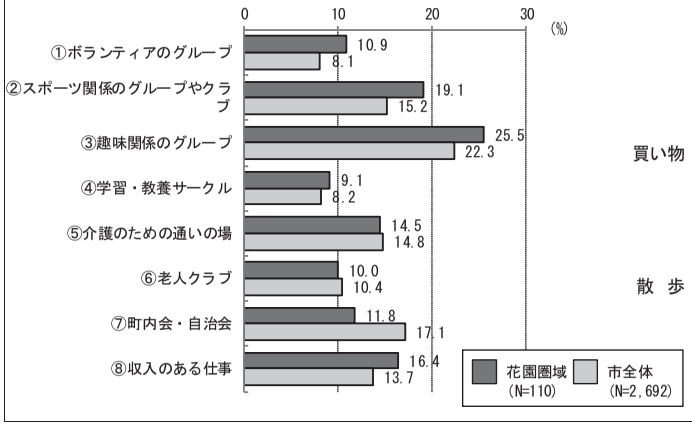
健康状態
おおむね健康な人は6割強



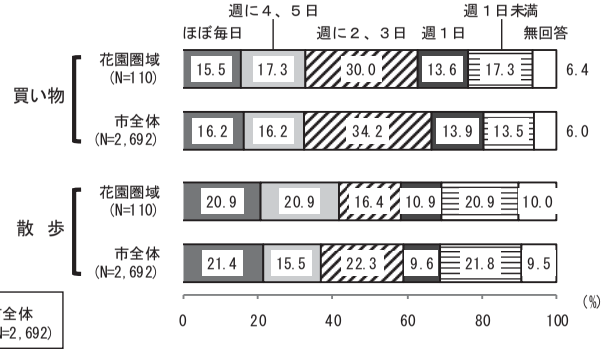
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は9割弱



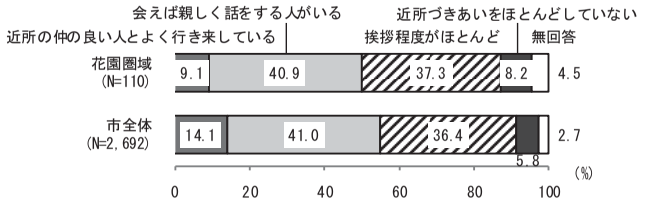
社会活動への参加状況
趣味のグループに参加している人が最も多く2割台半ば



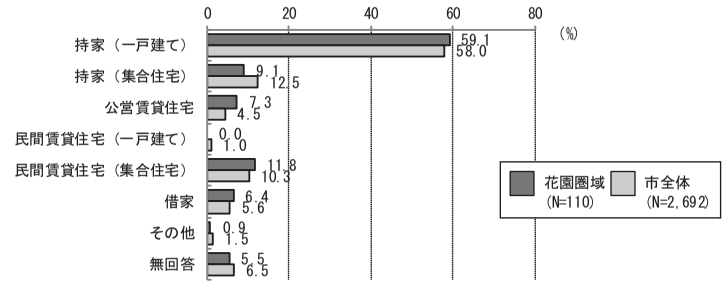
買い物や散歩の頻度
週の半数以上外出している人は買い物で3割強、散歩で4割強



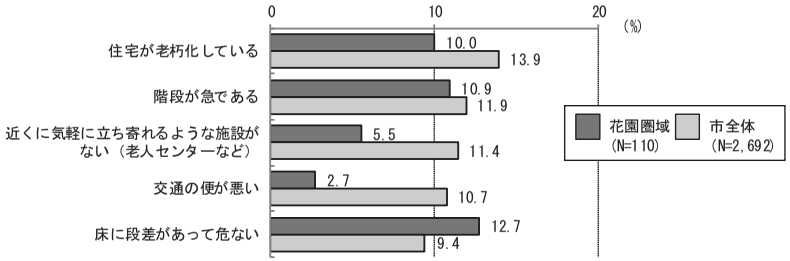
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは5割
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割弱



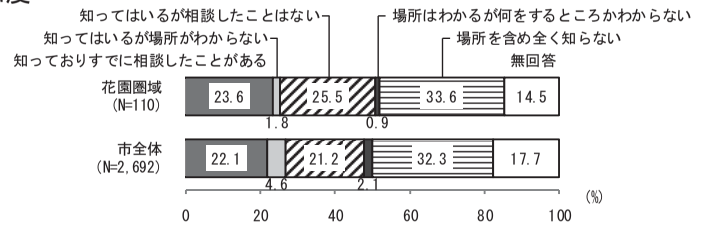
住まいの状況
持家が7割弱　なかでも1戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
床に段差があって危ない、階段が急である、住宅の老朽化をあげる人が多い

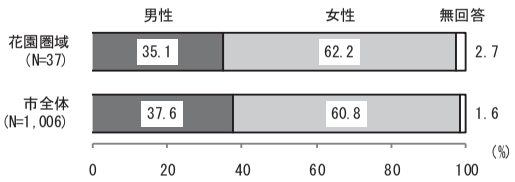


地域包括支援センターの認知度
5割の人が知っている

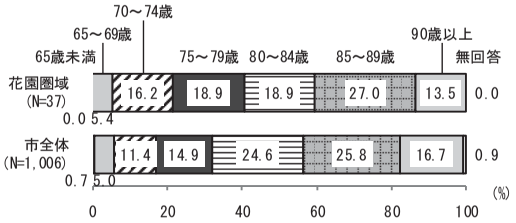


要介護高齢者

性別　女性が6割強、男性が3割台半ば

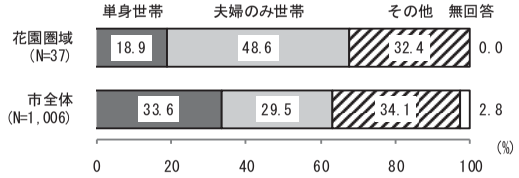


年齢　80 歳以上が6割



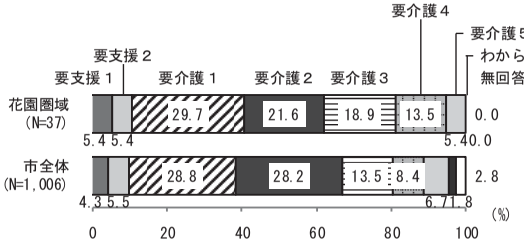
家族構成

単身世帯が2割弱
夫婦のみ世帯が5割弱



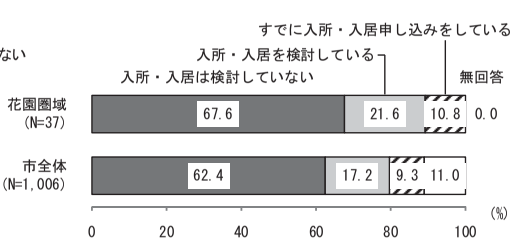
要介護度

要支援が1割、要介護1，2が5割強、
要介護3～5が4割弱

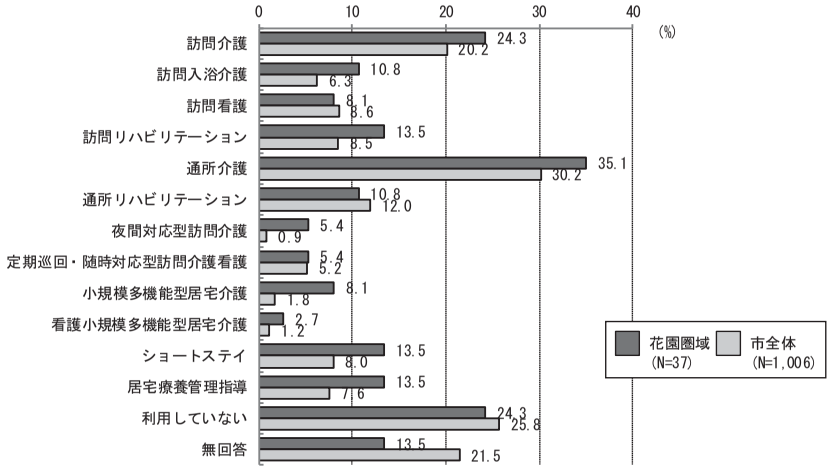


施設等への入所・入居の検討状況

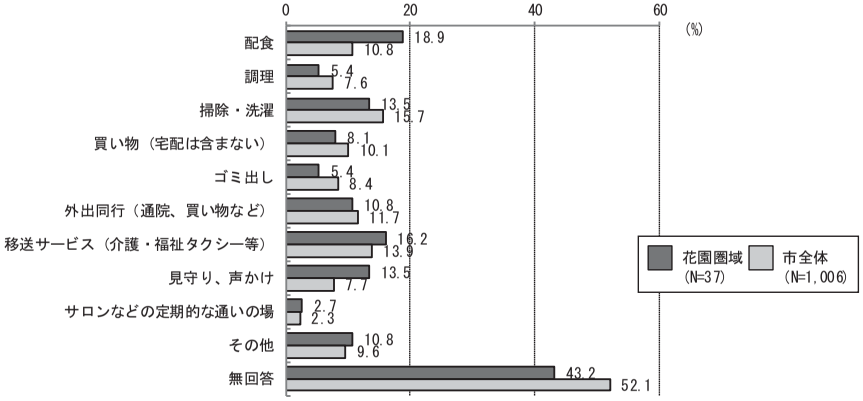
入所･入居は検討していない人が7割弱
検討している人が2割強



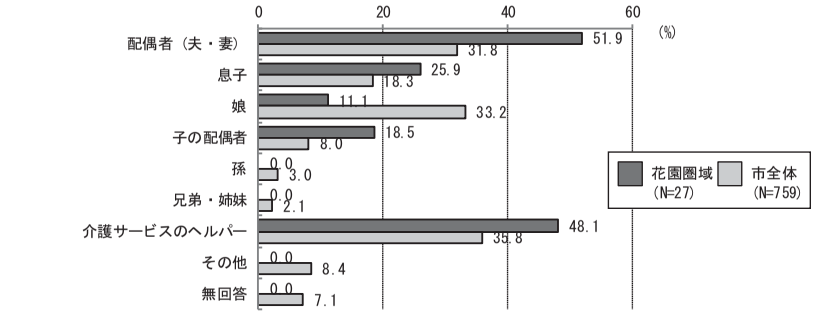
利用しているサービス　通所介護、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　配食、移送サービスを利用している人が多い



主な介護者　配偶者が最も多く、次いで介護サービスのヘルパーとなっている

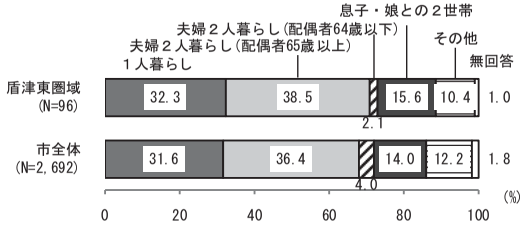


１２．盾津東圏域

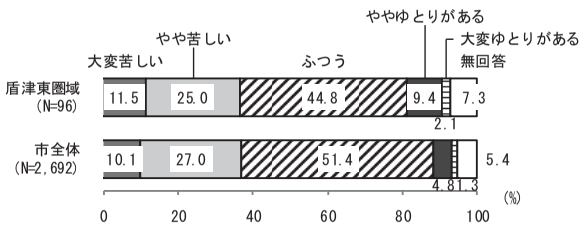
高齢者（65 歳以上）数　4,879 人	前期高齢者　2,558 人	後期高齢者　2,321 人	ひとり暮らし高齢者数　1,494 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,446 世帯	高齢化率 22.1%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　993 人	要支援１　171 人	要支援２　140 人	要介護１　177 人	要介護２　181 人	要介護３　140 人	要介護４　107 人	要介護５　77 人	認定率　19.8%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

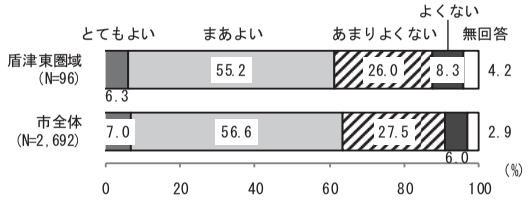
家族構成　1人暮らしが3割強、夫婦２人暮らしが4割弱 市全体に比べて1人暮らしがやや多い



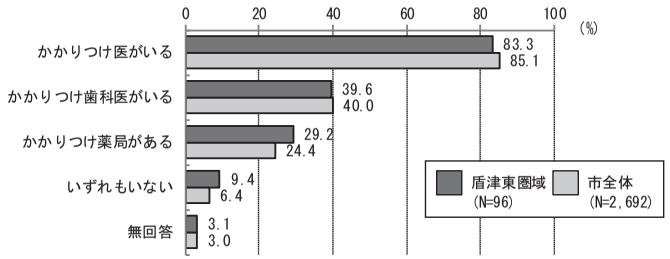
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は3割台半ば



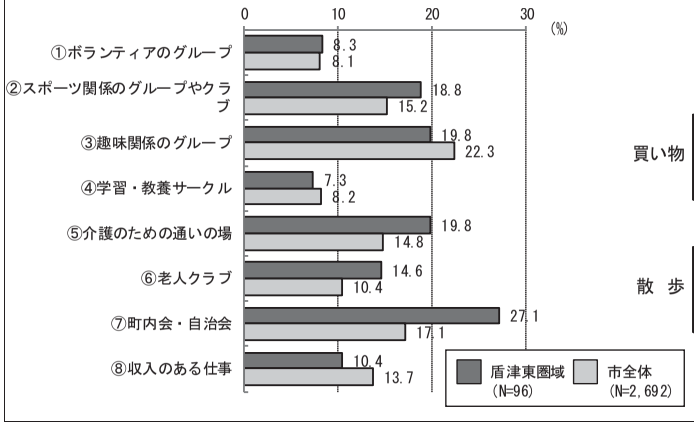
健康状態　おおむね健康な人は6割強



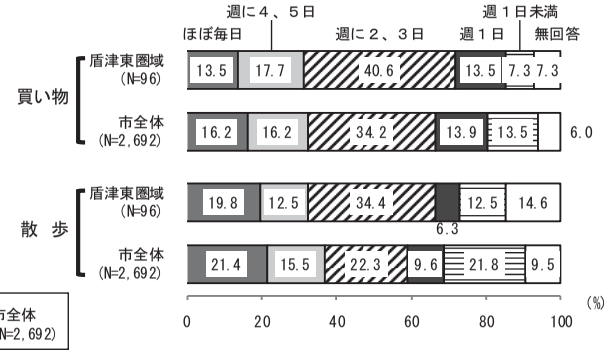
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は8割強



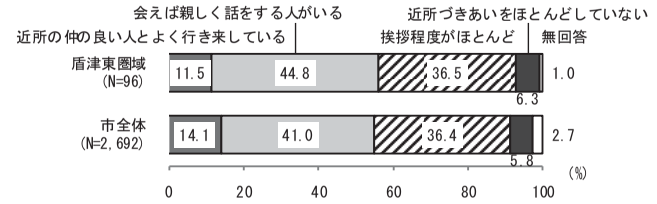
社会活動への参加状況　町内会・自治会に参加している人が最も多く3割弱



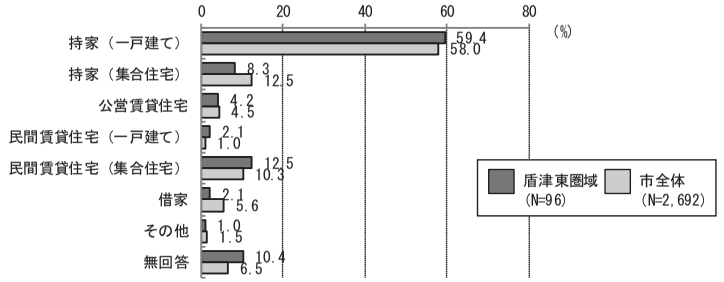
買い物や散歩の頻度　買い物、散歩とも週の半数以上外出している人は3割強



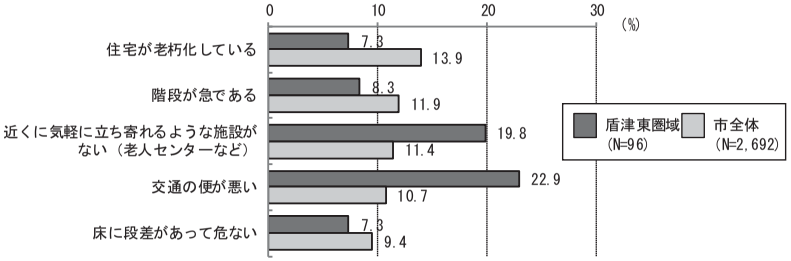
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは５割台半ば なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割強



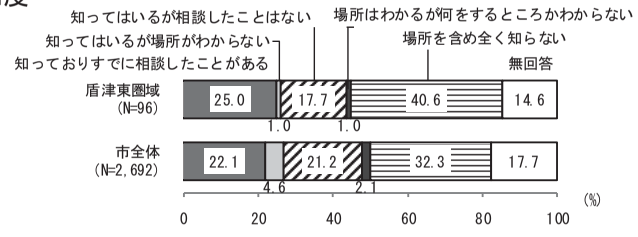
住まいの状況　持家が7割弱　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　交通の便が悪い、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い

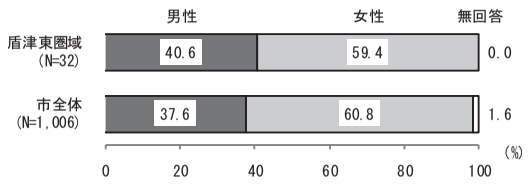


地域包括支援センターの認知度　4割強の人が知っている

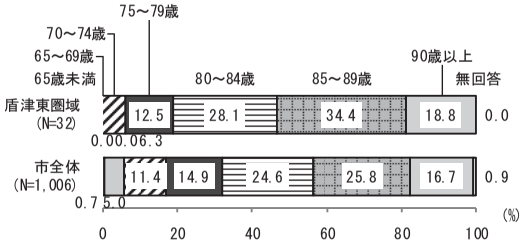


要介護高齢者

性別　女性が6割弱、男性が4割

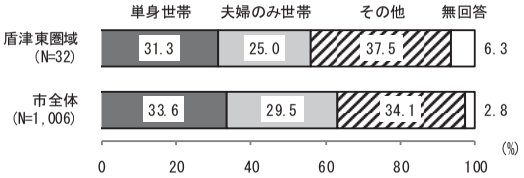


年齢　80歳以上が8割強



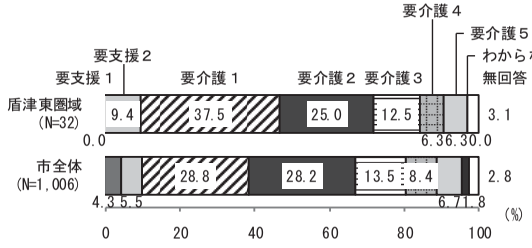
家族構成

単身世帯が3割強
夫婦のみ世帯が2割台半ば



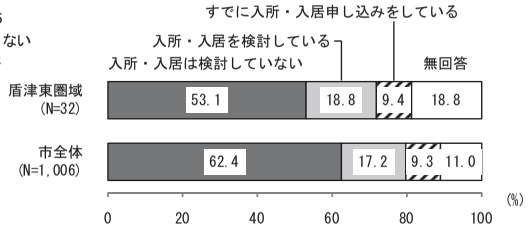
要介護度

要支援が1割、要介護1，2が6割強、
要介護3～5が2割台半ば

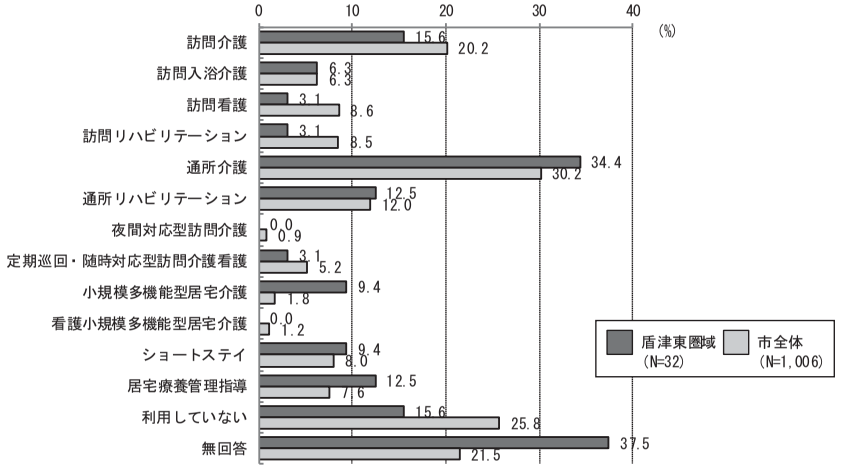


施設等への入所・入居の検討状況

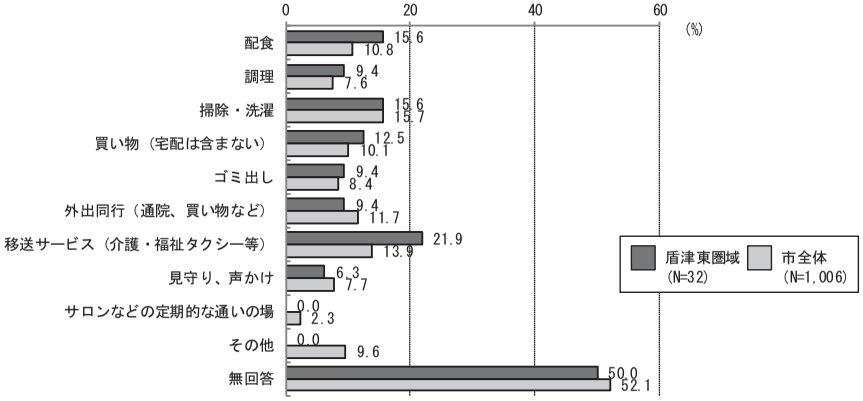
入所･入居は検討していない人が5割強
検討している人が2割弱



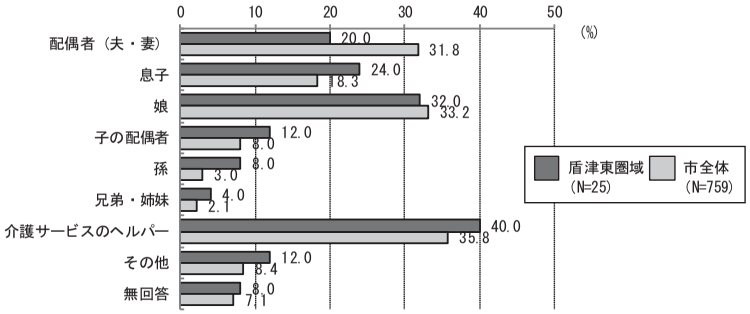
利用しているサービス　通所介護、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　移送サービス、配食、掃除･洗濯を利用している人が多い



主な介護者　介護サービスのヘルパーが最も多く、次いで娘となっている

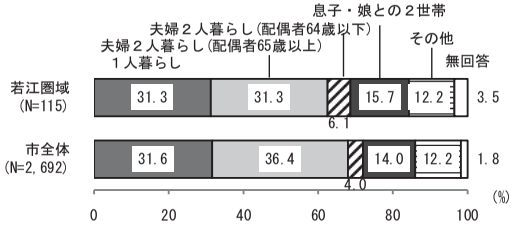


１３．若江圏域

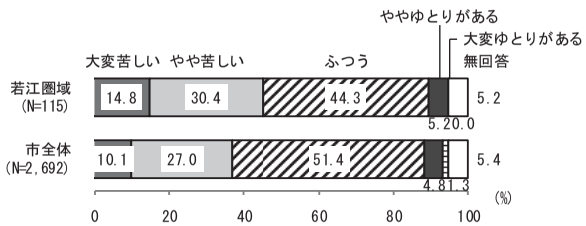
高齢者（65 歳以上）数　5,644 人	前期高齢者　2,724 人	後期高齢者　2,920 人	ひとり暮らし高齢者数　1,971 世帯	65 歳以上のみ世帯数　3,091 世帯	高齢化率 29.1%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,262 人	要支援１　239 人	要支援２　176 人	要介護１　224 人	要介護２　223 人	要介護３　140 人	要介護４　152 人	要介護５　108 人	認定率　22.0%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

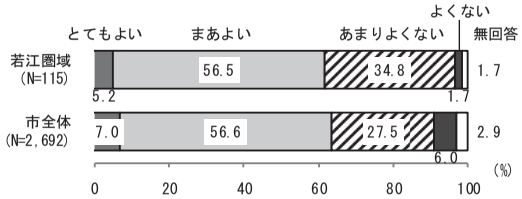
家族構成
1人暮らしが3割強、夫婦２人暮らしが3割強
1人暮らしは市全体とほぼ同じ



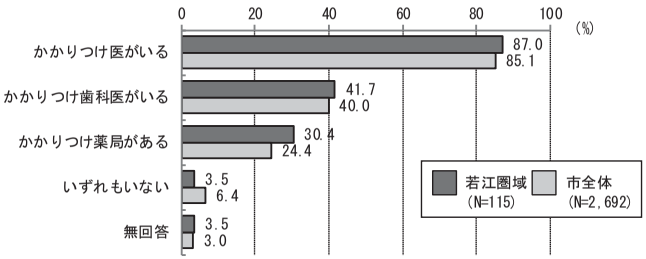
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は4割台半ば



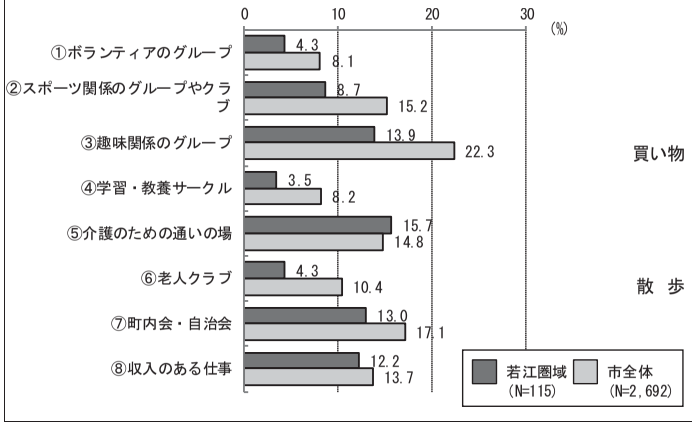
健康状態
おおむね健康な人は6割強



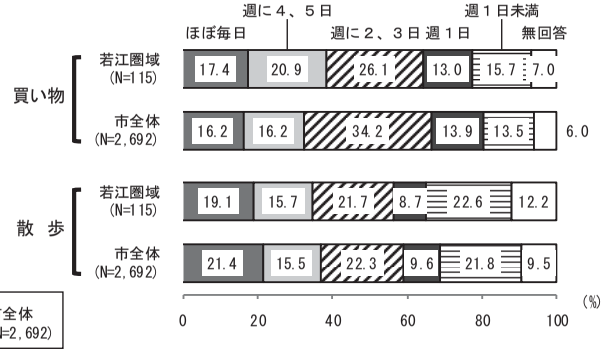
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は9割弱



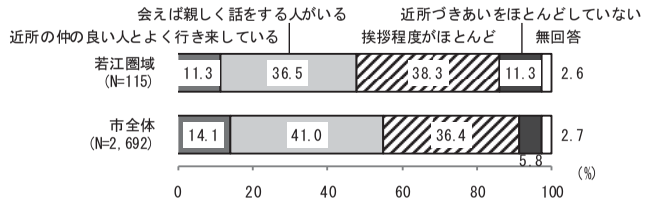
社会活動への参加状況
介護のための通いの場に参加している人が最も多く1割台半ば



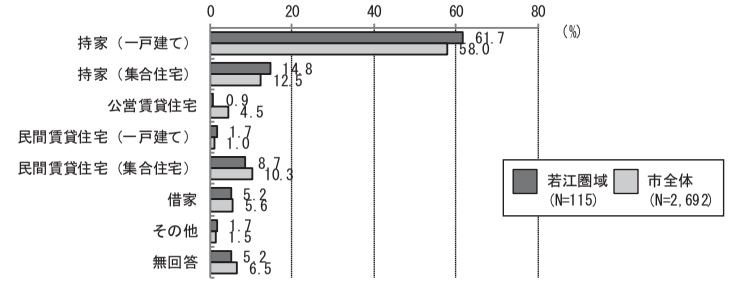
買い物や散歩の頻度
週の半数以上外出している人は
買い物で4割弱、散歩で3割台半ば



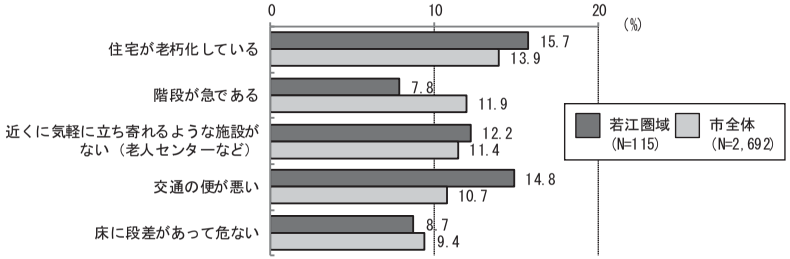
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは5割弱
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割強



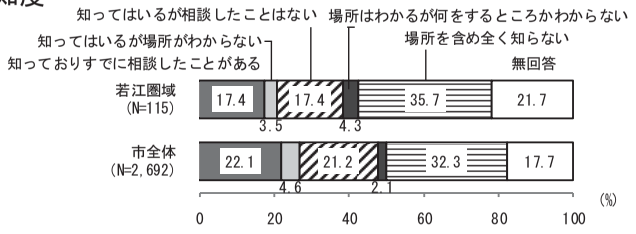
住まいの状況
持家が7割台半ば　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
住宅の老朽化、交通の便が悪い、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い

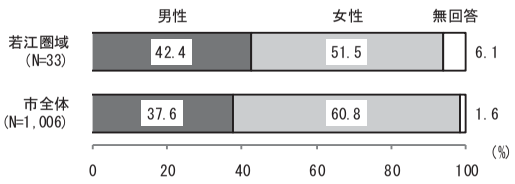


地域包括支援センターの認知度
4割弱の人が知っている

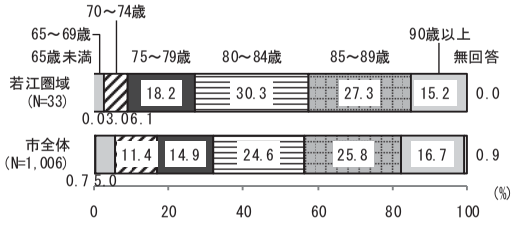


要介護高齢者

性別　女性が5割強、男性が4割強

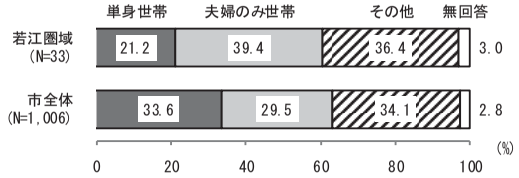


年齢　80 歳以上が7割強



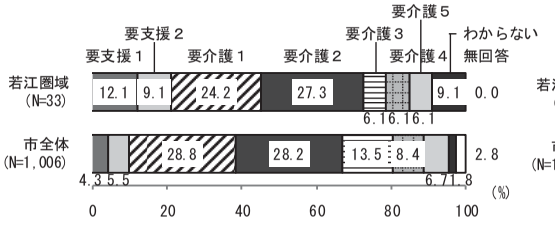
家族構成

単身世帯が2割強
夫婦のみ世帯が4割



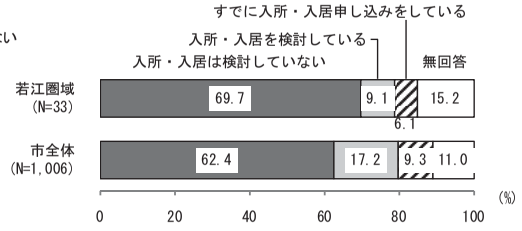
要介護度

要支援が2割強、要介護1，2が5割強、
要介護3～5が2割弱

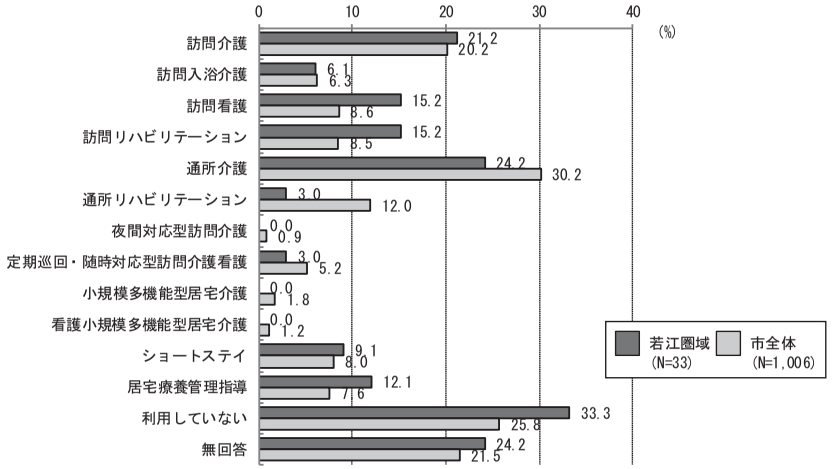


施設等への入所・入居の検討状況

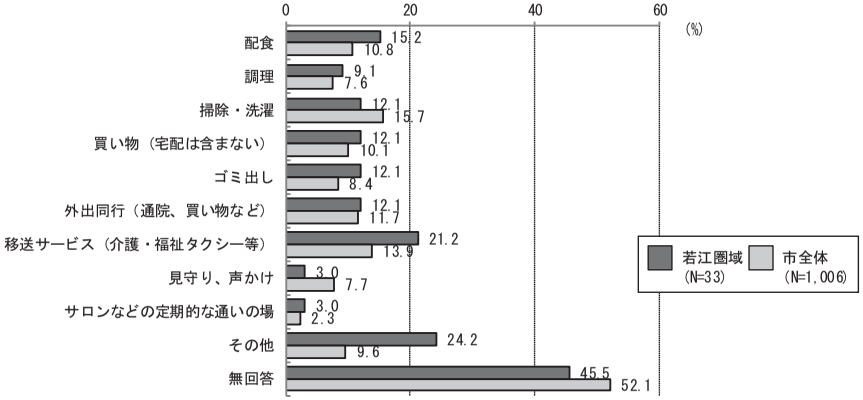
入所･入居は検討していない人が7割
検討している人が1割弱



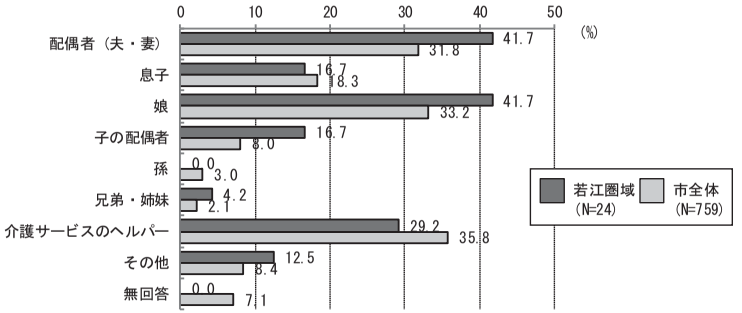
利用しているサービス　通所介護、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　移送サービス、配食を利用している人が多い



主な介護者　配偶者と娘が同率で最も多く、次いで介護サービスのヘルパーとなっている

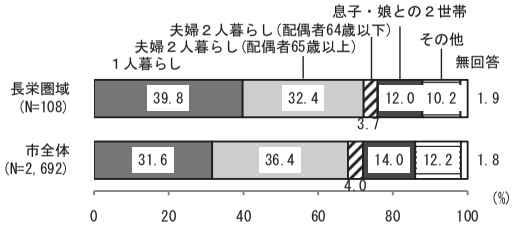


１４．長栄圏域

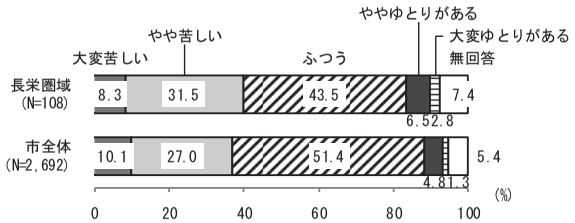
高齢者（65 歳以上）数　5,998 人	前期高齢者　3,085 人	後期高齢者　2,913 人	ひとり暮らし高齢者数　2,410 世帯	65 歳以上のみ世帯数　3,456 世帯	高齢化率 27.3%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,434 人	要支援１　256 人	要支援２　189 人	要介護１　253 人	要介護２　253 人	要介護３　164 人	要介護４　173 人	要介護５　146 人	認定率　23.4%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

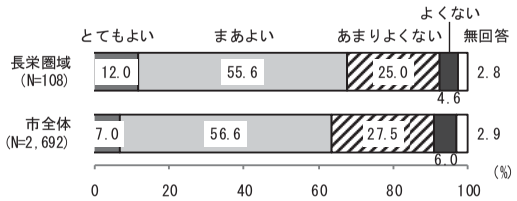
家族構成　1人暮らしが4割、夫婦２人暮らしが3割台半ば　市全体に比べて１人暮らしが多い



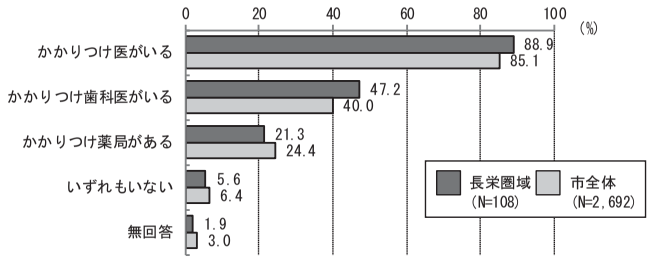
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は4割



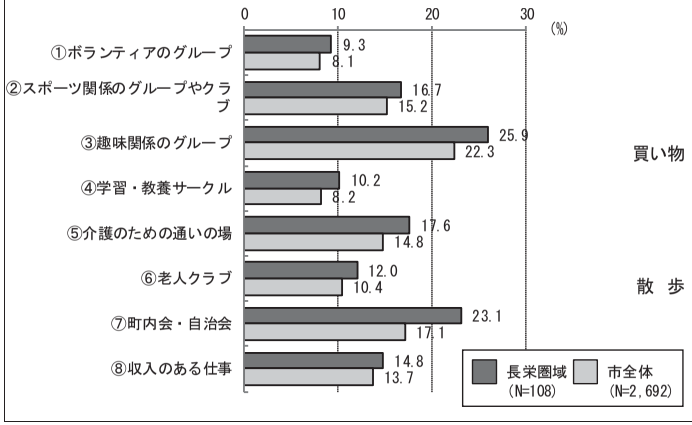
健康状態　おおむね健康な人は7割弱



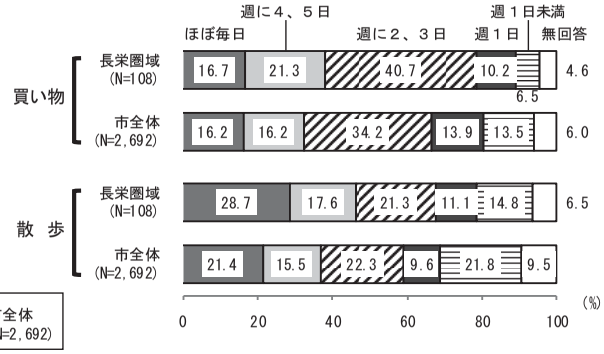
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は9割弱



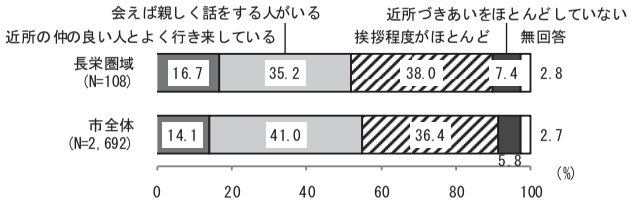
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く2割台半ば



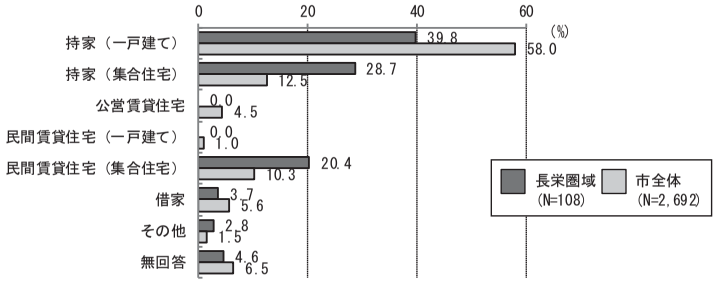
買い物や散歩の頻度　週の半数以上外出している人は買い物で4割弱、散歩で4割台半ば



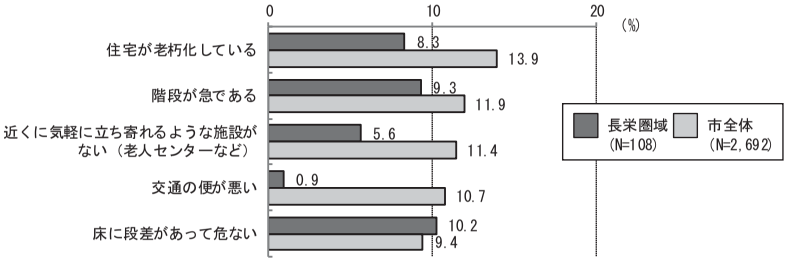
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは5割強　なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割台半ば



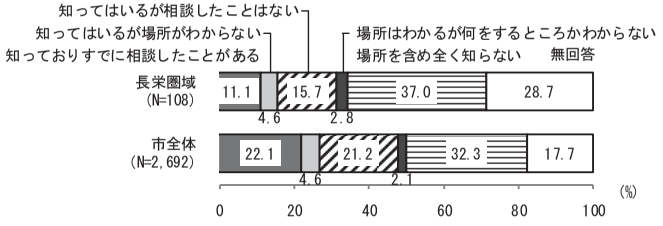
住まいの状況　持家が7割弱　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　床に段差があって危ない、階段が急である、住宅の老朽化をあげる人が多い

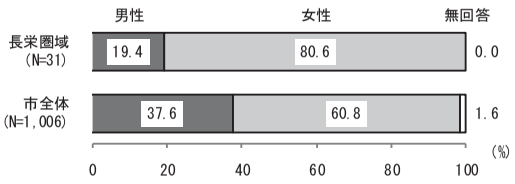


地域包括支援センターの認知度　3割強の人が知っている

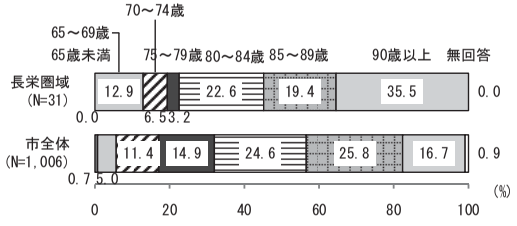


要介護高齢者

性別　女性が8割、男性が2割弱

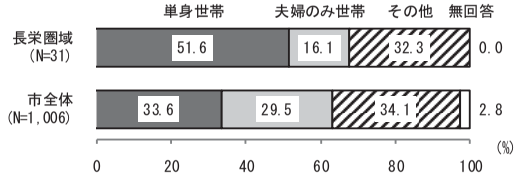


年齢　80 歳以上が8割弱



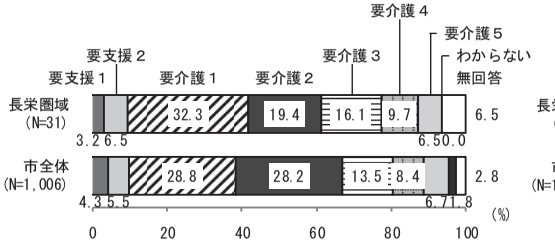
家族構成

単身世帯が5割強
夫婦のみ世帯が1割台半ば



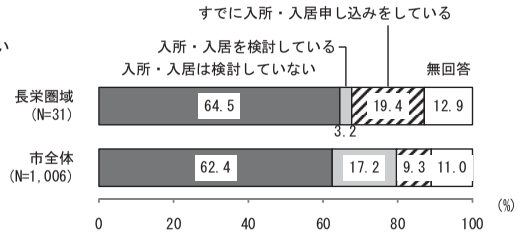
要介護度

要支援が1割、要介護1，2が5割強、
要介護3～5が3割強

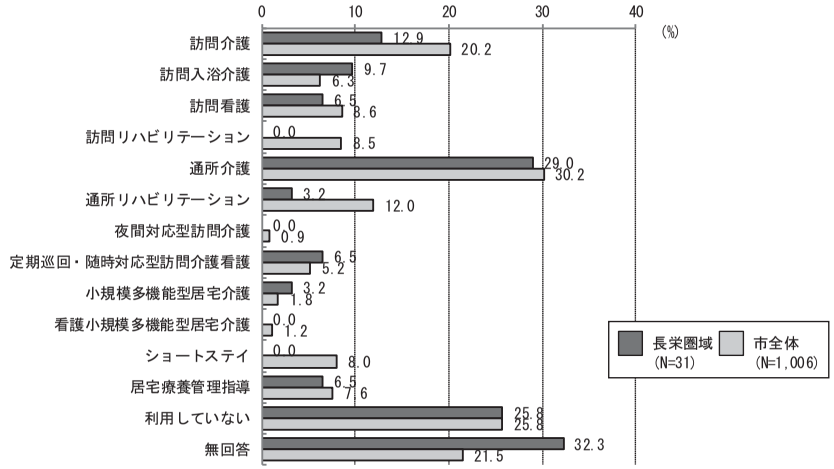


施設等への入所・入居の検討状況

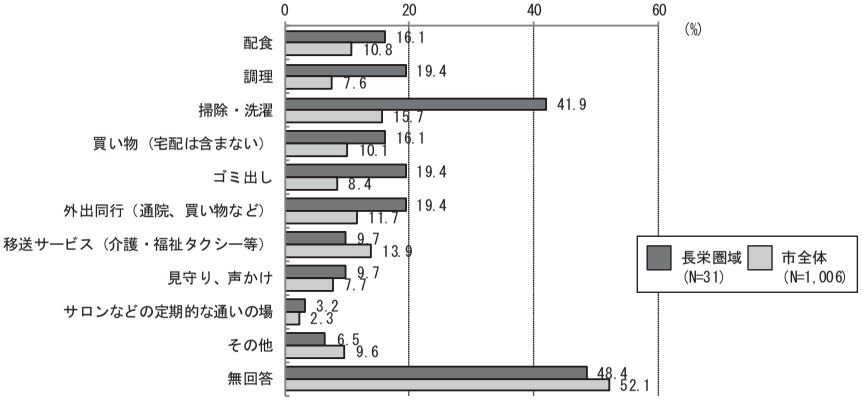
入所･入居は検討していない人が6割台半ば
検討している人が1割未満



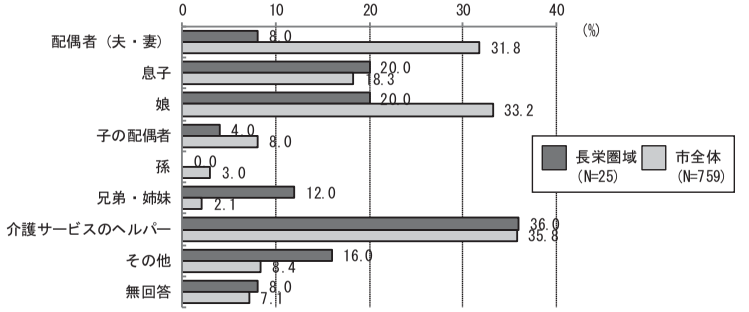
利用しているサービス　通所介護、訪問介護、訪問入浴介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、調理、ゴミ出し、外出同行を利用している人が多い



主な介護者　介護サービスのヘルパーが最も多く、次いで息子と娘が同率となっている

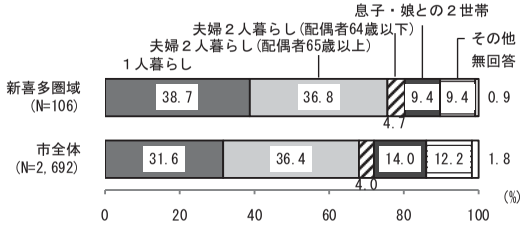


１５．新喜多圏域

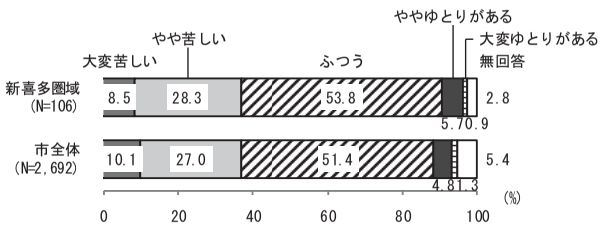
高齢者（65 歳以上）数　5,432 人	前期高齢者　2,706 人	後期高齢者　2,726 人	ひとり暮らし高齢者数　1,791 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,834 世帯	高齢化率 25.2%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,153 人	要支援１　216 人	要支援２　170 人	要介護１　205 人	要介護２　200 人	要介護３　151 人	要介護４　115 人	要介護５　96 人	認定率　20.9%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

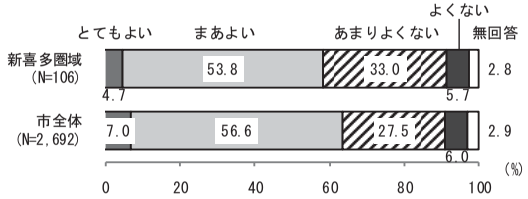
家族構成
1人暮らしが4割弱、夫婦２人暮らしが3割台半ば
市全体に比べて1人暮らしが多い



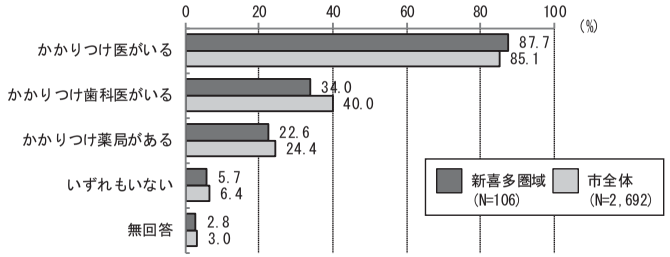
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は3割台半ば



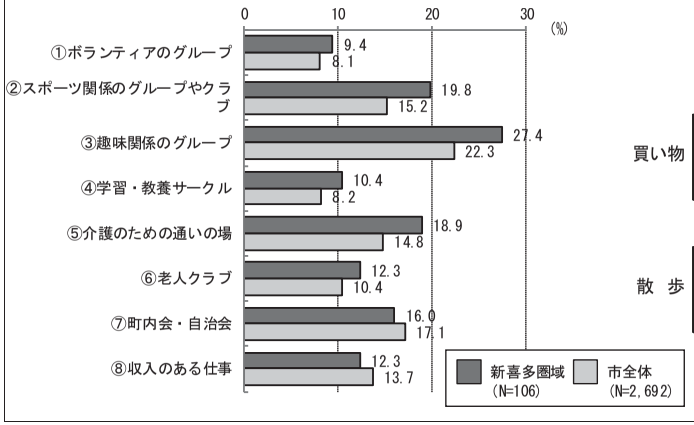
健康状態
おおむね健康な人は6割弱



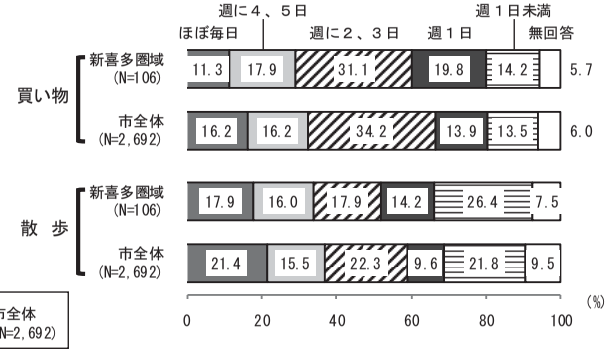
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は9割弱



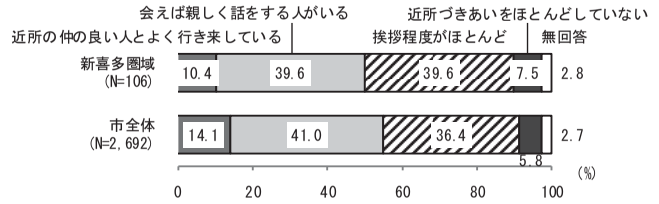
社会活動への参加状況
趣味のグループに参加している人が最も多く3割弱



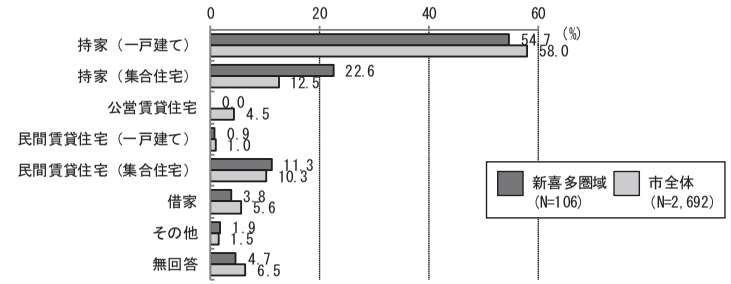
買い物や散歩の頻度
週の半数以上外出している人は
買い物で3割、散歩で3割強



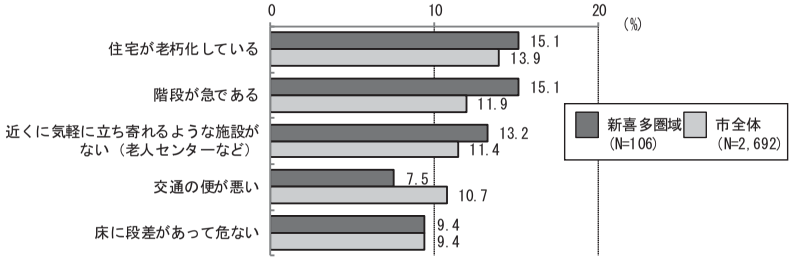
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは5割
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割



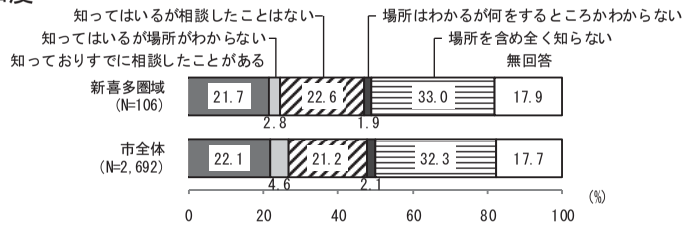
住まいの状況
持家が8割弱　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
住宅の老朽化、階段が急である、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い

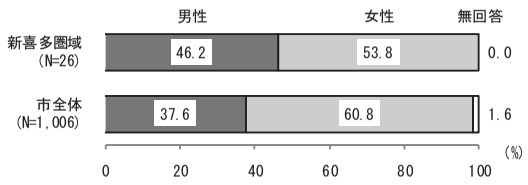


地域包括支援センターの認知度
5割弱の人が知っている

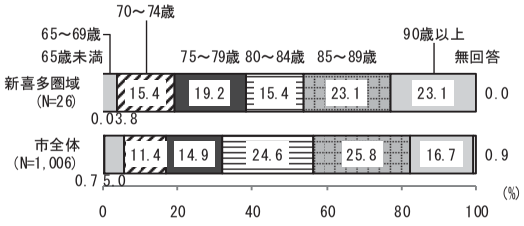


要介護高齢者

性別　女性が5割強、男性が4割台半ば

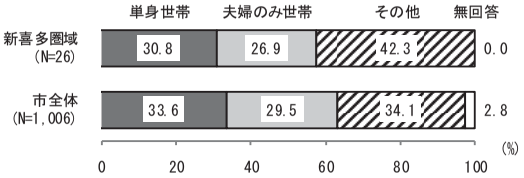


年齢　80 歳以上が6割強



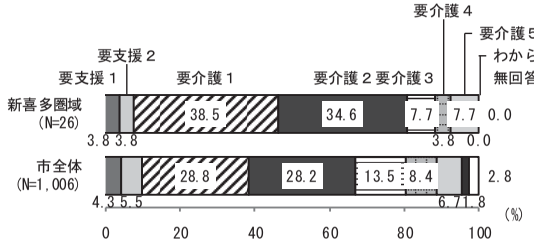
家族構成

単身世帯が3割
夫婦のみ世帯が2割台半ば



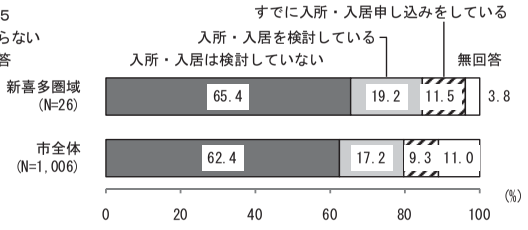
要介護度

要支援が1割弱、要介護1，2が7割強、
要介護3～5が2割弱

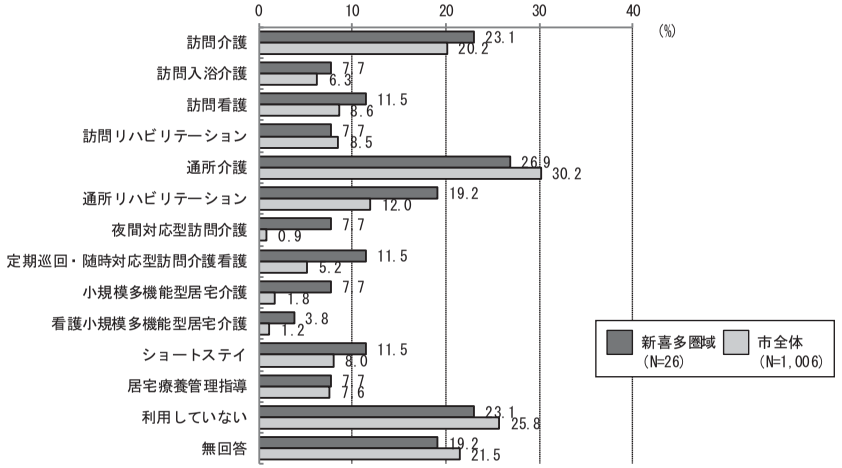


施設等への入所・入居の検討状況

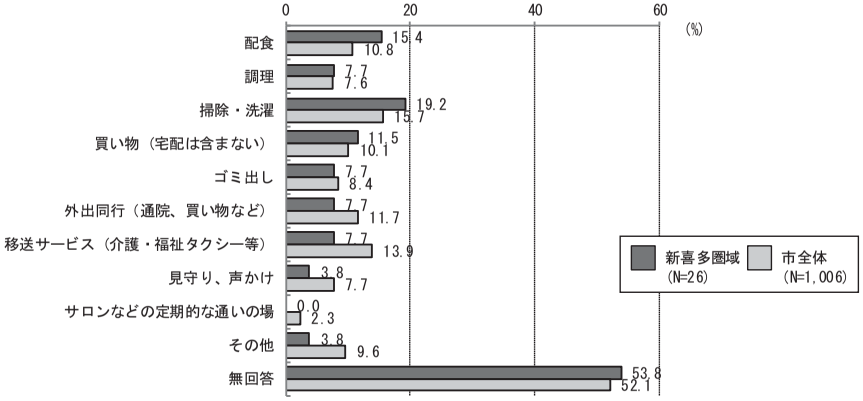
入所･入居は検討していない人が6割台半ば
検討している人が2割弱



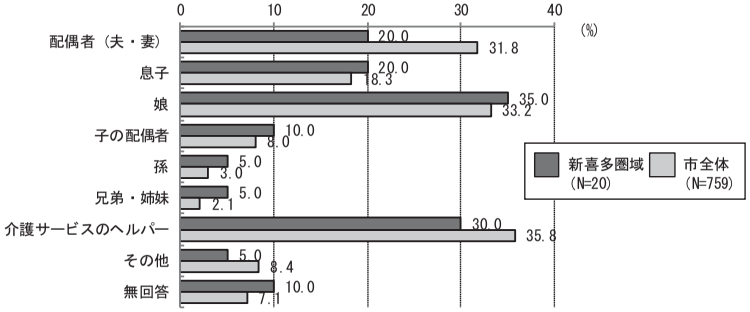
利用しているサービス　通所介護、訪問介護、通所リハビリテーションを利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、配食、買い物を利用している人が多い



主な介護者　娘が最も多く、次いで介護サービスのヘルパーとなっている

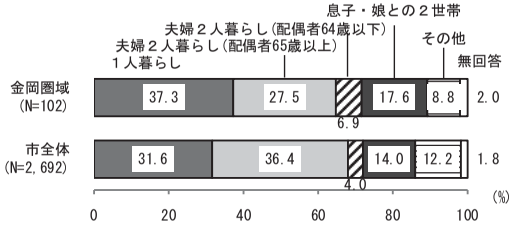


１６．金岡圏域

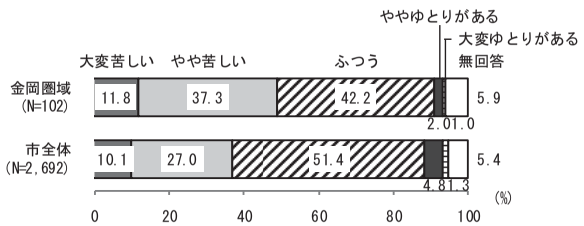
高齢者（65 歳以上）数　3,592 人	前期高齢者　1,606 人	後期高齢者　1,986 人	ひとり暮らし高齢者数　1,563 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,146 世帯	高齢化率 33.0%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,034 人	要支援１　145 人	要支援２　135 人	要介護１　186 人	要介護２　223 人	要介護３　125 人	要介護４　130 人	要介護５　90 人	認定率　28.4%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

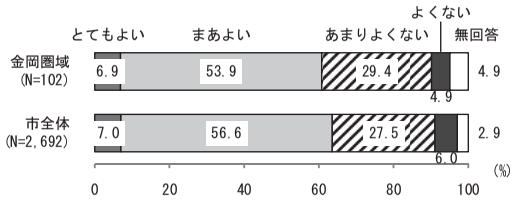
家族構成　1人暮らしが4割弱、夫婦２人暮らしが3割台半ば 市全体に比べて1人暮らしが多い



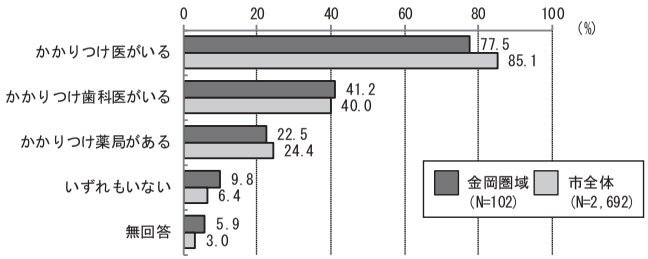
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は5割弱



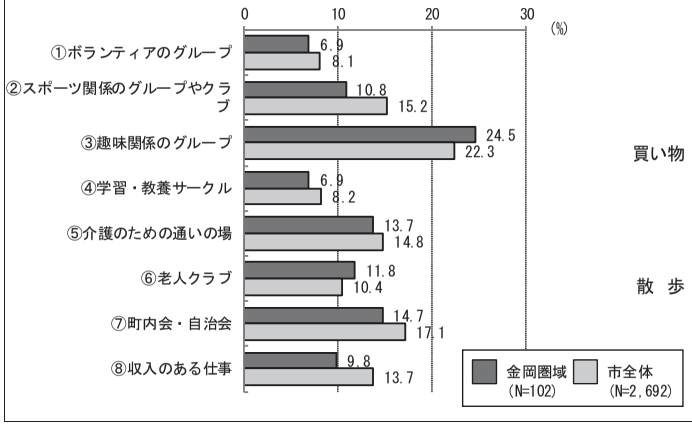
健康状態　おおむね健康な人は6割



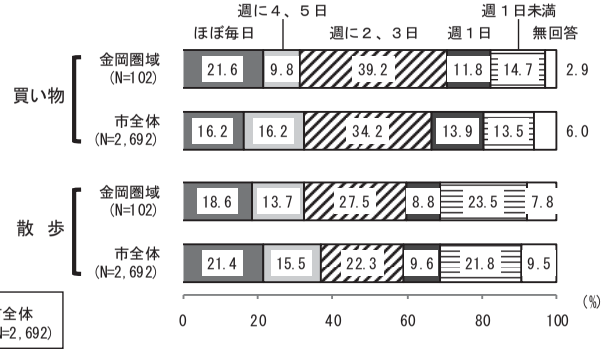
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は8割弱



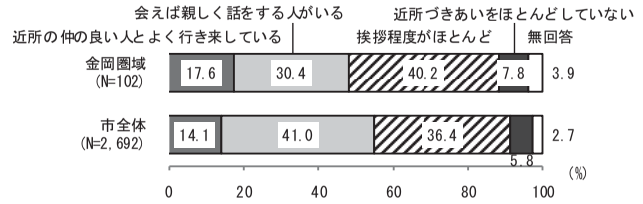
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く2割台半ば



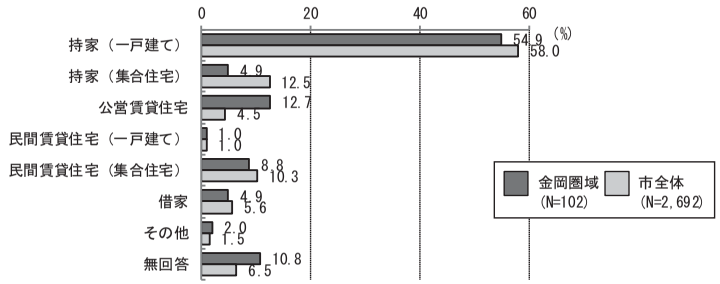
買い物や散歩の頻度　買い物、散歩とも週の半数以上外出している人は3割強



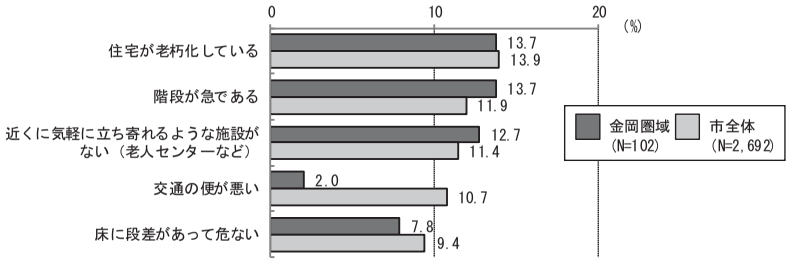
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは5割弱 なかでも親密な近所づきあいをしているのは2割弱



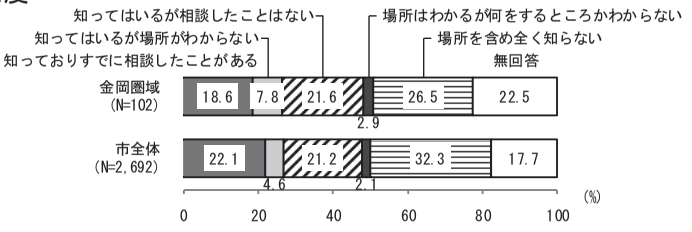
住まいの状況　持家が6割　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　住宅の老朽化、階段が急である、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い

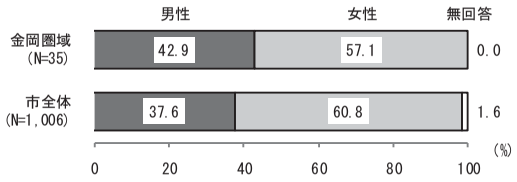


地域包括支援センターの認知度　5割弱の人が知っている

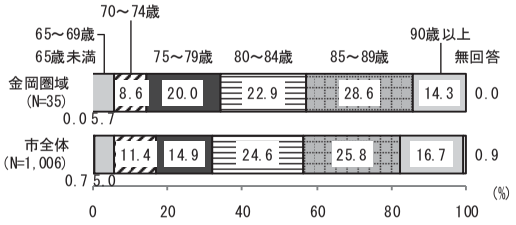


要介護高齢者

性別　女性が6割弱、男性が4割強

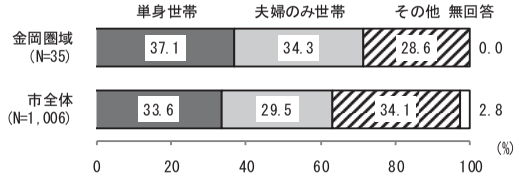


年齢　80 歳以上が6割台半ば



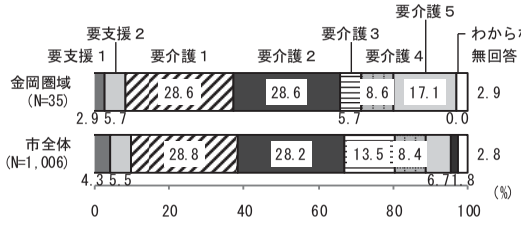
家族構成

単身世帯が4割弱
夫婦のみ世帯が3割台半ば



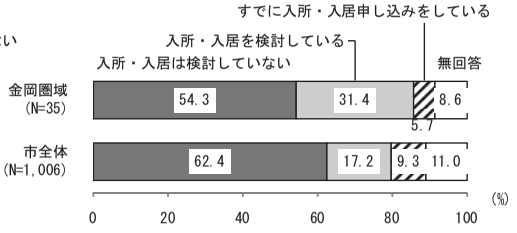
要介護度

要支援が1割弱、要介護1，2が6割弱、
要介護3～5が3割強

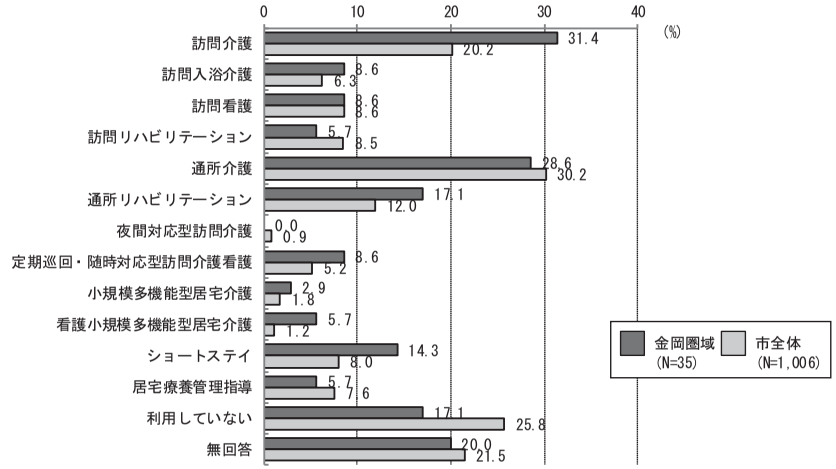


施設等への入所・入居の検討状況

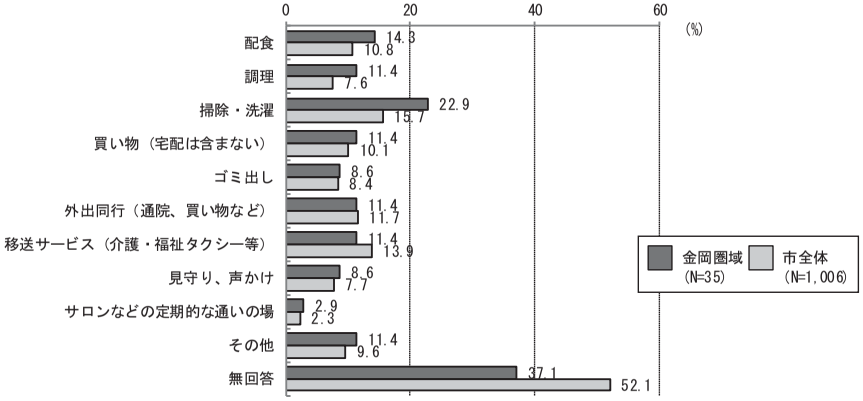
入所･入居は検討していない人が5割台半ば
検討している人が3割強



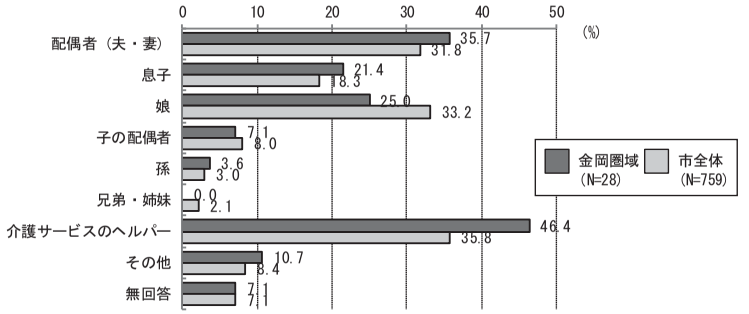
利用しているサービス　訪問介護、通所介護、通所リハビリテーションを利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、配食を利用している人が多い



主な介護者　介護サービスのヘルパーが最も多く、次いで配偶者となっている

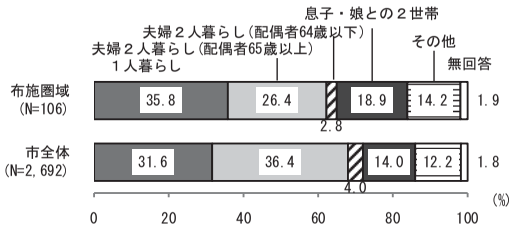


１７．布施圏域

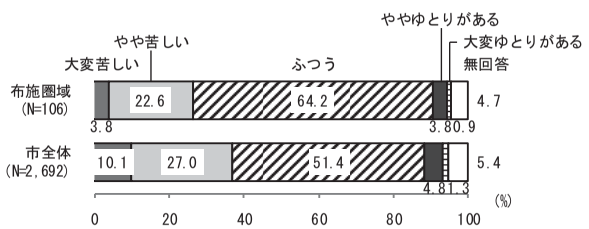
高齢者（65 歳以上）数　6,108 人	前期高齢者　2,707 人	後期高齢者　3,401 人	ひとり暮らし高齢者数　2,584 世帯	65 歳以上のみ世帯数　3,571 世帯	高齢化率 30.4%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,818 人	要支援１　293 人	要支援２　257 人	要介護１　292 人	要介護２　343 人	要介護３　211 人	要介護４　230 人	要介護５　192 人	認定率　29.4%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

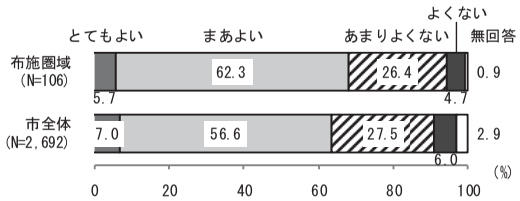
家族構成　1人暮らしが3割台半ば、夫婦２人暮らしが2割台半ば 市全体に比べて1人暮らしが多い



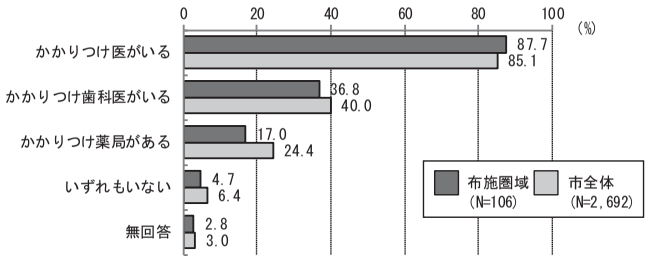
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は2割台半ば



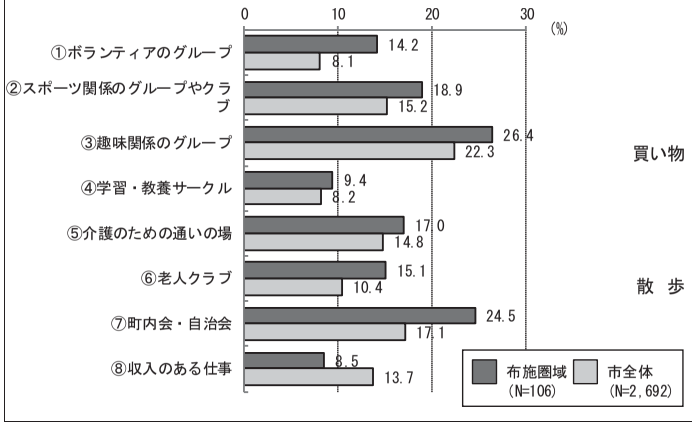
健康状態　おおむね健康な人は7割弱



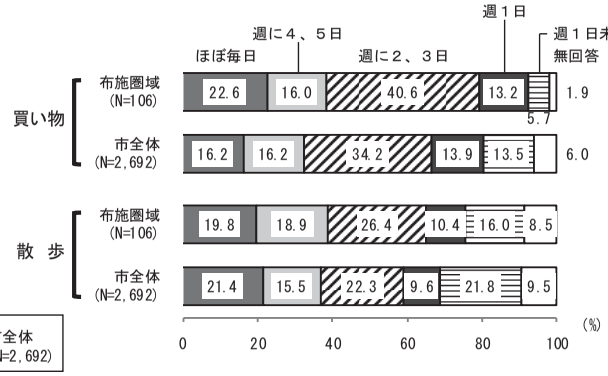
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は9割弱



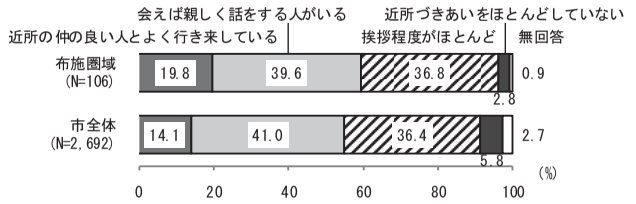
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く2割台半ば



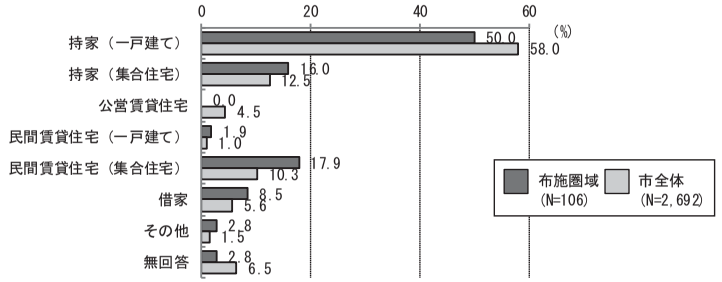
買い物や散歩の頻度　買い物、散歩とも週の半数以上外出している人は4割弱



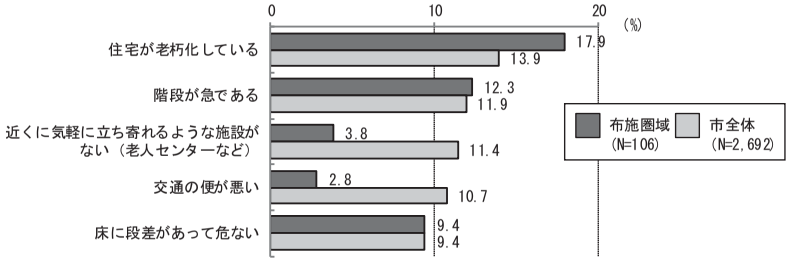
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは6割弱 なかでも親密な近所づきあいをしているのは2割弱



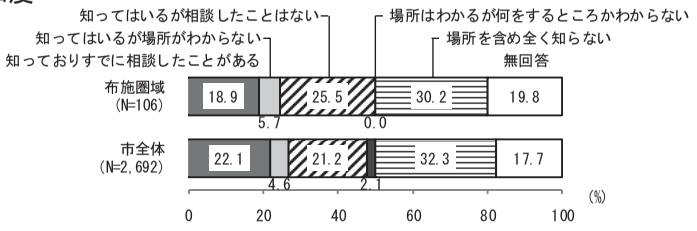
住まいの状況　持家が6割台半ば　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　住宅の老朽化、階段が急である、床に段差があって危ないをあげる人が多い

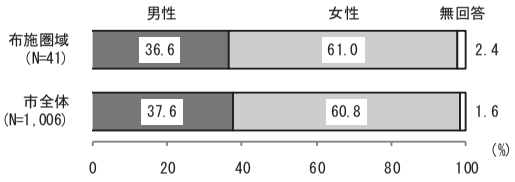


地域包括支援センターの認知度　5割の人が知っている

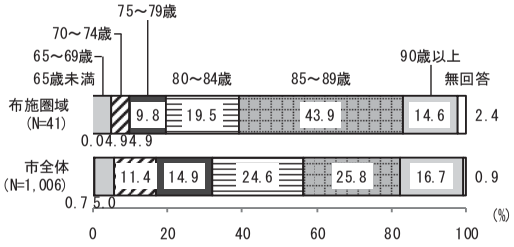


要介護高齢者

性別　女性が6割強、男性が3割台半ば

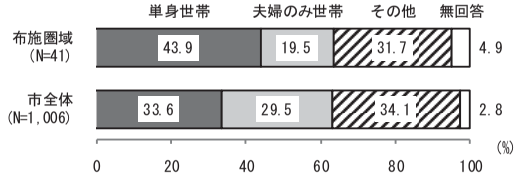


年齢　80 歳以上が8割弱



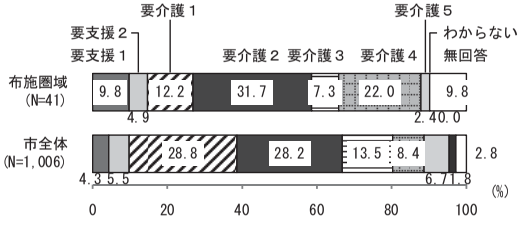
家族構成

単身世帯が4割台半ば
夫婦のみ世帯が2割弱



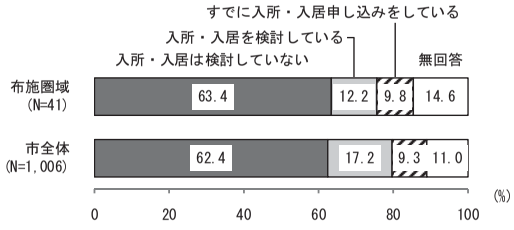
要介護度

要支援が1割台半ば、要介護1，2が4割強、
要介護3～5が3割強

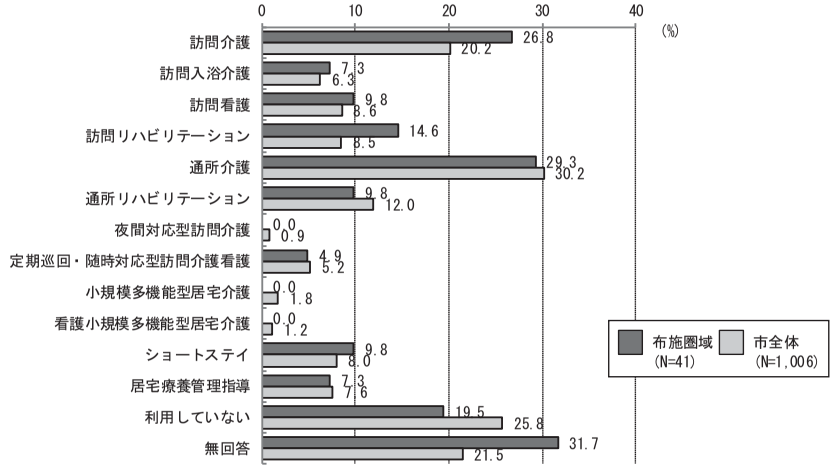


施設等への入所・入居の検討状況

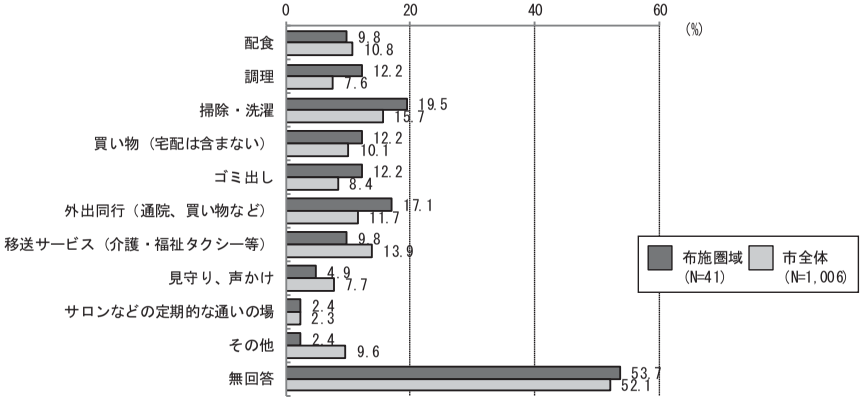
入所･入居は検討していない人が6割強
検討している人が1割強



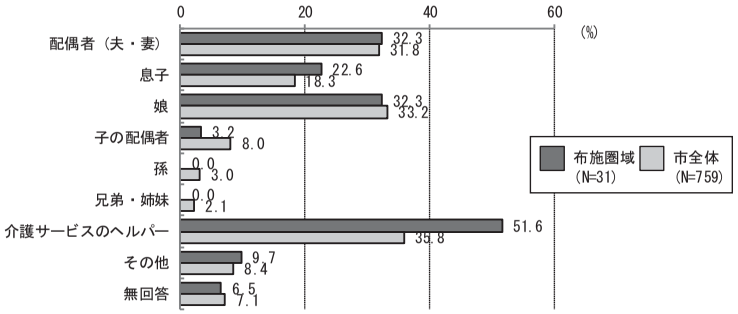
利用しているサービス　通所介護、訪問介護、訪問リハビリテーションを利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、外出同行を利用している人が多い



主な介護者　介護サービスのヘルパーが最も多く、次いで配偶者と娘が同率となっている

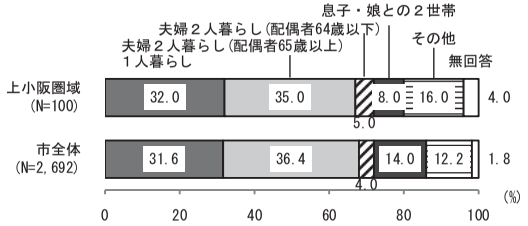


１８．上小阪圏域

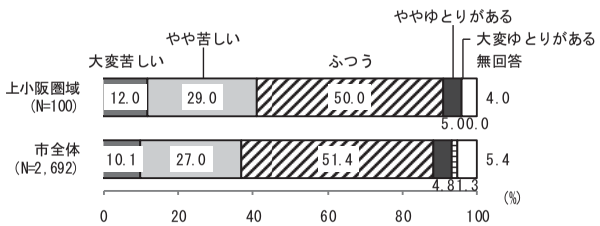
高齢者（65 歳以上）数　6,747 人	前期高齢者　3,014 人	後期高齢者　3,733 人	ひとり暮らし高齢者数　2,579 世帯	65 歳以上のみ世帯数　3,835 世帯	高齢化率 32.3%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,771 人	要支援１　301 人	要支援２　257 人	要介護１　358 人	要介護２　321 人	要介護３　199 人	要介護４　188 人	要介護５　147 人	認定率　26.0%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

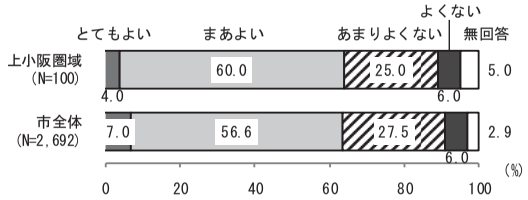
家族構成
1人暮らしが3割強、夫婦２人暮らしが4割台半ば
1人暮らしは市全体とほぼ同率



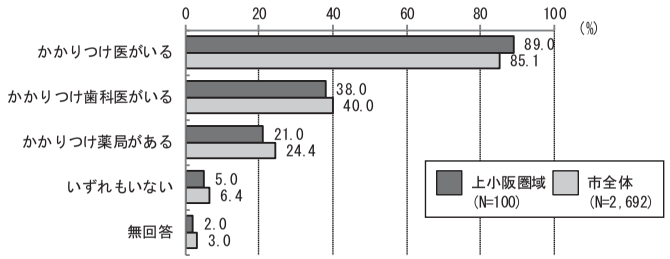
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は4割強



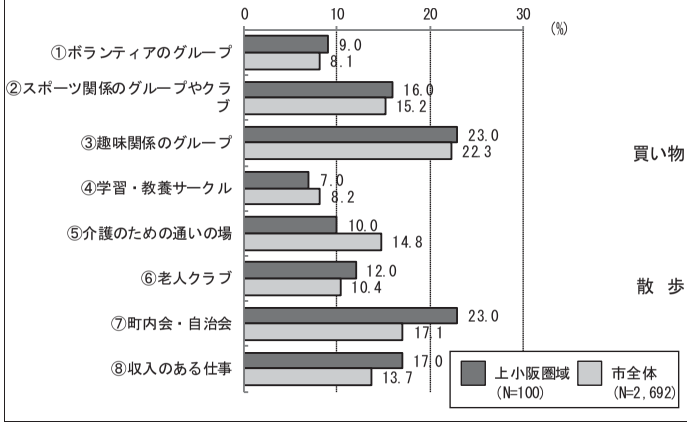
健康状態
おおむね健康な人は6割台半ば



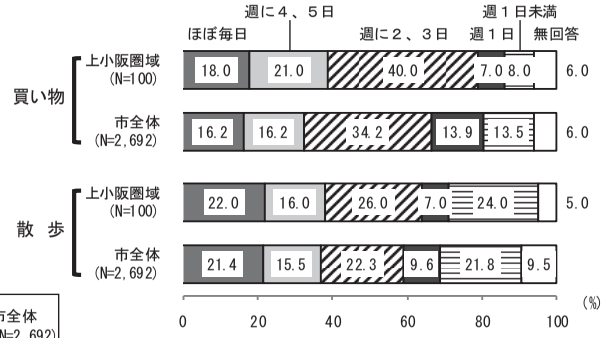
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は9割弱



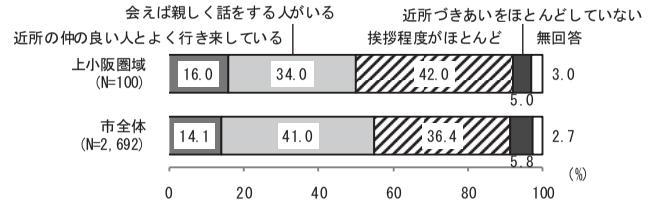
社会活動への参加状況
趣味のグループと町内会・自治会に参加している人が最も多く2割強



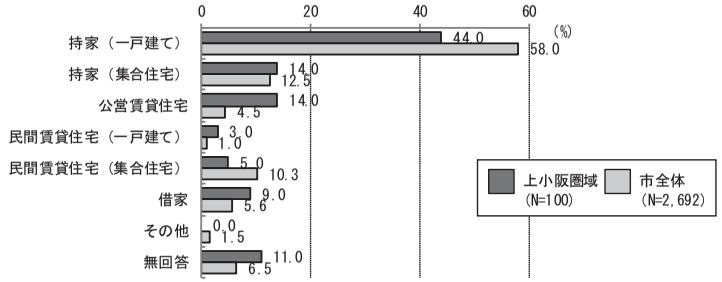
買い物や散歩の頻度
買い物、散歩とも週の半数以上外出している人は4割弱



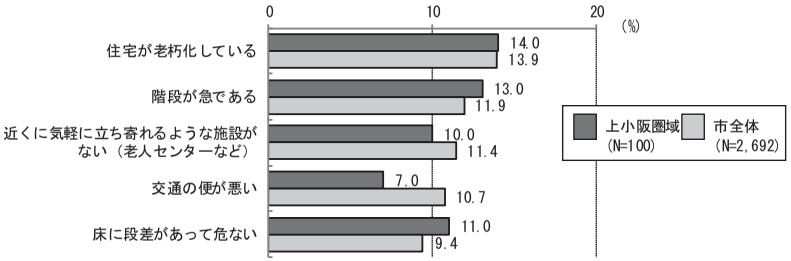
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは5割
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割台半ば



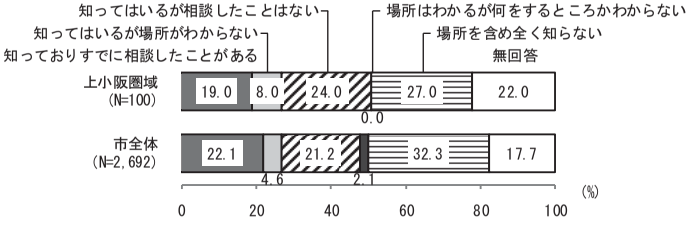
住まいの状況
持家が6割弱　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
住宅の老朽化、階段が急である、床に段差があって危ないをあげる人が多い

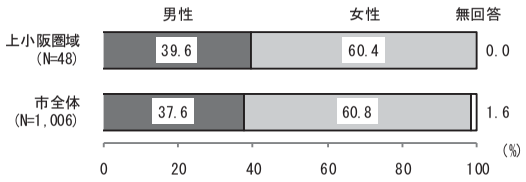


地域包括支援センターの認知度
5割強の人が知っている

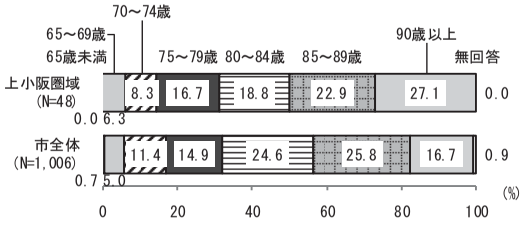


要介護高齢者

性別　女性が6割、男性が4割弱

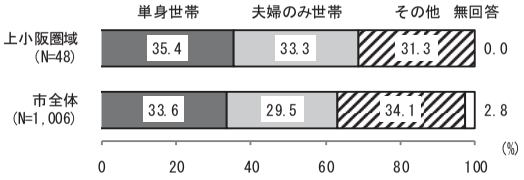


年齢　80歳以上が7割弱



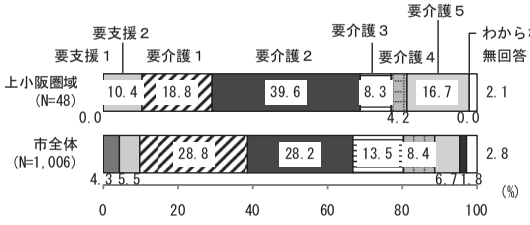
家族構成

単身世帯が3割台半ば
夫婦のみ世帯が3割強



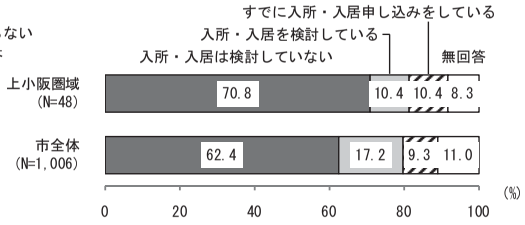
要介護度

要支援が1割、要介護1，2が6割弱、
要介護3～5が3割弱

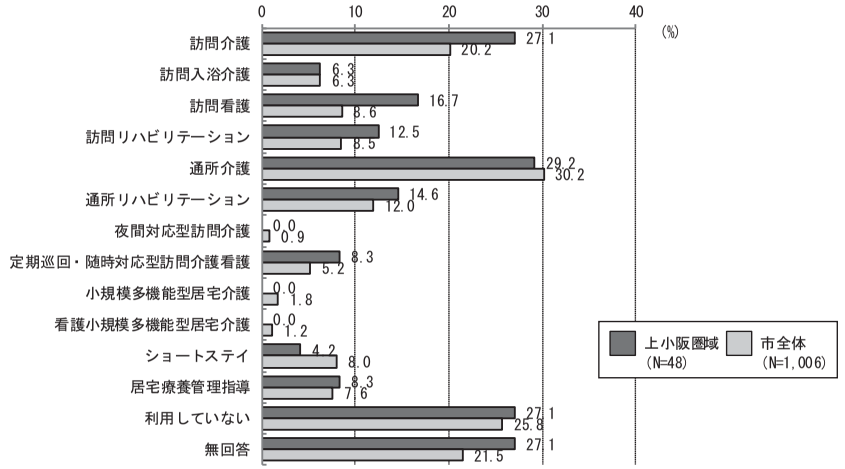


施設等への入所・入居の検討状況

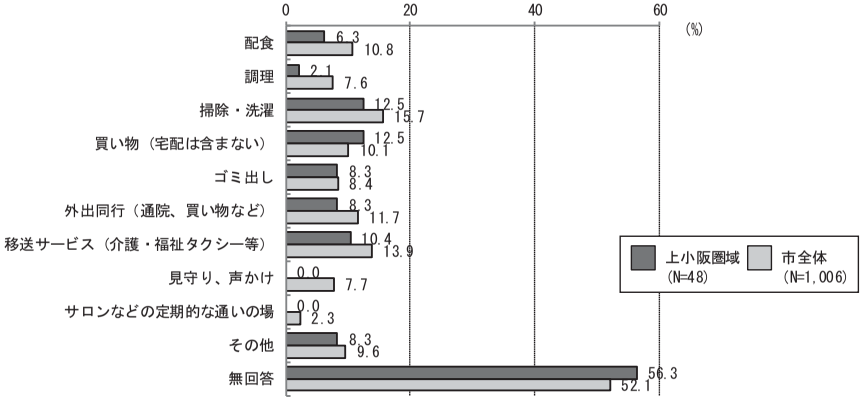
入所･入居は検討していない人が7割
検討している人が1割



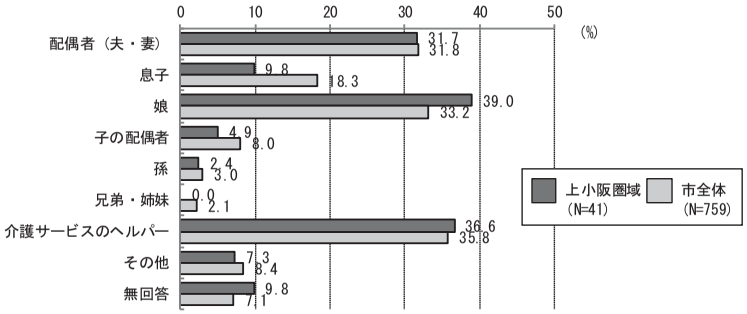
利用しているサービス　通所介護、訪問介護、訪問看護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、買い物、移送サービスを利用している人が多い



主な介護者　娘が最も多く、次いで介護サービスのヘルパーとなっている

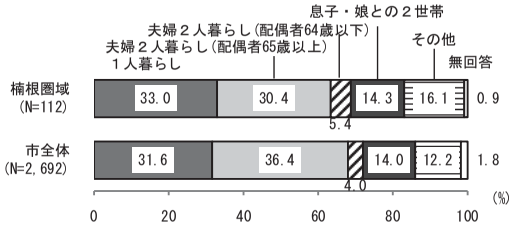


19. 楠根圏域

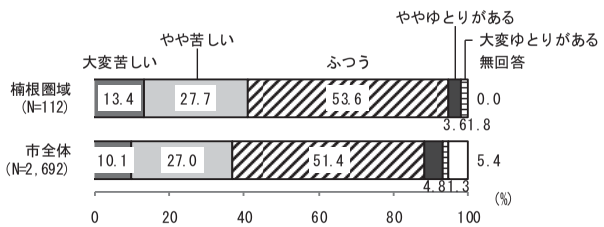
高齢者（65 歳以上）数　6,868 人	前期高齢者　3,166 人	後期高齢者　3,702 人	ひとり暮らし高齢者数　2,363 世帯	65 歳以上のみ世帯数　3,672 世帯	高齢化率 26.9%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,631 人	要支援1　298 人	要支援2　245 人	要介護1　380 人	要介護2　270 人	要介護3　162 人	要介護4　145 人	要介護5　131 人	認定率　23.4%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

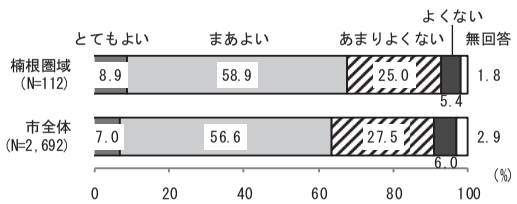
家族構成
1人暮らしが3割強、夫婦２人暮らしが3割台半ば
市全体に比べて1人暮らしが多い



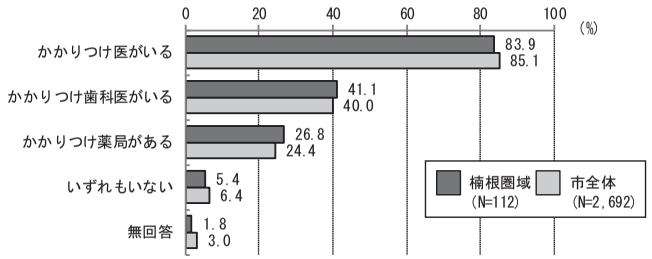
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は4割強



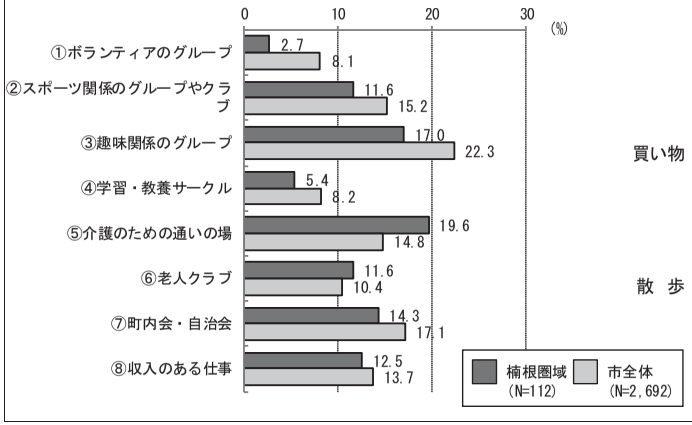
健康状態
おおむね健康な人は7割弱



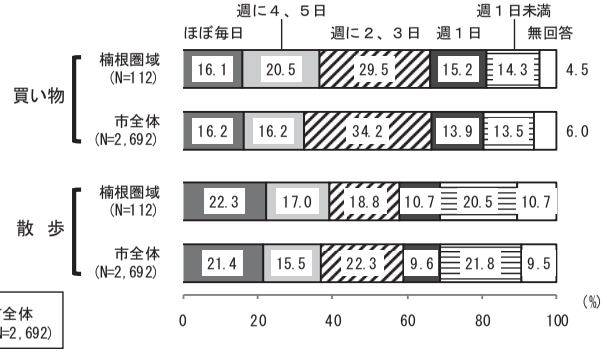
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は8割強



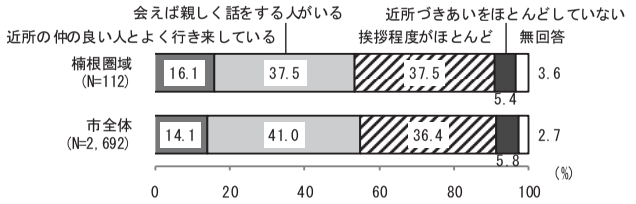
社会活動への参加状況
介護のための通いの場に参加している人が最も多く2割弱



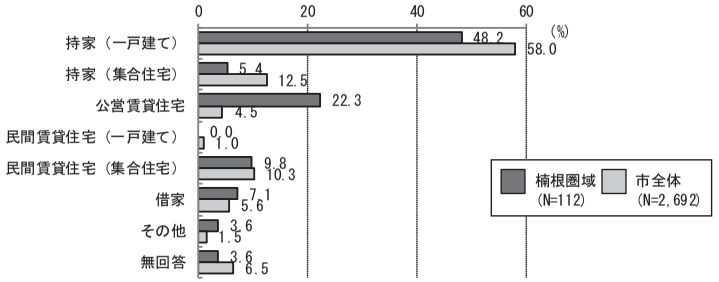
買い物や散歩の頻度
週の半数以上外出している人は
買い物で3割台半ば、散歩で4割弱



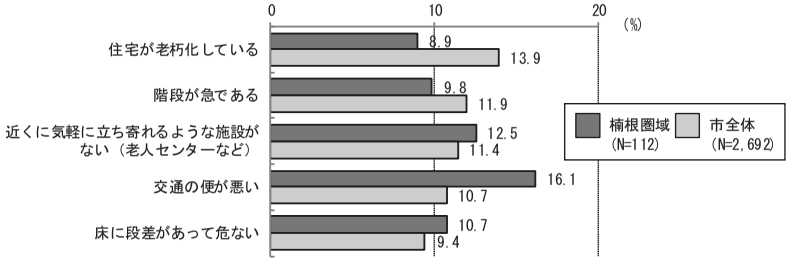
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは5割強
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割台半ば



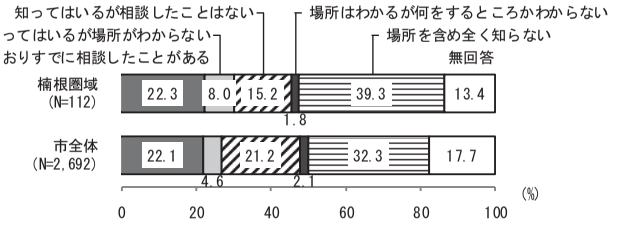
住まいの状況
持家が5割強　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
交通の便が悪い、気軽に立ち寄れる施設がない、床に段差があって危ないをあげる人が多い

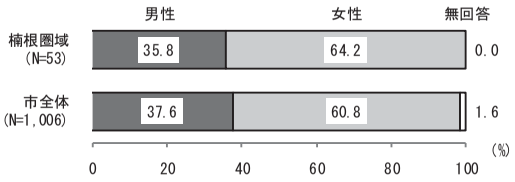


地域包括支援センターの認知度
4割台半ばの人が知っている

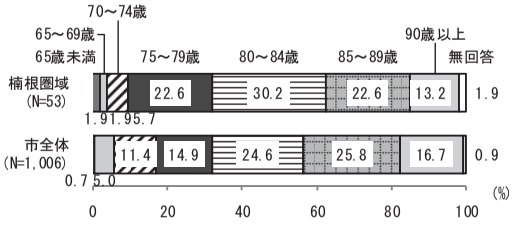


要介護高齢者

性別　女性が6割台半ば、男性が4割台半ば

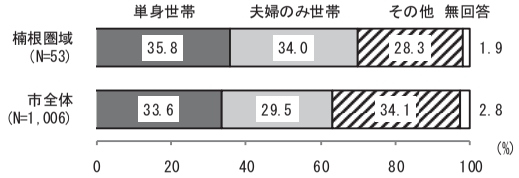


年齢　80 歳以上が6割台半ば



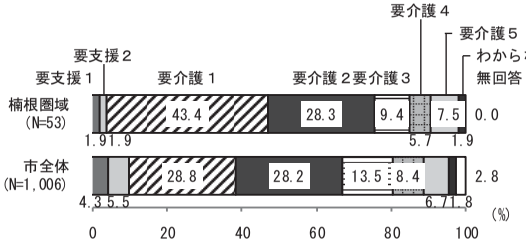
家族構成

単身世帯、夫婦のみ世帯ともに
3割台半ば



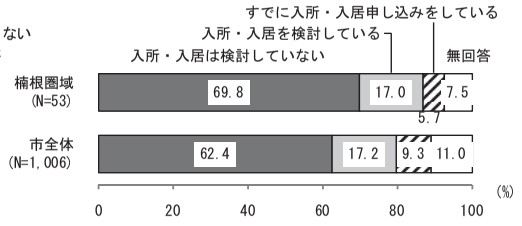
要介護度

要支援が1割未満、要介護1，2が7割強、
要介護3～5が2割強

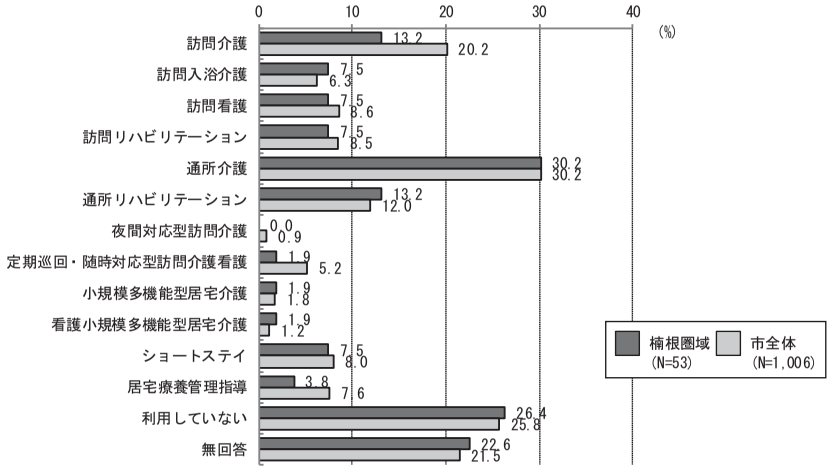


施設等への入所・入居の検討状況

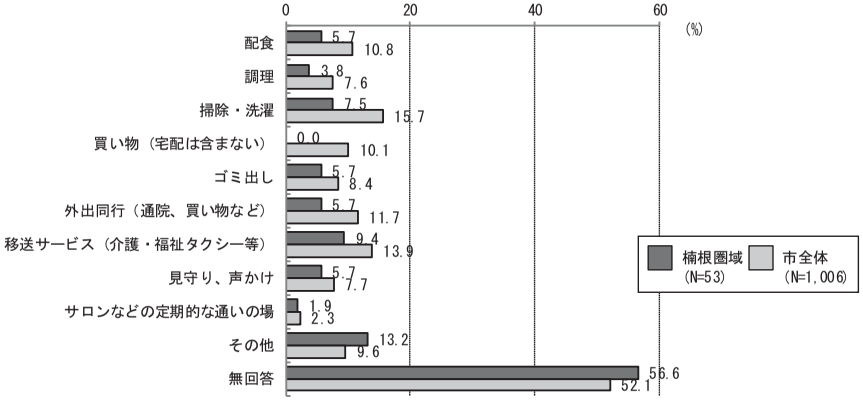
入所･入居は検討していない人が7割弱
検討している人が2割弱



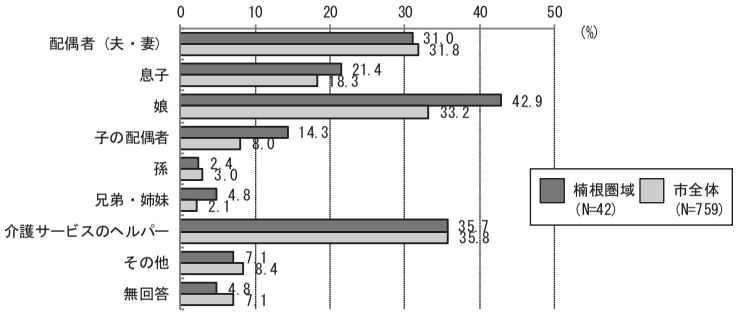
利用しているサービス　通所介護、訪問介護、通所リハビリテーションを利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　移送サービス、掃除･洗濯を利用している人が多い



主な介護者　娘が最も多く、次いで介護サービスのヘルパーとなっている

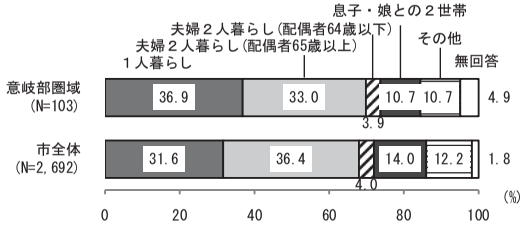


２０．意岐部圏域

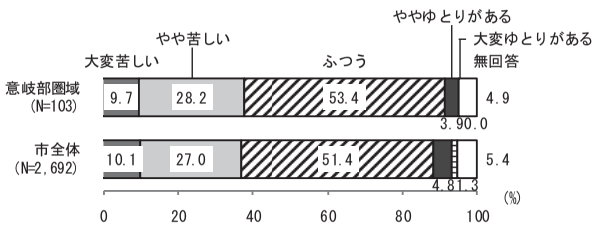
高齢者（65 歳以上）数　4,117 人	前期高齢者　2,132 人	後期高齢者　1,985 人	ひとり暮らし高齢者数　1,574 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,314 世帯	高齢化率 29.6%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　931 人	要支援１　182 人	要支援２　119 人	要介護１　179 人	要介護２　148 人	要介護３　131 人	要介護４　90 人	要介護５　82 人	認定率　22.1%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

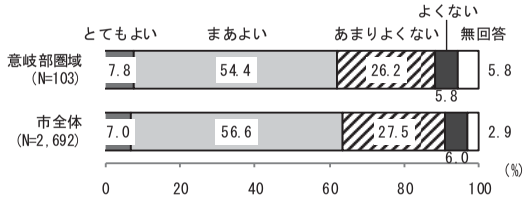
家族構成
1人暮らしが3割台半ば、夫婦２人暮らしが3割強
市全体に比べて1人暮らしが多い



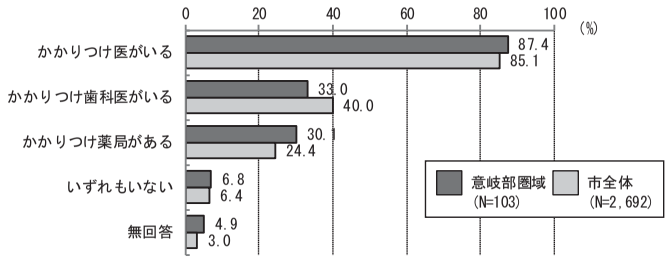
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は4割弱



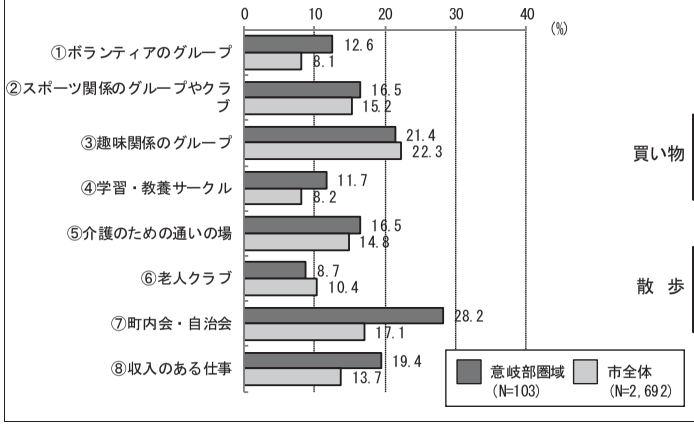
健康状態
おおむね健康な人は6割強



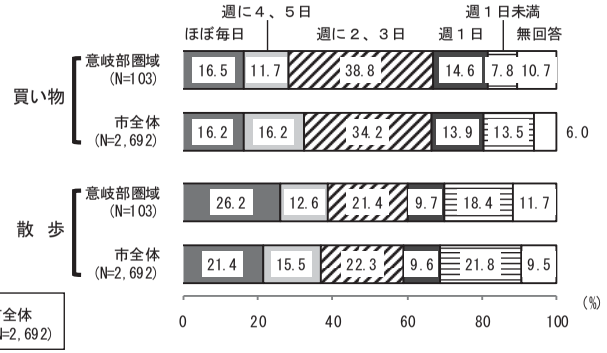
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は9割弱



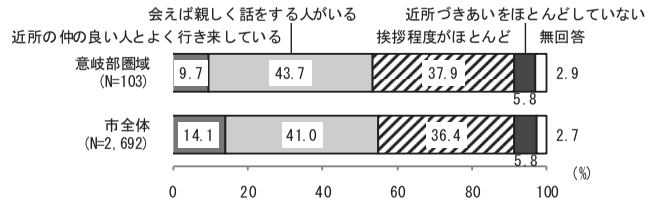
社会活動への参加状況
町内会・自治会に参加している人が最も多く3割弱



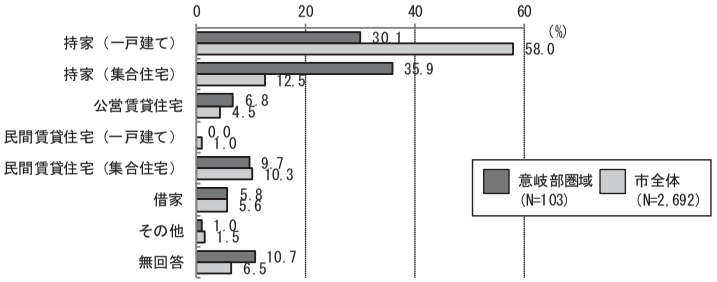
買い物や散歩の頻度
週の半数以上外出している人は
買い物で3割弱、散歩で4割弱



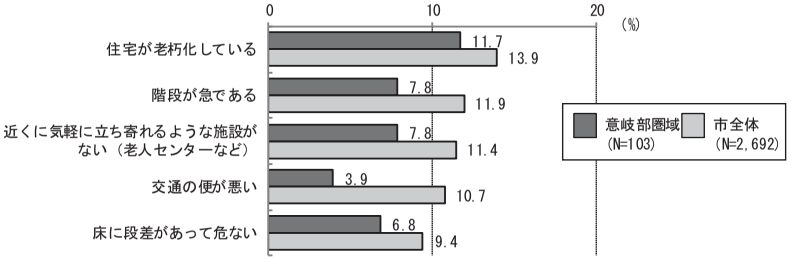
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは5割強
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割弱



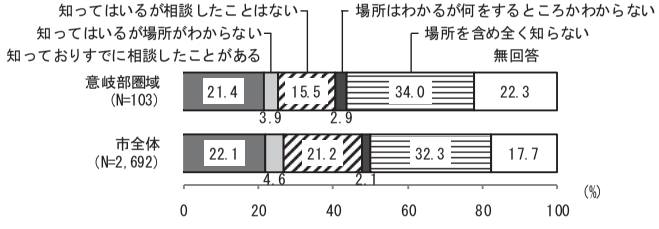
住まいの状況
持家が6割台半ば　集合住宅がやや多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
住宅の老朽化、階段が急である、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い

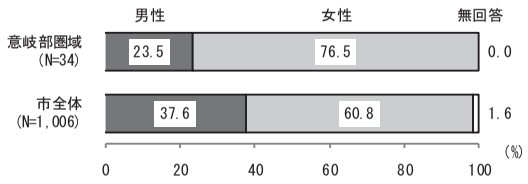


地域包括支援センターの認知度
4割の人が知っている

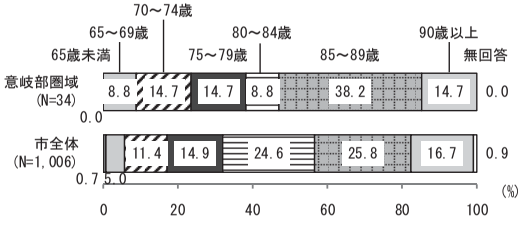


要介護高齢者

性別　女性が7割台半ば、男性が2割強

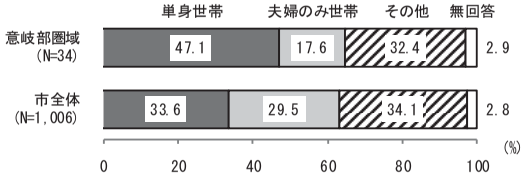


年齢　80歳以上が6割強



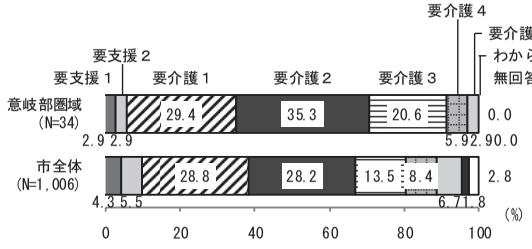
家族構成

単身世帯が5割弱
夫婦のみ世帯が2割弱



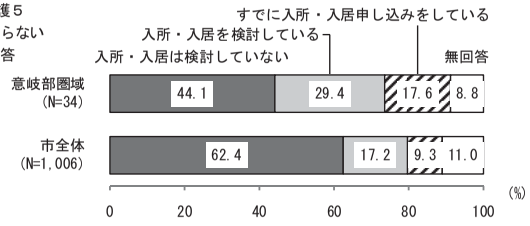
要介護度

要支援が1割未満、要介護1，2が6割台半ば、
要介護3～5が3割弱

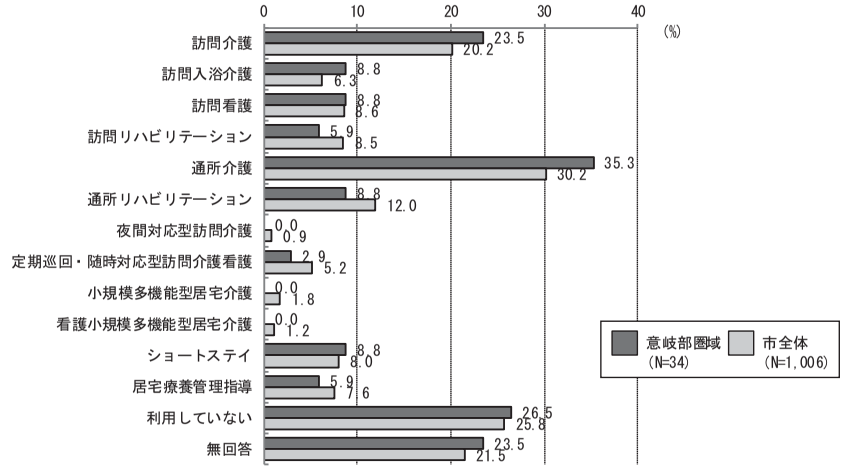


施設等への入所・入居の検討状況

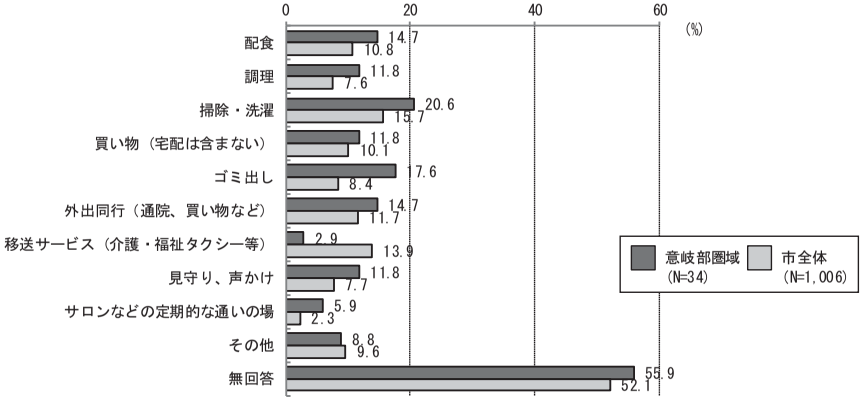
入所･入居は検討していない人が4割台半ば
検討している人が3割弱



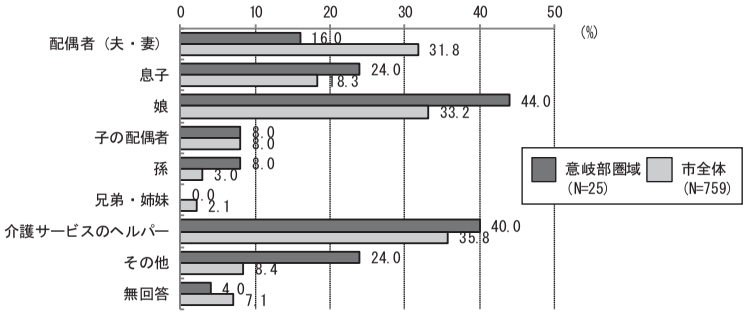
利用しているサービス　通所介護、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、ゴミ出し、配食、外出同行を利用している人が多い



主な介護者　娘が最も多く、次いで介護サービスのヘルパーとなっている

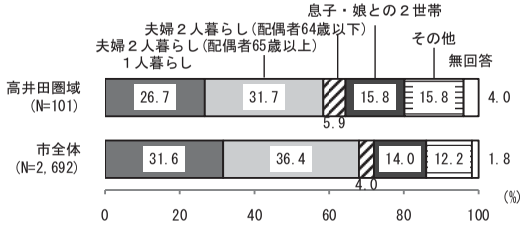


２１．高井田圏域

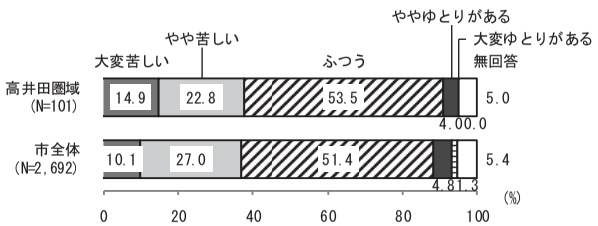
高齢者（65 歳以上）数　3,924 人	前期高齢者　1,809 人	後期高齢者　2,115 人	ひとり暮らし高齢者数　1,403 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,087 世帯	高齢化率 24.1%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　939 人	要支援１　143 人	要支援２　132 人	要介護１　219 人	要介護２　163 人	要介護３　115 人	要介護４　102 人	要介護５　65 人	認定率　23.7%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

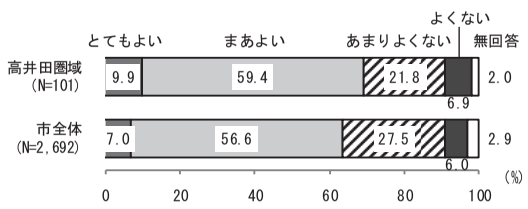
家族構成
1人暮らしが3割台半ば、夫婦２人暮らしが3割強
市全体に比べて1人暮らしが少ない



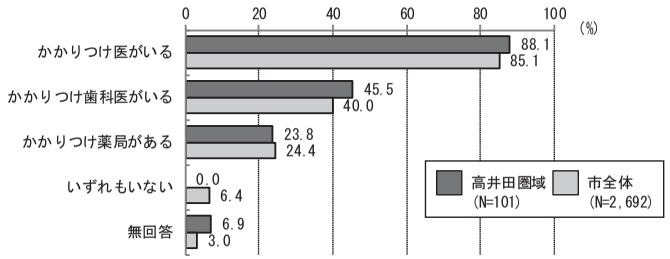
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は4割弱



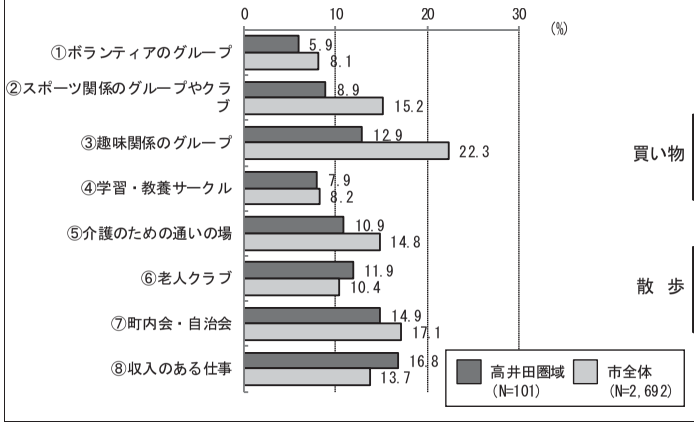
健康状態
おおむね健康な人は7割弱



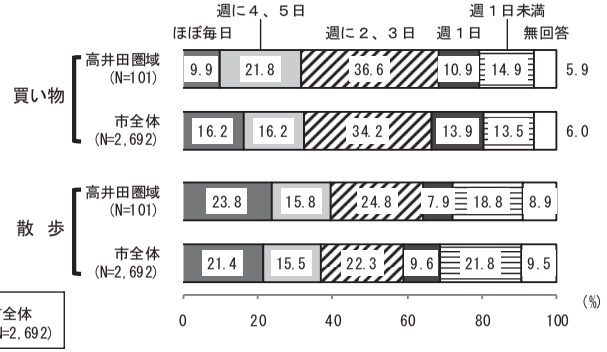
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は9割弱



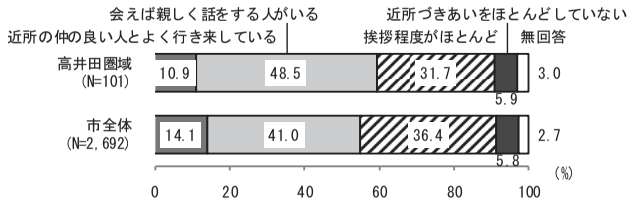
社会活動への参加状況
収入のある仕事をしている人が最も多く1割台半ば



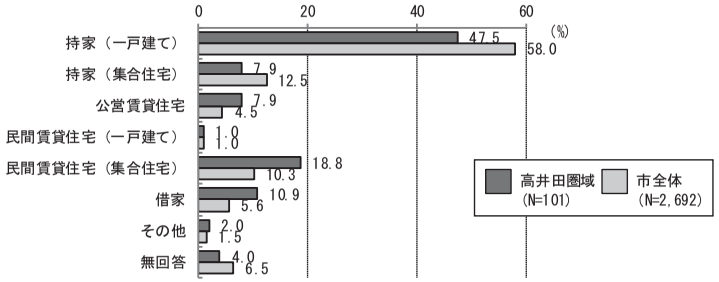
買い物や散歩の頻度
週の半数以上外出している人は
買い物で3割強、散歩で4割弱



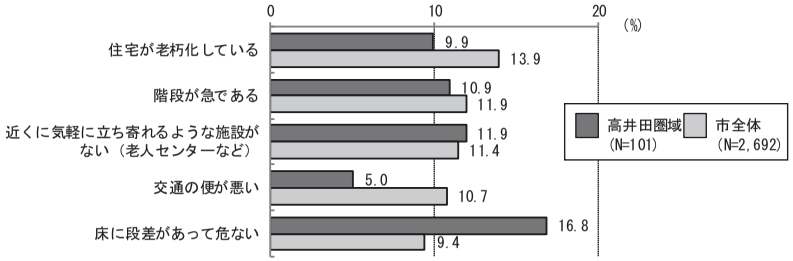
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは6割弱
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割



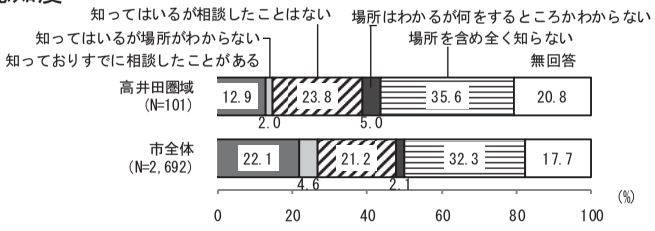
住まいの状況
持家が5割台半ば　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
床に段差があって危ない、気軽に立ち寄れる施設がない、階段が急であるをあげる人が多い

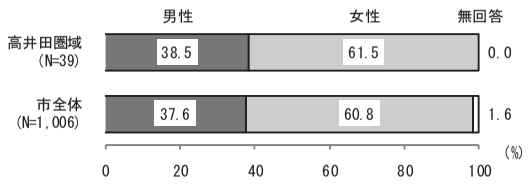


地域包括支援センターの認知度
4割弱の人が知っている

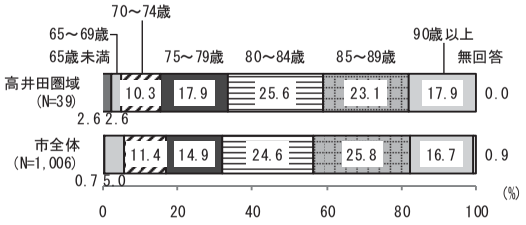


要介護高齢者

性別　女性が6割強、男性が4割弱

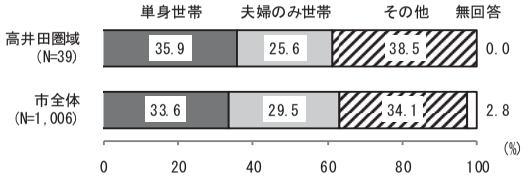


年齢　80 歳以上が6割台半ば



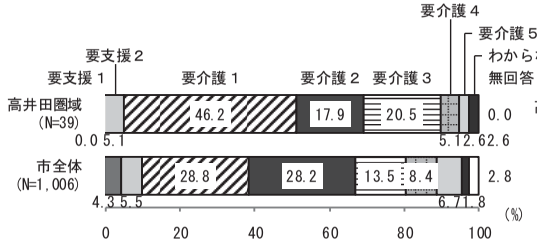
家族構成

単身世帯が3割台半ば
夫婦のみ世帯が2割台半ば



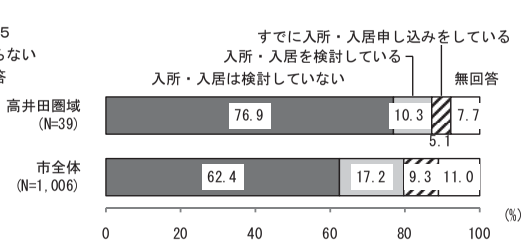
要介護度

要支援が1割未満、要介護1，2が6割台半ば、
要介護3～5が3割弱

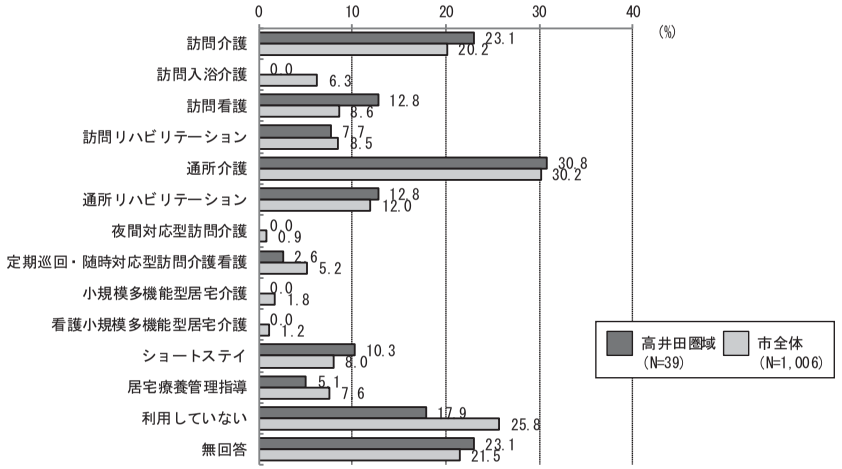


施設等への入所・入居の検討状況

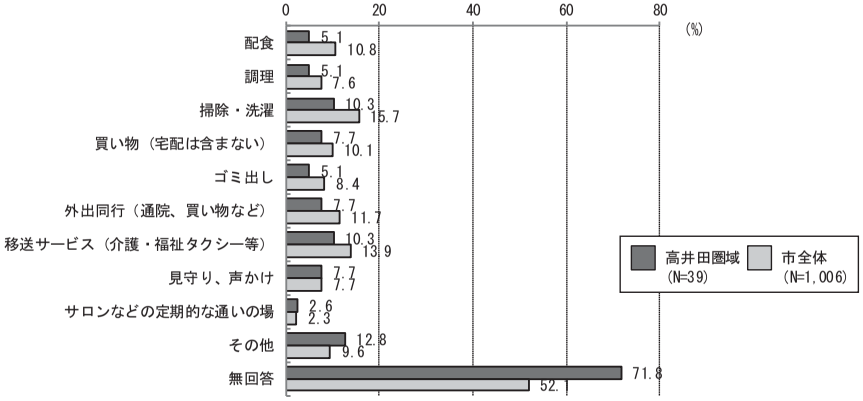
入所･入居は検討していない人が7割台半ば
検討している人が1割



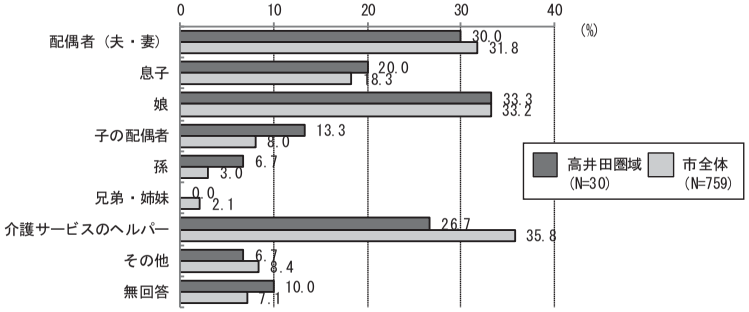
利用しているサービス　通所介護、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、移送サービスを利用している人が多い



主な介護者　娘が最も多く、次いで配偶者となっている



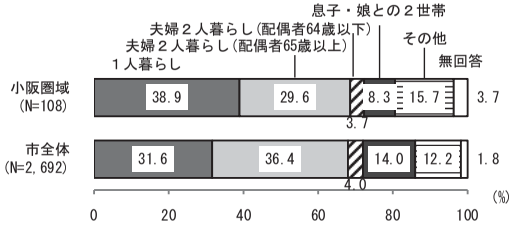
２２．小阪圏域

高齢者（65 歳以上）数	前期高齢者	後期高齢者	ひとり暮らし高齢者数	65 歳以上のみ世帯数	高齢化率
7,245 人	3,469 人	3,776 人	2,713 世帯	4,053 世帯	29.5%（市全体 28.1%）

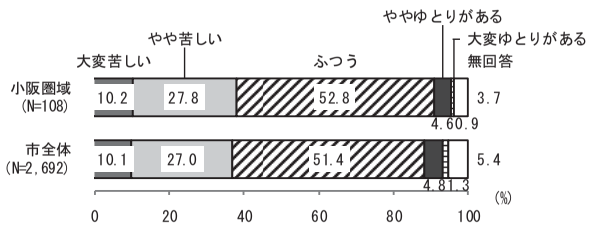
要介護（要支援）認定者数	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	認定率
1,784 人	391 人	243 人	292 人	272 人	203 人	216 人	167 人	24.1%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

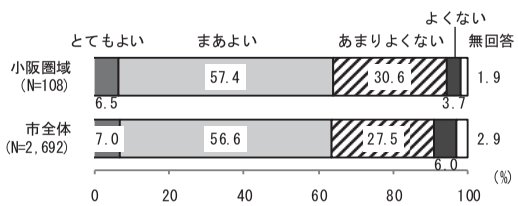
家族構成
1人暮らしが4割弱、夫婦２人暮らしが3割強
市全体に比べて1人暮らしが多い



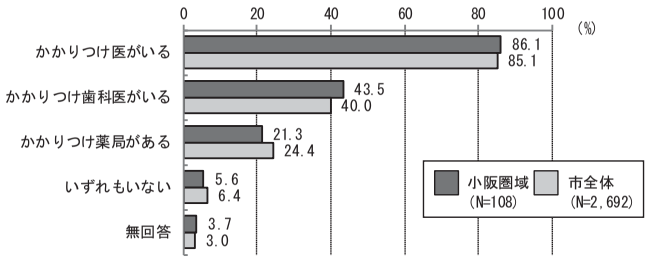
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は4割弱



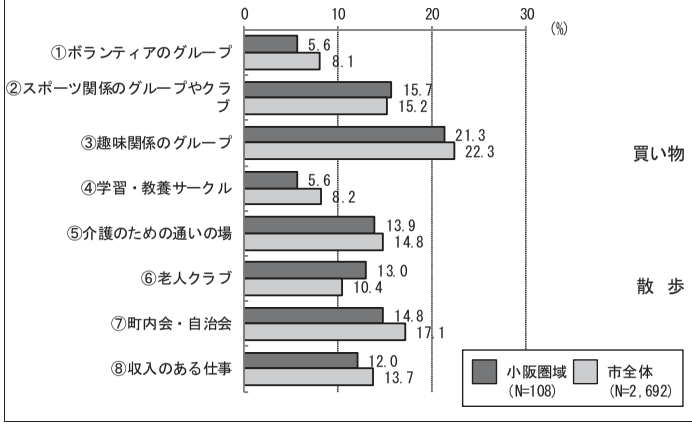
健康状態
おおむね健康な人は6割強



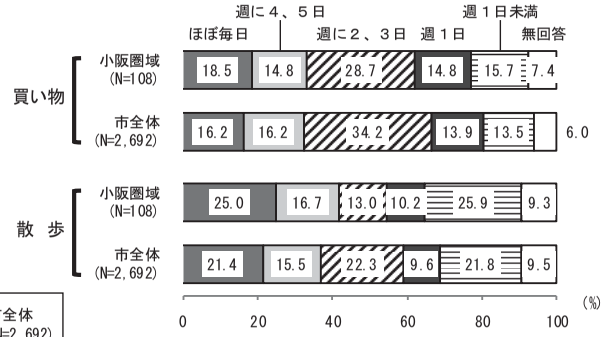
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は8割台半ば



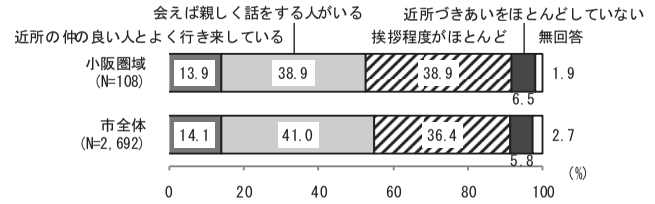
社会活動への参加状況
趣味のグループに参加している人が最も多く2割強



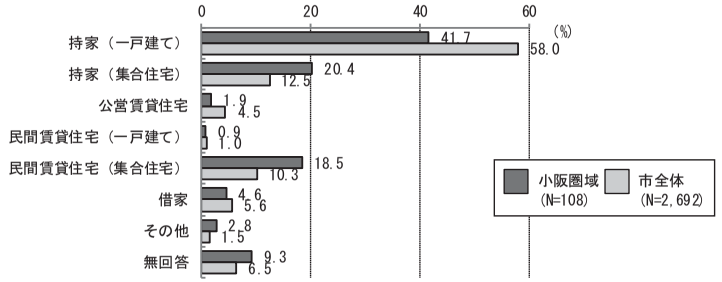
買い物や散歩の頻度
週の半数以上外出している人は買い物で3割強、散歩で4割強



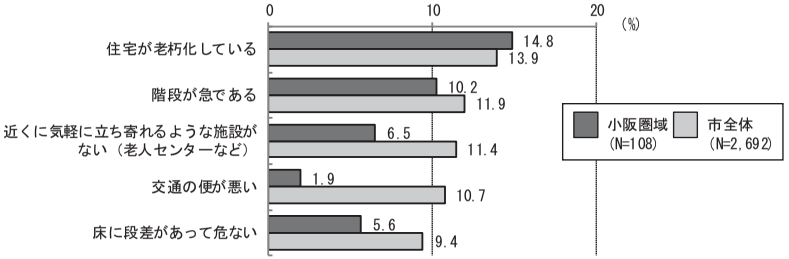
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは5割強
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割強



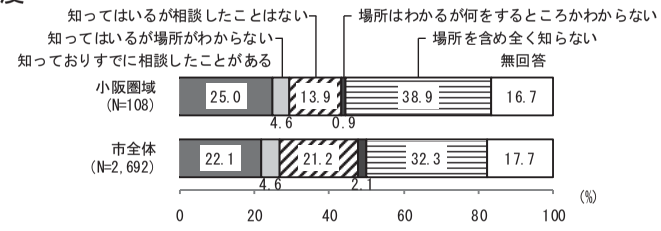
住まいの状況
持家が6割強　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
住宅の老朽化、階段が急である、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い

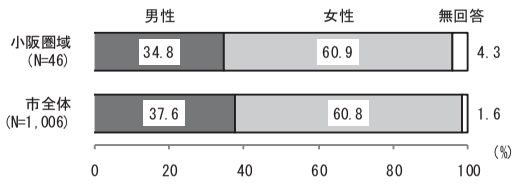


地域包括支援センターの認知度
4割強の人が知っている

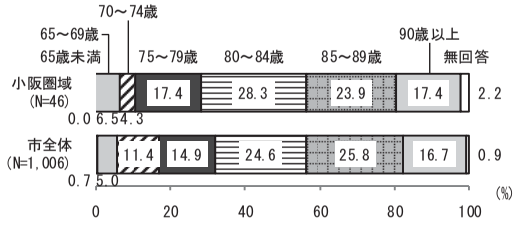


要介護高齢者

性別　女性が6割、男性が3割台半ば

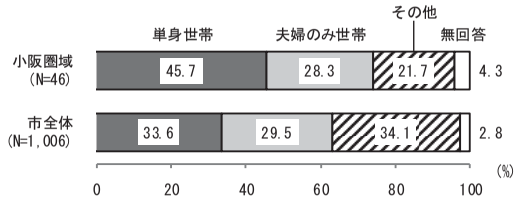


年齢　80 歳以上が7割弱



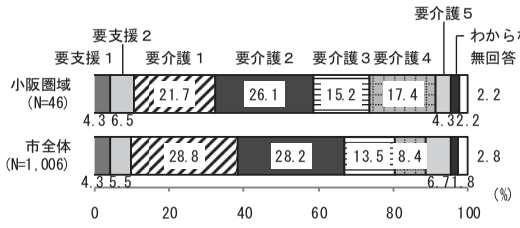
家族構成

単身世帯が4割台半ば
夫婦のみ世帯が3割弱



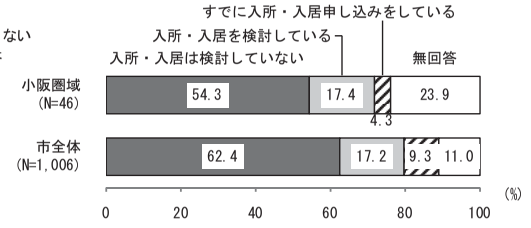
要介護度

要支援が1割、要介護1，2が5割弱、
要介護3～5が3割台半ば

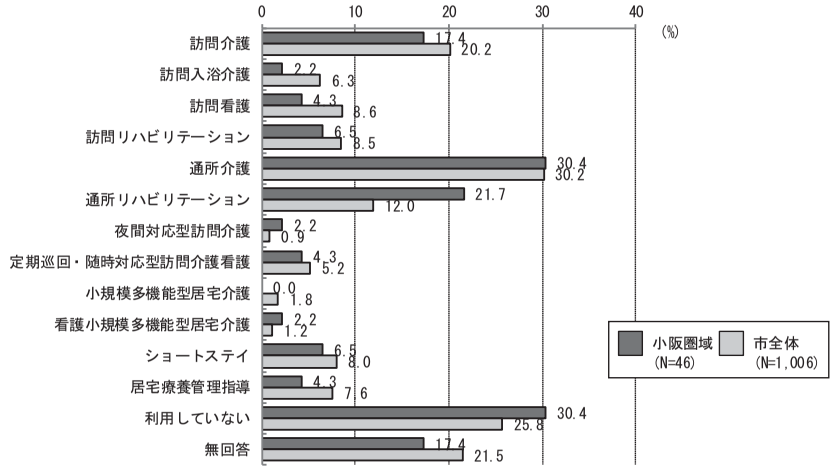


施設等への入所・入居の検討状況

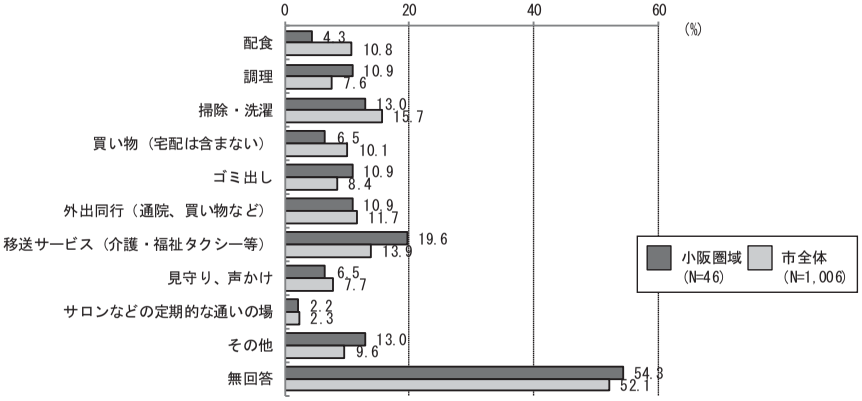
入所･入居は検討していない人が5割台半ば
検討している人が2割弱



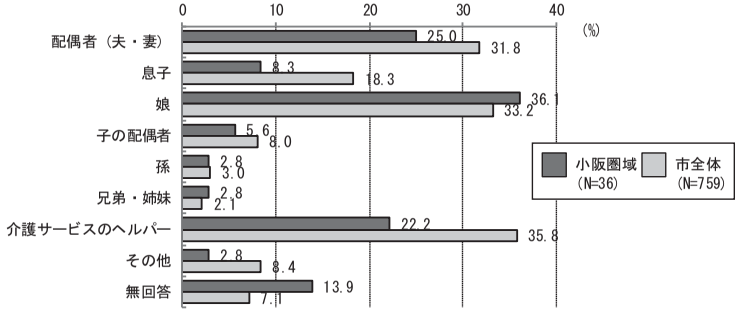
利用しているサービス　通所介護、通所リハビリテーション、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　移送サービス、掃除･洗濯を利用している人が多い



主な介護者　娘が最も多く、次いで配偶者となっている

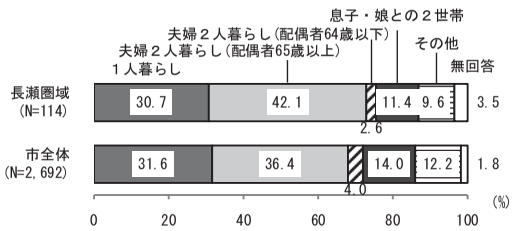


２３．長瀬圏域

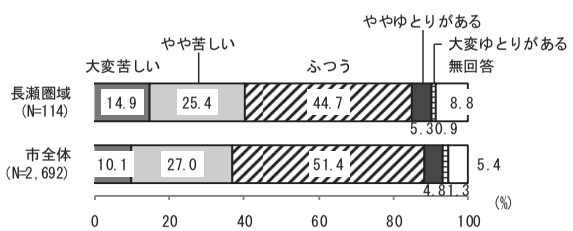
高齢者（65 歳以上）数　4,766 人	前期高齢者　1,954 人	後期高齢者　2,812 人	ひとり暮らし高齢者数　1,544 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,539 世帯	高齢化率 35.4%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,185 人	要支援１　229 人	要支援２　185 人	要介護１　227 人	要介護２　206 人	要介護３　135 人	要介護４　112 人	要介護５　91 人	認定率　24.5%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

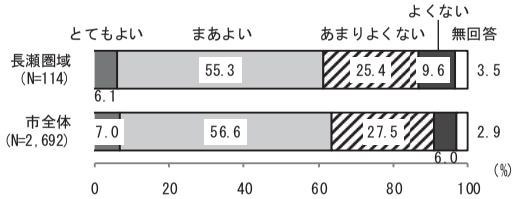
家族構成　1人暮らしが3割、夫婦２人暮らしが4割強　1人暮らしは市全体とほぼ同率



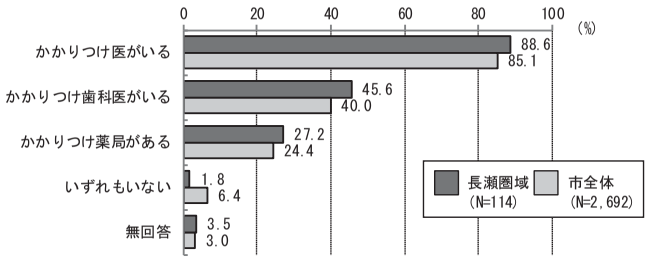
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は4割



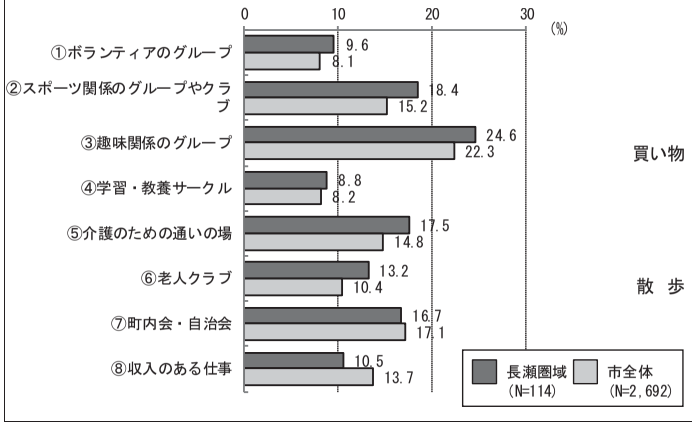
健康状態　おおむね健康な人は6割強



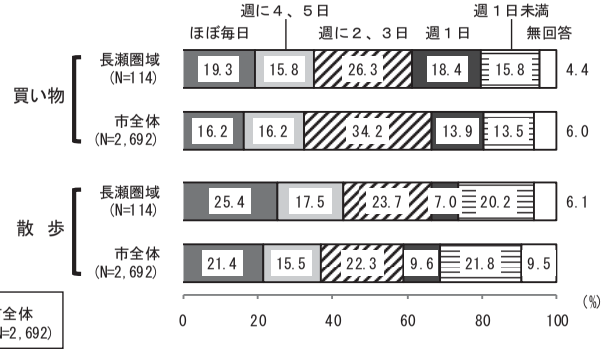
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は9割弱



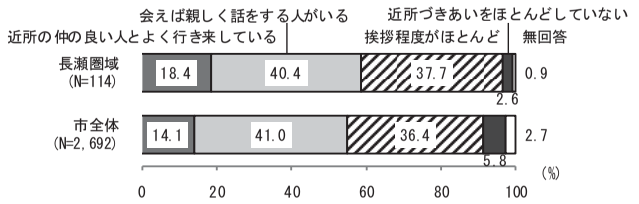
社会活動への参加状況　趣味のグループに参加している人が最も多く2割台半ば



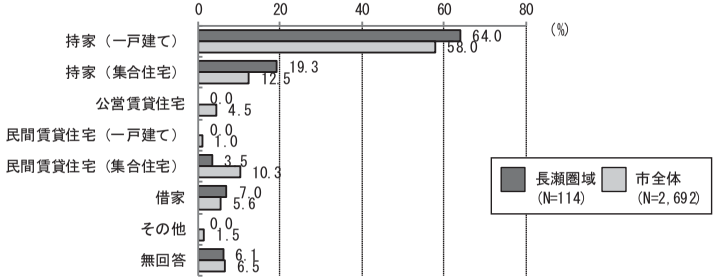
買い物や散歩の頻度　週の半数以上外出している人は買い物で3割台半ば、散歩で4割強



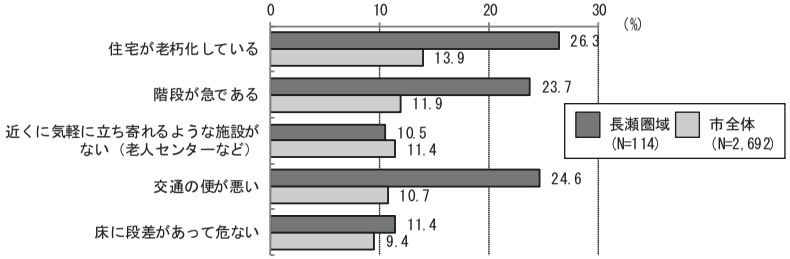
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは6割弱　なかでも親密な近所づきあいをしているのは2割弱



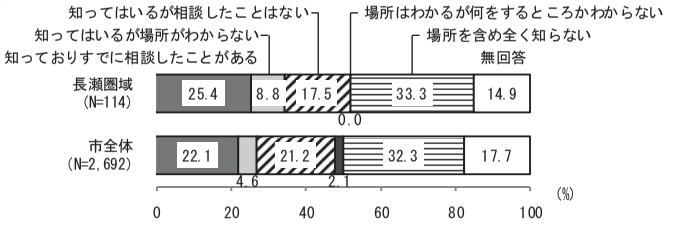
住まいの状況　持家が8割強　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　住宅の老朽化、交通の便が悪い、階段が急であるをあげる人が多い

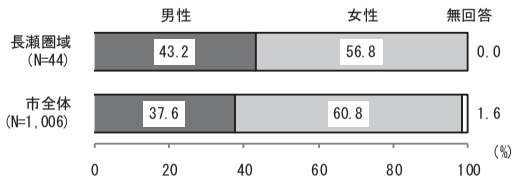


地域包括支援センターの認知度　5割強の人が知っている

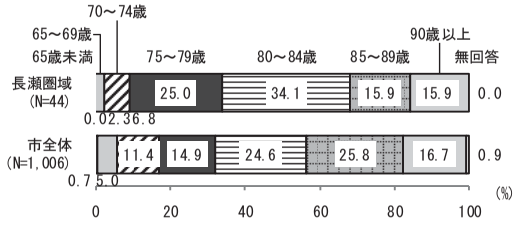


要介護高齢者

性別　女性が5割台半ば、男性が4割強

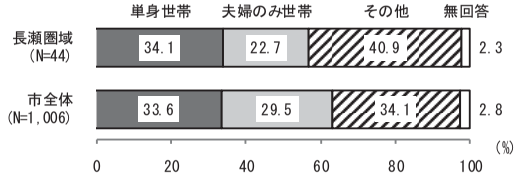


年齢　80歳以上が6割台半ば



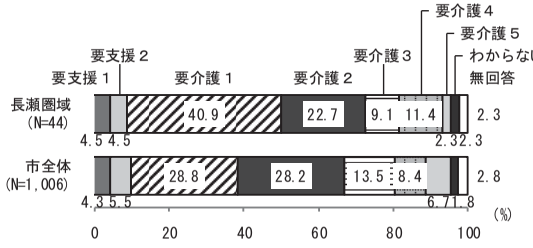
家族構成

単身世帯が3割台半ば
夫婦のみ世帯が2割強



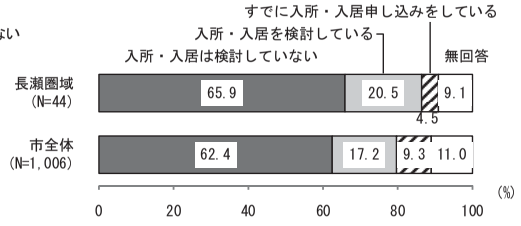
要介護度

要支援が1割弱、要介護1，2が6割強、
要介護3～5が2割強

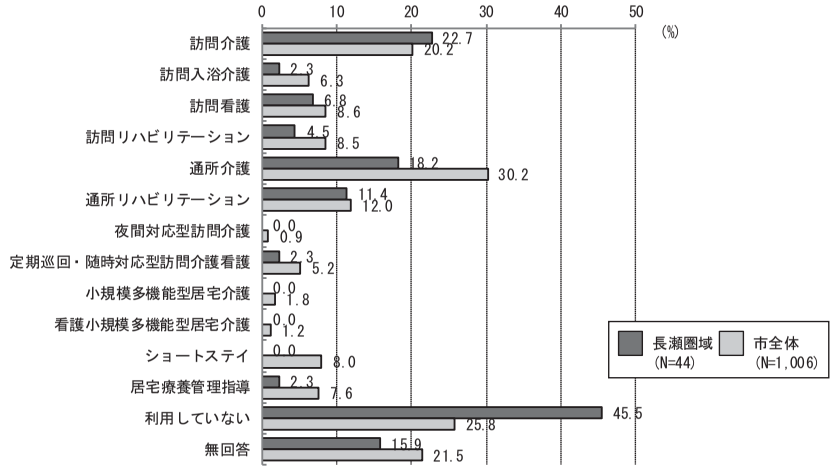


施設等への入所・入居の検討状況

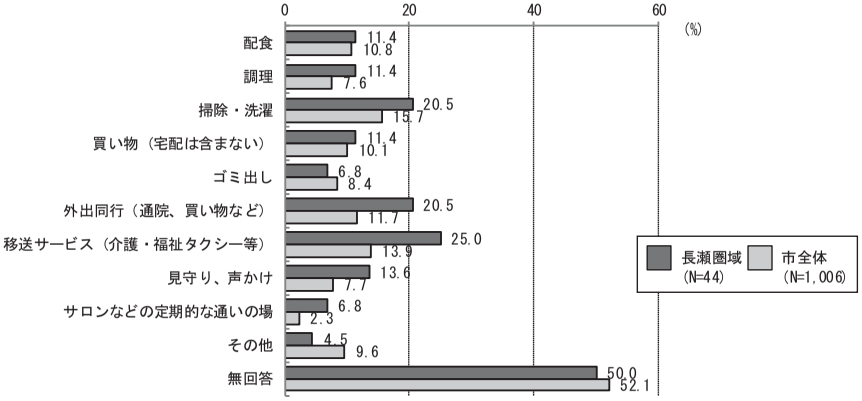
入所･入居は検討していない人が6割台半ば
検討している人が2割



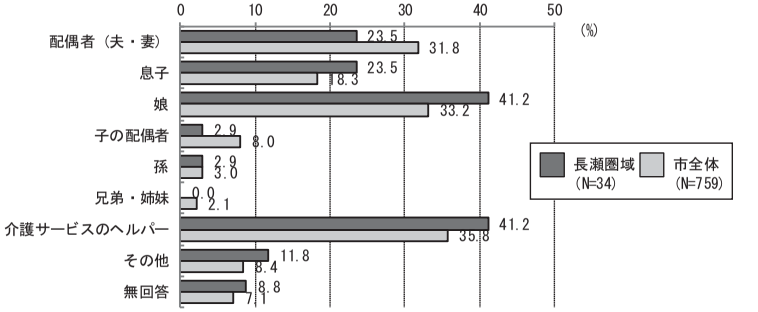
利用しているサービス　訪問介護、通所介護、通所リハビリテーションを利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　移送サービス、掃除･洗濯、外出同行を利用している人が多い



主な介護者　娘と介護サービスのヘルパーが同率で最も多くなっている

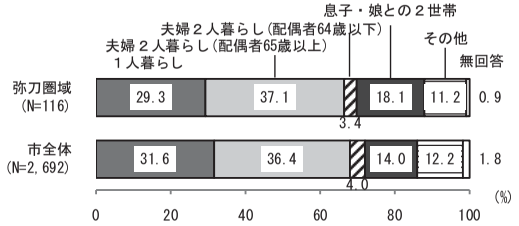


２４．弥刀圏域

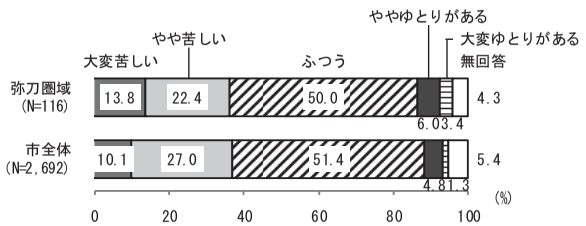
高齢者（65 歳以上）数　5,253 人	前期高齢者　2,329 人	後期高齢者　2,924 人	ひとり暮らし高齢者数　1,892 世帯	65 歳以上のみ世帯数　2,882 世帯	高齢化率 32.0%（市全体 28.1%）			
要介護（要支援）認定者数　1,301 人	要支援１　238 人	要支援２　190 人	要介護１　245 人	要介護２　243 人	要介護３　147 人	要介護４　131 人	要介護５　107 人	認定率　24.5%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）

一般高齢者

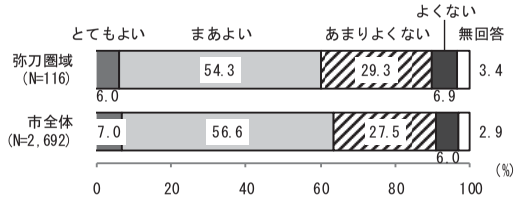
家族構成
1人暮らしが3割弱、夫婦２人暮らしが4割弱
市全体に比べて1人暮らしがやや少ない



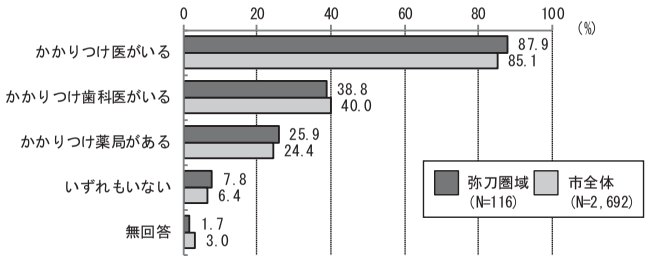
生活の状況
大変苦しい、やや苦しい人は3割台半ば



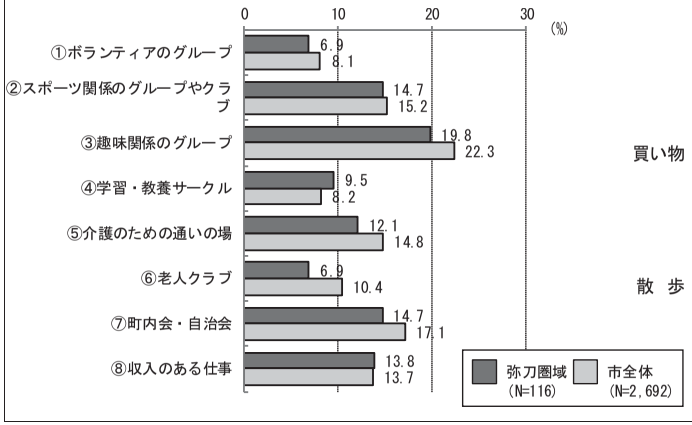
健康状態
おおむね健康な人は6割



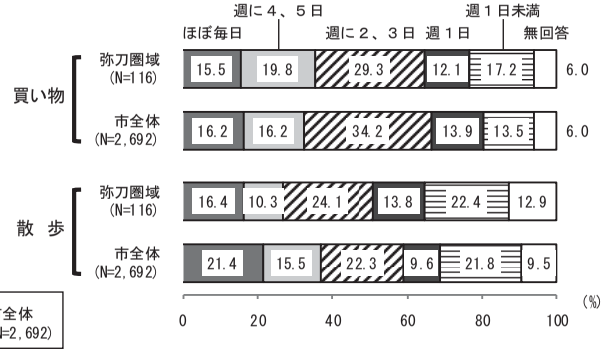
かかりつけ医の有無
かかりつけ医のいる人は9割弱



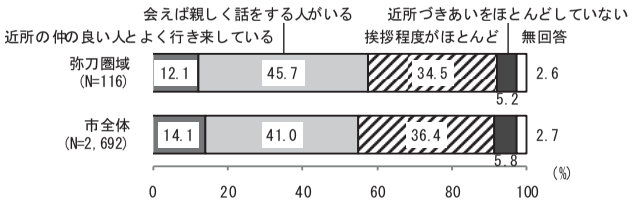
社会活動への参加状況
趣味のグループに参加している人が最も多く2割弱



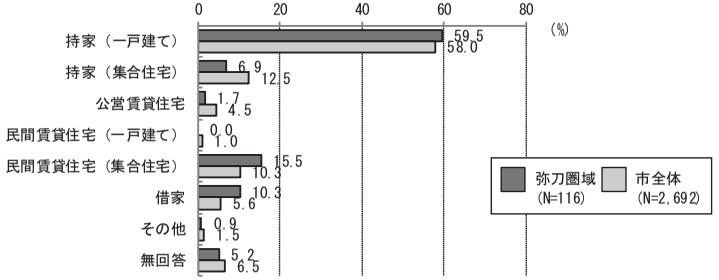
買い物や散歩の頻度
週の半数以上外出している人は買い物で3割台半ば、散歩で2割台半ば



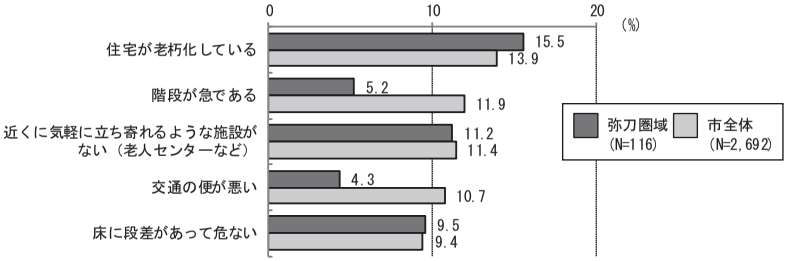
近所づきあい
比較的親密な近所づきあいをしているのは6割弱
なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割強



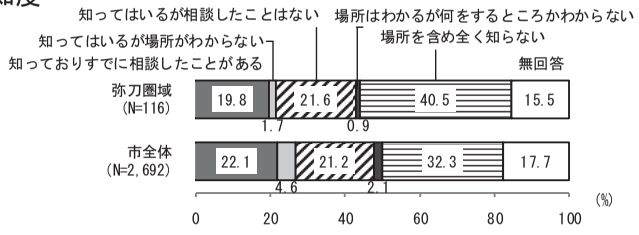
住まいの状況
持家が6割台半ば　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）
住宅の老朽化、気軽に立ち寄れる施設がない、床に段差があって危ないをあげる人が多い

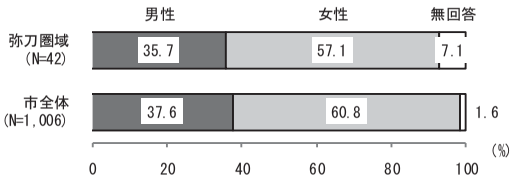


地域包括支援センターの認知度
4割強の人が知っている

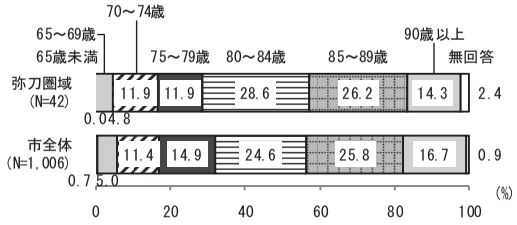


要介護高齢者

性別　女性が6割弱、男性が3割台半ば

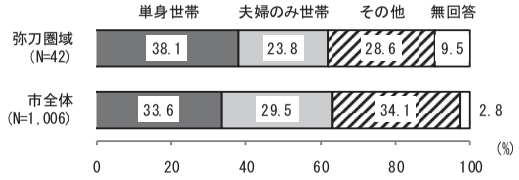


年齢　80歳以上が7割弱



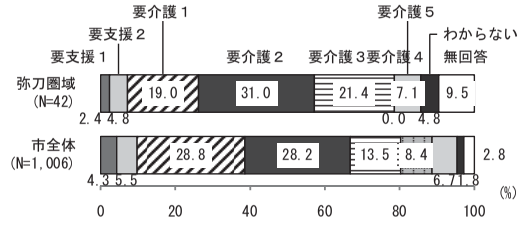
家族構成

単身世帯が4割弱
夫婦ふたり暮らしが2割強



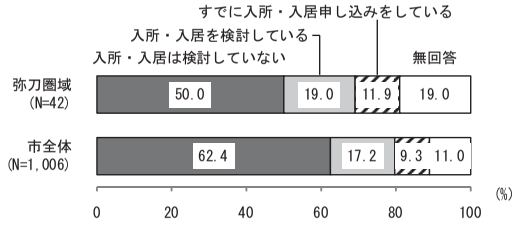
要介護度

要支援が1割弱、要介護1，2が5割、
要介護3～5が3割弱

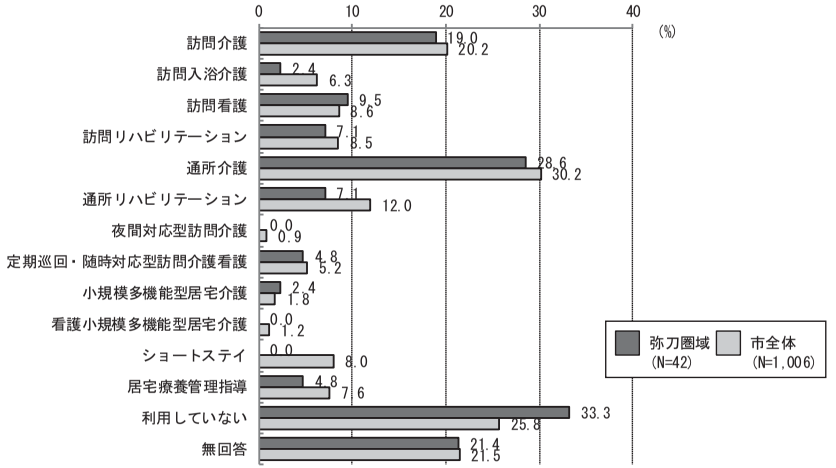


施設等への入所・入居の検討状況

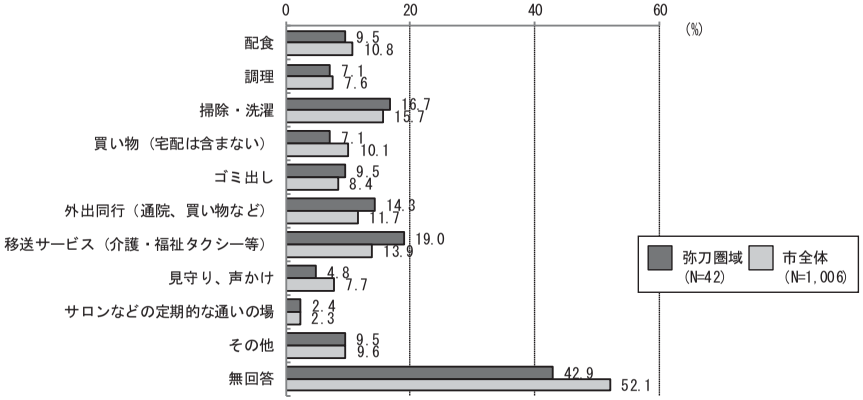
入所･入居は検討していない人が5割
検討している人が2割弱



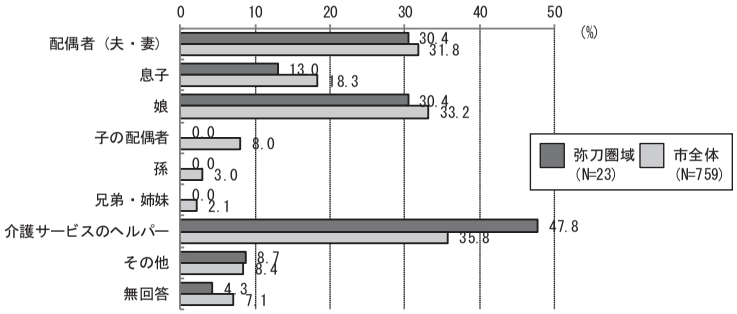
利用しているサービス　通所介護、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　移送サービス、掃除･洗濯、外出同行を利用している人が多い



主な介護者　介護サービスのヘルパーが最も多く、次いで配偶者と娘が同率となっている

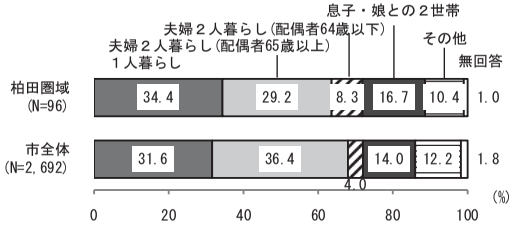


２５．柏田圏域

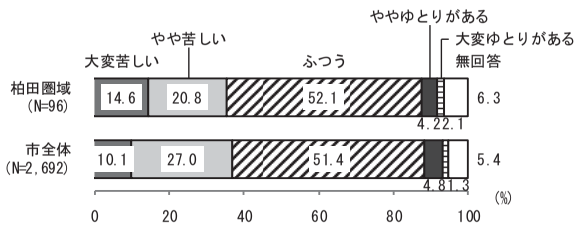
高齢者（65 歳以上）数　3,173 人	前期高齢者　1,512 人	後期高齢者　1,661 人	ひとり暮らし高齢者数　1,144 世帯	65 歳以上のみ世帯数　1,710 世帯	高齢化率 28.5%（市全体 28.1%）				
要介護（要支援）認定者数　822 人	要支援１　105 人	要支援２　118 人	要介護１　134 人	要介護２　184 人	要介護３　114 人	要介護４　81 人	要介護５　86 人	認定率　25.5%（市全体 22.8%）（R1.11 末現在）	

一般高齢者

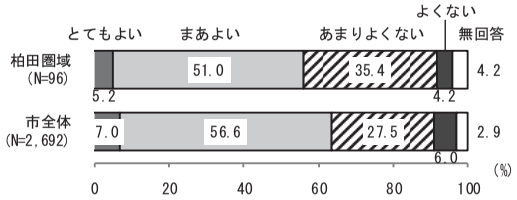
家族構成　1人暮らしが3割台半ば、夫婦２人暮らしが3割弱 市全体に比べて1人暮らしが多い



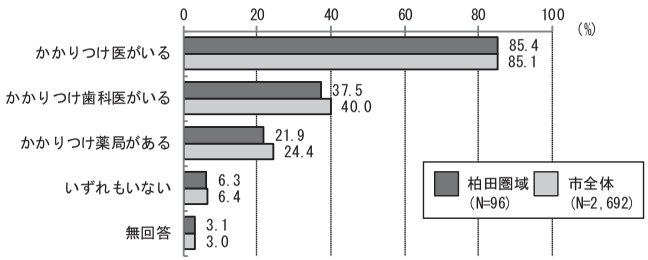
生活の状況　大変苦しい、やや苦しい人は3割台半ば



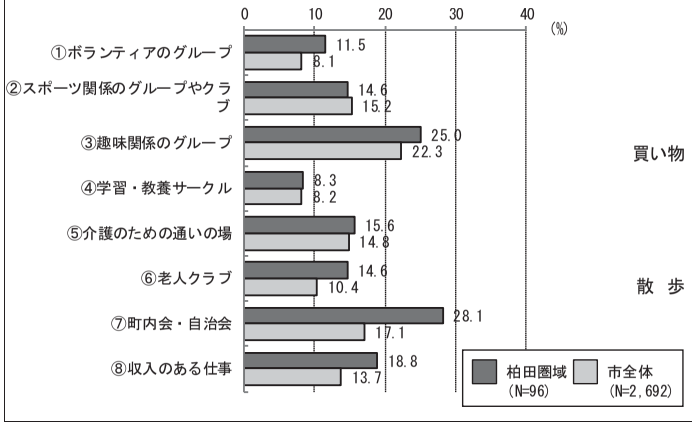
健康状態　おおむね健康な人は5割台半ば



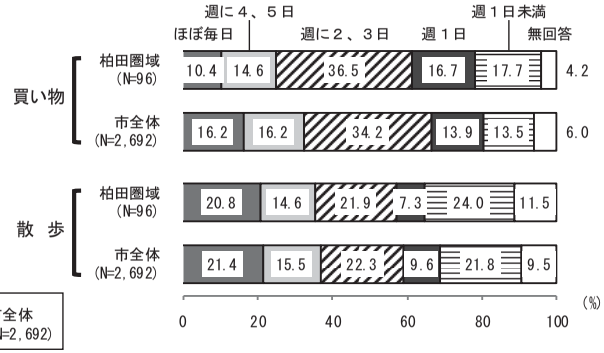
かかりつけ医の有無　かかりつけ医のいる人は8割台半ば



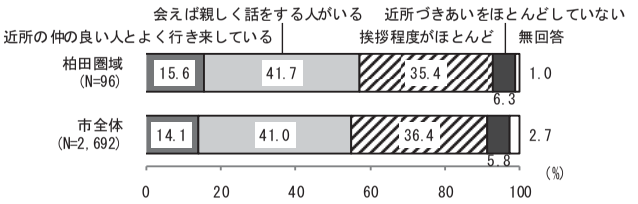
社会活動への参加状況　町内会・自治会に参加している人が最も多く3割弱



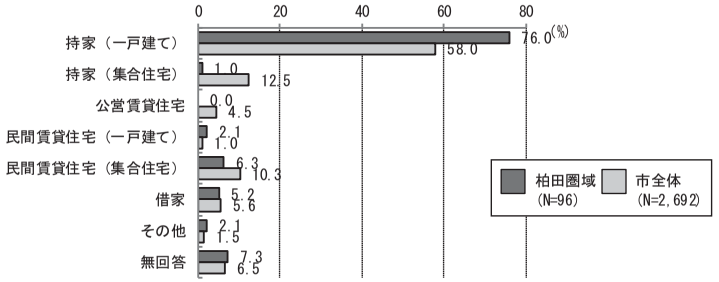
買い物や散歩の頻度　週の半数以上外出している人は買い物で2割台半ば、散歩で3割台半ば



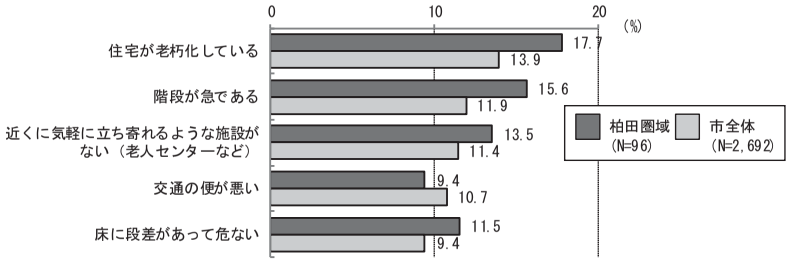
近所づきあい　比較的親密な近所づきあいをしているのは6割弱 なかでも親密な近所づきあいをしているのは1割台半ば



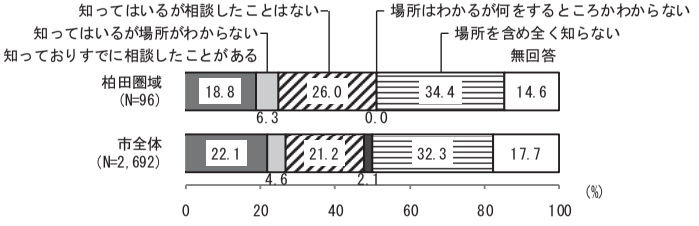
住まいの状況　持家が8割弱　なかでも一戸建てが多い



住まい等で不便なこと（上位5つ）　住宅の老朽化、階段が急である、気軽に立ち寄れる施設がないをあげる人が多い

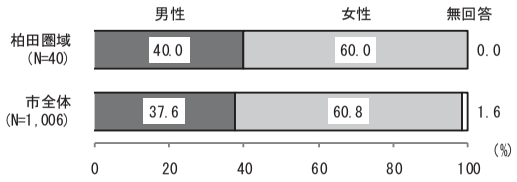


地域包括支援センターの認知度　5割強の人が知っている

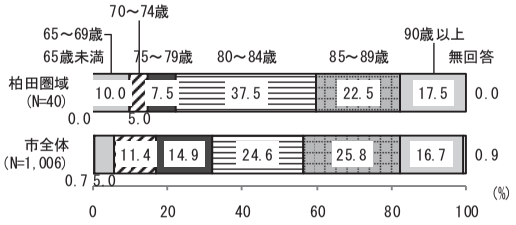


要介護高齢者

性別　女性が6割、男性が4割

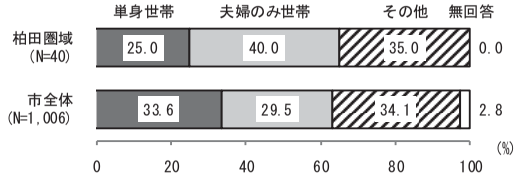


年齢　80 歳以上が8割弱



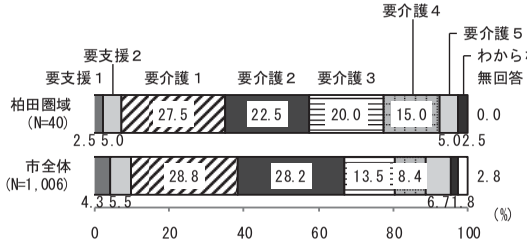
家族構成

単身世帯が2割台半ば
夫婦のみ世帯が4割



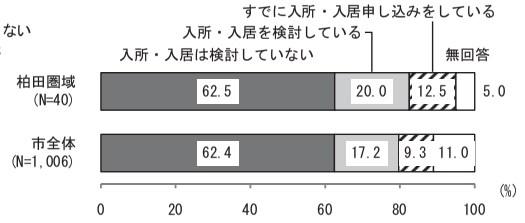
要介護度

要支援が1割弱、要介護1，2が5割、
要介護3～5が4割

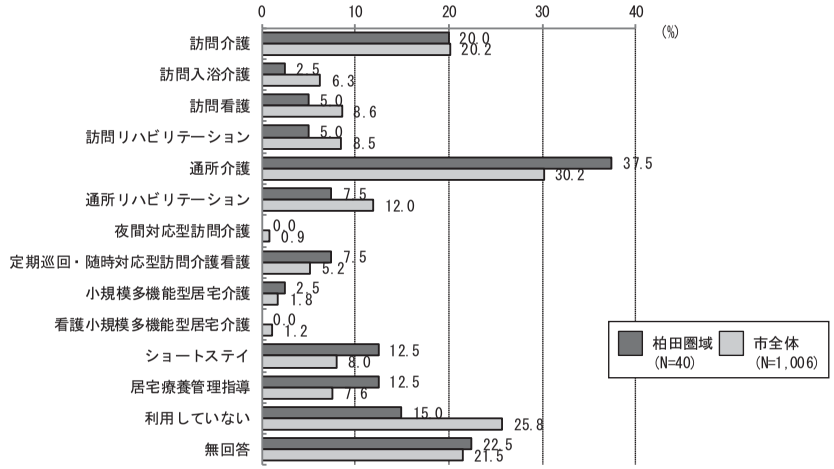


施設等への入所・入居の検討状況

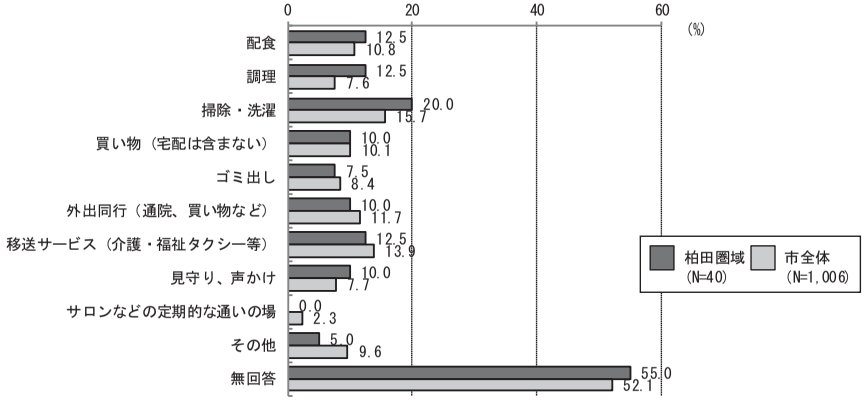
入所･入居は検討していない人が6割強
検討している人が2割



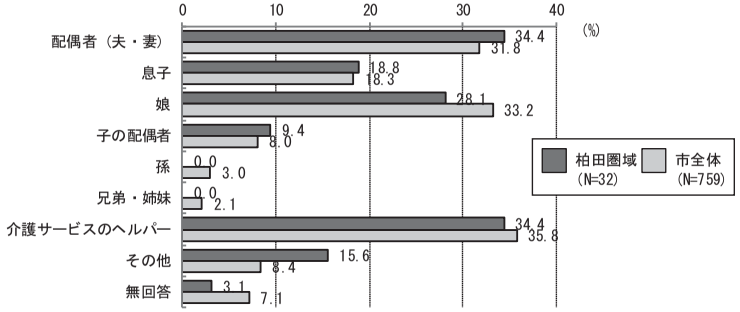
利用しているサービス　通所介護、訪問介護を利用している人が多い



介護保険サービス以外の利用状況　掃除･洗濯、配食、調理、移送サービスを利用している人が多い



主な介護者　配偶者と介護サービスのヘルパーが同率で最も多く、次いで娘となっている



資料編（調査票）

一般高齢者アンケート調査票..... 255
要介護者（居宅介護サービス）アンケート調査票 271
介護者アンケート調査票..... 283
居宅介護支援事業所アンケート調査票 287
地域包括支援センターアンケート調査票 295

高齢者保健福祉に関するアンケート調査

平素は、東大阪市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。このたび、本市にお住まいの65歳以上の方（要支援1・2の方、及び、要介護認定を受けていない方）から無作為に選んだ皆様を対象に、高齢者福祉サービスなどに対するご意見をお聞かせいただくため、調査を実施いたします。皆様のご意見は　、地域で安心してお暮らしいただけるよう、高齢者福祉事業や介護保険事業の充実を目指し、令和２年度に策定する「東大阪市第９次高齢者保健福祉計画・第８期介護保険事業計画」の基礎資料として活用させていただきます。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協 力くださいますようお願い申し上げます。

東大阪市　福祉部　高齢介護課

記 入 に 際 し て の お 願 い

1．ご回答にあたっては**封筒のあて名ご本人様に**お答えいただきますが、**ご家族等が記入される場合は、できる限りご本人様の意向をお聞きの上、記入してください。**

2．この調査は無記名回答方式ですので、**名前を記入いただく必要はありません。**また、記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、本調査以外の目的に使用いたしません。

3．ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。数字を記入する欄は右詰め　□6 2　kg）でご記入ください。

4．**選択肢の１つに○をつけてください。「○はいくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。**

5．調査票記入後は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**1月24日（金）まで**に投函してください。

6．この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします

調査票の記入方法についての お問い合わせ（平日9:00～17:00）	株式会社サーベイリサーチセンター 電話 0120-311-207（フリーダイヤル）
調査全般のお問い合わせ （平日9:00～17:30）	東大阪市役所　福祉部　高齢介護課 電話 06-4309-3185

○以下、記入をお願いします

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください

1．ご本人　　2．ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄＿＿＿＿）　3．その他（　　）

○あて名のご本人様の情報を記入してください（それぞれ1つに○）

性別	1．男	2．女	
年齢	1．65歳～69歳	2．70歳～74歳	3．75歳～79歳
	4．80歳～84歳	5．85歳～89歳	6．90歳以上
要介護認定の有無	1．要支援１	2．要支援２	3．認定を受けていない

問１　あなたのご家族や生活状況について

（１）家族構成をお教えください　（１つに○ ）

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）
３．夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）　　４．息子・娘との２世帯
５．その他（　　）

（２）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか　（１つに○ ）

１．介護・介助は必要ない　⇒（３）へ　　２．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
３．現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【（２）において「２.」または「３.」（介護・介助が必要）と回答された方のみ】

(2)-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか　（ ○はいくつでも）

１．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）　２．心臓病　３．がん（悪性新生物）
４．呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）　５．関節の病気（リウマチ等）　６．認知症（アルツハイマー病等）
７．パーキンソン病　８．糖尿病　９．腎疾患（透析）
10．視覚・聴覚障害　11．骨折・転倒　12．脊椎損傷
13．高齢による衰弱　14．その他（　　）　15．不明

【（２）において「３．現在、何らかの介護を受けている」と回答された方のみ】

(2)-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか　（ ○はいくつでも）

１．配偶者（夫・妻）　２．息子　３．娘
４．子の配偶者　５．孫　６．兄弟・姉妹
７．介護サービスのヘルパー　８．その他（　　）

（３）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか　（１つに○ ）

１．大変苦しい　２．やや苦しい　３．ふつう
４．ややゆとりがある　５．大変ゆとりがある

問２　からだを動かすことについて

（１）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか　（１つに○）

１．できるし、している　２．できるけどしていない　３．できない

（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか　（１つに○ ）

１．できるし、している　２．できるけどしていない　３．できない

（３）15分位続けて歩いていますか　（１つに○ ）

１．できるし、している　２．できるけどしていない　３．できない

（４）過去1年間に転んだ経験がありますか　（１つに○ ）

１．何度もある　２．１度ある　３．ない

（5）転倒に対する不安は大きいですか（１つに○ ）

1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安でない　4．不安でない

（6） 週に１回以上は外出していますか （１つに○ ）

1．ほとんど外出しない　2． 週 １回　3． 週 ２～４回　4． 週 ５回以上

（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか （１つに○ ）

1．とても減っている　2．減っている　3．あまり減っていない　4．減っていない

（8）外出を控えていますか （１つに○ ）

1．はい　2．いいえ ⇒（9）へ

【（8）で「1．はい」（外出を控えている）と回答された方のみ】

(8)-1 外出を控えている理由は、次のどれですか （ ○はいくつでも）

1．病気　2．障害（脳卒中の後遺症など）
3．足腰などの痛み　4．トイレの心配（失禁など）
5．耳の障害（聞こえの問題など）　6．目の障害
7．外での楽しみがない　8．経済的に出られない
9．交通手段がない　10．その他（ ）

（9）散歩で外出する頻度はどのくらいですか （１つに○）

1．ほぼ毎日　2． 週に４、５日　3． 週に２、３日
4． 週 １日　5． 週 １日未満

(10) 買い物で外出する頻度はどのくらいですか （１つに○）

1．ほぼ毎日　2． 週に４、５日　3． 週に２、３日
4． 週 １日　5． 週 １日未満

(11) 外出する際の移動手段は何ですか （ ○はいくつでも）

1．徒歩　2．自転車　3．バイク
4．自動車（自分で運転）　5．自動車（人に乗せてもらう）　6．電車
7．路線バス　8．病院や施設のバス　9． 車いす
10．電動車いす（カート）　11．歩行器・シルバーカー　12．タクシー
13．その他（ ）

(12) 買物や散歩以外でどのようなことでよく外出されますか （ ○はいくつでも）

1．子どもや孫、親戚に会いに行く　2．友達や知人に会いに行く
3．仕事関係（通勤、農作業等）　4．地域や老人クラブなどの集まりに行く
5．趣味やスポーツなどをする　6．ボランティアなどの活動をする
7．医院、病院等の医療機関に行く　8．老人センターに行く
9．街かどデイハウスに行く　10．その他（ ）

問３　食べることについて

（１）身長・体重について、ご記入ください

①身長 [　　] cm　　②体重 [　　] kg

（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか （１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（３）お茶や汁物等でむせることがありますか （１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（４）口の渇きが気になりますか （１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（５）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか （１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（６）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください （１つに○ ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

１．自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
２．自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
３．自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
４．自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(6)-1 噛み合わせは良いですか （１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

【（６）で「１.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「３.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方のみ】

(6)-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか （１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（７）定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか （１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（８）６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか （１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（９）どなたかと食事をともにする機会はありますか （１つに○ ）

１．毎日ある　　２．週に何度かある
３．月に何度かある　　４．年に何度かある
５．ほとんどない

問４　毎日の生活について

（１）物忘れが多いと感じますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（２）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（３）今日が何月何日かわからない時がありますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

（４）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）　（１つに○ ）

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（５）自分で食品・日用品の買物をしていますか　（１つに○ ）

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（６）自分で食事の用意をしていますか　（１つに○ ）

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（７）自分で請求書の支払いをしていますか　（１つに○ ）

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（８）自分で預貯金の出し入れをしていますか　（１つに○ ）

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（９）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

(10) 新聞を読んでいますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか　（１つに○ ）

１．はい　　２．いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか （１つに○ ）

1．はい　　2．いいえ

(17) 趣味はありますか （１つに○ ）

1．趣味あり ➡（例）山登り：　　）　　2．思いつかない

(18) 生きがいはありますか （１つに○ ）

1．生きがいあり ➡（例）友達との交流：　　）　　2．思いつかない

問５ 地域での活動について

（１）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※① ～ ⑧それぞれに回答してください （それぞれ１つに○ ）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場（街かどデイハウス、つどいサービス、地域でのサロン活動など ）	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

（２）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか （１つに○ ）

1．是非参加したい　　2．参加してもよい
3．参加したくない（理由：　　）　　4．既に参加している

（３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか （１つに○）

1．是非参加したい　　2．参加してもよい
3．参加したくない（理由：　　）　　4．既に参加している

（４）あなたは、近所づきあいをどの程度されていますか （１つに○ ）

1．近所の仲の良い人とよく行き来している　　2．会えば親しく話をする人がいる
3．挨拶程度がほとんど　　4．近所づきあいをほとんどしていない

（5）あなたは、地域の行事等に参加されていますか （ ○はいくつでも）

1．ひとり暮らしの高齢者の食事会等
2．サロン ※高齢者を対象にした介護予防等を目的とした場
3．地域の運動会
4．地域のお祭りや盆踊り
5．地域の防災訓練
6．地域の清掃等の美化活動
7．子どもの見守り、学校との交流等
8．地域の敬老行事
9．地域の介護予防活動
10．その他（ ）
11．参加したことがない

問６ たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

（1）あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 （ ○はいくつでも）

1．配偶者 2．同居の子ども 3．別居の子ども 4．兄弟姉妹・親戚・親・孫
5．近隣 6．友人 7．その他（ ） 8．そのような人はいない

（2）反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 （ ○はいくつでも）

1．配偶者 2．同居の子ども 3．別居の子ども 4．兄弟姉妹・親戚・親・孫
5．近隣 6．友人 7．その他（ ） 8．そのような人はいない

（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 （ ○はいくつでも）

1．配偶者 2．同居の子ども 3．別居の子ども 4．兄弟姉妹・親戚・親・孫
5．近隣 6．友人 7．その他（ ） 8．そのような人はいない

（4）反対に、看病や世話をしてあげる人 （ ○はいくつでも）

1．配偶者 2．同居の子ども 3．別居の子ども 4．兄弟姉妹・親戚・親・孫
5．近隣 6．友人 7．その他（ ） 8．そのような人はいない

（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください （ ○はいくつでも）

1．自治会・町内会・老人クラブ 2．社会福祉協議会・民生委員 3．ケアマネジャー
4．医師・歯科医師・看護師 5．地域包括支援センター・市役所
6．その他（ ） 7．そのような人はいない

（6）あなたは、緊急時等何かあったときに、身近に頼ることのできる人がいますか （ ○はいくつでも）

1．夫・妻
2．子ども・子どもの家族（同居または近くに住む）
3．近くに住む親戚等
4．近所の人
5．友人
6．民生委員、校区福祉委員、自治会の人
7．その他（ ） 8．いない

（7）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか （１つに○ ）

1．毎日ある 2．週に何度かある 3．月に何度かある
4．年に何度かある 5．ほとんどない

（8）この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか （1つに○ ）
（同じ人には何度会っても1人と数えることとします）

1．0人（いない）　2．1～2人　3．3～5人
4．6～9人　5．10人以上

（9）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか （ ○はいくつでも）

1．近所・同じ地域の人　2．幼なじみ　3．学生時代の友人
4．仕事での同僚・元同僚　5．趣味や関心が同じ友人　6．ボランティア等の活動での友人
7．その他（　　）　8．いない

問7 健康・仕事・生きがいについて

（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか （1つに○ ）

1．とてもよい　2．まあよい　3．あまりよくない　4．よくない

（2）あなたは、現在どの程度幸せですか
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください）

（とても不幸）←→（とても幸せ）
0点　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10点

（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つに○ ）

1．はい　2．いいえ

（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか （1つに○ ）

1．はい　2．いいえ

（5）お酒は飲みますか （1つに○ ）

1．ほぼ毎日飲む　2．時々飲む　3．ほとんど飲まない　4．もともと飲まない

（6）タバコは吸っていますか （1つに○ ）

1．ほぼ毎日吸っている　2．時々吸っている　3．吸っていたがやめた　4．もともと吸っていない

（7）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか （ ○はいくつでも）

1．ない　2．高血圧　3．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
4．心臓病　5．糖尿病　6．高脂血症（脂質異常）
7．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）　8．胃腸・肝臓・胆のうの病気
9．腎臓・前立腺の病気　10．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
11．外傷（転倒・骨折等）　12．がん（悪性新生物）　13．血液・免疫の病気
14．うつ病　15．認知症(アルツハイマー病等)　16．パーキンソン病
17．目の病気　18．耳の病気　19．その他（　　）

（8）健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」等がいますか （ ○はいくつでも）

1．かかりつけ医がいる　2．かかりつけ歯科医がいる　3．かかりつけ薬局がある
4．いずれもいない

（9）自宅で暮らし続けるためには、医療においてどのような支援が必要ですか （ ○はいくつでも）

1．定期的な歯科受診　2．定期的な健康診断
3．かかりつけ医との連携　4．訪問診療　5．その他（　　）

（10）あなたは現在、働いていますか （１つに○ ）

1．働いている
2．働いていない ⇒ (10)-2 へ

【(10) で「1．働いている」と回答された方のみ】

(10)-1　働いている理由は何ですか （ ○はいくつでも）

1．生活費が必要だから　2．こづかいがほしいから
3．健康によいから　4．友達ができるから
5．退屈だから　6．働くのが楽しいから
7．自分の能力を活かしたいから　8．仕事を通じて社会に貢献したいから
9．その他（　　）

【(10) で「2．働いていない」と回答された方のみ】

(10)-2　今後、働きたいと思いますか （１つに○）

1．働きたい　2．働きたいが身体の都合などで働けない　3．働きたくない・働く必要がない

（11）あなたが現在やっていることで、生きがいや楽しみを感じるのはどんなことですか（○はいくつでも）

1．テレビやラジオの視聴　2．孫たちの成長をみること
3．友達との交流・会話　4．家族の役に立つこと
5．人の役に立つこと（ボランティア）　6．働くこと
7．町内会・自治会の活動　8．老人クラブ、老人会の活動
9．趣味の活動　10．旅行や買い物、観劇などの外出
11．学習や教養を高めるための活動　12．スポーツに関する活動
13．介護予防のための活動　14．その他（　　）
15．何もない

（12）あなたは、これまでの生活（仕事、地域活動、家事・育児等）の中で身につけた経験や技術を、これから活かしていきたいと思いますか。どのような場で活かすことができると思いますか（○はいくつでも）

1．趣味のサークル活動　2．スポーツや生涯学習などの集まり
3．町内会・自治会　4．ボランティア
5．老人クラブ・老人会　6．仕事・職場
7．シルバー人材センター　8．ＮＰＯ団体等
9．近所づきあいの中で（若い人の相談にのるなど）　10．介護予防のためのサークル
11．その他（　　）　12．活かしたいとは思わない、活かせる経験や技術がない

問８ 認知症について

（１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか （１つに○）

１．はい　　２．いいえ

（２）認知症に関する相談窓口を知っていますか （１つに○）

１．はい　　２．いいえ

（３）あなたは認知症に対する不安がありますか （１つに○）

１．ある　　２．ない　　３．わからない

（４）最近、以下のような症状や状態を感じることがありますか （ ○はいくつでも）

１．１日に１回以上、物忘れや置き忘れがある
２．朝食の内容が思い出せないことがある
３．漢字が書けないことがよくある
４．物の名前が出てこない
５．以前に比べ新聞やテレビを見なくなった
６．知り合いの人の名前がでてこない
７．元気でも働けない、または仕事をやる気がしない
８．火の不始末がある
９．この１か月間一度も電話をかけていない
10．計算間違えが多い、または勘定をよく間違える
11．いつも孤独感やさびしい気持ちがある
12．よく知っている道で迷ったことがある
13．会合や社会奉仕活動にまったく参加していない
14．その他（　　）

（５）あなたご自身や家族が認知症になった場合、安心して生活していくためにはどのようなことに重点をおくべきだと思いますか （３つまでに○ ）

１．認知症の症状や状態に応じた適切なサービス
（認知症の行動・心理症状（外出中道に迷う等）に対する福祉サービス制度の充実等）
２．保健・医療・福祉が連携した早期発見・早期診断・早期対応のしくみづくり
３．認知症に対応した医療サービス体制（認知症専門外来等の充実）
４．認知症に対応した介護サービス体制（認知症ケアに特化した地域密着型サービス等の充実）
５．地域での日常生活支援（認知症を見守るボランティアなどのしくみづくりなど）
６．家族の介護疲れをいやすための一時的な支援（レスパイトケア）
７．介護者の突発的な事由により在宅生活が困難となった場合の緊急ショートステイ
８．家族の日常的な支援（家族の交流会や相談会、認知症の介護方法等家族向けの研修会等）
９．若年性認知症（65歳未満で発症する認知症）に対する支援
10．認知症に対応できる医療・介護サービスを担う人材の育成
（かかりつけ医、介護従事者(ケアマネジャー、ヘルパー等)に対する研修等）
11．認知症に対する家族や地域の理解（予防教室や講演会等住民に対する啓発）
12．成年後見制度※や虐待防止等の制度の充実
13．その他（　　）

※ 成年後見制度：認知症などにより判断能力が十分でない場合、家族や信頼できる方（弁護士など）から家庭裁判所が選んだ「成年後見人」が本人に代わり財産管理等を行う制度

問９　必要となる支援や介護保険サービスについて

（１）現在、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか　（５つまでに○）

1. 外出の際の移動支援（通院を含む）　2. 交流や外出の機会がほしい　3. 話し相手がほしい
4. 食事の支度や後片付け　5. 買物　6. 掃除　7. 洗濯　8. 布団干し　9. ごみ出し
10. 電球や蛍光灯等の交換　11. 庭木の手入れ　12. 草むしり等　13. 大型ごみの処理
14. 散髪　15. 入浴　16. 家電やパソコン、携帯電話の使い方　17. 預貯金の出し入れ
18. 税金の支払いや公共機関の手続き　19. 財産・お金の管理　20. 定期的な安否確認
21. その他（　　）　22. なし

（２）以下のサービスのそれぞれについて、現在の状況や今後の利用意向をおたずねします。各項目について、１．２．３．及びA．B．C．のそれぞれ１つに○をつけてください
※各サービスの内容については、この調査票に同封した説明資料をごらんください

	これまでの利用状況			今後の利用意向		
	1. 利用したことがある	2. 知っているが利用したことはない	3. 制度を知らない	A. 利用したい	B. 今は決められない	C. 利用したくない
①日常生活用具の給付	1	2	3	A	B	C
②緊急通報システム	1	2	3	A	B	C
③高齢者配食サービス見守り支援事業	1	2	3	A	B	C
④街かどデイハウス	1	2	3	A	B	C
⑤健康相談	1	2	3	A	B	C
⑥健康診査（特定健康診査等の健診）	1	2	3	A	B	C
⑦がん検診	1	2	3	A	B	C
⑧訪問指導	1	2	3	A	B	C
⑨成人歯科検診	1	2	3	A	B	C
⑩骨密度測定	1	2	3	A	B	C
⑪介護予防の講座・教室	1	2	3	A	B	C
⑫福祉農園	1	2	3	A	B	C
⑬認知症高齢者見守りネットワーク	1	2	3	A	B	C
⑭地域の住民ボランティアによる訪問型助け合いサービス（玄関先で行うごみ出し等の生活支援）	1	2	3	A	B	C
⑮地域の住民ボランティアによる通所型つどいサービス（地域の集いの場で体操等の介護予防を実施）	1	2	3	A	B	C
⑯老人センター	1	2	3	A	B	C

【（2）『⑯老人センター』のこれまでの利用状況で「2.知っているが利用したことはない」と回答された方のみ】

(2)-1 老人センターを利用したことがない理由は何ですか。 （ ○はいくつでも）

1．どこにあるのかわからないから　2．どんなことできるのかわからないから　3．出かけるのに不便な場所にあるから
4．魅力のある講座がないから　5．知り合いが利用していないから　6．ひとりで行きにくいから
7．利用するのに抵抗感があるから　8．その他（　　）

（3） あなたは、要介護にならないための運動や健康づくりの取り組みを、やってみたいと思いますか
（現在やっており、続けるつもりのものも含めてお答えください） （ ○はいくつでも）

1．手先を使った手芸やものづくり等の教室　2．専用のトレーニングマシン等を使った運動
3．転倒予防等、事故を避けるための知恵やコツを身につける教室
4．自宅で手軽にできる運動や健康づくり等の指導を受けられる教室
5．食生活の改善等の指導を受けられる教室　6．歯みがきや入れ歯の手入れ方法等の指導を受けられる教室
7．認知症の予防教室　8．その他（　　）
9．やってみたいことはない

（4） あなたご自身に介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか （1つに○ ）

1．自宅※1で主に家族からの介護を受けたい　2．自宅で、主に介護サービスを受けながら介護を受けたい
3．サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームに住んで介護を受けたい
4．グループホーム※2に住んで介護を受けたい
5．特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護を受けたい
6．医療的な支援が受けられる施設に入所して介護を受けたい
7．その他（　　）

※1 自宅：ここでの「自宅」とは、今住んでおられる家だけでなく、お子さんの家に同居する場合等も含めた在宅生活の意味
※2 グループホーム：認知症の方が共同生活住居で日常生活上の支援と機能訓練を行って心身機能の維持回復を図る場

（5） 要介護状態になった場合に利用したい在宅サービスは何ですか （3つまでに○）

1．医師が自宅を訪問することによる診療（訪問診療）
2．ホームヘルパーが自宅を訪問して行う日常生活上の世話（訪問介護）
3．夜間でもホームヘルパーが自宅を訪問する介護サービス（夜間対応型訪問介護）
4．自宅を訪問し、持参した浴槽で行う入浴の介護（訪問入浴介護）
5．看護師が自宅を訪問して行う、療養上の世話や必要な診療の補助（訪問看護）
6．理学療法士や作業療法士が自宅を訪問して行うリハビリテーション（訪問リハビリテーション）
7．デイサービスセンターに通って受ける、入浴や食事の支援、機能訓練（通所介護（デイサービス））
8．認知症高齢者を対象に行うデイサービス（認知症対応型通所介護）
9．施設や医療機関に通って行うリハビリテーション（通所リハビリテーション（デイケア））
10．通いを中心に、利用者の状況に応じ、訪問や泊りができるサービス（小規模多機能型居宅介護）
11．介護施設等に短期間入所して受ける日常生活上の世話（短期入所（ショートステイ））
12．医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）
13．24時間必要に応じて、ホームヘルパーや看護師が自宅を訪問するサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）
14．小規模多機能型居宅介護と訪問看護等を組み合わせて、医療・看護のケアが受けられるサービス（看護小規模多機能型居宅介護）

（６）自宅で介護を受けられる場合、誰に介護されることを希望しますか　（ ○はいくつでも）

1．配偶者（夫または妻）
2．子どもまたは子どもの家族
3．その他の親族
4．ホームヘルパーなどの介護の専門家
5．近所の人やボランティア
6．その他（　　）
7．特に希望はない

問10　情報・相談について

（１）あなたは、家族等の介護をした経験がありますか　（ ○はいくつでも）

1．現在、同居の家族等を介護している
2．現在、別居の家族等を介護している
3．以前、家族等を介護したことがある
4．今まで介護の経験はない

（２）在宅で介護をする家族には、どのような支援や理解が必要だと思いますか　（ ○はいくつでも）
（これまで、介護の経験がない方は、想像で構いません）

1．介護方法の情報提供
2．介護に対する地域の理解
3．介護に対する職場の理解
4．介護用品の支給等、経済的負担軽減への支援
5．介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援
6．悩みごとを相談できる場所など、精神的負担軽減への支援
7．その他（　　）

（３）介護保険や高齢者福祉サービス、健康に関する情報をどこから入手していますか。または、入手したいと思いますか　（３つまでに○）

1．家族・親族
2．市役所･地域包括支援センターの職員
3．市の広報やパンフレット
4．民生委員児童委員
5．社会福祉協議会の職員
6．福祉施設の職員
7．病院等の職員
8．自治会等の役員
9．知人・友人
10．新聞・テレビ等
11．インターネット（ホームページ等）
12．その他（　　）
13．入手方法が分からない

（４）あなたは、介護や福祉サービス等について、どのような情報がほしいと思いますか（○はいくつでも）

1．生きがいや健康づくりに関する情報
2．介護予防に関する情報
3．介護保険制度に関する情報
4．介護サービス事業者に関する詳しい情報
5．ケアマネジャーに関する情報
6．介護保険以外の福祉サービスの情報（高齢、障害、ボランティアなど）
7．高齢者に対する虐待の相談先の情報
8．認知症のケアや相談先等の情報
9．その他（　　）
10．特にほしい情報はない

（５）あなたは高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか（１つに○）

1．知っておりすでに相談したことがある
2．知ってはいるが場所がわからない
3．知ってはいるが相談したことはない
4．場所はわかるが何をするところかわからない
5．場所を含め全く知らない

問11 お住まいについて

（１）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか （１つに○ ）

1．持家（一戸建て）
2．持家（集合住宅）
3．公営賃貸住宅
4．民間賃貸住宅（一戸建て）
5．民間賃貸住宅（集合住宅）
6．借家
7．その他（ ）

（２）お住まいやその周りの環境のことで、不便を感じたり、困っていることがありますか（ ○はいくつでも）

1．狭すぎる
2．風呂がない
3．風呂が使いにくい
4．トイレが使いにくい
5．床に段差があって危ない
6．玄関に段差があり外出しにくい
7．階段や廊下に手すりがない
8．階段が急である
9．エレベーターがない
10．自分（夫婦）専用の部屋がない
11．住宅が老朽化している
12．環境が悪い（日当たり、風通し、騒音など）
13．家賃や住宅ローンが高い
14．立ち退きをせまられている
15．交通の便が悪い
16．道路が狭い
17．住宅が密集している
18．近くに散歩に出るようなところがない（公園などが近くにない）
19．近くに気軽に立ち寄れるような施設がない（老人センターなど）
20．ひとりで自宅の外を歩くのが危険である（交通量が多い、坂道がある等）
21．その他（ ）
22．特にない

（３）あなたは、今後、介護保険施設に入所することになれば、どのように暮らしたいですか（１つに○）
※一般的には共用部屋（２名～６名）のほうが費用は安いです

1．費用が高くても個室で暮らしたい
2．できれば個室で暮らしたい
3．一人でいるよりも、共用部屋で暮らしたい
4．費用が安いので、共用部屋で暮らしたい
5．わからない

問12 高齢者が暮らしやすいまちづくりについて

（1）あなたは、高齢者の生きがいづくりや地域に貢献できるようなことで、高齢者自身が取り組んだら良いと思うことはどのようなこととお考えですか （ ○はいくつでも）

1．地域での活動に参加する
2．地域でのボランティア活動に参加する
3．健康づくりや介護予防についての講座等に参加する
4．福祉や介護サービス等の情報交換を強化する
5．その他（ ）

（2）高齢者が暮らしやすいまちをつくるため、あなた自身を含め、地域の人がどのようなことをすべきと思いますか （ ○はいくつでも）

1．良好な近所づきあいや、近所での助け合いに努める
2．町内会・自治会、老人クラブ等の活動に積極的に参加する
3．ボランティア活動・奉仕活動に参加したり、活動を支援する
4．福祉や健康づくりの知識や技術を身につける
5．近所の人が高齢者のことを見守り、何かあったときに手助けできる雰囲気を作る
6．サロンを開く
7．その他（ ）

（3）高齢者が暮らしやすいまちをつくるため、市は特にどのようなことに重点的に取り組むべきとお考えですか （ ○はいくつでも）

1．高齢者が地域で活躍できる機会をつくる
2．地域の助け合い活動の重要性を啓発する
3．健康づくりや介護予防についての講座等を充実する
4．福祉や介護サービスなどの情報提供を充実する
5．身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実する
6．わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整える
7．公共施設へのエレベーターの設置や、まちのなかの段差解消等を行う
8．避難行動要支援者名簿制度※など、災害発生時の避難支援体制の強化を行う
9．その他（ ）

※「東大阪市避難行動要支援者名簿制度」

市では大規模災害時に自力で避難することが困難な方を対象に避難行動要支援者名簿を作成し、登録申請を受け付けています。また、事前に同意を得た方についてはその情報を社会福祉協議会、民生委員、校区福祉委員長、単位自治会長等に提供し、大規模災害に備えています。災害発生時には自主防災組織等にも情報提供し、避難誘導や救助活動などに役立てます。

ご意見等がございましたらご自由にお書きください

■■■以上で終了です。ご協力ありがとうございました■■■

・長時間のご協力ありがとうございました。記入もれがないか、再度お確かめください。

・記入した調査票は切り離すことなく、同封した返信用封筒に入れて、

1月24日（金）までにご投函ください。

居宅介護サービスの利用に関するアンケート調査

平素は、東大阪市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。このたび、本市にお住まいの在宅で生活をされている要介護認定を受けている方から無作為に選んだ皆様を対象に、介護保険制度や高齢者福祉サービスに対するご意見をお聞かせいただく調査を実施いたします。皆様からいただいたご意見をもとに課題を把握し、地域で安心してお暮らしいただけるよう、介護サービスのあり方を検討する基礎資料として活用させていただきます。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

東大阪市　福祉部　高齢介護課

記入に際してのお願い

1. ご回答にあたって本票は、**封筒のあて名のご本人様に**お答えいただきますが、**ご家族等が記入される場合は、できる限りご本人様の意向をお聞きの上、記入してください。**
2. **同封の「介護者アンケート調査」は、封筒のあて名のご本人を介護・介助されている方が、記入してください。詳しくは、同調査票の冒頭をご覧ください。**
3. この調査は無記名回答方式ですので、**名前を記入いただく必要はありません。**また、記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、本調査以外の目的に使用いたしません。
4. ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。
5. **選択肢の１つに○をつけてください。選択肢の数が指定されている場合は、その内容にしたがってください。「○はいくつでも」の表記があれば、あてはまるものすべてに○をつけてください。**
6. 2種類の調査票の記入後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**１月24日(金)**までに投函してください。
7. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

調査票の記入方法についてのお問い合わせ（平日9:00～17:00）	株式会社サーベイリサーチセンター 電話 0120-311-207（フリーダイヤル）
調査全般のお問い合わせ（平日9:00～17:30）	東大阪市役所　福祉部　高齢介護課 電話 06-4309-3185

封筒の宛名のご本人についておたずねします

問1　現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（1つに○）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. その他（　　）

問2　世帯類型について、ご回答ください（1つに○）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他（　　）

問3　ご本人の性別について、ご回答ください（1つに○）

1. 男性
2. 女性

問4　ご本人の年齢について、ご回答ください（1つに○）

1. 65歳未満
2. 65～69歳
3. 70～74歳
4. 75～79歳
5. 80～84歳
6. 85～89歳
7. 90歳以上

問5　ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つに○）

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5
8. わからない

問6　問2で「2. 夫婦のみ世帯」または「3. その他」とご回答された方におたずねします。
同居の家族について、ご回答ください。（1つに○）　また、〔　〕内にご記入ください。

1. 夫婦ふたり暮らしでともに65歳以上
2. 夫婦ふたり暮らしで一人だけが65歳以上
3. 1・2以外の世帯で全員65歳以上 ⇒ （あなたを含めて〔　　〕人）
4. 1～3以外の世帯 ⇒ （あなたを含めて〔　　〕人）

【「3.」または「4.」とご回答の方】　問6-1　同居されている方について、ご回答ください（○はいくつでも）

1. 配偶者（夫・妻）
2. 父親
3. 母親
4. 息子
5. 娘
6. 子どもの配偶者
7. 孫
8. 兄弟・姉妹
9. その他（　　）

問7　介護・介助の必要性について、ご回答ください（1つに○）

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問8 【介護・介助が必要な方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（○はいくつでも）

1. 脳血管疾患(脳卒中)	2. 心疾患(心臓病)
3. がん(悪性新生物)	4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)	6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病（関節リウマチ含む）	8. 変形性関節疾患
9. 認知症	10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)	12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	14. その他(　　)
15. なし	16. わからない

問9 【介護・介助者がいる方のみ】 主にどなたの介護・介助を受けていますか（○はいくつでも）

1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘	4. 子の配偶者	5. 孫
6. 兄弟・姉妹	7. 介護サービスのヘルパー	8. その他(　　)		

問10 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)（1つに○）

1. ない	2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	
3. 週に1～2日ある	4. 週に3～4日ある	5. ほぼ毎日ある

問11 現時点での、施設等※ への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに○）

1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている	

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)を指します

問12-1 問11で「3. すでに入所・入居申し込みをしている」を選んだ方におたずねします。
申し込みをしている施設すべてに○をつけてください

1. 特別養護老人ホーム	2. 介護老人保健施設	3. 介護療養型医療施設	4. 介護医療院	
5. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅	6. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)			

施設種類	概要
1.養護老人ホーム(特養)	常時の介護が必要な要介護者が入所し、食事、入浴、排せつなどの日常生活上の介護や機能訓練などのサービスを受けられる施設
2.保健施設(老健)	症状が安定期にある要介護者が入所し、在宅復帰に向けて医療、看護、医学的な管理のもとで介護や機能訓練などのサービスを受けられる施設
3.介護療養型医療施設	主に長期にわたって療養を必要とする方が病院等に入所し、医療、看護、医学的な管理のもとで介護や機能訓練などを受けられる施設
4. 介護医療院	長期療養のための医療と日常生活上の介護を一体的に提供する施設です。
5. 有料老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅	特養や軽費老人ホーム以外で、高齢者が入居し、食事などの介護や日常生活上必要なサービスを受けられる施設
6. 認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	地域の中で、認知症を抱えた高齢者が少人数の家庭的な環境の中で暮らし、食事などの介護が受けられる施設

問12-2　問11で「3. すでに入所・入居申し込みをしている」を選んだ方におたずねします。

介護保険施設へ入所の緊急度は次のうちどれですか（1つに○）

1. 在宅での生活が困難であり、今すぐにでも入所したい
2. 在宅での生活は可能だが、できれば今すぐに入所したい
3. 在宅での生活は可能だが、近い将来（1～3年）に入所したい
4. 当面入所の必要はないが、いざというときに備えて入所申し込みをしている
5. その他（　　）

問12-3　問11で「3. すでに入所・入居申し込みをしている」を選んだ方におたずねします。

介護保険施設へ入所したい理由としてあなたのお考えに近いものを選んでください（○はいくつでも）

1. ひとり暮らしのため
2. 施設ケアにより自立した生活を送りたいため
3. 重度化し、家族介護及び現行の在宅サービスメニューでは対応できないため
4. 家族の介護が受けられないため
5. 家族の介護負担を軽くするため
6. その他（　　）

※すべての方におたずねします

問13　あなたは、今後、介護保険施設に入所することになれば、どのように暮らしたいですか（1つに○）

※一般的には共用部屋（2名～6名）のほうが費用は安いです

1. 費用が高くても個室で暮らしたい
2. できれば個室で暮らしたい
3. 一人でいるよりも、共用部屋で暮らしたい
4. 費用が安いので、共用部屋で暮らしたい
5. わからない

問14　あなたが、現在抱えている傷病について、ご回答ください（○はいくつでも）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14. その他（　　）
15. なし
16. わからない

問15　あなたは、ご自身のからだの状態と比べて、現在の要介護度の認定についてどう思われますか（1つに○）

1. 現在の要介護度の認定でだいたい合っていると思う
2. 自分が感じるよりも高い（重い）要介護度の認定になっていると思う
3. 自分が感じるよりも低い（軽い）要介護度の認定になっていると思う
4. よくわからない

問16　あなたの要介護度は、1年前と比べて、どのように変化していますか（1つに○）

1. 現在の方が要介護度が上がっている（悪くなっている）
2. 同じ要介護度である
3. 現在の方が要介護度が下がっている（良くなっている）
4. 1年前は認定を受けていない
5. わからない

必要となる支援や介護保険サービスについて

問17　令和元年12月の１か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか（1つに○）

1. 利用した　⇒ 問18 へ	2. 利用していない　⇒ 問19 へ

問18　問17 で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。　以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）

	1週間あたりの利用回数（それぞれ1つに○）					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E. 通所介護（デイサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F. 通所リハビリテーション（デイケア）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

	利用の有無（それぞれ1つに○）	
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数（1つに○）				
	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上
K. ショートステイ	0日	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数（1つに○）				
	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
L. 居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回

◆ 問18「介護保険サービス」の用語説明 ◆

	サービス名	サービス内容
A	訪問介護（ホームヘルプサービス）	○ホームヘルパーによる食事・入浴・排せつ等の介護
B	訪問入浴介護	○浴槽を自宅に持ち込んでの入浴の介助
C	訪問看護	○看護師等による健康チェックや療養上の世話等
D	訪問リハビリテーション	○理学療法士、作業療法士等による自宅での機能訓練
E	通所介護（デイサービス）	○老人デイサービスセンター等での入浴や食事の介助、レクリエーション等
F	通所リハビリテーション（デイケア）	○介護老人保健施設等での機能訓練等
G	夜間対応型訪問介護	○夜間の定期的な巡回訪問や、利用者からの連絡に応じた随時訪問等
H	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	○訪問介護と訪問看護が連携し、１日に複数回の「短時間の定期訪問」と通報などによる「随時の対応」を24時間対応で行うサービス
I	小規模多機能型居宅介護	○心身の状態などに応じ、「通い」を中心に「訪問」や「泊まり」を組み合わせた多機能サービス
J	看護小規模多機能型居宅介護	○小規模多機能型居宅介護に訪問看護が追加されたサービス
K	ショートステイ（短期入所生活介護）	○短期的に（数日～最大30日）施設へ入所して受ける日常生活の支援や機能訓練などのサービス
L	居宅療養管理指導	○医師、歯科医師、薬剤師等が自宅を訪問しての療養上の管理・指導など

問19 問17で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（○はいくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない	4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい	6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（　　）	

※すべての方におたずねします

問20 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（○はいくつでも）

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）	5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（　　）		

問21 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（○はいくつでも）

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）	5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（　　）		

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます

問22 健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」等がいますか（○はいくつでも）

1. かかりつけ医がいる	2. かかりつけ歯科医がいる	3. かかりつけ薬局がある
4. いずれもいない		

問23 現在、訪問診療を利用していますか（1つに○）

1. 利用している	2. 利用していない

問24 自宅で暮らし続けるためには、医療においてどのような支援が必要ですか（○はいくつでも）

1. 定期的な歯科受診	2. 定期的な健康診断	3. かかりつけ医との連携
4. 訪問診療	5. その他（　　）	

問25 緊急時など何かあったときに、身近に頼ることのできる人がいますか（○はいくつでも）

1. 夫・妻	2. 子ども・子どもの家族（同居または近くに住む）	3. 近くに住む親戚等
4. 近所の人	5. 友人	6. 民生委員、校区福祉委員、自治会の人
7. その他（　　）	8. いない	

問26 介護や福祉サービスなどについて、どのような情報がほしいと思いますか（○はいくつでも）

1. 生きがいや健康づくりに関する情報	2. 介護予防に関する情報
3. 介護保険制度に関する情報	4. 介護サービス事業者に関する詳しい情報
5. ケアマネジャーに関する情報	6. 介護保険以外の福祉サービスの情報（高齢、障害、ボランティアなど）
7. 高齢者に対する虐待の相談先の情報	8. 認知症のケアや相談先などの情報
9. その他（　　）	10. 特にほしい情報はない

問27 高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか（1つに○）

1. 知っておりすでに相談したことがある	2. 知ってはいるが場所がわからない
3. 知ってはいるが相談したことはない	4. 場所はわかるが何をするところかわからない
5. 場所を含め全く知らない	

問28 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つに○）

1．大変苦しい	2．やや苦しい	3．ふつう
4．ややゆとりがある	5．大変ゆとりがある	

問29 現在のお住まいをお教えください（1つに○）

1．持家（一戸建て）	2．持家（マンションなど）	3．借家（一戸建て）
4．借家（マンション・アパートなど）	5．軽費老人ホーム（ケアハウス）※1・養護老人ホーム※2	
6．有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅※3	7．その他（　　）	

※1 軽費老人ホーム（ケアハウス）：家庭環境、住宅事情などの理由で、自宅において生活することが困難であったり、身体機能の低下等により自立して生活するのに不安があったりする高齢者が、所得に応じた負担で入居できる施設

※2 養護老人ホーム：環境上の問題があり、かつ経済的に困窮している高齢者で、自宅において生活することが困難な方が入所できる施設

※3 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅：危険や不便が少ない構造で、食事などの日常生活に必要なサービスを受けることができる入居施設

問30 高齢者ができる限りご自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、あなたは、特にどのようなことが必要だと思いますか（○はいくつでも）

1. 24時間対応してもらえる訪問介護サービス
2. 普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス
3. 介護予防サービス(筋力ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ、転倒骨折予防等)
4. 家族内での介護・介助者の存在
5. 介護をしている家族等への支援
6. 介護保険料・利用料等の負担の軽減
7. 介護しやすい住宅への改修
8. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の充実
9. 地域の人々の見守りや助けあい
10. ボランティアやNPOによるさまざまな生活の支援
11. 気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと
12. 在宅医療の充実
13. その他(　　)
14. 特にない

からだを動かすことについて

問31-1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか（1つに○）

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問31-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つに○）

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問31-3 15分位続けて歩いていますか（1つに○）

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

問31-4 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つに○）

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問31-5 転倒に対する不安は大きいですか（1つに○）

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

問31-6 週に1回以上は外出していますか（1つに○）

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2～4回
4. 週5回以上

問31-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つに○）

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

問31-8 外出を控えていますか（1つに○）

1. はい
2. いいえ　⇒ 問31-9 へ

問31-8-1 【(問31-8で「1.はい」(外出を控えている)の方のみ】外出を控えている理由は、次のどれですか（○はいくつでも）

1. 病気
2. 障害(脳卒中の後遺症等)
3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配(失禁等)
5. 耳の障害(聞こえの問題等)
6. 目の障害
7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない
10. その他(　　)

問31-9 外出する際の移動手段は何ですか（○はいくつでも）

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他(　　)		

食べることについて

問32-1 身長・体重についてご記入ください

①身長 [　　] cm　　②体重 [　　] kg

問32-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つに○）

1. はい　　2. いいえ

問32-3 お茶や汁物等でむせることがありますか（1つに○）

1. はい　　2. いいえ

問32-4 口の渇きが気になりますか（1つに○）

1. はい　　2. いいえ

問32-5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日1回以上はしていますか（1つに○）

1. はい　　2. いいえ

問32-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（1つに○） ※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

①噛み合わせは良いですか（1つに○）

1. はい　　2. いいえ

②【問32-6で「1.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】
毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つに○）

1. はい　　2. いいえ

問32-7 定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか（1つに○）

1. はい　　2. いいえ

問32-8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つに○）

1. はい　　2. いいえ

問32-9 どなたかと食事をともにする機会はありますか（1つに○）

1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

毎日の生活について

問33-1 物忘れが多いと感じますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-3 今日が何月何日かわからない時がありますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つに○）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

問33-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか（1つに○）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

問33-6 自分で食事の用意をしていますか（1つに○）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

問33-7 自分で請求書の支払いをしていますか（1つに○）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

問33-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つに○）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

問33-9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-10 新聞を読んでいますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-11 本や雑誌を読んでいますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-12 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-13 友人の家を訪ねていますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-14 家族や友人の相談にのっていますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-15 病人を見舞うことができますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-16 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問33-17 趣味はありますか（1つに○）

1．趣味あり （具体的に： ）	2．思いつかない

問33-18 生きがいはありますか（1つに○）

1．生きがいあり （具体的に： ）	2．思いつかない

あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問34-1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人	7. その他（ ）	8. そのような人はいない

問34-2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人	7. その他（ ）	8. そのような人はいない

問34-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人	7. その他（ ）	8. そのような人はいない

問34-4 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣	6. 友人	7. その他（ ）	8. そのような人はいない

問34-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師	5. 地域包括支援センター・市役所	
6. その他（ ）		7. そのような人はいない

問34-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つに○ ）

1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問34-7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。（1つに○） ※同じ人には何度会っても一人と数えることとします

1. 0人（いない）	2. 1～2人	3. 3～5人
4. 6～9人	5. 10人以上	

問34-8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人
7. その他（ ）		8. いない

健康について

問35-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つに○）

1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない

問35-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。
「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください）

（とても不幸） ←――――――――――――――――→ （とても幸せ）

0点　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10点

問35-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つに○）

1. はい	2. いいえ

問35-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか
（1つに○）

1. はい	2. いいえ

ご意見等がございましたらご自由にお書きください

■■■以上で終了です。ご協力ありがとうございました■■■

● 長時間のご協力ありがとうございました。記入もれがないか、再度お確かめください。

● 記入した調査票は切り離すことなく、同封した返信用封筒に入れて、

1月24日（金）までにご投函ください。

介護者アンケート調査

平素は、東大阪市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。このたび、要介護認定を受けており、在宅で生活をされている方から無作為にお選びして、日常生活をお聞かせいただく調査を行っています。介護をされている方にもご意見をいただきたく、本アンケート調査にご協力をお願いいたします。皆様からのご意見は、地域の課題を把握し、介護者の就労継続に向けて、介護サービスのあり方を検討する基礎資料として活用させていただきます。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

東大阪市　福祉部　高齢介護課

記入に際してのお願い

1．ご回答にあたっては、主な介護者の方にご回答・ご記入をお願いします。主な介護者の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様にご回答・ご記入をお願いします。

2．この調査は無記名回答方式ですので、名前を記入いただく必要はありません。また、記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、本調査以外の目的に使用いたしません。

3．ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。

4．**選択肢の１つに○をつけてください。「○はいくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。**

5．調査票記入後は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**1月24日(金)**までに投函してください。

6．この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

調査票の記入方法についてのお問い合わせ（平日9:00～17:00）	株式会社サーベイリサーチセンター 電話 0120-311-207（フリーダイヤル）
調査全般のお問い合わせ （平日9:00～17:30）	東大阪市役所　福祉部　高齢介護課 電話 06-4309-3185

- **宛名のご本人が、「居宅介護サービスの利用に関するアンケート調査」の問10 で「２．」～「５．」を選択された場合は、「主な介護者」の方に本調査票へのご回答・ご記入をお願いします。**
- **「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、宛名のご本人様にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。**

主な介護者の方について、おたずねします

問1　ご家族やご親族の中で、宛名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか
（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した	4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問2　主な介護者の方は、どなたですか（1つに○）

1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者	4. 孫
5. 兄弟・姉妹	6. その他（　　）		

問3　主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つに○）

1. 男性	2. 女性

問4　主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つに○）

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代
6. 60代	7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない	

問5　現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（○はいくつでも）

〔身体介護〕	1. 日中の排せつ	2. 夜間の排せつ	3. 食事の介助（食べる時）
	4. 入浴・洗身	5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6. 衣服の着脱
	7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	9. 服薬
	10. 認知症状への対応	11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	
〔生活援助〕	12. 食事の準備（調理等）	13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	
	14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き		
〔その他〕	15. その他（　　）	16. わからない	

問6　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（○は3つまで）（※現状で行っているか否かは問いません）

〔身体介護〕	1. 日中の排せつ	2. 夜間の排せつ	3. 食事の介助（食べる時）
	4. 入浴・洗身	5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6. 衣服の着脱
	7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	9. 服薬
	10. 認知症状への対応	11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	
〔生活援助〕	12. 食事の準備（調理等）	13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	
	14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き		
〔その他〕	15. その他（　　）		
	16. 不安に感じていることは、特にない	17. 主な介護者に確認しないと、わからない	

問7　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つに○）

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている

→ 問８～問10へ

3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

→ 問11へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問8　問7で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（○はいくつでも）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問9　問7で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク等）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他（　　）
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問10　問7で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つに○）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問11　居宅サービスを利用している方におたずねします。

居宅サービスを利用することで、主な介護者の生活にどのような変化がありましたか（○はいくつでも）

1. 身体的に楽になった
2. 身体的にきつくなった
3. 精神的に楽になった
4. 精神的にきつくなった
5. 時間に余裕ができた
6. 時間に余裕がなくなった
7. その他（　　）
8. 特にない

問12　下記の介護者向けサービスや活動についてご存知ですか。また、今後利用してみたいと思いますか

（あてはまるものそれぞれ1つに○）

	現在の利用状況			今後の利用意向		
	1. 利用したことがある	2. 知っているが利用したことはない	3. 知らない	A. 利用したい	B. 利用したくない	C. 利用できない・利用は難しい 理由は下記から選んでください）
家族介護教室	1	2	3	A	B	C 理由［　　］
介護者リフレッシュ事業	1	2	3	A	B	C 理由［　　］
保健センターでの相談	1	2	3	A	B	C 理由［　　］
地域包括支援センターでの相談	1	2	3	A	B	C 理由［　　］
介護者・家族の会活動	1	2	3	A	B	C 理由［　　］

①内容がよくわからない　②介護が忙しく時間がとれない　③仕事が忙しく時間がとれない
④他の人に知られたくない　⑤利用することに周囲の理解が得られない　⑥その他（　　）

問13　今後、行政が介護者に関してどのような支援をすべきだとお考えですか（○はいくつでも）

1. 家族で介護するための方法や助言ができる体制を充実する
2. 保健師等による介護している家族の健康管理や健康指導をする
3. 認知症に関する相談相手や情報を提供する
4. 高齢者虐待に関する相談相手や情報を提供する
5. 介護者同士が交流できる場や情報の提供を行う
6. 介護者の心身がリフレッシュできるような機会を提供する
7. 介護をしている人の苦労や認知症について住民が理解できるよう啓発する
8. 介護休暇をとりやすいように啓発を行う
9. その他（　　）　10. 特にない

問14　家族を介護する人の介護疲れやストレス緩和のためには、何が必要だと思いますか（○はいくつでも）

1. 地域の協力や理解　2. 介護者同士が相談し合える場　3. 専門職員の相談窓口
4. ボランティアなどの協力　5. その他（　　）

ご意見等がございましたらご自由にお書きください

■■■以上で終了です。ご協力ありがとうございました■■■

記入もれがないか、再度お確かめのうえ、同封した返信用封筒に入れて、**1月24日（金）**までにご投函ください。

東大阪市　高齢者福祉・介護保険に関する調査
居宅介護支援事業所調査　調査票

問１　貴事業所の中学校区をご回答ください。（１つに○）※別紙､日常生活圏域別町名一覧表をご参照ください

1. 孔舎衙	2. 石切	3. 枚岡	4. 縄手北	5. 縄手
6. くすは縄手南校*	7. 池島学園*	8. 盾津	9. 盾津東	10. 英田
11. 玉川	12. 花園	13. 若江	14. 新喜多	15. 楠根
16. 意岐部	17. 高井田	18. 長栄	19. 布施	20. 上小阪
21. 小阪	22. 金岡	23. 長瀬	24. 弥刀	25. 柏田

＊「6.くすは縄手南校」と「7.池島学園」は義務教育学校です。

貴事業所の概要等

問２　貴事業所の運営形態をご回答ください。（１つに○）

1. 社会福祉協議会、福祉公社等　2. 社会福祉法人（１以外）　3. 医療法人
4. 農協、生協等　5. NPO 法人　6. 株式会社、有限会社等
7. その他（具体的に：　　）

問３　貴事業所の併設事業所はありますか。（１つに○）

1. ある　⇒ 問 3-1 へ　　2. ない（単独事業所）　⇒ 問４へ

問 3-1　問３で「1. ある」を回答されたところにお聞きします。　併設事業所（おおむね同一敷地内）で実施しているサービスをご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問介護	2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導	6. 通所介護
7. 通所リハビリテーション	8. 短期入所生活介護
9. 短期入所療養介護	10. 特定施設入居者生活介護
11. 福祉用具貸与・販売	12. 住宅改修
13. 介護老人福祉施設	14. 介護老人保健施設
15. 介護療養型医療施設	16. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
17. 認知症対応型共同生活介護	18. 小規模多機能型居宅介護
19. 夜間対応型訪問介護	20. 地域密着型通所介護
21. 認知症対応型通所介護	22. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
23. 看護小規模多機能型居宅介護	24. 訪問型介護予防サービス
25. 訪問型生活援助サービス	26. 訪問型助け合いサービス
27. 通所型介護予防サービス	28. 通所型短時間サービス
29. 通所型つどいサービス	30. 短期集中予防サービス

31. 住宅型有料老人ホーム　32. サービス付き高齢者向け住宅　33.介護医療院
34. その他の高齢者福祉サービス（具体的に：　　）
35. 上記以外（医療等）のサービス（具体的に：　　）

※上記の各サービスには介護予防サービスも含みます。
※「24.訪問型介護予防ｻｰﾋﾞｽ」～「30.短期集中予防ｻｰﾋﾞｽ」は介護予防･生活支援サービス事業。

問４　貴事業所の職員構成について、人数をご記入ください。（令和元年 12 月末日現在）

	常勤		非常勤	
	専従	兼務	専従	兼務
①主任介護支援専門員	人	人	人	人
②介護支援専門員	人	人	人	人
③その他（事務職等）	人	人	人	人

問５　貴事業所における職員の過不足状況をご回答ください。（１つに○）

1. かなり不足している
2. やや不足している

→ 主に不足している職種（　　）
→ 不足しているおおよその人数　（　　）人

3. ちょうどよい
4. やや多い
5. かなり多い

問６　貴事業所の昨年度１年間の収支状況についてご回答ください。（１つに○）

1. 黒字
2. ほぼ収支均衡
3. 若干の赤字
4. かなり赤字
5. 不明（設立から１年未満等）

問７　貴事業所におけるケアプラン給付管理件数（令和元年 12 月分）をご記入ください。

	介護予防ケアマネジメント（地域包括支援ｾﾝﾀｰからの委託分）			予防給付（地域包括支援ｾﾝﾀｰからの委託分）		介護給付					暫定・申請中
	事業対象者	要支援１	要支援２	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	
実利用者数											

問８　貴事業所では、ケアプランを作成する際に留意していることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 本人や家族等の意向を最重視するよう、担当職員に周知している
2. 本人や家族等の意向よりも介護予防効果の観点を重視し、本人等の意向と異なる場合は説明し、理解を得るよう担当職員に周知している（⇒具体的な説得事例：　　）
3. 介護保険サービスのほか､介護保険外サービスも積極的にプランに盛り込むよう､担当職員に周知している
4. プランの作成方法は担当職員の判断に委ねており、特に周知等は図っていない
5. その他（具体的に：　　）

問９　貴事業所では、ケアマネジメント向上への取り組みとして、どのようなことを実施していますか。また、今後どのようなことに取り組みたいと考えていますか。
『A.実施していること』、『B.これから取り組みたいこと』それぞれについて、下の①～⑫の中からあてはまる番号を［　　］内にご記入ください。（あてはまるものすべて）

Ａ．実施していること	［　　］
Ｂ．これから取り組みたいこと	［　　］

① 新任ケアマネジャーへの研修の実施　② 現任ケアマネジャーへの定期的な研修の実施
③ 資格取得への支援　④ 外部研修への参加奨励
⑤ 事業者連絡会等への積極的な参加　⑥ 業務マニュアルなどの作成･運用
⑦ ケースカンファレンス等における外部人材（アドバイザー等）の活用、助言体制づくり
⑧ 事業所内での情報共有の強化（データベース作成、情報共有のための会議開催等）
⑨ ケアマネジメント技術に関する情報の収集、学習機会の充実
⑩ 高齢者福祉に関する地域資源、インフォーマルサービス等に関する情報の収集、蓄積
⑪ 第三者評価、外部監査等の活用
⑫ その他（具体的に：　　）

貴事業所立地地域の特色や、介護・介護予防サービスについて

問 10　高齢者の生活や介護･介護予防に関連して、地域の特色と感じるものはありますか。
①～⑫の各項目について、そう思う程度をご回答ください。（それぞれ１つに○）

	そう思う ←		普通		→ そう思わない
①介護予防の取り組みが活発である	5	4	3	2	1
②地域･事業者･行政の連携が進んでいる	5	4	3	2	1
③高齢者が外出しやすいまちづくりが進んでいる	5	4	3	2	1
④高齢者の生活支援サービスのメニューが多い	5	4	3	2	1
⑤医療面で高齢者が安心して生活できる	5	4	3	2	1
⑥高齢者を地域で見守る意識が強い	5	4	3	2	1
⑦地域住民同士のつながりが強い	5	4	3	2	1
⑧高齢者を家族で介護する意識が強い	5	4	3	2	1
⑨介護サービスを利用する意識が強い	5	4	3	2	1
⑩認定のみ受けてサービス未利用の高齢者が多い	5	4	3	2	1
⑪独居高齢者が多い	5	4	3	2	1
⑫認知症の理解を促進する取り組みが活発である	5	4	3	2	1

（その他、地域の特色と思うことがあればご記入ください）

問 11　地域において、供給の不足を感じるサービスはありますか。
Ａ・Ｂ・Ｃそれぞれについて、下の①～㉟の中からあてはまる番号を［　　］内にご記入ください。（あてはまるものすべて）

Ａ．供給の絶対量が少ないと感じるもの	［　　］
Ｂ．供給はあるが､質の高いサービスが少ないと感じるもの	［　　］
Ｃ．介護予防に関するサービスが少ないと感じるもの	［　　］

①訪問介護　②訪問入浴介護　③訪問看護
④訪問リハビリテーション　⑤居宅療養管理指導　⑥通所介護
⑦通所リハビリテーション　⑧短期入所生活介護　⑨短期入所療養介護
⑩特定施設入居者生活介護　⑪福祉用具貸与・販売　⑫住宅改修
⑬介護老人福祉施設　⑭介護老人保健施設　⑮介護療養型医療施設
⑯地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護　⑰認知症対応型共同生活介護
⑱小規模多機能型居宅介護　⑲夜間対応型訪問介護　⑳地域密着型通所介護
㉑認知症対応型通所介護　㉒定期巡回・随時対応型訪問介護看護　㉓看護小規模多機能型居宅介護
㉔訪問型介護予防サービス　㉕訪問型生活援助サービス　㉖訪問型助け合いサービス
㉗通所型介護予防サービス　㉘通所型短時間サービス　㉙通所型つどいサービス
㉚短期集中予防サービス　㉛住宅型有料老人ホーム　㉜サービス付き高齢者向け住宅
㉝介護医療院　㉞その他の高齢者福祉サービス（　　）
㉟上記以外（医療等）のサービス（具体的に：　　）

※「㉔訪問型介護予防ｻｰﾋﾞｽ」～「㉚短期集中予防ｻｰﾋﾞｽ」は介護予防･生活支援サービス事業。

問 12　介護予防・日常生活支援サービス事業のサービス等に関する意見等があればご自由にご記入ください。

Ａ．訪問型介護予防サービス	
Ｂ．訪問型生活援助サービス	
Ｃ．訪問型助け合いサービス	
Ｄ．通所型介護予防サービス	
Ｅ．通所型短時間サービス	

F．通所型つどいサービス	
G．短期集中予防サービス	
H．その他､全体に関すること	

問 13　貴事業所が担当しているケースで、医療的ケアが必要なために、利用できるサービスがない、利用しづらいといったことを感じることはありますか。（１つに○）

1. 利用しづらい、できないことがある → （利用しづらいと感じているｻｰﾋﾞｽなどをご記入ください）
2. 利用できている
3. 医療的ケアが必要なケースがない

地域の関係機関等との連携やケースへの対応について

問 14　貴事業所では、かかりつけ医とどのような連携をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 病状等に関して心配のあるときなどに、かかりつけ医に連絡をしている
2. 電話やメールなどで定期的に連絡をとる体制をつくっている
3. ケアカンファレンス等に必要に応じて参加してもらっている
4. 必要に応じてかかりつけ医を訪問し、話を聞いている
5. 必要に応じて利用者宅へ同行訪問などをしている
6. その他（具体的に：　　）
7. あまり連携はしていない（理由：　　）

問 15　貴事業所では、地域包括支援センターとどのような連携をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）に参加している
2. 地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）以外に事業者連絡会、研修会等に参加している
3. 電話やメールなどで定期的に連絡をとる体制をつくっている
4. 対応困難ケース等の過去の事例や対応のポイント等などを整理し、必要に応じ相談している
5. サービスや地域資源などに関する情報を得ている
6. 必要に応じて利用者宅へ同行訪問などを依頼している
7. その他（具体的に：　　）
8. あまり連携･相談をしていない（理由：　　）

問 16　貴事業所が、地域包括支援センターに期待することはどのようなことですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 地域住民に対する啓発や介護や介護予防の教育の充実
2. ケアマネなどへの研修の機会や研修内容の充実
3. 地域の関係団体のネットワーク強化
4. 的確な介護予防マネジメントの強化
5. 権利擁護に関する適切かつ迅速な対応
6. サービスや地域資源の積極的な発掘
7. その他（具体的に：　　）
8. 特にない

問 17　貴事業所では、地域の介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）の情報を十分に得られていますか。（１つに○）

1. 十分に得られており、必要に応じてケアプランに組み込んでいる
2. 十分に得られているが、ケアプランに組み込むことはしていない
3. 情報があまり得られていない

問 17-1　問 17 で「2. 十分に得られているが、ケアプランに組み込むことはしていない」と回答されたところにお聞きします。
ケアプランに組み込むことをしていない理由をご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域に利用できるサービスが少ない
2. サービスの質などがまちまちであり、安心して勧められるサービスが少ない
3. 利用料金などが高いサービスが多い
4. 実際の利用に至るまでの調整や手続きなどに手間がかかる
5. 要介護者や要支援者に適したサービスが少ない
6. 既存の介護保険サービスで十分足りており、保険外サービスを利用する必要性があまりない
7. その他（具体的に：　　）

問 18　介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）について、ニーズが高いと思われるものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（具体的に：　　）

問 19　今後、地域で充実が必要だと思う介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）の提供体制についてのお考えをご自由に記載ください（誰が、どこでやるのか、など）。

問 20　昨年度、貴事業所では高齢者虐待と思われ、地域包括支援センター等に相談したケース（相談するかどうか迷うケースを含む。）がありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 昨年度該当ケースがある	2. 昨年度より前に該当ケースがある
3. 今年度該当ケースがある	4. 該当ケースがない

問 20-1　問 20 で「1. 昨年度該当ケースがある」と回答されたところにお聞きします。
昨年度のおおよその件数をお答えください。

	件数（計）	［内訳］推測される虐待の類型
A. 地域包括支援センター等に相談したケース	約　　件	①経済的：約　　件　②身体的：約　　件 ③精神的：約　　件　④性　的：約　　件 ⑤その他：約　　件
B. 迷ったが相談しなかったケース	約　　件	①経済的：約　　件　②身体的：約　　件 ③精神的：約　　件　④性　的：約　　件 ⑤その他：約　　件

相談しなかった理由（　　）

問 21　昨年度、貴事業所では次のようなケースに対応したことがありますか。それぞれのケースについてご回答ください。対応したことがある場合は、その件数と対応の可否についてご回答ください。

対応したケース	支援の有無	支援した件数	支援したことがある場合の対応状況
①認知症があり、適切な施設に入所できなかったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
②認知症があり、家族の負担が大きく虐待などにつながっていたケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
③認知症があり、権利擁護や後見人が必要であったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
④24 時間介護が必要であったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑤在宅でターミナルケアが行われたケース（自宅で看取ったケース）	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑥在宅で継続的な医療ケア（胃ろう、経管栄養等）が必要であったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑦病院や施設を退院･退所したが、在宅復帰に困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑦-1）そのうち、在宅でのリハビリが確保できないなどの問題で、在宅への移行に困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑦-2）そのうち、地域の無理解などにより、在宅への移行に困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件

※裏面に続きます。

対応したケース	支援の有無	支援した件数	支援したことがある場合の対応状況
⑧在宅から病院や施設へ入院･入所する際に困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内)対応可能　件 対応不可　件
⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であったケース	1. ない　2. ある →	件	内)対応可能　件 対応不可　件
⑩経済面での困窮や障害などで、生活全般に支援が必要であったケース	1. ない　2. ある →	件	内)対応可能　件 対応不可　件
⑪本人や家族から対応困難なサービスを強要されるなど、調整･理解を得るのに困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内)対応可能　件 対応不可　件

問 22　貴事業所では、家族介護者への支援として、どのようなことを実施していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家族からの相談などを随時受けつけている
2. 本人の状態に合わせた介護のポイント指導などをしている
3. レスパイトサービス（家族介護者の休息等のための短期入所等）などの情報提供をしている
4. 行政や地域包括支援センターなどが実施する家族介護者対象事業の情報提供をしている
5. 家族介護者の団体などの情報提供をしている
6. 事業所主催の家族対象の介護教室などを実施している
7. 心身の負担が過重な家族介護者に対し、負担軽減のための個別サポートをしている
8. その他（具体的に：　　）

→ 具体的なサポート内容、サポートにおける連携先などをご記入ください。

問 23　高齢者福祉、介護保険に関するご意見、府や市の取り組みに対するご意見などありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票は、**<u>１月２４日（金）までに</u>**

同封の返信用封筒（切手不要）に入れてお送りください。

東大阪市　高齢者福祉・介護保険に関する調査
地域包括支援センター調査　調査票

地域包括支援センター名をご記入ください。

地域包括支援センター名	

貴地域包括支援センターの概要等

問１　貴センターの職員構成について、人数をご回答ください。（令和元年 12 月末日現在）

	常勤	非常勤
① 保健師	人	人
② 経験のある看護師	人	人
③ 社会福祉士	人	人
④ ３年以上の相談業務従事経験のある社会福祉主事	人	人
⑤ 主任介護支援専門員	人	人
⑥ 介護支援専門員	人	人
⑦ その他（事務職等）	人	人

問２　貴センターにおける職員の過不足状況をご回答ください。（１つに○）

1. かなり不足している　　2. やや不足している
3. ちょうどよい
4. やや多い　　5. かなり多い

問 2-1　問２で「1. かなり不足している」または「2. やや不足している」を回答したセンターにおたずねします。
特に不足している職種は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 保健師・看護師　　2. 社会福祉士
3. 主任介護支援専門員　　4. 介護支援専門員
5. その他（具体的に：　　）

問 2-2　問２で「1. かなり不足している」または「2. やや不足している」を回答したセンターにおたずねします。
職員が不足している業務は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護予防支援業務　　2. 包括的支援業務
3. 生活支援コーディネーター業務　　4. その他（具体的に：　　）

貴センター担当地域の特色や、介護･介護予防サービスについて

問３　貴センターでは、地域の居宅介護支援事業者等に対し、どのような連携･支援をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）を開催している
2. 地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）以外に事業者連絡会、研修会等を主催している
3. 電話やメールなどで定期的に連絡をとる体制をつくっている
4. 対応困難ケース等の過去の事例や対応のポイント等などを整理し、情報を提供している
5. サービスや地域資源などに関する情報を提供している
6. 必要に応じて利用者宅へ同行訪問などをしている
7. その他（具体的に：　　）
8. あまり連携･支援をしていない（理由：　　）

問４　高齢者の生活や介護･介護予防に関連して、地域の特色と感じるものはありますか。①～⑫の各項目について、そう思う程度をご回答ください。（それぞれ１つに○）

	そう思う ←		普通		→ そう思わない
①介護予防の取組が活発である	5	4	3	2	1
②地域･事業者･行政の連携が進んでいる	5	4	3	2	1
③高齢者が外出しやすいまちづくりが進んでいる	5	4	3	2	1
④高齢者の生活支援サービスのメニューが多い	5	4	3	2	1
⑤医療面で高齢者が安心して生活できる	5	4	3	2	1
⑥高齢者を地域で見守る意識が強い	5	4	3	2	1
⑦地域住民同士のつながりが強い	5	4	3	2	1
⑧高齢者を家族で介護する意識が強い	5	4	3	2	1
⑨介護サービスを利用する意識が強い	5	4	3	2	1
⑩認定のみ受けてサービス未利用の高齢者が多い	5	4	3	2	1
⑪独居高齢者が多い	5	4	3	2	1
⑫24 時間または夜間の支援が必要と感じる場合がある	5	4	3	2	1
⑬認知症の理解を促進する取組が活発である	5	4	3	2	1

（その他、地域の特色と思うことがあればご記入ください）

貴センター担当地域の特色や地域包括ケアシステム構築について

問５　地域において、供給の不足を感じるサービスはありますか。
Ａ・Ｂ・Ｃそれぞれについて、下の①～㉟の中からあてはまる番号を［　　］内にご記入ください。（あてはまるものすべて）

Ａ．供給の絶対量が少ないと感じるもの	［　　］
Ｂ．供給はあるが､質の高いサービスが少ないと感じるもの	［　　］
Ｃ．介護予防に関するサービスが少ないと感じるもの	［　　］

①訪問介護　②訪問入浴介護　③訪問看護
④訪問リハビリテーション　⑤居宅療養管理指導　⑥通所介護
⑦通所リハビリテーション　⑧短期入所生活介護　⑨短期入所療養介護
⑩特定施設入居者生活介護　⑪福祉用具貸与・販売　⑫住宅改修
⑬介護老人福祉施設　⑭介護老人保健施設　⑮介護療養型医療施設
⑯地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護　⑰認知症対応型共同生活介護
⑱小規模多機能型居宅介護　⑲夜間対応型訪問介護　⑳地域密着型通所介護
㉑認知症対応型通所介護　㉒定期巡回・随時対応型訪問介護看護　㉓看護小規模多機能型居宅介護
㉔訪問型介護予防サービス　㉕訪問型生活援助サービス　㉖訪問型助け合いサービス
㉗通所型介護予防サービス　㉘通所型短時間サービス　㉙通所型つどいサービス
㉚短期集中予防サービス　㉛住宅型有料老人ホーム　㉜サービス付き高齢者向け住宅
㉝介護医療院　㉞その他の高齢者福祉サービス（　　）
㉟上記以外（医療等）のサービス（　　）

※「㉔訪問型介護予防ｻｰﾋﾞｽ」～「㉚短期集中予防ｻｰﾋﾞｽ」は介護予防･生活支援サービス事業。

問６　介護予防・生活支援サービス事業のサービス等に関する意見等があればご自由にご記入ください。

Ａ．訪問型介護予防サービス	
Ｂ．訪問型生活援助サービス	
Ｃ．訪問型助け合いサービス	
Ｄ．通所型介護予防サービス	
Ｅ．通所型短時間サービス	

F．通所型つどいサービス	
G．短期集中予防サービス	
H．その他､全体に関すること	

問７　貴センターでは、ほかの地域包括支援センターと連携していますか。

（１）【一般の地域包括支援センターのみご回答ください】対　基幹型地域包括支援センター

① 情報共有や相互協力の必要性を認識していますか（１つに○）

1．認識している	2．あまり認識していない	3．認識していない

② 情報共有や相互協力が円滑に出来ていますか（１つに○）

1．出来ている	2．あまり出来ていない

（２）【全ての地域包括支援センターがご回答ください】対　一般の地域包括支援センター

① 情報共有や相互協力の必要性を認識していますか（１つに○）

1．認識している	2．あまり認識していない	3．認識していない

② 情報共有や相互協力が円滑に出来ていますか（１つに○）

1．出来ている	2．あまり出来ていない

問８　貴センターでは下記の地域における団体等とのつながり、関係はつくれていますか。

（① ～⑤それぞれ、１つに○）

	協働で事業を実施するなど、関係は充分にできている	会合に時折参加する程度	あまり関わりがない
① 民生委員	1	2	3
② 校区福祉委員	1	2	3
③ 自治会	1	2	3
④ 老人クラブ	1	2	3
⑤ その他の地域活動グループ	1	2	3

具体的な活動内容（　　）

問９　貴センター担当地域の、ネットワークの状況について、それぞれ右の選択肢の番号１つを記入してください。また、いずれかの項目で「②」または「③」を回答したところは、続いて問 9-1 または問 9-2 についてもご回答ください。

Ａ．要援護者の見守りに関するネットワーク	
Ｂ．高齢者虐待防止ネットワーク	
Ｃ．認知症ケアに関するネットワーク	
Ｄ．地域密着型サービス事業者のネットワーク	
Ｅ．障害者関係に関するネットワーク	
Ｆ．その他の専門機関	

①関係機関の間で十分連携ができている
or
②おおむね連携ができているが、さらに連携を強化する必要がある
or
③あまり連携ができていない

問 9-1　上記Ａ～Ｆのいずれかで「②」を回答したセンターにおたずねします。
連携強化が必要と思われる機関や社会資源、連携の内容をご回答ください。

問 9-2　上記Ａ～Ｆのいずれかで「③」を回答したセンターにおたずねします。
連携できていない理由をご回答ください。

問 10　貴センターでは家族等の介護者とのつながりはどうですか。（１つに○）

1. 十分連携ができている
2. おおむね連携ができているが、さらに連携を強化する必要がある
3. あまり連携ができていない（理由：　　）

問 11　貴センターでは、担当地域内の医療機関と連携をしていますか。（１つに○）

1. 十分連携ができている
2. おおむね連携ができているが、さらに連携を強化する必要がある
3. あまり連携ができていない（理由：　　）

問 12　地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）を開催する際の課題はありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）を開催する目的について共通理解が得られない
2. 地域ケア会議（高齢者生活支援等会議）の効果的な運営方法がわからない
3. 業務多忙のため、会議の準備を十分に行う余裕がない
4. 参加が困難な分野の委員がいる（分野：　　）
5. 他の方法により十分に地域ケア会議の機能を果たしている
6. その他（具体的に：　　）

問 13　貴センターでは、多職種連携について取り組んでいますか。（１つに○）

1．取り組んでいる　　2．取り組んでいない

（具体的な取組をご記入ください）

問 14　貴センターでは、認知症高齢者支援の取組を行っていますか。（１つに○）

1．取り組んでいる　　2．取り組んでいない

（具体的な取組をご記入ください）

問 15　昨年度、貴センターでは認知症対応の困難ケースへの支援を行ったことがありますか。（１つに○）

1．ある　［　約　　件　］　　2．ない

（困難であったのはどのような点ですか）

問 16　行方不明高齢者の早期発見に向けて必要なこと、資源は何だと思われますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．日常の見守り活動の強化
2．捜索時の地域のネットワーク参加メンバーの増加
3．捜索時のネットワークの迅速な対応
4．認知症高齢者に対する理解の促進
5．認知症高齢者への適切な対応についての啓発
6．認知症あんしん声かけ訓練
7．GPS を活用した SOS オレンジネットワーク事業の充実
8．その他（具体的に：　　）

高齢者虐待・権利擁護業務について

問 17　貴センターにおける、平成 30 年度の高齢者虐待・権利擁護相談件数をご回答ください。
（前年度からの継続分も含めます）

	①高齢者虐待相談	②権利擁護相談 （消費者被害含む）
A．平成 30 年度新規受理件数	件	件
B．前年度からの継続件数	件	件

問 18　貴センターでは、去年度から現在までに、次のようなケースへの支援を行ったことがありますか。それぞれのケースについてご回答ください。
支援したことがある場合は、その件数と対応の可否についてご回答ください。

対応したケース	支援の有無	支援した件数	支援したことがある場合の対応状況
①認知症があり、適切な施設に入所できなかったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
②認知症があり、家族の負担が大きく虐待などにつながっていたケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
③認知症があり、権利擁護や後見人が必要であったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
④24 時間介護が必要であったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑤在宅でターミナルケアが行われたケース（自宅で看取ったケース）	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑥在宅で継続的な医療ケア（胃ろう、経管栄養等）が必要であったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑦病院や施設を退院･退所したが、在宅復帰に困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑦-1）そのうち、在宅でのリハビリが確保できないなどの問題で、在宅への移行に困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑦-2）そのうち、地域の無理解などにより、在宅への移行に困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑧在宅から病院や施設へ入院･入所する際に困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑨独居高齢者で介護のキーパーソンが不在であったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑩経済面での困窮や障害などで、生活全般に支援が必要であったケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件
⑪本人や家族から対応困難なサービスを強要されるなど、調整･理解を得るのに困難を要したケース	1. ない　2. ある →	件	内）対応可能　件 対応不可　件

問 19　認知症施策として必要と思うものは何だと思われますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 若年性認知症支援専門相談窓口の設置
2. 認知症本人ミーティングの設置
3. 認知症カフェに対する補助制度・登録制度
4. 認知症サポートボランティア養成講座の充実
5. チームオレンジ設置への補助
6. 認知症初期集中支援事業の拡充
7. 認知症個人賠償責任保険の保険料負担
8. その他（　　）

問 20　貴センターでは、包括的･継続的支援における各ケースに対して、振り返りや評価などをするケース検証を行っていますか。（１つに○）

1. ほとんどのケースについて検証を行っている
2. 特に支援が難しかったものについて検証を行っている
3. あまり行っていない

（検証の手法や、他ケースへの活用方法などをご記入ください）

問 21　「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ニーズが高いと思われるものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（　　）

問 22　今後、地域で充実が必要だと思う介護保険外サービス（インフォーマルサービス等）の提供体制についてのお考えをご自由に記載ください（誰が、どこでやるのか、など）。

問 23　高齢者福祉､介護保険に関するご意見､府や市の取組に対するご意見などありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票は、**１月２４日（金）までに**

同封の返信用封筒（切手不要）に入れてお送りください。

発行:東大阪市　福祉部　高齢介護室　高齢介護課

〒557-8521　東大阪市荒本北一丁目1番1号

TEL ： 06(4309)3185 ／ FAX ： 06(4309)3814

E-mail ： koreikaigo@city.higashiosaka.lg.jp